

**NIRA**

**OUTPUT**

NRS-84-11  
総合研究開発機構  
助成研究

# 在日留学生の学習と生活条件に 関する研究

研究指導者 川野重任 (財団法人日本国際教育協会の理事長)

- 日本留学の動機と経緯
- 日本語能力と留学効果
- 学部及び大学院における学習条件と学位取得問題
- 日本留学への評価と意見
- 日本の社会経済に関する留学生の見解

昭和61年7月

財団法人 アジア人口・開発協会





—抄 録—

在日留学生の学習と  
—— 生活条件に関する研究 ——

研究担当者：川野重任

研究期間

昭和59年8月1日  
～ 60年10月31日  
(1年3ヵ月)

昭和61年7月発行  
553ページ

財団法人 アジア人口・開発協会  
Tel.(03)581-7770

日本は外国人学生受入れについては、いわば後発国の地位にあり、学習条件、生活条件について多くの問題をもつ。学習条件については日本語の習得難の他、大学制度、奨学金制度などの問題があり、生活条件については、宿舎難、物価高の問題などがある。これらに在日外国人学生達がいかに対応し、いかなる評価をもっているかをアンケート調査(回収967)でただし、併せて元留学生達に対しては(アンケート回収138)帰国後の職業、生活面での日本留学の成果をただした。また、双方に日本経済の発展に対する見解を求めた。

## まえがき

この研究は総合研究開発機構、昭和59年度第1類助成研究「在日留学生の学習と生活条件に関する研究——人的能力開発の課題に即して」についての報告書である。

この研究のねらいは、21世紀に向けて外国人学生10万人の受入れを想定しているわが国留学生事業の運営に対して、いわば一種の現実診断の資料を提供しようとするものである。日本はこの事業については一種の後発国の地位にあり、来日の外国人学生達は学習条件、生活条件の双方について多くの問題をもっている。学習条件としては、特に日本語学習の困難の問題が大きい。その他、学位制度を含めての大学制度の問題、奨学金受給の機会の乏しさの問題などがあり、生活条件の問題としては宿舍難、物価高の問題などがある。

にもかかわらず、近來日留学生の数は急増しつつある。彼等はいかにこれらの諸問題に対応し、どの程度困難を克服しつつあるか、また、その一層の克服のためにはどのような措置が望まれているかをアンケート調査によって明らかにしようというのがこの研究のねらいである。

併せて元国費留学生達に対しては、その就職、仕事の実態、生活面などで日本留学の成果がいかに評価されているかを同じくアンケート調査によって明らかにしようとした。

さらに在日、元の双方の留学生達が日本の経済発展をどのように評価しているかの所見もたずこととした。

研究の実施については川野重任東大名誉教授を中心とする研究委員会をおき、調査設計、分析に当った。アンケート調査の実施については、本文記載の各関係機関、大学などの特段の配慮を煩わしたが、アンケートに答えられた在日、元の留学生諸氏の御協力と併せて以上の関係者に深甚の謝意を表したい。

わが国留学生受入事業の推進への寄与を祈念したい。

財団法人アジア人口・開発協会理事長  
田中龍夫



## 〈研究者リスト〉

### 研究委員会メンバー

- 研究指導者 川野 重任 東京大学名誉教授 ㊦日本国際教育協会理事長
- 研究委員 鈴木 忠和 東海大学教養学部教授
- ” 武藤 和夫 東京農業大学農学部教授
- ” 山田 三郎 東京大学東洋文化研究所教授
- ” 原 洋之介 東京大学東洋文化研究所助教授
- ” 山下 雄三 筑波大学農林学系助教授
- 研究協力 平尾 正之 農林水産省農業研究センタープロジェクト研究第4チーム研究員
- ” 高橋 保雄 ㊦日本国際教育協会事業部長
- ” 今城 治子 ㊦東京大学東洋文化研究所調査係



## 目 次

まえがき	i
[エグゼクティブ・サマリー]	1
要 約	5
序章 課題と方法	17
I 課題とアンケート	19
1 課題	19
2 アンケート	20
II 調査方法とアンケートの回収	21
1 調査方法	21
2 アンケートの回収	22
3 回答者の性格	22
第1章 日本留学の動機と経緯——留学生の教育歴——	29
はしがき	31
I 在日外国人学生の教育歴	32
1 大学入学の経緯	32
2 日本留学の動機	39
3 大学についての評価	48
4 日本留学以前の他国への留学	55
II 元留学生の教育歴	57
1 日本留学の経緯	58
2 日本留学の位置づけ	61
結び	67
第2章 日本語能力と留学効果	73
はしがき	75

I	留学生間の日本語能力の差異	75
1	日本語能力の機能別評価	75
2	回答言語の種類と日本語能力	78
3	日本語能力の国別地域別差異	81
4	日本語能力の各種類型別差異	83
II	日本語能力差異の要因	85
1	漢字圏と非漢字圏の差異	85
2	母国での日本語学習機会	86
3	来日後の日本語学校入学	92
4	在日年数	94
III	日本語能力差異と学習効果	95
1	日本語能力差異と学部教育の難易度	95
2	日本語能力差異と博士号取得の難易度	97
IV	帰国後の日本語使用	100
1	日本語の使用機会	100
2	日本語の使用形態	104
結 び		108
第3章	学部及び大学院における学習条件と学位取得問題	113
はしがき		115
I	学部カリキュラムの水準と理解の難易性	116
1	総計からみた実態	116
2	回答国語別による差異	117
3	国公・私立別にみた差異	117
4	漢字圏と非漢字圏の差異	118
5	専攻別にみた差異	119
II	学部授業の理解度についての自己評点	120
1	総体的な考察	120
2	漢字圏学生の理解度——東南アジア学生との対比——	121
3	国公・私立別の差異	121
4	専攻別にみた差異	122
III	大学院で取得希望の学位	123

1	取得希望についての概況	123
2	性別からみた状況	123
3	出身地域別の差異	124
4	国公・私立別にみた差異	125
5	奨学金類別にみた差異	125
IV	学位取得の難易性とその要因	126
1	漢字圏と非漢字圏域学生間の差異	127
2	専攻別にみた差異	129
V	在日学生と元留学生の学位利用についての見解——期待と実態のかい離——	130
1	総計による一般的考察	130
2	漢字圏と非漢字圏との差異	133
3	専攻別にみた取得学位の利用	136
4	奨学金類別にみた利用——とくに奨学金なしについて——	140
VI	学位評価に対する国際比較——在日学生について——	142
1	総計からみた評価	142
2	圏域別評価の差異	143
3	専攻別にみた特徴	145
VII	学位取得・利用などについての個人的な意見	147
1	学位取得の難易性について	147
2	学位の利用, その他について	148
	結 び	149
第4章	日本留学への評価と意見	153
	はしがき	155
I	在日生活への期待と評価	156
1	在日生活への期待と評価	156
2	学生生活への期待	158
3	日本との交流, 接触について	160
4	留学と孤独感	162
5	さまざまな意見	164
II	日本留学についての評価	165

1	受入れ先としての日本の大学・大学院	165
2	日本留学の評価	170
3	元留学生の日本留学についての評価	172
III	帰国後の日本留学体験の活用	176
1	留学成果の活用	176
2	留学成果の活用と日本との交流	176
3	日本的発想や生活様式の利用	179
4	留学体験の母国での活用についての意見	180
IV	留学生の居住条件	181
1	民間の協力事情	181
2	居住条件についての希望, 意見	183
V	受入れ条件についての留学生の意見	184
1	在日留学生の意見	185
2	元留学生の意見	189
	結 び	191
第5章	日本の社会経済に関する留学生の見解	195
	はしがき	197
I	日本の教育制度	198
1	在日留学生の回答	198
2	元留学生の回答	203
II	人口増加	208
1	在日留学生の回答	208
2	元留学生の回答	212
III	労働制度	215
1	在日留学生の回答	215
2	元留学生の回答	217
IV	人的能力の開発	219
V	日本の社会経済に関するその他の意見	221
1	教育制度	222
2	人口増加	223
3	労働体制	224

4 経済発展と人的能力 .....	225
結び .....	228
第6章 提言 .....	231
I 留学生来日の流れをつくることが基本 .....	233
II 日本語教育体制の整備 .....	234
III 大学, 大学院の教育体制の整備 .....	235
IV 生活条件, 居住条件 .....	237
V 終りに .....	238
付表 アンケート集計表 .....	239
はしがき .....	241
A—I 在日留学生アンケート集計表 (総計・性別・回答言語別) .....	243
A—II 在日留学生アンケート集計表 (国別) .....	277
A—III 在日留学生アンケート集計表 (地域別) .....	310
A—IV 在日留学生アンケート集計表 (専攻別) .....	343
A—V 在日留学生アンケート集計表 (国公立別・在籍区分別・奨学金類別)	
.....	376
B—I 元留学生アンケート集計表 (総計・性別・回答言語別) .....	409
B—II 元留学生アンケート集計表 (国別) .....	434
B—III 元留学生アンケート集計表 (地域別) .....	459
B—IV 元留学生アンケート集計表 (専攻別) .....	484
B—V 元留学生アンケート集計表 (国公立別・学籍区分別・奨学金類別)	
.....	509
アンケート票サンプル .....	534



# エグゼクティブ・サマリー



## 〔エグゼクティブ・サマリー〕

1. 来日留学目的には学位取得目的と研究目的との2つが区別されるが、途上国留學生の大部分は前者である。にもかかわらず、日本を第一順位の留学先として選ばなかった學生が4分の1もいる。

2. 来日留学動機の大半は日本の社会、文化への評価である。日本語能力の有無、大小が学習効果を決定的にするが、その能力は当然のことながら漢字圏の學生において概して高く、その背景には母国での学習機会のいかんも深くかかわっている。

3. 大学でのカリキュラムの難易については、大半の者が母国のそれと大差なしと答えている半面、数物系科目について難しさを指摘する者も少くない。学位の取得難について、日本語能力の低さを理由とする者は案外に少ないが、これは反面、何が問題かの問題を残す。また、日本の学位への評価は国際比較として残念ながら欧米のそれより低い。

4. 日本留学への総括的評価としては、大半が学習生活の面で満足し、日常生活でも食生活については満足している。しかし、日本人社会との交流や、宿舎条件などの点では不満を表明している。なお、宿舎条件についての希望で、日本人との同宿を望んでいる者の多いことは今後の宿舎対策についての参考となろう。

5. 元国費留學生の場合も、日本留学への総括的評価は上と大同小異だが、特に教師、研究者、行政官といった立場の者が多いことから、日本語の使用を含めて日本留学の成果の生かされる場面が多いようである。

6. 日本経済発展の要因については、在日、元国費留學生ともに、教育の役割の重要性を指摘し、人口問題との関係では、人口増加がそのための負担となっていないことを注意する。いずれにしても人間能力の開発こそが発展の基本動因だとする点では一致し、ある意味ではこの認識こそが日本留学の共通した、また最大の成果だとの見解もなりたちそうである。

7. 家族関係については、親子、兄弟、姉妹で海外留学の経験者をもつ者の割合が非常に高いことが注目される。国費、私費の留學生の別を問わず、来日留學生の大部分は少なくとも経済的にはいわゆる社会上層に属する人々であることが察知される。父兄の職業についても同様のことが示唆される。



## 要 約

### I 2つの留学動機

(1) まず第1に、来日学生の来日、留学動機に、はっきりと判る2つの類別のあることを知らねばならない。1つは学位取得が目的であり、他は日本自体を研究対象とするという研究目的である。前者はアジア地域を始めとして、北米、西欧以外の諸地域からの留学生達によって代表され、後者は北米、西欧を代表とするいわゆる先進諸国、先進地域からのそれである。従って、前者は学部から大学院、それも修士課程から博士課程へと進み、なるべく能率的、効率的に学位を取得しようとする。後者は大学院学生というより、むしろ研究生という、より自由な形で在籍を選び、研究目的を達成するとさっさと帰国する。おそらく学位をとるとしても、本国においてであろうし、そのための研究資料蒐集が目的だといってもよいであろうと考えられる。元留学生のうち、北米、西欧地域の人で再度日本以外の国へ留学している者が少なくないが、おそらく、これはそれを語るものであろう。これに対し、その他地域の元留学生の場合は、日本で取得しそこねた学位取得のため、再度、北米、西欧などに留学したとする者のいることは注意すべきである。

(2) 特に途上国地域からの留学生の場合、あえて日本を第1順位の留学先とは考えなかったとする者が4分の1もいるということ、しかもその第1順位の希望が北米、西欧だったとすることは大いに注目に値する。

(3) しかし、来日、留学の動機に、「日本の文化、社会、経済、技術水準に関する関心」とするものが全体として極めて高率に上ることが注意される。欧米留学生の日本への関心の高まりも同様であろう。いずれにしても、外国人学生の来日、留学の機運は動いているといえよう。

(4) 所属大学への評価については、教授陣、環境へのそれを含めて、全体としてかなり高い評価を与えている反面、入試によらない配属については、希望するコースがない(例えば博士課程を希望して来日したのにそのコースのない修士課程だけの大学院の大学に配属された)などの不満を洩らす者も一部にある。

## II 学習条件としての日本語能力をめぐって

日本語能力の有無、大小が日本留学の効果を左右する決定的条件の1つであることが改めて痛感される。

(1) 第1に、在日留学生全体として、学習面、生活面双方において、「話したり、聞いたり」の会話能力は比較的に高く、「十分にできる」、「一応はできる」双方を含めて75%以上、これに対して「読み」、「書き」の能力は一般に落ち、特に学習面での「読み」、「書き」能力で「一応はできる」とする水準以上の者は50%程度である。殊に、授業を聴くことも、質問することも全くできないとする者が5%前後にせよ、あることは十分注意されてよい。そしてこれは後述の母国での日本語学習機会の欠如という事実とも対応している。

(2) 実態として漢字圏、非漢字圏の留学生間に日本語能力についての明確な格差がある。いうまでもなく、前者が高い。理由は母国での教育が漢字教育ないし漢字使用の頻度の高い教育として、日本と共通のものが多いうことであろう。具体的には東アジア地域出身の学生が代表で、日本語能力も高ければ、日本を第一優先の留学先と考えている者の割合も高いようである。また、そこでは奨学金を受けていない純粹の私費留学生の割合も高い。

(3) 前項と関連するが、母国での日本学習機会の有無と日本語能力の高さとも関連する。その機会の頻度も形も地域毎に様々に異なり、韓国、中国を始め東アジア地域ではそれが多く、中近東、南アジアでは少ない。アフリカではその機会が極端に少ない。もっとも北米の如く、その機会があったとしながら、その日本語能力が必ずしもそれほど高くはないといった例も見られたが、それはいわば母国語としての英語の国際的通用性の高さを背景としてのことと解すべきであろう。

(4) 日本での日本語学習については、東アジアなど漢字圏の留学生の利用率は必ずしも高くなく、非漢字圏のそれが高い。しかし、その日本語能力は必ずしも高くない。これは文部省留学生など、日本語の準備なくして来日し、ここで始めて日本語を学ぶという関係にある者の多いこと、しかもその学習期間が短く限られているということによる点が多いと思われる。東アジアなど、母国ですでに日本語学習の機会をもった者としては、改めて来日後、日本語教育機関でのその教育の必要を認めない者が多いということであろう。

(5) 大学学部、大学院での日本語使用については、その能力が高ければ高いほど、

学習内容の理解力が高いとされる。当然のことである。博士号取得に関連しても、講義、資料の理解、日本語での論文執筆などについて、日本語能力の低さを理由としてその困難が表明される。

(6) 帰国後の日本語の使用機会については、元留学生の場合、文部省留学生であった者が多いというサンプルの特性を背景として、日本語の母国での使用機会は、その他の奨学金を受けない一般の私費留学生の場合にくらべて、多いという結果となっている。ことに研究教育機関、政府機関勤務者の場合そうである。

在日留学生の場合、文部省留学生の日本語能力は一般の私費留学生の場合にくらべてそれほど高くないと自己評価していると前述したが、それにもかかわらず、この結果である。研究、教育、行政のいわば公的活動面で日本とのつながりが事実上多いケースが多いということであろうか。

### III カリキュラムと学位問題

(1) 第1に母国のそれと比較してのカリキュラムの難易問題については、全体として66%の者が「大差なし」としている。しかし、これについては、日本語能力の大小の関係していることも当然考えられる。概して日本語能力の相対的に低いと考えられる文部省留学生の多い国公立大学の場合には、私立大学の場合にくらべて、「大差なし」とする%がいくらか低い(国公立62.9%、私立72.4%)。また、地域別には東南アジア学生の場合は51%と他とくらべてかなり低いが、日本語能力の相対的に高い私費留学生の割合が高いことと関連していると見るべきであろうか。

しかし、「ある種の科目は難し過ぎる」とする者が全体として29%あり、この場合逆に東南アジア学生の場合46.9%として高いことが目立つ。さらに、難し過ぎる科目としては、全体として、数、物、化などの理工系科目をあげる者が54%に及び、しかも理工系学生においてこの科目をあげる者の率が高く、76.5%に及ぶ。同じ理工系科目にしても、その内容、水準において非理工系の場合とは差があるということであろうか。

(2) 学部授業の理解度については、全体として70%程度と自己評価しているが、その出身地域別、国公立大学別の概要は上述と表裏の関係にある。ただし、「日本語の授業を聞くこと」が全くできないとする者が前述のように5%もいることも同時に留意すべきである。

(3) 大学院在籍者中、博士号取得の希望をもっている者が幾何かを見るに、理工系学生の4分の3、文系学生の約半数がその希望をもっていること、そして男女別には男子学生の3分の2までがその希望をもち、女子学生の場合はその率が約40%にとどまることが判る。これを文部省留学生について見るに、61%までがその希望をもつ。もっとも外国政府奨学金その他の奨学金を受ける学生の場合は、その率は全体として66%という高率を示している。

(4) 日本の学位のいわゆる取得難については、その理由を「日本語能力の低さ」とする考え方に対して、全体の21%が「その通り」と答える反面、51%は「そうでない」と答えている。関連して「論文執筆に日本語が要求されるから」という理由付けに対しても、同様に19%が「その通り」と答える反面、53%は「そうではない」と答えている。さらに、「英、仏、独語等2か国語の履習が要求され、この面の負担が大き過ぎるから」とする理由付けに対しても全く同様に、18%が「その通り」、51%が「そうではない」と答えている。無論、その答え方は出身国、出身地域によって異り、概して日本語能力の高いと考えられる漢字圏学生の場合には「その通り」とする率が15%前後としてやや低く、非漢字圏、特に南アジア、東南アジア、アフリカ等の場合はその率が際立って高い。とすると、やはり基本的には、日本語能力の低さが日本の場合の学位取得難の重要な理由となっていると考うべきであろう。もっとも、「英、仏、独語等」云々の設問に対して、北米、南米等の諸地域の学生が否定的に答えていることは当然である。

(5) なお、学位問題に関しては、元留学生の場合、博士論文を日本語で書いた者26%、英語で書いた者66%で、さらにこの論文執筆について、「日本語での執筆を指示されたか」との設問に対して、「指示されなかった」とする者がほとんどで94%、「指示された」とする者は6%にとどまる。もっとも修士論文の場合については、「指示された」とする者13%で、事実、日本語で書いた者は38%という答になっているが、これらの答による限り、「日本語での執筆」の指示、要求は伝えられるほどに多くはなさそうである。とすると、学位取得難の理由はどこにあると考えるべきか。日本語能力の低さが前述のように基本理由の1つであることは疑ないとしても、なお、「そうではない」とする答えの多いことは、少なくとも学位取得難という声を前提とする限り、他に理由のあることを予想させずにはおかない。大学での教育、指導の体制に対して一部回答者から意見が寄せられている別掲の事実も見逃せない。

(6) 学位の母国での利用期待や利用の現実については、在日留学生の場合が期待に燃え、元留学生の場合多少とも現実がそれに添わないという一般的傾向があるにして

も、政府、行政、教育、研究機関への就職の有利性等の他「母国発展への寄与」という大義名分をかかげた者の割合の少ないことを注意すべきであろう。逆に、母国での日本企業や合弁企業等での就職の期待はないわけではないが、それほどのものでないことも注意される。

(7) 学位の国際的評価という問題では、「高く評価する」とする割合の高い点からいえば、アメリカ合衆国、ヨーロッパ諸国、日本、東洋諸国といった順で、日本の地位の相対的低さのほどは残念ながら認めざるを得ない。

#### IV 日本留学への総括的評価

日本への留学を全体としてどのように評価しているかについては、在日留学生については在日生活の現状、元留学生については帰国後の仕事、生活経験に即してその評価を聞く他、共通には日本の大学(院)、日本留学、留学生受入れ、宿舎条件についてのその評価を聞いた。

(1) 在日留学生については、大学スタッフとの交流、日常の学習、研究活動、日常の衣食住活動では、「大いに満足」「どちらかといえば満足」の2つを含めて概して70—75%で、まずまず満足というのが全体としての評価である。これに対して、日本人、学生、社会一般との交流という点での満足度はやや落ち、その生活が大学での学習生活中心になっていることが判る。満足度の最も低いのは「日本人の母国事情に対する理解の低さ」であり、これは孤独感の強さにも結びつく。そしてこれについては地域別、国別格差が大きい。不満度の高いのは東欧、アフリカ、東南アジア、中東等であり、東アジアにおいても国によってはその不満度は高い。

(2) 元留学生の帰国後の留学体験の活用については、回答者の70%近くが、大学、政府行政機関、試験研究機関、教育機関の関係者ということもあって、留学での成果が直接、間接にその現在の仕事に生かされるとし、その割合は90%に及ぶ。また、日本留学による体験、知識、研究等が仕事の面、生活の面でかなり活用されているとする。その活用度の低いものとしては、日本企業との交流面、日本の生活様式の採用面とされる。それでも日本の生活様式の採用については、積極的に採用が16%、一部採用が42%に及ぶ。また、日本的行動様式についても、これを積極的に採用しようとする者15%、一部採用という者45%という事実は注目に値する。日本語の使用機会については既述の通りであるが、日常生活、仕事上勤務先で使用する機会が「かなりある」

とする者が25—29%に及び、「僅かにある」とする者も40—50%に及ぶ。学位の利用については、「専門的知識の仕事」の上での活用、「研究、教育機関への就職」という点では有利性を強調している者が「ある程度有利」を含めてそれぞれ45—50%に及ぶ。

(3) 日本の大学、大学院に対する各種指標を基準としての評価は在日留学生と元留学生との間で基本的な差はない。大学の学術水準、途上国のかかえている問題や留学生問題に対する関心、留学生の勉学に対する日本の学生の協力体制等それぞれかなりの程度評価し、満足していると見られる。そしてその程度は元留学生の場合、在日留学生の場合よりいくらか高いと見られるのは、帰国後研究、教育等に従事している割合の高い文部省留学生の占める率が大きいということとも関係しているかと思われる。再度の日本留学の希望の割合も元留学生の場合の方が高く、ほとんど80%と見てよい。従って、「母国の学生達に日本留学を積極的にすすめたい」とする者の割合も、「ある程度同意」というのを含めれば、在日留学生の場合70%なのに対して、元留学生の場合78%の高率に及ぶ。また、「留学経験は長期的に見て日本と良好な関係を維持する契機となろう」とする意見も、在日留学生、元留学生の場合を通じて高く、それぞれ83%前後の高率を示す。

(4) にもかかわらず、「日本の大学は帰国後の留学生と積極的に交流しようとしているか」、あるいは、「日本は帰国留学生に対するアフターサービスをよくやっているか」ということになると、肯定論は途端に低くなる。元留学生の場合、在日留学生の場合よりいくらかその率は高いが、アンケート対象としてアフターサービスの対象となった元留学生が選ばれたという事情のあることも留意しておかねばならない。

(5) その他留学生の受入れについて、民間のボランティア活動、宿舎やアルバイト探しについての日本人の協力、民間奨学金の機会提供となると、特に在日留学生の場合その評価は前項の(4)と同様に低くなる。また、奨学金の機会の乏しさについては、在日留学生、元留学生ともにその意見は一致して、「機会充実」と積極的に評価する者はそれぞれ5%、9%に過ぎない。

(6) 最後に受入れ条件に関連して設問した「希望の宿舎条件」については、在日留学生の場合、もっとも希望の強い順位としては、1位大学付属の寮、2位外国人用宿舎、3位民間アパート、4位日本人家庭と整理できそうである。そして内容としては、圧倒的多数が「個室」で、しかし宿舎としては「日本人と一緒に」という希望である。元留学生の場合も、宿舎の「個室」「日本人と一緒に」という点では同じであり、また、大学付属の寮を1位として希望するという点では同じであるが、次いでは民間アパート、日本人家庭というのが同率で2位となり、外国人用宿舎の希望が3位に来るとい

う差がある。しかし、この序列をどれほど、どういう意味で重視すべきかは確言できない。

## V 日本の経済発展についての見方

留学条件とは直接の関係はないが、日本経済の発展について、3つの要因をあげてその所見を質した。また、関連して、一般に経済発展と人的能力の開発との関連をどう考えるかについても所見を質した。設問は在日留学生、元留学生に全く同一である。

(1) 教育制度についてはそれが経済発展に寄与すべき12の視点をあげてその所見を質したが、まず在日留学生の場合、そのいずれの視点についても全体として積極的評価を与えている。ただし、その評価の高さという点からいえば、6・3制とか、女子の進学率とか、中途退学の少なさといったことよりも、高等教育への進学率の高さへの評価が高く、その背景としては経済的余裕がそうさせたということではなく、立身出世欲を中心とした国民的関心の強さ、高さといったものであり、これがまた、国や公共団体をしてその体制整備に努力させるにいたったという理解のようである。元留学生の場合も大同小異であるが、6・3制の義務教育制度への評価がやや高いことが注目される。なお、「個人的能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高める」という理解について、元留学生の評価がその出身地域、出身国の如何を問わず、ほとんど一様に在日留学生のそれより高いことは興味深い。自ら文部省留学生として、いわば自らの能力と努力とによって奨学金を得ることが出来たという自覚をもつ者の多い元留学生として当然と見るべきであろうか。

(2) 経済発展要因としての人口問題の考え方については多角的な設問を用意した。

① まず、「人口の規模が一億人を越えており、大規模生産が可能」という設問に対しては、在日留学生全体として48%が肯定に傾いているが、中でも中東、アフリカ、西欧の諸地域学生にはその意見が強い。しかし、東アジア、南アジア、中でも中国学生の場合にはその否定論が際立って強い。「そうは思わない」という平均の否定論34%に対して、この場合は48%の高率を示す。おそらく、人口大国中国などのこの点についての実情をふまえてのことであろう。

② 次いで、「人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったから」とする意見については、全体として64%が肯定的であり、中でも南アジア、東南アジア学生の場合はそれぞれ69%、71%という高さである。これもそれぞれの母国の事情をふま

え、その点に問題を見ているということの反映であろう。

③ 関連して、「最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから」とする考え方に対しては、48%が積極的肯定、76%がそれを含んで肯定的という回答であり、ほとんど一様にこれを肯定している。逆にいえば、出生率引下げが人口増加抑制の手段として評価されているということにもなる。

④ そこで、その出生率の低さをどう見るかであるが、「家族計画の考え方の普及」を理由とする考え方が最も多く79%、次いで「社会保障制度の整備」で53%、「結婚年齢の高くなったこと」、「優生保護法で産児制限が合法化されたこと」を理由とする考え方は、それぞれこれより低く、43%、40%となる。ただし、地域別には、「家族計画」を理由とする考え方がとくに南アジア、東南アジア学生において強く、それぞれ88%、83%に及ぶことが注目される。東アジアの場合も中国91%、韓国85%である。

⑤ 「1940年代の出生率の高さを1960年代の日本の経済成長の要因として見る」という考え方に対しては、全体として50%が肯定に傾いているが、肯定論の強いのは北米、西欧、中東、アフリカなどの学生であり、東アジアのそれは低い。中でも、「そうは思わない」とする否定論は中国、韓国学生において強い。

⑥ 最後に、「人口増加率低下を理由とする日本経済の成長率低下の見通し」については、全体として積極的肯定論は僅かに3%弱、「どちらかといえばそう」という消極的肯定論を加えても16%そこそこであり、「そうは思わない」という否定論が57%に及ぶ。中でも東アジア、とくにマレーシア、韓国、中国学生の場合は否定論が何れも70%を越える。これに対して北米、西欧などの場合は肯定論が平均を上廻って高いのは、これ亦それぞれの地域の最近の経済成長の鈍化を背景としてのことと見るべきであろうか。在日留学生と比較しての元留学生の回答については大同小異であるが、詳細は本文の通りである。

(3) 経済発展の要因としての労働体制については、4つの要因をあげて所見を質した。

① 4つの要因中、肯定論の一番多いのが「日本人は本来勤勉で労働の密度が高いから」とするもので全体として90%、積極的肯定論も65%で、ほとんど地域差を見ない。

② 次いで肯定論の多いのが「長時間労働」論が61%、中でも北米、西欧などの学生においてその意見が強く、逆に東アジアの学生においては積極的肯定論と全く同じ程度に否定論のあることも注意される。

③ 次いで「企業別労働組合」を理由とする意見で同じく60%弱、この場合も北米、西欧の他中東、南アジアなどの学生においてこの意見が強く、東アジアの学生においては弱い。

④ 「身分意識の弱さ」を理由とする意見は以上の中で最も少なく、全体として49%弱、中でも北米、西欧の学生の場合にはその傾向が強く、それぞれ肯定論として24%、39%。それに対して南アジア、東南アジア学生の場合はそれぞれ71%、55%として、積極的肯定論が強い。母国をかえりみでの評価と考うべきであろうか。しかし、東アジアについては、積極的肯定論44%に対して「そうは思はない」とする否定論が46%に及び、とくに中国の場合その否定論が57%にも及んでいることは注意すべきである。

⑤ 元留学生の場合も積極的肯定論が各設問に対してやや高い程度において示されてるといふ差はあるが、大きな差はない。ただし、積極的肯定論が多いということについては、やはりそれなりの理由を考えねばならなくなることはいうまでもない。

(4) 「経済発展についての人間能力の開発の重要性」については、在日留学生と元留学生との間に積極的肯定論の割合自体については概して後者が高いという差はあるが、80%以上が積極的に肯定として答えている。そして自由意見としては、そのための教育の重要性を指摘しているのがほとんどである。

## VI 家族的背景

家族関係については、本文中での叙述を略したが、要点だけを記しておきたい。

(1) 在日留学生の場合、父親の職業については、「無職、無回答」が66%に及んでいるが、その他については次のようである。商業(7.9%)、会社員(7.3%)、教師(5.9%)、公務員(5.4%)、自由業(3.9%)、農業(3.8%)である。

(2) 次に兄弟、姉妹の数を死亡者のそれを含めて求めたが、男子だけで4人以上(兄弟姉妹の中で男子だけをとった場合その数4人以上という意味で、以下同様)というもの17.4%(ただし、「無回答、0人」が9.5%)、女子だけで4人以上というもの5.8%(ただし、「無回答、0人」が14.3%)である。兄弟、姉妹数の多いのはいわゆる途上国が中心で、地域別に上記の数字を示せば次の通りである。南アジア(男子28.9%、女子17.7%)、東南アジア(男子23.7%、女子17.7%)などである。

(3) この兄弟、姉妹に両親を加えた家族員の中に、「海外留学の経験者がいるかどうか」を質したのに対して、「ある」38.8%、「なし」42.1%、「無回答」19.1%の答を得た。この「ある」を地域別に見ると、%の高い順に、アフリカ(44.4%)、北米(42.9%)、西欧(42.9%)、中東(42.1%)、東南アジア(40.6%)、東アジア(38.2%)、東欧(33.3%)、南アジア(31.1%)、南米(29.4%)、といった具合である。つまり、その地域の一般的経済水準の如何に関係なく、それぞれにいわば恵まれた社会層に属する学生達であることが察せられる。これを奨学金受給の有無別に見ると、「ある」と答えた者の割合は「奨学金なし」の学生において最も高く52.1%(不詳16.0%)、「文部省以外の奨学金受給学生」の場合が次いで高く38.9%(不詳15.4%)、「文部省留学生」の場合が最も低く33.8%(不詳21.3%)である。これは家族員に海外留学の経験のある者のいる家庭では、奨学金がなくても子弟を日本に送り得ているが、そうでない家庭の場合には文部省など奨学金支給に頼らざるを得ない場合が多いということを端的に示唆するであろう。

(4) 元留学生の場合の父親の職業は、「無職、無回答」が68.8%で、その他については次の通りである。会社員(10.1%)、公務員(5.8%)、農業(5.1%)、教師(2.9%)、商業(2.9%)、自由業(0.7%)、その他(3.6%)である。

(5) 兄弟、姉妹の数については、男子だけで4人以上というもの17.4%(ただし「無回答、0人」が9.4%)、女子だけで4人以上というもの5.8%(ただし「無回答、0人」が31.9%)である。途上国ほどこの割合の高い傾向は在日留学生の場合と同様である。

(6) 家族員中、「海外留学の経験のある者」について、「ある」と答えた者は32.6%、「なし」58.0%、「無回答」9.4%である。「ある」の答の割合が在日留学生の場合にくらべて低いのは、この場合文部省留学生の割合が高いことと関連して、前述と照応するものであろうか。奨学金受給の有無別との関係も、在日留学生の場合とほぼ同じようなものとして理解される。

(川野 重任)

## 序章 課題と方法



## 序章 課題と方法

この研究は総合研究開発機構、昭和59年度第1類助成研究「在日留学生の学習と生活条件に関する研究——人的能力開発の課題に即して」についての報告書である。

### I 課題とアンケート

#### 1 課題

この研究はわが国の外国人学生の受入れに関連して、その学習条件ならびに生活条件を明らかにすることをねらいとする。1983年8月、わが国の外国人学生受入れについてのいわゆる「中曽根構想」なるものが発表されたが、それによると、2000年には現在の12,000人がおよそ10万人にも及ぶものとして構想されている。しかし、この構想が期待に従って支障なく実現するためには、来日外国人学生、すなわち留学生達の学習条件ならびに生活条件について多くの問題があると考えられる。何よりも日本人は教育上の国際交流、すなわち、学生、研究者の国際交流について特殊な地位にある。

わが国の学生、研究者の多くは欧米を志向する一方、わが国への留学生の多くは近隣途上国からのそれである。しかも後者の数は前者を下廻る。つまり、留学生受け入れについては、日本はアメリカを始め西欧諸国にくらべては、明確に後発、途上国の地位にあるとあって差支えない。しかも言語的には、国際的なお通用度の低い日本語でもっぱら大学などの講義、演習、実験などが行われているという実情にある。これは来日留学生達の多くに対しては、事実上、使用言語の点で欧米への留学にくらべて特別の負担を加えることとなる。

その他、大学制度、奨学金制度、生活条件、物価事情などからして、日本への外国人学生達の来日、留学については多くの支障ありとされ、これまでもその実情解明のために大小の調査が行われてきた。

しかし、その対象は多くの場合、特定地域ないし特定大学のそれに限られてきた。そこでこの研究では、その対象を一層ひろく、元日本留学生すなわちかつて日本で学

び現在その母国に帰国している人々にまでひろげ、在日、帰国元留学生双方について広汎なアンケート調査を行うこととした。

## 2 アンケート

アンケートの内容については、後掲付表の通りであるが、主体を在日留学生におき、その学習条件ならびに生活条件について前後18項目にわたる質問を發するとともに、日本經濟の發展についての所見をただし、さらに家族關係について若干の質問を發した。

元留学生に対しては、上述の質問中、日本語の学習、大学学部、大学院での学習条件など、在日留学生の現状に関する部分をはぶき、帰国後の狀況など元留学生に固有の事情についての特別の質問若干を加えた。

また、質問は日、英両文で行ない、回答者の便に資するとともに、その答え方の如何を分析の資料とすることもねらいとした。ただし、自由意見を述べる箇所では、如何なる言語によることも可としたが、これも同様の趣旨による。

在日留学生に対するアンケートの趣旨は次の通りである。

### (1) 「あなたの教育について」

回答者がどのような動機、どのような資格、どのような留学計画をもって来日したかを知るためである。動機については、果して日本が第1優先の志望国であったかどうか、資格、条件については、特に奨学金關係が重視される。奨学金の有無、多寡が留学動機となる場合も少なくないからである。

### (2) 「日本語の学習について」

日本語能力の現状を自らどう評価するかを問うとともに、母国での学習機會の有無、その形などとの關係を明らかにする。

### (3) 「学部での学習について」

学部課程でのカリキュラムの難易の評価と併せて、講義などの理解度を確かめる。もし、理解困難がカリキュラムにあるとすれば、カリキュラム自体再検討が必要ということにもなるからである。

### (4) 「大学院での学習について」

学位取得の希望の有無、内容と日本の学位への評価ならびに、日本での学位のいわゆる「取得難」についての見解を聞く。

### (5) 「日本留学への評価」

学習条件、生活条件を含めて、全体として日本留学をどう評価するかを聞くとともに、宿舎条件についての希望をたずねます。

(6) 「日本経済の発展について」

教育制度、人口条件、労働体制の3つの条件を挙げて、これらと日本経済の発展との関係についての所見をたずねるとともに、人的能力開発の重要性についての認識をたずねます。総じて日本留学をどのように評価するかということとともに、自らの日本留学の意味をどのように評価しているかを見たいためである。

(7) 「あなたの家族について」

男女別兄弟姉妹の数を含めての家族の規模とともに、それぞれの海外留学の経験の有無を問う。間接にその社会的、経済的背景を知りたいためである。

(8) 元留学生に対するアンケート中、特別に加わった部分は「日本留学への評価」について、帰国後の職業、生活面において、日本での学習、学位、生活体験などがどのように機能しているかを問うことを中心とする。そこでの積極的、消極的評価の如何が留学効果の判断資料ならびに受入れ対策樹立上の資料として重要性をもつこというまでもない。

(9) なお、国籍、地域別、性別、年齢、所属大学、学部、大学院、奨学金の有無など、その所属、条件を出来得れば明らかにして貰いたい旨求めたが、各種所見の背景を明らかにしたいという趣旨からのことに他ならない。

## II 調査方法とアンケートの回収

### 1 調査方法

アンケートのうち、在日留学生対象の分の配付については、財団法人日本国際教育協会関係者の特別の斡旋により、後掲のような諸大学、諸団体の留学生担当部局の各位のご支援を煩わすこととなった。また、文部省留学生課にも側面的に積極的ご支援を頂いた。アンケートの配布、回収については、調査票を一括、それらの諸機関、諸組織に届け、一切をそれら関係者の配慮に待つこととした。

また、元留学生対象の分については、同じく日本国際教育協会の帰国者名簿の中から、現在、同協会の資料送付その他の関係で連絡のとれやすいと思われる者600名を選び、その中から無作為に300名を選んで、直接本人宛調査票を発送した。ここに、アン

ケートの配布、回収にご支援頂いたこれらの関係者に併せて、回答を寄せられた在日および元の留学生に対して心からの敬意を表わしておきたい。

## 2 アンケートの回収

アンケートの配布、発送は1984年11月から12月にかけて行なわれ、回収は1985年3月を期限として行われた。在日留学生分については、アンケート配布数1,969、回収967で回収率49.2%、元留学生分については、前述の通り発送300に対して、回収は147、有効回答者数は138であった。

本来、この種のアンケート調査の理想としては、無作為抽出法によるべきであろうが、全国に分散する留学生12,000人を対象としてこのような方法をとることは、事実上不可能と考えられた。そこで連絡のとれやすい人的関係をもととして、選別的に大学、寮などが選ばれることとなったが、結果は次表 序-1の通り、大学はほとんど国立大学ということとなった。

従って、アンケート回答を寄せた留学生も多くがいわゆる「文部省留学生」、すなわち日本政府からの奨学金受給者たる留学生ということになり、また、私費留学生の中でもいわゆる「学習奨励生」として同奨学金を財団法人日本国際教育協会を通じて受ける留学生の割合を高めることとなった。1984年5月現在、在日留学生総数12,410人中、文部省留学生は2,345人、18.9%であるが、これに対してこのアンケート調査では967人中、そのようなものとして判っている者だけでも464人、48.0%であり、比重が格段に高い。

関連して、その出身国、出身地域、国公立大学別所属、学部、大学院の専攻別などにおいて、全体のそれとの間に少なからぬずれをもつであろうことも当然である。従って、第1章以下の回答分析の評価においても、このことを特に留意しておかねばならない。

## 3 回答者の性格

回答者の性格は、在日留学生、元留学生それぞれについて、表 序-2、序-3の通りである。これを両者の比較を含めて示せば、大要次の通りである。

(1) 男女の割合は在日留学生の場合と元留学生の場合でそう変わらず、男65%前後であるが、日本語による回答率では、いわば現役の在日留学生の場合の方が元留学生の

場合よりかなり高い。後者の場合44.2%に対して、前者の場合は61.8%である。

(2) 韓国、中国など東アジア地域出身者の割合は、在日留学生の場合44.9%を占めるが、元留学生の場合は24.6%として格段に落ちる。代って西欧出身者の比率が高まる。西欧出身者の比率は、在日留学生の場合2.9%に対して、元留学生の場合は18.8%となる。

なお、在日留学生、元留学生の場合ともに、国別所属の不明（N・A）のものの割合が、地域別のそれよりも高いのは一見不思議に見えるが、これはアンケートで国別所属と地域別所属とを別々に聞き、回答者として地域別では答えても国別では答えなかったものが少なくなかったことによると思われる。

(3) 所属、出身の大学については、いずれの場合も国公立大学の比重が圧倒的に高いが、元留学生の場合には90%を超える。関連して、大学院出身者の比重が元留学生の場合高まる。在日留学生の場合42.9%に対して、元留学生の場合は73.2%に及ぶ。専攻では、工、理他農、医、薬などを含む広い意味での理系が大部分を占め、在日留学生の場合はその割合61.1%、元留学生の場合はさらに高まって73.3%となる。

(4) 奨学金関係では、在日留学生の場合文部省奨学金受給者48.0%に対し、元留学生の場合は86.9%と高まる。在日留学生の場合、「その他奨学金」受給者が32%に及ぶのは、1978年に始まった私費留学生学習奨励生制度による奨学金受給者145人の回答の寄せられたことが大きく影響していると思われる。

(川野 重任)

表 序一 在日留学生アンケート 配布先, 回収状況

1985, 3, 26締切

	配布先	配布数	回収数	回収率	留学生会館等の名称
1	北海道大学	70	25	35.7	留学生会館・学寮・学寮(女子寮)
2	帯広畜産大学	15	12	80.0	国際交流会館
3	東北大学	85	43	50.6	国際交流会館
4	埼玉大学	20	22	110.0	国際交流会館
5	筑波大学	194	105	54.1	(学生宿舎)
6	千葉大学	120	87	72.5	留学生寮
7	東京大学	40	8	20.0	インターナショナルロッジ
8	東京外国語大学	45	14	31.1	日本語学校寄宿舎, 国際交流会館
9	東京工業大学	75	44	58.7	留学生会館
10	横浜国立大学	100	67	67.0	国際交流会館
11	豊橋技術科学大学	15	5	33.3	国際交流会館
12	名古屋大学	75	56	74.7	留学生会館, インターナショナルレジデンス
13	京都大学	55	38	69.1	国際交流会館
14	大阪大学	30	19	63.3	国際交流会館
15	大阪外国語大学	60	12	20.0	留学生寮
16	神戸大学	40	—	—	インターナショナルレジデンス
17	岡山大学	30	17	56.7	外国人留学生・研究員宿泊施設
18	九州大学	150	82	54.7	古賀留学生寮, 留学生会館
19	長崎大学	25	6	24.0	国際交流会館
20	鹿児島大学	30	21	70.0	留学生会館
21	東海大学	50	15	30.0	国際会館
22	国際学友会(仙台)	35	19	54.3	仙台留学生会館
23	アジア学生文化協会(東京)	30	6	20.0	アジア文化会館
24	東南アジア文化友好協会(〃)	20	3	15.0	
25	駒場留学生会館(〃)	170	38	22.4	駒場留学生会館
26	国際学友会(京都)	35	12	34.3	京都留学生寮
27	母と学生の会(〃)	15	3	20.0	国際女子留学生センター
28	関西国際学友会(大阪)	40	10	25.0	関西国際学友会館
29	アジア学生文化協会(広島)	20	3	15.0	広島アジア文化会館
30	(私費学習奨励生)	190	145	76.3	
	計	1,969	967	49.2	

(注) 1. 配布先30ヶ所, 1,969部発送, 967部回収, 回収率49.2%.

2. なお, 配布先でリプリントして配布数を増やしたところが3ヶ所あり, 例えば4, 埼玉大学のように回収率が100%を超えることもあった。

3. 「元留学生」アンケートは回収数147部, 有効回答数138部である。

表 序一 2 在日留学生（回答者）の性格

2-(1) 男女別，回答言語別

総計		男女別						回答言語別			
		男		女		N.A		日本語		英語	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
967	100.0	642	66.4	225	23.3	100	10.3	598	61.8	369	38.2

2-(2) 国別

総計		国別											
		韓国		中国		台湾		マレーシア		その他		N.A	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
967	100.0	106	11.0	146	15.1	175	18.1	23	2.4	329	34.0	188	19.4

2-(3) 地域別

総計		地域別											
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
967	100.0	21	2.2	51	5.3	28	2.9	3	0.3	19	2.0	9	0.9
		南アジア		東南アジア		東アジア		オセアニア		N.A			
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
		45	4.7	261	27.0	434	44.9	12	1.2	84	8.7		

2-(4) 国公立別，学籍区分別

総計		国公立・私立大学別						学籍区分別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
967	100.0	824	85.2	132	13.7	11	1.1	298	30.8	415	42.9	220	22.8	34	3.5

2-(5) 専攻別

総計		専攻別																				
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A		
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
967	100.0	291	30.1	87	9.0	88	9.1	26	2.7													
		27	2.8	53	5.5	136	14.1	38	3.9	122	12.6	99	10.2									

2-(6) 奨学金類別

総計		奨学金類別							
		文部省奨学金		その他奨学金		私費留学		N.A	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
967	100.0	464	48.0	311	302.1	169	17.4	23	2.4

表 序-3 元留学生（回答者）の性格

3-(1) 男女別，回答言語別

総計		男女別						回答言語別			
		男		女		N.A		日本語		英語	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
138	100.0	91	65.9	29	21.0	18	13.0	61	44.2	77	55.8

3-(2) 国別

総計		国別											
		韓国		中国		台湾		マレーシア		その他		N.A	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
138	100.0	23	16.7	1	0.7	11	8.0	5	3.6	87	63.0	11	8.0

3-(3) 地域別

総計		地域別											
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
138	100.0	3	2.2	5	3.6	26	18.8	6	4.3	14	10.0	0	0
		南アジア		東南アジア		東アジア		オセアニア、		N.A			
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%		
		3	2.2	35	25.4	34	24.6	4	2.9	8	5.8		

3-(4) 国公立別, 学籍区分別

総計		国公立・私立大学別						学籍区分別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
138	100.0	126	91.3	8	5.8	4	2.9	33	23.9	101	73.2	—	—	4	2.9

3-(5) 専攻別

総計		専攻別											
		理工		農学		医・薬学		その他理系					
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%				
138	100.0	48	34.8	23	16.6	13	9.4	5	3.6				
		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
		5	3.6	14	10.1	7	5.1	2	1.4	9	6.5	12	8.7

3-(6) 奨学金類別

総計		奨学金類別							
		文部省奨学金		その他奨学金		私費留学		N.A	
実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
138	100.0	120	86.9	6	4.4	7	5.1	5	3.6



第1章 日本留学の動機と経緯  
——留学生の教育歴——



## 第1章 日本留学の動機と経緯——留学生の教育歴——

### はしがき

本章は教育歴についての報告である。在日外国人学生についての事項は4つに分かれる。第1は、来日してから大学に入学するまでの事情である。一般的にいえば、来日にあたって保証人を立て、各種の機関からの奨学金を受け、来日してから日本語学校で日本語を学び、それから、それぞれの大学に入学する。以下、入学した大学の種類、学籍区分、専攻分野などについてきいている。

第2は、日本留学の動機についてである。日本留学を決めるにあたっての影響力は何か、ということであり、また、日本は第一志望の国であったか、ということもきいている。帰国後の計画はこれに関連するので、ここに含める。

第3は、その入学した大学についての留学生の評価である。その大学はよい大学であるか、専門分野により研究者がいるか、教育環境はよいか、をきいている。

第4は、日本に留学する以前に他国に留学したことがあるか、ということである。

元留学生については、第1に、日本に留学した経緯の大要であり、第2に、日本留学の位置づけとして、学位論文を何語で書いたか、日本留学以前と終了後の外国留学の経験、をきいている。

この調査の結果は、本書の巻末・付表において、男女別、国別、地域別、専攻別、国公立大学別、奨学金類別に分けて整理され、とりまとめられている。本章も、この（付表）をもとに、それぞれの事項について、重要な諸点をとりあげてゆく。一般的にいえば、地域別の特徴に記述の重点が置かれることになる。なんといっても、在日外国人学生では、東アジアの回答数とその総数の半数近くを占め、また、元留学生でも、東アジアと東南アジアとの合計がその総数の半ばを占めていることから、これらとその他の地域とを対比しての特徴が主な関心となるからである。

## I 在日外国人学生の教育歴

在日外国人学生の主要な特徴は次の如くである。

回答者総数 967人

男女別 男642人(66.4%) 女225人(23.3%) 不明100人(10.3%)

在籍大学 国公立824人(85.2%) 私立132人(13.7%) 不明11人(1.1%)

学籍区分 学部298人(30.8%) 大学院415人(42.9%) 研究生220人(22.8%) 不明34人(3.5%)

専攻別 理工291人(30.1%) 農学87人(9.0%) 医学88人(9.1%) その他理科26人(2.7%) 日本語27人(2.8%) 人文社会53人(5.5%) 経営経済 136人(14.1%) 政治法律38人(3.9%) その他文科122人(12.6%) 不明99人(10.2%)

奨学金有無 有り775人(80.1%) 無し169人(17.5%) 不明23人(2.4%)

奨学金類別 文部省奨学金464人(59.9%) 私費奨学金159人(20.4%) その他151人(15.6%) 不明2人(0.3%)

出身国(地域)別 北米21人(2.2%) 南米51人(5.3%) 西欧28人(2.9%) 東欧3人(0.3%) 中東19人(2.0%) アフリカ9人(0.9%) 南アジア45人(4.6%) 東南アジア261人(27.0%) 東アジア434人(44.9%) オセアニア12人(1.2%) 不明84人(8.7%)

### 1 大学入学の経緯

#### (1) 入国年と入学年・日本語学校への入学

留学生の日本入国は1980～1984年に61%と多く、入学は1981～84年に82%と多い。1年のずれがある(表1-1)。ただし、入国年には292人、30%の無回答がある。入学年にはそれほどの無回答はない(8%)から、入国年についての無回答はかなり高い。この要因は東アジアの223人によるのであって、この223人は292人の76%に及ぶ。また、この223人は東アジアの総数434人の51%に上る(付表A-III)。なお、この中の韓国の無回答数は70人であって、この70人は韓国の留学生総数106人の66%になるのである(付表A-II)。その実態ははっきりしていない。

なお、この無回答を国公立別、学籍区分別、奨学金類別にみると、それが平均の30%を上回っているのは、国公立33%、大学院38%(研究生30%)、奨学金なし46%、文部省以外の奨学金35%となっている。さすがに、文部省奨学金生のそれは21%と少ない(付表A-V)。

ところで、この1年のずれには、日本語学校への入学が予想される。日本語学校に入学したか否かをみると、約半数467人、48%が入学している。しかし、入学しないとするのは164人、17%であって、ここでも残りの無回答もまた東アジアに多く、その合計255人は全体336人の76%となる（付表A-III）。なお、東アジアの中の韓国のそれは82人、これはその留学生総数106人中の77%となっている（付表A-III）。

なお、この無回答率を国公私立別、学籍区分別、奨学金類別にみると、平均の35%以上のものは、国公立38%、大学院44%、奨学金なし51%、文部省以外の奨学金42%となっている。文部省奨学金生のそれは23%と低く、これらも上にみた入国年無回答と同じような傾向にある（付表A-V）。

表1-1 入国年と大学入学年

	入 国	入 学
1974年以前	9 <sup>人</sup> %	3 <sup>人</sup> %
75	4	0
76	5	1
77	9	8
78	15	5
79	41	22
80	97 (10)	47
81	117 (12)	135 (14)
82	97 (10)	204 (21)
83	147 (15)	187 (19)
84	132 (14)	271 (28)
85	2	10
無 回 答	292 (30)	74 (8)
計	967 <sup>人</sup>	967 <sup>人</sup>

（出所）付表A-1（総計）より抽出，要約。

## (2) 入学大学の種類と学籍区分

国公立と私立とに分けて、留学生はそのどこに入学したのか。全体の85.2%は国公立に入っている（私立は13.7%）。しかし、これを男女別にみると、国公立には男子が多く（569人中の89%）、女子はわりと私立が多い（168人中の23%）ようである。また、学部、大学院別にみると、大学院43%、学部36%、研究生23%となっている。これも男女別に差があり、男子は46%が大学院、女子は44%が学部である。

この国公私立別、学部大学院別を国別、地域別にみる（付表A-II，A-III）。

国公私立別における地域の特徴は、東アジアに私立の割合が18.4%と最も高いということである。もっとも、韓国は10.4%と低い。また南アジアも15.6%と平均の13.7%を上回っている。その他の地域で、これが平均を上回っているのは、西欧17.9%、オセアニア16.7%、北米14.3%と3地域であるが、これらはいずれもその絶対数は少ない。これは要するに、絶対数の多いアジア地区の中でも東アジアと南アジアとは私立が多く、東南アジアには少なく（8.8%）、地域的に差がみられるということである。

学部大学院別においてもアジア各地域に差がある。南アジアは大学院60%、研究生

33%となって学部はほとんどないが、東南アジアは大学院41%、学部38%、東アジアは大学院42%、学部38%とほぼ同じ割合で、両者は似たような傾向にある。なお、韓国は60%が大学院である。これ以外の地域は絶対数は少ないが、相対的にみると大学院、研究生レベルの割合が多い(北米——大学院23%、研究生67%、南米——大学院24%、研究生47%、西欧——大学院21%、研究生64%、東欧——大学院なし、研究生66%、中東——大学院79%、研究生16%、アフリカ——大学院67%、研究生22%など)。

これを要するに、アジア地区はそれぞれの地域の事情によって、大学院と学部とに分かれているが、それ以外の地域からでは大学院研究生が多いようである。

### (3) 専攻分野別

専攻分野別ではどうなっているか(付表A-IV)。全体としては、理科系492人(51%)、文科系376人(39%)となって、理科系が少し多い(無回答99人、10%)。部門では理工が291人(30%)と最も多く、経営経済136人(14%)、その他文科122人(13%)と続いている。

これも男女別に特徴があり、男子は理科系384人、文科系200人(無回答58人)と理科系は文科系の約2倍であるが、女子は、反対に、理科系60人、文科系141人と文科系が理科系の2倍以上である。部門別にみると、男子は1位理工240人(37%)、2位経営経済86人(13%)となって理工が多いが、女子は1位その他文科52人(23%)、2位経営経済40人(18%)となって、その他文科が多い。

地域別にみると(付表A-III)、アジア地域全体では総計740人のうち、理科系、375人(51%)文科系290人(37%)無回答70人と理科系に多く、また、この割合は東アジア、東南アジア、南アジアともにはほとんど同じである。分野では、1位理工30%、2位経営経済14%と、これまた全体の傾向を表わしている(アジアの地域別では東南アジア、南アジアはこの通りの順位であるが、東アジアではその他文科14%が経営経済の13%を僅かにぬいて2位)。アジア以外の地域では、北米、西欧、オセアニアの3地域に、文科系の方が理科系よりも多いのが特徴である(北米21人うち理系6文系14、不明1、西欧28人うち理系12文系16、オセアニア12人うち理系4文系8)。もっとも部門では理工が相対的には多い。北米は21人中5人その他文科、4人理工、西欧は28人中理工8人、経営経済7人、オセアニアは経済3人、その他文科、農学各1人である。

残りの南米、中東、アフリカ、東欧の4地域は理科系の方が多。南米51人うち理系34文系12不明5。中東19人うち理系14文系4不明1。アフリカ9人うち理系6文系なし不明3。東欧3人うち理系2文系1。部門ではいずれも理工が多いが、特に、南

米は51人中1位理工18人(35%)、2位医薬11人(22%)、中東は19人中1位理工9人(48%)、2位医薬5人(26%)と医薬の割合の高いのが注目される。

次いで、これを国公立別にみると(付表A-V)、国公立では総数824人のうち、理科系459人(56%)文科系278(34%)不明87人と理科系にウェイトがかかっているが、専攻別では1位の理工263人32%と圧倒的に多いのを別にすると、2位以下はその他文科11%、経営経済11%、農学および医薬学各10%と目白押しにならんで、ここでは文科系と理科系とが拮抗している。これに対して、私立は総数132人のうち、理科系30人(23%)文科系95人(72%)不明7人と文系にはっきりと逆転しており、分野別にみても、1位経営経済30%、2位その他文科23%、3位理工20%と文科系の方がはっきりと優勢であることが示される。

学籍区分別は、それぞれについて簡条書きとし、また、専攻分野はそれぞれの3位までのものを示すこととする。

	学部	大学院	研究生
理系	129人	244人	115人
文系	151人	139人	75人
無回答	18人	32人	30人
計	298人	415人	220人
1位	理工28%	理工32%	理工32%
2位	経営経済24%	農学15%	その他文科16%
3位	その他科14%	経営経済11%	医薬学11%

学部に文科系の多いのが特徴であり、大学院、研究生の方には理科系が多い。もっともいずれにあっても1位は理工である。

#### (4) 日本留学の保証人と奨学生

日本留学の保証人は文部省255人、26%と友人知人232人、24%とが相半ばしている。保証人が文部省であるものは文部省留学生である。その他は183人、19%であり、親類は58人、9%とわりに少ない(無回答204人、21%)。これも男女別にみると、男子は1位の文部省が26%、女子は1位の友人知人が36%と、女子に友人知人の割合が多い。

しかし、これを地域別についてみると(付表A-III)、東アジアは総計434人のうち、

1位友人知人が156人、36%、2位その他120人、28%、3位親類62人、14%で、文部省は4位32人、7%にすぎない(無回答64人、15%)。これは東アジアからの留学生には文部省留学生の比重が小さいからである。なお、この中の韓国をみると(付表A-II)、総計106人のうち、1位友人知人33人、31%、2位その他28人、26%、3位親類19人、18%、4位文部省16人、15%となっている(無回答10人、9%)。いずれにしろ、東アジアでは、文部省のウェイトが極めて小さいのである。

この東アジアの434人は総数967人の54%となるので、以下では、地域別にみるよりも、この東アジア以外を一括した方がその特徴をみやすくさせるであろう。そこで、東アジアを除いて計算してみると、親類31人5.8%、友人知人76人14.3%、文部省223人41.8%、その他63人11.8%、無回答140人26.3%(計533人)となって、文部省のウェイトが42%と極めて高くなるのである。

東アジアの留学生の保証人に文部省の少ないことは、東アジアの留学生中文部省の奨学金を貰っている者の割合の低いことを予想させる。このことは女子についても同様である。そこで、以下では、奨学金の有無と奨学金の種類とについて記述することとする(付表A-V)。

奨学金を貰っている人は、全体の80%775人に達している。貰っていない人は18%169人である(無回答23人、2%)。この割合は男女別にも変わっていない。貰っている人の中の464人、60%は文部省の奨学金であって、その全体に占める割合が高い。

奨学金を貰っている人を男女別にみると、男子の60%が文部省奨学金、19%が日本私費留学生奨学金である。これに対し、女子は文部省が50%、私費が30%と私費の割合が男子よりも高くなっている。

さて、それでは、東アジアについてはどうであるか。ここでもさきにならって、全域を東アジアと東アジア以外の地域とに分け、奨学金を貰っている人と貰っていない人、また、貰っている人の奨学金種類別について、表1-2として一括して示す。

まず、東アジアで奨学金を貰っていない人は106人であって、貰っていない人の総数168人の63%となる。この106人は東アジアの留学生総数434人の約4分の1、24%を占め、全体の平均の18%より大分高い。なお、この中の韓国では28%もある。したがって、東アジア以外の地域でのそれは12%と少なくなっている。ここに東アジアの1つの特徴がある。

次に、奨学金を貰っている人の東アジアの特徴は、第1に、文部省奨学金生が31%とかなり低く、かえって、日本の私費奨学金生の方が35%とこれを上回っていること、第2に、母国政府奨学金生が23%と相対的に高いこと、の2つである。もっとも、

表1-2 奨学金

		全 域	東アジア	うち韓国	東アジア以外
貰っていない		169 <sup>人</sup> (18)%	106 <sup>人</sup> (24)%	30 <sup>人</sup> (28)%	63 <sup>人</sup> (12)%
貰っている		775 (80)	319 (74)	76 (72)	456 (86)
無 回 答		23 (2)	9 (2)	0	14 (3)
計		967 <sup>人</sup>	434 <sup>人</sup>	106 <sup>人</sup>	533 <sup>人</sup>
奨 学 金	母 国 政 府	94 <sup>人</sup> (12)	73 <sup>人</sup> (23)	1 <sup>人</sup> (1)	21 <sup>人</sup> (5)
	母 国 民 間	12 (2)	11 (31)	4 (5)	365 (80)
	文 部 省	464 (60)	99 (31)	39 (51)	365 (80)
	日 本 私 費	158 (20)	110 (35)	30 (40)	48 (11)
	日本地方自治体	11 (1)	7 (2)	0	4 (1)
	そ の 他	34 (4)	18 (6)	2 (3)	16 (4)
	無 回 答	2 (0)	1 (0)	0	1 (0)
計		775 <sup>人</sup>	318 <sup>人</sup>	76 <sup>人</sup>	456 <sup>人</sup>

(出所) 付表 A-I (総計), A-II (国別), A-III (地域別) より抽出, 要約。

韓国は文部省51%, 日本私費40%と文部省の方が高く, 母国政府は1%となっている。

これに対して, 東アジア以外の地域では文部省が80%と, そのウェイトは極めて高く, 日本私費は11%, 母国政府に至っては, 5%と極めて低い。この両者ははっきりと対照的である。

#### (5) 奨学金類別

ここで, 奨学金受給生を国公立と学部大学院との区分けについてみる。ここでは奨学金を「文部省」「文部省以外の奨学金」「奨学金なし」の3つとする(付表A-V)。

文部省の奨学金受給生は国公立に94%と圧倒的に多い(私立5%)が, 奨学金なしも国公立が92%と高い(私立6%)。これに対して, その他の奨学金受給生は国公立に70%と比較的低く, 私立は, 上の2つに比べて, 29%と割りに高いのである。

学部大学院別においては, 文部省の奨学金受給生は大学院55%, 研究生31%と, 大学院レベルに集中している(学部13%)。奨学金なしも大学院38%, 研究生26%, と比較的大学院レベルに多い(学部29%)。これに対して, その他の奨学金受給生は, 逆に, 学部に59%と集中している(大学院28%, 研究生10%)。

#### (6) 奨学金の月額

それでは、これら奨学金の月額はいくらであるか。本調査では、上にもみたように、その奨学金の種類を、文部省、日本私費、母国政府などと分けており、また、それぞれにその月額をきいている。なおこれには重複受給者も含む。文部省の研究留学生の奨学金月額は173,000円、学部留学生のそれは130,000円であり、また、私費留学生奨学金などにもそれぞれに標準の金額があるが、概して私費のそれは文部省のそれよりも低い(付表A-V)。

そこで、「文部省」と「その他」との2つに分けてみると、「文部省」464人の大半82%は15~20万円の月額であるが、「その他」311人は1位5万円~43%、2位5~10万円33%、計76%となっていて、極めて低く、文部省の高いとの対応しているようである。この2つを足して全体をまとめると、そのほとんど95%は20万円以下であるが、この中の15~20万円は全体の約半数の51%を占める。

これを男女別にみると、男子1位15~20万円 52.4%、2位5万円~ 16.1%と標準並みであるが、女子は1位15~20万円 39.3%、2位5万円~ 32.6%となって、5万円以下のウェイトが割合と高い。男子には文部省留学生が多く、女子には日本私費留学生がわりと多かった。

また、学部大学院別にみると、学部では5万円~が53.9%と高く、大学院では15~20万円が71.5%と高い。研究生もこれに準ずる。大学院レベルには文部省が多く、学部には私費が多かった。

国公立にも差がある。国公立は15~20万円が57.2%であるが、私立は5万円以下が73.9%を占める。

さて、地域別であるが、ここでも上の例にならって、全域を東アジアと東アジア以外とに分け、表1-3に示す。

東アジアでは5万円以下が34%と最も多く、これに5~10万円の26%を加えると57%となる。15~20万円は27%と少ない。東アジアでは文部省が少なく(31%)、日本私費(35%)、母国政府(23%)が多かった。なお、この中の韓国は1位15~20万円46%、2位5万円以下21%であって、文部省が割りと多かった(51%)。

東アジア以外の地域では、15~20万円のウェイトが68%と極めて高くなる。これは、文部省のウェイトが高いこと(80%)を示しているのである。

表1-3 将学金月額

	全 域	東アジア	うち韓国	東アジア以外
～50千円	147 <sup>人</sup> (19)%	109 <sup>人</sup> (34)%	16 <sup>人</sup> (21)%	38 <sup>人</sup> (8)%
50-100	105 (14)	82 (26)	9 (12)	29 (6)
100-150	85 (11)	25 (8)	13 (17)	60 (13)
150-200	396 (51)	85 (27)	35 (46)	311 (68)
200-250	3 (0)	1 (0)	1 (1)	2 (0)
250-300	2 (0)	0	0	2 (0)
無回答	37 (5)	17 (5)	2 (3)	20 (4)
計	775 <sup>人</sup>	319 <sup>人</sup>	76 <sup>人</sup>	456 <sup>人</sup>

(出所) 付表A-I (総計), A-II (国別), A-III (地域別)より抽出, 要約。

## 2 日本留学の動機

### (1) 日本留学決定への影響力

日本留学を決める影響力, ついては, それぞれに「大きな影響力あり」「一応影響力」「全く影響なし」「なんともいえない」の4つの形での答えが用意されている(付表A-I参照)。ここでは, 「大きな影響力」「一応影響力」の%の合計を(影響力あり)とみなし, これを「全く影響力なし」の%と比較して, その影響力の有無の記述を行なうこととしよう。

この約束の下に, (影響力あり)の%の高いものから順次に並べ, これが「全く影響力なし」の%を上回っているところまでで止めることとする。なお, 「大きな影響力」「一応影響力」の%は(影響力あり)の( )の中に示して参考としよう。次のようになる。

順位(項目番号)	影響力あり	全く影響なし
1 (11) 日本の文化, 社会経済, 技術水準に関する関心	85.6%	7.4%
	(大きな影響力 44.4	一応影響力 41.2)
2 (14) 日本に対して一般的な親近感	55.0%	30.1%
	(14.4	40.6)
3 (3) 母国における日本留学についての高い評価	54.4%	29.4%

	(13.0 41.4)	
4 (2) 先生, 先輩, 知人等からの日本留学への勧め	52.7%	37.3%
	(22.2 30.2)	
5 (1) 母国に適切な勉学, 研究の機会なし	47.9%	37.3%
	(19.5 28.8)	
6 (7) 母国のかかえる問題が日本と似ている	47.9%	34.0%
	(19.2 30.5)	

14の項目の中の6の項目だけであって、あとは「全く関係なし」の方が(合計)よりも高いのである。

この6の項目の中の(11)日本文化等に関する関心、だけは他の5の項目と違って「全く影響力なし」の%が極めて低く(7.4%), また「大きな影響力」の%がずばぬけて高い(44.4%)。

これについては、(15)理由の自由記入、の項目に、例えば、西欧が「ヨーロッパと違った文化に興味がある。国際社会に日本がダイナミックに現われる」といった書き込みがいくつかある。

その他の項目については、地域による条件も異なって、必ずしもそうとはいえないものもあろうし、また、「全く関係なし」の%もかなり高い。

そこで、地域別である。まず、東アジアとそのうちの韓国をとって表1-4に示す。東アジアと韓国とは、その順位は違っているものの、全く同じ9項目をあげている。これには、全般の6項目はすべて入っており、これに加えて、(6)日本との距離、(10)日本でしか得られない勉学研究機会、(13)日本語の学習経験あり、の3項目が入っている。(6)距離、は東アジアの特殊事情としても、あとの2項目について、アジアの人々は、自分の希望とする勉学研究は日本でしかできない、と考え、そのため、自国で日本語を学習しているのであろう。この2項目は注目しておいてもよい。

それでは、東アジア以外の地域ではどうであろうか。ここでは、各項目ごとに(影響力あり)の合計%だけを掲げ、また地域における各項目ごとに(影響力あり)の合計%だけを掲げ、また地域における各項目の順位は地域ごとに①のようにして示すこととする。(表1-5)。

まず、アジア地区からである。東アジアにおいて、上にみられた各項目の中、(6)距離、が、オセアニアにはあるが、その他の地区にでていないのはむしろ当然であろう。オセアニアは割りと日本に近いと考えているらしい。また、逆に、(8)文部省の奨学金

表1-4 日本留学決定への影響力(東アジア, 韓国)

項目	東アジア		うち 韓国		
	影響力あり (大きな影響力) (一応の影響力)	影響力 なし	項目 番号	影響力あり (大きな)	影響力 なし (一応)
(1)日本の文化など水準	83.0% (39.2% 43.8%)	9.4%	(1)	80.2 (34.0 46.2)	15.1
(3)日本留学への評価	62.2 (14.7 47.5)	20.7	(6)	72.6 (29.2 43.4)	22.6
(4)日本への親近感	59.2 (15.7 43.5)	24.0	(2)	69.8 (38.4 31.1)	27.4
(6)距離的に近い	58.5 (21.2 30.6)	30.2	(7)	63.2 (28.3 34.9)	23.6
(2)先生などの勧め	58.0 (25.2 32.7)	30.4	(1)	62.3 (20.8 41.5)	28.5
(7)母国の問題に近い	52.0 (21.4 30.6)	27.4	(3)	58.5 (9.4 49.1)	32.1
(1)母国に勉学機会なし	47.9 (15.9 32.0)	35.0	(14)	53.8 (10.4 43.4)	34.9
(3)日本語の学習経験	47.7 (18.7 29.0)	42.4	(13)	51.9 (23.6 28.3)	41.5
(10)日本でしか得られない機会	41.9 (15.9 26.0)	41.7	(10)	47.2 (15.1 32.1)	43.4

(出所) 付表 A-II (国別) A-III (地域別) より抽出, 要約。

が得られた, が東アジアに現われないのは, 上にみてきたように, 東アジアには私費留学生が多いからである。その他の地域にはすべて出ているのも特徴的である。

また, 東アジアにあって, 南アジア, 東南アジアにない項目に, (10)日本でしか得られない勉学の機会, と(13)日本語の学習経験, とがある。しかも, この(10)の項目は, その他の地域で, アフリカを除いて, すべてあげていることに注目される。これは, あとでもう一度ふれる。

続いて, アジア地域以外の地域に進むが, ここでは, 各地域で万遍なくあげられた項目をまとめて掲げることからはじめよう。14項目の中の次の5項目である。

- (1) 日本の文化社会等の水準 (10地域の全地域)
- (8) 文部省奨学金 (東アジアを除く 9 地域)

表1-5 日本留学決定への影響力（地域別）

	北米 (21 <sup>人</sup> )		南米 (51 <sup>人</sup> )		西欧 (28 <sup>人</sup> )		東欧 (3 <sup>人</sup> )		中東 (19 <sup>人</sup> )		アフリカ (7 <sup>人</sup> )		南アジア (45 <sup>人</sup> )		東南アジア (261 <sup>人</sup> )		東アジア (434 <sup>人</sup> )		オセアニア (12 <sup>人</sup> )	
	影響力 あり	影響力 なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
(1)母国に勉強機会なし	%	%	66.7 ②	23.5			66.7 ③	33.3	57.9 ②	42.1			57.8 ③	26.7	45.9 ⑤	41.8	47.9 ⑦	35.0	50.0 ③	33.3
(2)先生などの勧め					64.3 ⑤	35.7			42.2 ⑤	42.1			42.2 ⑧	42.2	50.7 ⑤	42.5	58.0 ⑤	30.4		
(3)日本留学への評価			45.1 ⑥	39.2									51.1 ④	22.2	44.4 ⑦	31.4	62.2 ②	20.7	33.3 ⑦	33.3
(4)母国の家庭からの 経済的援助																				
(5)外国留学経験の要 請													48.9 ⑤	37.8						
(6)距離的に近い																	58.5 ④	30.2	33.3 ⑦	33.3
(7)母国の問題に近い							33.3 ⑦	33.3	52.6 ④	31.6			48.8 ⑦	31.1	54.0 ③	31.4	52.0 ⑥	27.4		
(8)文部省奨学金が得 られた	81.0 ②	14.4	60.8 ③	29.4	75.0 ③	28.6	66.7 ③	33.3	57.9 ②	36.8	66.6 ①	11.1	77.8 ②	11.1	59.8 ②	31.8			50.0 ③	25.0
(9)日本に住む知人等 からの経済援助																				
(10)日本でしか得られ ない機会	71.5 ⑤	28.6	51.0 ⑤	35.5	82.1 ②	17.9	66.7 ③	33.3	42.2 ⑤	42.2							41.9 ⑨	41.7	50.0 ③	25.0
(11)日本の文化などの 水準	90.5 ①	9.5	92.1 ①	3.9	84.3 ①	10.7	100.0 ①	0	84.2 ①	10.5	55.1 ②	11.1	91.1 ①	0	90.8 ①	5.4	83.0 ①	4.4	83.0 ①	0
(12)日本で学位が得ら れる																				
(13)日本語の学習経験	66.6 ④	28.6					66.7 ③	33.3									47.7 ⑧	42.4	41.7 ⑥	41.7
(14)日本への親近感	80.9 ③	14.3	56.9 ④	31.4	67.8 ④	28.6	100.0 ①	0					48.9 ⑤	35.6	51.3 ④	37.2	59.2 ③	24.0	58.4 ②	16.7

(出所) 付表A-III (地域別) より抽出、要約。

- (14) 日本への親近感（中東、アフリカを除く8地域）
- (1) 母国に適切な勉学研究の機会なし（北米、西欧、アフリカを除く7地域）
- (10) 日本でしか得られない勉学研究機会（南アジア、東南アジア、アフリカを除く7地域）

このうち、(8)文部省奨学金、については、上述の如く、東アジアを除く残りの9地域全部に取りあげられているが、(15)理由の自由記入、にもいくつかの書き込みがある。例えば、南米は「日本の大使館が日本の大学についての豊富な情報を提出し、また、文部省奨学金に応募するように親切にすすめてくれた」といっている。

(10)日本でしか得られない勉学研究機会、という項目については、上述の如く、アジア地区では、東アジアを除く東南アジアと南アジアとで取りあげられていなかった。さて、東アジアにおいては、(10)と関連する項目として、(13)日本語の学習経験、があげられていた。そこで、この(13)の項目をあげた地域をみると、東アジアの他に、北米、東欧、オセアニアがある。そして、この4つの地域は、いずれも、上の(10)の項目をあげた地域と重なっている。(10)だけの地域は、この他に南米、西欧、中東である。

#### (2) 日本は留学する第一志望の国であったか

日本は留学するときの第一志望の国であったか、という問いに対して、約4分の1(24%)、235人はそうではないと答えている。

それでは第一志望の国はどこか、といえ、235人中、北米153、西欧47計200とこの2地域で85%を占めている。この他は東南アジア1、オセアニア1、無回答33であって、無回答については、どこの国、地域を第一順位の志望と特定はできないまでも、日本が第一志望の国でなかったことだけはたしかだということであろうか。

日本を第一志望の国でないと答えた人についてももう少し詳しくみてみる（付表A-II、A-III）。アジア地域のその数は185人で、全体の約80%である（東南アジア85、南アジア18、東アジア82）。これをそれぞれの地域別の%でみると、南アジア40%、東南アジア33%と概して高いが、東アジアは19%とそれほど高くはない。韓国もまた15%と低い。

それでは、これらアジア地域の人の第一志望の国はどこかといえ、全体で北米126、西欧33、計159人である（全体185人の86%）。なお、この他は東南アジア1、オセアニア1だけである（無回答24）。アジア地域での欧米、特に北米志向はかなり強いのである。

アジア地域以外の地域について、2・3の点を指摘しておこう。南米は51人中8人

(16%)、中東は19人中4人(21%)が日本は第一志望の国ではない、と答えている。これらは、まず、平均的な形とみてもよい。しかし、アフリカは留学生9人中、5人までが日本は第一志望の国ではない、としている。また逆に、北米の21人、東欧の3人は全部日本志望であり、西欧の28人中、27人も日本志望である。いわゆる先進国の人ははっきり日本を勉強したいと考えているようである。これは開発途上国のアジア地区などの北米志向型とはっきりと対照的になっている。

次は専攻別である(付表A-IV)。日本が第一志望でないと答えた人の割合をみると、理科系の4専攻は全部がこの割合を上回っており(理工33%、農学30%、医薬学25%、その他理科42%)、文科系の5専攻は全部、この割合を下回っている(日本語4%、人文社会13%、経営経済21%、政治法律18%、その他文科17%)。これは著しい対照をなしているといつてよい。次に、その絶対数をみると、それが20人以上の専攻は、理工95人、農学26人、医薬学22人、経営経済28人、その他文科21人であつて、全体として理工が圧倒的に多く、文科系では経営経済が割りと多い。

それでは、第一志望の国はどこか、といへば、それは上にみる如く、ほとんど北米と西欧、とくに北米であつたから、専攻別に北米志向の割合(無回答を引いて)をみると、理工77%、農学78%、医薬学58%、その他理科67%、日本語100%(1人)、人文社会100%(7人)、経営経済83%、政治法律83%、その他文科73%となる。割合の低いのは、その他理科と医薬学とであるが、この中、その他理科は無回答を除いた9人中6人北米、2人西欧、1人東南アジアであり、医薬学は無回答を除いた19人中、北米11人、西欧8人である。医薬学における、西欧志向の相対的な高さは指摘しておいてよいだろう。

### (3) 留学終了後の計画

日本留学後直ちに帰国を予定する人は全体の57%である。残りの約40%の中、いまのところどうするか決めていない、とする人は23%と割合に多い。また、なお日本に留まりたい、とする人の13%は、日本以外の国に行きたい、とする人の8%を上回っていることも注目される(付表A-1)。

それでは、帰国を予定する人の帰国後の計画はどうなっているのか。前職に復帰するという人が44%、新しく職を探すという人が31%となっている。前職復帰の%の高いのは当然に予想されるとしても、それとともに、新しい進路を見つけないとする人が割りと多い。なお、いまのところ決めていないとする人も15%いる(付表A-1)。

これらを平均的な傾向とみて、以下ではこれまでのやり方に従つて、それぞれにこ

の平均以上の%を示すものを各方面の各角度から取り上げ、それぞれに特徴を調べてゆくこととする(表1-6)。

まず、これは男女間に違いがあるかと予想されるので、はじめに男女別をとり上げてみる。男子は帰国して(58%)、前職に復帰する(45%)、というパターンが割合とはっきりしている。これに対して、女子は帰国を予定する人の%が比較的少なく(49%)、日本に留まる、が15%、どうするか決めていない、も28%ある。また、その帰国予定者も、その43%が新しく職を探すとしている(前職復帰29%)。どうするか決めていない、も18%いる。どちらかといえば、女子は男子に比べて不安定な立場にあるようである。

次に、奨学金類別にみる。文部省奨学生は帰国(61%)→前職復帰(その59%)の線が強い。これに対して、その他の奨学生、奨学金なし、はいずれも帰国の割合が全体よりも少なく(何れも52%)、その反面、「その他の奨学生」では、日本に留まる(17%)が多く、「奨学金なし」は日本以外へ行く(9%)、決めていない(29%)が比較的多い。またこの2つの中、帰国を予定する者は、双方とも、前職復帰よりも新規の職探しの方が多のである(「その他」、前職24%新規44%、「なし」、前職30%新規41%)。

国公立別をみる。国公立では帰国(61%)→前職(その47%)の線が強い。私立では帰国する%が全体の場合よりもかなり低く(31%)、これに対して、日本に留まる

表1-6 留学終了後の計画

	全体	男	女	国公立 大 学	私立 大 学	学部	大学院	研究生	文部省 奨学金	その他 奨学金	奨学金 なし
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
直ちに帰国する	56.5	58.4		60.9			67.0	64.0	60.6		
日本以外の国にゆく	7.9		8.0		13.6	10.2				8.4	8.9
日本に留まる	12.5		14.7		28.5	22.5				16.7	
決めていない	22.6		28.0		25.8	30.2					29.0
〔帰国予定者〕											
前職に復帰する	44.0	45.3		45.6			50.4	58.5	58.7		
新しく職を探す	30.6		42.7		46.3	42.6	33.1			44.2	40.9
大学で勉強を続ける	7.0	7.5	7.3		9.8			15.5	8.5		9.1
家族の仕事につく	1.3		2.7		9.8	6.5				3.1	2.3
決めていない	15.4	15.5	18.2	15.7		30.6				21.5	17.0

(出所) 付表A-I, A-Vより抽出, 要約。

が28%と極めて高く、次いで、決めていない26%、日本以外に行く14%、となっている。私立の帰国予定者もその46%が新しく職を探すとしている（前職22%）。

学籍区分別にも同じようなパターンがみられる。大学院、研究生は帰国→前職復帰、というパターンである（大学院、帰国67%、前職、その50%、研究生、帰国65%、前職、その59%）。しかし、帰国予定の大学院生は新しく職を探すのもかなりあり（33%）、研究生は勉強を続けたいとするものも多い（16%）。これに対して、学部は帰国する%が割りと低く（36%）、反面、日本に留まる（23%）、決めていない（30%）が割りと高い。帰国予定者も新規の職探し43%、決めていない30%とその前途はやや不安定である。

これらをまとめると、（帰国→前職復帰）というパターンには、男子—文部省奨学金—国公立—大学院・研究生というつながりがみられ、（帰国の%比較的小さい→帰国予定者は新規の職探し）というパターンには、女子—その他の奨学金、奨学金なし—私立—学部というつながりがみられるのである。なお、私立、学部における、日本へ留まる、という%の高いことは、指摘しておいてもよいであろう。

この2つのパターンを手掛かりとして、専攻別をみる（表1—7）。

(1) （帰国→前職復帰）の型に入るものは、農学、その他理科、政治法律の3専攻である。しかし、その他理科は、なお、日本に留まる、とするものもかなりいる。さ

表1—7 留学終了後の計画（専攻別）

	全体	理工	農学	医薬	その他 理科	日本語	人文 社会	経営 経済	政治 法律	その他 文科
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
直ちに帰国する	56.5	57.4	80.5		65.4	70.4			60.5	
日本以外の国にゆく	7.9		10.3	8.0	11.5		13.2	8.1	10.5	10.7
日本に留まる	12.5	13.7		13.6	19.2		13.2	22.8		
決めていない	22.6			33.0			30.2	26.5	23.7	24.6
〔帰国予定者〕	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
前職に復帰する	44.0		54.3	47.4	58.8				47.8	
新しく職を探す	30.6	31.1				36.8	39.1	48.3		32.8
大学で勉強を続ける	7.0		7.1	7.9	11.8	15.8	8.7		17.3	9.0
家族の仕事につく	1.3		1.4				8.7	3.4		
決めていない	15.4	16.8		15.8	17.6		17.4	17.2		

（出所）付表A—I、A—IVより抽出、要約。

らにこれを、帰国予定者についてみると、政治法律、その他理科には、勉強を続ける、とするものの割合が高い。特に政治法律においてそうである。

(2) 理工もほぼこの型に属するものとみられる。強いて言えば帰国予定者は前職復帰が42%と平均の44%よりやや低く、新規職探しが、31.1%と平均の30.6%よりこころもち高いのであるが、これは理工の持つ学問的性格から帰国後の就職に若干の変動が見込まれるということであろう。

(3) これとは逆に、医薬は帰国予定者の47%は前職に復帰するとしているが、帰国とする%は43%と低い(平均は56%)。しかし、そこでは、14%が日本に留まる、33%が決まっていない、とするなど、ここにも、この学問の特殊性がみられる。

(4) (帰国の%少→帰国者は新規の職探し)の型に入るものは、人文社会、経営経済、その他文科の3専攻である。いずれも文系となる。この中、人文社会、経営経済では、日本に留まる、の割合も平均を越えている。

(5) 残りの日本語はタイプが違うようである。日本語は、帰国とする%は高い(70%)が、帰国予定者は前職復帰が平均より低く(42%)、新規の職探し(37%)と勉強を続ける(16%)との割合が高い。

以上を概括するに、理科系は(帰国→前職復帰)の型、文科系は、政治法律を除き、(帰国の%少→帰国者は新規の職探し)の型とになるものの如くである。

地域別にはこういったタイプ分けは難しい。多くの要因がいろいろ入っているからであるとみられる(表1-8)。

(1) 帰国志向の強いのは東アジアとアフリカとの2地域である。しかし、南アジア、東南アジアの2地域の帰国志向はほぼ平均並みだからこのグループに入れてもよい。この中、南アジアと東南アジア、および、アフリカの帰国予定者は前職復帰志向が強いが、東アジアのその前職復帰志向はそれほど強くなく、かえって、新規に職を探す志向の方が強い。もっとも、韓国では前職復帰志向が平均並みである。

(2) これ以外の6地域での帰国志向は概して強くない。もっとも、西欧、中東など、どちらとも決めていない、とする人の割合の高いところもある。また、これら地域の帰国予定者にあっては、南米、東欧、中東、オセアニアの4地域で、前職復帰の線が強い。残りは北米と西欧とである。

(3) 北米、西欧の絶対数は少ないけれど、帰国してからも勉強を続けたいという人が相当に多い。この両地区はやや特殊であろう。

表1-8 留学終了後の計画（地域別）

	全体	北米	南米	西欧	東欧	中東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	韓国	オセアニア
直ちに帰国する	56.5						77.8			60.8	76.4	
日本以外の国にゆく	7.9	14.3	11.8	10.7						8.1		8.3
日本に留まる	12.5	14.3	13.7	17.9	33.3	26.3		22.2	13.8			15.7
決めていない	22.6	23.8	31.4	35.7	33.3	42.1			23.8			25.0
〔帰国予定者〕												
前職に復帰する	44.0		54.5		100.0	80.0	71.4	64.0	50.3			50.0
新しく職を探す	30.6									39.0	35.8	
大学で勉強を続ける	7.0	60.0	9.1	40.0			14.3	12.0			12.3	
家族の仕事につく	1.3								1.4			16.7
決めていない	15.4					20.0			15.4	18.9		

（出所）付表A-I, A-II, A-IIIより抽出，要約。

### 3 大学についての評価

#### (1) 第一志望の大学か否か

留学生の入学した大学は第一志望の大学であったか、という問いに対して、739人、76.4%はそうだと答えているが、204人、21.1%はそうではないと答えている。

常識的に考えると、文部省の奨学金を得たものは第一志望の大学に行けるのではないか、ということから、これを文部省から奨学金を貰っているものと、そうでないもの（その他の奨学金+奨学金なし）とに分けて示すと、

	文部省	それ以外
計	464人	480人
第一志望	355 (76.5%)	367 (76.4%)
そうでない	104 (22.4)	97 (20.2)

の如くとなり、第一志望のところにゆけないものはどちらも約2割である。いいかえれば、これが一般的な傾向のようであり、文部省から奨学金を貰っていても必ずしも

第一志望のところにはゆけないのである。ここに、文部省留学生は、文部省が大学への配置を決定するのである。

第一志望の大学か否かについてのそれぞれの理由は次のような割合となっている。

	第一志望(739人)		第一志望でない(204人)	
入試合格	296人(40%)		入試失敗	16人(8%)
文部省の配置	180(24)		文部省の配置	142(70)
その大学の推薦	108(15)		大学推薦得られず	13(6)
その他の理由	155(21)		その他の理由	33(16)

第一志望によるものは入試合格の割合が40%と高く、文部省の配置がこれに次ぎ、第一志望でないものは文部省の配置の割合が70%と極めて高い。

そこで次に、これを奨学金類別、国公立別、学籍区分別に分けると、表1-9のようになる。

第一志望の大学に入学した理由をみると、奨学金類別では、文部省奨学金受給生は

表1-9 大学入学の理由

〔第一志望の大学へ入学〕	文部省奨学金	その他奨学金	奨学金なし	国公立大学	私立大学	学部	大学院	研究生
	人 (355) %	人 (231) %	人 (136) %	人 (626) %	人 (107) %	人 (230) %	人 (327) %	人 (158) %
入 試 合 格	19	58	63	35	70	69	34	7
文 部 省 配 置	43	9	4	28	7	9	27	43
大 学 推 薦	18	12	9	16	7	4	20	20
そ の 他	20	21	25	22	17	18	20	30
〔第一志望でない〕	人 (104) %	人 (72) %	人 (25) %	人 (177) %	人 (24) %	人 (65) %	人 (81) %	人 (52) %
入 試 失 敗	3	15	8	3	41	22	1	0
文 部 省 配 置	87	56	40	76	21	42	83	87
大 学 推 薦 な し	4	3	24	6	12	9	5	2
そ の 他	7	26	28	15	25	28	11	12

(出所) 付表A-V (国公立別・学籍区分別・奨学金類別)より抽出、要約。

文部省の配置によったものが多い。しかし、入試合格には「奨学金なし」「その他の奨学金」によるものが多い。

国公立別では双方とも入試合格の割合が高く、特に私立においてそうである。しかし、国公立には文部省による配置も相当数ある。

学籍区分別では、学部に入試合格の割合が極めて高い。大学院でも入試合格の割合が高い。

これに対して、第一志望の大学ではない、という理由をみると、入試失敗は国公立別での私立にその割合が高く、また、学籍区分別では学部と比較的高いが、総体的にみると、文部省の配置の割合は、国公立別私立の場合を除いて、その他のいずれにあってもおしなべて高いのである。上にみたように、第一志望でないものは204人、この中、文部省の配置はその70%、142人であった。

この70%は極めて高い割合なので、これについてももう少し述べておく。文部省の奨学金を貰っていて、第一志望でない大学に行った人は104人、この中の90人が文部省による配置となっている。同様に、その他の奨学金生は72人中40人、奨学金なしは25人中10人、奨学金の種類不明は3人中2人である。

このように、文部省の奨学金を貰っている人は、たとえ第一志望の大学に行けないとしても、その9割は文部省が面倒をみて、どこかの大学に配置している。これはむしろ当然であるといえるかもしれない。しかし、その他の奨学金、奨学金なしについてもその4割から5割は文部省によって配置されている。文部省は割りとよく面倒をみているといえるようである。

続いて専攻別である(付表A-IV)。第一志望か否かは受入れ側の大学の収容人員とか施設とかが関係しているとみられる。

まず、第一志望ではないと答えた人の%が全体としては21.1%であったので、専攻別のその割合がこの21.1%を上回っている専攻を示すと、

医薬学 26.1%、理工25.8%、その他理科23.1%

の3専攻となる。理科系のこれらの専攻は施設設備などの関係でなかなか入りにくいということであろう。

次に、第一志望か否かの理由について、専攻別に、それぞれの理由の%が、それぞれに全体の%を上回っている専攻を表1-10にまとめてみると、およそ次の諸点が読みとれる。

(1) 入試合格は文科系に多く、理科系は医薬学を除いてはみられない。

(2) 文部省の配置は、第一志望においては、理工、農の理科系と政治法律、その

表1-10 大学入学の理由(専攻別)

〔第一志望の 大学へ入学〕	全体	理工	農学	医薬	その他 理科	日本語	人文 社会	経営 経済	政治 法律	その他 文科
	人 (739) %	人 (215) %	人 (74) %	人 (63) %	人 (20) %	人 (22) %	人 (43) %	人 (109) %	人 (27) %	人 (99) %
入 試 合 格	40.1			52.4		45.5	62.8	59.6	44.4	
文 部 省 配 置	24.4	28.8	33.8						25.9	26.3
大 学 推 薦	14.6	16.3	28.4	17.5	15.0					
そ の 他	21.0	24.2			35.0		23.3		25.9	29.3
〔第一志望で ない〕	人 (204) %	人 (75) %	人 (12) %	人 (23) %	人 (6) %	人 (3) %	人 (8) %	人 (26) %	人 (8) %	人 (20) %
入 試 失 敗	7.8							23.1		
文 部 省 配 置	69.6	74.7	75.0	78.3		100.0			75.0	70.0
大 学 推 薦 な し	6.4		8.3				12.5	15.4	12.5	
そ の 他	16.2		16.7	17.4	33.3		37.5	19.2		

(出所) 付表A-I(総計), A-IV(専攻別)より抽出, 要約。

表1-11 大学入学と入学の理由(地域別)

	全体	北米	南米	西欧	東欧	中東	アフリカ	南アジア	西南アジア	東アジア	韓国	オセアニア
	人 (967) %	人 (21) %	人 (51) %	人 (28) %	人 (3) %	人 (19) %	人 (9) %	人 (45) %	人 (261) %	人 (434) %	人 (106) %	人 (12) %
〔第一志望の 大学でない〕	21.1		31.4			36.8		22.2	22.2			25.0
〔第一志望の 大学へ入学〕	人 (739) %	人 (16) %	人 (33) %	人 (24) %	人 (3) %	人 (12) %	人 (8) %	人 (34) %	人 (200) %	人 (341) %	人 (92) %	人 (8) %
入 試 合 格	40.1								44.0	46.9		
文 部 省 配 置	24.4	43.8	42.4	25.0			25.0	44.1	26.5			
大 学 推 薦	14.6	18.8	15.2	20.8		16.7	37.5	23.5		14.7	27.2	37.5
そ の 他	21.0	37.5		33.3	66.7	33.3	25.0			21.4		25.0
〔第一志望で ない〕	人 (204) %	人 (3) %	人 (16) %	人 (4) %	人 (0) %	人 (7) %	人 (1) %	人 (10) %	人 (58) %	人 (83) %	人 (10) %	人 (3) %
入 試 失 敗	7.8			25.0					8.6	9.6		
文 部 省 配 置	69.6		81.3	75.0		85.7	100.0	90.0				100.0
大 学 推 薦 な し	6.4	33.3							6.9	9.2	30.0	
そ の 他	16.2	33.3								20.5		

(出所) 付表A-1(総計), A-II(国別), A-III(地域別)より抽出, 要約。

他文科の文科系との双方にまたがっている。第一志望でない、においても、ほぼこれに準ずる。

大学推薦が得られたのは、理工、農、医薬などの理科系に多く、得られないのは人文社会、経営経済、政治法律などの文科系に多い。

最後に、地域別について、上と同じ方針の下に表を作成して、同様な考察を加える(表1-11)。

地域別に、第一志望か否か、について、そうでないと答えた人の%が全体の21.1%を上回っている地域は、南米31.4%、中東36.8%、オセアニア25.0%、南アジア22.2%、東南アジア22.2%である。オセアニア、南アジア、東南アジアはほぼ平均並みとみてもよいであろうが、南米と中東とはかなり高い割合となっている。

第一志望か否かの理由について、その%が、それぞれに全体の%を上回っている地域を示して、いくつかの特徴をかかげる。

1) 東アジアと東南アジアとは入試合格、失敗いずれにしろ、入学試験を受ける人の割合が高い。

2) これに対して、南アジアを含むその他の地域は文部省による配置の割合が高い。

3) 大学推薦による入学は各地域に広くまたがっている。なお、東アジアの中の韓国は大学推薦を受ける人の割合がかなり高い。

## (2) 大学についての評価

留学生は留学しているそれぞれの大学をどう評価しているか(付表A-I)。全体の解答は

日本ではよい大学(院)である	63.7%
専門分野により研究者がいる	61.3%
教育、研究環境がよい	55.7%

となって、この順序に%は下がっているものの、全体としてみれば、かなり高い評価となっている。

それでは、これを国公立別、学籍区分別におろして、それぞれに在学している留学生の評価はどうなっているか、をみる(表1-12)。ここでも上の全体の%を標準として、これより上のものと下のものとを分けて、いわば相対的に観察することとする。国公立別では、国公立はいずれの項目においてもこの%を上回り、私立はいずれの項目もこの%を下回っている。学籍区分別では、大学院、研究生はいずれもこの%よ

表1-12 大学の評価

	全体	国公立	私立	学部 大学院 研究生			文部省	その他	奨学金
		大学	大学				奨学金	奨学金	なし
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
日本ではよい大学である	63.7	65.8		70.8			70.0		
必ずしもそうではない	15.0		22.7	22.1				19.6	
専門分野によい研究者がいる	61.3	63.1		64.8	64.1		62.1	65.1	
必ずしもそうではない	17.0		23.5	19.8	17.6		17.5	18.6	
教育、研究環境がよい	55.7	57.0		63.1	58.2		56.7	59.2	
必ずしもそうではない	22.8		29.5	30.2				26.4	

(出所) 付表A-1, A-V より抽出, 要約。

り上、学部ではいずれもこの%より下である。これを要するに、国公立と大学院、研究生の在籍者はおしなべて高い評価を下し、私立と学部とは低い評価となっているのである。

なお、奨学金類別について付言すると(表1-12)、文部省奨学金生と奨学金なし、は全体に高い評価、その他の奨学金生は全体に低い評価となっている。文部省奨学金受給生の高い評価はまずまずとしても、奨学金なし、に評価が高く、その他の奨学金生に評価の低いのは注目される場所である。

これを専攻別にみると(表1-13)。(よい大学)と評価した%が、平均の63.7%より高い専攻は、

理工, 医薬 (理) 2 専攻  
 人文社会, 経営経済, 政治経済 (文) 3 専攻  
 計 5 専攻

同様に、(よい研究者がいる)と評価した%が、平均の61.3%より高い専攻は、

理工, その他理科 (理) 2 専攻  
 人文社会 1 専攻  
 計 3 専攻

(よい研究環境)と評価した%が、平均の55.7%より高い専攻は、

その他理科 1 専攻

表1-13 大学の評価（専攻別）

	全体	理工	農学	医薬	その他 理科	日本語	人文 社会	経営 経済	政治 法律	その他 文科
日本ではよい大学である	% 63.7	% 69.1	%	% 69.3	%	%	% 67.8	% 64.0	% 73.7	
必ずしもそうではない	15.0		17.2		26.9		18.9	16.9		16.4
専門分野により研究者がいる	61.3	69.4			73.1		69.8			
必ずしもそうではない	17.0		20.7			18.6		22.1	21.1	24.6
教育、研究環境がよい	55.7				69.2	59.3	58.5	55.9	63.2	59.8
必ずしもそうではない	22.8	26.8			23.1		26.4	26.5	23.7	

(出所) 付表A-I, A-IVより抽出, 要約。

表1-14 大学の評価(地域別)

	全体	北米	南米	西欧	東欧	中東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	うち 韓国	オセアニア
日本ではよい大学である	% 63.7	% 81.0	% 72.5	% 75.0	% 66.7	% 68.4	% 77.8	%	% 65.9	%	% 73.6	%
必ずしもそうではない	15.0				33.3	15.8				18.0		16.7
専門分野により研究者がいる	61.3	76.2	62.7	67.9	66.7				61.7	63.6	69.8	
必ずしもそうではない	17.0		23.5	17.9		21.1		28.9	17.2			25.0
教育、研究環境がよい	55.7	57.1	64.7		66.7	63.2		60.0		55.8	67.0	
必ずしもそうではない	22.8	33.1	23.5		33.3		33.3		23.8			50.0

(出所) 付表A-I, A-II, A-IIIより抽出, 要約。

日本語, 人文社会, 経営経済, 政治法律, その他文科 5 専攻 計 6 専攻  
 となっている。

理工は(大学)(専門)ともに標準以上となっているが, 農学はいずれのところにも現われない。人文社会は3項目ともに現われている。

また, 全般的には(専門)の項目が弱く(3専攻のみ), (環境)は6専攻と強いが, これは文科系の全部の5専攻にかたよっていて, 理科系は「その他理科」だけであって, 理科系に弱い。

地域別にみる(表1-14)。

(3項目とも標準以上)	北米, 南米, 東欧
(大学, 専門の2項目)	西欧
(大学, 環境の2項目)	中東
(大学のみ)	東南アジア, アフリカ
(専門のみ)	東アジア
(環境のみ)	南アジア
(どれもなし)	オセアニア

概して, アジア地区の留学生は評価が辛く, それ以外の地域, 特に北米, 西欧などの評価は高いようである。なお, 東アジアの韓国だけは全部が平均を上回っているので, ここに指摘しておきたい。

#### 4 日本留学以前の他国への留学

在日外国人学生967人中の829人(92%)は日本にはじめて留学している。したがって, 他国留学の経験者は僅かに, 75人(8%)と少ないが, これについてのいくつかの特徴をぬき出してみよう。

まず, その全般的特徴である。男女別では男子が52人を占め, 国公立大学別では国公立が70人と極めて多く, 学籍区分別では研究生35人, 大学院32人, 合計67人とこれまた大学院レベルの者が多く, 奨学金類別では文部省奨学金受給生が60人となっている。これらをまとめると, 他国留学経験者には, 男子, 国公立, 大学院および研究生, 文部省奨学金生といった関連がみられることになる。(付表A-I, A-V)。次に, どこの地域, 国からどこの地域に留学したか, ということである(付表A-II,

A-III)。アジア地域からは33人（南アジア7人，東南アジア17人，東アジア9人）と多く，これ以外の地域からは31人（北米9人，南米8人，西欧10人，中東2人，アフリカ2人）となっている（無回答11人）。なお，東アジアの9人中，韓国は2人である。

しかし，これを地域別にそれぞれの地域出身留学生の割合が10%以上となっているのは，アジア地域の中では南アジアの16%（45人中7人）が多い位で，その他は少ない（東南アジア7%，東アジア2%）。これに対して，絶対数は小さいが，割合の多いのは北米（21人中9人，43%）と西欧（28人中10人，56%）とで，この2地域はとびぬけている。この他には，アフリカ（19人中2人，22%），南米（51人中8人，16%），中東（19人中2人，11%）も注目される。いいかえると，アジア地域以外の各地域はいずれも10%をこえている。なお，東欧の3人，オセアニアの12人には他国留学の経験はない。

留学先は北米（22人）と西欧（21人）とに多い。全体の約6割である。これを地域別にみると，アジア地域からの33人中，北米に行った人は12人（東南アジア7，東アジア5）と北米に行った22人の約半数であり，西欧に行った人は6人（南アジア3，東南アジア3）で西欧に行った人21人の約3分の1である。概して，アジアの留学生は北米志向型であるといえよう。なお，国別にみると，韓国からの2人は1人も北米，西欧に行っていない。

アジアの留学生についてももう1つ指摘されるのは，アジア地域内の内部交流ということである。アジア地域からアジア地域へは12人（南アジア→南アジア1，南アジア→東南アジア2）（東南アジア→東南アジア4，東南アジア→東アジア1）（東アジア→南アジア1，東アジア→東南アジア2，東アジア→東アジア1）であって，さきの北米への12人と匹敵している。

ところで，このアジア地区からアジア地区への12人は，アジア地区に留学した総数20名（南アジアへ3，東南アジアへ9，東アジアへ8）の6割を占めている。残りの8人は，北米から1人（東アジアへ），西欧から4人（東アジアへ），地域不明から3人（南アジア，東南アジア，東アジアへ各1）である。なお，上にあげた韓国の2人は東南アジアと南アジアとに行っている。このようにして，アジア各国間の交流は割合に多いのである。

その他の地域からのものとして，北米の9人の中の7人は西欧に行っており（あと2人中，1人は南米へ，1人は東アジアへ），また西欧からの10人は，北米2，西欧2，東欧1，東アジア4，オセアニア1，と各地に行っている。北米は西欧に集中し，

西欧は各地域に分散する傾向のようである。南米からの8人は、北米3、西欧3、南米2と分散する。なお、中東は2人とも北米に行き、アフリカは2人ともアフリカ内の交流である。

専攻別では、(付表A-IV)、理工が17人と絶対数では多い。以下、10人前後のところに、経営経済11人、農学10人、医薬学9人、その他文科9人と目白押しにいらんでおり、政治法律7人、人文社会5人、日本語2人と続く(無回答5人)。

それでは専攻別にみて、どの地域に行ったのが多いか。北米と西欧とについてみると、

<u>北 米</u>	<u>西 欧</u>
理工 17人中6人	農学 10人中4人
医薬学 9人中6人	経営経済 11人中5人
政治法律7人中3人	人文社会 5人中2人
その他文科9人中3人	

のようになる。概して北米の方が多いが、しかし、これだけでは、専攻別によって北米と西欧とのどちらの方に誘因が強いとはいえないであろう。

## II 元留学生の教育歴

元留学生についてこれを検討するが、元留学生の主要な特徴を次の属性について整理しておきたい。

- 回答者総数 138人 (100.0%)
- 男女別 男91人 (65.9%)、女29人 (21.0%)、不明18人 (13.0%)
- 回答言語別 日本語61人 (44.2%)、英語77人 (55.8%)
- 留学先大学 国公立大学126人(91.3%)、私立大学8人(5.8%)、不明4人(2.9%)
- 学籍区分別 学部33人 (23.9%)、大学院101人 (73.2%)、不明4人 (2.9%)
- 奨学金類別 文部省奨学金120人 (86.9%)、私費6人 (4.4%)  
奨学金なし7人 (5.1%)、不明5人 (3.6%)
- 専攻別 理工48人 (34.8%)、農学23人 (16.7%)、医薬学13人 (9.4%)、

その他理科 5 人 (3.6%), 日本語 5 人 (3.6%), 人文社会 14 人 (10.1%), 経営経済 7 人 (5.0%), 政治法律 2 人 (1.4%), その他文系 9 人 (6.5%) 不明 12 人 (8.7%)

○出身国 (地域)別 北米 3 人 (2.1%), 南米 5 人 (3.6%), 西欧 26 人 (18.8%), 東欧 6 人 (4.3%), 中東 14 人 (10.1%), アフリカなし, 南アジア 3 人 (2.1%), 東南アジア 35 人 (25.4%), 東アジア 34 人 (24.6%), オセアニア 4 人 (2.9%), 不明 8 人 (5.8%)

## 1 日本留学の経緯

### (1) 帰国後の現在の仕事

回答を寄せた元留学生は、現在、大学 71 人 (51.4%), 政府行政機関 18 人 (13.0%), の 2 種で全体の 64.4% を占めるが、性格的に区分すれば大学・教育・研究機関で 87 人 (63.0%), 政府行政機関 18 人 (13.0%), 民間企業 16 人 (11.6%), 自営業 5 人 (3.6%), その他 9 人 (6.5%), 不明 3 人 (2.2%) にそれぞれ職を得ている。特定の国で兵役の義務につくことを除けば、元留学生の大多数が研究、教育および政府職員として活躍していることになる。この意味もあってか、転職した体験を殆んどが (82.6%) もっていない。

### (2) 取得学位と学籍区分

学位取得は学士 16 人, 修士 37 人, 博士 31 人計 84 人であるが、これを学部、大学院の学籍と対応させると、

学部	33人	大学院 (研究生を含む)	101人	
	16人 (学士) (48%)		37人 (修士)	計68人 (67%)
			31人 (博士)	

のようになる。この学籍と学位取得との割合は、大学院、研究生で約 7 割、学部で約 5 割、平均して約 6 割となる。研究生にはもちろん学位取得はないから、大学院、研究生の 7 割は割りとい方の率であろうが、これに比して、学士の 5 割はかなりの率が悪い。少なくともここでみる限り、元留学生 138 人の中の学位取得者は 84 人、両者の差 54 人あるいは元留学生の約 4 割は何の学位も取っていないことになる (付表 B-I)。この点について、これと関連する事項を調べてゆくことにする (付表 B-I)。

1)。まず、日本滞在の期間である。それは1年41人、2年37人、3年22人、4年17人、5年9人と順次に減少しているが、ここまでで計113人、82%となっている。ここで指摘されるのは、1年が41人（全体の30%）と最も多いことであり、常識的にみて、在日期間1年では学位を取るのには難しいはずである。

この在日期間1年について、これを学籍区分別にしてみると（付表B-IV）、学部と答えた人33人の中の16人（49%）、大学院と答えた人101人の中の23人（23%）となっている。だから、学部では1年で止めたとみられる人が約半分を占めていることとなり、また、大学院のそれは、研究生であるとみることができるようである。もっとも、学位取得年数をみると、学士で取得年1年は3人（最頻度は4年）、修士で1人（最頻度は2年）、博士で2人（最頻度は3年）となっている。この背景はよく分からない。

もう1つ、この学籍区分別において、少し気になるのは学籍区分別における学位の取得者についてである。学士の取得者は16名であったが、学籍区分別によると、この中の8名は留学先を学部と答えた人であり、残りの8名は留学先を大学院と答えた人である。だから、留学先を学部と答えた33人については、その中の8人だけが学士を取得したことになる。そうすれば、大学院と答えた101人の中の8人は学部で学士を取得していたことになる。このことは日本の滞在年数について、大学院と答えた人の中の12人は6年から8年いた（6年2人、7年5人、8年3人）ことと照応しているようである。

そこで、ここでは、学部と答えた33人の中の16人が学士を得た。大学院と答えた101人の中の37人が修士を、31人が博士を得た、と、このように単純にみなして、論を進めることにする。これによっても全体としての推論は変わらないと考えられる。

まず、男女別に、学部、大学院の学籍区分と学位取得との関係を調べてみる。

	男子	女子	不明
学部	19人	9人	5人
学士取得	11 (58%)	2 (22%)	3
大学院	70	19	12
修士取得	25	8	4
博士取得	18	8	5

ここでは、女子の方が学部での学士取得の割合が低く、大学院では修士、博士の取

表1-15 在籍者と学位取得者(地域別)

		全体	北米	南米	西欧	東欧	中東	南アジア	東南アジア	東アジア	オセアニア	地域不明
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
学部	在籍者	33	1	1	5	1	1	0	9	12	1	3
	学士取得者	16	0	0	1	1	0	0	13	0	1	0
大学院	在籍者	101	3	4	21	5	13	3	23	22	3	4
	修士取得者	37	0	4	2	0	3	0	17	8	2	1
	博士取得者	31	0	1	3	0	5	1	7	12	0	2
学籍区分無回答		4										

(出所) 付表B-I(総計), B-III(地域別)より抽出, 要約。

表1-16 在籍者と学位取得者(専攻別)

		全体	理工	農学	医薬	その他 理科	小計	日本語	人文 社会	経営 経済	政治 法律	その他 文科	小計	地域 不明
		人					人						人	人
学部	在籍者	33	10	4	2	1	17 (100%)	4	4	2	1	3	14 (100%)	2
	学士取得者	16	10	1	1	0	12 (71%)	1	1	1	0	1	4 (29%)	0
大学院	在籍者	101	38	19	11	4	72 (100%)	1	10	5	1	6	23	6
	修士取得者	37	18	4	1	2	25	1	3	2	1	3	10	2
	博士取得者	31	7	9	9	2	27 (#32, 72%)	0	2	0	2	0	2 (#12, 32%)	2

(出所) 付表B-I(総計), B-III(地域別)より抽出, 要約。

得の割合が高いようである。男子は学部, 大学院ともにおいておよそ6割である。

次に, 地域別に, 学籍区分と取得学位とを対照させてみる(表1-15)。

(1) 学部においては, 在籍者数に対して学士取得者数の割合は少ない。東南アジアだけはその例外である。

(2) これに対して, 大学院, 研究生の在籍者と修士, 博士の取得者数とは地域によって差がみられるが, 概して, 北米, 西欧などの先進国は, 大学院, 研究生の在籍者数に比べて修士, 博士の取得者数が少なく, アジア地区はその数が接近している。このことから, 北米, 西欧は研究を主な目的とする研究生であるものの如く, アジア

地区は修士、博士の取得を主要な目標として留学しているものの如くである。

最後に、専攻別について、学籍区分別と取得学位とをみて、上述のところを補足することとしたい（表1-16）。

これをみると、学部大学院ともに理科系の方が文科系よりも学位取得の割合が高いのである。特に学部においては、理工が100%学士を取っているなど、両者の差は甚だしい。だから、学部における学位取得者の割合の低いことは、文科系のそれが大きく影響しているといえそうである。

## 2 日本留学の位置づけ

### (1) 学位論文を何語で書いたか

学位論文を何語で書いたか、という問いに移る。この問いに対して、修士論文では42人、博士論文では35人が答えている。ところで、上述の如く、日本で取得した学位は、修士37人、博士31人、であったから、この間にいささかのギャップがある。しかし、ここではこのギャップにはふれないで、この質問をそのままの形として取り上げてゆくこととする。

この質問に対して、日本語で書いたというのは、修士論文で42例中16例(38%)、博士論文では35例中9例(26%)とさらに少なくなっている。

続いて、論文を日本語で書くように指示されたか、という問いがあるが、これに対しては、修士論文で47人、博士論文で36人が答えている。この数も上と違っているが、これもそのままの形で取り上げることとする。この質問に対しては、修士論文で47例中6例(13%)と少なくなり、博士論文に至っては36例中2例(6%)ともっと少なくなっている。

このことをいいかえるならば、この調査でみる限り、修士論文でも博士論文でも、日本語で書かなくてもよいというのが、むしろ、通念になっているようだと言えるのである。あるいは逆に、日本語で書く方が、むしろ、特殊であるとさえ言えるのである。

もちろん、専攻によっては、論文の性格から必ずしも日本語でなくともよいとするものもあろう。そこで、以下では、どの専攻で日本語を使ったのか、を調べてみることにする（付表B-V）。

専攻別に修士論文についてみると、日本語で書いた16例は、理工で21人中7人、以下、その他理科(2人中2人)、日本語(1人中1人)、人文社会(3人中1人)、経営

経済(3人中1人)、政治法律(1人中1人)、その他文科(4人中2人)、専攻不明(2人中1人)となつてほとんどの分野にまたがっている。しかし、農学(4人)、医薬(1人)では日本語は1人もいない。また、博士論文の9例をみると、理工(10人中2人)、農学(10人中2人)、医薬(9人中2人)、その他理科(2人中2人)、人文社会(2人中1人)となつて、これも各分野にゆきわたっている。

次に、日本語で書くように指示されたか、をみると、修士論文6例の中、理工、農、医薬には全くなく、その他理科、日本語、人文社会、経営経済、政治法律、その他文科で各1人となっている。また、博士論文の2例はすべて医薬である。これも各分野にわたっているが、しかし、例えば、医薬で、修士論文に日本語で書く指示がなく、かえつて博士論文に日本語で書く指示がある、というように、いささかの混乱がある。だから、専攻別にみて、日本語で書くかどうかには、それぞれの大学の事情によつていろいろの如くである。

そこで最後に、学位論文を日本語で書いた人数を地域別にみる。日本語の習熟には、地域によつての違いが考えられるからである(付表B-III)。

修士論文16例では、東アジア7(うち韓国4)、東南アジア4、オセアニア2、南米1、西欧1、地域不明1であり、また、博士論文9例では東アジア7(韓国7)、東南アジア1、南米1である。東アジアと東南アジアのアジア地域で、修士では16人中の11人、博士では9人中の8人となる。日本語使用は東アジアを中心として東南アジアにひろまるといえそうである。また、南米も日本とながしの関係にある。

しかし、そうはいつても、例えば韓国をとるとき、修士論文5人は、日本語4英語1、博士論文13人は、日本語7英語6であることから、日本語使用は、やはり、その本人の心掛けによると読みとれそうである。

## (2) 日本留学以前の外国留学の経験

日本留学以前に外国留学の経験のある人は21人、全体の15%にあたる。この中、男子が15人と多い。また、これを地域別にみると、アジア地区の人は東南アジア2、東アジア1、の3人だけであつて、残りの18人は西欧10、中東6、東欧、北米各1である。西欧と中東とに多い(付表B-III)。

その留学先は西欧8、北米5、東欧3、東アジア2、中東1(不明2)であつて、ここでも北米と西欧とに集中している。しかし、この西欧8について、どの地域から西欧へ行ったのかをみると、西欧から4、中東から3、東南アジアから1となつており、北米の5についても、西欧から2、北米、東南アジア、東アジアから各1となつ

ている。アジア地区の3人は北米と西欧とに行っているが、この絶対数は少ないのだから、ここで西欧と北米とに集中するといっても、これはいわゆる開発途上国からの西欧、北米集中とは違っているのである。

そこで次に、角度をかえて、西欧の10人、中東の6人はどの地域に行ったのか、をみる。西欧の10人は、西欧4、北米2、東アジア2、行く先不明2であり、中東の6人は、西欧3、東欧2、中東1である。この中、西欧から東アジアへ2人行っているのは注目されるとしても、西欧の4人、中東の1人はそれぞれの地域内に行っており、この他にも、北米の1人、東欧の1人もそうである。だから、地域内の留学は、合計7人、全体21人の3分の1となる。これがもう1つの特徴である。

### (3) 日本留学終了後の外国への留学とその成果

日本留学終了後、再び他国に留学した人は17人、全体の12%である。この17人の内訳は、西欧9人、東南アジア3人、南アジア、東アジア、オセアニア各1人（地域不明2人）となって、西欧が9人と多いが、それとともに、アジア地区からも5人を占めている。

これらの人のいくつかの特徴をあげると、男女別には男子10、女子4（無回答3）で男子に多く、国公立別では国公立13、私立3（無回答1）で国公立に多く、学部大学院別では大学院12、学部4（無回答1）で大学院に多く、また、全部が文部省奨学金生である。

その行く先は、西欧8、北米3、オセアニア3が主であるが、この他、東欧1、東南アジア1、東アジア1となっている。西欧が多い。しかし、西欧への8人の内訳をみると、西欧からは6人を占める。西欧が多いといっても、その主流は内部交流なのである。あとの2人は東南アジアと南アジアからである。なお、西欧からの9人は上の西欧から西欧への6人を除くと、北米へ、東欧へ、東アジアへ各1人となっている。ここで、アジア地区からの5人について記しておくと、東南アジアからの3人はオセアニアへ2人、西欧へ1人、東アジアからの1人は西欧へ、南アジアからの1人は東南アジアへ、となっている。合計すると、オセアニアへ2人、西欧へ2人であって、北米へ1人もいないことが指摘される。なお、オセアニアの1人は北米へ、地域不明の2人は、北米へ1人、オセアニアへ1人となっている。

留学期間は1年4人、2年6人、3年1人（無回答6人）であって、ほとんどが2年以内である。

取得した学位については、17名中14名が無回答であるが、博士2人、修士1人となっている。また、その日本での専門分野は理工が5人と最も多く、次いで、経営経済3人、日本語3人となっているが、この日本語の3人は注目される。以下、人文社会、専攻不明各2、農学、医薬各1。再度留学の奨学金は無回答の3名を除いて、有り無しとがそれぞれ同じ7名となっている。

再度留学の理由については、まず全体的に、これらの理由の各項目を便宜的に3つのグループに分け、それぞれに回答数を記す。なお、これは複数回答であり、( )は項目番号である。

Iのグループ： 研究分野の拡大 13人

(5)専門研究の領域の拡大と深化 10人

これにほぼ類するものとして

(7)母国からの再留学の要請 3人

IIのグループ： 日本の研究水準の低さ 4人

(2) 専門分野での研究水準は日本より他国の方が高い 3人

これにほぼ類するものとして

(1)日本の学位が本国では評価されない 1人

IIIのグループ： 日本側での留学生への対応のまずさ 5人

(3)日本での留学期限が切れ、再延長が認められなかった 3人

(6)日本の大学は最近の研究成果、技術内容を留学生に開放していない 1人

(4)自分の研究成果を母国に適用するには条件が日本と違いすぎる 1人

このグループ分けはおおよそ次のような意味を含むものと考えてよいであろう。Iのグループは日本留学をプラスとして受けとめるもので、他国留学によってその成果を更に積み重ねていこうとするもの、IIのグループは、逆に、日本留学をマイナスとして受けとめるもので、他国留学はいわばこのマイナスをやり直したいとするもの、IIIのグループは留学生の日本側に対する不満を各方面から取りあげたもの、としたのである。

そこで、この回答の結果であるが、Iのグループのプラスの回答が13人と多く、IIのグループのマイナスの回答の4人をはるかにこえている。特に、(5)の研究領域の拡大は10人と過半数を占めていることなどから、日本留学は評価されているとみてよいのである。IIIのグループの日本への不満は5人であって、これは今後の問題としなければならないであろう。

表1-17 再度留学の理由（地域別）

項目	総数	西欧	アジア	オセアニア	地域不明
(5)研究領域の拡大	10人	5人	3人 南アジア1 東南アジア1 東アジア1	1人	1人
(7)母国の要請	3		3 南アジア1 東南アジア1 東アジア1		
(2)研究水準が日本より高い	3	1	2 東南アジア1 東アジア1		
(1)日本の学位の低評価	1		1 (南アジア1)		
(3)留学期間切れ	3	3			
(6)日本の技術非公開	1		1 (南アジア1)		
(4)母国に適合せず	1		1 (南アジア1)		

(出所) 付表B-III (地域別)より抽出、要約。

なお、この他に、(8)その他、として、書き込み項目があるが、ここに(1)―(7)の項目を記入せず「(8)日本の大学では博士号が非常にとりにくい」をあげたのがあった。そのために再留学したというのである。

さて、これを地域別にみると、表1-17のように整理される。西欧とアジア地区とは多少とも違った応答をしている。西欧は、(5)研究領域の拡大、深化、(3)留学期限切れ、(2)研究水準が日本より高い、の3項目だけである。(5)の研究領域の拡大は5人と最も多く、西欧でも日本留学への評価は高いとしてよい。(2)研究水準が日本より高い、は1人ととどまる。それとともに、(3)留学期限切れ、の3人は西欧だけであることに留意したい。

これに対して、アジア地区は、(3)の留学期限切れ、の他は、すべての項目に顔を出している。日本への不満である(6)日本の技術非公開、(4)研究成果の母国不適合(各1)はともに南アジアである。しかし、ここでも、Iのグループの(5)研究領域の拡大3、(7)母国の要請3、計6はIIのグループの(2)日本の研究水準の低さ2、(1)日本の学位の低評価1、計3の倍であるから、アジア地区でも日本留学への評価は高いとしてよいのである。

表1-18 再度留学の理由（専攻別）

項 目	総 数	理 工	農 学	日本語	人文社会	経営経済
(5)研究領域の拡大	10人	3人	1人	3人	1人	2人
(7)母国の要請	3 (専攻不明)	1				1
(2)研究水準が日本より高い	3	2		1		
(1)日本の学位の低評価	1					1
(3)留学期間切れ	3	1	1			1
(6)日本の技術非公開	1	1				
(4)母国に適合せず	1					1

(出所) 付表、B-V（専攻別）より抽出、要約。

続いてこれを専攻別に分けてみると、表1-18のようになる。上にみたように、再留学した元留学生の専攻分野別では、理工5人、経営経済3人、日本語3人が主であった。この中、ここでは、理工と経営経済とが各項目にわたってでている。しかし、ここでも、概してIのグループの方の数が多いから、日本留学は評価されているとしてよいのである。

ここに問題となるのは、専攻が日本語である3人である。そこでは、(5)専門領域の拡大、深化、3、また、(2)研究水準が日本より高い、1、となっている。これはいささか理解に苦しむので、調べると、この3人は他国留学のときに、その専攻分野をかかえているとみられる(人文社会2、専攻不明1)。なお、その行き先の地域は、それぞれ北米、オセアニア、東アジア各1となっている。

再留学の成果については、17人の中（無回答3、なんともいえない3、の6人を除いて）目的達成5、一応の成果4、計9人であって、期待どおりでなかった、2人よりはるかに多い。まずまずの成果があったものと読みとれる。

これを地域別にみると、目的達成5人はすべて西欧である。西欧は最も注目される。そこで、西欧の9人全員についてみると、目的達成5人、一応成果1人、期待どおりでない1人、無回答2人となる。アジア地域の5人については、目的達成なし、一応成果は2（南アジア1、東アジア1）、期待どおりでない1（東南アジア）、なんともいえない2（東南アジア）であって、成果があったとはいえないようである。

続いて、専門分野別にみると、目的達成は理工、農学、日本語、人文社会、経営経済各1、計5であり、一応成果は理工、日本語、人文社会、経営経済各1、計4となる。これは各専攻に分散しているから、あまりはっきりしたことはいえない。なお、

日本語の3人は再度留学のとき専攻をかえていること上述した如くである。

## 結 び

在日外国人学生と元日本留学生の教育歴についての要点をそれぞれに次のようにまとめておく。

まず、在日外国人学生である。

(1) 日本留学以前に他国への留学経験あり、は留学生の8%である。人数をみるとアジア地区からとアジア地区以外からとでは、半々であるが、地域別のそれぞれの割合からいえば、アジア地区よりもアジア地区以外、特に北米と西欧とに割合が高い。北米と西欧の人には、留学する機会が多いようである。

アジア地区の人の留学先は北米と西欧とであるが、それとともに、アジア地区の人はアジア地区内部で交流する機会も割りと多いようである。アジア地区以外では、北米の人は西欧に集中し、西欧の人は世界の各地域に分散していることがみられる。

(2) 日本は第一志望の国か、というに、第一志望でないとする人は総数の4分の1、24%もある。しかも、この中の80%はアジア地区の人であって、その第一志望の留学先は北米と西欧、特に、北米である。アジアの人は北米志望型であるといえる。

しかし、その他の地域、特に、北米、西欧、東欧などはほとんど全部が日本を第一志望としている。いわゆる先進国の人は、はっきりと日本を勉強したいとしているのであって、このことはアジアの人と対照的である。

(3) 入国年と大学への入学年および日本語学校への入学、について、大学への入学年にはそれほどの無回答はない(8%)が、入国年には、無回答が30%もある。また、日本語学校への入学にも、無回答が35%ある。双方ともこの無回答者の75%は東アジアの人である。

(4) 入学大学の種類と学籍区分について、留学生の85%は国公立大学へ入学している。また、学籍区分では学部31%、大学院43%、研究生23%であって、大学院研究生に多い。

(5) 専攻分野別について、理科系51%、文科系39%(無回答10%)であって、理科系に多く、また、部門としては、理工が30%と最も多く、経営経済14%、その他文科13%と続いている。

(6) 日本留学の保証人と奨学金について、日本留学の保証人は文部省26%と友人知人24%とが相半ばしている。しかし、地域別には東アジアに特異性がある、地域を東アジアと東アジア以外とに分けると、東アジアでは友人知人36%、文部省7%と文部省のウェイトが極めて小さく、東アジア以外を一括すると、友人知人14%、文部省42%と文部省のウェイトが極めて高くなっている。

このことは奨学金の有無と奨学金の種類にも関係している。奨学金を貰っている人は全体で80%と高いが、東アジアでは74%と低くなり、逆に、東アジア以外では86%と高くなる。

そこで、どこから奨学金を貰っているかをみると、その60%は文部省奨学金である。しかし、これを地域別にみると、東アジアでは文部省奨学金の割合が31%と低くなり、逆に東アジア以外では80%と高くなっている。

(7) 奨学金類別について、文部省奨学金は国公立に多く(94%)、また、学部大学院別では大学院(55%)研究生(31%)と大学院レベルに多い。次に、奨学金の月額については、15~20万円のところに51%と多いが、5万円以下のところ(19%)にもピークがある。10~20万円は文部省奨学金、5万円以下は文部省以外の奨学金と推定される。文部省の留学生の生活は割りと楽なようである。

(8) 日本留学決定への影響力について、あげられた14の項目の中で、影響力あり、と認められるのは、全体としてみると、日本の文化、社会、経済、科学的技術水準等に対する関心、日本に対しての一般的な親近感、母国における日本留学についての高い評価、先生、先輩、知人等からの日本留学への勧め、母国に適切な勉学、研究の機会がなかったこと、母国のかかえる問題が日本と似通っており、日本はこれを早く解決した国である、の6項目だけである。

地域別にみると、この6項目を全部持っているのは、東アジア、東南アジア、南アジアのアジア地区だけである。つまり、全体的な傾向としての6項目はアジア地区の特徴とみて差支えない。東アジアはこれに加えて、日本は距離的に近い、日本でしか得られない勉学、研究の機会、日本語の学習経験、の3項目が入って9項目となる。南アジアはこれに家族からの外国留学体験への要請、と文部省奨学金の得られたこと、とが加わって8項目となり、東南アジアはこれに文部省奨学金の得られたこと、が加わって7項目となる。

これがアジア地区の特徴であるが、この他に、地域別にみてのいくつかのことを指摘しておく。

- 1) 日本の文化、技術水準等に対する関心……………10地区の全部
- 2) 文部省奨学金……………東アジアを除く9地域  
(東アジアでは文部省奨学金生の割合が少なかった)
- 3) 日本に対しての親近感……………中東、アフリカを除く8地域
- 4) 母国に適切な勉学の機会なし……………北米、西欧、アフリカを除く7地域
- 5) 日本でしか得られない勉学機会

……………南アジア、東南アジア、アフリカを除く7地域

5)の勉学の機会、の項目はアジア地区では東アジアにはあって南アジア、東南アジアにはなく、アジア地区以外では北米、南米、西欧、東欧、中東、オセアニアの6地域となる。この勉学の機会、と関連するものに、日本語の学習経験があり、これは東アジア、北米、東欧、オセアニアである。この2つの項目の関連が指摘される。

(9) 第一志望の大学が否か、について、第一志望の大学でなかった人は約2割である(21%)。それぞれの理由をみると、第一志望によるものは入試合格の割合が40%と高く、文部省の配置が24%とこれに次ぎ、第一志望でないものは、文部省の配置の割合が70%と極めて高い。全体的にみて、文部省は割りと面倒をよくみている。

(10) 大学の評価、については、

日本ではよい大学である	64%
専門分野により研究者がいる	62%
教育環境がよい	56%

と、この順序に%は下がっているが、全体としてみれば、かなり高い評価となっている。しかし、地域別にみると、概して、アジア地区の留学生は評価が辛く、それ以外の地域の評価は高いようである。例えば、大学ではこの64%以下となっている地域は南アジア、東アジア、オセアニアの3地域だけといった如くである。

(11) 日本留学後直ちに帰国を予定する人は全体の57%である。40%以上の人がはっきり帰国するとは決めていないことに注目される。この中で、なお日本に留まりたいとする人の13%は、日本以外の国に行きたいとする人の8%を上回っている。

それでは帰国を予定する人の帰国後の計画はどうなっているのか、といえ、前職に復帰するという人が44%、新しく職を探すという人が31%となっている。前職復帰の%の高いのは当然に予想されるとしても、それとともに、新しい進路を見つけないとする人が割りと多いのが注目される。

これらを平均的な傾向とみて、以下では、各角度から、この平均以上の%を示すも

のを取り上げ、それぞれの特徴をあげておこう。

まず、奨学金類別である。文部省奨学金生は帰国（61%）→前職復帰（59%）の線が強い。これに対して、その他の奨学金、奨学金なし、はいずれも帰国の割合が全体よりも少なく、その反面、「その他の奨学金」では、日本に留まる（17%）が多く、「奨学金なし」は日本以外へ行く（9%）が比較的多い。また、帰国を予定する者も、双方とも、前職復帰よりも新規の職探しの方が多（その他、44%、なし、41%）。

つぎは元日本留学人学生である。

(1) 元留学生の特徴は、1) 国公立が大多数であること、2) ほとんどが奨学金を貰っており、それは文部省奨学金が多いこと、3) 学籍区分では、学部より大学院、研究生に多いこと、である。

(2) 取得単位と学籍区分、については、学部在籍して学位（学士）をとった人は48%、大学院に在籍して修士あるいは博士をとった人は67%と、学位をとった人の割合は概して低い。

しかし、これも地域別にみると、大学院に在籍して修士もしくは学位をとった人の割合は北米、西欧などに低く、東南アジア、東アジアではこれが高いのである。いわゆる先進国は研究のために留学し、いわゆる開発途上国は学位をとるために留学するものとみられる。

学位論文を何語で書いたか、については、英語で書いたものが修士50%、博士60%と半ば以上であり、また、日本語で書くよう指示されなかったとするものが修士87%博士94%とほぼ9割位ある。学位論文は必ずしも日本語でなくてもよい、とする風潮はほとんど定着しているものと認められる。

(3) 日本留学以前の外国留学の経験、については、経験者は15%（21人）である。しかし、その経験は西欧（10人）と中東（6人）とに多く、アジア地区は3人しかいない。その留学先は西欧（8人）と北米（4人）に多い。アジア地区の3人の行き先は北米2、西欧1である。

(4) 再留学については、12%、17人である。その内訳は西欧9人アジア地区5人、オセアニア1人、不明2人であって、その行く先は西欧に8人と多いが（北米3人）、その主流は西欧の域内留学（西欧→西欧6人）である。なお、アジア地区の5人は、西欧2、オセアニア2、アジアの域内留学1である。

再度留学の理由については、研究領域の拡大が10人と多く、これをあげた人は西欧にもアジア地区にもある。しかし、概して、西欧の方が日本留学を評価して、再留学

はその上の積み重ねを目的としているのに、アジア地区は日本留学を評価してはいるものの、その反面、日本留学を不満として、その不満のために再留学しているとみられる人も多いのである。例えば、日本の大学は最新の研究成果を留学生に開放していない、とする人がいるが如きである。

その成果については、西欧は9人中5人が目的達成、1人が一応成果あり、としているのに、アジア地区は5人中、2人だけが一応の成果あり、としている。ここで見る限り、アジア地区からの再留学の成果はすっきりしていない。

(鈴木 忠和)



## 第2章 日本語能力と留学効果



## 第2章 日本語能力と留学効果

### はしがき

日本への留学生は、特殊な例外は別として、大学での学習においても日常の生活においても、絶対に日本語を避けて通ることはできない。しかし、日本語の習得は留学生にとって決して容易なことではない。個々の留学生の日本語の実力は、その母国がどこであるかをも含めた様々な条件のもとで多様に異なっていよう。日本語能力の優劣の差がその学習の効果に大きな差をもたらすことは当然である。留学生と日本語の問題は、彼らの日本語教育の在り方とも関連して、極めて重要な課題である。

これまでも、われわれ研究グループとしては、日本語問題を何度か採り上げ、それなりのファイディングも得てきたが、調査サンプル数も少なかったし、十分につめないままに残した点も少なくない(注1)。今回は大規模調査の実施により、これまでに明らかにしてきたことの再確認も含めて、かなり詳細な分析を行った(注2)。

本章は4節で構成されている。第I節では、先ず、留学生間における日本語能力の差異は、どのような機能に関しどの程度あるのかが、各種の留学生の類型間で比較される。第II節では、前節で明らかにされた日本語能力の差異がどのような要因によっているかを考察する。そして、第III節では、そのような日本語能力の差異の結果、留学生の日本での学習効果にどのような影響を与えているのかを明らかにする。以上の3節の分析は、すべて、967名の在日中の留学生を対象にしたものである。次いで、第IV節では、元日本留学生138名についての調査としてその帰国後、日本語を母国でどの程度どのような形で活用する機会をもっているのかが分析される。

### I 留学生間の日本語能力の差異

#### 1 日本語能力の機能別評価

留学生にとって日本語能力の如何は、彼らの留学の成果に大きな影響を与える。留

学生間の日本語能力にどの程度の差異が存在するかを調査する方法として、われわれは、学習面、生活面別に、話したり聞いたりする能力と読んだり書いたりする能力とに分けて、機能別に、アンケートの回答者自らの自己評価を、「十分にできる」、「一応はできる」、「なんとかできる」、「全くできない」の4つのいずれかに○印をつけさせる形で示させることにした。表2-1は、回答者全体について、そうした評価の分布を示したものである。すなわち、各機能別に、4区分の評価の割合を%で表示した。合計が100に一致しないのは、無回答がそれぞれの質問にあるためである。この点は、以下のすべての構成比を示した図表についても同様である。

まず、学習面について、すべて日本語に関して、「授業を聞くこと」、「授業の時に質問すること」、「研究論文を読むこと」、「論文・レポートを書くこと」の4機能に分けての評価の結果は、「十分にできる」と答えた者が、「聞く」と「読む」のことで、それぞれ30%近くを占めたが、「書く」となるとその割合は15%に半減する。ところが、「一応できる」と答えた者は、「聞く」ことに関しては50%近くに達し、また、その他の機能についても40%もしくはそれに近い。この「十分にできる」と「一応できる」とでは、機能別の割合の大きさの順序はかなり異なる。実際には同一の能力でも、解答者の性格などにより、答え方はその何れにもなる可能性がある。そこで、これら2つの回答を合計した割合が第5欄である。その場合には、「聞く」力は75%強、「質問する」と「読む」のは66%前後、「書く」のは54%弱が、「できる」と答えている。この「聞く」「質問する」「読む」「書く」の順序は、更に、「なんとかできる」を加えても変わらないし、また、「全くできない」の少ない順とも同一である。更に、同表の第6欄には、各機能に関し、「十分にできる」割合と「全くできない」割合の差が示されているが、この値は、できる場合とできない場合の両極端のどちらに、どの程度評価が傾いているかを意味している。これについても、順序は同一であり、然も、「書く」力はむしろ「全くできない」割合の方が大きくてマイナスとなり、上記の順序がより強調されて現われている。以上の考察から、留学生の学習面での日本語能力は、相対的に、聞いたり、話したりする能力の方が強く、「読んだり書いたりする能力」の方が弱いと言えよう。また、最もできるのは「聞く」ことで、逆に、最もできないのは「書く」ことである。

次に、生活面について、学習面と同様に4つの機能を、「日常生活に差支えない程度の日本語での会話」、「テレビ、ラジオの日本語放送を聞くこと」、「日本字新聞を読むこと」、「友人に日本語の手紙を書くこと」に関して、4種類の自己評価区分によりその割合を、同じく、表2-1に表示した。この結果は、「会話」は「十分にできる」と答

表2-1 学習・生活別日本語能力評価の分布 —— 総計 ——

(%)

		十分できる (1)	一応できる (2)	なんとかできる (3)	全くできない (4)	「十分できる」「一 応できる」の和 (5)=(1)+(2)	「十分できる」「全 くできない」の差 (6)=(1)-(4)
学 習	授業を聞く	29.6	46.0	18.3	4.9	75.6	24.7
	質問をする	25.7	40.6	26.2	5.5	66.3	20.2
	論文を読む	29.9	35.9	17.8	14.7	65.8	15.2
	論文を書く	15.2	38.5	27.4	17.5	53.7	- 2.3
生 活	日常の会話	43.0	39.1	13.4	2.9	82.1	40.1
	放送を聞く	32.2	44.5	18.0	3.8	76.7	28.4
	新聞を読む	28.5	37.2	14.7	18.2	65.7	10.3
	手紙を書く	20.9	41.3	26.0	10.7	62.2	10.2

(出所)付表A-I (総計)9-(1)~9-(8)より抽出, 要約。

えた者が40%を越し、「一応できる」者も40%に近く、両者で80%を越している。「聞く」方は「一応できる」割合が50%に近いこともあり、両者を合わせた第5欄は75%を越えている。ただし、「読み」「書き」になると、「十分できる」も「一応できる」も割合を下げ、両者を合わせても60%台となる。この両者合計による相対的に割合の多い順位は、「会話」「聞く」「読む」「書く」順であるが、この順は、「十分できる」と「全くできない」の差として示した第6欄についても、また「十分できる」のみについても同様である。但し、「全くできない」割合は、学習の場合と異なり、「読む」能力が最低である。いずれにしても、相対的には「話したり聞いたりする能力」の方が強く、「読んだり書いたりする能力」の方が弱い点は、学習面と同様である。最もできないのも「書く」ことだが、しかし、最もできるのは「会話」で、学習の場合の「聞く」とは異なる。

この第5欄および第6欄の割合の大小順位は、学習面と生活面の両者を合わせて比較しても同一であり、全体として、最もできる割合が高いのは「会話」で、それに生活面での「聞く」、学習面での「聞く」「質問する」が続く。つまり、「話したり聞いたりする能力」が、全体として上位を占め、その後に、学習の「読む」、生活の「読む」「書く」が続き、最低が学習の「書く」と言うことになる。

以上のことを、「話したり聞いたりする能力」と「読んだり書いたりする能力」に分けて整理したのが表2-2である。前者は「聞く」能力と「会話」または「質問」す

表2-2 「話したり聞いたりする能力」と「読んだり書いたりする能力」別

日本語能力評価の分布 —— 総計 ——

(%)

		十分できる (1)	一応できる (2)	なんとかできる (3)	全くできない (4)	「十分できる」「一 応できる」の和 (5)=(1)+(2)	「十分できる」「全 くできない」の差 (6)=(1)-(4)
話したり聞い たりする能力	学習	27.7	43.3	22.3	5.2	71.0	22.5
	生活	37.6	41.8	15.7	3.4	79.4	34.2
	平均	32.7	42.6	19.0	4.3	75.4	28.4
読んだり書い たりする能力	学習	22.6	37.2	22.6	16.1	59.8	6.5
	生活	24.7	39.3	20.4	14.5	64.0	10.2
	平均	23.7	38.3	21.5	15.3	62.0	8.4
全平均		28.2	40.5	20.3	9.8	68.7	18.4

(出所) 表2-1と同じ。

(注) 表2-1で、学習と生活別に、それぞれ「聞く」と「話す」の平均、「読む」と「書く」の平均を算出したもの。

る能力の平均、後者は「読む」能力と「書く」能力の平均である。この表から、留学生は、読み書きよりも話したり聞いたりすることに自信があり、いずれについても生活面の方が学習面よりよくできると考えていることが分る。また、全体として、一応日本語ができると40%の留学生が考えており、十分できると思うのが30%、なんとかできると考えるのが20%で、残る10%が全くできないと評価していることになる。

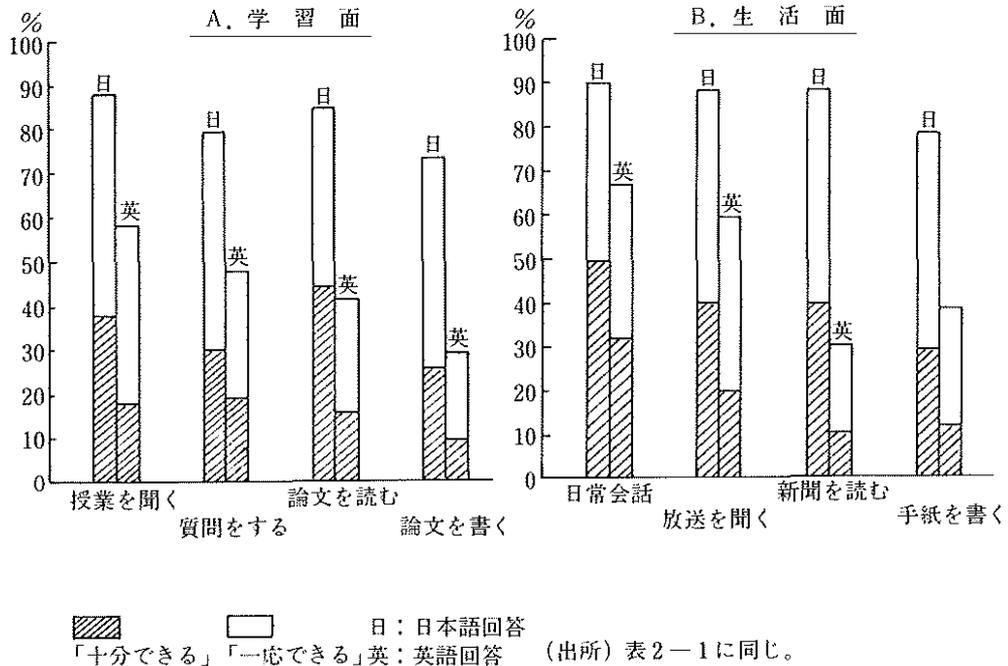
以上は、アンケートの回答者全員についての結果であるが、留学生の各種の性格の違いによって異なることも、当然である。

## 2 回答言語の種類と日本語能力

アンケートは日本語、英語の双方で示され、いずれで答えてもよいことにしたが、いずれの言語で答えたかは、その回答者の日本語能力の如何をかなりの程度反映していると見てよからう。

回答者全員について、日本語で回答した598名(全体の61.8%)と英語で回答した369名(全体の38.2%)を分けて、それぞれ機能別に評価の割合を見たのが図2-1である。同図から、日本語回答者と英語回答者の差異は歴然としている。いずれの機能についても、「十分できる」と「一応できる」と答えた者の割合は、日本語回答者の方が

図2-1 回答言語別日本語能力評価の分布



英語回答者をはるかに上廻っている。このことは、それぞれの回答について言えるので、当然日本語回答者の日本語能力の評価は、いずれの機能についても、明白に英語回答者より平均的に見て高いと断定して良からう。

ところで、さきに機能別に評価の高い順位を比較した結果は、学習面、生活面それぞれに、順に高い方から低い方に並んでいたが、回答言語別では如何であろうか。同じ図2-1によって、「十分できる」と「一応できる」の計を比較すると、英語回答者については、「読む」能力の大きさが、学習では「質問する」よりも、生活では「聞く」

よりも低い値を示していることが分かる。このことは、英語回答者は、日本語能力が一般的に低い、特に、文章を読む力の低い者が多かったことを示していよう。このことは、日本語の新聞を全く読めないと答えた者が半分に近いことにも現われている。日本語回答者で新聞を全く読めないのが1%にも及ばないことと極めて対称的である。尚、学習面では、論文を日本語では全く書けないと答えた者は、日本語回答者では2%にもならないのに、英語回答者では40%を越していることも注目すべきことであろう（付表A-1（回答言語別）9、参照）

このように、文章の読み書きに関してバイヤスはあるが、日本語能力の高低が回答言語の如何とかなり明瞭に対応しているといえよう。このことをより鮮明にするため

表2-3 機能別日本語能力と日本語回答率 (%)

		十分できる (1)	一応できる (2)	なんとかできる (3)	全くできない (4)
学 習	授業を聞く	76.9	68.1	37.9	6.4
	質問をする	75.1	71.2	43.9	20.8
	論文を読む	83.4	75.2	47.7	4.2
	論文を書く	85.7	79.6	60.0	6.5
	平均	80.3	73.5	47.4	9.5
生 活	日常会話	70.9	64.8	37.7	7.1
	放送を聞く	75.6	67.0	36.8	8.1
	新聞を読む	87.7	80.0	42.3	1.7
	手紙を書く	79.2	75.9	50.2	3.9
	平均	78.4	71.9	41.8	5.2
話したり聞い たりする能力	学習	76.0	69.7	40.9	13.6
	生活	73.3	65.9	37.3	7.6
	平均	74.7	66.8	39.1	10.6
読んだり書い たりする能力	学習	84.6	77.4	53.9	5.4
	生活	83.5	78.0	46.3	2.8
	平均	84.1	77.7	50.1	4.1
全 平 均		79.4	72.7	44.6	7.4

(出所) 表2-1と同じ資料より算出。

(注) 表2-2の注を参照。

に、日本語の機能別の4種の評価毎に、日本語で回答した者の率を比較してみたのが表2-3である。例えば、授業を聞くことが十分にできると答えたのは286人いるが、うち日本語回答者は220人76.9%である。いずれの機能に関しても、日本語での回答率は、「全くできない」場合から、「なんとかできる」、「一応できる」、「十分できる」の順で、次第に高くなっている。全機能の平均としては、この比率は10%弱から、半分弱、70%強、80%へと上昇を示しており、日本語回答率が日本語能力の自己評価と著しく高い相関を示していることが分かる。

### 3 日本語能力の国別地域別差異

以上で見たように、日本語能力は回答言語と強い相関をもっている。この事実を、漢字圏と非漢字圏間日本語能力の国別もしくは地域別差異を比較するため、表2-1の第5欄または図2-1の計にあるように、「十分できる」と「一応できる」の和を以って、ある機能の日本語能力の「できる」割合を代表する指標としてあつかい、これに補足的に、日本語回答率を加えることにした(注3)。表2-4は、各機能別にこの「できる」割合を、それらの全平均の順に地域別(うち東アジアについては更に国別)に並べて表示したものである。

当然ながら、漢字圏である東アジアの日本語諸機能の「できる」割合は高く、全平均は80%を越す。西欧の60%余がそれに続き、以下、南米・東欧・北米・東南アジア・南アジア・オセアニアの順で、59%から54%の間に並んでいる。中にはサンプル数が(東欧で3人)少ないこともあり、西欧からオセアニアまでは、全平均としての順位には有意差が必ずしもあるとは言い難いので、ほぼ同一水準にあると見なすこともできよう。ただし、中東になると50%を切り、更に、アフリカに至っては20%にも及ばないので、この両地域の日本語能力は、他よりも一段下ると見てよいであろう。

同じ表2-4の最下段に表示した国別地域別の日本語回答率では、東アジアは全体、国別いずれも90%を越す程圧倒的な高さを持ち、他方、アフリカの回答率は0で、両者の位置は上述の順位と全く一致している。しかし、中間の諸地域に関してはかなり順不同である。たとえば北米と南アジアの日本語回答率は10%台と極端に低いが、その理由は、そこでは英語が母国語もしくは公用語としてそれに準じており、慣れた英語で回答する者が多いのはむしろ当然であろう。逆に、東南アジアの日本語回答率は50%に近く、機能別全平均の順位に比べてかなり高いが、その理由は、1つには中国系が多少含まれていることもあるが、むしろ、英語力が弱いので日本語で回答せざる

表2-4 日本語能力の国別地域別差異……「できる」と答えた割合——

(%)

		東アジア (1)	韓国 (2)	西欧 (5)	南欧 (6)	東欧 (7)	北米 (8)	東南アジア (9)	南アジア (10)	オセアニア (11)	中東 (12)	アフリカ (13)
学 習	授業を聞く	90.3	94.3	64.3	74.5	66.7	61.9	60.5	73.3	66.6	63.2	33.3
	質問をする	78.8	86.8	64.3	60.8	66.7	61.9	51.8	66.7	50.0	57.9	33.3
	論文を読む	87.6	95.3	64.3	49.0	66.7	47.6	49.8	44.4	41.6	36.9	11.1
	論文を書く	74.0	89.6	35.7	33.3	33.3	42.9	39.4	33.3	33.3	21.1	0.0
	平均	82.7	91.5	57.2	54.4	58.3	53.6	50.4	54.4	47.9	44.8	19.4
生 活	日常会話	90.8	93.4	82.2	80.4	66.7	85.7	75.1	86.7	75.0	68.4	44.4
	放送を聞く	88.7	90.6	75.0	76.5	33.3	57.1	65.9	77.8	75.0	57.9	33.4
	新聞を読む	91.2	92.4	57.2	39.2	66.7	47.6	51.8	20.0	50.0	36.9	0.0
	手紙を書く	77.7	81.1	50.0	54.9	66.7	57.2	52.1	37.8	41.7	36.9	0.0
	平均	87.1	89.4	66.1	62.8	58.3	61.7	61.2	55.6	60.4	50.0	19.4
話したり聞い たりする能力	学習	84.6	90.6	64.3	67.7	66.7	61.9	56.2	70.0	58.3	60.6	33.3
	生活	89.8	92.0	78.6	78.5	50.0	71.4	70.5	82.3	75.0	63.2	38.9
	平均	87.2	91.3	71.6	73.1	58.3	66.7	63.4	76.2	66.7	61.9	36.1
読んだり書い たりする能力	学習	80.8	92.5	50.0	41.2	50.0	45.3	44.6	38.9	37.5	29.0	5.6
	生活	84.5	86.8	53.6	47.1	66.7	52.4	52.0	28.9	45.9	36.9	0.0
	平均	82.7	89.7	51.8	44.2	58.3	48.9	48.3	33.9	41.7	33.0	2.8
全平均		84.9	90.5	61.7	58.6	58.3	57.7	55.8	55.0	54.2	47.4	19.4
日本語回答率		92.9	98.1	32.1	35.3	33.3	14.3	47.1	13.3	25.0	26.3	0.0

(出所) 付表A-II(国別)およびA-III(地域別)9-(1)~9-(8)より抽出、要約。

(注) 本表の数値は、各機能ごとに、「十分できる」と「一応できる」と答えた割合を合計した値で表2-1の第5欄に対応する。

を得なかった者が少なくなかったのではなかろうか。南米も比較的応答率が高いが、この場合も日系人が含まれるのと非英語圏であることが理由と思われる。

次に、機能別に「できる」割合の国別地域別順位を比較してみる。まず、学習面では、おおむね全平均の順序通りであるが、目立った違いは、東欧・南アジアが若干高いことである。東欧が高いのは、「書く」以外の機能の「できる」水準が高いため、南アジアの場合には、「質問をする」のと「聞く」のが、他よりよくできるからであ

る。東アジアとその外の地域との格段の差異は、論文を「書く」能力に端的に表われる。東アジアは例えば韓国では9割と高く、その他の地域については、北米が40%余と高く、その他では30%台であり、アフリカに至っては0である。

生活面では、平均としては、やはり全平均の順序通りであるが、東欧と南アジアは、逆に前後に比べて若干低い値である。東欧は「聞く」、南アジアは「読む」と「書く」が一段と低いのが理由である。「会話」については比較的自信のある場合が多く、東アジアの外、西欧・南米・北米・南アジアも80%を越す者が「できる」と評価している。「書く」のは、東アジア以外、やはり苦手のようなのである。いづれのケースも、「話したり聞いたりする能力」が「読んだり書いたりする能力」よりできると答えている。また、学面と生活では後者の方が概してできると答えている。

機能別能力の順位は、学習、生活別に、大体、表示した順の場合が多いが、東アジア諸国だけは、「読む」力が特に優れている。このことは、漢字圏として当然とも言えよう。

#### 4 日本語能力の各種類型別差異

以上の国別・地域別差異の外、留学生間の日本語能力には各種の類型別に少なからぬ差異が存在する。以下、主要な類型別に日本語能力差異の特徴を検討しよう。比較に当っては、国別同様、「十分」と「一応」の和を「できる」として扱うことにする。

##### (1) 奨学金類別区分

調査対象の在日留学生967名中何らかの奨学金をもらっている者は80%に当たる775名であるが、そのうち、464名（全体の48%）が日本の文部省奨学金、残りの311名（全体の32%）が何らかの奨学金を得ている。また奨学金なしは169名（全体の17.5%）である（なお23名は無回答）。以下、この3グループに区分して日本語能力を比較すると、3者間にかかなりの差異が認められる（表2-5）。

最も日本語能力があるのはその他奨学生で、「できる」割合の全平均は80%を越している。生活面での「話したり聞いたりする能力」は90%にも及んでいる。最も低いのは論文を書く能力であるが、それでも、67%が「できる」と答えている。それに続くのが奨学金のない学生で、全平均は70%台で多少低くなるが、それでも80%の学生が授業を聞いたり、日常の会話や新聞を読むことが「できる」と答えている。最低の論文を書く能力は60%が「できる」と答えている。それらに対して、文部省奨学生の場

合は、「できる」割合の全平均は60%を切っている。70%合の割合で「できる」と答えたのは日常会話だけで、60%台では授業を聞くのと放送を聞く場合に限られる。論文を書くに至っては、40%が「できる」と答えているに過ぎない。以上の差異は、最下行に示した日本語回答率が、前2者の80%台に対して、文部省奨学生は30%台であることにも明瞭に現われている。

## (2) 学籍区分別

次に、留学生を学部・大学院・研究生に分けて同様の比較を試みよう（表2-5）。この区分別でも、一見して日本語力に大きな格差が存在していることが分かる。最も日本語能力があるのは学部学生で、「できる」割合の全平均は80%を越している。生活面での「話したり聞いたりする能力」は90%に及んでいる。最も割合が低いのは論文を書く能力で3分の2である。こうした傾向は、さきに見たその他奨学生とよく似ているが、それは両者がかなり重複しているからで、その他奨学生の場合60%近くが学部学生である。大学院生は総てにわたって学部学生より「できる」割合が低く、全平均は70%強である。80%を越すのは生活面での「話したり聞いたりする能力」のみである。最低は、やはり論文を書く能力で60%を切っている。更に、研究生になると日本語能力は一段と低下し、最高で日常会話の60%に過ぎず、最低は論文を書く能力で3割に達していない。全平均は45%に止まっている。ただし、「十分できる」割

表2-5 日本語能力の各種別差異 —— 「できる」と答えた割合 ——

(%)

		奨学金類別			学籍区分別			国公・私立別		男女別	
		奨学生	なし	文部省	学部	大学院	研究生	私立	国公立	男	女
話したり聞いたりする能力	学習	83.0	73.1	62.4	82.3	75.6	47.9	76.2	70.3	81.0	70.7
	生活	90.2	79.3	72.7	91.6	84.2	55.5	87.5	78.4	81.0	81.4
	平均	86.6	76.2	67.6	87.0	79.9	51.7	81.9	74.4	81.0	76.1
読んだり聞いたりする能力	学習	74.4	67.8	47.3	71.2	64.5	36.2	64.0	59.5	62.7	59.6
	生活	81.0	74.0	49.3	82.8	63.2	41.0	72.8	62.8	66.4	66.9
	平均	77.7	70.9	48.3	77.0	63.4	38.6	68.4	61.2	64.6	63.3
全平均		82.2	73.6	59.2	82.0	71.9	45.1	75.1	67.8	70.8	69.6
日本語回答率		85.1	89.3	35.8	81.9	58.3	38.2	80.3	59.1	64.8	66.7

(出所) 付表A-I (性別) 及びA-IV (国公私立別) より抽出, 要約。

合は概して大学院生が高い。

### (3) 国公・私立大学別

国公立大学と私立大学に区分して比較すると、これについてもかなりの格差がある(表2-5)。即ち、いずれの日本語機能についても私立大学が国公立大学を上廻っている。特に生活面での差が著しい。その結果、「できる」割合の全平均は、私立大の75%に対して国公立大は68%に止まっている。ただし、「十分できる」割合は、むしろ国公立が高く、特に、学習面でそれが言える。この点は、国公立大学では大学院生が半分に近いのに対し私立は10%に過ぎないことと関連して、大学院生と学部学生の対比と対応している。

「一応できる」も加えた「できる」割合で私立大学が高いのは、やはり地域別構成が関係しており、東アジアの割合は、国公立大学の43%に対し私立は61%と高い。また来日年次も私大の方が長いケースが多い。これらの差異は、日本語回答率が私立大学が80%であるのに対し、国公立大学は60%に止まっていることとも対応している。

### (4) 男女別

最後に、男女別の日本語能力の差異を表2-5で見よう。全体としては、両者間に大差はない。ただし、いずれの機能についても、「十分できる」割合は男が高く、「一応できる」割合は女が高い。両者を合わせた「できる」割合は、学習については男が高く、生活については女が高い。客観的にこれらの相対的關係があるかどうかは何とも言えないが、男女の主観的評価の差異は常識として認められよう。尚、地域別構成は男女間で大差がない。

## II 日本語能力差異の要因

### 1 漢字圏と非漢字圏の差異

発音や文法が違っていても、漢字の持つ意味は、東アジアの漢字圏諸国ではほぼ共通しており、外国人が日本語を修得する場合、漢字圏の国民であるか非漢字圏の国民であるかは決定的な格差要因である。このことは、上述の留学生間の日本語差異の検討に際し、いずれの類型に関しても、日本語能力の強いケースは、すべて、漢字圏であ

る東アジアの構成比が高かったことから明らかである。東アジア諸国は、文化、風土、位置等、すべて密接な関係にあり、更に、経済的要因も加わって、日本語能力が他地域に較べて絶対的に優位である点に疑問をはさむ余地はない。その意味で第一の格差要因として、先ず、漢字圏と非漢字圏の差異を挙げるべきであろう。

## 2 母国での日本語学習機会

留学生が母国で日本語学習の機会があったかどうかは、実質的な意味において、直接日本語能力差異に強い影響を与えるであろう大きな要因である。本項では、この学習機会の如何に焦点を当てて検討を加える。母国での日本語学習機会については、日本語学校での学習、日本語教科書の入手、TV・ラジオでの学習、母国人からのレッスン、日本人からのレッスン、及びカセット・テープの入手の以上6機会に関し、母国で「できた」か「できなかった」かを質問している。

### (1) 日本語学習機会と日本語能力差異間の相関

われわれは、さきに、各種の機能別に日本語能力を「十分できる」から「全くできない」までの4段階に分けた評価の分布を見てきた。ここでも同様、留学生が、各自の母国で、どのような日本語学習機会を持っていたか、学習面の日本語能力別に、比較したのが表2-6である。同表から、すべての種類の学習機会に関し、すべての機能別に、1つの例外もなしに、各種機会を利用した割合が、「十分できる」「一応できる」「なんとかできる」「全くできない」の能力順に見事に並んでいる事実を発見できる。つまり、自己評価とは言え、日本語能力格差が母国での各種日本語学習機会の有無と密接に対応していることを明確に示している。

学習機会については、回答者全体としては、教科書利用が最高で66%、カセット利用と日本語学校が50%前後と比較的高く、以下、母国人によるレッスン、TV・ラジオと続き、日本人からのレッスンは最低、20%である。注目されるのは、それぞれの学習機会の程度に応じて、日本語能力の順位は一貫して対応していることである。「十分できる」場合の学習機会と「全くできない」場合のそれとの開差は、全体的に読み書きにおいて大きく、各機会を平均した値で見ると、「聞く」「質問する」の場合の倍率が約2.5倍であるのに対し、「読む」「書く」場合は4倍程度の開きを示している。この傾向は、それぞれの機会の種類ごとにも当てはまる。表2-6から、どの機会が特に有効であったかを導出することはできないが、すべての順位が同じであることは、

表2-6 学習日本語能力別の母国での日本語学習機会

(%)

		教科書利用 (1)	カセット利用 (2)	日本語学校 (3)	母国人レッスン (4)	TV・ラジオ (5)	日本人レッスン (6)	平均 (7)
授業を 聞く	十分できる	77.3	59.4	64.3	51.7	39.2	27.3	53.2
	一応できる	70.1	59.3	51.5	49.0	29.2	21.1	46.7
	なんとかできる	48.0	34.5	28.2	26.6	17.5	11.9	27.8
	全くできない	40.4	34.0	21.3	17.0	8.5	4.3	20.9
質問を する	十分できる	77.1	59.8	62.7	53.8	40.2	31.3	54.2
	一応できる	69.5	58.3	54.2	46.8	28.5	21.6	46.5
	なんとかできる	58.5	45.1	36.4	36.0	22.1	9.9	34.7
	全くできない	39.6	30.2	20.8	18.9	13.2	11.3	22.3
論文を 読む	十分できる	85.1	70.2	67.8	56.1	47.4	28.7	59.2
	一応できる	71.5	59.4	53.9	52.4	29.1	23.6	48.3
	なんとかできる	54.1	41.9	37.2	32.6	17.4	15.1	33.1
	全くできない	32.4	18.3	16.2	14.8	4.2	2.8	14.8
論文を 書く	十分できる	86.4	66.7	71.4	59.2	46.9	34.7	60.9
	一応できる	75.5	65.1	57.8	53.5	34.7	24.2	51.8
	なんとかできる	63.4	51.7	45.7	40.0	25.3	19.0	40.5
	全くできない	34.3	19.5	17.8	17.2	5.9	5.3	16.7
総 計		65.9	52.8	49.0	43.5	28.6	20.0	43.3

(出所) 「在日留学生アンケート」10頁の8と9のクロス集計。

基本的には、各種機会が、日本語能力の向上に補完的に作用したとすることができよう。尚、いずれの機能に関しても、東アジアは「十分できる」と答えた者のうち、60%から70%を占め、「一応できる」が50%、「なんとかできる」が20%から40%、そして「全くできない」が1%から10%程度を占めていて、東アジアでの学習機会の高さや日本語能力の高さとが相関していることを改めて証明している（付表A-III・地域別・9）。

次に、同様のことを、表2-7により生活面について見てみよう。本表によれば、「十分できる」から「全くできない」の順に、どの学習機会に関しても、利用度は高い順に並んでいる。そして開差率の関係も、「会話」と「聞く」より「読む」「書く」

表2-7 生活日本語能力別の母国での日本語学習機会

(%)

		教科書利用 (1)	カセット利用 (2)	日本語学校 (3)	母国人レッスン (4)	TV・ラジオ (5)	日本人レッスン (6)	平均 (7)
日常の 会話	十分できる	73.6	56.3	60.6	52.5	32.7	27.9	50.6
	一応できる	65.3	57.1	44.7	41.5	28.8	17.7	42.5
	なんとかできる	53.1	39.2	33.8	29.2	21.5	8.5	30.9
	全くできない	46.4	28.6	25.0	17.9	7.1	0.0	25.5
放送を 聞く	十分できる	76.2	58.5	60.1	52.4	34.7	27.0	51.5
	一応できる	67.7	56.7	50.7	47.0	29.1	21.6	45.5
	なんとかできる	50.0	39.1	33.3	28.2	24.1	8.0	30.5
	全くできない	48.6	37.8	18.9	8.1	5.4	8.1	21.2
新聞を 読む	十分できる	86.2	69.9	67.8	56.2	44.6	29.7	59.1
	一応できる	73.9	63.3	53.1	52.2	32.2	23.1	49.6
	なんとかできる	57.0	43.0	41.5	38.7	19.0	17.6	36.1
	全くできない	29.0	15.9	20.5	12.5	5.7	2.3	14.3
手紙を 書く	十分できる	83.7	64.9	69.8	63.9	41.6	34.2	59.7
	一応できる	73.9	63.4	51.6	46.9	32.8	22.1	48.5
	なんとかできる	56.6	42.6	43.0	36.7	23.5	13.1	35.9
	全くできない	30.1	19.4	17.5	12.6	2.9	4.9	14.6
総 計		65.9	52.8	49.0	43.5	28.6	20.0	43.3

(出所) 表2-6と同じ。

が大きいことなど、さきに見た学習の場合と同様である。つまり、母国での日本語学習機会の多少との対応において、学習面と生活面の日本語能力はパラレルな対応を示している。

日本語能力の差異に関連するもう1つの指標として、回答言語の日本語・英語別グループに分けて、母国での各種学習機会の程度の違いを比較してみよう。表2-8によると、両グループ間には学習機会の程度に大きな差が見出される。すなわち、教科書利用や日本語学校出席の2倍程度から、TV・ラジオ利用の4倍余に至るまで利用度に違いがある。このことから、母国との日本語学習機会の有無が日本語能力に大きな影響を及ぼしていることは明白である。

表2-8 回答言語別の母国での  
日本語学習機会 (%)

	総計	回答言語	
		日本語 (1)	英語 (2)
教科書の利用	65.9	81.3	40.9
カセットの利用	52.8	70.9	23.6
日本語学校出席	49.0	60.0	31.2
母国人のレッスン	43.5	56.9	22.0
TV・ラジオ講座	28.6	40.5	9.5
日本人のレッスン	20.2	26.8	9.5
平均	43.3	56.1	22.8

(出所) 付表A-I (総計) 8-(1)~8-(6)より抽出, 要約。

(2) 学習機会の国別地域別差異

以上のように、日本語能力は母国での日本語学習機会の多少と強い相関をもっていることが分かった。それでは、さきに、各種類型別に検討してきた日本語能力の差異を説明する要因として、母国での日本語学習機会の類型別差異はどの程度の説明をもっているであろうか。まず、国別地域別の比較を表2-9で見よう。

表2-9 母国での日本語学習機会の国別地域別差異

(%)

	東アジア (1)	韓国 (2)	北米 (5)	東南アジア (6)	東欧 (7)	南米 (8)	オセアニア (9)	西欧 (10)	中東 (11)	南アジア (12)	アフリカ (13)
教科書の利用	85.9	90.6	76.2	58.6	66.7	45.1	41.7	53.6	10.5	15.6	0.0
カセットの利用	75.8	88.7	52.4	44.4	0.0	15.1	33.3	32.1	5.3	2.2	0.0
日本語学校出席	65.0	62.3	52.4	34.9	66.7	52.9	50.0	39.3	26.3	8.9	0.0
母国人のレッスン	59.9	74.5	57.1	32.6	33.3	43.1	41.7	28.6	15.8	13.3	0.0
TV・ラジオ講座	49.0	60.4	9.5	14.6	0.0	7.8	8.3	7.1	0.0	0.0	0.0
日本人のレッスン	27.0	78.9	28.6	14.6	33.3	33.3	16.7	17.9	5.3	4.4	0.0
平均	60.5	65.9	46.0	33.3	33.3	33.0	32.0	29.8	10.5	7.4	0.0

(出所) 付表A-II (国別) およびA-III (地域別) 8-(1)~8-(6)より抽出, 要約。

各種類の学習機会が利用できた割合を平均した指標によって順に並べたのが同表であるが、本表と、さきに検討した表2-4での日本語能力の国別地域別順位を対比させてみると、共に、東アジアがトップでありアフリカが最低である点では一致している。

東アジア以外で最も学習機会が高いのは北米である。にもかかわらず、北米の日本語能力は表2-4による限りそれ程高くない。その理由としては、英語と言う世界語を母国語としているために、日本に留学しても必ずしも日本語の上達の必要を感じていないからではなかろうか。その後は、東南アジアから西欧までが、いずれも30%水準で並んでいる。順位は違うが、それらの位置は相対的に表2-4の日本語能力の水準はほぼ対応していると見てよかろう。その下に、中東と南アジアが10%水準で位置しているが、これも、両地域の表2-4での日本語能力の低い水準と対応している。従って地域の順位は正確には異なるが、大局的には、表2-9と表2-4は対応していると見ることができよう。

ところで、各種学習機会間の順位は国別地域別に同一ではない。先ず、東アジア全体としては表記の順に並んでいるのだが、国別には多少違いが認められる。すなわち、韓国では母国人によるレッスンの割合が高い。北米は、TV・ラジオ講座以外の学習機会が一般的に高い。東南アジアは同表の順序通りである。東欧・南米・オセアニア等は日本語学校出席が比較的高い。アフリカはすべての学習機会が0である。これらは、ある程度まで、各国・各地域の日本語学習上の特徴を示していよう。

### (3) 学習機会の奨学金区分別差異

奨学金区分の違いにより母国での日本語学習機会はどのように違っているであろうか。表2-10によると、一番学習機会が高いのは奨学金のない留学生の場合で、それに僅差でその他奨学生が続き、大分差がついて文部省奨学生が最後に位置している。この順は、表2-5の日本語回答率の順と同一であるが、各種機能の平均で比較すると、その他奨学金のない学生が逆転しているが、誤差範囲とみられる。はっきりしているのは、文部省奨学生については、すべての学習機会に関して、他の2グループよりも利用度が低いと言う事実である。

### (4) 学習機会の専攻別差異

最後に専攻別の学習機会の差異を表2-11で比較してみよう。本表によれば上位では、人文社会と日本語専攻の両専攻とも学習機会が高い。続く経営経済と理工の順は

表2-10 母国での日本語学習機会の各種類型別差異

(%)

	奨学金区分別			在籍身分別			国公・私立別		性別	
	なし (1)	奨学金 (2)	文部省 (3)	学部 (4)	大学院 (5)	研究生 (6)	私立 (7)	国公立 (8)	男 (9)	女 (10)
教科書の利用	78.7	80.1	52.6	74.2	65.3	57.7	75.0	64.8	68.4	67.1
カセットの利用	72.2	64.6	38.6	58.1	54.5	44.1	55.3	52.8	56.4	50.7
日本語学校出席	56.2	61.4	38.8	53.0	47.7	44.1	43.2	50.2	49.1	53.3
母国人のレッスン	59.2	53.1	31.9	44.0	45.5	37.7	53.8	42.2	43.3	52.0
TV・ラジオ講座	37.9	37.6	19.2	24.5	32.8	24.1	26.5	29.2	31.2	25.8
日本人のレッスン	24.3	23.5	16.6	22.8	20.7	15.9	25.8	19.4	21.3	21.3
平均	54.8	53.4	33.0	46.1	44.4	37.3	46.6	43.1	45.0	45.0

(出所) 付表A-I (総計) およびA-IV (国公立別) 8-(1)~8-(6)より抽出, 要約。

表2-11 母国での日本語学習機会の専攻別差異

(%)

	日本語 (1)	人文社会 (2)	経営経済 (3)	理工 (4)	政治法律 (5)	農学 (6)	その他理科 (7)	医・薬学 (8)
教科書の利用	70.4	79.2	66.9	68.0	55.3	65.5	73.1	62.5
カセットの利用	59.3	56.6	58.8	55.7	55.3	44.8	53.8	43.2
日本語学校出席	85.2	64.2	49.3	50.9	47.4	40.2	38.5	39.8
母国人のレッスン	74.1	66.0	42.6	40.9	42.1	43.7	38.5	35.2
TV・ラジオ講座	37.0	24.5	25.0	32.0	23.7	33.3	30.8	18.2
日本人のレッスン	37.0	35.8	25.7	18.9	26.3	17.2	7.7	12.5
平均	50.5	54.5	44.7	44.4	41.7	40.8	40.4	35.2

(出所) 付表A-V (専攻別) 8-(1)~8-(6)より抽出, 要約。

全く同一である。これら以外の4専攻分野については、その順位は異なるが、しかし、日本語能力も学習機会も、それらの中で大きな差異は認められず、全体としての動向と同じである。

(5) 学習機会と日本留学志望

以上の検討から、各類型別の日本語能力の差異が、母国での日本語学習機会の有無と強く相関していることが明らかとなった。ところで、この学習機会の有無は、日本

表2-12 母国での日本語学習機会の有無と  
日本留学第1志望率 (%)

	あった (1)	なかった (2)	差 (3)=(1)-(2)
教科書の利用	74.7	69.3	5.4
カセットの利用	75.5	70.0	5.5
日本語学校出席	73.8	72.3	1.5
母国人のレッスン	77.9	68.9	9.0
TV・ラジオ講座	75.5	72.7	2.8
日本人のレッスン	82.1	71.1	11.0
平均	76.6	70.7	5.9

(出所)「在日留学生アンケート」I-5-(13)とII-8のクロス集計。

留学が第1志望であったかどうかということと、どの程度関連しているであろうか。表2-12は、母国での各種学習機会の有無別に、日本留学を第1志望としている留学生の割合を整理したものである。これによると、いずれの学習機会に関しても、その機会があった場合の方がなかった場合よりも第1志望率が高い。その差は、日本人または母国人で日本語のできる人からのレッスンを受けたかどうか約10%が一番大きい。しかし、日本語学校出席やTV・ラジオ講座の有無の間では大差がない。全体の平均としては77%と71%で両者の差は6%である。これは必ずしも、大差といえるものではなく、学習機会の有ることが日本を第1志望にさせた確かな一因であるといえようが、他にも要因があることをうかがわせている。

### 3 来日後の日本語学校入学

来日してから日本語学校に入学することと留学生の日本語能力はどう対応しているであろうか。表2-13は、日本語の機能別能力水準別に来日後の日本語学校入学率を表示したものである。この表から明らかなのは、入学比率は、「なんとかできる」がいずれの機能についても一番高く、むしろ、「一応できる」から「十分できる」に従って低くなっていることである。すなわち、むしろ、入学率の低い方が日本語能力が高いことを示している。これは一見常識と逆になっているが、実は、日本語能力の高い

表2-13 日本語能力別の来日後の日本語学校入学比率

(%)

		十分できる (1)	一応できる (2)	なんとかできる (3)	全くできない (4)
学 習	授業を聞く	37.4	52.8	56.5	44.7
	質問をする	39.8	49.9	53.4	58.5
	論文を読む	30.1	53.6	66.3	52.1
	論文を書く	29.9	46.8	57.0	55.6
	平均	34.3	50.8	58.3	52.7
生 活	日常会話	46.2	52.9	47.7	32.1
	放送を聞く	42.8	51.6	52.9	37.8
	新聞を読む	36.2	50.6	52.8	59.7
	手紙を書く	36.1	51.4	54.6	46.6
	平均	40.3	51.6	52.0	44.1

(出所)「在日留学生アンケート」Ⅰの3(2)とⅡの9  
のクロス集計。

表2-14 母国での日本語学習機会と来日後の  
日本語学校入学率 (%)

	あった (1)	なかった (2)	差 (3)=(2)-(1)
教科書の利用	41.9	63.9	21.0
カセットの利用	38.6	61.5	22.9
日本語学校出席	35.2	61.3	26.1
母国人レッスン	40.1	56.5	16.4
TV・ラジオ講座	29.2	56.9	27.7
日本人レッスン	43.6	49.7	6.1
平均	38.1	60.0	21.7

(出所)「在日留学生アンケート」Ⅰの3(2)とⅡ  
の8のクロス集計。

留学生ほど東アジアの留学生が多く、彼らの場合、必ずしも日本語学校に来日後入学する必要が少ないからである。また、文部省奨学生は非漢字圏留学生（非東アジア留

学生)での比重が高く、彼らの多くは、先ず来日して日本語学校に入学するシステムになっている。このような背景があるため、留学生全体として見る限り、来日後の日本語学校入学率は、彼らの日本語能力の相対的優位性とは逆の関係にある。あるいは、母国の日本語の学習機会が多ければ、来日後日本諸学校で日本語を学ぶことは少なくなる、ともいえる。

この両者の関係をいまずしみてみよう。母国での各種日本語学習機会の有無と来日後の日本語学校入学率を比較したのが、表2-14である。母国で学習機会があった場合では、来日後の日本語学校入学率は明らかに小さい。その差は平均20%に及んでいる。

#### 4 在日年数

日本語能力は在日年数が長くなれば当然上達するはずである。表2-15は、来日以来の年数別に、日本語機能別の「できる」と答えた割合を表示したものである。一部に若干の反転はあるが、長く在日する程、どの機能も上達しているのが明確に分かる。特に、論文を書く能力は、1年以内の20%から10年以上になると90%近くまで増加している。多少のズレはあるが、学習面と生活面とではほぼパラレルに高まっている。さらに日本語能力の上達は、日本語回答率でみたばあい、それが、18%から89%へ上昇していることにもよく表われている。

表2-15 日本語能力の在日年数別差異—「できる」と答えた割合 (%)

		1年以下 (1)	2年 (2)	3～5年 (3)	6～10年 (4)	10年以上 (5)
学 習	授業を聞く	42.5	53.1	84.6	90.5	100.0
	質問をする	35.8	48.3	71.4	86.5	88.9
	論文を読む	32.8	40.8	70.4	78.4	77.8
	論文を書く	20.1	29.3	57.2	70.3	88.9
	平均	32.8	42.9	70.9	81.4	88.9
生 活	日常会話	48.5	76.9	92.0	95.9	100.0
	放送を聞く	38.1	62.6	88.4	91.9	100.0
	新聞を読む	26.9	40.8	72.3	86.5	77.8
	手紙を書く	33.6	56.5	63.0	73.0	88.9
	平均	36.8	59.2	78.9	86.8	91.7
全平均		34.8	51.1	74.9	84.1	90.3
日本語回答率		17.9	40.8	61.1	73.0	88.9

(出所)「在日留学生アンケート」Iの3(2)とIIの9のクロス集計。

(注) 本表の在日年数は、来日年次以降在日と仮定したものの。また「できる」は「十分できる」と「一応できる」の合計。

### III 日本語能力差異と学習効果

#### 1 日本語能力差異と学部教育の難易度

日本語能力の如何は、学部での学習を理解する上でどの程度影響を与えているであろうか。アンケートでは、学部学生に対して、「現在の大学での教育内容が、母国の高校の教育水準からみて難しすぎると考えるか」と質問している。表2-16は、日本語の機能別能力ごとに、難しすぎると考える者の比率を示したものである。その結果は、両者の間に大きな相関があることを示している。すなわち、学習面のいずれの機能に関しても、「十分できる」と答えた者については、十数%の者が難しいと答えたに過ぎ

表2-16 学習機能別日本語能力と学部カリキュラムの難しさ (%)

	十分できる (1)	一応できる (2)	なんとかできる (3)	全くできない (4)
授業を聞く	17.2	33.3	38.9	100.0
質問をする	17.9	31.7	33.3	75.0
論文を読む	15.7	30.6	42.2	50.0
論文を書く	14.0	25.9	41.5	50.0
平均	16.2	30.4	39.0	68.8

(出所)「在日留学生アンケート」Ⅱの9とⅢの10(1)のクロス集計。

(注) 難しいと答えた比率。

ないが、「一応できる」となると約30%が難しいと答えている。そして、「なんとかできる」程度の日本語能力では約40%が難しいとし、更に、「全くできない」と答えた留学生になると70%に近い者が難しいと言う。つまり、日本語能力の如何は明らかに、学習の理解度に影響しているといえよう。

アンケートでは更に、一般教養課程の講義と専門教養課程の講義・演習・実習別に、理解度の程度を10点きざみで自己採点させている。そこで、上述のことを更にはっきりさせるために、日本語能力の機能別能力ごとに、この自己採点の平均値を算出して表示したのが表2-17である。4機能のいずれについても、「十分できる」と答えた者の採点は高く平均80点を越している。特に、論文を書くことが十分できる学生の場合、平均点は85と高い。「一応できる」と答えた者の平均は約70である。「なんとかできる」者の場合は60前後と下る。そして、「全くできない」者になると50点台となる。概して、「聞く」「質問する」「読む」「書く」の順でいずれの場合も点数が上る。このことは、これまでに見てきたように、この順に日本語力が難しくなるので、同じように「できる」と答えても実質的にはこの順で日本語の総合的能力が高くなっているためであろう。

一般教養課程の講義は、いずれのケースも専門に比べて低い。これは講義そのものが難しいと言うよりも、来日したばかりでまだ日本語の講義に慣れていないことが大きな理由であろう。もっとも、専門に比べて教養での授業は多岐にわたっているので、不得意な科目もとらねばならないため、低くなる可能性はある。専門教養課程で

表2-17 学習機能別日本語能力と学習理解度

(%)

		一般教養課程	専門教養課程			平均 (5)
		講義 (1)	講義 (2)	演習 (3)	実習 (4)	
授業を聞く	十分できる	79.2	82.1	81.1	82.5	81.2
	一応できる	68.3	70.2	70.0	69.5	69.5
	なんとかできる	52.4	59.4	59.2	60.9	58.0
	全くできない	30.0	50.0	60.0	—	46.6
質問をする	十分できる	79.0	82.5	81.4	83.1	81.5
	一応できる	69.5	71.3	71.4	71.6	71.0
	なんとかできる	58.9	64.7	64.1	65.3	63.3
	全くできない	52.5	51.3	51.4	56.7	53.0
論文を読む	十分できる	79.4	82.6	82.0	84.1	82.0
	一応できる	70.0	71.7	72.0	70.9	71.2
	なんとかできる	58.1	62.8	60.4	62.2	60.9
	全くできない	50.0	50.0	53.3	63.3	54.2
論文を書く	十分できる	81.4	84.9	86.0	87.6	85.0
	一応できる	71.2	73.8	72.7	72.8	72.6
	なんとかできる	62.1	65.3	64.9	65.1	64.4
	全くできない	54.0	56.0	60.0	62.5	58.1

(出所)「在日留学生アンケート」IIの9とIIIの11のクロス集計。

(注)質問11の自己採点の%を値を平均した値。

は、講義と演習の理解度はほとんど同じである。それらと比べて、実習は若干理解度が高い。実習は言葉が分からなくても理解できる面があるためである。

## 2 日本語能力差異と博士号取得の難易度

わが国での博士号の取得は、外国人留学生にとって難しいといわれているが、その理由をどう考えるか、アンケートでは日本語に関連した質問を設けている。表2-18は、この質問にどう答えたかを、機能別にみた日本語能力水準ごとに比較したもので

表 2-18 学習機能別日本語能力と博士学位取得の難しさ (%)

		十分できる (1)	一応できる (2)	なんとかできる (3)	全くできない (4)
日本語の理解不十分による講義の不理解	授業を聞く	10.2	20.8	41.9	42.1
	質問をする	11.6	16.7	36.8	47.8
	論文を読む	9.3	19.1	32.8	46.4
	論文を書く	9.3	14.1	28.1	40.3
	平均	10.1	17.7	34.9	44.2
日本語の能力不十分による研究資料の不理解	授業を聞く	13.4	18.5	38.7	47.4
	質問をする	13.2	14.9	36.8	52.2
	論文を読む	11.1	20.6	31.1	39.3
	論文を書く	10.5	16.0	30.2	31.9
	平均	12.1	17.5	34.2	42.7
論文執筆に日本語の要求	授業を聞く	15.3	17.3	27.4	47.4
	質問をする	14.7	14.9	31.0	39.1
	論文を読む	11.7	24.4	18.0	32.1
	論文を書く	8.1	16.0	27.1	30.6
	平均	12.5	18.2	25.9	37.3

(出所)「在日留学生アンケート」Ⅱの9とⅣの13(1)~(3)のクロス集計。

ある。

まず、「日本語の理解が十分でないため、講義が理解できないから」と考えるかどうかについては、いずれの機能に関しても、日本語が「十分にできる」者は約10%がそう思うと答えたに過ぎない。ところが、「一応できる」者になるとそれが20%近くに上り、更に、「なんとかできる」程度の日本語能力では30%から40%に上昇する。そして、「全くできない」者になると、すべての機能に関して40%台の者がそのように考えている。明らかに、日本語能力の水準が低い程、日本語の難しさと結びつけているといえよう。

次に、「日本語の能力が十分でないため、研究資料が理解できないから」との質問をしているが、これについても、傾向は上述と全く同じである。特に、「全くできない」者では過半数がそう考えている。更に、「論文執筆に日本語が要求されるから」と考えるかどうかについても、ほぼ同様の傾向が認められる。ただし、同様に「十分にできる」

表2-19 博士号取得の難しさの認識と日本語回答率

(%)

	そうではない (1)	その通りである (2)
日本語の理解が十分でないため、 講義が理解できないから	74.4	33.3
日本語の能力が十分でないため、 研究資料が理解できないため	90.1	36.8
論文執筆に日本が要求されるから	69.7	46.3
平均	71.4	38.8

(出所)付表A-I (総計) 13-(1)~(3)より抽出、要約。

者でも、「書く」のが十分できる場合は僅か8%に過ぎないのに、「聞く」のが十分できる場合は15%になったり、逆に、「質問」が「全くできない」場合でも、この質問に対しては、他の質問よりかなり低い率の者がそれを認めたりする違いがあることは留意されねばならない。

いずれにしても、日本語能力の低いもの程、博士号取得の難しさを日本語の問題と結びつけて考えていることは確かであろう。この点を更に確認するために、上述の3つの質問に対して、「そうではない」と答えた場合と、「その通りである」と答えた場合を分けて、日本語回答率と対比してみよう(表2-19)。

「その通りである」とした者の日本語回答率はいずれの質問に対しても30%台から40%台をかなり低く、「そうでない」と答えた者の70%よりはるかに小さい。このことから、日本語能力の差異が、博士号取得の難しさと密接に関連があることがわかる。

#### IV 帰国後の日本語使用

##### 1 日本語の使用機会

日本への留学生は、帰国後、どの程度日本語を使用しているのだろうか。本節では、元留学生に限定してその実態を見ることにしよう。表2-20は、帰国後の日本語使用機会を日常生活と勤務先の仕事別に、「かなりの機会がある」「わずかであるがある」「全く機会はない」に3区分した回答構成比を、調査対象総計および回答言語別に表示したものである。

先ず、総計について見ると、30%に近い者が勤務先で「かなり」の使用機会をもっている。日常生活でもそれに近い「かなり」の機会がある。ところが、「わずかである」ケースは日常生活でかえって多く、両者を合わせた機会としては日常生活が75%に達し、勤務先の66%よりも機会が多い。平均的には、70%の者が使用機会をもっていると言える。

ところで、これを回答言語別に分けて比較すると、当然予想されるように日本語回

表2-20 回答言語別帰国後の日本語使用機会

(%)

		総計 (1)	回答言語	
			日本語 (2)	英語 (3)
日常生活	かなりある	25.4	29.5	22.1
	わずかである	49.3	54.1	45.5
	全くない	18.8	14.8	22.1
勤務先	かなりある	29.0	41.0	19.5
	わずかである	37.0	34.4	39.0
	全くない	23.6	23.0	32.5
平均	かなりある	27.2	35.3	20.8
	わずかである	43.2	44.3	42.3
	全くない	23.6	18.9	27.3

(出所)付表B-I (総計) 7-(1) より抽出、要約。

答者の方が使用機会は多い。特に、勤務先で「かなりある」者は、英語回答者の20%に対し日本語回答者は40%と倍増する。「わずかある」者は、勤務先では多少英語回答者の方が多いが、両者の合計では日本語回答者の方が多くなる。日常生活では、「かなりある」「わずかある」のいずれでも日本語回答者の方が多く、合わせて85%に近い。平均としては、約80%の日本語回答者が日本語を使用する機会があるのに対し、英語回答者は約60%の使用機会があるのに過ぎない。ただし帰国後も使用機会があるから日本語で回答できるのか、逆に、日本語で回答できる程日本語ができるので使用機会があるかは、いずれとも断定できない。だが、常識的には、日本語能力が相対的に強い者は、使用機会も多いとすることができよう。

## (1) 国別・地域別

表2-21は、同じ質問に対し、「かなりある」と「わずかある」の両方を合計した使用機会比率を、国別・地域別に表示したものである。使用機会の順位は、第1位がオセアニア、(サンプル数は4)、北米がそれに続いて使用機会は高いのもやや意外である(日常生活での機会は高い)。当然第1位と思われる東アジアは3位に位置している。ただし、国別に見ると韓国での機会は70%台に止まっている(これは国情を反映しているのであろうか)。そのためか東アジア全体としての使用機会比率を下げる結果となっている。ついで東南アジア以下の地域が続き、最も機会の少ないのは南アジアとなっているが、一応、妥当な順位であろう(尚、アフリカの回答者はない)。同表の最下欄には、日本語回答率も表示してあるが、東アジアの100%に近い高率から南アジアの0%に至る順位は、ほぼ妥当な日本語能力の強さの順位を反映していよう。

表2-21 国別・地域別帰国後の日本語使用機会 (%)

	オセアニア (1)	北米 (2)	東アジア (3)	韓国 (6)	東南アジア (7)	東欧 (8)	南米 (9)	西欧 (10)	中東 (11)	南アジア (12)
日常生活	75.0	100.0	76.4	73.9	80.0	83.3	100.0	73.1	64.3	33.3
勤務先	100.0	66.7	85.3	78.2	71.4	66.7	40.0	53.9	21.4	33.3
平均	87.5	83.4	80.9	76.1	75.7	75.0	70.0	63.5	42.9	33.3
日本語回答率	50.0	66.7	97.1	95.6	42.9	0.0	50.0	23.1	7.1	0.0

(出所)付表B-II(国別)およびB-III(地域別)7-(1)より抽出、要約。

(注)「かなりの機会がある」と「わずかある」を合計した割合。

表2-22 各種類型別帰国後の日本語使用機会

(%)

	奨学金区分別			在籍身分別		国公・私立別		性 別	
	その他奨学金 (1)	文部省 (2)	なし (3)	学部 (1)	大学院 (2)	国公 (1)	私立 (2)	男 (1)	女 (2)
日常生活	83.3	74.1	71.4	90.9	69.3	74.6	75.0	79.1	69.0
勤務先	83.4	64.2	57.2	66.7	65.3	66.7	50.0	64.9	58.6
平均	83.4	69.2	64.3	78.8	67.3	70.7	62.5	72.0	63.8
日本語回答率	100.0	40.8	42.7	66.7	38.6	46.8	25.0	60.5	29.6

(出所)付表B-I (性別) およびB-IV各種類型表7(1)より抽出, 要約。

(注) 表2-21と同じ。

### (2) 奨学金類別

在日中の奨学金の有無や種類と帰国後の日本語使用機会には関連があるのだろうか(表2-22)。最も機会の多いのはその他奨学生で、日常生活・勤務先を問わず使用機会は80%を越している。それに続くのは文部省奨学生で、日常生活では70%台、勤務先では60%台の使用機会をもっている。奨学金のなかった者の場合は更に使用機会が低い。ところで日本語回答率は、その他奨学生の100%に対し、文部省奨学生は41%、奨学生のなかった者は43%であった。元留学生で奨学金のなかった者の場合の日本語回答率は、在日学生のそれ(90%に近い)の半分以下になっている。元留学生は元文部省奨学生が圧倒的に多く、偏ったサンプルであるのではっきりしたことは言えないが、相対的には、何らかの奨学金を得ていた者は、奨学金のなかった者より、帰国後、日本留学を生かした生活をしているとみられるようである。

### (3) 専攻別

表2-23では、専攻別に日本語使用機会を比較する。最も使用機会が高いのは日本語専攻でこれは当然とも言える。次いで、その他理科・政治法律・農学・理工となる。(うち政治法律はサンプル数が2で、検討対象から外す)。このように自然科学系が上位を占めているが、その後、人文社会と経営経済が位置し、最後は医・薬学であった。政治法律と医薬学の特殊性を考えれば、日本語回答率も(農学の低さを例外として)日本語使用機会の高さの順に並んでいる。

表2-23 専攻別帰国後の日本語使用機会 (%)

	日本語 (1)	その他理科 (2)	政治法律 (3)	農学 (4)	理工 (5)	人文社会 (6)	経営経済 (7)	医・薬学 (8)
日常生活	80.0	100.0	50.0	82.6	67.1	78.6	57.2	46.2
勤務先	100.0	60.0	100.0	60.8	70.9	50.0	71.4	61.6
平均	90.0	80.0	75.0	71.7	69.0	64.3	64.3	53.9
日本語回答率	80.0	80.0	0.0	26.1	54.2	42.3	14.2	53.8

(出所)付表B-V(専攻別)7-(1)より抽出、要約。

(注)表2-21と同じ。

#### (4) 職業別

職業別に日本語使用機会が最も高いのは当然ながら日系民間企業で、日常生活、勤務先共に、使用機会は100%を示している(表2-24)。逆に、共に最低なのは母国系民間企業で50%台に過ぎない。この両者の間に他の職業が分布している訳で、上位には、試験研究機関とその他教育機関並びに自営業が、平均80%の使用機会と並んでいる。次に、他国との合弁企業、大学が続き、政府行政機関は最低に近い。

表2-24 職業別帰国後の日本語使用機会

(%)

	日常生活 (1)	勤務先の仕事 (2)	平均 (3)	日本語回答率 (4)
日本系民間企業	100.0	100.0	100.0	66.7
試験研究機関	87.5	75.0	81.3	12.5
その他教育機関	87.5	75.0	81.3	50.0
自営業	100.0	60.0	80.0	0.0
その他の国と合弁企業	75.0	75.0	75.0	50.0
大学	73.2	67.6	70.4	52.1
政府行政機関	72.2	61.1	66.7	33.3
その他	77.7	55.5	66.6	44.4
母国系民間企業	55.5	55.5	55.5	33.3

(出所)「元留学生アンケート」IIの(1)とIIの7(1)のクロス集計。

(注)表2-21と同じ。

試験研究機関やその他の教育機関での機会かなり高く、大学では70%に止まっているのが殊に印象的である。日本語回答率と使用機会とは、試験研究機関と自営業が異常に低いのを除けば、いずれの機関も大まかには対応している。

## 2 日本語の使用形態

帰国後の留学生は、実際にどのような形で日本語を使用しているのであろうか。ときに、日常生活と勤務先とのそれぞれについて、日本語の使用機会が「かなりある」または「わずかある」程度を確かめたが、「かなりある」あるいは「わずかある」と云う中味は何であろうか。また日本語はどのようなかたち（使用形態）で使われているのであろうか。この点をはっきりさせるには、本来、日常生活と勤務先に区分して、それぞれの使用形態を質問しなければならない。残念ながら、今回のアンケートでは、日常生活と勤務先ごとに使用形態を分けずに一本の質問をしているため、必ずしも合理的ではないが、ここでは、「使用機会の頻度」に対応させて使用形態がどうなっているかを比較してみよう。

先ず、表2-25により日常生活での使用頻度別の機能別形態の違いを比較してみよう。アンケートでは日本語の使用の機能別形態を「会話をする」「文章を読む」「放送

表2-25 帰国後の日本語使用機会とその形態

(%)

		日本語使用機会				総計 (5)
		日常生活		勤務先		
		かなりある (1)	わずかある (2)	かなりある (3)	わずかある (4)	
使用 形態	会話をする	100.0	92.7	100.0	91.2	88.3
	文章を読む	97.1	86.8	100.0	84.3	81.9
	文章を書く	85.7	69.7	92.5	58.8	65.2
	通訳をする	88.6	66.2	92.5	58.8	63.0
	放送を聞く	65.7	41.2	62.5	39.2	40.6

(出所)「元留学生アンケート」IIの7(1)と(2)のクロス集計。

(注) 各使用形態ごとに「かなりある」と「時折ある」を合計したものの。

を聞く」「文章を書く」「通訳をする」の5種類に分けている。使用機会が「かなりある」者の場合、最も多い使用形態は会話の100%で、「読み」も97%と非常に高い。次いで「書く」と通訳が80%台でそれに続いている。放送は低くて60%台である。使用機会が「わずかある」者の場合も、会話と「読む」は90%前後で高い。しかし、通訳と「書く」は60%台になり、しかも順序が逆転する。放送は40%に下がる。

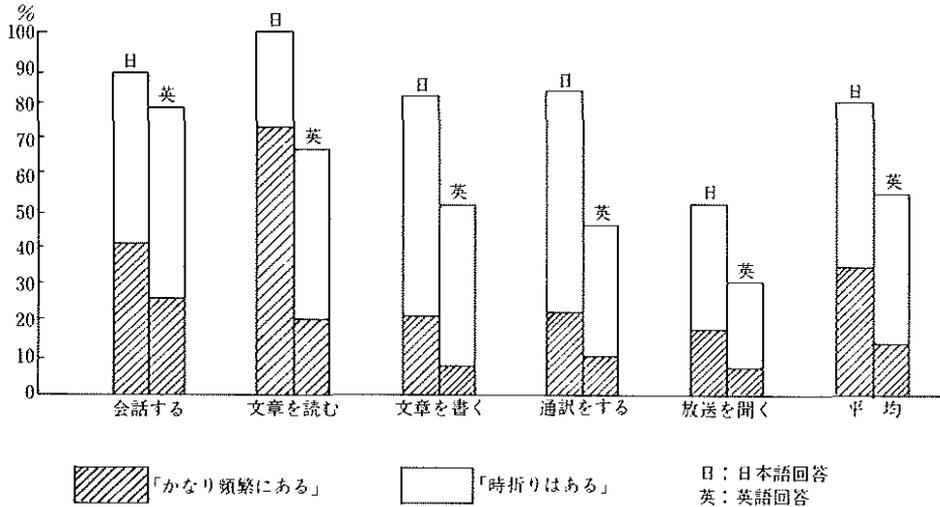
次に勤務先での使用機会と形態の関係を見てみよう。基本的なパターンは日常生活の場合と変わらない。しかし、「かなりある」者の場合、会話と「読む」は100%となり、「書く」と通訳も90%台となる。そして、「わずかある」者の場合には、会話と「読む」は変わらないが、その他はむしろ割合を低めている。

総計（日本語を使用する機会の全くない者も含む）についてみれば、使用形態別の使用割合は、会話と「読む」が80%台、「書く」と通訳が60%台、放送が40%の順となった(表2-25の(5)欄)。以下、この使用形態別に、元留学生の各種類型ごとの使用機会の頻度を比較することにする。

#### (1) 回答言語別

図2-2は、日本語回答と英語回答別に、日本語使用形態の頻度を比較したものである。両グループ間には、すべての使用形態にわたって明らかな頻度の差がある。この頻度の差は、「かなり頻繁にある」場合のみについても、それに「時折りはある」を加えた合計についても同様である。ただし、頻度の差は使用形態によって異なり、全体として最も高頻度の形態である会話については、両者の差は僅かである。ところが、「読む」形態は、日本語回答者は「かなり」だけでも7割を越し、「時折り」も加えると100%に達するのに対し、英語回答者の場合は、「かなり」だけでは僅か20%、全体でも70%に達していない。「書く」と通訳はほぼ似た頻度で両者の格差も同程度である。「聞く」形態はいずれのグループも最少頻度である。全体としては、日本語回答者は平均80%でいろいろな形で日本語を使っているのに対して、英語回答者は50%を越す程度に留まっている。前者の方が明らかに日本語能力は上であるから、各種の形で日本語の使用頻度も多いと言う当然の結果を示していよう。

図 2—2 回答言語別帰国後の日本語使用形態



(出所) 付表・B—I (総計) 7(2)。

(2) 国別地域別

表 2—26 国別地域別帰国後の日本語使用形態 (%)

	東アジア (1)	韓国 (4)	南米 (5)	オセアニア (6)	東南アジア (7)	北米 (8)	西欧 (9)	中東 (10)	東欧 (11)	南アジア (12)
会話する	85.3	78.3	100.0	90.0	94.3	100.0	80.8	50.0	83.3	33.3
文章を読む	100.0	100.0	100.0	90.0	82.9	66.7	80.8	64.2	50.0	33.3
文章を書く	91.2	86.9	80.0	75.0	65.7	66.6	57.7	50.0	16.7	33.3
通訳をする	88.2	82.6	80.0	50.0	68.6	33.3	53.8	35.7	16.7	33.3
放送を聞く	73.6	65.2	60.0	75.0	31.5	33.3	23.0	21.4	16.7	33.3
平均	87.3	82.6	84.0	76.0	68.6	60.0	59.2	44.3	36.7	33.3

(出所) 付表B—II (国別) およびB—III (地域別) 7(2) より抽出、要約。

(注) 「かなり頻繁にある」と「時折りある」を加えた合計の割合。

表 2—26は、国別地域別に日本語使用形態の頻度を比較したものである。同表は、各形態ごとの頻度の平均の順に地域を並べてあるが、まず東アジアが最も高い頻度で各種の形の日本語を使っており、中でも「読む」は100%である。「書く」も90%で全

平均も90%に近い。東アジアの中では、韓国は「読む」以外は低くなる。それに続くのは、南米・オセアニア・東南アジアで、平均として頻度は70~80%である。会話と「読む」水準はいずれもかなり高い。その後に北米と西欧が平均60%水準で続き、最少頻度のグループとして最後に中東東欧南アジアが位置している。このように、各地域とも、形態別の頻度の順は、全体の順と概ね同様である。

東アジアが第1位にあるのは当然として、南米が第2位にあるが、これは、さきの表2-22で、南米での日常生活の日本語使用機会が100%であることと対応しており、これは日系人が多いことを反映している。同表で第1位だったオセアニアがその次に続き、大体両表は対応している。

### (3) 専攻別

表2-27は、専攻別に帰国語の日本語使用形態ごとの頻度を示したものである。その他理科と日本語専攻は、会話と「読む」がいずれも100%と高いこともあり、前者は更に通訳も100%で、両者が第1位と第2位を占めている。続いて、理工と農学の自然科学が占める。そして、その後に、各種の人文社会科学が続く。各専攻ごとの形態別頻度の順位は、大体において全体の順と一致している。

表2-27 専攻別帰国後の日本語使用形態 (%)

	その他理科 (1)	日本語 (2)	理工 (3)	農学 (4)	人文社会 (5)	政治法律 (6)	医・薬学 (7)	経営経済 (8)
会話する	100.0	100.0	81.3	82.6	85.7	100.0	61.6	85.8
文章を読む	100.0	100.0	87.6	69.6	85.7	50.0	76.9	71.5
文章を書く	80.0	60.0	70.9	73.9	64.2	50.0	53.9	28.6
通訳をする	100.0	80.0	66.7	73.9	71.4	50.0	38.5	42.9
放送を聞く	40.0	40.0	47.9	34.8	21.4	50.0	46.2	28.6
平均	84.0	76.0	70.9	66.3	65.7	60.0	55.4	51.5

(出所)付表B-V(専攻別)7(2)より抽出、要約。

### (4) 職業別

最後に職業別に日本語使用形態を比較しよう(表2-28)。この場合も、さきに見た表2-25の場合と同じく、全体の平均による第1位は日本系民間企業で、最低は母国系民間企業である。次いで、自営業とその他の国との合弁企業が平均75%以上の頻度

表2-28 職業別帰国後の日本語使用形態 (%)

	会話 (1)	読む (2)	書く (3)	通訳 (4)	放送を聞く (5)	平均 (6)
日本系民間企業	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	93.3
自 営 業	100.0	100.0	80.0	40.0	60.0	76.0
その他の国との合 弁 企 業	100.0	75.0	75.0	75.0	50.0	75.0
試験研究機関	87.5	75.0	50.0	75.0	62.5	70.0
そ の 他	88.8	88.9	55.5	77.8	33.3	68.9
大 学	81.7	83.1	69.0	64.8	43.7	68.5
政府行政機関	88.9	77.7	72.3	61.2	33.4	66.7
その他の教育機関	87.5	87.5	50.0	54.0	37.5	62.5
母国系民間企業	55.5	66.7	55.6	44.4	11.1	46.7

(出所)「元留学生アンケート」IIの6(1)aとIIの7(2)のクロス集計。

で上位にある。その次に、試験研究機関や大学が70%水準で続いている。表2-25で比較的高かったその他教育機関は最下位に近い。両表での順位のつけ方は、いずれも1つの便法でどちらがより現実に近いかを認定するのは難しいが、本表の方が、具体的な質問をベースにしたものなのでより信頼できるのではないかと思われる。

母国系民間企業を除外すると、すべての職場で日本語の会話をする頻度は高く80%から100%に及んでいる。「読む」も75%以上である。「書く」となるといくつかの職場は50%に下る。通訳は比較的頻度の多い所と少ない所に分かれる。放送はいずれも低い。

## 結 び

日本への留学生は、生活と学習面で充実した成果をあげるためには、何よりも日本語の習得という問題を避けることはできない。本章ではこの問題をことば（日本語）のもつ機能ごとに把握し、日本語能力における差異と要因を探り、それが学習効果にいかに関与を与えたか、さらに帰国後の日本語使用の実態について、総合的に分析したものである。なおここにいる機能とは、学習面では授業を聞くこと、授業のときに質問すること、研究論文を読むことおよび論文、レポートを書くこと、の4つを、ま

た生活面では日常生活に差支えない程度での日本語の会話、テレビ・ラジオの日本語放送を聞くこと、日本字新聞を読むことおよび友人に日本語の手紙を書くことの4つを、それぞれ具体的指標として扱っている。

1. 在日留学生の日本語能力（の自己評価結果）については、まず学習面では、能力の高い順に聞く、質問する、読む、書くの順序となった。また生活面では、会話する、聞く、読む、書くの順序であった。すなわち「話したり聞いたりする能力」が全体として上位を占め、「読んだり書いたりする能力」はそれよりも劣ることになる。

機能別にみた日本語能力は、回答言語（アンケートの回答に用いられる日本語または英語）別では日本語回答者が英語回答者よりも明白に高く、漢字圏と非漢字圏とでは予想される通り日本語能力は漢字圏の諸国からの留学生が高かった。そして4つの機能別にみた先の順序はこれら回答言語別と国別地域別のいずれについても、ほぼ同じ配列を示した。

また、在日留学生のもつ属性別にこの日本語能力をみれば、特徴的な点として以下が指摘できる。奨学金類別では文部省奨学金受給者の日本語能力はその他奨学金および奨学金なしの留学生よりも下位にあること、学籍区分別ではそれぞれが高い順に学部学生、大学院、研究生となり、国公・私立大学別では日本語能力は私立大学が国公立大学を上回っている。

2. 在日留学生の日本語能力における差異は、上で述べた留学生の各種属性に応じて説明される部分もあるが、第1には漢字圏、非漢字圏という母国の言語の日本語との親和性による点が多い。しかし母国における日本語学習機会の有無はさらにこの能力の差異に強い影響力をもっている。学習機会とは、具体的には日本語の教科書利用、日本語カセットテープ利用、日本語学校、母国人による日本語学習、TV・ラジオ、日本人による日本語学習であり、回答者全体としての利用度は教科書利用を最高に、この順序で低くなっていた。ここで重要な発見は、例えば教科書を多く利用した場合は、機能別日本語能力の序列は（先に指摘した話す、聞く、読む、書くの順序どおり）相応じて高くなるといった対応をしており、その他の学習機会の場合もこれと同様であった。すなわち母国における各種の日本語学習の機会は日本語能力の向上に補完的に作用したということである。

国別地域別では東アジアにその機会が多く、北米、東南アジアの順になるが、その種類は国別に若干の差がある。また特徴として奨学金類別では、文部省奨学金受給者の場合他の留学生よりも、いずれの学習機会についてもその利用度が低くなっている。

さらにこうした母国での日本語学習機会があることが、第1志望として日本留学を

選択することにもつながるようであり、また日本語を学習した留学生の場合、日本に来て日本語学校に入学する者の場合は低くなっている。

3. 在日留学生の日本語能力の差異は、留学における学習効果と密接な関係をもっており、能力が高ければ学習内容の理解力が高いといった結果が明瞭である。同じことは博士号取得に際しても指摘され、講義の理解、資料の理解、日本語での論文執筆のいずれについても、日本語能力が低ければその困難さはそれだけ強く表明されている。

4. 帰国後の日本語使用については、元留学生の実態から次の諸点が明らかとなった。元留学生の勤務先はその63%が研究教育機関であり、政府行政機関の13%を加えるとその全体の76%が公的組織での仕事をしているが、いずれにせよ母国での使用機会は70%に達している。

こうした使用機会は、予想されるように日本語能力を高く評価できる（日本語での回答者である）元留学生ほど多く、また日本語の使用は勤務先よりも日常生活のほうが多くなっている。国別地域別では北米（日常生活が多い）に次いで東アジアが高いが、韓国での使用機会が低いこともあってその順位は第3位となった。元留学生（回答者）は文部省奨学金受給者であった者が多く、これらの母国での日本語使用機会もまた多い。専攻別では、日本語学専攻者の使用機会の高さは当然として、一般には自然科学系専攻者でそれが高く文科系に低くなっている。この順位はアンケートに日本語で回答した者の割合と一致しており、結局は日本語能力が高い程、その使用機会が多いことを意味する。

日本語使用の機能別形態は、ここでは会話をする、文章を読む、文章を書く、通訳をする、放送を聞くの5つに分けて把握されているが、元留学生全体では会話をするを最高に、上の順序でその使用機会は少なくなっている。この順は日常生活、勤務先ともにほぼ共通している。国別地域別では東アジアが最も高い使用頻度にあり、機能別形態の順序も同様に会話から放送まで並ぶ。

元留学生の現在の職業別に、この日本語使用の機能別形態をみると、全体の使用頻度は日本系民間企業が第1位で、自営業、その他の国との合弁企業がこれに次ぎ、試験研究機関、大学は第3位のグループになり、最も低いのは母国系民間企業であった。さらに機能別形態はいずれの職業をみても、会話をするを第1位に以下読む、書く、通訳するの順位であり、殊に読むと書くという機能の利用がもっとも多くみられた。

(山田 三郎)

(注)

- (1) 例えば、山田三郎、「日本への留学生と日本語」(第I部国費留学生第4章)、同、「留学生と日本語」(第II部私費留学生第4章)、同、「帰国後における日本語の活用」(第III部国費留学生の追跡調査(タイ)第2章)、いずれも、川野重任編、『東南アジア留学生の日本選抜』、アジア経済研究所、1976年。調査対象は、国費留学生63名、私費留学生26名、元留学生37名であった。あるいは、山田三郎、「日本の社会、日本語との接触」、川野重任編、『在日外国人学生——その日本観——』、大明堂、1982年。調査対象は340名。前者に較べれば、調査サンプル数はかなりの増大を見たが、集計は総べて手作業で行なったため、分析の内容にはどうしても限界があった。
- (2) 今回の『在日学生アンケート』では千人に近い調査対象であったため、大数法則が働いて、かなり精度の高いコンシステントな集計結果を得た。ただし、調査対象が文部省国費留学生に多く斜いた点は、今回調査の1つのバイヤスとして留意すべきであろう。『元留学生アンケート』のサンプル数は残念ながら若干少なく、代表性については若干問題がある。
- (3) 日本語能力を代表させる指標としては、外にも、「十分できる」場合の割合のみで代表させたり、表2-1から表2-3の第6欄のように、「十分できる」から「全くできない」を差引いた割合で代表させることも可能で、それぞれに長所があるが、ここでは、その分り易さと数値の安定性を考えて、このような選択をした。



### 第3章 学部及び大学院における 学習条件と学位取得問題



## 第3章 学部及び大学院における学習条件と学位取得問題

### はしがき

本章の目的は、在日学生のうち研究留学生220名を除く、学部もしくは大学院の在籍者（以下在日学生という。）713名及び元留学生138人を対象として、留学の中核的領域である大学での学習とその成果についての実態を把握し、さらに問題点を摘出し、これによって今後拡充される受け入れ体制のより一層の改善あるいは効率的な運用に関する、判断の素材を提供することである。

ここで、分析の対象領域は主として大学における教学の側面に限定される。従って、教育の環境条件とか事務的な管理などについては触れていない。これらについては、より総括的な観点に立脚してなされる、次章「日本留学への評価と意見」のなかに包摂されている。また、教学の側面はさらに、1)学部のカリキュラムの水準及びそれに対する理解度、2)大学院における論文作成にまつわる諸問題、3)留学生の具体的な成果としての取得学位の利用(活用される職域、目的など)及び、4)学位の各母国における評価の国際比較にブレイク・ダウンされている。

これらの分析課題に対して、まず総体的な考察を加えることによって、問題の性格を浮き彫りにし傾向的な特性を抽出する。ついで、巻末付表の表頭にみられる、性別、回答国語別などをはじめとする8種類の分類要因のなかから、とくに分析課題毎に影響をもつと思われる幾つかの要因を、演繹的思考によって選択してその関連性を明らかにした。すなわち、要因をさらに幾通りかの水準にカテゴライズし、主として回答の件数比率の相対的な比較によって、差異の有無とその特徴などをみることにした。

このように、本章においては上記8種類の分類要因を均一に扱わず、分析課題の性格に応じて、仮説的に重要と思われる要因だけを適宜取捨し、重点的な接近説明が図られている（さらに、とくに主要なファインディングについては、若干の統計的検証に依拠してこれを補完しているものもある）ことを、初めに断わっておく。

最後に、われわれの予め用意した選択式の設問以外に、回答者に自由に記入を依頼（もしあれば）した事項について、寄せられた意見をその趣旨に応じて類型化し、分

析によって得られた知見をさらに深めることにした。また、この結果から学習効果を高めるための改善点を幾つか見つけ出すことができた。これらの成果を、以下7節にわたって述べることにする。

## I 学部カリキュラムの水準と理解の難易性

本課題については、前出、第2章第III節においても日本語能力水準との関連において取り上げられ、両者の間には強い相関があることが検証されている(表2-17参照)。そこで、ここでは別の角度から、いま一度彼らの見解について、若干の分析を試みることにしよう。

### 1 総計からみた実態

#### (1) 難易性

回答者298人のうち、「NA」15人を除く残り283人は、付表・A-I(総計)10.にみられるように196人(66%)が母国のカリキュラムの水準・内容と大差がないとしている。まず、この数字は彼らの高校における教育水準に基づく類推であり、直接の経験から割出したものでないことに留意する必要がある。これに対して、87人(29%)が「ある科目は難しすぎる」としている。これをいかに解釈するかは、個々人によって異なるかも知れないが、矢張り3人のうち1人が難しいとするのは、重視されるべき事実と認められる。

#### (2) 難しい科目名

そこで、彼らが挙げた難しい科目をその順位によって配列すると、理工(54%)、人文社会(16%)、経営・経済(7%)が主要なものとなる。このように、日本語能力いかんが比較的問われない理工系の科目が、最もしかも群を抜いて高いのは意外な結果である。この点については、専攻別とのかかわり合いで、いま一度後にみることにしよう。なお、ここでいう理工には理学、工学及び数学がふくまれる。

## 2 回答国語別による差異

### (1) 難易性

カリキュラムに対する難易性を感得するとき、前出、第2章にみられたようにカリキュラムの内容それ自身もさることながら、日本語に対する理解力いかにその媒体となっていることは確かである。そこで、本調査について日本語で回答した者(244人)を、然らざる者(英語で回答54人)よりは相対的に日本語の理解力が高いと想定して、両者の反応の差異をみることにする。

付表・A-I(回答国語別)10.にみられるように、矢張りこれらグループの間にははっきりとした差異が認められる。すなわち、日本語で回答を寄せた者の70%余が「大差なし」とするのに対して、英語回答グループでこれを肯定するのは40%強に過ぎない。逆に、「ある科目は難しい」として挙げるのは、前者の23%に対して後者は55%と過半数を超えている。従って、ここでも日本語能力の程度が彼らの反応に対して、大きな影響をもっているといえよう。

### (2) 難しい科目名

そこで、難しい科目として挙げた科目を順位によって記すと、日本語回答グループについては、理工(46%)、人文社会(19%)、経営経済(9%)が主なものである。また、英語回答グループでは、理工(70%)、人文社会(10%)となる。このように、科目についてみる限り、両者の間には隔りはみられない。

## 3 国公・私立別にみた差異

つぎに、彼らの在学する大学を国公及び私立に分けて、それぞれの相違をみることにする。付表・A-IV(国公・私立別)10.に示されているとおりである

### (1) 難易性

国公立に属する者の63%が、母国のカリキュラムの水準と比較して、大差なしとするのに対して、私立に属する者の比率は72%と、これを10ポイント程上回っている。逆に、難しすぎる科目があると指摘した者は、前者で32%、また後者で24%となっている。この彼らの反応は、より具体的には、後節II・3の分析結果とも整合している。また、留学生に限らず一般的に妥当し得る傾向とみられる。

## (2) 難しい科目名

ともに第1位に挙げているのは理工（内容は前出と同じ）であり、ついで人文社会であることに変わりない。その他、国公立の場合ではサンプル数は僅かであるが、数科目に分散している。これに対して、私立の場合には上記2科目以外に、経営経済だけとなっているのが、強いていえば両グループ間の相違である。

## 4 漢字圏と非漢字圏の差異

これまでみられるように、いずれの分類基準との関連でみても、人文社会など日本語能力いかがが左右する科目が、理工について一律に難しい科目として挙げられている。そこで、出身者を日本語と親近性の高い漢字を日常生活の情報伝達メディアとする漢字圏（すなわち東アジア）と、然らざる非漢字圏（残りの9地域）に大別してみることにする。

### (1) 難易性

付表・A—III（地域別）10. にみられるように、東アジア出身者166人、並びにそれ以外の9地域からの学生114人の反応はつぎのとおりである。まず、東アジアの学生は「大差なし」とするのが78%、「難しすぎる科目あり」とする者が18%になる。これに対して、非漢字圏の学生は、それぞれ50%、45%となっている。この数字にみられるように、両者の差は判然としている。また、非漢字圏に属する学生のうち、その86%が東南アジアからである。従って、上記数字は殆ど彼らの見解そのものとみて差支えない。

### (2) 難しい科目名

漢字圏学生の挙げた科目としては、理工と人文社会がともに1位、ついで経営経済となっている。その他、少数ながら全科目に分散している。これに対して、非漢字圏（上記のとおり東南アジアが圧倒的に多い）出身者が挙げているのは、理工がぬきん出ているのが特徴的である。ついで人文社会となっているが、両者の比率には大きな差がみられる。

## 5 専攻別にみた差異

最後に、前項との関連において、難しい科目として押し並べてトップに挙げられてきた理工が、回答者の専攻別にはいかなる受け取められ方をしているかに視点を当ててみることにしよう。専攻分野に属するサンプル数の偏倚から、全体を理系と文系とに大別する。かくして、理系129人、文系151人について付表・A—V（専攻別）10.から、以下のとおりの結果となる。

### (1) 難易性

まず、理系のうち64%が母国のカリキュラム水準と大差なし、逆に32%が難しすぎる科目ありとしている。さらに、理系のなかでも、絶対数もしくは比率からいっても、理工を専門とする学生が大きなウェイトをもち、しかも両者に対する比率は6：4となっていることは注目される。これに対して、文系においては大差なしとする者が68%、難しい科目ありとする者が28%となっている。これからみると、理系の方が僅かながら我が国のカリキュラムに対する理解にとまどいをみせていることになる。さらに文系のなかで、経営・経済専攻学生の比重が高く、両者の割合は約7：3となっている。

### (2) 難しい科目名

然らば、難しい科目として挙げられていた理工が、果たしていかなる専攻分野の学生でそのように感じられているのか。上記付表によれば、理工専攻が最多数を占めている。常識的にいえば、人文・社会分野に属する学生が、理工のカリキュラムに対する拒絶反応をもつ。しかし、この調査結果によれば、むしろこれを専攻とする理工の学生によって、難しすぎる科目として挙げられているのは特異なファインディングである。さらに、彼らが比較的不得手であろうと思われる、人文社会系のカリキュラムを挙げた者が極く僅かであることも注目される。他方、文系の学生のなかに理工を挙げた者が若干いることは首肯される。これとともに、自ら専攻しようとする人文社会系のカリキュラムのなかに難しい科目ありとする。この点に関して、定性的には前述の理系学生の場合と同一パターンとなっている。

## II 学部授業の理解度についての自己評点

上記の課題に対する接近も、既に第2章第III節においてなされている。そこでは、主として日本語能力との関連で考察が加えられ、学部授業の理解度との間には強い相関があることが認められている。そこで、本節ではこれを若干補足する意味で、他の分類要因とのかかわり合いによって、実態を把握することにしよう。

### 1 総体的な考察

学部在籍する298人の在日学生に対して、授業を一般教養課程と専門教養課程に分け、講義や演習などに対する理解の程度を百分比によって、自ら採点・評価をさせている。その結果を用いて、それぞれの授業に対する全体の平均値及びローレンツ曲線で用いられる $\lambda$ （ラムダー）一係数を算出すると、つぎのような値が得られた。ちなみに、 $\lambda$ 一係数というのは、回答者の間にそれぞれの授業に対する理解能力に、いかなる不均等性または偏倚があるかについてみるものである。これはシンプソンの近似法によって求められる（森田優三『新統計概論』日本評論社、昭和49年を参照）。

	回答者(人)	平均値(%)	$\lambda$ 一係数
1. 一般教養課程の講義	288	69.8	0.06
2. 専門教養課程の講義	283	72.7	0.04
3. 専門教養課程の演習	264	72.7	0.04
4. 専門教養課程の実習	233	73.0	0.05

上記の数値でみる限り、それぞれの授業に対する理解度は専門教養課程の実習がやや高い。恐らく、この授業が最も日本語に対する理解度を要求されないためであろう。しかし、最も低い一般教養（第2章でも指摘されているように、自ら得意とする科目や然らざる科目が多岐に混在しているのも、その要因のひとつと考えられる）の平均値との間に、さしたる較差はみられず、ともに70%前後の理解度となっている。日本人の学生ですら、日本語でなされる授業を完全にフォローし得ることは難しいのが一般である。これを勘案すると、70%前後の水準は一応満足すべきものと思われる。つぎに、 $\lambda$ 一係数をみると、この値もすべて0.05前後となっており、回答者同志の理解度

についての自己評点のバラツキも、概ね60～90%の水準に集中している。

## 2 漢字圏学生の理解度 —— 東南アジア学生との対比 ——

現在、学部在籍者298人のうちの56%が東アジアからの学生である。また33%が東南アジアから来日している。この両者を合わせると、約90%に達することになる。そこで、この2地域からの学生について、上記各授業の理解度の平均値を求めるとつぎのとおりとなる。

	東アジア(%)	東南アジア(%)
1. 一般教養課程の講義	74.2	62.2
2. 専門教養課程の講義	74.8	68.0
3. 専門教養課程の演習	75.0	67.4
4. 専門教養課程の実習	74.3	69.5

このように東アジアすなわち漢字圏からの学生の理解度は、ぬきん出て高い訳ではない。若干一般よりも高く、しかも各授業についてムラなく75%前後に留まっているのが、特徴として挙げられる。今後、漢字圏諸国において高校のカリキュラムなどに日本語を若い時期に習得する機会がふえ、来日前にある程度日本語に対する理解力があれば、上記数値はさらにレベル・アップするものと思われる（これと同様な指摘は、後出の第IV節1. 漢字圏と非漢字圏学生間の差異についてもなし得る）。

東アジアについて多数を占める、東南アジア学生の理解度も極端に悪いとはいえない。これは、前項でみた $\lambda$ -係数が極めて小さいこととも整合性をもっている。しかし、前記東アジアからの学生と比較すると、授業によって若干バラツキがみられ、実習と一般教養課程の講義では7ポイント余の差異がみられる。また、2地域間を比較すると、実習では4.8ポイントの差に過ぎないが、一般教養課程の講義では矢張り12ポイントの較差がみられる。

## 3 国公・私立別の差異

つぎに、在籍する大学の国立（190人）・私立（95人）によっていかなる差異があるかをみることにしよう。それぞれの平均点を算出すると、以下のとおりとなる。

	<u>国公立(%)</u>	<u>私立(%)</u>
1. 一般教養課程の講義	68.0	73.5
2. 専門教養課程の講義	72.2	73.8
3. 専門教養課程の演習	72.3	73.6
4. 専門教養課程の実習	72.9	73.7

このように、国公立と比較すると私立在籍者の方が、授業の理解度はいずれの場合とも若干高くなっている。このことは、彼らの学力自身の優劣と直結するものでないことは、改めていうまでもない。さらに、国公立の場合には授業の科目相互の間に、若干のバラツキがみられるのに対して、私立においては均一的であることが指摘される。

#### 4 専攻別にみた差異

最後に、9通りの専攻分野を理系（125人）と文系（145人）とに大別して、それぞれの平均値を算出すると、つぎのような結果が得られる。

	<u>理 系(%)</u>	<u>文 系(%)</u>
1. 一般教養課程の講義	67.4	71.9
2. 専門教養課程の講義	72.1	73.4
3. 専門教養課程の演習	71.9	73.9
4. 専門教養課程の実習	73.6	73.3

これによれば、理系の方にバラツキが若干みられ、実習と一般教養課程の講義との間には6ポイント余の差がある。また第IV節でもみられることであるが、比較的日本語というハンディの少ない理系の方が、理解度もより高いのではないかという予見もあるが、少なくともこの結果の示す限り、むしろ逆に文系の方が実習を除くといずれも高くなっている。このように、幾つかの分類項目について平均値をみたが、すべての場合とも比較グループ相互間に、さしたる懸隔が指摘されるには至らなかった。

### III 大学院で取得希望の学位

#### 1 取得希望についての概況

在日学生967人に対する今回の調査のうち、大学院に現在籍を置く者は415人である。全体のなかに占める割合は43%であるが、ちなみに文部省の統計によれば、昭和59年5月現在で全留学生12,410人のうち、大学院レベル在籍者は4,950人、すなわち30%となっている。従って、今回の調査対象となった学生は、比率からいうと概ねこれに近い結果となっている。

そこで、まずこれら415人の取得希望学位の状況について、総体的な考察を加えてみることにする。付表・A-I（総計）12. に示されるように、138人（33%）が修士号、240人（58%）が博士号を最終的な希望学位（日本の大学院での）として挙げている。また37人（9%）が「NA」となっているのは、研究生はここでは除かれているから、恐らく現在修士課程にある者のなかで、場合によっては修士号だけにして帰国するか、あるいはさらに進学を続けて博士号も併せて取得するか、考慮中である者がその殆どではないかと思われる。

修士学位取得希望者138人のうち、理工を始め理系にふくまれるのが55人（40%）、また日本語を始め文系に属する者が83人（60%）と、後者の方が1.5倍多くなっている。逆に博士号に関しては、理系が240人中153人（64%）、文系が87人（36%）と前者の方が1.8倍近く多い。

#### 2 性別からみた状況

回答者415人のうち「NA」（殆ど女性ではないかと思われるが）54人を除き、361人のうち293人（81%）が男、残りの68人（19%）が女であり、さすがに前者の比率が圧倒的に高い。さらに、男293人（「NA」29人をふくむ）のうち85人（29%）が修士学位であるが、そのうち41人（48%）が理系、残り44人（52%）が文系である。博士学位については、179人のうち127人（71%）が理系へ、その残りの52人（29%）が文系となっている。このように、修士学位では概ね同数であったのが、博士学位の場合では圧倒的に理系が多い。

反対に女の場合では、68人（「NA」3人を含む）のうち39人（57%）が修士学位、

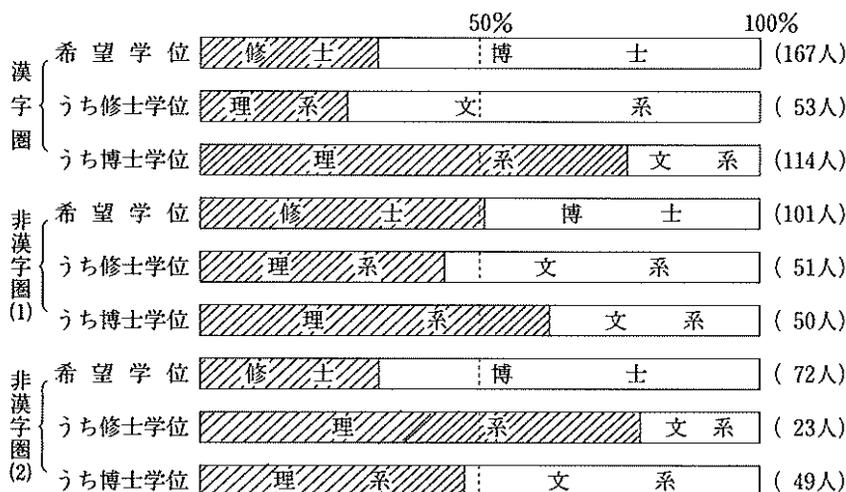
うち理系は僅か7人(18%)、文系が29人(82%)となっている。博士学位希望者26人(38%)のうち、理系は10人(39%)、文系は同じく10人となっている。このように、女性の場合には、修士学位しかも文系がより多く志向されるのが特徴的である。

### 3 出身地域別の差異

付表・A-III(地域別)12.にある10地域を、さらに漢字圏(東アジア)、非漢字圏(1)すなわち東南アジア、同(2)その他地域と3圏域に大別して、その特徴について指摘することにしよう。ここで、非漢字圏を(1)と(2)にさらに区分した理由は、我が国の社会経済的関係の度合いを考慮したためである。図3-1は、上記統計に基づいて加工作図したものである。まず全体の希望でみると、博士学位の比率の方が修士を上回っているのは、漢字圏と非漢字圏(2)であり、ともに約7:3となっている。これに対して、非漢字圏(1)は僅かに修士学位が多いが、両者はほぼ同数とみてよい。

つぎに、それぞれの学位のうち理系と文系の比率の内訳をみることにしよう。修士学位のなかで、理系が文系よりも多いのは非漢字圏(2)であり、しかも圧倒的な割合(78%)を占めている(もっとも、絶対数からいうと23人中18人であるが)。残りの

図3-1 出身地域別取得希望学位の概況



(出所) 付表・A-III(地域別)12. から加工。

(注) 圏域については本文を参照。

漢字圏と非漢字圏（1）はその逆となっている。博士学位についてみると、これらの2圏域においては理系が多い。とくに前者においてはその比率は76%と極めて高い。逆に非漢字圏（2）においては、理系の比率が僅かながら低くなっている。このように、3圏域間で取得希望学位の状態については、それぞれ差異を認めることができる。ちなみに、回答者967人のうち、3圏域別に大学院在籍者の割合をみるとつぎのとおりである。

	在日学生数(A)	修士課程(B)	博士課程(C)	{(B)+(C)}/(A)
漢字圏	434(45)	53(42)	114(54)	12
非漢字圏(1)	261(27)	51(40)	50(23)	39
非漢字圏(2)	272(28)	23(18)	49(23)	26
計	967(100)	127(100)	213(100)	35

#### 4 国公・私立別にみた差異

つぎに、彼らの在籍する大学院を国公・私立別に分け、取得希望学位の差異をみることにしよう。付表・A-IV（国公・私立別）12、に掲げられるとおり、修士及び博士学位を併せると415人中、前者が401人（97%）とその殆どがこれに属している。このうち、国公立において、修士学位133人の40%が理系であり、博士学位233人のうち65人が同じく理系である。これに対して、私立の場合は修士では理系は40%と、上記国公立の比率と大差はない。しかし修学年限のより永い博士学位では、理系は僅か30%となり、前述の修学環境条件の優劣の差が反映されている。

#### 5 奨学金類別にみた差異

最後に、奨学金類別に差異をみることにする。付表・A-V（奨学金類別）12、に示されるように、ここでは「文部省」（国費）、「その他」及び「奨学金なし」（私費）の3種類に分けられている（この外「NA」）。このうち、「文部省」からの奨学金での在日学生は、967人中の464人（48%）、「その他」は311人（32%）、また「奨学金なし」は169人（17%）である。また、大学院に在籍しているのは、「文部省」256人、「その他」88人、「奨学金なし」64人となっており、全在籍者415人に対する比率は、それぞれ62%、21%、15%となる。このように、「文部省」の奨学金受給者の比率がぬきん出

て高くなっている。これ等の数値のなかで、在日学生について文部省つまり国費留学生の割合が上記のとおり48%となっているが、これを文部省の統計資料でみると、59年現在で全留学生12,410人のうち2,350人（19%）が国費留学生となっている。従って、この比率と較べると48%というのはかなり高い数値である。

つぎに、それぞれの類別毎の在日学生数に対する、大学院在籍者の割合をみると、「文部省」：55%、「その他」：28%、「奨学金なし」：38%となっている。この数値に関しても、文部省の統計によれば同じく59年において、全国費留学生のうち86%すなわち2,022人が大学院レベルとなっている。ともあれ、ここでとくに注目すべきは、「奨学金なし」に属するグループの動向である。すなわち、彼らは全く自国あるいは我が国の公的な負担に頼らず、私財をはたいて来日している訳である。このように私費まで投じて大学院に在籍する64人のうち、修士学位を希望する者は39人（61%）、博士学位は21人（33%）となっている。うち、修士号では理系が28%、博士では逆に57%となっている。

ちなみに、統計によれば昭和59年現在国費留学生2,345人（学部、大学院その他をふくむ）のうち、理系の占める割合は約63%となっている。すなわち、国費の場合では理系の留学生招聘に重点が置かれている。また、大学院の比重が高く86%に達している。ということは、その分だけ文系の場合は私費などによる留学生の割合が大きくなる。この事情の一端が、上記の調査結果となって現われているものと思われる。

#### IV 学位取得の難易性とその要因

彼らの教育歴あるいは奨学金類別など、さまざまな留学前の条件の差異にかかわらず、少なくとも大学院に進学し、さらに学位の取得を志す場合、出国前後に能力検定に関する幾通りかの、試験をはじめとする難関を突破しているのが一般的であろう。いわば「選ばれた者」としての彼ら——今日、先進国においてすら、大学への進学率は押し並べて30%台に過ぎず、さらに大学院への進学となるとそのまた2%台、そのうえ海外の大学院で学位を取得する者となると極めて僅かであるという実情に照らしても——の、専攻する学問自体の能力水準は一応というよりは、かなり（もしくは著しく）高いというべきである。そのような彼らにとって、学位とくに博士号を目指す場合に、最大の障壁となるのはしばしば指摘されるように、日本語を理解する能力すなわち、language barrierであろうか。

これ等の間には、強い負の相関があることは当然予測される。そこでこの点に関する主たる検証は、既に第2章第III節2.においてもなされている。ここで得られた重要な知見は、つぎのとおりである。すなわち、在日大学院在籍者に対する質問13.にみられる、学位取得の難易性と日本語能力のかかわり合いについての(1)~(3)までの項目に対して、たとえば付表・A-I(総計)、あるいは(性別)、(回答国語別)などのいずれをとってみても、「そうではない」つまり日本語理解のさまざまな学習の局面での困難性が、学位取得の阻害要因とは考えられないと明示的に否定している者の比率が、(性別)表にある「NA」欄を除くと、軒並み50~60%の水準となる。すなわち、少なくともこの結果からだけみると、巷間指摘される日本語の障壁はさしてないのではないかということになる(勿論、回答者のなかには、修士学位だけを在日留学の最終目標としている者もふくまれ、また博士号取得希望者もその途上にあるので、完了型としての経験に依拠した意見でないことにも留意する必要がある)。

しかし、この結論は短絡的なものである。すなわち、回答者をさらにそれぞれの日本語に対する理解力の水準にグルーピングして、学位取得の難易性とのかかわり合いでみると、「いずれにしても、他の要因もあるにせよ、日本語力の低いもの程、博士号取得の難しさを日本語の問題と結びつけて考えていることは確かであろう」(第2章)という結論に達する。そこで、本節においてはこの知見をベースにして、さらに若干の分類基準とのかかわり合いで、学位取得に際して日本語に対する理解がいか程の障害となっているかを確認することにしよう。

### 1 漢字圏と非漢字圏域学生間の差異

一般に、日本語の理解について回答者をグループ化する場合に、まずメルクマールとなるのは日本語の基調となる漢字を日常に用いる、すなわち同文同調とする圏域と、然らざる圏域である。そこで、本項では415人のうち「NA」42人を除く373人について、彼らの出身地域が東アジアを漢字圏、それ以外を非漢字圏の2つに分けて、博士号取得の難易性に対する日本語理解力の関係をみることにする。なお、前節の分析においては非漢字圏をさらに我が国の社会・経済的な関係なり影響の程度からみて、(1)と(2)に分けてみた。しかし、ここでは専ら漢字が日常用語となっているか否かだけが問われるので、前・第I節及び第II節と同様2通りの圏域に分けてみることにする。

これら2圏域について、日本語に対する理解力ないしは能力のかかわり具合についての意見、を各質問項目毎に示したのが表3-1である。総体的にみて、両者の間

表3-1 圏域別にみた博士号取得の難易性と日本語能力との関連

(%, 人)

	漢字圏			非漢字圏		
	その通り (1)	そうではない (2)	(3)    (2)/(1)	その通り (4)	そうではない (5)	(6)    (5)/(4)
1. 講義の理解	7.1	71.4	10.1	31.4	36.1	1.1
2. 研究資料の理解	8.2	74.7	9.1	30.9	41.9	1.4
3. 論文執筆	14.3	65.9	4.6	24.0	33.0	1.4
4. 他の2カ国外国語	17.6	57.1	3.2	18.8	47.6	2.5
回答者数	182			191		

(出所) 付表・A-III (地域別) 11, から加工。

(注) 漢字圏とは東アジア, 非漢字圏とはそれ以外の9地域。

にはかなりの程度の差異があることが分かる。すなわち、非漢字圏の学生の場合が矢張り日本語が博士号取得に対して、相当の障害と考えられているようである。つぎに漢字圏においては、講義の理解あるいは研究資料の精読という、いわゆる「聞き・読み」という主として受動的な領域については、「その通り」とする者は1割に満たない。しかし、論文執筆という能動的な局面においては、肯定する者が若干増加する。かくして、彼らが最も言語にかかわる障壁として挙げているのは、日本語以外に課せられる他の2カ国語習得についてである。

これに対して、非漢字圏においては肯定する者が然らざる者よりも、いずれの項目についても若干これを上回ってはいる。しかしこれは、恐らく英語が理解出来なくてアメリカの大学で学位が取得出来ないと全く同様に、日本語でも然りであるという自負もしくはためらいから、「そうではない」と否定的な回答を寄せた者もふくまれるのではないかと推測される。そこで、この表には掲げられていないが、「なんともいえない」及び「NA」に属する者の大部分が「その通り」の意見に近いとみられる。さらに、漢字圏の学生と比べて特徴的なことは、4項目のうち1.~3.までの直接日本語についての質問に対しては、3割前後が「その通り」としていたが、日本語以外の2カ国が要求されることに対しては、相対的に低い回答を寄せている。また逆に「そうではない」とする比率が高い。要するに、たとえ同じ外国語であったとしても、彼らにとっては英、独、仏語等の方が日本語よりも遙かに馴染みをもっている（少なくとも、大学院まで進学する学力水準を身につけている者にとっては）というのが、最大の理由とし

て考えられる。

## 2 専攻別にみた差異

通常、学位取得に限らず言語を異にする他国に留学する場合、数式、化学式あるいはグラフなど国際共通の記号表示をしばしば使用する理系の方が、然らざる文系に比べてより有利であるといわれる。そこで、本項においても、回答者を理系と文系とに大別して、前項と同じ質問項目に対する反応の差異をみることにする。回答者のなかで「NA」を除く383人を、理系(244人)と文系(139人)に分類し、それぞれの比率を一覧として掲げたのが表3-2である。

この表をみて、まず意外に思うのは、項目1.と2.に関してはかえって理系の方で、「その通り」と肯定する者の比率が文系のそれ等よりも高いことである。すなわち、前記の通説は「聞く・読む」という局面では、逆の結果となっている。ところが、論文を自ら日本語で書くとなると、肯定的な回答を寄せるのは理系では少なくない。代わって文系の方が高くなっている。つまり、一般にいわれていることは、少なくとも今回の調査結果からみる限り、すべての項目について必ずしも妥当する訳でないことになる。また、日本語以外の他の2カ国語に対する要求についても、理系に比べどちらかといえば語学が得意とみられる文系に属する学生の方が、逆に「その通り」と肯定している比率が大きいのも特異である。これも、見方を変えれば他の2カ国語に対する要求が、理系に比べ文系の方がよりシビアであり、ただでさえ困難な日本語の習

表3-2 専攻別にみた博士号取得の難易性と日本語能力との関連  
(%, 人)

	理 系			文 系		
	その通り (1)	そうではない (2)	(3)    (2)/(1)	その通り (4)	そうではない (5)	(6)    (5)/(4)
1.講義の理解	23.0	50.0	2.2	18.0	52.5	2.9
2.研究資料の理解	23.4	54.5	2.3	19.4	59.0	3.0
3.論文執筆	16.0	55.7	3.5	25.2	47.5	1.9
4.他の2カ国外語	15.6	52.9	3.4	23.0	46.0	2.0
回答者数	244			139		

(出所) 付表・A-V(専攻別)から加工。

得のハンディに加えて、これを二重の負担と感じているという理解もなされる。

## V 在日学生と元留学生の学位利用についての見解

### ——期待と実態のかい離——

留学生活の具体的な成果であり、その最大の目標でもある学位が、それぞれの母国でどのように利用されているのか、また在日と元留学生間にいかなる相関なり差異があるかについてみることにしよう。すなわち、前者は、現在学位取得をめざして勉学を重ねる途上にある者として、抱いている期待感（勿論、来日前母国で元在日留学生の実績、その他の見聞などに基づく予見的な評価なども加わっているが）である。これに対して後者は、既に自らが体験した事実に基づく見解である。これら期待と実績との間に、果たしていかなる関連もしくは齟齬がみられるのであろうか。これについては、両者に対して全く同一の質問をしているので、この結果を用いて比較を加えることにしよう。

#### 1 総計による一般的考察

表3-3は、付表・A-IとB-I（総計）14、及び8、の学位利用について項目別回答比率のうち、「大いに有利である」と「ある程度は有利である」を一応肯定的な意見として加え、在日と元留学生別に転記したものである。さらに比率の大きさの順位と差異とをポイントによって示している。

##### (1) 在日学生

まず在日学生（大学院在籍415人）の半数以上が「5. 高い報酬」を除く残りの7項目について一応有利とみている。高い報酬が半数を割っている理由のひとつは、余りにも単刀直入な経済的な項目であるため、勉学の過程にある学徒として、ある種の戸惑いを感じたためかも知れない。有利な項目として挙げたもののなかで、「7. 専門的知識の活用」が極めて高く、約85%がこれに同意している。彼らに限らず、大学院設置の本来の目的に照らして、ここで学位の取得を志す者として、この専門的知識を深化しさらにこれを社会的に活用しようという意欲をもつ。またそのために、日本の大学院を選択した者として、この項目が最も高い比率をもつのも蓋然性がある。

表3-3 取得学位の利用——在日及び元留学生の評価比較

(%, ポイント)

	在日学生(415人)			元留学生(101人)			較 差	
	有利 (1)	うち大いに (2)	順位 (3)	有利 (4)	うち大いに (5)	順位 (6)	有利 (7)=(1)-(4)	うち大いに (8)=(2)-(5)
1. 政府・行政機関	60.7	23.6	4	31.7	10.9	5	29.0	32.7
2. 民間トップ企業	54.4	13.7	6	26.7	6.9	7	27.7	6.8
3. 日本(合弁)企業	50.4	18.6	7	27.7	11.9	6	22.7	6.7
4. 研究・教育機関	81.7	43.1	2	43.6	20.8	2	38.1	22.3
5. 高い報酬	47.2	10.8	8	43.1	20.3	3	4.1	△9.5
6. 社会的威信	54.9	19.0	5	20.8	5.9	8	34.1	13.1
7. 専門的知識の活用	84.4	42.7	1	33.2	11.9	4	51.2	30.8
8. 母国発展に寄与	78.3	41.9	3	51.4	25.7	1	26.9	16.2

(出所) 付表・A-I, B-I (総計) 14, 及び8より抽出, 要約。

(注) 順位はそれぞれ(1)と(4)とについてである。

ついで高いのが、同じく80%台の「4. 研究・教育機関」である。これは上記「7. 専門的知識の活用」の場として深い関連がある。学位が最もあらゆる側面において尊重され、かつそれなりに評価され活用することのできるのは、研究・教育機関であることは、洋の東西を問わず変わらないからである。また「8. 母国発展に寄与」という比率も80%に近い値をみせているが、これも遠く離れた母国への念いなしは気負いも同時に込められている故であろう。

反対に意外に低いのは、「3. 日本(合弁)企業」に対する利用が50%を僅かに越えるに過ぎないことである。この点に関して、「21世紀への留学生政策懇談会」の『提言』のなかでも、「なお、日系企業への就職問題について、例えば、帰国留学生は現地採用ということで、日本の本社で採用され派遣された同等学歴の日本人との待遇の間に開きがあり過ぎるといった不満もある」(P.5)。さらに「……諸外国では一般に人事等の面で学位を重視しているのに対し、日本の社会がこれまで修士、博士の学位を採用、昇進上の基準としてそれほど重視しなかったという背景もある」(P.7)という指摘もみられる。この『提言』の指摘は、今回の調査における回答のなかでも裏打ちされた結果となっている。

このように「一応有利」とされた項目も、さらに「大いに然り」と積極的に肯定さ

れた内訳でみると、例えば最高の値を示していた「7. 専門的知識の活用」でも、半減している。第2位の「4. 研究・教育機関」についても全く同様である。「2. 民間トップ企業」、「3. 日本（合弁）企業」などの民間企業における積極的な利用についての期待は20%にも満たない。従って、総体的にみる限り、我が国の学位の利用について、多大な有利性を見出しうる就業の場としては、少なくとも現在においては non-profit making な研究・教育機関が挙げられるに留まる。

## (2) 元留学生

つぎに元留学生(101人)についてみることにしよう。前述のとおり、これらの回答は彼らの実際の体験というフィルターをかけての数値である。後に触れる唯一の例外を除いて、まず歴然たることは、取得学位の実際の利用について肯定的な回答を寄せた者の比率が押し並べて低下している傾向である。これらのなかで辛うじて半数を越えた項目は、「8. 母国発展に寄与」といういわば大乘的な自負の色彩をもつものだけである。在日学生の期待感を込めた回答で80%台に達していた「4. 研究・教育機関」及び「7. 専門的知識の活用」も、それぞれ40%、30%台の水準に低下をみせている。

これが「大いに」と積極的な肯定についてみると、ことさら明らかとなる。すなわち、「8. 母国発展に寄与」が回答者の4分の1の同意を得たのに留まる。このようにすべての項目に関して肯定的な意見が減少したことは、付表にみられるように「NA」が逆に増加したことともつながりがあると思われる。恐らく、「NA」の大多数は「無関係」または「なんともいえない」に近い意見を、消極的に表明しているのではないかと推測される。

## (3) 両者の見解の較差と関連性

然らば、いずれの項目に両者のかい離が大きいかをみたのが表の(7)及び(8)欄である。まず「有利」とするもののなかで、最も較差の大きいのは「7. 専門的知識の活用」と、さらにこれと高い相関をもつ「4. 研究・教育機関」とである。在日学生の間では、少なくとも我が国の学位が最も利・活用の効果を見出す場として期待されている。これらの項目の較差がともにすぐれて大きいことは、考えさせられる事実として受け止めなければならない。しかも回答を寄せた元留学生の60%余が大学をはじめ研究・教育機関に現在勤務してることを思うと、これらの数値は説得力をもつ。「大いに」利用だけについてみると、同じく「4. 研究・教育機関」と「7. 専門的知識の活用」がここでも開差が大きい。他の項目についても、押し並べてプラスすなわち期待

に比べて実績の比率が低下をみせているなかで、「5. 高い報酬」が唯ひとつ逆となっているのが特異である。この理由については、先にも触れたように期待そのものが低いこと、さらに母国の社会で日本で取得したか否かにかかわらず、一般に学位がより高い報酬を得るうえで評価されていることが混同された結果とみることもできよう。ともあれ、順位においても「5. 高い報酬」が相対的に高くなっていることは（「有利」、「うち大いに」ともに）、注目に値する事実である。

#### (4) 順位相関係数による検証

そこで、8項目に亘る学位利用について、在日学生と元留学生の評価の順位にいかなる関連性があるか、すなわち順位に変化があったとみるべきか否かについて、スペアマンの順位相関係数 (Spearman's rank correlation coefficient) によって検証を加える。通常の相関係数ではなく、順位相関係数を用いた理由は、8つの項目自体が定性的なものであり、従って回答者の主観的な価値もしくは効用の判断は基数ではなく、序数として扱われるべき数値だからである。

表3-3のそれぞれ「一応有利」と回答した比率の順位——(3)、(6)欄に記載——を用いて算出された相関係数の値は $r_s=0.405$ となる。いまこれを有意水準表によって有意性を検証すると、 $n=8$ の場合には5%水準で0.643、1%水準で0.833であるから、上記の値はいずれの水準においても有意とはされず棄却される。すなわち、在日学生の有利として挙げる項目の順位と、元留学生のそれとの間には、密接な整合性がみられない。期待と現実との間には、各項目の序列性についても変化がみられたことを意味する。

## 2 漢字圏と非漢字圏との差異

前項では、取得学位の母国での利用について、全回答者の全体的傾向の把握がなされた。そこで本項においては、さらに地域的な差異を掘り下げるため、回答者の出身母国を第III節と同じく漢字圏と非漢字圏(1)及び(2)の3地域に大別して分析を加えることにする。すなわち、非漢字圏をとくに日本と社会・経済的あるいは距離的に近接した東南アジアとそれ以外に亜分類している。表3-4の最下段に示されてある、それぞれの回答者数をみても一応の分析に耐えるサンプル数となっている（「NA」は除外）。

ここでは前項でみた8項目のうち、1.~4.までの具体的に利用される客体としての

表3-4 取得学位の利用される職場の地域別比較

(% , ポイント)

	在日学生(373人)			元留学生(130人)			較 差		
	漢字圏 (1)	非漢字圏(1) (2)	非漢字圏(2) (3)	漢字圏 (4)	非漢字圏(1) (5)	非漢字圏(2) (6)	漢字圏 (7)=(1)-(4)	非漢字圏(1) (8)=(2)-(5)	非漢字圏(2) (9)=(3)-(6)
1. 政府・行政機関	62.1	69.1	50.0	20.5	51.5	23.0	31.6	27.6	27.0
2. 民間トップ企業	56.6	58.0	47.6	11.7	45.7	25.0	44.9	32.3	22.6
3. 日本(合併)企業	41.7	64.5	56.0	8.8	57.1	21.3	32.9	7.4	34.7
4. 研究・教育機関	88.5	81.3	72.6	38.2	57.1	42.6	50.3	24.2	30.0
回答者数	182	107	84	34	35	61	178	72	23

(出所) 付表・A-II, A-III及びB-II, B-III(国別), (地域別) 14, 及び8, から加工計算。

(注) 漢字圏と非漢字圏(1), (2)の分類は第III節と同じ。

○印は各項目の最大値。

職場にだけ限定し、「大いに有利」と「ある程度有利」の回答者を肯定的なものとしてまとめ、それぞれの比率を加工算出した。さらに在日学生と元留学生の、各項目毎の較差を右欄にポイントによって示してある。

#### (1) 在日学生間の差異

まず予想では、各項目とも漢字圏が最大値を示すと思われた。しかし案に相違して非漢字圏(1)諸国での比率も高く、とくに「1. 政府・行政機関」、「2. 民間トップ企業」と「3. 日本(合併)企業」では他の2地域よりもかなり高いことが特徴的である。「4. 研究・教育機関」についても、非漢字圏(1)は最大値(漢字圏が占める)と比較して、さして相違がみられない。かくみると、東南アジア諸国からの留学生の取得学位の利用についての期待は、各職場についていずれも一様に持たれていることが分る。これは、これ等諸国と我が国との政治的あるいは経済的なかわり合いが増加の段階にあり、いわば未知の分野に対する「あこがれ」がより強く抱かれているためとも思われる。

これに対して、漢字圏の場合たとえば「3. 日本(合併)企業」などが低い値を示しているのも、既に(中国を除き)企業の進出なども飽和ないしは成熟の段階に達し、「提言」にもみられる指摘(前項で既述)が、母国でも広く流布されているためとみられる。一方、非漢字圏(2)の比率も、「1. 政府・行政機関」と「2. 民間トップ企業」

が他の2地域に較べると僅かに低いというものの、押し並べて予想以上の比率となっている。

### (2) 元留学生の差異

ついで表の中央に掲げられた、元留学生の差異についてみることにする。ここで最も特徴的なことは、少なくとも相対的な比率でみる限り、いずれの4項目とも非漢字圏(1)の数値が際立って高いことである。それと全く逆なのは、漢字圏の比率についてである。そのいずれもが、非漢字圏(2)にも及ばないのは注目すべきである。この理由は、(1)で挙げたのと全く同じことが妥当するものと思われる。とくに「3. 日本(合併)企業」について、漢字圏元留学生の評価は厳しく、僅か8.8%に過ぎない。

つぎに、取得学位の利用についての8項目を総合的に、3圏域毎に評価しその序列性をみることにしよう。そのために、「一応有利」とする回答を「特異係数」によって指数化し、この単純平均値をもって総合評価値とし、その順位を比較することである。ここでいう「特異係数」とは、地域科学の地域特性に関する分析指標としてしばしば用いられる、「特化係数」(coefficient of localization)と全く同一の概念である。すなわち、各項目毎の統計の比率に対する相対度であり、これが1以上の値であれば全体のパターンよりも大きく、1よりも小さければその逆である。また1に等しい場合には、全体のパターンと整合することを意味する。計算結果は、表3-5に示されたとおりである。

このようにして求められた「特異係数」を、1.~8.項目について加え(各項目のウェイトはそれぞれ1とする)、その平均値を算出したものが表の下段に示されている。その結果、在日学生及び元留学生とも、総合評価としての平均値が1以上の値を示すのは、非漢字圏(1)においてである。順位で見ると、漢字圏と非漢字圏(2)が入れ替わっている。また、在日学生については、1位と3位の平均値の差は0.21であったのに対して、元留学生となると0.87と拡大していること、すなわち評価のバラツキが大きくなっていることが指摘される。

### (3) 在日学生と元留学生間の較差

かくして、各項目間にみられる両者の較差が表の右欄である。ここでも漢字圏のポイントが押し並べて高くなっている。取得学位が最も活用されて然るべき、「4. 研究・教育機関」での期待と実際の齟齬が漢字圏において最も大きいのも、考えさせられる事実である。逆に非漢字圏(1)では、元留学生の方がすべて高い。

表3-5 取得学位の利用について地域別比較——各総計—— (%, ポイント)

	在日学生			元留学生			較 差		
	漢字圏 (1)	非漢字圏(1) (2)	非漢字圏(2) (3)	漢字圏 (4)	非漢字圏(1) (5)	非漢字圏(2) (6)	漢字圏 (7)=(1)-(4)	非漢字圏(1) (8)=(2)-(5)	非漢字圏(2) (9)=(3)-(6)
1. 政府・行政機関	1.02	1.14	0.82	0.64	1.61	0.72	0.38	△0.47	0.10
2. 民間トップ企業	1.04	1.07	0.88	0.44	1.71	0.93	0.60	△0.54	△0.05
3. 日本(合併)企業	0.83	1.28	1.11	0.32	2.07	0.77	0.51	△0.79	0.34
4. 研究・教育機関	1.08	1.00	0.89	0.84	1.25	1.10	0.24	△0.25	△0.21
5. 高い報酬	0.98	1.13	0.73	0.88	1.72	0.71	0.10	△0.59	0.02
6. 社会的威信	1.04	1.11	0.91	0.90	1.31	0.90	0.14	△0.20	0.01
7. 専門的知識の活用	1.02	1.07	0.95	0.81	1.41	0.84	0.21	△0.34	0.11
8. 母国発展に寄与	1.05	1.05	0.88	0.85	1.59	0.71	0.20	△0.54	0.17
平均	0.99	1.11	0.90	0.71	1.58	0.84			
順位	2	1	3	3	1	2			

(出所) 付表・A-Ⅱ, B-Ⅱ(国別) 14, 及び8, から加工計算。

(注) 各係数は, それぞれ「一応有利」の比率を総計の比率で除いた特異係数。

### 3 専攻別にみた取得学位の利用

#### (1) 在日学生

つぎに専攻別に, 取得学位の利用について, 在日学生並びに元留学生毎に意見をみることにしよう。表3-6には, 付表・A-V(専攻別) 14. に示される415人のうち「NA」32人を除く, 383人の有効回答を寄せた在日学生を, 理系と文系に分類し, さらにそれぞれ4及び5学系に亜分類し, 学位利用に関する8項目に対して, 「大いに有利」と「ある程度は有利」とする比率を肯定的な意見として, 加えた値が掲げられている。

このうち総計についての考察は, 既に第1項において加えられているので省略する。そこでまず, 理系と文系の小計についての状況からみることにしよう。学位利用の実際の職場について, とともに「4. 研究・教育機関」が最も高く80%の水準を保ち, 両者の有意差はみられない。その他の3項目についても, 定性的には同様な傾向にある。最も低いのは, とともに「3. 日本(合併)企業」である。しかし, 理系の場合その半数

表3-6 取得学位の利用——専攻別（在日学生）——

(%, 人)

	総計 (1)	理系					文系					
		小計 (2)	理工 (3)	農学 (4)	医・薬学 (5)	その他 (6)	小計 (7)	日本語 (8)	人文・社会 (9)	経営・経済 (10)	政治・法律 (11)	その他 (12)
1. 政府・行政機関	59.8	59.0	60.4	56.3	50.0	90.0	61.2	57.2	59.2	66.7	80.0	47.5
2. 民間トップ企業	55.6	53.3	58.9	43.8	44.5	70.0	59.7	71.4	55.5	71.1	75.0	40.0
3. 日本(合弁)企業	51.4	48.4	53.0	43.8	38.9	50.0	56.8	85.8	37.0	64.4	60.0	55.0
4. 研究・教育機関	81.2	80.3	83.6	70.4	80.5	100.0	82.7	85.7	100.0	75.5	100.0	70.0
5. 高い報酬	46.0	46.3	49.2	37.0	41.7	70.0	45.3	71.5	41.7	51.1	50.0	35.0
6. 社会的威信	53.5	52.9	55.3	46.9	47.2	80.0	54.7	71.5	55.5	53.4	55.0	52.5
7. 専門的知識の活用	83.8	81.0	83.5	84.4	80.5	100.0	83.5	100.0	81.4	82.3	85.0	82.5
8. 母国発展に寄与	77.8	82.9	81.3	87.5	80.5	80.0	69.1	85.7	70.3	64.5	70.0	70.0
回答者数	383	244	134	64	36	10	139	7	27	45	20	40

(出所) 付表・A-V (専攻別) 14. から加工。

(注) (総計) から「NA」32人を除いて比率を再計算。

以下が「一応」という緩やかな条件にもかかわらず、これに同意を与えるに留まる。これは、海外に進出する日本(合弁)企業が、とくに理系の学位が尊重される研究開発などを現地で合同で行うことは稀で、我が国で開発されたノウハウをそのまま移転するのが、とくに発展途上国では一般的である風潮を反映している。これに対して、文系のほうが事務関係を中心に日本語ないしは日本で取得した学位を、直接利・活用する機会が多いであろうという期待が、相対的により大きいと推測される。

つぎに、メタフィジカルな5.~8.項目についてみると、小計においては「8.母国発展に寄与」を除くと、両者の間には有意差はみられない。「7.専門的知識の活用」に対する期待がぬきんでて高い。洋の東西を問わず、また専攻分野いかんにかかわらず、学位取得目的そのものが専門的知識の深化にあることから当然ともいえる結果である。8.について、両者の差がみられるのは、理系の学位が直接ハードの物的生産などの面で適用でき、これがひいては母国の(経済)発展につながるのだという意識が、より旺盛なるためと思われる。その点に関して、ソフト的な業務に就く文系学生の、上記の意識は左程強くはないためであろう。この傾向は、とくに物的生(増)産が優先課題となる発展途上国においては顕著であろう。

理系をさらに、理工、農学、医・薬学、その他の4分野に区分し、学位利用についてみることにしよう。このうち、「その他」はサンプル数が僅かであるので一応除く。「5.高い報酬」以下「8.母国発展に寄与」までは、専攻分野間でのさしたる差異は認められない。そこで1.~4.の利用の直接対象となる職場についてみると、すべての項目について理工系が最も高く、逆に医・薬系が最も低く、農学系はその中間にある。巷間「日本の医師の免許（あるいは学位）は低い評価しか与えられていない」という説が流布されているが、今回の調査でもその一端が垣間みられる。また、農学系50人（「NA」6人を除く）のうち、アジア・アフリカからの学生は44人（88%）に達する。我が国の小農技術が先進的なものとして、適用が最も可能とされているこれ等諸国からの学生の利用に関する期待が、「4.研究・教育機関」でさえ、他の2学系よりも低く70%台に過ぎないのは、注目される事象である。

つぎに文系（日本語、人文・社会、経営・経済、政治・法律、その他）についてみることにしよう。日本語を専攻分野とする者（サンプル数は7と僅かであることに留意）の比率が、8項目に関して相対的に高いのは当然であるが、なかでも「3.日本（合弁）企業」、「4.研究・教育機関」が極めて高い。ちなみに「4.研究・教育機関」では、人文・社会系、政治・法律でも、全員が肯定的な回答を寄せている（サンプル数からみても一応の蓋然性を持ち得る値と見做される）。この点も、理系と比較すると特異なことである。（注2）

## (2) 元留学生

表3-7は、在日学生の場合と同様な手続きによって、原表を加工したものである。最下段に示される、各専門別に属するサンプル数からいうと、比率のみで論ずるのには若干問題が残ることに留意しつつ、まず理系と文系全体についてみることにする。ここで特徴的なこととして挙げられるのは、項目1.~4.すなわち具体的な利用客体としての職場については、いずれの項目も文系が肯定的な回答を寄せている。その差異は、とくに「4.研究・教育機関」に対して顕著である。ところが項目5.~8.のメタフィジカルな側面については、逆に理系の方が高い値を示している。

仮説的には、「4.研究・教育機関」の比率と「7.専門的知識の活用」とは、強い相関をもつと思われるが、少なくとも理系と文系に大別してみる限りでは、必ずしも両者がパラレルでないのが指摘される。もっとも、かかる傾向は前述の在日学生についてもみられている（表3-6参照）。しかし、この場合では両者の有意差は殆どないといえる。ともあれ、総計についてみたときに触れたように、取得学位の利用に対して在

表3-7 取得学位の利用——専攻別（元留学生）——

(%, 人)

	総計 (1)	理系					文系					
		小計 (2)	理工 (3)	農学 (4)	医・薬学 (5)	その他 (6)	小計 (7)	日本語 (8)	人文・社会 (9)	経営・経済 (10)	政治・法律 (11)	その他 (12)
1. 政府・行政機関	31.9	30.3	20.9	47.8	38.5	20.0	32.4	60.0	14.3	71.4	50.0	11.1
2. 民間トップ企業	26.8	27.0	29.2	30.4	15.4	20.0	29.7	40.0	21.4	57.2	50.0	11.1
3. 日本(合併)企業	27.5	28.1	39.6	21.7	7.7	0	29.7	60.0	21.4	28.6	50.0	22.2
4. 研究・教育機関	45.6	44.9	39.6	43.7	46.2	100.0	51.3	80.0	42.8	57.2	50.0	44.4
5. 高い報酬	33.2	24.7	31.3	26.0	7.7	0	21.6	40.0	21.4	28.6	0	11.1
6. 社会的威信	32.6	36.0	33.3	39.1	30.8	60.0	27.0	40.0	21.4	42.9	0	22.2
7. 専門的知識の活用	50.7	56.2	52.1	60.9	53.9	80.0	43.2	60.0	28.6	28.6	50.0	66.6
8. 母国発展に寄与	41.3	46.1	45.9	47.8	30.8	80.0	29.7	40.0	28.6	14.3	50.0	33.3
回答者数	126	89	48	23	13	5	37	5	14	7	2	9

(出所) 付表・B-V(専攻別) 8. を加工。

(注) 「NA」は除いて再計算。

日学生の期待と、元留学生の帰国後の現実に遭遇した体験のフィルターを濾過した回答との間には、かなり厳しいギャップがあることが、理系と文系とに分けてみた場合でも、押し並べて確認される。

つぎに、理系をさらに4つの専攻分野に区分してみることにしよう。ここでは農学系が他の2分野（その他はサンプル数の関係上除く）と比べて、概ね高い比率を示している。また「3. 日本（合併）企業」については、理工系が最も高いのも、進出する企業の性格上他の2分野のなかで、ここがより大きいからと思われる。「5. 高い報酬」についても、医・薬学の分野では本来なら最も高い回答が用意されて然るべきであるにもかかわらず、我が国の学位がさして評価されていないことが、ここにおいても追認されている。

他方、文系に目を転じると、日本語を専攻した者の回答が最も高い（「6. 社会的威信」を除き）のは当然であるが、この比率は在日学生のそれぞれと比較しても、とくに1.～4.の職場については、著しい落差はみられないようである。経営・経済でも、それが最も活かされるべき「3. 日本（合併）企業」では極めて低率であるのに対して、他の1., 2. 及び4.の職場では概ね妥当な数値となっている。これに対して人文・社会の

分野では厳しい結果となっており、在日学生と比較してもここでの落ち込みが顕著である。これは我が国においても指摘されるように、学位取得の困難なことと反比例的に、人文・社会の分野でそれに適合した職場を求めることが難しい傾向にあるのが、根本的な原因であるともいえよう。なお、在日学生の専攻別比率の有意差の有無に関する統計的検定は、元留学生の場合サンプル数が小さいため、とくに行われていない。

#### 4 奨学金類別にみた利用——とくに奨学金なしについて——

最後に、奨学金類別のうち、とくに文部省その他から全く奨学金の給付を受けず、私費を投じてまで我が国の大学院で学位の取得を志す（または既にした）者に焦点を合わせて、あらまし考察を加えておくことにしよう。

##### (I) 在日学生

付表・A-IV（奨学金類別）14. のなかにみられるように、学位の取得は彼らの来日前最も大きなコスト・ベネフィットに関する判別の具体的な対象となったであろう。64人の回答者が挙げている「一応有利」とする項目別比率を、総計の比率（全体の平均的傾向）で除して、これらを大きさの順に配列するとつぎのとおりとなる。

順位	項目	相対比率
1	2. 民間トップ企業	1.24
2	1. 政府・行政機関	1.08
3	4. 研究・教育機関	1.05
4	5. 高い報酬	1.03
5	7. 専門的知識の活用	1.02
6	8. 母国発展に寄与	1.00
7	6. 社会的威信	0.94
8	3. 日本（合弁）企業	0.90

このように、彼らの挙げる比率が相対的に最も高いのは「2. 民間トップ企業」への就職である。矢張り順位からみても、総計ではともに低位にあった当該項目及びこれと表裏一体的な関連をもつ高い報酬が、ここでは高い序列を占めているのも、一応の蓋然性を保っているといえる。その他の項目について、全体の傾向と著しいかい離はみられ

ないが、日本（合弁）企業での利用について、より低い評価しか与えられていないのは、私費まで投じて来日する彼らの事前にキャッチした情報に基づく判断が示されているとみてよからう。

(2) 元留学生

然らば、7人の元留学生についてはどうかについて、付表・B-V（奨学金類別）14.の数値をみることにしよう。サンプル数は僅かであるが一応ここでも同様に、全体の比率に対する相対比率を計算し、その大きさの順位に並べかえると、以下のとおりとなる。

順位	項目	相対比率
1	2.民間トップ企業	1.61
2	4.研究・教育機関	1.31
3	7.専門的知識の活用	1.29
4	8.母国発展に寄与	1.11
5	1.政府・行政機関	1.04
6	3.日本（合弁）企業	1.03
7	6.社会的威信	0.69
8	5.高い報酬	0.33

すなわち、この場合においても「2.民間トップ企業」への就職が1位であり、全体の傾向よりも高い水準にあることが判る。これと類する「3.日本（合弁）企業」は依然として低位にあるのは、『提言』で指摘されている、現地進出企業の学位取得者への対応の仕方が、ここでも浮き彫りにされているようである。また、在日学生の場合は、項目の比率の間にはさしてレンジは大きくなく(0.34%)、ほぼ全体的傾向との類似性が1前後に保たれていた。ところが、元留学生となるとバラツキが大きくなり(1.28%)、全体の傾向からのかい離がより大きくみられる。とくに「5.高い報酬」、がこれと関係の強い「2.民間トップ企業」が1位であるにもかかわらず、最下位にあるのは、恐らく「3.日本（合弁）企業」に対するイメージが強く作用した結果ではなかろうか。つまり、彼らが高い報酬を得る場として抱いていた日本企業で、さして学位の利用が活かされない(上記のとおり当該項目の順位は6位)事実に対する幻滅が、意見の形成に対して「2.民間トップ企業」の場合よりも大きな影響を与えたものと思われる。

かくして、私費による在日学生と元留学生の、8項目に対する順位の関連性について、ここでも同様にスピアマンの相関係数を計算すると、 $r_s=0.548$ という値が得られる。これは $n=8$ の場合、95%の確率水準における値0.643よりも小さく、相関係数の値は棄却される。すなわち、両者の学位利用に関する序列性は、留学中の期待と帰国後において変化がみられることを意味する。

## VI 学位評価に対する国際比較——在日学生について——

前節では、我が国で取得される（またはされた）学位の利用に対する、在日及び元留学生の意見についての考察が加えられた。引続き本節では、日本をはじめ諸国での学位が、それぞれの母国においてどの程度評価されているかについて、とくに在日学生に回答を求めている。

### 1 総計からみた評価

付表・A-I（総計）15. に示されるように、質問では評価のグレードを5段階に分けている。そこで、ここでも「高く評価」と「ある程度評価」を一応肯定的な見解と見做して、両者の比率を加えたもの、さらに前者に10点、また後者に5点というウエイトを与えて加算した点数を加重評点として示すとつぎのとおりとなる。

	<u>一応評価</u>	<u>加重評点</u>
母国の学位	74.0%	493.0点 (100)
アメリカの学位	88.6	803.0 (163)
ヨーロッパの学位	83.4	683.5 (139)
東洋諸国の学位	40.5	223.0 (45)
日本の学位	81.4	561.0 (114)

一応評価の合計比率だけについてみると、東洋諸国を除く他の諸国の数値は、さしたる開きがみられない。なかでも、アメリカの学位については逆に「わからない」あるいは「NA」という消極的な反応を示した者は9.1%と最も少なく、90%近くが肯定的な回答を寄せている。今日、アメリカで世界に冠たるものは、宇宙産業とエレクト

ロニックス産業と農業さらに大学（とくに大学院）教育システムであるといわれている。厳しい学習条件、豊富な教授陣や設備などのもとで取得された学位は、社会でもそれなりに正当に評価されている。今回の調査においても、この点に関して彼らもまた一様に高い評価を与えている。また付表・A-I（総計）1.でもみられるように、大学院415人をふくめて967人のうち22人がかつて北米（アメリカばかりでは必ずしもないが）に留学の経験を有し、また現在我が国で留学するよりも、北米を第一志望としていた者が153人に達することからも裏づけられる。

つぎに、加重評点についてみることにする。ここでは、それぞれの学位の評価の格差が拡大されて投影される。いま母国の学位の加重評点を100として相対化すると、アメリカの学位は1.6倍の、またヨーロッパのそれは1.4倍の高い評価となる。これに対して、我が国の場合は東洋諸国と比べると著しく高いが、母国の水準とさしたる差はみられない。(注3)

## 2 圏域別評価の差異

然らば、前項でみた総体的な評価を圏域別にブレイク・ダウンしてみたら、いかなる差異が生ずるかについて考察を加えよう。付表・A-III（地域別）15.に掲げられてある10地域を、「学位の利用」の際に行った場合と同じように、漢字圏、非漢字圏（1）、同（2）と3圏域に分類し、一応評価と加重評点、さらに総計のそれをそれぞれ100とした場合の相対評点を加工算出したのが、表3-8である。

少なくとも漢字圏の比率でみる限り、一応評価では日本の学位が最も高く、アメリカのそれよりも僅かながら大きい値をみせている。また、母国の学位に対する評価も、ほぼヨーロッパ諸国での水準に近い。母国以外の他の東洋諸国における学位に対する評価は、一応という緩やかな条件ですら際立って低いことが注目される。非漢字圏（1）すなわち東南アジアからの在日学生の場合には、その殆どが旧宗主国であるアメリカとヨーロッパの学位に対する評価が相対的に最も高い。同じアジア諸国でありながら、漢字圏では母国の学位の評価が割合が高く、逆に東洋諸国のそれが低いものに対して、その関係がここでは逆になっている。これは、中進国としての社会経済の発展段階にある漢字圏で、自国大学から授与される学位のプレステージが漸次確立されつつあることの反映ともみられる。つぎに非漢字圏（2）においては、アメリカとヨーロッパの評価は殆ど同位になる。ここでは、我が国での学位の評価は、母国のそれよりも若干高い程度の水準となる。これに関しては、加重評点のときにまた触れることにする。

表 3-8 取得学位の評価——地域別——

(%, 人)

	一 応 評 価			加 重 評 点			国 別 相 対 評 点		
	漢字圏 (1)	非漢字圏(1) (2)	非漢字圏(2) (3)	漢字圏 (4)	非漢字圏(1) (5)	非漢字圏(2) (6)	漢字圏 (7)	非漢字圏(1) (8)	非漢字圏(2) (9)
母国の学位	80.7	71.0	51.4	538.0	453.0	393.5	109	92	80
アメリカの学位	90.7	92.6	86.9	808.0	851.0	809.5	101	106	101
ヨーロッパの学位	83.5	85.9	84.5	673.0	671.0	696.5	98	101	102
東洋諸国の学位	39.5	54.2	28.6	222.0	294.5	154.0	100	132	69
日本の学位	92.3	83.2	63.1	634.5	561.0	458.5	113	100	82
回答者数	182	107	84	182	107	84	182	107	84

(出所) 付表・A-III (地域別) 15. を加工。

(注) 「NA」42人は除外。加重については1. 総計の場合と同じ。また国別相対評点は、総計の加重評点を100として計算してある。

さらに、東洋諸国の学位に対する評価は、28.6%と際立って低いこと、同じ東洋でありながら日本が2倍強の評価をされているのが特徴的である。

つぎに、加重評点についてみることにしよう。一応評価では、さしたる格差がみられなかった、漢字圏におけるアメリカと日本の学位に対する評価差は、ここでは歴然たる差となって表われる。また、ヨーロッパにおけるそれが、日本よりも高いレベルとなっているのが注目される。非漢字圏(1)において、一応評価では8%の開きに過ぎなかったアメリカとヨーロッパの差異が、27%に拡大化されている。矢張り、これ等の諸国においてもこと学位に関しては、「ルック・アメリカ」の傾向が強い。非漢字圏(2)では、一応評価については母国と日本の差は後者の方が若干高いことは既にみたとおりであり、23%の差となっていた。しかしここでは18%に縮小している。このように、少なくとも評価のうえからみると、アメリカやヨーロッパはもとよりのこと、さらに母国のそれとさして変わらない日本の大学に何故留学するのか。これについてはよく指摘されるように、アジア諸国からの留学生の第一義の目的が学位取得であるのに対して、それ以外とくに欧米からのそれはむしろ研究そのものにあり、取得については自国かあるいは欧米諸国間でなされるということが反映されているためと思われる。

最後に、各地域での加重評点を前述の総計のそれで相対化した評点が、表の右欄に

示される。合計値を算出すると、漢字圏：521、非漢字圏(1)：531、非漢字圏(2)：434となる。学位評価については、前2圏域が総体的に高いのと比べて、非漢字圏(2)においては厳しい値となっている。さらに、国別の評価のバラツキは小さく、レンジでみると漢字圏：15、非漢字圏(1)：40であるのに対して(2)においては33と、(1)でバラツキが大きいのも特徴的である。また、日本の学位に対する3圏域間の評価の序列性についても、我が国の学問全体の影響力と形成について、漢字圏に対しては主として受け入れ、また非漢字圏(2)に対してはその逆という一方通行的な歴史的経過ないしは現状を照合するとき、蓋然性を見出すことができる。(注4)、(注5)

### 3 専攻別にみた特徴

表3-9は、ふたたび専攻別を理系と文系に、さらにこれらを各分野にブレイク・ダウンし、「一応評価」と回答した比率を、付表から加工算出したものである。まず小計についてみると、理系と文系とも順位は変わらず、アメリカ、ヨーロッパ、日本、母国及び東洋諸国となっている。しかし比率のレンジでは、理系：54.1%、文系：38.1%と、前者の評価のバラツキが大きい。これは、学位取得の有無並びにどこで取得したかが相対的に厳しく問われる、理系分野における世界共通的な傾向を反映している。他方国別についての差異は、東洋諸国のそれを除くと、両者の間にはさしたる差異はみられない。

表3-9 取得学位の評価——専攻別——

(%, 人)

	総計 (1)	理 系					文 系					
		小計 (2)	理工 (3)	農学 (4)	医・薬学 (5)	その他 (6)	小計 (7)	日本語 (8)	人文・社会 (9)	経営・経済 (10)	政治・法律 (11)	その他 (12)
母国の学位	74.0	73.0	70.9	75.0	82.2	90.0	74.1	85.7	74.1	68.7	95.0	67.5
アメリカの学位	88.6	88.9	90.3	87.5	86.1	90.0	88.5	75.7	96.3	86.7	100.0	80.0
ヨーロッパ諸国の学位	83.4	83.2	85.1	76.6	86.1	90.0	84.2	71.4	92.6	84.4	90.0	77.5
東洋諸国の学位	40.5	34.8	35.0	36.0	27.8	50.0	50.4	57.2	51.9	44.4	60.0	50.0
日本の学位	81.4	82.4	84.3	76.6	83.4	90.0	79.9	100.0	81.5	75.5	85.0	77.5
回答者数	383	244	134	64	36	10	139	7	27	45	20	40

(出所) 付表・A-V (専攻別) 15. から加工。

つぎに、理系のなかの4部門についてみることにしよう。アメリカの学位に対する評価が最も高いのは理工部門であり、回答者134人の90%が肯定的な回答を寄せている。逆に母国の学位に対する評価は、他の部門のなかで最も低い。ヨーロッパ諸国と日本の学位に対する評価は、前者が若干高い値となっているものの、殆ど差はみられない。農学について、さきに学位の利用でも触れたように、アジアを初め零細小農経営が圧倒的にみられる諸国からの留学生が92%であるにもかかわらず、日本の当該部門の学位に対する評価は、ヨーロッパのそれと同水準とはいえ、予想外に低い(76.6%)となっている。医・薬学部門では、アメリカとヨーロッパの学位は、同じ程度に評価されている。さきに学位利用に関して、元留学生の結果からみると、我が国の学位の評価は必ずしも芳しくないが、少なくとも在日学生の期待を込めた評価では、他国と比べてひけを取らない水準を保っている。その他部門についてのコメントは、サンプル数も少ないので省略する。

つぎに文系についてみることにしよう。回答者が僅か7人といえ、当然のことながら日本語を希望専攻する者の、日本学位の母国での評価が100%というのは、恐らく日本と関連の深い職場においてという条件を想定してのものであろう。そのような彼らが帰国すると、さきに表3-7でみたような結果となるものと思われる。ちなみに回答者7人のうち3人は修士課程、残りの4人は博士課程に在学中であり、ともに人文・社会を履修している。また、ここではヨーロッパでの学位が次いで高く、アメリカと母国の学位の評価水準は同位となっている。彼らの殆どが、東アジア出身であるので〔付表・A-III(地域別)12.(1)と(2)を参照〕、最近母国の学位レベル・アップが意識の背景にあったためであろう。

その他、政治・法律の分野でも、我が国の学位に対する評価は相対的に高い。しかし、国際的な比較においては、アメリカが100%、次いで母国が95%、ヨーロッパが90%と、我が国が相対的に低い評価が与えられているのは、世界の諸国に対する当該領域でのコミットメントの歴史的経過からみて、当然の帰結かもしれない。むしろ意外なのはつぎのことである。すなわち、我が国の経済繁栄が全世界から注視的となり、これに従って日本的な経営管理方式を逆にとり入れる機運が次第に醸成されつつあるといわれている。しかし、経営・経済専攻学生の我が国の学位に対する評価は、欧米に対するそれと比較するとまだ低い状態にある。すなわち、実践的な企業活動とこれを体系化し原理として止揚する学問(=経営学)水準との間に、ギャップが存在することである。しかし、回答者の人数からいうと、文系のなかで経営・経済の分野が最も多い。出身国も、アジアからが29人と最も多い。その点からいえば、母国での学位

の評価いかにかわらず、当該領域での我が国に対する関心は深いともいえる。

## Ⅶ 学位取得・利用などについての個人的な意見

今回の調査に際して、学位取得なりその利用などに対する彼等の意見を自由に開陳して貰っている〔在日学生・13、—(5)、14、—(9)及び元留学生・9.〕。

### 1 学位取得の難易性について

在日学生15名の意見が記入されている（うち、日本語による回答6、英語によるもの8、それ以外の母国語1）。その多くが、日本語が学位取得の障壁になっているかについての選択式の設問があるにもかかわらず、改めて意見としてそう訴えている。とくに、日本語の読み・聞きはともかくとして、論文を執筆する場合の日本語のもつ繊細なニュアンスを十分に会得できないことへの不安(国際学修士号希望者)、さらに現代日本語以外に古典、漢文などの修得が要求される(文学系と思われる)などである。音節文字としての平仮名または片仮名と、然らざる表意文字である漢字とが混用される日本語—とくに後者を自由に使いこなせるには日本人ですら可成りの習練が要求される—が、彼等にとって桎梏となっているのは否めない。

しかし、ここで奇異に感ずるのは、そのような見解を述べながら、他方選択式の設問に対しては「そうではない」もしくは「なんともいえない」に回答を寄せている者が数名いることである。これは恐らく、自らについての意見は後者に、一般論的な見解として前者となったと理解すべきであろう。あるいは、たてまえと本音の同時表明と解すべきであろうか。ともあれ、学位取得と日本語能力の関連は、彼等にとって大きな負荷であることは想像に難くない。

さらに、大学院の教育が次第にかつての外国語文献を中心としたカリキュラムから、日本語のテキスト重視へ変わった(以前の大学院とくに人文社会系では、原書講読がその殆どであったといわれる)。そこでは、学問それ自体の理解に対する能力が評価されるよりも、日本語に対する理解の有無の方がより重視される。このような大学院教育の基本的なあり方についても意見が寄せられている。さらにまた、とくに人文社会の分野では、指導教授自身が学位を持たない者がいる。そのような場合に、学生まして留学生の学位取得に対して熱心な指導がなされないという、手厳しい批判も述べら

れている。そこには、当該分野で日本人をふくめて、学位取得が困難である教学の体質あり方の改善について、暗黙の指摘がなされていると思われる。

かくして、同一の能力をもっていたとしても、アメリカを初め英語使用国の大学の方がどうしても学位取得が容易となる。そこで、日本に学びながら学位取得が出来なければ、その間の事情を精通しない母国の社会で、能力の有無について“誤解”を受ける結果となる。これがまた、とくに学位取得を志向するなら日本の大学が敬遠され、欧米の大学が選好されるという風潮を益々助長するといえる。

最後に、学位取得に対するガイダンスの不足を挙げている。これはかつての欧米の大学に留学した経験をもつ者の意見にみられる。彼によれば、留学生はもとより日本人学生をふくめてそうであるが、大学当局あるいは直接指導する教授による、学位取得に対する基本的な指示なり情報の提供が足りない。また、行う場合にはせめて重要かつ基本的な事項は、出来たら英語でして欲しいという希望である。とくに、かかるガイダンスは来日して間もない(半年間の日本語の修得期間があったとしても)、しかも入学直後で十分に日本の生活なり学園の空気に不馴れで不安の大きい時期になされるだけに、コミュニケーションの不足は痛切であろう。

## 2 学位の利用, その他について

学位の利用について、只1人が意見を寄せている。それは農学博士号取得の希望者で、「豊富な天然資源に恵まれた母国の発展のため、(日本で学んだ)ノウ・ハウを適用する必要」があるという。これは、設問の(8)と軌を一にするものであるが、より具体的に日本の農業技術の適用可能性と必要性を強調している。しかし、彼の見解によれば、我が国で取得された学位の、政府機関をはじめ実際に利用される職場での評価は、すべて「無関係である」とされている。

その他、学位取得に関する改善点などに対する意見は30名の元留学生(うち日本語による回答12名、残り18名は英語)によって表明されている。その多くは、前記在日学生の意見と同一のものである。とくにそのなかで注目すべきは、我が国において学位を授与する場合の基準が、国公立によって必ずしも標準化されておらず、その難易性に差異が認められること。また、その判断が殆ど教授個人の認定に委ねられていること、とくに論文博士の場合然りであるという。従って、より厳正な基準によって授与した方が、日本の学位の権威を保持するうえからも望ましいとする。そのためには、アメリカの方式(能力を競争のもとで客観的に判定する試験の成績がより重視さ

れる)を、もう少し参考として採り入れるべきであるという。

さらに、「官僚的」で「保守的」かつ「留学生の存在に余り注意を払わない」封鎖的で「多忙過ぎる」教授というイメージを、帰国後も持つ者もなかにはいる。よりよき理解—大学当局と指導教授、指導教授と留学生との間の一、コミュニケーションを交わすことの必要性を同時に述べている。大学の制度、スタッフもふくめて国際化に対応した、より開かれたものへ脱皮することを彼等の自らの留学体験に基づいて、われわれに求めているのである。

## 結 び

本章の分析から得られた諸々の結果から、とくに際立った問題点を指摘するとつぎのとおりとなる。まず、学部における授業に対する水準とそれへの理解の難易性についてである。回答者の3人に1人の割合で、「ある科目は難しすぎる」と答えている。具体的には、理工系の科目が主要なものである。しかも、理工系を専攻する者に多いことは注目すべきである。また、漢字圏と非漢字圏の間にも、当然のことながら較差がみられている。

第2には、希望学位には性別による差異が認められる。すなわち、男子の場合には理系が多く、しかも博士号取得まで希望する者が極めて多い。これに対して、女子の場合には文系が多く、修士号取得の希望者が多いことである。さらに、開発途上国出身者に学位取得の希望が多いのに対して、とくに西欧圏からの留学生は、主として研究の深化あるいは一対象として来日する(学位は自国またはそれ以外の西欧諸国で別途取得するものと思われる)傾向がみられることである。

第3には、学位取得に際して日本語能力のいかんが、かなりの障害になっているか否かについて、総体的にみると「そうは思わない」ということになっている。しかし「読む」、「聞く」という受動的な機能についてはとも角として、自ら論文を「書く」という能動の場合には困難性は大きい。また、外国語をさらに2カ国語を要求されることは、一層の負担となっている。

第4には、我が国で取得される学位の利用に対する、在日留学生の期待感と元留学生の帰国後の実際の体験に基づく見解(実態)との間には、かなりのかい離がみられる。今後、このギャップをいかに埋めるかが、留学生問題で重要な課題となる。利用の職場としては、専門的知識が活用される研究機関が挙げられている。しばしば指摘

されるように、現地進出の日本企業における利用については、期待と実態はともに低い。また、専攻別のなかでも医学系の利用が低いことも注目される。

第5には、我が国での学位の評価についての国際比較である。「高く」と「ある程度」を一応肯定的とみて比較すると、欧米諸国との間にさしたる較差はみられない。しかし、両者をウェイトづけして比較すると、とくにアメリカの学位に対する評価との間には、かなりの差異がみられる。また、漢字圏においても、それぞれ自国の学位のレベル・アップ、さらには欧米志向性の強くなりつつある事情を反映して、我が国の学位に対する評価は思った程大きくはない。

(武藤 和夫)

---

(注)

- (1) ここで2元配置分散分析の手法を援用して、在日学生と元留学生についてそれぞれ、3圏域・4項目間の回答比率に有意差があるか否かを検証してみる。その結果、95%の判定基準で在日学生には3圏域間に有意差はない。これに対して元留学生の場合には、差異が著しく認められている。また4項目間の有意差については、これと全く逆のことが指摘される。
- (2) 総合的な考察として、1.~4.の項目すなわち具体的に活用される職場の種類について、回答者の専攻分野を理系と文系に大別し、さらに前者は4分野、後者は5分野に亜分類して、4項目に対する回答比率の有意差をみた。これによると、95%の確率水準のもとで理系の場合には専攻分野・項目間にも有意差がみられた。これに対して文系の場合には、専攻分野間には有意差がないが、項目においては認められることが判った。
- (3) 回答者415人のうち、たとえば北米出身者が5人いる。彼らが学位の評価について意見を述べるとき、母国(アメリカの出身者もふくまれる)に対して、もし高い評価を与えるならば、つぎの設問15.-(2)のアメリカの学位にも同じ評価を与えることになる。すなわち、評価が二重にふくまれていることに、以下の分析でも注意すべきである。
- (4) 21世紀への留学生政策懇談会「21世紀への留学生政策に関する提言」、昭和58年。
- (5) 最近人事院から刊行された、政府及び関係機関から海外大学院に派遣された若手職員の留学体験記も、留学生はすべて欧米となっている。人事院管理局「アメリカ・ヨーロッパ大学院留学体験記」、昭和60年。
- (6) たとえば日米間には1961年6月池田首相とケネディ大統領との会談によって、日米文化教育交流会議(CULCON)が設立され、両国の文化と教育の分野で協力推進することになっ

### 第3章 学部及び大学院における学習条件と学位取得問題

た。また、アメリカの中学・高校レベルでの日本語教育を拡充するため、より具体的なプログラムの作成が、83年秋レーガン大統領の訪日以降すすめられている。

(7) 文部省学術国際局留学生課「21世紀への留学生政策」, 昭和60年。



## 第4章 日本留学への評価と意見



## 第4章 日本留学への評価と意見

### はしがき

本章では、日本で留学生生活を体験したことについて、全体としてどのように評価しているかを 1 留学生としての生活、2 留学生の大学・大学院等受入側の事情、そして 3 帰国後での日本留学体験の活用についてとりあげる。また殊に留学生の受入れ条件については、4 居住条件についての希望意見をきき、さいごに、5 総括的に受入れ条件全般にわたる留学生の評価、見解、意見等を整理する。これについての設問の意図は、日本での留学生生活が母国とは異なる諸条件のもとで体験される場合の、国際的、文化的、制度的、経済的な摩擦の諸局面を把握し、留学生を受入れるに際していかなる対応が望まれるかを、留学生の見解として明らかにしようとする点にある。

日本留学の評価というが、それはいうまでもなく留学生が留学先として日本国を選択することそれ自体についてはもとより、留学を決定するに際しては資格、条件といった制度的枠組みがあり、さらに個人的には経済的生活の保証の在り方、方法のほか、日本語能力や学力の比較や差異の問題、及び日本での社会制度、習慣、考え方、行動様式等や衣食住への適応の問題がある。これらを総括して留学生生活というならば、留学生生活は本来的に留学の目的、具体的には日本の大学、大学院で学業・研究活動に従事したのち希望する学位を取得するための基礎条件とみなされる。また学位取得は、その後の母国その他での社会経済的活動を規定するひとつの資格とみられるけれども、その間の学業・研究活動を通じての諸体験こそ留学成果の活用に大きな影響力をもつものと考えられる。こうした問題を通じてもっとも重要な点は、留学生はこうした適応、体験を日本という国のもつ環境条件のもとで行うことであり、この意味で日本の留学生受入れ条件は、それが制度的に設定されたものであろうとそうでなかろうと、留学生にとっては与件となっている。日本留学の評価を検討するには、したがってこの与件が何であるかをまず整理しておかねばならない。われわれはこの点についていくつかの研究成果<sup>(1)</sup>を持つが、ここでは既存の業績の検討から特に問題とすべき事項に限定して、その内容を深めることに重点を置いている。冒頭に掲げた事項がこれである。

留学生の日本留学についての評価は、これら与件としての日本留学の受入れ条件についてのそれとして検討される。この場合の評価は、特定の事項に対して幾つかの尺度を設け、その反応をみることでこれを捉えた。またそれを補足するために多くの場合、留学生のそれについての見解、意見、希望等を自由に記入させた。特に受入れ条件の問題点、改善を期待する意見については具体的な指摘を求めた。

関係事項についての論述は、概ね在日留学生の見解をまず整理し、これが元留学生のそれとどういった差異があるかを見出す順序をとること、他の章と同様である。評価という視点からすれば、在日留学生と元留学生との間には学生と社会人という立場、経験上のキャリアの違いがある（第1章）が、日本留学の受入れ条件については時間的な懸隔をもつ元留学生の評価は、直接に体験しつつある在日留学生の具体的であるが主観的な評価態度と較べて、より客観的かつ総括的なそれとして受けとめられるようである。そのことは自由記入を行ったものの割合が元留学生のばあいには多いことから推測できる。

## I 在日生活への期待と評価

### 1 在日生活への期待と評価

日本留学への評価を、まず当面している学生生活一般について捉えてみよう。評価は「満足度」に4つの尺度を設け、表4-1にあるとおり、9事項それぞれについて回答を求めている。結果を満足度の高い順——この場合、大いに満足、どちらかといえば満足の計として整理すれば、図4-1に示されるとおりである。

在日留学生全体では、次のような特徴的な結果が得られた。

- 1 満足度が70%を超える事項は、日常の学習・研究活動（77.3%）、日常の衣食住（77.5%）そして大学のスタッフとの交流（71.1%）である。
- 2 満足度が60%台にある事項は、留学成果の母国での活用の期待感（66.4%）、日本国内の視察見学旅行（65.1%）、大学の学生たちとの交流（64.7%）、一般社会人との交流（63.9%）である。これらに次いで、
- 3 孤独感からの解放（51.1%）があり、最も低いのは日本人の母国事情の理解（34.4%）であった。

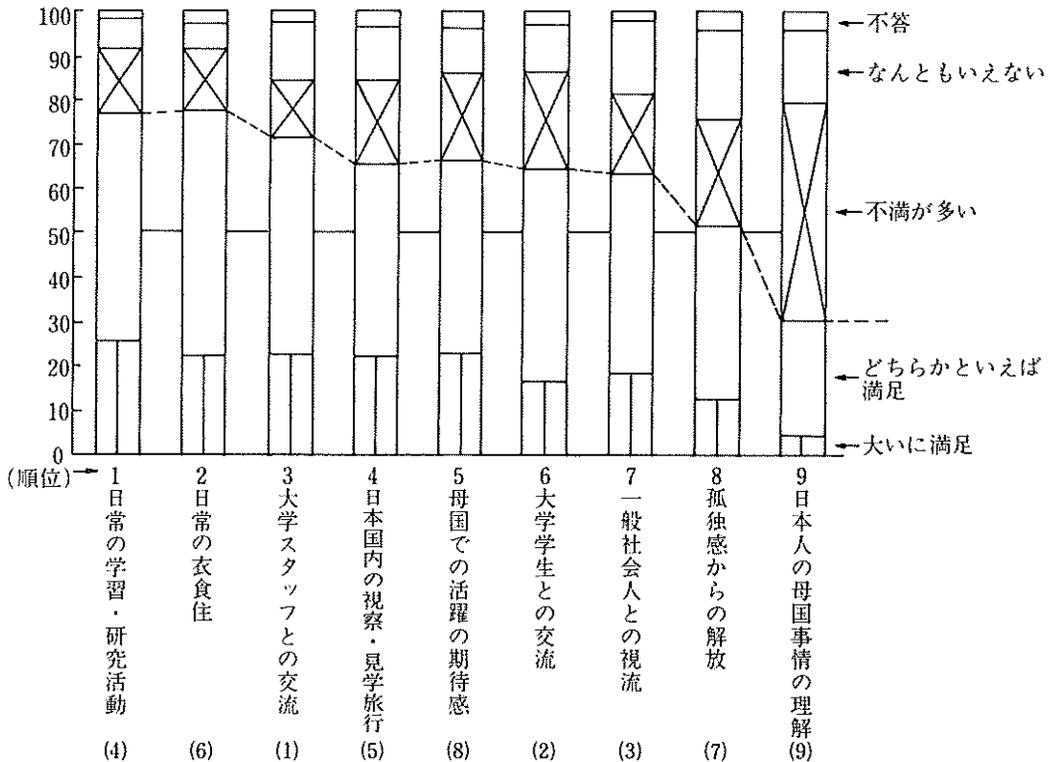
このうち「大いに満足」であるという回答は、しかしながら1と2の一部について

表4-1 日本での留学学生生活についての満足度（在日留学生）

	大いに満足		どちらかといえば満足		不満が多い		なんともいえない		不 答		計	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
(1)大学スタッフとの交流	217	22.4	471	48.7	125	12.9	131	13.5	23	2.4	967	100.0
(2)大学の学生たちとの交流	156	16.1	470	48.6	208	21.5	107	11.1	26	2.7	967	100.0
(3)一般社会人との交流	175	18.1	443	45.8	171	17.7	159	16.4	19	2.0	967	100.0
(4)日常の学習、研究活動	245	25.3	503	52.0	138	14.3	64	6.6	17	1.8	967	100.0
(5)日本国内の視察、見学旅行	213	22.0	417	43.1	184	19.0	124	12.8	29	3.0	967	100.0
(6)日常の衣食住	221	22.9	528	54.6	135	14.0	56	5.8	27	2.8	967	100.0
(7)孤独感からの解放	124	12.8	370	38.3	240	24.8	192	19.9	41	4.2	967	100.0
(8)留学成果の母国との活用の期待感	215	22.2	427	44.2	100	10.3	195	20.2	30	3.1	967	100.0
(9)日本人の母国事情の理解	42	4.3	291	30.1	433	44.8	158	16.3	43	4.4	967	100.0

(出所) 付表A-I(統計), V・16より抽出。

図4-1 留学学生生活についての満足度(在日留学生)



20%程度でしかないが、その順序はおしなべて同じ配列となっている。在日留学生全体について、この回答結果はかなりの意味あいをもっと考えられる。すなわち、

- 1 最も満足度の高い事項群は、大学での勉学、研究を第一義的な目的とする留学生在が充たすべき基礎的な条件である。日常の衣食住に関して満足すべき条件があり、日常の学習・研究活動とこれを指導、管理する大学スタッフとの交流が十分に行われている、ということであれば、結局は日本に留学し、学位を取得するといった留学の目的は果たされるであろう。こうした期待を説明する事項群が他の事項群よりも高い回答率が得られたことは、受入れ側からみても好ましい結果となる。またこうした期待は、留学成果の母国での活用に資するという設問への回答率を同時に高めているとみてよい。
- 2 第2の事項群は、日本人および日本社会との交流に関しており、留学目的を達成することについては、重要な条件であるが副次的な位置におかれる。それらについても60%を超す賛意を得ているわけで、日本、日本社会そして日本人を認識し理解すべしとする関心を有していることは注目に値する。
- 3 第3の事項群は、留学に伴う各種摩擦条件に直面している留学生的の心理的な状況を表すものである。孤独感とは留学生個人の日本という異国での生活にとけこめないでいる状態を指し、これが半数を超えた。それ以上に問題とされるのは日本人が留学生的の母国についての理解が低すぎるとする点である。

以上の全体的な特徴をふまえて、こんどは留学生在がどの点について満足とし不満足とするかを、留学生的の属性を基準にして整理してみよう。ここでいう属性とは性別、回答言語別、出身国（地域）別、国公立私立大学別、学籍区分及び奨学金類別の6指標である（これらは本研究報告の末尾に「付表」として掲げられた集計表の表頭項目に使用されている）。在日学生生活への期待と評価という観点から設問項目ごとにとりあげ、そこでの特徴を説明するために最も関係のある属性を適宜組合せることにしよう。

## 2 学生生活への期待

衣食住生活についての留学生的の満足度は9つの設問中最も高いものであった。日本での日常生活は大多数の留学生的にとっては格別に不満はないというわけであるが、属性についてこれをみれば、不満度がもっとも強く表明されているのは、私立大学(17.4%)、学部(15.4%)、奨学金資金なし(17.2%)、男子(15.1%)等であり、専攻別では人文・社会(18.9%)及び農学(18.4%)が格段に高く、出身国(地域)別ではオセ

アニア (16.7%) と東南アジア (15.7%) そして韓国 (18.9%) 及びマレーシア (30.4%) であった。逆に、大いに満足だとする回答が高かった属性は、国公立 (24.3%)、大学院 (27.5%)、文部省奨学金 (31.5%)、農学 (29.9%)、人文・社会 (26.4%)、理工 (24.4%) となり、出身国 (地域) 別では北米 (47.6%)、中東 (36.8%)、南米 (35.3%) 及び南アジア (35.6%) であった。

属性から捉えた満足、不満足 of 回答率はかなり混乱して表われているようにみえるけれども、日常の衣食住生活についての評価は、その基底に風俗習慣、宗教の規制等があるとはいえ、帰するところは留学生のおかれている住宅条件と経済 (生活費、学資等) 水準であろう (留学生のこれらの実態は第1章で述べられている)。日本留学は文部省奨学金給与額において国際的に最優位にあるほか、私費留学生への給付も制度化されている。すなわち、満足、不満足 of 程度を奨学金給付という属性からみれば、それが国公立大学の大学院、研究生に多くの給付者がいることから、こうした留学生の満足度が高くそうでない留学生に低いことは十分に肯けるところである。これを裏付ける直接の指標は奨学金類別 (付表・A-V, 16-(6)) であり、日常の衣食住生活について大いに満足とするものは文部省 (31.5%)、その他 (16.7%)、奨学金なし (11.2%) であるのに対して、不満が多いとするものはその逆に、奨学金なし (17.2%)、その他 (14.8%) そして文部省 (11.9%) という差異をみせている。

日常の学習・研究活動ではどうか。これについてはまず日本語能力そして学習・研究活動の条件と制度等に関してとりあげられよう。留学目的を達成するために自己の能力が高められる環境にあるかどうかについての主観的、客観的評価である。日本語能力については、第2章で詳論されたとおりであり、ここでもその能力のあり方がはっきりと表われている (付表・A-1, 回答言語別16-(4))。大いに満足とするものは日本語では27.1%、英語で16.9%となり、また不満足とするものは逆に英語で20.4%、日本語で12.0%であった。さらに環境条件や制度については、集計に採用された属性でみることは必ずしも適切でないと判断される。けれども次の点は検討に値しよう。学籍区分では大学院と学部とでは、大いに満足が大学院で31.6%、学部で15.1%、また不満足は学部で19.8%、大学院で11.6%となり、極端な開きがある。さらに奨学金類別では文部省と奨学金なしの間に、同様に大いに満足が文部省 (受給生) で32.1%、奨学金なしで16.6%、不満足では奨学金なしで18.9%、文部省で14.2%の開きがある。また国公・私立別には大いに満足とする回答に差異は小さいが、私立の場合不満が多いが18.2%で国公立のそれの13.7%をかなり上回った。関連性を強いて取出すとすれば、国公立・大学院で満足度は高く、私立・学部で満足度が低いということになろう

か。そのいずれについても文部省奨学金受給生であることがこれと表裏の関係にあるようである。

大学スタッフとの交流については、留学生の学習・研究を指導する立場にある人人との交流がうまくゆくかどうか結局は留学目的を達成するためにもっと重要な条件であるという意味からいって、注目される問題である。全体では71.1%がこれを満足としており、留学生はスタッフとの交流に高い評価を与えている。問題は不満が多いとする属性である。目立った点を指摘すれば、私立大学(19.7%)、性別では女性(15.6%)、英語で回答した者(15.6%)、学部学生(14.8%)であった。日本語能力が高く、国公立大学、大学院及び研究生にあり、また文部省奨学金を得ている者はその逆にスタッフとの交流を「大いに満足」であるとしていることがわかる。けれども、出身国(地域)別では不満とするものと大いに満足とするものの回答は大きな分散がみられる。前者ではオセアニア(33.3%)、東南アジア(17.6%)、中東(15.8%)、北米(14.3%)の順に不満が大きいとしており、逆に大いに満足とする留学生は西欧(50%)、北米(47.6%)、アフリカ(44.4%)、東アジアと中東(42.1%)、南米(39.2%)で、概していえば、アジア地域出身の留学生に不満が多く、欧米地域に主として満足する留学生が多いようである。また、専攻別でも分散は大きく出ており、総じていえば理科系に満足度が高く(医・薬学27.3%、農学25.3%、理工24.1%、その他23.1%)、文科系では逆に不満が多い(人文・社会22.6%、経営・経済17.6%、その他15.6%)が、日本語専攻では満足度が高い。こうした分散をもたらす背景が何かについては、今後に残された検討課題である。

### 3 日本との交流、接触について

留学とはともあれ異文化と具体的かつ日常的に接触する機会であり、日本留学は学生たる時期と立場でこれを仔細に観察、体験することで、留学生の生涯を通じて日本や日本人、日本社会についてのイメージを固めることとなる。その接触は日常生活そのものとして行われるが、留学生の意欲や目的に応じて積極的ともなれば消極的ともなり得る。これを交流——広い意味で日本人との接触の程度を、主観的に満足しているかどうかという点から整理しよう。大学のスタッフとの交流は既に説明したが、ここでは学生、社会人及び国内旅行についてとりあげる。

同世代でかつ留学生の大学、専攻の日本人学生との交流については、概ね満足度が高いこと(全体で64.7%)は知られている。これを属性別にみれば、満足度の高いも

のは私立大学 (71.2%)、文部省奨学金受給者 (67.7%)、男 (67.5%)、日本語での回答者 (67.5%)、大学院 (66.5%)、となる。逆に不満が多いとするものは女 (25.8%)、英語での回答者 (25.8%)、学部及び研究生 (それぞれ24.2%、22.3%)、奨学金なし (24.9%) であった。それぞれの属性についてかなり満足度に差異があることがわかるが、日本人学生との交流は、日本語能力や大学での学習・研究上の接触の機会の多寡のほか、経済的余裕といった条件によって左右されるように思われる。性別の差は恐らく日本人女子学生と接触したいと期待していてもその機会が相対的に少ないといった女子留学生の不満を表明したものであろう。また国公立大学よりも私立大学で満足度が高いことは注目されることである。出身国 (地域) 別では、満足度の高い順に中東 (79.0%)、南アジア (75.5%) となり、西欧 (67.9%)、南米 (66.7%)、東欧 (66.7%) で、これに次いで東アジア (62.7%)、北米 (61.9%) そして最も低いのがオセアニア (58.3%) となる。逆に不満が多いとするものは概ねその逆の順序となっていた。出身国 (地域) 別のこうした結果は、感受性の強い同世代の学生のそれを反映するものであろうが、一般に欧州に高くアジアに低い傾向があることは留意してよいであろう。さらに、専攻別では満足度の高いのは概して文科系——政治・法律 (73.3%)、経営・経済 (66.9%) 等で、理科系がこれに次ぐ——理工 (69.8%)、医・薬学 (65.9%) ように思われるが、しかし逆に不満が多いとするものは人文・社会 (32.1%)、経営・経済 (25.0%) で、殊に日本語 (29.6%) は「なんともいえない」 (18.5%) を加えれば41.1%となっている。理科系ではその他理科 (30.8%)、農学 (24.1%) で、同様に「なんともいえない」を加えればそれぞれ46.2%、36.7%となり、この2専攻の不満は目立っている。理科系よりも文科系で「大いに満足」と「不満が多い」という2つの回答に明瞭に集中した回答がみられるのは、それぞれの専攻面での日本人学生との交流がそれだけ期待されていることと、それが現実に充足されるかどうか大きな関心事となっていることの表われとみることができよう。

社会人との交流については、総計では学生との交流よりも僅かに満足度は高く、不満だとする回答もまた社会人の方に低いと、注目されるのは「なんともいえない」という指摘 (16.4%) が学生との交流のそれ (11.1%) を上回っている点である。これは多分に、社会人との交流について満足、不満足を問題とする態度が学生との交流とは違っていることによるものであろう。端的に言って留学生活における交流の必要性の差異であり、学習・研究活動を第一義的に考えるのであればそれはさまで要求しなくとも済むからである。属性別にみた特徴は、これを背景にして学生との交流にみられた差異をさまで明らかにし得ない。しかし、回答言語別では日本語の場合に満足度

が高く英語が低いこと(それぞれ大いに満足で19.2と12.0%, 不満が多いで16.4と21.8%となる), 学部到低く大学院に高いこと(同様に12.1と20.9%), 文部省奨学金で22.8%, 奨学金なしで11.2%となっている。また出身国(地域)別ではその結果は概ね学生との交流の場合と同様であるが, 不満が多いとする回答が(「なんともいえない」を含め)50%を超えるのはアフリカの55.5%で, 次いで東アジア38.9%, 東南アジア37.2%であり, 南アジアの13.4%や南米, 西欧の21.5%, 17.8%を上回った。アジア地域の不満の多さはそれを期待しながら現実にはその機会がないか, あるいは何らかの摩擦があることが予想されるようである。

日本国内の視察, 見学旅行については, 個人的に行う場合やそれが組織的, 制度的に用意されている場合とがあるが, 設問はそれを区別していない。回答言語別(日本語能力とみて)に殆んど差異が表われていないのは, 留学先でその機会を提供する場合日本語能力が支障にならないことを反映するものと思われる。ともあれ属性でまた回答の特徴は, 満足度の高いものでは国公立大学(66.1%), 大学院(69.4%), 文部省奨学金受給者(73.7%)があり, 逆に不満が多いとするものは私立大学(25.8%), 学部学生(25.2%), 奨学金なしとその他私費留学生(それぞれ26.0%, 24.1%)となり, 明瞭な差異を示している。この差異は, 個人的な機会をもつ場合については経済的余裕が, また組織的・制度的機会についてはそれが提供される程度を背景にして, いずれも視察, 旅行体験の多寡をあらわすものといえよう。また専攻別の回答率は文科系で満足度はおしなべて高く(すべてが平均値を上回っている), 不満が多いとするものは殆んど理科系に在籍する留学生(同様に, 平均値を上回る)であった。この結果は文科系で「なんともいえない」として, 国内視察・見学に対する評価を留保するものが比較的少なく, 理科系でこれが多い(前者の倍近くになる)ことを見落してはならないであろう。おしなべていえば, 文科系はその必要と要求が強くまたそれを充足していることを意味し, 理科系ではその必要と要求がさまで強くないか, 限定された対象についての視察, 見学旅行の機会が与えられていないということにならうか。

#### 4 留学と孤独感

これまでみてきたように, 留学生は学生生活および日本との交流のいずれについても「全体」としては満足すべき状態にあるようである。その評価は恐らく留学目的の達成の程度をかなり卒直に表明したものとならうし, それが「留学成果の母国での活用の期待感」を高めるものと予想される。事実は前掲, 図4-1に示すとおり, かなり

高い満足度となっている。しかしながら「不満が多い」とするもの10%のほか、「なんともいえない」が20.2%あることは見過されない（この回答割合は他の項目中もっとも高い）。評価することをためらう理由は、多分に将来の問題に関するもののほか、留学成果の活用という具体的な場面を想定することが難しいこともあると考えられる。学部在籍の留学生と私費留学生、私立大学への留学生に殊にそれが集中していることは、前者は学位取得までの要修学年限の長さから、後者は母国での就職機会発見の見通しが相対的に立て難いこと等が理由となるであろう。こうした点を反映してか回答の結果は概ね次のような特徴が見出される。不満が多いと大いに満足という項目を比較するとき、大いに満足とする回答が強く出ている属性は、文部省奨学金受給者(28.2%)、大学院、研究生(それぞれ27.5, 26.4%)である。また専攻別では日本語(37.0%)、政治・法律(31.6%)のほか、理科系では農学(28.7%)と医・薬学(27.3%)である。とくに注目されるのは出身国(地域)別の結果であり、大いに満足とする回答はアフリカ(55.6%)と南アジア(35.6%)で極端に高く、次いで北米、南米(33.3%)及び西欧(32.1%)となり、平均値を下回るところは東アジア(16.6%)と東南アジア(19.9%)であった。この2地域は留学生数が多いこと(調査対象でいえば全体967人中695人、72.3%を占める)から、今後、検討される必要があろう。国情の違い——例えば帰国後での兵役義務などはこの設問を留保する理由のひとつとみられる。

孤独感とは、ここでは留学が母国、家族等を離れての、異なった国で学生生活を送ることに伴う個人的、主観的感情であり、新しい生活環境になじむためには誰しもが体験する状況についていわれる。性格差はもとより母国での同じ体験の有無がこれに影響するとしても、孤独感からの解放は何よりも日本人社会との交流があるか、同じ事情にある留学生との交際がその条件となろう。この意味で留学期間の長短は回答に差異をもたらすこととなろうが、受入れ側の事情——関連する事情としては日本人・社会の留学生に対する対応の在り方もまたこれに影響する。これを間接的に探ってみよう。全体では大いに満足(12.8%)、どちらかといえば満足(38.3%)で、合せて51.1%がこれを問題なしとするが、しかし不満が多い(24.8%)留学生が $\frac{1}{4}$ もおり、またなんともいえないと回答を留保するもの(19.9%)も同じ位いる。満足度の高い属性をみると、文部省奨学金受給者(56.9%)、研究生(60.0%)、政治・法律とその他文科系(それぞれ71.1%, 59.8%)となり、必ずしも明瞭な意味を読みとることができない。しかし出身国(地域)別の特徴は明らかである。北米(90.5%)、西欧(71.4%)東欧および南米(それぞれ66.7%)であり、これに次いで東南アジア(59.0%)、南アジア(57.7%)、オセアニア(58.3%)であった。平均より低いのは、東アジア(41.0%)

%)と中東(42.2%)、アフリカ(33.3%)であった。逆に不満が多いとするものはそれと対照的であるが、なんともいえないという回答はアフリカ(44.4%)、中東(26.3%)そして東アジア(28.1%)というように、不満が多いという出身地域にかたよって出ている。差異を説明するには多くの困難を伴うが、在日年数の差を含め、常識的には個人の孤独感を克服する宗教の在り方、日本の歴史が背景となつての日本人に対する国別の親近感の差異等が考えられよう。

しかし、留学生が日本人に対して持つ不満の第一は(設問は限られるが)「日本人の母国事情理解」についてであった。図4-1に掲げるとおりであるが、この点は出身国(地域)別に明瞭である。全体での満足度は34.4%で、不満が多いが44.8%、なんともいえないが16.3%であったが、満足度の高い順にみれば、これら平均値を上回るものでは北米(81.0%)、西欧(64.2%)が圧倒的に高く、南アジア(40.0%)、南米(39.3%)となる。これに対して不満が多いとするものは、東欧(100.0%)、アフリカ(88.9%)ととび抜けており、次いでオセアニア(66.7%)、中東(52.6%)、南米(47.1%)の順であった。こうした特徴は、すぐ前に述べた「孤独感からの解放」における特徴とかなり似通っている。あえていうならば、留学生の孤独感は、ひとつには日本人が留学生の母国事情をあまりにも知らなすぎることに原因があるというわけであり、そのことはまた、日本人の留学生の出身国(地域)との親近感の強弱がもろに接触の態度に表れがちとなるという指摘につながる。閉鎖的な日本人という留学生の見方の一端につながるものであること、次節で改めて説明されるであろう。

## 5 さまざまな意見

学生生活についての満足度に関する留学生の「その他の意見」を整理しておきたい。記入内容は概ね「不満」とする問題点の指摘であった。24人の記入のうち満足を積極的に指摘したのは唯一、日本の伝統文化であつて「勝負が一瞬の間に決まる相撲」を実例にあげていた。不満は多岐にわたるが、物価高(住居、書籍、交通費など)、アルバイトができない、室を貸してくれない等の経済面の不満を除けば、多くは日本人の留学生接触についての態度を問題としている。国や大学、学生は「留学生にあまり関心がない」「日本人学生の閉鎖的性格」「保守性」等であり、「母国のことを知らなすぎる」など、孤独感につながる原因としてこれを指摘している。その結果「社会観念が少ないので日本人学生は留学生の世話ができない」とし、「若人の国際交流観念を改善すべきだ」と忠告する。さらに、受入条件や教育制度等に触れている部分もあるが(後

節にまとめる)、日本では「同じ外国人であるアジア系の人々が公けの場から外されることがたまにある」ことはとても不満だ、等の指摘が3件あった。日本語能力の不足は誰しもが感じているようであり、また設問自体を「答えようがない。私は誰とも交流を求めない。満足度は自己又は日本人に対するものかわからない。不満だといってもそれが留学生生活をもたらしたものだとは思えない」こともある、という説明もあった。日本人が英語を話せないという問題も理由に加えられる、

## II 日本留学についての評価

### 1 受入れ先としての日本の大学・大学院

この節は、留学生が現に学んでいる大学、大学院についてどのように評価しているかを整理したものである。これを裏返せば、留学生を直接に受入れ教育、指導する側では、その受入れ条件はいかなるものであるかを検討する素材ともなる。設問は、表4-2にあるように、大学、教授および学生それぞれに関して留学生との関り合いを端的に示す内容を肯定文の形で質問し、同意不同意という尺度で評価を求めている。全体について同意意見の高さ——この場合「全くその通り」と「ある程度同意できる」の割合——をすなわち同意度と呼ぶことにしよう。表4-2は7項目を同意度の高い順に配列しているが、これによって次の特徴が読みとれる。在日留学生は、

- 1 まず77.2%までが「日本の大学は概ね国際的な学術水準に達している」とし、

表4-2 日本の大学・大学院について (在日留学生)

(単位：%)

順位	日本の大学・大学院 (項目)	全くその 通り①	ある程度 同意②	小計①+②		同意でき ない	なんとも いえない	わからない	不答
				(実数)	(%)				
1.	国際的な学術水準(大学)	24.1	53.1	746	77.2	6.7	5.8	8.0	2.4
2.	留学生問題への関心(教授)	25.3	41.9	650	67.2	16.6	9.3	3.9	2.9
3.	留学生勉学への協力(学生)	14.2	42.9	552	57.1	23.3	12.2	4.7	2.8
4.	成績の厳格な評価(教授)	11.3	36.6	463	47.9	15.7	16.9	16.2	3.3
5.	最新理論成果の提供(大学)	13.9	32.3	446	46.2	21.2	14.2	15.4	3.1
6.	発展途上国への関心(大学)	9.8	31.4	399	41.2	31.9	11.0	13.3	2.6
7.	帰国留学生との交流(大学)	8.2	14.8	222	23.0	17.8	10.2	46.0	3.0

(出所) 付表、A-I(総計)、V・17による。

表4-3 日本の大学・大学院について（元留学生）

（単位：％）

順位	日本の大学・大学院 （項目）	全くその 通り①	ある程度 同意②	小計①+②		同意でき ない	なんとも いえない	わからない	不答
				（実数）	（％）				
1.	国際的な学術水準(大学)	32.6	37.7	97	70.3	8.7	3.6	5.1	12.3
2.	留学生問題への関心(教授)	31.9	35.5	93	67.4	15.9	2.9	2.2	11.6
3.	留学生勉学への協力(学生)	26.1	37.7	88	63.8	13.8	5.1	3.6	13.8
4.	最新理論の成果の提供(大学)	24.6	39.1	88	63.8	8.7	10.1	5.8	11.6
5.	成績の厳格な評価(教授)	15.2	34.1	68	49.3	14.5	6.5	15.9	13.8
6.	発展途上国への関心(大学)	10.1	33.3	60	43.4	24.6	3.6	16.7	11.6
7.	帰国留学生との交流(大学)	15.9	25.4	57	51.3	33.3	5.8	8.0	11.6

（出所） 付表，B-I（総計），10による。

次いで67.2％が「日本の大学教授は留学生問題に十分な関心を持っている」とみている。また「日本の大学生は留学生の勉学に十分に協力的である」とするものは57.1％であった。

2 さらに「日本の大学は留学生に対して最新の理論や学術成果を積極的に提供している」とみているものは47.9％であり、「日本の大学教授は留学生の成績を厳しく評価している」とするものがこれと同様46.2％いた。

3 しかしながら「日本の大学は発展途上国の抱える問題に十分な関心を持っている」に同意するものは41.2％程度であり、最も低い同意度は「日本の大学は帰国後の留学生と積極的に交流しようとしている」の23.0％であった。

これらの整理結果は、各設問について、「全くその通り」という積極的な同意度が高ければ「同意できない」という否定回答割合は低く、逆は逆というようにほぼ表われているため、配列した順序どりに内容を理解することができるであろう。

われわれは既に（前節，I-1），在日留学生の学生生活の満足度について、「第一義的な留学の基礎条件」が大方充足されていることを知ったのであるが、ここでもまた同様な指摘をすることができよう。すなわち、

- 1 高い学術水準を有する大学・大学院で、留学生問題に関心を持つ教授と、留学生の勉学に協力的な学生とがいる、ということであれば、留学生は概ね適切な教育、研究環境が与えられているとみられる。
- 2 次いで、最新の研究成果を提供しながら、留学生の成績評価を厳しくすることであれば、留学生はこうした教授・研究態度によって留学の実績を高めることになる。

3 こうした教育、研究環境であっても、日本は発展途上国問題にさまで関心を持たず、殊に留学生の帰国後のアフターサービスに欠ける、といった問題点が指摘される。

というものである。

以下、それぞれについて属性ごとの特徴をみてみよう。

国際的な学術水準にあるかどうかについては、まず専攻別にどうみているかを検討しよう。同意度の高い順に「全くその通り」とするものは理工29.9%、医・薬学27.3%、その他理系26.9%、そして農学23.0%で、上位はすべて理科系であり、文科系では政治・法律のみが23.7%の同意度を示すにすぎなかった。これに「ある程度同意できる」を加えた同意度では理工83.9%、その他理系84.6%、農学78.2%となり、文科系では政治・法律が79.0%で人文・社会が77.4%とこれに次いでいた。同意できないという否定的な意見は農学10.3%と経営・経済9.6%であり、農学は賛否が極端に示された。注目すべき点は日本語専攻で（付表・A-IV、専攻別）、全くその通り11.1%よりも同意できないが14.8%とそれを上回るほか、なんともいえないとわからないがそれぞれ11.1%、14.8%ともっとも多かった。恐らく「日本語」が国際的学術水準にあるかどうかという設問自体になじまないためであろうか。このほか、私立大学で国公立大学を上回る不同意割合（私立と国公立大学でそれぞれ12.1%、5.8%）があるほか、全くその通りとする点では大学院（27.5%）、文部省奨学金受給者（27.6%）が学部（18.5%）、私費留学生と奨学金なし（それぞれ20.3、20.7%）のそれを上回っていること等が目立っている。

教授の留学生問題への関心については、所属する大学、大学院と専攻という属性が直接関心事となろう。大学については、同意度は私立大学（75.7%）が国公立大学（65.8%）を上回るものの、積極的な同意「全くその通り」では逆に22.7%、25.4%であり、逆に同意できないでは私立大学（11.4%）よりも国公立大学（17.6%）が多くなっていった。ところで留学生問題への関心というが、ここでは広く留学生を直接指導、教育する上で、留学生ゆえに直面する諸問題について十分な理解と配慮を行っていることへの評価を指すものとした。とすれば、この評価は留学生の指導教授とのさまざまな面での接触体験を通じて主観的に行われることになる。専攻別の整理は次の特徴をみせている。いずれの専攻も回答が分散しているということである。けれども同意できないという否定的評価は文科系に多く（人文・社会、経営・経済、政治・法律各20~22%）、また医・薬学に強く（28.4%）出ている。逆にいえば、医・薬学を除く理科系では教授は留学生問題に十分な関心を持っているという結果となる。また、評価

の分散は、既にみたように国公立大学に強く出ている。留学生との接触の機会の多寡や、実験、非実験という専攻上の特色等が考えられようが、結果を一律に説明する材料はないが、後節で自由記入による問題の指摘をみることにする。

学生の協力についてはむしろ同世代の同じ学生としての交流の態度という面の評価とみるようがより適切かも知れない。これらの同意度は、国公立大学56.2%で、私立大学の62.9%よりも低く、また学部50.7%で、大学院及び研究生のそれぞれ55.3%、60.5%よりも低かった。しかし「同意できない」については、国公・私立大学で差がなく、学部29.9%、大学院24.3%となり、しかも大学院での同意不同意の差が大きく出ている。専攻別では、同意度が高いのはその他理系（76.9%）、政治・法律（68.4%）、農学（60.9%）、その他文系（59.0%）となり、文・理科系別の特色はないが、逆に学生が協力的でないとするものは、高い順に日本語（29.6%）、経営・経済（27.9%）、人文・社会（26.4%）そして医・薬学（25.0%）となり、文科系に偏っていた。ここでも医・薬学の不同意意見が強く出ている。同世代の日本人学生の留学生との交流の態度ということでは、出身国（地域）別のそれはかなりの差異をみせるようである。北米は同意度は57.1%にあるもののなんともいえない、わからないと評価を留保する態度が目立つ。同意度が全体平均よりも低いのは中東（47.3%）、アフリカ（55.5%）、東アジア（54.2%）、オセアニア（50.0%）で、アフリカは22%がわからないとしている。逆に同意できないと否定的な視方をするものは中東（31.6%）、東アジア（25.6%）、南アジア（24.4%）、東南アジア（22.6%）でアジア州に偏って多い。東アジアと東南アジアでのなんともいえないが14.3%、11.9%を加えると、近隣諸国の留学生の日本人学生をみる目は必ずしも好意的とはいえないようである。

最新の学術成果、技術の提供については、何を以てそれを測るかがはっきりしない以上の確に評価できないであろうが、これを反映してかなんともいえないとわからないがそれぞれ14.2%、15.4%に達している。しかし大学院在籍者ではその多くがそのとおり（54.2%）とみている反面、同意できない（24.3%）といった極端な回答の分散があることが目立った特徴である。出身国（地域）別では南米、西欧、東欧、中東、アフリカ及び南アジアでの同意度は平均以上であるが、逆に同意できないとするものは北米と東アジア（それぞれ28.6%、24.0%）であった。東南アジアを含めこの3地域では評価を留保するものが多かった。しかしながら専攻別のそれは理科系に同意度がおしなべて高く、文科系では逆に同意できないとするものがおしなべて多いといった特徴が読みとれる。同意できないが平均以上に多いのは日本語（37.0%）、人文・社会（30.0%）、経営・経済、政治・法律及びその他文系でそれぞれ22～23%あり、理科

系では医・薬学(22.7%)であった。この医・薬学は同意度も低い(44.3%)。このように最新の学術成果や技術を積極的に提供していないという見方が偏って出ていることは注目に値しよう。

成績の厳格な評価については、留学生をきびしく教育しているという教授の態度を評価することであり、当然のことながら学習、研究に関して留学生たる条件を加減せず、日本人学生同様に扱うかどうかの評価である。全体では47.9%がそうだと肯定するが、同意できないが15.7%、これと同じ程度に評価を保留するものがあった(なんともいえない16.9%、わからない16.2%)。特徴としては、同意度は国公立大学で低く(46.2%)、私立大学で高く(57.6%)、また大学院で高く(54.7%)、学部で低かった(44.9%)が、学部ではなんともいえないが21.1%あった。専攻別では、同意できないとする指摘に差異は少なく、むしろ同意度が高い専攻(人文・社会60.4%、その他理系52.7%、政治・法律52.6%)と、なんともいえないとする専攻(日本語33.3%、経営・経済23.5%、農学21.8%)とにわかれる。さらに医・薬学と理工ではわからない(それぞれ25.0%、19.2%)とするものが目立つなど、それぞれに異った評価がされていた。出身国(地域)別では、概してアジア地域で同意度が高く(南アジア57.8%、オセアニア58.4%、東南アジア49.4%、東アジア49.1%)、同意できないは北米、東欧(ともに33.3%)と南米、中東(それぞれ21%台)であった。しかしながらなんともいえない、わからないとするものはアジア州以外の地域におしなべて高くみられた(付表・A-III)。母国の事情との比較が行われてのことであろうが、欧米で同意度が低く、アジア地域でそれが高いのは、母国の教授の成績評価が前者では厳しく、後者で易しいと感じられていることが推測される。

発展途上国への関心については、全体の31.9%が否定的な回答を寄せているが、同意度は41.2%、うち全くその通りとするものは僅かに9.8%である。出身国(地域)別では、欧米地域ではなんともいえない、わからないとして評価を留保する回答が多く出ているけれども、同意できないとする否定的回答はアジア地域の各国よりも概ね寡なかつた。アジア地域及び中東、アフリカ地域では否定的回答が肯定的回答と同等かそれ以上であることが特徴的であり、これらの地域からの留学生は、日本の大学は発展途上国の抱える問題に十分な関心を持っているという点についてはきびしい目でみていることになる。専攻別では、一般に文科系の留学生は回答を留保する者は比較的少なく、しかもこれに肯定的でなく否定的な回答が強く出ているのに対して、理科系では留保回答の割合が多く、かつ否定的よりも肯定的な回答が強く出ている。発展途上国の抱える「問題」についての捉え方ないしは具体的イメージのしかたの差異か

ら生ずるものといえようが、事実指摘に止めておきたい。

最後に、日本の大学は帰国後の留学生と積極的に交流しようとしているかどうかについてであるが、全体ではわからないとする者が46.0%いた。肯定的回答は僅かに23.0%、同意できないとする否定回答の17.8%に近かった。出身国（地域）別に、その肯定的回答の多い地域をならべると、東アジア（28.1%）、東南アジア（22.6%）、南アジア（22.2%）、中東（21.0%）でその他の地域は10%前後である。しかし同意できないとする回答もこれらの地域で多く、東アジア（20.2%）、東南アジア（18.4%）、南アジア（11.1%）で、南米（19.6%）、北米（14.3%）もまた否定的であった。すなわち質問に対する回答はアジア地域では賛否相半ばするとみられる。なお、理科系と文科系とにわけてみると、積極的な肯定は概ね理科系に多く、逆に否定的回答は文科系に多く表われている。

## 2 日本留学の評価

これまでの検討は、学生生活と大学・大学院についての留学生の見方を中心にしたもので、実体験を通じてどの程度日本留学が満足するべきものであるかを知ることになった。当項は、その結果として総括的にどのように日本での留学を評価するかを、表4-4に示される5つの項目で把握ことにしたい。みられるとおり、設問内容は相当に異質的であるが、日本での留学体験はいかなる面でどのように活かされるかという視角がその背景におかれている。

5項目は、回答数の多かった順に配列してある。前と同様全くその通りとある程度は同意できるという評価尺度を一括して同意度と呼ぶことにしよう。表4-4からは次の特徴が読みとれるであろう。

表4-4 日本留学の評価（在日留学生）

（単位：％）

順位	項目	全くその通り①	ある程度同意②	小計①+②		同意できない	なんともいえない	わからない	不答
				実数	(%)				
1.	日本、日本人を認識する絶好の機会	75.2	19.0	911	94.2	1.3	1.4	0.6	2.4
2.	日本との長期的な友好関係の維持可能	50.6	33.0	808	83.8	5.1	5.8	3.1	2.5
3.	再度、日本で研究を仕入れたい	45.8	30.9	742	76.7	6.7	6.8	7.3	2.4
4.	母国学生に日本留学を薦める	28.4	42.3	684	70.7	10.4	12.5	3.9	2.4
5.	帰国後のアフターサービスをよくやっている	6.2	12.6	182	18.8	18.7	8.0	51.6	2.9

（出所） 付表、A-I（総計）、V・17-（2）による。

表4-5 日本留学の評価（元留学生）

（単位：％）

順位	項目	全くその通り①	ある程度同意②	小計①+②		同意できない	なんともいえない	わからない	不答
				実数	(%)				
1.	日本、日本人を認識する絶好の機会	76.1	10.9	120	87.0	0.7	—	0.7	11.6
2.	再度、日本で研究を仕上げたい	70.3	14.5	117	84.8	0.7	2.2	0.7	11.6
3.	日本との長期的な友好関係の維持可能	65.2	17.4	114	82.6	0.7	2.9	2.2	11.6
4.	母国学生に日本留学を薦める	54.3	23.9	108	78.2	5.1	4.3	0.7	11.6
5.	帰国後のアフターサービスをよくやっている	14.5	35.5	69	50.0	26.1	2.9	8.7	12.3

（出所） 付表、B—I（総計）、10—(2)より抽出、要約。

- 1 留学は単に学業の成就、資格取得にとどまらず、なによりも日本に長期間滞在することを通じて「日本人の生活態度、考え方や日本の文化、社会、経済等を認識する絶好の機会」となっている（94.2%）。
- 2 次いで、個人的な「留学体験は、長期的にみて日本との良好な関係を維持する契機」となろうというものである（83.3%）。
- 3 第3には、「再度の機会があれば、日本で研究の仕上げをしたい」（76.7%）と考える留学生は少なからずいることである。
- 4 第4番目には、留学体験を通じて「母国の学生達に日本留学を積極的に薦めたい」とする留学生は、同意できない（10.4%）またはなんともいえない（12.5%）という意見もあるが、70.7%に達したことである。
- 5 「日本は帰国留学生に対するアフターサービスをよくやっている」という設問に対しては、わからないという事情を訴えるものが半数を超えた（51.6%）が、しかしながら、賛意と不同意とがちょうど相半ば（18.7～8%）した。

このようにみれば、5の設問を除き、留学生たちの日本留学に対する総括的な評価としては、極めて素直でありかつ自負心があって留学という機会が国際間の相互理解に役立ち、友好関係を保つために活用できるといった見解を持っていることを知ることができた。研究面の仕上げを再度日本で行いたいという点については、いうまでもなく留学の第一義的目的である学習、研究の続行にあたって日本の大学と好ましい関係を保持したいという希望のあらわれとみてよい。こうした諸点にわたる常識的な見解も、その体験を通じて「母国の学生に日本留学を薦める」かどうかといった具体的な場面を想定したとき、相当数の賛意をみせながらも、積極的ないし消極的な否定が表明されてくることになる。設問に対する回答率はきわめて高く、また同意意見に回答

は集中している。そこで逆に否定的見解がいかなる性格を持つかをとりあげてみよう。

母国の学生に日本留学を「薦めたいとは思わない」と答えた者の属性は、奨学金なし（15.4%）、学部（12.8%、同じく「わからない」も17.4%あった）で、国公立大学では私立大学よりも多かった（それぞれ11.2%、6.1%）。また専攻別では概ね文科系に多く（その他文系11.5%、人文・社会11.3%、政治・法律10.5%）、理科系では医・薬学（11.4%）と理工（10.7%）であった。しかし理科系は「なんともいえない」とする者が文科系留学生よりも概ね高くなっているのが目立った点である。出身国（地域）別では極端なバラツキがあり、否定的な回答は高い順に東南アジア（14.9%）、北米（14.3%）、南アジア（13.3%）であった。西欧、東欧、アフリカはゼロであったがこれらの国は概ね「なんともいえない」という回答に偏っていた。ここではこうした事実を指摘するに止め、のちに再論(V)することにしよう。

### 3 元留学生の日本留学についての評価

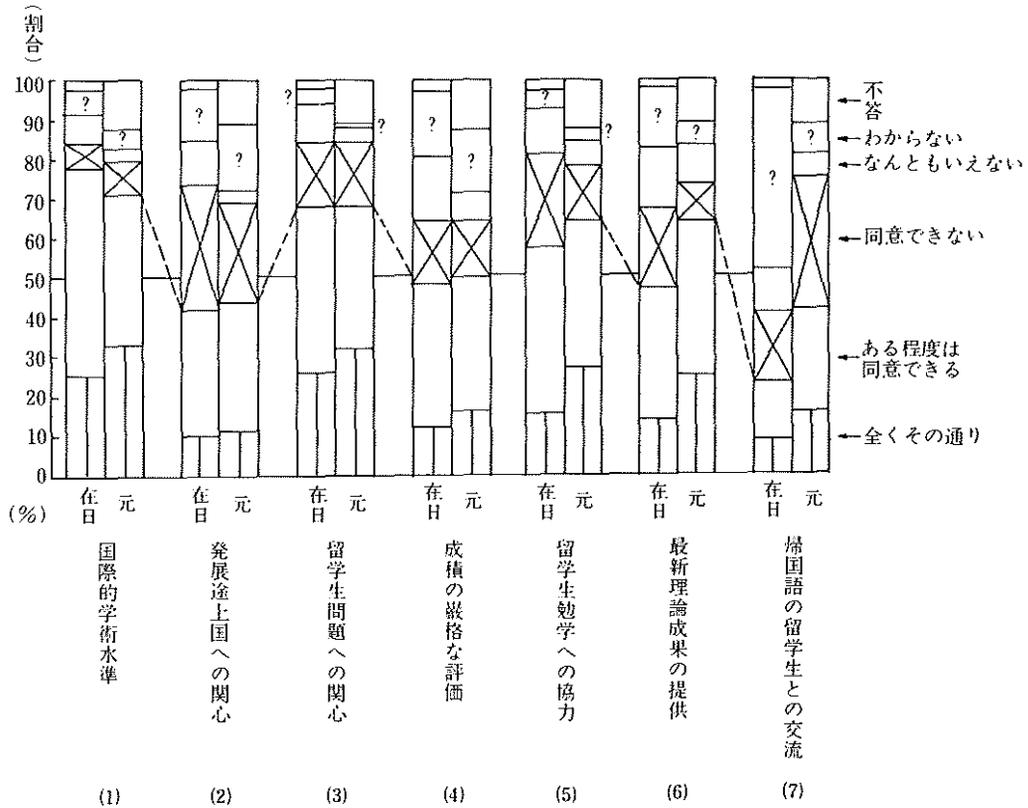
この項の設問は、在日留学生に対してと全く同様に元留学生に対しても行われている。元留学生については、現職にあってかつて体験した日本留学を省みての評価であり、その意味でのキャリアの違いのほか、何よりも回答者（総数138人）の大部分が現在、大学、政府行政機関（それぞれ51.4%、13.0%計64.4%）と、試験研究機関及びその他教育機関（それぞれ同じ割合で5.8%計11.6%）という、この4種での合計76.0%に達していることが念頭におかれねばならないであろう。在日留学生と比較する場合、絶対数がほぼ14.3%と少なく、出身国（地域）別の偏りも大きく、概ね文部省奨学金受給者（87.0%）であること等からみて、在日留学生と直接に対応させるには母集団としての意味が異なる点注意しなければならない。その観点からすれば、在日留学生と元留学生との各種設問への回答の比較は参考程度にとどめられることになる。双方を「合計」についてのみとりあげるのはこうした配慮からである。

#### (1) 受入先としての日本の大学・大学院

集計表は既掲したとおりである（表4-3）が、比較を便宜的にするため図4-2が準備されている。これによれば、

- ① まず、70.3%までが「日本の大学は概ね国際的な学術水準に達している」とし、次いで67.4%が「日本の大学教授は留学生問題に十分な関心を持っている」とみている。また「日本の大学生は留学生の勉学に十分に協力的である」とす

図4-2 「日本の大学(院)に関して」在日留学生と元日本留学生との意見分布の比較



るものは63.8%であった。

- ② さらに「日本の大学は留学生に対して最新の理論や学術成果を積極的に提供している」とみているものは63.8%に達し、「日本の大学教授は留学生の成績を厳しく評価している」とするものは49.3%であった。
- ③ しかしながら「日本の大学は発展途上国の抱える問題に十分な関心を持っている」に同意するものは43.5%程度であった。また、「日本の大学は帰国後の留学生と積極的に交流しようとしている」かどうかについての肯定的回答は51.3%あった。

注目される事実、最後の「帰国後の交流」を除き、在日留学生の回答に表われた主要な特徴がほとんど同じ程度（回答割合）であり、かつその順位もまた同様であったことである。図4-2はそれをよく示している。僅かに異なる点は、「学生の協力」

と「成績の厳格な評価」が元留学生の場合、在日留学生のそれを約10%上回っていたことであるが、これは元留学生の大部分が国公立大学への留学生であったことに理由が求められるかも知れない。さらに、帰国後、母国で現実に見直したまたは実見することのできる「発展途上国への関心」と殊に「帰国留学生との交流」については、元留学生は在日留学生よりもはるかに高い同意を表していることが注目される。こうした同意回答者の割合が多いことは、ひとつには調査対象とした元留学生が現に日本から何がしかの連絡を得ている者に限られたことにも関係があろう（この点については、序章課題と方法Ⅱ・2.を参照）。特徴的な差異は「最新理論、学術成果の提供」であり、在日留学生の46.2%に対して元留学生の場合は63.8%と高い回答を得ている点である。国公立大学への留学生であることのほか、帰国後研究、教育及び行政機関に職を持って元留学生が、現実にその成果を利用する上で他の諸国のそれを比較する機会を得た結果としての評価と受けとってよいであろう。図4-2に示されるように、その順位は在日留学生の場合と逆転している。

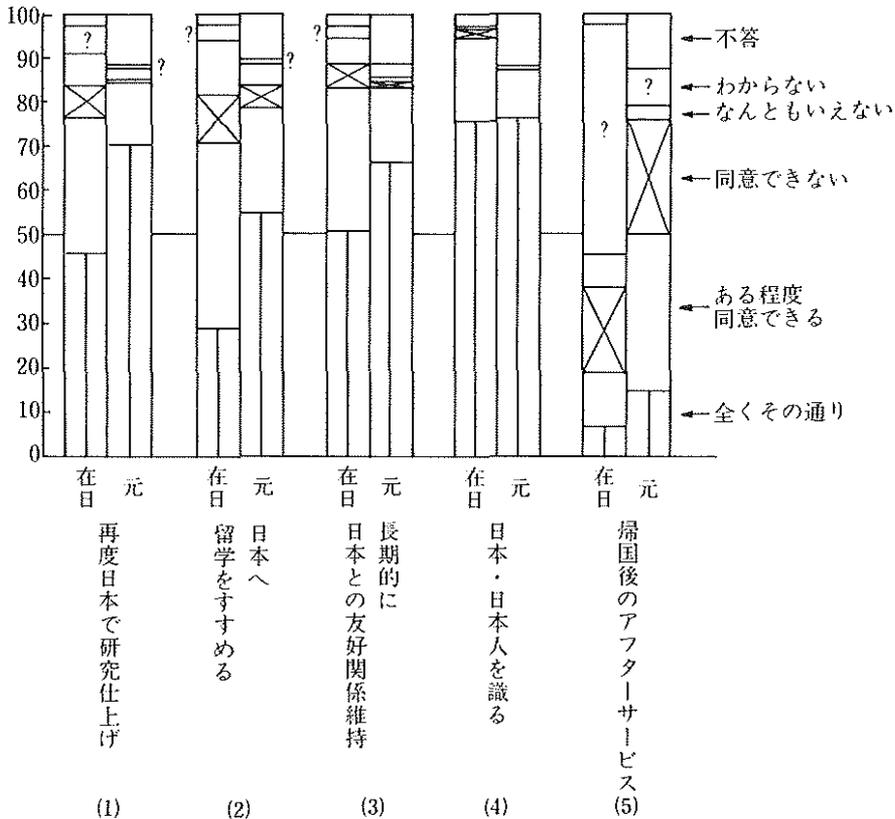
## (2) 日本留学の評価

日本留学の評価については、在日留学生の回答結果とは多くの項目について差異が示された。集計表は表4-5にあり、両者を比較するために図4-3を掲げておく。

元留学生の日本留学の評価としては、

- ① まず「日本人の生活態度、考え方や日本の文化、社会、経済等を認識する絶好の機会である」とするものが87.0%であった。
- ② 次いで「留学体験は、長期的にみて日本との良好な関係を維持する契機である」と評価するものが上と同様84.8%あった。
- ③ 第3に、これと同じ程度（82.6%）に「再度の機会があれば、日本で研究の仕上げをしたい」と考えている。
- ④ 「母国の学生達に日本留学を積極的に薦めたい」とする者は78.2%あった。同意できない（5.1%）、なんともいえない（4.3%）という回答は、在日留学生よりもはるかにすくなかった。
- ⑤ 元留学生は「日本帰国留学生に対するアフターサービスをよくやっている」とみる者がちょうど50.0%あり、在日留学生の18.8%よりはるかに多いが、その反面、これを否定的とする回答は逆に在日留学生よりも多く（それぞれ26.1%、18.7%）、元留学生の場合では具体的な事実としてこれを知った目ではっきりとした意見を出したものと考えられる。

図4-3 「日本留学に関して」在日留学生と元日本留学生との意見分布の比較



元留学生と在日留学生との間には、設問項目の回答割合とその順序に大きな差は寡いものの、両者の比較で指摘しておくべき点は、いずれの設問に対しても元留学生の場合「全くその通り」という積極的な肯定がはっきりと強く出ていることである(図4-3)。その差異は、日本の認識の機会や友好関係の維持といった抽象的な観念についてよりも、個人的な対応の姿勢、態度、意志を表明するとみられる「再度、日本での研究の仕上げ」及び「学生に日本留学を薦める」といった設問について、明瞭に出ていることを見過してはならないであろう。日本留学の評価は、帰国後社会的な活動のなかにそれぞれの場面で考慮されることであり、こうした実体験の結果を示すものとすれば、それが意味することを積極的に検討する価値があろう。この点についての元留学生の見解や態度を、次節でいっそう詳しく取上げることにしよう。

### III 帰国後の日本留学体験の活用

元留学生についてこれを検討するが、元留学生の主要な特徴は第1章で述べられているとおり、大学・教育・研究機関（76.0%）と政府行政機関（13.0%）が現職となっている。この性格的な特徴は以下の点を検討する場合に留意すべき点である。

#### 1 留学成果の活用

元留学生に対して「その仕事で、日本留学の成果は活用できているか」を聞いた結果は、前述のとおり研究、教育等にその多くが就業しているため、90.5%までが活用できている、と答えている。これは一般的に留学と学位取得の成果を示すものとも受けとれる。

#### 2 留学成果の活用と日本との交流

ここでは、上述の設問を「日本」留学の成果という局面について問い直したもので、要約的に説明しよう。表4-6に掲げる通りである。これは各設問に対する回答のうち「大いに活用している」という部分が大きい順に並べてあるが、次の特徴を読みとることができる。すなわち「現在の仕事に、日本留学の体験、知識、研究は活用されているか」どうかについては、

表4-6 現在の仕事に、日本留学の体験、知識、研究は活用されているか  
(元留学生) (単位：%)

順位	項目	大いに活用している	それなどは利用していない	全く関係がない	なんともいえない	不明
1.	大学での研究成果に関連して	63.8	18.8	8.7	2.2	6.5
2.	取得した技術について	48.6	23.2	10.1	7.2	10.9
3.	日本語の能力について	47.8	20.3	23.9	1.4	6.5
4.	日本の社会人との交流に関連して	44.9	22.5	18.8	4.3	9.4
5.	日本の大学スタッフとの交流に関連して	39.9	21.0	21.7	6.5	10.9
6.	日本の企業との交流に関連して	15.2	19.6	39.9	11.6	13.8

(出所) 付表、B-I(総計)、6-(3)による。

- ① まず大学での研究成果に関連して活用できている」が63.8%ともっとも多かった。現在の職業と直接関係することがらであるから、当然であろう。
- ② 次に、取得した技術についてと日本語の能力についてであり、それぞれ48.6%、47.8%が大いに活用されている。技術という内容は特定されたものではない（「なんともいえない」「不明」が合せて18.1%）が、研究成果の大学での活用と較べればそれ程利用されていない（23.2%）としている。日本語能力の活用については多少に拘らず「利用」しているものが67.8%あるが、「全く関係がない」という回答は23.9%あった。
- ③ 帰国後、日本または日本人との交流の実態については、大いに活用されている順に「社会人」44.9%、「大学スタッフ」39.9%そして「企業」では15.2%であった。逆に全く関係がないというのは、企業39.9%、大学スタッフ21.7%、社会人18.8%であった。帰国して約半数以上が（それほど利用していないを含めると）、社会人および大学スタッフとの交流をしている（それぞれ67.4%、60.9%）ということ点は注目されてよいであろう。だが、現在の職業の性格を反映してか、日本企業との関係は全く関係がないとするものが、交流がある（34.8%）を上回っていた。

このように、元留学生はかなりの程度において日本留学の成果を「活用」していることが知られるが、職業上で研究、教育に従事している者が多いこともあり、属性についてみられる特徴の若干を指摘しておきたい。出身国（地域）別で元留学生の多い地域を3つに整理して比較しよう。欧米として北米と西欧（計29人）、アジア地域では東南アジア（35人）と東アジア（34人）をとりあげる。結果は表4-7に示すとおりである。

まず、現在の仕事であるが、欧米では12人、41.4%が大学であり、その他の分野にもかなり分散しているし、東南アジアでも分散がみられるものの主として大学（34.3%）と政府機関（28.6%）及び企業（20.0%）に集中しており、東アジアでは91.2%が大学で仕事をしている。

- ① 大いに活用しているとする局面は、欧米では研究成果と社会人との交流が特に目立っており、東南アジアでは研究成果のほか、技術及び企業との交流があった。また東アジアでは研究成果と日本語が多いほか、地域間比較では大学スタッフとの交流がある。こうした結果は、先述した現在の仕事の性格をよく反映するものといえよう。
- ② 欧米と東南アジアは日本語能力及び大学スタッフとの交流では「全く関係な

表4-7 現在の仕事に、日本留学の体験、知識、研究は活用されているか（元留学生）

（単位：％）

項 目	大いに活用している			それほど利用していない			全く関係がない		
	欧 米	東南アジア	東アジア	欧 米	東南アジア	東アジア	欧 米	東南アジア	東アジア
研 究 成 果	65.5	57.1	70.6	17.3	11.4	26.5	10.3	17.1	—
技 術	24.1	51.4	52.9	31.0	17.1	29.4	17.2	17.1	5.9
日 本 語	41.4	42.9	76.5	13.8	25.7	17.6	27.6	28.6	5.9
社会人との交流	62.1	48.6	23.5	10.3	22.9	41.2	13.8	20.0	17.6
大学スタッフとの交流	24.1	40.0	58.8	20.7	17.1	23.5	27.6	25.7	8.8
企業との交流	13.8	28.6	5.9	13.8	20.0	26.5	41.4	34.3	41.2

（出所） 付表，B-III，6-(3)より抽出，要約。

注1) 3地域の「現在の仕事」は次のとおりである（人）

	欧 米	東南アジア	東アジア
大学・教育	12	12	31
研究機関	1	3	1
政府機関	2	10	—
企 業	4	7	1
自 営	3	—	—
そ の 他	5	3	1
不 明	2	—	—
計	29	35	34

し」とするのに対して、東アジアはこれらの事項を「大いに活用している」という。研究成果の利用については全く関係なしとし、技術・日本語能力では6%と極めて低かった。またこれら3地域のいずれも、企業との交流は40%前後が全く無関係であるとしている。

- ③ また交流について特にとり出していえば、社会人とのそれは欧米に多く東南アジア、東アジアの順に寡くなっている。逆に大学スタッフとの交流は、東アジア、東南アジアそして欧米の順に寡くなっている。
- ④ 日本語の能力は（それほど利用していないを含めると）欧米で55.2%，東南アジアで68.6%，東アジアで94.1%が利用されており、日本との距離ないしは

社会的な交流関係の距離があらわれているように思われる。

いずれにせよ、こうした特徴は元留学生の現在の仕事との関係をよく反映するものであり、この意味では日本留学の体験は相当に活用されているといえるであろう。

### 3 日本の発想や生活様式の利用

元留学生が母国に帰ったあと、日本の生活体験でかつて感得した考え方や生活様式をどの程度利用しているかを知るための設問であるが、それは一般的には母国の文化、生活様式の比較を通じてなお、日本のそれが何がしかの利点と考えられるものを採用するという経過を辿るであろう。結果を簡明に要約しよう。

- 1 積極的または一部採用したとする項目（それぞれ24.6%、55.1%）の第1位は「日本的な考え方や発想のしかた」であり、79.7%あった。
- 2 次いで、「日本的な行動様式」であり、同様に積極的採用、一部採用それぞれ44.9%、15.2%で計61.1%であった。
- 3 また、「日本的な生活様式」は、前者とほぼ同じでそれぞれ42.0%、15.9%、計57.9%であった。

この結果から判断すると、日本人、日本社会のもつ生活態度について元留学生が利点とみなすものは、考え方・発想→行動様式となり、生活様式の利用といった静的な局面よりもはるかに動的ないし発想のしかたについて強い関心を抱いていることがわかる。こうした関心は、殊に男性で多く表われており（積極的採用についていえば、考え方、発想が男26.4%、女17.2%）、静的な面では女性（同様に、生活様式の採用では男14.3%に対し、女20.7%）が多くなっている。さらに出身国（地域）別では、考え方、発想を積極的に採用した者が多いのは東南アジア（31.4%）と東アジア（20.6%）で、西欧ではすくなくない（15.4%）。また生活様式については必ずしも明瞭な差異は出ていないが、一部採用したを加えると、西欧の53.9%に対し東南アジア62.8%、東アジア47.0%であった。しかしながら、行動様式については、これを全く無関係とするものは東南アジア17.1%、東アジア35.3%と高く、西欧の11.5%の低さと極めて対照的であった。

何を以て「日本的な考え方、発想」とし、「行動様式」とするかは、この限りでは明らかにしえないし、自由な記入についてもこれに直接触れる内容は少なかった。しかし、次に他の項と関連してこれらを補足することにしたい。

#### 4 留学体験の母国での活用についての意見

「日本留学の体験を母国の発展に寄与させる、という考え方に立てば、どういうことが役立つと思いますか」、これがここでの設問である。元留学生138人中54人(39.1%)の記入についてその特徴を整理しよう。回答記事内容の数の多寡というより、いかなる事項が書かれているかに関心が集められる。

- ① 特定の技術や手法等、研究・応用の成果が直接に母国のその関連分野の発展に寄与するという指摘がもっとも多かった。その内容は多岐にわたり(19項目)ひとつとして重複するものはなかった。元留学生が大学、研究、教育機関で仕事をするものが多いことを考えれば、恐らくこの回答はそこでの新知識の教育、実践に應用されるものと思われる。例えば「海藻」「熱帯植物」等の研究の進歩やコンピューター、医薬品、さらに誤差許容度、半導体技術、さらには教育法、教育制度あるいは企業管理技術までに及んでいる。また単に「科学」という記述も4件あった。
- ② 「心」「考え方」など抽象的な表現も目立つが、日本人のあるいは日本社会のもつ特性という判断から、母国のそれとは違った考え方、行動様式が指摘されたものも12項目あった。これについては既に研究成果もあるが<sup>(2)</sup>、元留学生の表現を断片的に利用しよう。「合理的な考え方」「効率」「協同精神」「勤勉」という性格であり、これが「約束を守る」「時間厳守」「仕事遂行の姿勢」「厳しい訓練」を伴うとなろうか。「学ぶべき点」でわれわれからすれば皮肉ともとれる「儉素な生活態度」「形式的な丁寧さ」という指摘も加えられる。
- ③ こうした日本社会、日本人の性格を背景にして「労働組織、労働制度」に関する記入は12人とかなり多かった。それを日本経済の発展、成長の秘密として把える見方である。かくて、「科学的技術、知識を日本で学んだことは、母国発展にきわめて有効となろう」というわけである。
- ④ 殊に、日本の大学での「教育制度」「教授法」についての関心は多く表明された。日本経済成長の根幹にあるという指摘はいうまでもないが、ここでは更に具体的な事態を紹介しよう。「学問的な厳格さ」「責任ある教師」「学生指導の厳しさ」等の印象であり、「その担当している学問にくわしく研究しなければ(教師になれない)」、「学生自身が解決する時まで正答をいわないこと」等の記述である。ともに学生が「考える方法論を発見しなければならない」という結論を

導びいている。「セミナーの方法」は母国に大いに取入れてよいともいう。東アジア諸国の元留学生にこうした印象は殊に強いようであり、現職が教育者やこれに直接関連することから、「教育」関連の指摘は16人あった。

- ⑤ 研究面では、「新しい分野、問題への積極的な研究姿勢」「まじめな研究態度」そして殊に「協同的研究」体制（6人）をあげている。
- ⑥ このような元留学生の日本留学体験は、結局、「大学との交流」の必要を表明するところとなり、他の面では「日本との交流」すなわち日本の研究論文、書物の翻訳・紹介、文化交流、あるいは「日本的発想」の「紹介などを進めたい」とする。
- ⑦ 最後に、「広い体験」を母国で利用できるという一般的ともいえるべき指摘も2人あった。

#### IV 留学生の居住条件

##### 1 民間の協力事情

留学生受入れ体制はその大部分が国レベルで組織化されており、民間ではそうした体験が歴史的にあまり多くないこともあって、留学生たちは一般社会人の「閉鎖性」「冷たさ」を表明する場合がみられること、前に述べたところである。ここではこの点を3つの項目について扱った結果を説明しよう。

在日留学生の場合、回答者の47.9%までが文部省奨学金受給者で、国公立大学在籍者が85.1%であるという数値からは、「民間」の留学生受入れ事情についてさまで直接の見聞をしていないと思われるけれども、実態からすれば、外国人留学生が多く居住するところではこの種の活動がさかんに行われているといえよう。回答結果に「わからない」とする割合の高さはそうした見聞、体験がないことの反映でもある。

- ① 「留学生受入れについて、民間のボランティア活動は充実している」かどうかについては、肯定的な意見は41.7%、否定的な意見は20.9%であった。否定的な意見は、私立大学在籍者で27.3%、また私費留学生と奨学金なしとでそれぞれ30.9%、22.5%と高く学部で29.5%あり、こうした条件にある留学生の見方が国公立大学、文部省奨学金受給者のそれよりも厳しいのは、見聞、実体験が比較的多いか、その必要性及び関心の強さを物語るものといえよう。

②「宿舎やアルバイト探しについて日本人は協力的であるか」という設問については、さらに留学生の実体験がもろに反映することになる。全体では肯定的意見が35.6%、同意できないとする回答の25.0%を上回る。宿舎やアルバイト探しという具体的な行動は、いうまでもなく経済生活条件によって問題とされるものである。この意味でその条件が比較的に充たされているとみられる文部省奨学金受給者よりもそれ以外の留学生についてとりあげる方が適切であろう。日本人がこれに協力的とする見方は文部省、その他奨学金、奨学金なしのいずれも同様の割合であるが、否定的見方はそれぞれ20.0%、32.8%、25.4%となり、「わからない」は文部省でもっとも高く24.1%でその他奨学金10.9%よりも多かった。さらに、私立大学で32.6%の否定的見方があるのに対して、国公立大学では23.7%（この場合「わからない」が19.8%である）、学部では35.9%の否定的見方があった。すなわち宿舎、アルバイト探しについて日本人が協力的でないという見方は、文部省奨学金受給者ではない留学生で、私立大学、学部学生にそれぞれ強く出ている。

③「留学生に対する民間の奨学資金制度が充実している」かどうかについては、ここでもまた文部省奨学金受給者には関心が薄いこと（「わからない」が45.3%）がはっきりと出ている。これに否定的見方をするのは、前と同様、その他奨学金と奨学金なしで、それぞれ48.6%、56.8%とはっきりした回答となって表れている。経済生活に関するこれら留学生の現実的な問題指摘として受けとるべきであろう。

なお、元留学生に対しても同じ内容の質問が設けられたが、既述のとおり、元留学生の大部分は文部省奨学金受給者（86.9%）であり、また国公立大学への留学生であった（91.3%）。いわば、経済生活についてはほぼ同質的な内容にあるため、「民間」の諸活動については間接的な意見として受けとめられよう。回答結果はいずれの事項についても肯定的見方が強く出ている。殊に宿舎・アルバイトに対する日本人の協力は65.2%がそれに同意できるとしているほか、民間のボランティア活動も同様56.6%が肯定的であった。だが、民間奨学金制度についてはわからないとするものが37%あるものの、これを不足と見るものは23.2%あって、3項目のなかでもっとも強い否定割合となっている。

表4-8 宿舍条件について

(単位：%)

宿舎条件	在日留学生				元留学生			
	第1順位	第2順位	第3順位	第4順位	第1順位	第2順位	第3順位	第4順位
1.大学付属の寮	33.9	28.4	16.5	9.8	23.9	21.7	18.1	14.5
2.外国人用宿舎	25.7	26.3	16.9	18.7	15.9	19.6	21.0	20.3
3.民間のアパート	16.1	17.7	31.7	21.7	20.3	19.6	23.9	13.0
4.日本人の家庭	14.6	15.2	21.5	35.5	20.3	15.9	12.3	26.8
	(留学生だけか、日本人と一緒にか)							
5.留学生だけ	17.4			9.4				
6.日本人と一緒に	69.6			70.3				
	(個室か、共用か)							
7.個室	87.6			79.0				
8.共用	3.4			2.9				

(出所) 付表、A-I(総計)、17-(4)及びB-1(総計)10-(4)より抽出、要約。

## 2 居住条件についての希望、意見

留学生は、居住条件についていかなる希望をもつか、宿舎、日本人学生との関係そして個室か共用とするかをきいたものである。在日留学生と元留学生ともどもどのような希望、意見をもつかは、表4-8に一括表示してある。

① 宿舎について——大学付属の寮、外国人用宿舎、民間アパート、日本人の家庭のどれを希望するか、順位を付しての回答結果は、その多い順に、第一順位では大学付属の寮、第二順位でも同様であるが、第一及び第二順位ともに外国人用宿舎が第二位となって、この2つだけでいずれも59%、55%を占めた。第三順位には民間アパートが、第四順位では日本人の家庭がそれぞれの順位のうち第一位となった。こうした希望順位は、数値に若干の差異があるものの、元留学生の場合もまた同じであるといえる。若干の差異とは、帰国後の反省として「日本を知るために」日本人の家庭あるいは民間のアパートに住むべきであった、という意見を含めてのことと考えられることである。事実こうした記入があるしまた同表の数値もそのことが明白に出ている。

② そうであれば、その宿舎には留学生だけか、日本人と一緒にの方がよいかであ

るが、在日留学生、元留学生いずれも圧倒的に「日本人と一諸」に住みたいと希望している。双方の差は、在日留学生が「留学生だけ」(17.4%)とするものがあること、元留学生は僅かながら日本人と一諸と希望するものが多いといった点で、これは前の宿舎条件に寄せられた期待に裏付けられるものであろう。

③ しかしながら、在日留学生、元留学生ともに、個室にあってプライバシーを守りたいという希望について圧倒的な賛意を表明していることは注目される。

以上を簡潔に要約すれば、留学生の居住条件に対する希望意見は、

- 1 大学付属の寮と外国人用宿舎の順で、そうした集団的居住条件を整備し大学に近接するかまたは留学生専用の宿舎とすること
- 2 しかも、そこには留学生だけでなく、日本人学生と共に生活体験をもちたい
- 3 だが、プライバシーを守ることのできる個室であること

これである。

## V 受入れ条件についての留学生の意見

日本留学に関する評価の最後の設問は次の通りである。「日本の外国人留学生の受入れ条件や受入れ制度について、あなたが問題とされ、あるいは改善を期待されていることを、卒直かつ具体的に書いてください」。すなわち、当研究の狙いのひとつである留学生の受入れ条件に関して、留学生にこれまでの質問事項全体を通じて得られた問題や改善要望、そして未だ指摘されない問題領域について、自由に記入してもらうことであった。同じ設問が在日留学生、元留学生ともに提出されているが、記入状況は在日留学生よりも元留学生について、記入した人数の割合は多くかつ記入は比較的詳細であったようである。だが、記入した留学生は同時に他の設問についても割と丁寧な記述をしたものが多かった。こうしたことを勘案すると、記入の数的な重みよりも記述した内容について十分な検討を加えることが、設問の趣旨に沿うものと考えられる。そうはいいながら、回答の整理は、数値の多寡によって状況を判断することのできるアンケート方式の場合よりはるかに困難である。ここでは、記入内容を性格的に同質と考えられる項目に可能な限り括って、それらの項目間の関係を考察する方法をとった。論述では必要に応じて、留学生の記入をそのまま引用し、説明を補足することにしたい。

なお、ここに述べる自由意見は、在日留学生では163人(全体の16.9%、うち回答言

語別では日本語61人——日本語で回答した者のうち10.2%、英語では102人——同じく27.6%）、元留学生では53人(全体の39.0%、うち回答言語別では日本語13人——前と同様21.3%、英語で40人、52.0%)についてである。断っておかねばならないが、自由意見は「かなり書き入れのあるもの」と「箇条書き」しているものを抽出してあり、一言一句の記入については「内容の重複をさける」という筋で適宜選択していることである。その趣意は前述したとおりであり、回答項目の数の多寡は必ずしも全体を表わしていないことに留意してほしい(参考として回答者数を記録する)。

### 1 在日留学生の意見

日本に留学して年月のあまり経っていない在日留学生の問題指摘、改善意見は概ね具体的であり、かつ日本語を含む文化差から生ずる摩擦に関するものが目立つようである。「問題は多面的であり、帰国までぜひ個人的に訴える機会が欲しい」という留学生も数名いた。多面的な問題や要望を入国以前から時間的な経過に沿って整理しよう。

#### 1 日本留学に関する情報の不足(9人)

「日本」を知らないし殊に日本の「大学」についての情報が母国では入手できないとする、日本留学の意志決定についての基礎情報不足の問題指摘である。「日本の大学事情が領事館等外交機関で紹介されていないため、研究プログラムの作成が困難となる」、「母国の図書館にもそれがない」、「そこに留学後の問題が生ずる」原因があるということである。「英文の大学案内を充実させてほしい」という要望である。

#### 2 「受入れ条件」がはっきりしない——受入れ条件の統一を希望(14人)

典型的な説明は「まずはっきりした条件もないし、受入れてからの対策が全くといえるほどない。特に私費留学生の場合は生活、学習など一から十まで自分がやっていたかなければならない現実である」ということであろう。具体的な指摘は「大学院にはいらせないならば、研究生申請のときに許可しないでいいのに、という文句を聞いている」や「私費留学生を受入れするばあい、学校によってそれぞれ違う」である。特に「留学生の入学試験の制度、大学院進学等について明確な制度があればよいと思う」として、統一した条件を求め、「留学生について教育計画を準備すべきだ」といっている。「留学生の選び方のクライテリアがはっきりしていないこと」とは、母国での選考の在り方を指していると思われる。

#### 3 入国手続き、滞在延長について

留学生だけの問題ではないがVISAの更新とその費用負担(7人)、採択通知から入

国まで(6ヶ月という)の期間短縮, VISA 更新に大学の援助を(各1人), そして「保証人」の確保の不便さ(7人)等である。私費留学生の1人は「保証すべきは学生の経済的負担能力と学問的資質にあり」と指摘していた。

#### 4 日本政府国費留学生の受入れ人数の増加

「経済大国, 先進国といいながら」日本は留学生を多く受入れていない(12人)。殊に「発展途上国への援助」という意味をもつ文部省奨学金留学生はもっとふやすべきである, というものである。「アセアン諸国では欧米との比較」で文部省奨学金制度に「満足」しているが, この点では「私費留学生にも十分留学の機会」を与えられるよう希望するとしている。また国費留学生の1人は「私が政責者だったら, 国費留学生の奨学金を10万円ぐらいにし, 残りの半分は自費留学生の生活補助金——私費留学生は月に6~8万円で過している——として使う」といっている。

しかしながら, 文部省奨学金制度の充実の必要を指摘しながら, 受入れには「留学生のレベル」「研究意欲」についてもっと厳しい条件を整えよ, という意見も出されている(8人)。日本語での回答者に限られるのが特徴的であるが, 理由は「実は学術水準が高い国の学生が日本に留学しない」「外国人学生のレベルがもうちょっと上ってほしい」「条件に合う(母国の選抜試験制度上)というだけで, 文部省のやさしい日本語テストの受け, 楽々とくるところをしばしばみている——日本に来て勉強し何かを实践すことのできる人を」厳正に選べないか, 等である。「水準が高い所は人は受けないで, ある程度外国でもやっている学問を人は受ける」のは国のためにもならない, 「逆効果だ」ともいっている。

また, 文部省奨学金については「最高水準」としながら学部と大学院(修士, 博士)各課程での支給額の差や, 支給期間の延長(「教授が指導してくれる限り」滞在したい)などがあった。「家族」で来る留学生の許容と家族手当(「融資」)制度の希望も出された。

#### 5 宿舍の増設, 設備充実について

「留学生活と勉強の基盤」となる宿舍の安定, 増設, 設備充実への要望(8人)は私費留学生にとっては「民間アパート借料の高さ」もあり「礼金, 敷金」への不満などのほか, 「世帯持ち留学生に貸したがる」ことによって強く出され, また国費留学生では「不潔, 狭隘」「育児施設のすくなさ」「大学との距離」などが理由とされていた。「大衆浴場」にはなじめないもあった。

別の指摘は「現在各地で新設されている留学生寮は設備に多額を費しているが, 決して生活とか文化の交流の場とはなっていない」「留学生寮はゲットー(孤立した集団)

だということを知ってほしい」「日本人学生と交流できる合同寮」をという点である。

#### 6 留学生に対する大学「配属」の問題（14人）

留学生に対する大学配属を「日本独得」だと指摘する学生は、日本の教授が留学生のもつ多様な背景——水準、資質、能力、将来性などを知らないで受入れてしまうことについて不満を表明している。同様にこの制度そのものが「留学生の能力、可能性を忘れている」、したがって「個人の希望をよく注意してほしいと思います」ということになる。極端な指摘は、この制度は「留学生の能力より政治的なもの」というものであるが、「現実には日本語能力問題が解決されないため、止むをえない」ともみている。一般には「文部省の奨学金を受けてから転校（学）できないという事は無理だと思います。これは私の唯一の文句です」という意見に要約されよう。

#### 7 母国と日本との「教育制度」差の問題（9人）

この指摘は、「欧米と比較」しての修学年限、修士課程の位置づけ、大学間の単位互換制度の不足、入試制度の差異がとくに目立つとするものが多いが、なかでも「アカデミック・レベル」の違いについて「他国はその調整のためにうまく程度を決めた範疇」が準備されているという指摘がある。また留学は本来「自由活達」に行わべきものであり、留学生に自由な研究の機会と時間を与えてほしいとする要望もある。日本の大学間の相互に、また教授個々に「留学生に要求される」内容が違いすぎることも問題とみている。学生規則の厄介さについては3人の言及があった。

#### 8 博士学位について（4人）

「学位取得」こそ留学の目的であるのに、修士は容易で博士は極めて難しい、さらに「文科系の博士学位何かなかなかとれない、特に発展途上国から留学生にとって非常にこまることなので外国人留学生向け制度をつくって“改善”してほしい」という趣旨であった。「オーバードクターになりたくない」とも（第3章に譲る）。

#### 9 直接留学生を指導する人人の態度について（17人）

この指摘は「個人的接触」から生ずるほか、受入れ態度ないし制度に「不馴れ」な人人との接触の結果として表明されるだけに、留学生側からは「感情的」な問題ともなり勝ちである。指導教授が「多忙である」ならまだしも、「外国体験を持たぬ」ときは「外人は一緒だと扱う」などであり、総じて「教授は留学生にもっと関心を持つべきだ」とする。同じことがチューター、アドバイザー、そして日本人学生についても言及される。人的な接触と援助が最も必要だと留学生は思っているのに、「チューターからは金はもらうが、話をしたことがない」など典型例である。「留学生も努力すべきだが、英語も話せない」相談者がいることも同じで、「子供のように扱われている」と

いう印象さえあるとする。とくに「留学生を“個人”であるより“集団”である」とみるがどうかという指摘があり、「留学生担当の教授」「アドバイザーの“資格”」を定めたらどうかという提案もあった。

#### 10 日本語能力と学習に関して（42人）

留学生の受入れ制度についての問題点、改善要望に関する自由記入は、この日本語が最も多かった。日本語能力については既に第2章に実態が詳論されており、その研究成果から幾つかの具体的かつ積極的提言があるので、ここではこれを裏づける「留学生側からする提言」についてのみ記述したい。

ことばの違いは留学生にとって最大の問題である。その克服は学習しかない。日本語の難かしさはその学習に時間を必要とし、しかも母国に帰れば必ずしも使用する機会は多くない。留学期間中、日本語（に代るべき言語は英語に代表されるが一般に使用されなければ結局）は、いかに短期間に効率よく修得ができるかということになる。それもどの程度の日本語能力であればよいか問われる。留学生の自由な記入を全体として要約すれば、以上のような問題意識とそれに応じた改善対策ないしは自発的な学習努力が指摘されているようである。「受入れ体制は十分にある。要は日本語の壁をどう超えるか」。留学生達の回答は、このように日本語学習の困難さと必要性を訴えながら、それではどうするかは提言は極めてすくなかった。すなわち①「海外へ日本語の教師を派遣し現地で日本語を教える、②来日後は、日本人家庭などで実際のトレーニングを行う、③日本語コースをもっと充実させよ、④会話だけはともあれできるようにし、日本語学習の期間は留学期間から除外すべきだ等であった。むしろ問題は次のように転化されるものがすくなくあつたことである。すなわち①われわれの目的は日本語学習ではない、または日本語学習1～1.5年は浪費時間だ、はじめから専門コースで勉強したい、したがって英語で授業をせよ、英語能力のあるスタッフを揃えるべきだ、である。またこの態度は入試の不利を訴えることとなり、②入試を日本語で行うことはもっとも悪い制度だとなる。また③初期の日本語教育の制度上の不満はすくなくみられた。しかしながら、一般的には、日本語を学ぶことが必要だとし、「TOFELのように日本も日本語能力テストを事前に行い、十分な語学力をもつ学生を受入れるなどの制度を設けよ」「最低限授業聞くくらいの日本語の実力が必要で、……漢字等の問題もあつて十分な研究ができない、そのような学生は入学させても何の意味もないと思う」等の見方が多かつたようである。

#### 11 日本人から積極的に接近して欲しい（5人）

日本人の性格については、留学生等からつとに指摘されているところであるが、

それは日本人の友人を得ることが難かしい(親切だが心がわからない),そのことは「新参者」たる留学生にとってきびしい現実である,そこで日本人から接近して欲しいということになる。

#### 12 外国人への偏見を取り去れ(4人)

日本語での記入であるが、「偏見をぬけてもっと客観的に留学生問題について考えてほしい」,この偏見は「好奇心や皮ふの色での判断」をいう。また次の指摘があった。「欧米をのぞいた地域からの留学生は,とかくエリート意識持ちの方が多いので,この欄で文句書きたがるでしょう。日本人は国際人と評価されたかったら『郷に入ったら郷に従え』という旗印を堅く守るべきである。最も日本人は国際人でないところにユニークさがある」と。

### 2 元留学生の意見

留学生受入れ条件についての自由記入は,元留学生の場合多くは在日留学生のそれと同様であったが,例えばVISA,入国手続き等は全く触れられておらず,また日本語能力に関しては記入者からみて在日留学生ほどには多くはないなど,一般には「個人的に当面する問題」点の指摘は寡なかった。その反面,受入れ制度や留学生への日本人の接触の態度等について書き入れは詳細であった。また帰国後年月を経ての回答であるだけに,日本留学の成果をいかにすれば高めることができるかといった問題について積極的な発言が強いようである。在日留学生の指摘との重複はできるだけ避け,元留学生の回答として特徴的な項目を次に整理しよう。

#### 1 留学生は何を学ぶべきかを知らない(1人)

母国の歴史,経済との比較で日本の情況から何を学ぶべきか,留学生は大学での教育の機会を十分に利用しなければならないという指摘である。

#### 2 受入制度は(先進国と)同じでも,日本留学には「接触」が少ない(17人)

典型的には「国際的に留学生を招請してscholarshipと宿舎など配慮はとても良い事(お互いに)だと思いますが,もっと広く深く理解の上,心からのservice精神が足りないimpressionを感じました(先進国Levelでの)。——良いimpressionを残せなかった事は何か考えなければならないと思う」というものである。接触を不足,不満だとする記入は13人あり,研究上何もアドバイスしなかった教授,シャイな学生,宿舎ホストの冷たさ,そして地方都市にあっての「外国人」の扱い方を知らない日本人等がそれぞれ具体例にあげられていて,「留学生を理解してほしい」「よいアドバイス

を」「より親切な面倒見を」「より個人的な指導を」と希望する。殊に研究面での教授の指導こそ重要だ(3人)というものである。関連して「発展途上国の」しかも低学年次留学生」には「もっと平等な扱い方を」してほしいとも。「個人」の問題に帰着するとはいえ、日本人一般にそれが拡張されて印象づけられているとも受けとれる。

### 3 留学生は「管理されていない」(8人)

留学生受入れ条件が「はっきりしない」その「条件の統一」を希望するという指摘は在日留学生にも多かった(14人)が、元留学生の場合も比較的にかかった。元留学生はその改善内容の具体的な指摘が目立つ。「初年次に殊に個人別に集中的な援助を」や「母国の発展様子および留学目的、希望などに適応している特別な授業や実験、見学および実習などを考えてください」そして「アフターサービスがない」までに及ぶものであった。

### 4 日本語について(9人)

比較的になかった回答数でありながら、提言として「来日以前に十分な日本語教育の機会を」という要望は3人あった。逆に「日本語が難かしいことが、留学生は日本に容易に入学できる機会となっている——けれども良い日本語を学ぶことは極めて難かしい」他、「帰国すれば日本語はすぐに忘れてしまうし、日本人の論文は英語で書かれている」ことなどの指摘もあった。また来日してからは「日本語学習はすくなくとも1年間が必要」としている。

### 5 その他

在日留学生の指摘と共通するものには、配属問題(希望する大学にゆきたい)、専攻変更の困難、宿舎の増・改築、女子寮の新設希望のほか、奨学金については「私費留学生の場合、留学の条件がずいぶんきびしいとか、宿舎を求めるのがむずかしいとか、奨学金をもらう機会が少ない等の話をよく聞きました」と代弁する記入もあり、「保証人の排絶」も同様であった。

全体としてみれば、元留学生は日本留学について「肯定的な態度」ないしはよい印象をもっているとみられるほか、たとえ、問題が指摘されていても「反感をもっているわけでない」と注釈される場合も2、3例あった。留学成果の活用実感に支えられてのことであろうか。

## 結 び

日本留学の評価と受入れ条件について、これまでの検討結果を要約する必要はないであろう。まとめに要求される場所は、これらを受けて、受入れ条件としていかなる問題点が見出されたかである。在日留學生の在日学生生活に期待した、大学での勉学、研究と大学スタッフとの交流は概ね満足されており、衣食住についてもそうであるとする調査結果（Ⅰ、在日生活への期待と評価）は、同時にその条件である受入れ先の大学の学術水準の高さと最新理論、成果の提供が行われており、教授、學生の留學生指導について関心が深いという調査結果（Ⅱ、日本留学についての評価）から裏付けられている。こうしたことが、個人的には「再度日本で研究の仕上げをしたい」という希望となり、また「母國の學生に日本留学を薦めたい」という結果を導びく。勿論、それは多くの留保条件をつけてのことである（「或る程度同意できる」という回答を含む点で）。この留保条件の検討が問題点の発見につながる。アンケート調査の結果はこのような傾向性を物語っているが、「自由な意見」の記入はその内容を補完するものである。しかし自由記入は、多くの場合、留學生の当面あるいは体験した事実について語られることが多いため、具体性は強いが例外的な性格も含まれ易い。この点を留意しながらなお、次の諸点を問題点として指摘できよう。

1 留学選択時において、母國では日本の大学、殊に制度についての情報が得にくいことである。留学の意志決定が、例えば相対的有利とされる文部省奨学金受給資格の獲得がこれに優先するとすれば、真に日本留学の目標はたて難いであろう。國によってはこの選考条件に問題ありとする場合もあるが、留學生個人にとって「日本及び日本の大学」「専攻ないし研究内容」の情報不足はその後の留学成果に大きな影響を与える。日本としてこの意見は卒直に聞くべきことであろう。

2 「留学先大学（院）の割当て」については、留學生にとって勉学、研究目的と一致しているかどうかについての不安材料として受取られているようである。希望と合えば問題はないが、そうでない場合強い不満が表明される傾向が強い。関連して「修士と博士課程が同じ大学にない」ことも同様である。受入れ大学側の態様がこの問題と関連するほか、希望大学（院）の指導教授との接触の有無（事前の各種の紹介、連絡等を含む）は留學生にとって関心が大きいようである。留學生のいう「自由に選択し、事後にも専攻を変更できるよう」にはならないであろうが、先の問題と関連して何らかの直接的な接触方法が検討されてよいのではなかろうか。

3 文部省奨学金受給者とそれ以外の留学生との間には、経済生活の安定を基底にした様々な評価差が生じていることは事実である。広くその機会を与えよという意見がそこから出されるが、殊に発展途上国や東アジア諸国の留学生達にそれが多い。私費留学生に対する国際高等教育協会等からの経済的支援の努力を多としながら、一方では国費留学生への「偏った待遇」を問題とするむきもある。指摘は経済的援助を必要とする国への配分の不足だというものである。これと同時に、留学生自体のレベルを落すべきでないという指摘もある。配属と選考という問題の内容は容易に論じ得るものではないが、奨学金給付機会の増加を検討する際に留意すべきことであろう。

4 日本語能力の問題については既に論述されているところであり、そこでの改善案は概ね留学生自らによっても指摘された。

5 居住条件についての留学生の要望は、総じて明確であった。要は「日本人学生との交流」機会の重視である。このことは「留学生寮はゲットーと類似している」という点に端的に示されるように、留学生寮の内部でも対日本人に限らず、留学生相互間に交流が寡いといった事情を反映するものであろう。そうであれば、それは「運営・管理」の問題と関連する。一方、日本、日本人、日本社会を理解する絶好の機会と認めながら、その不足を問題とすることにもなる。容器はもとよりその機能を重視する方針が今後いっそう重要となるであろう。

6 アンケート結果で留学生がもっとも不満だとするものは「日本人の母国事情の理解のなさ」「発展途上国への関心のなさ」と、帰国後の交流、「アフターサービスがすくない」といった点で、切実な問題指摘となっている。殊に指導教授や同じ専攻にある学生達のそれは「孤独感」を高め、友好感を損ねる原因のひとつに数えられるようである。日本人側からすれば交流の方法、習慣の在り方の工夫ということになるが、日常性をもつ具体的場面であるだけに考慮を必要とするであろう。殊に教授の多忙さを目のあたりにみながら、接触の少なさを「会えることがラッキーだ」とし「アンフェアだ」という表現についてである。

(山下 雄三)

---

(注)

(1)例えば次の如くである。

①国際経済商学生協会、九州地区委員会『九州における外国人留学生の現状と課題(昭和55年3月)』

②京都大学経済学部、留学生教育方法検討委員会・前川嘉一、浅沼葛里『ASEAN 諸国から

の日本留学の効果と問題点——現地調査の報告と提言——』(1981年3月)

③広島大学, 大学教育研究センター『日本の大学院教育に関する留学生の意見調査——全国調査結果の概要——』(1982年2月, 第52号)

④広島大学教育学部, 二宮 皓『日本の大学の国際化と大学教育に対する外国人留学生のインパクトに関する研究』(昭和59年3月, 文部省科研報告書)

⑤碓氷 尊『帰国外国人留学生へのアンケート調査の結果に関する報告』『筑波フォーラム, No23, 1985年3月』筑波大学

⑥川野重任編『在日外国人学生——その日本観——』(大明堂, 昭和57年11月刊)

(2)上記, ⑥川野重任編『在日外国人学生』



## 第5章 日本の社会経済に関する 留学生の見解



## 第5章 日本の社会経済に関する留学生の見解

### はしがき

在日及び元留学生は、日本が実現させてきた高い成長率をともなった経済発展に対して、特にそれを支えてきた日本の社会的条件に関して、どのような見解をもっているのだろうか。また、在日留学生と自国に帰国した元留学生との間でこの点に関して何らかの見解の差異がみられるのであろうか。

以上のような興味深い問題の一端をさぐるために、日本の経済発展の要因として特に次の3点に焦点をあてて、在日留学生ならびに元留学生に対して全く同じ質問をおこなってみた。質問の第1は、日本の教育制度である。第2は、人口増加という要因である。第3は、労働体制という要因である。

各質問に対する回答は、「その通りである」「どちらかといえばその通りと思う」「そうは思わない」「なんともいえない」「わからない」の5つの選択肢のひとつをえらんでもらう形をとった。その集計結果は、後出の付表・集計表に整理されている。従って、本章ではこの集計表を参照しながらそのなかで特別に注目すべき点だけをしるすことにする。後出の集計表を参照すれば理解されるように、在日ないし元留学生の総計での回答に対比してみても注目されるべき差異が最もみられるのは留学生の出身地域での回答であった。そこで特に本章では、この点に注意をはらいながら、回答の様子を整理していくことにする。

さらに、経済発展には人的能力の開発が不可欠であるという広く認められた視角から、より一般的に経済発展と人的能力の開発との関連についての質問も加えておいた。そして、より具体的に留学生の意見を聞くために、以上4つの質問に関して自由に意見を書いてもらった。

以下、まず経済発展の要因に関する回答を、I・教育制度、II・人口増加、III・労働体制の順に整理してみていくことにする。ついで、IVで経済発展と人的能力の開発との関連についての一般的質問の回答をさぐり、最後にVで留学生の自由意見を整理してしるすことにする。

## I 日本の教育制度

### 1 在日留学生の回答

日本で現在勉学中の留学生が、現在日本の経済発展の要因として、教育制度についてどのような認識をいただいているか。この点を明らかにする目的で、合計12個の日本の教育制度にかかわる質問をした。(付表・A-I(総計)VI・19-(1)及びA-III(地域別)VI・12-(1)参照)

まず各項目ごとに、在日留学生の回答の状況をみていくことにしよう。

#### ①「義務教育年限が6・3制で十分に長いこと」(6・3制)

これが日本の経済発展の要因として重要であるか否か、を質問としてきいてみたのである。回答は、前述の通り、「その通り」「どちらかというとその通りと思う」「そうは思わない」「なんともいえない」「わからない」の5肢のうちひとつを選ぶ形で与えてもらった。

在日留学生全体の回答でみると、「その通り」が、27.7%、「どちらかといえばその通りと思う」が29.7%、そして「そうは思わない」が28.9%となっている。つづいて「なんともいえない」が4.7%、「わからない」が7.2%、残り1.9%が無回答である(後出の集計表参照)。

最初の2つ「その通り」と「どちらかといえばその通りと思う」を合計して日本の経済発展の要因として「義務教育が6・3制で十分に長いこと」が重要であると判断した回答、すなわち「肯定」の回答としてとらえてみると、57.4%となる。これに対して、第3番目の回答「そうは思わない」を、この質問に対するはっきりとした「否定」の回答としてとらえてみると、それは前記の通り29.7%となっている。

この「肯定」「否定」というカテゴリーでの回答に着目してみると、興味深い傾向を示しているのは、在日留学生の出身地域別の集計結果である。「肯定」「否定」だけで要約し直したのが、表5-1である。特に中東地域からの留学生の回答の42.1%が「否定」の回答を与えている点は興味深い。それに対して、北米・西欧等のいわゆる先進国からの留学生のなかで「否定」の回答を与えた者の比率は、総計平均よりも10%以上低くなっている。発展途上国に属するその他の地域はほぼ総平均と近い回答率となっている。

#### ②「義務教育での中途退学が少ないこと」(中途退学)

留学生総計で回答をみてみると、「肯定」「否定」の回答率をとってみると、「肯定」

表5-1 日本の教育制度について：在日留学生地域別集計

質問	回答	北米	南米	西欧	東欧	中東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
義務教育年限が6・3制で十分に長いこと	肯定	66.7	58.8	71.5	66.6	47.4	66.6	51.3	60.1	55.5	58.3
	否定	19.0	17.6	17.9	0	42.1	0	28.9	29.9	30.6	25.0
義務教育での中途退学(dropout)が少ないこと	肯定	66.7	64.7	67.8	66.6	47.4	44.4	51.1	56.3	50.0	50.0
	否定	14.3	9.8	3.6	0	10.5	0	8.9	10.0	15.0	25.0
義務教育の教育内容が充実していること	肯定	71.4	62.7	60.7	100.0	42.1	55.5	57.8	57.4	61.3	50.0
	否定	9.5	2.0	10.7	0	10.5	0	2.2	7.7	8.8	16.7
高等学校以上の高等教育への進学率が高いこと	肯定	85.7	78.4	85.7	66.6	57.9	88.9	75.6	76.6	85.0	66.7
	否定	0	3.9	0	0	10.5	0	4.4	6.1	6.7	8.3
高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと	肯定	57.1	33.3	60.7	0	52.6	44.4	48.9	52.9	52.3	50.0
	否定	19.0	27.5	21.4	66.7	26.3	11.1	22.2	20.7	23.5	25.0
高等教育の内容が充実していること	肯定	70.4	56.8	50.0	66.7	57.9	55.5	68.9	69.4	64.6	50.0
	否定	14.3	5.9	17.9	33.3	10.5	0	2.2	6.1	10.1	41.7
高等教育への進学率を高めるだけの経済的余裕が父兄にあること	肯定	38.1	43.1	57.2	66.7	47.4	44.4	62.3	54.7	48.5	50.0
	否定	9.5	9.8	17.9	0	15.8	0	4.4	13.4	23.5	25.0
高等教育進学について奨学金制度が発達していること	肯定	33.3	43.1	57.2	66.7	47.4	44.4	62.3	54.7	38.5	50.0
	否定	19.0	9.8	17.9	0	15.8	0	4.4	13.4	23.5	25.0
国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	肯定	66.7	60.8	85.8	100.0	52.6	77.7	77.7	76.6	71.5	75.0
	否定	4.8	3.9	0	0	5.3	0	2.2	3.8	6.2	0
高等教育を積極的に進めることについての国民的関心が高いこと	肯定	85.7	74.6	82.1	100.0	52.6	88.9	73.3	76.2	77.4	75.0
	否定	0	0	0	0	10.5	0	8.9	5.0	5.1	0
高等教育を受けることが立身出世の条件として考えられてきたこと	肯定	80.6	82.3	76.4	100.0	68.4	100.0	73.3	83.5	77.4	83.3
	否定	4.8	3.9	0	0	5.3	0	8.9	6.1	9.2	8.3
個人的能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	肯定	66.7	54.9	64.3	66.6	57.9	66.7	57.8	69.7	61.3	83.3
	否定	14.3	19.6	21.4	33.3	15.8	11.1	13.3	13.8	19.8	0

が52.9%、「否定」が12.3%となっている。「肯定」の回答のなかで「その通り」とする積極的肯定は、28.1%となっている。

留学生の出身地域別にみても、北米・南米・西欧で「肯定」の回答率が総平均より大きいことがわかる。

### ③「義務教育の内容が充実していること」(義務教育の内容)

留学生総計で回答をみると、「肯定」の回答率は、59.5%、そして「否定」が8.2%ということになる。但し、「肯定」の回答のなかで、「どちらかといえばその通りと思う」という消極的肯定が、33.5%と半分をこえている点は、注意されるべきである。特に北米出身の留学生の「肯定」の回答率が71.4%と総平均より高くなっている。

### ④「高等学級以上の高等教育への進学率が高いこと」(高等教育への進学率)

留学生総計で回答率をみると、「肯定」の回答率は、80.1%、「否定」の回答率は、5.7%となる。「肯定」の回答のなかで、「その通り」という積極的肯定が43.2%と半数をこえている。中東からの留学生の「否定」の回答率が10.5%と平均より高くなっている。

### ⑤「高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと」(女子の進学率)

留学生総計で回答率をみると、「肯定」の回答率は、51.3%、「否定」の回答率は、22.4%となる。但し、「肯定」の回答のなかでも、「その通り」とする積極的な肯定の比率は17.9%で、「否定」の比率より低くなっている点は、注意されるべきであろう。

この項目は、女子の進学率に関するものであるが、男子留学生と女子留学生とのあいだで、この回答率にほとんど差はみられない。地域別にみても、南米からの留学生の「肯定」の回答率が、33.3%と平均より小さくなっている以外、余り地域差もみられない。

### ⑥「高等教育の内容が充実していること」(高等教育の内容)

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、64.8%、「否定」の回答率は、8.7%となっている。但し、前項目と同様に、「肯定」の回答のなかで、「その通り」とする積極的肯定は22.6%にすぎず、「どちらかといえばその通りと思う」という消極的肯定が42.2%に達している点は、注目されるべきである。

北米・西欧・東欧出身の留学生の「否定」の回答率が、14.3%、17.9%、33.3%というように、総計での平均にくらべて相当に大きくなっている。逆に、南アジア・東南アジアという発展途上国からの留学生の回答においては、「否定」の回答率が、2.2%、6.1%と総平均よりも小さくなっている。先進国と発展途上国とからの留学生が、

日本の高等教育の内容についてこのように違う見解をもっていることは、面白い事実である。

⑦「高等教育への進学率を高めるだけの経済的余裕が父兄にあること」(経済的余裕)

総計での回答率をみても、「肯定」の回答率は、62.4%「否定」の回答率は、12.6%となる。この項目でも、「その通り」という積極的肯定が、22.8%であり、消極的肯定より低い点は、注意されるべきである。

特に北米出身の留学生の「肯定」の回答率が、38.1%と総平均より相当低くなっている。

⑧「高等教育進学について奨学金制度が発達していること」(奨学金制度)

総計での回答率をみても、「肯定」の回答率は、46.7%、また「否定」の回答率は、17.6%となっている。「肯定」の回答率は、50%を割っており、またそのなかで積極的肯定は16.1%でしかないのである。

この回答に関して注意すべきは、文部省の奨学金を受けている留学生の「肯定」の回答率が、53.7%と平均より高く、「否定」の回答率が9.3%と平均より低くなっている。これに対して、「その他の奨学金」及び「奨学金なし」の留学生の場合は、「肯定」の回答率が39.6%、43.2%と平均より低く、「否定」の回答率が26.4%、24.3%と平均に比べて格段と高くなっている。地域別にみるときは、北米・東アジアの留学生の「肯定」の回答率が、33.3%、38.5%と平均より相当低くなっている。

⑨「国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと」(国の整備)

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、73.1%、「否定」の回答率が4.4%である。「肯定」のなかの積極的・消極的肯定の割合は、ほぼ半分となっている。

この項目に関しては、サンプルの少ない東欧が「肯定」が100%となっている以外は、地域別に大きな差はみられない。

⑩「高等教育を積極的に進めることについての国民的関心が高いこと」(国民的関心)

総計での回答率をみても、「肯定」の回答率は、76.7%、また「否定」の回答率は4.6%となっている。そして、「肯定」のなかで積極的肯定が40.1%となっている。

この項目に関して地域別で注目されるのは、中東の留学生の回答率である。「肯定」が52.6%と平均より相当低く、逆に「否定」の回答率が10.5%と相当高くなっている。また国別では、特に韓国の留学生の「肯定」の回答率は72.7%とほぼ平均に近いのに対して、「否定」の回答率が9.4%と平均より相当高くなっている。

⑪「高等教育を受けることが立身出世の条件として考えられてきた」(立身出世)

総計での回答率をみても、「肯定」の回答率は、80.9%、そして「否定」の回答

率が7.0%となっており、そして、「肯定」のなかで積極的肯定が46.4%となっている。

南アジア・東アジアの留学生の回答においては、「肯定」の回答率は、それぞれ73.3%、77.4%と平均よりやや低く、逆に「否定」の回答率が8.9%、9.2%と平均よりやや高い。特に韓国の留学生の回答では、「肯定」の回答率は、70.8%、「否定」の回答率は15.1%であり、「否定」の回答率が平均のほぼ倍になっている。

⑫「個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから」（日本社会の体質）

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、63.8%、「否定」の回答率は17.0%となる。但し、「肯定」のなかでは、消極的肯定が35.3%と半分を越えている。

この項目に関しては、地域別等でき程注目すべき差異はみられていない。

以上、質問の項目別に回答の概要をみてきた。そこで、留学生の回答にそって、本質問に関する留学生の見解のあり様を整理してみよう。

「肯定」の回答率の順に、以上の12項目を並べてみる。

第1位	立身出世	80.9%
第2位	高等教育への進学率	80.1%
第3位	国民的関心	76.7%
第4位	国の整備	73.1%
第5位	高等教育の内容	64.8%
第6位	日本社会の体質	63.8%
第7位	経済的余裕	62.4%
第8位	義務教育の内容	59.5%
第9位	6・3制	57.4%
第10位	中途退学	52.9%
第11位	女子の進学率	51.3%
第12位	奨学金制度	46.7%

こう順序づけてみると、まず第1に気がつくことは、「奨学金制度」が最下位にきていることである。そして、「経済的余裕」が第7位となっていることをあわせ考えると、留学生は、日本はもはや経済大国なので高等教育への進学に対して、奨学金制度はそれ程重要ではないと判断している、ととらえておいてよいであろう。

第2に気がつくことは、「6・3制」「中途退学」「義務教育の内容」といった義務教育に関する項目の順位が、それ以外の高等教育に関する項目より下位に位置している

ことである。勿論、これら3項目に対する「肯定」の回答率は、50%以上となっているので、義務教育それ自体の日本の経済発展に対する貢献が否定されている訳ではない。しかし、高等教育の貢献度よりは低く評価されている点は在日留学生の見解として見落とせない事実であろう。

第3に気がつく点は、「立身出世」が第1位、そして、「国民的関心」が第3位を占めている事実である。この2項目は、日本社会の高等教育への熱意を支える、いわば社会的条件といえるものである。あるいは、日本人の性向に関する条件である、といいかえてもよいであろう。在日留学生の見解のなかで、この2項目がこのように高い順位を占めていることは、注目に値する事実である。そして、このような日本社会の条件ないし日本人の性向によって、「高等学校以上の高等教育への進学率が高い」ことが帰結され、ひいてはそれが日本の経済発展の重要な要因となっている、というのが在日留学生の認識の大勢であるといえる。これに関連して、「国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと」という国・公共団体の教育政策にかかわる条件が高い順位を占めていることも、見落とされるべきではないであろう。

## 2 元留学生の回答

元留学生が日本の経済発展の要因として、教育制度についてどのような認識をいだいているか、この点を明らかにする目的で、在日留学生に対するのと全く同様の質問をおこなった。(付表・B-I(総計)VI・19-(1)及びA-III(地域別)IV・12-(1), 参照)

まず各項目ごとに、元留学生の回答状況をみていくことにする。

### ①「6・3制」

元留学生全体の回答でみると、「肯定」の回答は、69.6%、「否定」の回答は、15.9%となる。在日留学生と比較してみると、「肯定」の回答率が57.4%から69.9%へと上昇していることが注目される。これは、「肯定」のなかでも「その通り」とする積極的肯定が、元留学生の場合に40.6%と、在日留学生の27.7%から相当上昇しているからである。日本での留学を終えて自国に帰国している留学生の回答で、この項目に対する積極的肯定が大きくなっていることは、大変興味深い事実である。

### ②「中途退学者」

総計で回答をみると、「肯定」が57.4%、「否定」が8.0%となっている。

在日留学生にくらべて、「肯定」の比率が少々上昇し、「否定」の比率が低下している。地域別に回答率がみると、北米・南米・西欧で「肯定」の回答率が総平均よ

り大きいことがわかる（表5-2）。これは、在日留学生の場合と同様である。

### ③「義務教育の教育内容」

留学生総計で回答をみると、「肯定」の回答率は、62.4%、そして「否定」が6.5%ということになる。「肯定」のなかで積極的肯定は、34.1%となっている。

前記2項目と同様に、在日留学生にくらべて「肯定」の比率が上昇し、「否定」の比率が少々低下していることがわかる。

### ④「高等教育への進学率」

留学生総計で回答率をみると、「肯定」の回答率は、80.4%、「否定」の回答率は、6.5%となる。「肯定」のなかでも、積極的肯定が53.6%となっている。

この項目に関しては、在日留学生とほとんど差はない。

### ⑤「女子の進学率」

留学生総計で回答率をみると、「肯定」の回答率は、57.9%、「否定」の回答率は、20.3%となる。

在日留学生にくらべて、「肯定」の回答率が上昇していることがわかる。男子学生・女子学生別にみると、男子の「肯定」の回答率が62.7%、女子が40.4%と男子学生の方が高くなっていることがわかる。この点は、在日留学生とちがっている点である。

### ⑥「高等教育の内容」

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、64.5%、「否定」の回答率は、10.9%となっている。在日留学生にくらべて、「否定」の比率が上昇していることがわかる。

この項目に関しては、西欧・東欧出身の留学生の「否定」の回答率が、15.4%、16.7%というように、総計での平均にくらべて相当に大きくなっている事実である。逆に、南アジアく東南アジアという発展途上国からの留学生の回答においては、「否定」の回答率が0%、5.1%と総平均より小さくなっているのである。この点は、在日留学生の場合と同様である。

### ⑦「経済的余裕」

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、64.5%、そして「否定」の回答率は、10.1%となる。「肯定」のなかで積極的肯定は、37.0%となっている。

在日留学生の場合より、「肯定」の比率が少々上昇していることがわかる。

### ⑧「奨学金制度」

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、55.1%、また「否定」の回答率は9.4%となっている。「肯定」のなかでも、消極的肯定が34.8%と大きい。

表5-2 日本教育制度について：元留学生地域別集計

質 問	回 答	北 米	南 米	西 欧	東 欧	中 東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
義務教育の年限が6・3制で十分に長いこと	肯 定	66.7	60.0	80.8	100.0	28.5		100.0	80.0	58.9	25.0
	否 定	33.3	40.0	11.5	0	28.6		0	17.1	11.8	50.0
義務教育での中途退学(dropout)が少ないこと	肯 定	100.0	80.0	61.5	0	28.5		33.3	82.9	41.2	50.0
	否 定	0	20.0	3.8	16.7	14.3		33.3	0	11.8	25.0
義務教育の教育内容が充実していること	肯 定	100.0	100.0	61.6	33.4	42.9		66.6	71.4	61.8	75.0
	否 定	0	0	15.4	16.7	0		0	5.7	0	25.0
高等学校以上の高等教育への進学率が高いこと	肯 定	100.0	100.0	84.6	100.0	57.1		66.7	88.5	73.6	75.0
	否 定	0	0	7.7	0	14.3		0	5.7	2.9	25.0
高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと	肯 定	100.0	80.0	61.5	50.0	50.0		66.6	71.4	41.2	50.0
	否 定	0	20.0	26.9	33.3	21.4		33.3	11.4	17.6	50.0
高等教育の内容が充実していること	肯 定	66.7	80.0	46.1	66.7	50.0		66.7	82.8	64.6	75.0
	否 定	33.3	20.0	15.4	16.7	0		33.3	8.6	2.7	25.0
高等教育への進学率を高めるだけの経済的余裕が父兄にあること	肯 定	33.3	80.0	53.8	83.3	64.1		66.7	85.7	52.9	50.0
	否 定	0	20.0	15.4	0	0		0	5.7	11.8	25.0
高等教育進学について奨学金制度が発達していること	肯 定	66.7	80.0	42.3	50.0	42.9		33.3	74.3	47.1	50.0
	否 定	0	0	15.4	0	7.1		0	8.6	11.8	0
国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	肯 定	100.0	80.0	69.2	100.0	57.1		66.7	94.3	55.9	75.0
	否 定	0	0	7.7	0	0		0	0	2.9	0
高等教育を積極的に進めることについて国民的関心が高いこと	肯 定	100.0	80.0	73.1	83.3	50.0		66.7	91.4	73.5	50.0
	否 定	0	20.0	7.7	0	0		0	2.9	0	25.0
高等教育を受けることが立身出世の条件として考えられてきたこと	肯 定	100.0	100.0	96.1	100.0	71.5		66.7	91.4	61.8	75.0
	否 定	0	0	0	0	7.1		0	8.6	23.5	25.0
個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	肯 定	100.0	60.0	69.2	83.3	64.3		66.7	82.9	70.6	75.0
	否 定	0	40.0	11.5	16.7	0		0	14.3	11.8	25.0

在日留学生の場合と比較して、「肯定」の回答率が46.7%から55.1%へと相当に上昇している事実は注目されるであろう。

#### ⑨「国の整備」

総計での回答率をみると、「肯定」の回答率は、75.4%、「否定」の回答率が2.2%である。「肯定」のなかでも積極的肯定が55.1%と大きい。

この項目に関しても、在日留学生にくらべて少々ではあるが、「肯定」の回答率が上昇している。特に、はっきりと「その通り」とした積極的肯定が、34.1%から55.1%へと上昇している点は注目されるよう。

#### ⑩「国民的関心」

総計での回答率をみてみると、「肯定」の回答率は、77.6%、また「否定」の回答率は3.6%となっている。「肯定」のなかでも積極的肯定が60.5%と非常に高い。

この項目に関しても前項と同様に、在日留学生の場合にくらべて「肯定」の回答率が少々上昇しているが、その中でも、「その通り」の比率が40.1%から60.9%へと大幅に上昇していることが注目される。

#### ⑪「立身出世」

総計での回答率をみてみると、「肯定」の回答率は、82.6%、そして「否定」の回答率が10.1%となっている。「肯定」のなかでも、積極的肯定が65.2%と非常に大きい。

在日留学生との比較は、前項と同じで、「肯定」はやや上昇しているが、そのなかでも「その通り」とする積極的肯定が46.4%から65.2%へと上昇していることが注目される。

#### ⑫「日本社会の体質」

総計での回答率をみてみると、「肯定」の回答率は、55.8%、「否定」の回答率は10.1%となる。「肯定」のなかでの積極的肯定は38.4%となっている。

在日留学生の場合に比較して、「肯定」の回答率は低下しているが、「その通り」とする積極的肯定は逆に上昇している点が注目される。

在日留学生の場合と同様に、「肯定」の回答率の順位にそって、12項目をならべてみよう。

第1位	立身出世	82.6%
第2位	高等教育への進学率	80.4%
第3位	国民的関心	77.6%
第4位	国の整備	75.4%
第5位	6・3制	69.6%

第6位	高等教育の内容	64.5%
第6位	経済的余裕	64.5%
第8位	義務教育の内容	62.4%
第9位	女子の進学率	57.9%
第10位	中途退学	57.4%
第11位	日本社会の体質	55.8%
第12位	奨学金制度	55.1%

各項目の順位は、ほぼ、在日留学生の場合と同じである。従って、元留学生の認識が在日留学生の場合と大きく変化している訳ではないということになる。つまり、日本の経済発展の要因としては、高等教育が最も重要であると認識されており、またそれは日本社会の条件とか日本人の性向に起因する、と認識されているのである。

在日留学生の場合と比較してちがいがみられるのは、第1に「6・3制」である。在日留学生の場合は、これが第9位で、「肯定」の回答率も57.4%であったが、元留学生の場合には、「肯定」の回答率が69.6%と上昇しており、順位も第5位に上昇している。「義務教育年限が6・3制で十分に長いこと」という事実の評価は、このように元留学生のなかの方でより高くなっているのである。さらに、義務教育に関する3つの質問全てに対して、元留学生の方が在日留学生にくらべて、より高い「肯定」の回答率を与えていることも注目される、これから日本での留学中は、自らの勉強している大学といった高等教育のことが強く意識されていたのに対して、帰国後では自分の国と比較して日本の義務教育の充実ぶりがより強く意識されるようになっている、と考えてよいのであろうか。

在日留学生との比較でもうひとつ注目しておく必要のある変化は、「個人的な能力さえあれば社会的指導者になれる」という社会の性質が進学意欲を高めているから」が在日留学生の場合には、「肯定」の回答率が63.8%で第6位を占めていたのが、元留学生の場合には、「肯定」の回答率が55.8%と低下して順位も第11位に後退していることである。この項目にみられるこの変化の原因は、必ずしも明らかではないが、この変化自体は興味深い。

## II 人口増加

### 1 在日留学生の回答

現在日本で勉学中の留学生が、日本の経済発展の要因として、人口増加についてどういいう見解をいただいているのだろうか。また、最近の日本で人口の低成長に対して、どういいう見解をいただいているのであろうか。こういった点を明らかにする目的で、日本の人口増加に関する質問をおこなった。

前節と同様に、まず質問の順に各項目ごとに留学生がどのように回答しているかをみていくことにする。

①「人口の規模が1億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと」(大規模生産)

人口の規模が日本に大規模生産を可能にさせた、という事実が日本の経済発展の要因として重要であると、留学生が考えているかどうかを質問してみた訳である。

在日留学生の総計でみて、「その通り」という回答は20.6%、「どちらかといえばその通りと思う」が26.9%、「そうは思わない」が33.7%、「なんともいえない」が6.7%、そして「わからない」が8.6%となっている。5つの回答肢のなかで最も回答率が大きかったのが、「そうは思わない」という「否定」の回答であった。

前節と同様に、「その通り」と「どちらかといえばその通りと思う」との合計を「肯定」の回答率として合計してみると、47.5%となり、「否定」の回答率33.7%を上回ることになる。

東アジア地域の留学生の回答では、「肯定」の回答率が41.5%と平均より低く、「否定」の回答率は42.6%と平均を大きく上回っている。東アジア地域には、中国が含まれるが、これらの留学生が、単に人口規模が大きいことだけが、経済発展の要因とはいえないとする見解をいただいていることがわかる。自国は人口が日本よりはるかに大きいにもかかわらず、日本のように経済発展はしていないので、人口規模が大きいことが日本の経済発展の要因とはいえないとする見解を、これらの留学生が抱いている訳である。

②「人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと」(子供の扶養負担)

この質問は、日本では人口増加率が現在のアジア諸国等に比較して低かったために、子供の扶養のためには資本がそれ程かからなかったために、余裕の出来た資金が経済

発展のための資本形成に向ったことが、日本の経済発展を早めた、とする考え方に  
関する留学生の見解を問うたものである。

回答の状況は、「肯定」の回答率は63.9%となる。但し、「その通り」とする積極的  
肯定は、26.4%に過ぎず、残りの37.5%は「どちらかといえばその通りと思う」とす  
る消極的肯定である。これに対して「否定」の回答率は、17.7%と低い。全体として、  
留学生は、子供の扶養負担が小さかったことが、日本の経済発展を速めた、とする認  
識をもっている、ととらえておいてよいであろう。

この質問に対する回答に関しては、南アジア・東南アジアからの留学生の回答は、  
「肯定」の回答率が平均より相当高くなっている。南アジア地域からの留学生におけ  
る「肯定」の回答率は、68.9%、そして東南アジア地域からの留学生の場合には、71.2  
%となっている。この結果はいうまでもなく、これら両地域では人口増加率が過去30  
年位の間非常に大きく、それが子供の扶養への出費をまねいて経済発展のための資本  
形成に資金がまわらない事態がみられるからであろう。両地域の留学生は、自国にお  
けるこのような状態と比較してみると、日本では人口増加率の低いことが経済発展の幸  
運な条件となっている、と考えているのであろう。

③「最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから」(出生率の低下)

この質問は、直接的に日本の経済発展の要因としての人口増加について聞いたもの  
ではない。従って、この質問に対する回答は、単純に、「日本では出生率が低くなった  
から人口増加率が低くなった」といえるかどうかに関する回答としてとらえられるべ  
きものであろう。

回答の状況は、留学生総計でみて、「肯定」の回答率は、76.0%に達している。そし  
て、積極的肯定も47.8%に達している。これはこの質問に対する回答としては、うな  
づけるところである。

④「出生率が低いのは」とするこの質問は、日本の人口増加率が何故低いかに関す  
る質問となっている。それは、経済発展の直接の要因としての人口増加についてたず  
ねたものではない。しかし、それ自体として重要な質問である。

④-1「家庭計画の考え方が普及しているから」(家族計画)

留学生総計でみて、「肯定」の回答は、78.7%で、「否定」の回答は、5.5%である。  
積極的肯定の回答率は、48.4%と大きい。この質問に関しては、地域別等で注目すべ  
き差異はみられない。

④-2「結婚年齢が高くなったから」(結婚年齢)

総数でみて、「肯定」の回答率は42.5%と低い。それも、積極的肯定は、13.5%にす

ぎない。「否定」の回答率は、32.8%と高くなっている。

地域別には、北米の留学生の「肯定」の回答率が52.3%、南アジアの留学生の回答率が53.4%と平均より高くなっている。

④-3 「優生保護法で産児制限が合法化されているから」(産児制限)

総数でみて、「肯定」の回答率は39.5%であるが、これは「わからない」とする回答率32.1%とほぼ同じである。

北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率は、57.2%、46.4%と総平均より相当高い。反対に東アジアの留学生へ「肯定」の回答率は38.4%と平均より少々ではあるが低い。特に、北米・西欧の留学生が、日本における出生率の低さの原因として、この産児制限を重要であるとしてらえている事実は、彼らの持つ文化ないし価値観に照らしてみても大変興味深い。

④-4 「社会保障制度の整備によって、老後を子供に頼ろうという考えが国民の間に少なくなったから」(社会保障制度)

総数でみて、「肯定」の回答率は、53.0%になり、「否定」の回答率は、14.5%である。但し、「肯定」のなかでは、消極的肯定が31.0%と大きい。

この質問に関しては、北米・西欧の留学生の回答で「否定」の回答率が、42.9%、33.3%と総平均を大きく上まわっている、それに対して、東アジアの留学生の「肯定」の回答率は、66.6%と平均を大きく上まわっている。東アジア諸国では、いまだに両親が老後は子供に頼ろうとする傾向が強く、それが出生率を高く維持し続けている原因となっている事態があるから、東アジアからの留学生の回答のなかでこのように「肯定」の回答率が高くなっているのであろう。

以上4項目の質問は、日本の出生率の低下原因に関するものであったので、「肯定」の回答率の順で、4項目を並べてみよう。

第1位	家族計画	78.7%
第2位	社会保障制度	53.0%
第3位	結婚年齢	42.5%
第4位	産児制限	39.5%

となる。「家族計画」の普及が、他の3項目に比べて、日本の人口成長率が低い原因として、留学生のなかで最も重要なものとして意識されていることがわかっていよう。ついで、「社会保障の整備」が重要と認識されている。「産児制限」は、それ程重要視されていないことが、読みとれよう。

表5-3 日本の人口増加について：在日留學生地域別集計

質 問	回 答	北 米	南 米	西 欧	東 欧	中 東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
人口の規模が一億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	肯 定	42.9	43.1	57.1	33.3	78.9	66.6	44.4	55.2	41.5	58.3
	否 定	23.8	31.4	28.6	33.3	10.5	11.1	31.1	26.8	42.6	33.3
人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	肯 定	52.3	51.0	50.0	33.3	42.1	88.9	68.9	71.2	63.6	41.6
	否 定	14.3	23.5	21.4	0	15.8	0	13.3	14.9	19.1	41.7
最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	肯 定	85.9	78.4	85.7	66.7	89.5	88.9	80.0	83.5	71.6	75.0
	否 定	0	5.9	3.6	0	0	0	4.4	5.4	9.4	16.7
1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、ことに1960年代の日本の経済成長を支えた	肯 定	57.2	50.9	64.3	66.7	63.2	77.8	51.1	54.8	43.6	83.3
	否 定	4.8	15.7	14.3	0	10.5	0	2.2	10.7	25.1	16.7
最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長を今後低下させるであろう	肯 定	28.6	13.7	25.0	0	31.6	22.2	33.3	13.8	10.8	33.4
	否 定	33.3	49.0	50.0	33.3	42.1	33.3	31.1	57.1	66.1	33.3
家族計画の考え方が普及しているから	肯 定	76.2	78.5	64.3	66.6	68.4	88.8	88.8	82.4	78.8	66.7
	否 定	9.5	7.8	7.1	0	15.8	0	0	2.7	6.7	16.7
結婚年齢が高くなったから	肯 定	52.3	23.5	42.9	33.3	52.6	33.3	53.4	43.7	40.5	50.0
	否 定	28.6	49.0	39.3	0	21.1	33.3	17.8	31.8	35.7	16.7
優生保護法で産児制限が合法化されているから	肯 定	57.2	33.3	46.4	33.3	36.9	55.5	24.5	40.2	38.4	41.6
	否 定	11.8	15.7	14.3	0	10.5	0	8.9	13.8	20.7	16.7
社会保障制度の整備などにより、老後を子供に頼ろうという考えが国民の間に少なくなったから	肯 定	14.3	31.4	32.2	33.3	42.1	33.3	28.9	49.0	66.6	16.6
	否 定	42.9	23.5	25.0	33.3	21.1	0	15.6	13.4	12.2	25.0

⑤「1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、ことに、1960年代の日本の経済成長を支えた」(1940年代の出生率)

この質問は、特に1960年代の日本の高度経済成長の要因として、労働者の供給増加という要因が重要であったか否か、に関する留学生の見解をきいたものである。総数でみて、「肯定」の回答率は、50.5%で、「否定」の回答率は、16.8%となっている。但し、「肯定」のなかで積極的肯定は17.3%にすぎない。

東アジア地域の留学生の回答のなかでは、「否定」の回答率が25.1%と平均より相当大きくなっている。これは、いうまでもなく、中国等の留学生が、労働供給の増加だけでは日本の1960年代の高度成長は説明しきれないと考えていることを示している。人口増加率の高い地域の留学生の見解を示すものとして、興味深い。

⑥「最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長率を今後低下させるであろう」(経済成長率の低下)

「肯定」の回答率は、15.3%であるが、そのなかでも消極的肯定が12.6%となっている。これに対して、「そうは思わない」という「否定」の回答率が、56.6%と過半数を超えている。

北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率は、28.6%、25.0%となっており、総平均の15.3%を大きく上まわっている。これは、人口成長率の低下、経済成長率の低下を経験している地域の留学生の見解を示すものとして、興味深い。これに対して、東アジアの留学生の「否定」の回答率は66.1%と平均より大きい。東アジアのように人口成長率が高くても経済成長が余りみられない地域の留学生は、日本でも人口成長率が低下しても経済成長率は落ちないであろうと考えていることになる。北米・西欧と東アジアとのこの対照は、興味深い。

## 2 元留学生の回答

### ①「大規模生産」

総計でみて、「肯定」の回答率は、58.0%、「否定」の回答率は29.0%である。

在日留学生と対比してみて、「肯定」の回答率が上がり、「否定」の回答率が低下していることがわかる。

地域別にみて、東アジアの留学生の「否定」の回答率が平均より大きいのは、在日留学生の場合と同様である。

### ②「子供の扶養負担」

総計でみて、「肯定」の回答率は、62.3%となる。但し、消極的肯定が34.8%と過半数を超えている。「否定」の回答率は、19.6%である。

在日留学生と比べてみて、ほぼ同様の回答状況といえる。地域別では、東南アジアの留学生の「肯定」の回答率が80.0%と平均より相当大きくなっている。この点も、在日留学生の場合と同様である。

### ③「出生率の低下」

総数でみて、「肯定」の回答率は、80.4%となっている。中でも、積極的回答率が53.6%と大きい。「否定」の回答率は7.2%にすぎない。この質問は、前の在日留学生のところで述べたような性格のものであるので、「肯定」の回答率がこのように高いのは、ある意味で当然のことであろう。

④「出生率」に関する4項目は前述の通り、日本の人口成長率が低かったことの原因に関する質問である。各項目別にみていこう。

#### ④-1「家族計画」

総数でみて、「肯定」の回答は、82.6%であり、また積極的回答率は、54.3%となっている。これに対し「否定」の回答率は、5.1%にすぎない。

総数でみても、在日留学生の場合とほぼ同様であるといえる。また、地域別にも興味深い差異はみられない点も、在日留学生の場合と同様である。

#### ④-2「結婚年齢」

総数でみて、「肯定」の回答率は、42.0%である。それも、消極的肯定が26.8%と圧倒的に高い。これに対して、「否定」の回答率が33.3%となっている。

傾向は、在日留学生の場合とほとんど変化がない。しかし、東アジアの留学生の「否定」の回答率が41.2%となっており、総平均の「否定」の回答率33.3%より10%程度大きくなっている。

#### ④-3「産児制限」

総数でみて、「肯定」の回答率は、43.5%となる。但し、消極的肯定が25.4%と過半数を超えている。これに対して、「否定」の回答率が、20.3%に達している。

在日留学生の場合と「肯定」の回答率は、ほとんど差がない。また、北米・西欧の留学生に比べて、東南アジアからの留学生の「肯定」の回答率が大きくなっている点も、在日留学生の場合と同様である。

#### ④-4「社会保障制度」

総数でみて、「肯定」の回答率は46.4%である。但し、消極的肯定が29.0%と過半数を超えている。「否定」の回答率は、17.4%である。

表5-4 日本の人口増加について：元留学生地域別集計

質 問	回 答	北 米	南 米	西 欧	東 欧	中 東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
人口の規模が一億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	肯 定	33.3	40.0	73.1	50.0	28.5		100.0	74.3	44.1	50.0
	否 定	33.3	40.0	15.4	33.3	28.6		0	17.1	50.0	25.0
人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	肯 定	66.7	60.0	61.5	66.7	50.0		66.7	80.0	55.9	75.0
	否 定	0	40.0	11.5	16.7	14.3		0	11.4	32.4	25.0
最近の人口増加率が低くなったのは、出生率が低くなったから	肯 定	66.6	80.0	80.8	100.0	78.6		66.7	85.7	76.4	75.0
	否 定	0	20.0	3.8	0	7.1		33.3	2.9	11.8	0
1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、ことに1960年代の日本の経済成長を支えた	肯 定	33.3	40.0	61.6	50.0	64.3		66.7	68.5	29.4	75.0
	否 定	33.3	60.0	7.7	16.7	14.3		0	17.1	23.5	0
最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長を今後低下させるであろう	肯 定	0	20.0	42.3	16.7	14.3		66.6	22.8	17.6	50.0
	否 定	33.3	60.0	30.8	66.7	57.1		0	65.7	64.7	25.0
家族計画の考え方が普及しているから	肯 定	66.7	100.0	69.3	83.3	92.8		66.6	88.6	82.4	100.0
	否 定	0	0	3.8	0	0		0	11.4	5.9	0
結婚年齢が高くなったから	肯 定	33.3	20.0	50.0	16.7	14.3		66.7	62.9	26.4	75.0
	否 定	0	80.0	23.1	33.3	57.1		0	28.6	41.2	0
優生保護法で産児制限が合法化されているから	肯 定	33.3	20.0	46.2	33.3	14.2		33.3	62.9	38.2	75.0
	否 定	0	40.0	26.9	0	14.3		33.3	17.1	23.5	0
社会保障制度の整備などにより、老後を子供に頼ろうという考えが国民の間に少なくなったから	肯 定	33.3	40.0	30.7	16.7	14.2		33.3	68.6	61.8	50.0
	否 定	0	40.0	19.2	16.7	35.7		33.3	11.4	11.8	0

在日留学生の場合に比べて、「肯定」の回答率が少々低下している。しかし、北米・西欧の留学生の「否定」の回答率が高く、また東南・南アジアの留学生の「肯定」の回答率が高いことは、在日留学生の場合と全く同様である。

以下4項目全体として、「肯定」の回答率の順で順位をつけてみると、

第1位	家族計画	82.6%
第2位	社会保障制度	46.4%
第3位	産児制限	43.5%
第4位	結婚年齢	42.0%

となってくる。在日留学生の場合と、産児制限と結婚年齢の順が逆になっているが、「肯定」の回答率そのものにこの両者はほとんど差がないので、在日留学生の場合と大きく見解が変化したものとはいえない。日本の人口成長率が低い原因に関しては、元留学生と在日留学生との間では、見解の差はほとんどないといえる。

#### ⑤ 「1940年代の出生率」

総数でみて、「肯定」の回答率は、55.8%である。但し、「その通り」とする積極的  
回答は、24.6%にすぎない。「否定」の回答率は、17.4%である。

在日留学生の場合と全く同様に、東アジア地域の留学生に「否定」の回答が多い。

#### ⑥ 「経済成長率の低下」

総数でみて、「そうは思わない」という「否定」が53.6%であり、過半数を占めている。これに対して、「肯定」の回答は、24.7%にすぎない。それも消極的肯定が16.7%と圧倒的である。この点は、在日留学生の場合と全く同様である。

### III 労働制度

#### 1 在日留学生の回答

在日留学生が、日本の経済発展の要因として日本の労働制度についてどのような見解をもっているかを知る目的で、4項目の質問をしてみた。質問の順に、その回答の状況をみていこう。

#### ① 「日本人は本来勤勉で労働の密度が高いこと」(日本人の勤勉性)

前節、前々節と全く同様に、回答を「肯定」「否定」の回答として集計してみよう。

「肯定」の回答は、89.8%にも達している。その中でも、積極的肯定が64.7%となっている。「そうは思わない」というはっきりとした「否定」は3.7%にすぎない。

サンプルが少ない東欧で「否定」が33.3%となっているが、これをのぞくと、いずれの地域の出身者も、ほぼ「肯定」の回答をしていることがわかる。これは、日本人に対するひとつの典型化されたイメージであるが、在日留学生もはっきりとこの典型化されたイメージを抱いていることがわかる。

②「日本には身分意識が少なく上下の差別なくよく働く」(身分意識)

総数でみて、「肯定」の回答率は48.5%である。その中でも、消極的肯定が、28.2%と過半数をこえている。「否定」の回答率は、36.9%である。

地域別では、北米・西欧の留学生の「否定」の回答率が、52.4%、50.0%と総平均より相当大きくなっている。北米・西欧の留学生の目には、日本にも身分差別がある、と映っているのであろう。これに対して、南アジアの留学生の「肯定」の回答率が71.1%と平均より非常に高い。母国でカースト制をもつ南アジアの留学生が、このように、日本には身分差別がないと考えていることは、非常に興味深い。

③「週45時間の長時間労働の体制になっているから」(長時間労働)

総数でみて、「肯定」の回答率は、60.9%となる。積極的肯定・消極的肯定はそれぞれほぼ半々である。「否定」の回答率は、15.3%と低い。

この項目に関しては、「身分意識」の項とは全く反対に、北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率が80.9%、82.1%と平均より相当大きくなっている。北米・西欧での企業に対比して、日本型経営が長時間労働体制になっている、という見解が示されているのである。これに対して、東アジアの留学生の回答では、「肯定」の回答率が56%と平均より低く、また「否定」の回答率が21.9%と平均より高い。中国・韓国の留学生は、自国の企業に比べて、日本は決して長時間労働体制であるとはいえない、とする見解をいだいている訳である。北米・西欧の留学生と東アジアの留学生との間にみられるこの対照は、興味深い。

④「労働組合が企業別組合であり、ストライキが少ないから」(企業別労働組合)

総数でみて、「肯定」の回答率は、60.5%となる。そのなかでは、消極的肯定が32.8%であり過半数をこえている。そして、「否定」の回答は、13.8%である。

この項目には、東アジアの留学生の回答で「肯定」の比率が55.3%と平均より少々低くなっている。東アジアでも、ストライキは少ないが、経済発展は日本ほどではない、とする見解を留学生が抱いているのであろう。

以上4項目を、「肯定」の回答の順で整理してみよう。

表5-5 日本の労働制度：在日留学生地域別集計

質問	回答	北米	南米	西欧	東欧	中東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
日本人は本来勤勉で労働の密度が高いこと	肯定	85.7	90.2	96.4	66.6	89.5	77.8	95.6	89.7	90.9	75.0
	否定	4.8	5.9	0	33.3	5.3	0	2.2	3.4	3.5	16.7
日本には身分意識が少く上下の差別なくよく働くから	肯定	23.8	43.2	39.3	66.6	57.9	55.5	71.1	55.2	42.6	25.0
	否定	52.4	39.2	50.0	0	15.8	11.1	20.0	28.7	45.9	58.3
週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	肯定	80.9	51.0	82.1	100.0	84.2	44.4	73.4	61.3	56.0	58.4
	否定	4.8	13.7	7.1	0	0	11.1	6.7	12.6	21.9	41.7
労働組合が企業制組合でありストライキが少ないから	肯定	66.7	62.8	71.5	100.0	78.9	55.5	73.4	62.5	55.3	75.0
	否定	14.3	5.9	14.3	0	0	0	0	11.5	19.6	8.3

- 第1位 日本人の勤勉性 89.8%
- 第2位 長時間労働 60.9%
- 第3位 企業別労働組合 60.5%
- 第4位 身分意識 48.5%

この順位それ自体は、大層興味深い。まず、留学生は、日本の経済発展は「日本人が本来勤勉で労働の密度が高い」ことに帰因している、と非常に強く認識していることがわかる。ついで、「週の労働時間」とか「労働組合理制」とかの制度的条件が重要であると認識されている。そして、最後に、「日本は身分差別のない社会」であるから経済発展が可能となった、とする認識は半分以下の留学生によってしか支持されていないのである。

全体として、やはり日本人の労働性向が日本の経済発展を支えたとする認識が一番強く認識されている訳であるが、この点は興味深い事実である。

## 2 元留学生の回答

在日留学生と全く同様の質問を、元留学生に対してもおこなった。在日留学生の場合と同様に、回答をまず質問の順にみていこう。

### ①「日本人の勤勉性」

元留学生の総数でみて、「肯定」の回答率は、89.9%である。それも、積極的肯定が73.2%と圧倒的である。これに対して、「否定」の回答率は3.6%にすぎない。この傾向は、在日留学生の場合と全く同様である。地域別では、南アジアで「肯定」が66%

と少々平均より低下している点が目につくだけで、あとの地域の留学生は共通して、この質問に対して「肯定」の回答をよせていることがわかる。

#### ②「身分意識」

総数でみて、「肯定」の回答率は、54.4%であり、そのなかで積極的肯定は、28.3%と過半数をほんの少し上回っている程度である。これに対して、「否定」の回答率は29.0%である。

在日留学生の場合に比べて、「肯定」の回答率は少々上昇し、「否定」の回答率は少々低下している。在日留学生の場合と同様に、北米・西欧の留学生の回答で「否定」の回答率が大きい。それぞれ67.7%、30.8%となっている。

#### ③「長時間労働」

総数でみて、「肯定」の回答率は、68.1%である。それも、積極的肯定が36.2%と過半数をこえている。これに対して、「否定」は、15.9%である。

在日留学生の場合と比べて、「肯定」の回答率は上昇している。

在日留学生の場合と同様に、北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率が平均より高い。それぞれ、100%、80.7%である。これに対して、東アジアの留学生の「肯定」の回答率は、47.1%と平均より低く、また「否定」の回答率は、23.5%と平均より高い。北米・西欧の留学生と東アジアの留学生の間でみられるこの対照は、在日留学生の場合と全く同様である。

#### ④「企業別労働組合」

総計でみて、「肯定」の回答率は68.9%であり、積極的・消極的肯定はほぼ半半である。

在日留学生の場合に比べて、「肯定」の回答率が少々上昇している。地域別にみても、北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率が100%、76.9%と非常に高くなっている。在日の留学生の場合には、こういう傾向がみられなかったことを考えるとき、北米・西欧の元留学生がこの項目に「肯定」の回答をよせていることは、きわめて興味深い。このことは、日本での留学中に比べて、母国に帰国してからの生活の中で、日本の企業別組合制とか、それによるストライキの少なさをより強く意識しはじめたことを示している、と受け取っておいてよいのではなかろうか。在日留学生の場合と同様に、東アジアの留学生の「肯定」の回答率は、平均より低い。

以上4項目にわたる質問を、在日留学生の場合と同様に、全体として「肯定」の回答率の順で整理しておこう。

第1位 日本人の勤勉性 89.9%

第2位	企業別労働組合	68.9%
第3位	長時間労働	68.1%
第4位	身分意識	54.4%

在日留学生の場合と、「企業別労働組合」と「長時間労働」の順位が入れかわっているが、これはその「肯定」の回答率がほぼ同じなので、それ程意味のある逆転ではない。「日本人の勤勉性」が最も強く肯定され、そして「身分意識」には否定が多いというこの留学生の認識のパターンには、在日留学生の場合とくらべて変りがない訳である。やはり、「日本人の働き者という性向」が、経済発展の最重要原因として意識されているのである。

#### IV 人的能力の開発

以上、日本の経済発展の要因として、教育制度・人口増加・労働体制についてのいくつかの項目に関する留学生の見解を整理してみた、これらの質問を一般的に支えるという意味をまとめる意図で最後に、留学生に対して、「人的能力の開発は経済発展の重要な原因のひとつである、という考え方に同意するか否か、を質問しておいた。

まず在日留学生の回答状況であるが、それは総計でみて以下の通りである。

その通りと思う	80.1%
必ずしもその通りとは思わない	12.6%
まちがっている	0.8%
なんともいえない	1.2%
わからない	1.1%

この中で「その通りと思う」を「肯定」の回答、そして「必ずしもその通りとは思わない」と「まちがっている」を「否定」の回答ととらえると、「肯定」の回答率が、80.1%、そして「否定」の回答率が13.4%となる。全体として、「肯定」の回答率が圧倒的に大きい。これは、留学生が、経済発展には人的能力の開発が重要であることを強く認識していることを明らかにしてくれる。

男女別・在籍別また専門別いずれの場合にも、ほぼ共通して「肯定」の回答率が圧倒的に大きい。

表5-6 日本の労働制度：元留学生地域別集計

質 問	回 答	北 米	南 米	西 欧	東 欧	中 東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
日本人は本来勤勉で労働の密度が高いこと	肯 定	100.0	80.0	84.6	100.0	92.8		66.6	94.3	94.1	75.0
	否 定	0	20.0	3.8	0	0		0	0	0	25.0
日本には身分意識が少く上下の差別なくよく働くから	肯 定	33.3	40.0	38.4	66.6	64.3		66.6	60.0	64.7	25.0
	否 定	66.7	40.0	30.8	0	14.3		0	28.6	29.4	75.0
週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	肯 定	100.0	60.0	80.7	50.0	78.6		66.6	77.2	47.1	100.0
	否 定	0	40.0	7.7	0	14.3		0	14.3	23.5	0
労働組合が企業組合であり、ストライキが少ないから	肯 定	100.0	80.0	76.9	83.3	64.3		100.0	65.7	58.8	75.0
	否 定	0	20.0	7.7	0	14.3		0	22.9	20.6	0

表5-7 人的能力：在日留学生地域別集計

質 問	回 答	北 米	南 米	西 欧	東 欧	中 東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
「人間能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方についてあなたは同意しますか	肯 定	61.9	64.7	71.4	66.7	57.9	66.7	7.3	78.9	87.6	41.7
	否 定	23.8	33.4	25.0	33.3	36.9	22.2	17.8	12.6	7.1	58.3

表5-8 人的能力：元留学生地域別集計

質 問	回 答	北 米	南 米	西 欧	東 欧	中 東	アフリカ	南アジア	東南アジア	東アジア	その他
「人間能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方についてあなたは同意しますか	肯 定	66.7	80.0	84.6	83.3	92.9		100.0	77.1	82.4	75.0
	否 定	33.3	20.0	11.5	0	7.1		0	20.0	14.7	25.0

前節までと同様に留学生の出身地域別に、「肯定」「否定」の回答率をみていくとき、北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率が61.9%、71.4%と、全体の平均より低くなっている点が注目される。このひとつの原因は、アンケートの英語での質問がdevelop individual potentialとなっていたことであろう。日本語での「人的能力の開発」という概念とこの英語とのずれが、「肯定」の回答率を低下させたのではなかろうか。このことは、自由に意見を記入してもらったなかでも、明らかになっている点である。この点を一応別にするとき、いずれの地域の留学生も一般的には、経済発展にとって人的能力の開発が重要であることには同意している、と整理しておいてよいであろう。

元留学生の場合は、その回答の状況は以下の通りである。

その通りと思う	81.2%
必ずしもその通りとは思わない	14.5%
まちがっている	1.4%
なんともいえない	0%
わからない	7%

「肯定」は、81.2%、「否定」は15.9%という結果である。在日留学生の場合と同様に、北米・西欧の留学生の「肯定」の回答率が平均より低い、この原因も在日留学生の場合と同様であろう。全体として、元留学生も圧倒的に、経済発展には人的能力の開発が重要であると考えていることは確かである。

## V 日本の社会経済に関するその他の意見

以下、本節ではアンケートのなかで、留学生に自由に意見を記入してもらった箇所から、報告しておくべき価値がありそうだと判断したものをひろいあげてみることにする。その時特に、5肢選択の形での質問からの回答とは違う意見に焦点をあてることにする。留学生は、日本語と英語のいずれかで回答をよせている。日本語でかかれた回答は、日本語を修正せずにはほそのまの形にしておく。これは、留学生（元留学生も含む）の日本語能力を示しておきたいからである。全体として、日本語で回答した留学生の日本語能力は、なかなかのものであることがわかっていく。英語で示された回答は、日本語に翻訳して、示すことにする。

尚、各回答の後にカッコ内で、在日留学生か、元留学生か、及び留学生の出身地域

ないし国名を示しておく。

## 1 教育制度

5肢選択の形での質問に対する回答を整理した結果としての留学生（在日、元を含む）の日本の教育制度に関する見解は、ほぼ以下の通りに要約しうる。

日本の経済発展の要因としては、「高等教育への進学率が高い」という事実が一番重要視されていた。そしてその原因としては、「高等教育への国民的関心が強い」とか「高等教育を受けることが立身出世の条件とされている」とする点が最も重要と判断されており、「高等教育のための奨学金制度の整備」という条件は、「肯定」の回答率でみて最下位に位置していた。「高等教育」に対するこの強い「肯定」に対比してみると、「義務教育」の内容とか整備は、日本の経済発展の要因として、留学生によって必ずしも「肯定的」に評価されていない結果がみられている。

さて、自由記入の意見のなかには、「学位さえあれば、社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めている。」（日本語回答、元、韓国）といったように、ほぼ上記の結果を追認させるような回答もみられた。しかし、以下、5肢選択の質問に対する回答結果とは、少々違った意見をひろい出してみよう。

・「とくに強調したいのは、義務教育のレベルが高いこと」（日本語回答、元、タイ）といった意見のように、留学生全体の見解とは少々違って、日本における義務教育を重視する意見もあった。

以下、問題の意見を少しずつ整理してみよう。

日本人の教育に対する考え方

- ・ 戦前教育を受けた人々に国を報いる意識が強かったため、国民が戦後、自分・個人の利得を考えずによく働いたこともその主な要因であったと思う。（日本語回答、在日、東アジア）
- ・ 日本の発展はもちろん全国国民の努力ですが、しかし、歴史的の background でも重要な原因である。僕見た日本社会は step がはっきり別れるが、彼も一流社会入りたい。この競争と面子問題かけたそうです。個人的な能力、しらないけど、本当に人間交際・人間関係が重要な positoin。（日本語回答、在日、北米）
- ・ 学問に対する東洋的思考がこわされないで保存されたのが、一つの重要な要因である。（日本語回答、元、東アジア）
- ・ 日本では、教育のことを考えすぎている。それが、日本の家庭に大きなプレッ

シャーをかけすぎている。(在日, 西欧)

- ・ 日本の教育システムは、未成熟な大学生をうみ出しすぎているようだ。(在日, 北米)
- ・ 日本の教育の発展は、日本の非軍事政策にもとづくところが大きいのではないか。(元, 東南アジア)

## 2 人口増加

5肢選択肢による、この項目に関する質問への回答は、ほぼ以下の通りであった。

「人口増加率が低かったので子供の扶養負担が小さかったから」とする項目への「肯定」の回答率が一番大きい。「子供の扶養負担が小さかったので、経済的生産活動に資本がまわされたことが、日本の経済発展を支えた」とする見解を多くの留学生が抱いている訳である。これ以外の質問、例えば「人口規模が大きかったので大規模生産が可能になった」という人口の市場規模への効果に関しては、「肯定」の回答率は低く、特に人口の多い中国を含む東アジア地域の留学生の回答でははっきりとした「否定」の回答が多かった。また、日本の人口増加が小さかった原因に関しては、「家族計画の普及」に対する「肯定」の回答率が一番高く、ついで、「社会保障制度の充実」「結婚年齢の上昇」がきて、「優生保護法による産児制限」に対する「肯定」の回答率は最下位となっている。

以下、少々整理して、留学生の意見をみていこう。

- ・ 現在の人口ゼロ成長は、日本の経済力だけでなく、国家の安全保障を維持することも、困難にするであろう。(元, 西欧)

日本の現在の低人口成長率の原因について

- ・ 私の考えは正しくないかもしれないが、人口増加率低下の原因は、やはり社会構造である。厳しい社会、社会の圧力とか、収入不足、支出多すぎるとか物価が高くなって税金が高いと思いますが、子供の教育、いろいろお金がかかりますが、人口は都市に集結して、空間が少なくなった。(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 日本で出生率が低いのは、中産階級の生活が苦しくて子供を多く持つ余裕がないからだ。(在日, 西欧)
- ・ 農業的文化から、都市的な高度産業国家になると、その国土も人口増加率は下ると思います。(日本語回答, 元, 東アジア)

日本の現在の低人口成長率の影響に関して

- ・ これから高齢化の社会になるため、日本の出生率の低下が続くと、老人の扶養負担が大きくなるであろう。そのことで、日本の経済が影響されるであろう。  
(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 消費者が減少傾向になるが、ハイ・テックも利用しながら、労働者が減少しても、産業の生産は低下しないだろう。(日本語回答, 在日, 東南アジア)
- ・ 低い子供扶養が日本の経済成長をもたらしてきた。しかし、そのことが、かえって将来経済の低下をもたらすことになる可能性がある。なぜなら、将来若者と老人とのバランスが大きく崩れる。つまり老人の数が若者の数に対して著しく膨れ上がり、生産力の低下を引き起こすからである。(日本語回答, 元, 東アジア)
- ・ 出生率が低下する反面、老人数が増加。高齢化社会になると、労働人口が減るのが、経済成長に影響あると思います。(日本語回答, 元, 東アジア)

それ以外の意見

- ・ 明治維新以後、日本人が良い国民性を身につけたからである。譬えば、仕事に熱中、集団性、きちんとしている礼儀など。(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 人口要因よりは、日本の労働者の仕事に対する態度が、経済発展には重要である。(在日, 西欧)
- ・ 日本の経済発展は、人口には直接関係がない。人口以上に、輸入関税の方が重要である。(在日, 東南アジア)
- ・ 日本の経済発展にとって最も重要な原因は、世界の平和であったと思う。(在日, 東アジア)

### 3 労働体制

5肢選択肢による質問への回答にあらわれた留学生の意見は、ほぼ以下のように整理できる。

「日本人が本来勤勉である」ことが経済発展の要因として重要であるとする回答が「肯定」の回答率でみて第1位である。ついで、「長時間労働体制になっていること」並びに「企業別労働組合であるのでストライキが少ないこと」が、ほぼ同程度の「肯定」の回答率を示している。そして、「日本には身分意識がないので日本人はよく働く」とする項目は、過半数を割る「肯定」の回答率しか得ていない。特にこの最後に関しては、北米・西欧の留学生の回答の中に「否定」が多かった事が注目される。

#### 5 肢選択と類似の意見

- ・ 日本人は「会社のためなら」という意識が強いため→モーレツ社員、(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 終身雇用制で安定が保障され, 充実に働ける, (日本語回答, 在日, 東南アジア)
- ・ 日本における終身雇用制が, 労働者を熱心に働かせるのだと思います。(在日, 北米)
- ・ 日本の労働組合は, 企業単位の「共同体」なので, ストライキが少ないのは, 当たり前ではないか。(在日, 西欧)
- ・ 日本流のチームワークが最も重要。(元, 北米)

#### それ以外の意見

- ・ 面子(メンツ)が重視されるから。先進国にならないと自分を許せない国民意識。(日本語回答, 在日, 西欧)
- ・ 日本の労働者が熱心に働くのは, 資格がなくなって飢えることを恐れているからである。(在日, 南アジア)
- ・ 奉公と言う伝統的思想が, 底流に流れておるのも, 一つの要因だと思われます。(日本語回答, 元, 北米)
- ・ 日本には, 階級差別がないことは事実でしょうが, それ故に日本人がよく働くのではないと思います。やはり, 日本人の行動様式が重要なのだと思います。(元, 北米)

#### 4 経済発展と人的能力

この質問は, 前記3項目の質問に比べてその質問の内容が非常に広い。従って, その回答も実に多様であった。そこで回答を, 日本でみられる人的能力の開発に関する意見と, より一般的な意見とに大別してみよう。

#### 日本での人的能力に対する意見

- ・ 若者に思想上, 倫理観念上, もっと考えさせる。そして, 自己がどんな責任を負わなければならないのかが, 分ってくるでしょう。(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 基本的な考え方に問題があると思います。日本では「人並がいい」が評価されるようです。「無難と思わなくなること, それを評価しないこと, groupから解放すること, 個性を認めること, 一人でいられること, 人が大きくなること, 神経質でないこと」は評価されない。前向きな人間よりも“足並みをそろそう”

方が評価される状態の中では、人的能力の発展は難しい。(日本語回答, 在日, 東南アジア)

- ・ 日本もある程度、学歴社会であるが、素質を持っている人がいたなら積極的に開発させるべきで、もしその人が中卒であるとしても、尚ことのため、何か影響されることなしに十分実力を発揮できるような、社会的認識が必要である。日本は、経済が発達したわりにまだ学歴がものをいう社会であると思う。年功序列制度、終身雇用制度は長所も多いが、例え若い社員が能力があっても発揮できないのが残念である。(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 伝統的な教育を打破る。IQの高い子供が別な教育すること。この点についてはやっぱりアメリカの方が良く出来ている。子供達のIQは押えるではなく、自由に思考や発展させるわけである。(日本語回答, 在日, 北米)
- ・ 日本の社会は年功序列の社会だとよく言われていますが、それによってエリート社員の能力が往々にして抹殺されることもあるでしょう。どのようにしてエリート路線をこの年功序列路線の中に組み入れたらよいかは、一考に値するでしょう。(日本語回答, 在日, 東アジア)
- ・ (1)年功序列制度を見直すこと  
(2) 学歴社会を見直すこと  
(3)あらゆる人に対して無差別にその人の持っている特長を伸ばし、発揮させるような環境を与える。(日本語回答, 在日, 西欧)

ところで、日本語での質問が「人的能力の開発」となっていたのに対して、英文での質問は、develop individual potential となっており、少々意味が違っていた。しかし図らずもこのことから、日本人に対する興味深い意見がみられたので、少々ひろい出しておこう。

- ・ 日本では、集団志向が強くて、個人の自立心を養う教育がされていない。(在日, 西欧)
- ・ 日本では、全体との調和が重視されて個人の能力は、隠されたままにされている。(在日, 北米)
- ・ 個人の発達、経済成長以上に重要な社会の課題である。(在日, 西欧)
- ・ 個人の発展とは、自己のモラルの発展の問題だと思います。従って、単なる公式的な教育システムだけでは、充分ではないと思います。(在日, 北米)
- ・ 個人主義こそ最優先されるべきで、年功序列制は廃止されるべきです。(在日, 東南アジア)

それに関連する今後の課題としては、まず、日本の社会全体で、個性、独創性及び独立的な思考力を開発させるだけの空間を造るということではないかと思えます。私の感じとしては、日本は確かに個性に欠けた社会だと思えます。

(元, 北米)

#### 一般的な意見

- ・ 全国民に必死に勉強、向上意志を持たせること。ダメな面、会社、社会を許さないことの意識を持たせれば、自ら開発できる。だからまず「やる気」です。  
(日本語回答, 在日, 東アジア)
- ・ 教育制度を充実させて、ただの一般高校の教育だけでなく、いろいろな専門分野の技術的訓練も行なって、皆もできるだけ自分に適する教育チャンスを与えること。(日本語回答, 在日, 東南アジア)
- ・ 人にそれぞれ持っている専門知識にふさわしい仕事をさせて、それぞれの能力を発揮させることが必要だと思うんです。(日本語回答, 在日, 東アジア)
- ・ 政府政策と社会環境が大切だと思う。(日本語回答, 元, 東アジア)
- ・ これは人間の優秀潜在能力を意味するので、これは教育を通じて再開発しなければならない事で、まず目標設定をして最大な開発促進のためには、より持続的で効率的なれるか、国際的な開発が必要である事、先進国と開発途上国間相互に人的交流を通じて、知識以前に広い分野の面から広大開発を意味する。例えば、相互内の文化・歴史・国民性などから、対話と接触が多いほど長く深くお互いの発展にのぞましい。(日本語回答, 元, 東アジア)
- ・ 対象の知的水準に応じて専門教育を施し、且つ自主的に group study するよう側面支援すべきでしょう。(日本語回答, 元, 東南アジア)
- ・ 後進国あるいは発展途上国においては、自国内の人的能力開発は限界があると思う。従って、先進国の政府がより多くの奨学金を出して、発展途上国の留学生を受入れ教育するのが望ましいと思う。(日本語回答, 元, 東南アジア)
- ・ 社会的に、企業的に、人々が能力の高い人の研究などに十分に支持しなければなりません。つまり、人は、自分の才能を十分に発揮するような経験を提供すべきです。つまり「人尽其材、物尽其力」非常に重要だと考えています。(日本語回答, 元, 東アジア)

## 結 び

1 日本の経済発展の要因としての教育制度に関する在日留学生の見解を、質問事項への「肯定」の回答率の高さで順序づけてみると、「高等教育を受けることが立身出世の条件とされている」とか「高等教育への国民的関心が強い」といった高等教育に関する項目が最上位を占めている。ついで、「国が高等教育を整備している」とか「高等教育の内容が充実している」といった項目がくる。「義務教育が6・3制で長い」といった義務教育に関する項目は下位にきている。そして、「高等教育への奨学金制度の充実」は最下位となっている。

元留学生の回答状況も、ほとんど在日留学生の場合と変化がない、しかし、「義務教育」に関する項目への「肯定」の回答率が、在日留学生の場合よりやや増大している点は、注目されるべきであろう。

2 日本の経済発展の要因としての人口増加に関する在日留学生の見解をみてみると、「人口増加率が低かったので子供の扶養負担が小さかったから」とする項目への「肯定」の回答率が一番大きい。「子供の扶養負担が小さかったので、経済的生産活動に資本がまわされたことが、日本の経済発展を支えた」とする見解を多くの在日留学生が抱いている訳である。これ以外の質問、例えば「人口規模が大きかったので大規模生産が可能になった」という人口の市場規模への効果に関しては、「肯定」の回答率は低く、特に人口の多い中国を含む東アジア地域の留学生の回答でははっきりとした「否定」の回答が多かった。また、日本の人口増加が小さかった原因に関しては、「家族計画」の普及に対する「肯定」の回答率が一番高く、ついで「社会保障制度の充実」、「結婚年齢の上昇」がきて、「優生保護法による産児制限」に対する「肯定」の回答率は最下位となっている。

元留学生の回答は、在日留学生の回答状況と全く同様である。

3 経済発展の要因としての労働体制に関する在日留学生の見解においては、「日本人が本来勤勉である」ことが経済発展の要因として重要であるとする回答が、「肯定」の回答率でみて第1位である。ついで、「長時間労働体制になっていること」ならびに「企業別組合であるのでストライキが少ないこと」が、ほぼ同程度の「肯定」の回答率を示している。そして、「日本には身分意識がないので日本人はよく働く」とする項目は、過半数を割る「肯定」の回答率しか得ていない。特にこの最後に関しては、北米・西欧の留学生の回答の中に「否定」が多かったことが注目される。

元留学生の回答の傾向は、在日留学生のそれとほぼ同じである。

4 「経済発展には、人的能力の開発が重要である」と考えるか否かという一般的質問に関しては、圧倒的に多くの在日・元留学生が、その通りと思うとする「肯定」の回答を与えている。この点で、留学生ははっきりと経済発展に対する人的能力の開発の重要性を認識しているといつてよい。

5 「その他の意見」は、実に多様である。特にその中でも、北米・西欧の留学生が、日本の教育体制は個人の独立性を必ずしも伸ばしていない、とする意見を多く述べていた点が、注目されよう。

(原 洋之介)



## 第 6 章 提 言





## 第6章 提 言

### I 留学生来日の流れをつくることが基本

(1)「21世紀への留学生政策に関する提言」は、「国が主体生を持って、……国費留学生の受け入れを拡充するとともに、これを牽引力として私費留学生の来日が1つの流れとなって定着するような留学生の学習上、生活上の条件整備が必要である」として、21世紀へ向けてのわが国留学生受け入れ政策の展望を行なっているが、以上のアンケート調査の結果はまさにこれを裏付けるものと見得る。わが国への留学生来日には性格上2つのものがあることは既述したが、そのいずれも教育の国際交流推進の観点から望ましいものであることというまでもない。しかも、その流れが気運として、最近の日本の経済発展、科学、技術の進歩を背景として次第に高まりつつあることも事実である。来日の動機を語る留学生の声、日本留学への評価は全体としてそれを裏付ける。

(2) しかし、それがなお着実な流れとして定着し得ていないことも亦事実である。途上国学生の4分の1が日本を第1順位の留学先として考えなかったという事実がこれを語る。また、国費による留学生招致数に対するその他留学生の割合がわが国の場合、アメリカ、フランスにくらべてはもちろん、イギリス、西ドイツにくらべても格段に低いという事実も間接にこれを裏付けるものであろう。これは逆にいえば、それだけ牽引力としての国費留学生招致の重要性を語るものとも見得る。

事実、日本語能力、家族関係を通ずる経済力の判断等からして、文部省留学生としての奨学金受給があることによってはじめて来日、留学が可能となったと思われる国費留学生が少なくないのである。しかも、それら国費留学生は帰国後、研究、教育、行政等母国での要職につき、日本語使用の機会も多いものが少なくないという。これが日本への留学推進のための牽引力となるであろうことというまでもない。自らも再留学の機会を日本に求めている者の多いこと、上述に見る通りである。

(3) そこでまず、国費留学生招致の拡充とともに、その学習条件、生活条件の整備について特段の配慮を行ない、牽引力としての役割が一層効果的に果されるようになることを期待したい。学習条件、生活条件の整備については、以下に述べる留学生一般のそれと基本的に同じであるが、なお、特に招致された学生の立場として次の諸

点への配慮が望まれる。

① 奨学金支給の安定 現行では修士、博士号の学位取得目的の有無如何を問わず、一応2年を限度とし、後は仮りに大学院博士課程に入学しても、予算の範囲内での延長という形をとるため、不安定だとする留学生の声がある。自由意見として述べられたものだが、対応措置の必要があろう。

② 博士号取得を目的として来日し、その諒解が得られたと思って来たところ、博士課程のない大学に配属されたという不満がある。大学院の学生定員との関係もあろうが、事前に誤解のないよう措置が必要であろう。

③ 資料、情報の送付等帰国後のアフターサービスの欠如を訴える声がある一方、日本への再留学を希望する声も強い。これらへのサービスの徹底、機会提供の拡充を要望したい。

④ 学位特に博士号取得希望者については、その困難が不満の最たるものであるが、この問題解決の一助としても、③の措置への配慮が望まれる。

⑤ 後述、日本語教育体制、とくに海外におけるその体制整備に関連しては、国費留学生を含めて帰国留学生達の協力と参加を求めることが望まれる。その能力活用というメリットだけにとどまらないこというまでもない。

## II 日本語教育体制の整備

(1) これについては、まず海外における日本語教育体制の整備が早急の対応として望まれる。その有無、そこでの日本語学習機会の多寡が、留学生達の来日後の学習能力について、決定的ともいえるほどの影響をもつことが明らかとなった。対応としては組織的教育機関を現地、海外にもつことが基本であろうが、それには日本人海外女子のための教育機関の活用も一方法であろう。

また、組織的体制をもつにいたらないまでも、留学生達がこれまで利用して来た日本語学習のメディアの具体的形はすでに教科書、テレビ、ラジオ、カセット等として明らかである。従ってこういったメディア入手の需要に極力答えるように努力するのも手近な一方法であろう。

(2) 現在、日本国際教育協会と国際交流基金の共催で行なっている外国人対象の日本語能力試験の実施はこの気運を推進する有力な動因と考えられるが、将来は、少なくとも日本語についての試験は、日本での入試選考に先立ってここで可能ということ

になろう。また、それが留学生達の日本語能力を高める機縁ともなるであろう。少なくとも来日後はじめて日本語を学ぶ、それで専門の学習をするという冒険は避けられねばならない。講義の全く聴きとれない大学院学生が何%かいるという事態は即刻解消されねばならない。従って大使館推薦の国費留学生の現地での選考についても、日本語能力は一層重視されて然るべきであろう。

(3) 日本における日本語教育体制の整備の必要についてはいうまでもない。特に、当面、日本語能力の不十分なままに来日する者の多いと考えられる国費留学生の場合にはその教育体制について一層の工夫、改善が必要と思われる。研究生の場合、各大学、大学院への配属に先立っての短期教育に限ることなく、大学配属後もすでに一部で行なわれているように、専門教育と併せて日本語教育を持続的、補完的に行なうことが必要と思われる。といってももちろん、受入大学での教育が全面的にあるいは基本的に日本語以外で行なわれ、しかも留学生にその語学能力の用意ありと判断される場合にはこの必要のないこというまでもない。

(4) 国費留学生以外の一般留学生を対象とする日本語教育については2つの流れがある。受入大学付属の日本語学校ないし特設日本語学科等がその1つであり、他は一般民間の日本語学校である。前者は当該の大学の学部入学を前提として一応基準も体制も確立している場合が多いようであるが、大学院入学を前提としての教育の有無、実態については詳かでない。一般、民間の日本語学校については、内容も水準も千差万別のようなものである。われわれのアンケート調査では特にこの点についての所見を質さなかったが、自由意見としてこの種日本語学校の体制整備の必要が訴えられた。来日前に正確な日本語学校選択が出来るように情報伝達について工夫するとともに、日本語学校自体の整備がその教育内容ならびに物的設備の双方について行なわれる必要があろう。

### III 大学、大学院の教育体制の整備

(1) これについては、何よりもまず、留学生受入れが特殊、例外的なことではなく、原則だとする考え方と体制に切りかえることが基本であろう。留学生の受入れ枠をなお定員の何%以内と限った大学は少なくない。おそらく大学院でも同様のことがあるのではないかと思う。留学生受入れには言語その他の関係からして、特別の負担がかかるというのも一理由かと思うが、まずはこの枠の拡大が必要であろう。関連して、

当然、大学、大学院の全体としての定員枠の拡大も必要となるかも知れない。また、留学生受入れを主とする大学、大学院の新規登場もあってよいであろう。ただし、この場合、日本語、外国語共用の教育は、日本人学生留学生双方を対象として、一見うまく行きそうで、その実、必ずしもそうでないということを留意する必要がある。日本人学生との共同の教育ならば、基本はやはり、日本語により、外国語による場合は外国人教師によるそれとして限るか、あるいは外国人留学生だけを対象として分化すべきであろう。日本人学生を対象としての外国語による、しかも語学能力必ずしも十分といえない日本人教師によるその教育は現実問題として、隔靴搔痒、決してうまくいかないのである。

(2) 母国高等学校のカリキュラムにくらべて日本の大学のそれはそれほど難しくないとする意見も少なくないが、ある種の科目は難しいとする指摘もある。特に、国公立大学の場合、理工系の留学生達にとって数物系の科目が難し過ぎるとする意見のあること、さらにこれに地域的特性が看取されるかに見られること、例えば東南アジア等途上国学生において特にこの指摘が強く見られること等は、具体的教授、教育の方法の問題として留意に値する。

(3) 学位取得の困難については、しばしば伝えられる通りであるが、「日本語能力の低さ」を理由とする意見のある一方「そうでない」とする考え方のあることは注意に値する。では何が理由かといつて明らかでないが、自由意見等で教師の指導の姿勢等に対する不満が表明されていることは見逃し得ない。外国人として特別の配慮がないというわけである。これはおそらく、(2)の問題の存在にも関係するところであり、教授、教育の姿勢の問題として留意を要する点であろう。

(4) 学位、特に博士論文執筆について、日本語での執筆強制の例が少なかったことは救われた思いだったが、この点はむしろ、当方の審査能力がある限り、留学生達の選択によることを基本とするというように割切ること必要ではないかと思う。また、英、独、仏等外国語2ヵ国語の試験合格を条件とすることについても、欧米系以外の留学生側からの意見として、苦痛の声が寄せられたことも軽視出来ない。輸入学問に始った日本の大学の伝統的思考をこの辺で払拭し、一部日本語を以て代えるということを考えてもよいのではないかと思う。

(5) 日本の学位に対する国際的評価も確かに、留学生の流れを規制する重要要因の1つであろう。現状は既述の通りであるが、これは卒直のところ一朝一夕には変えられ難い。ただし、学位の評価がそのままある種の免許要件としてつながるというような場合には、その是正方に国として努力する必要のあるこというまでもない。

(6) なお、大学、大学院教育については、国費留学生の場合、国として用意しているチューター制度の運用について、不満の意見が述べられた事例のあったことを注意しておきたい。要するに、チューターたる機能を十分に果していないということであるが、これはチューターに対しての教育、指示の問題でもあろう。

#### IV 生活条件、居住条件

(1) 生活条件については、やはり、奨学金の機会の乏しさが問題であろう。私費留学生の場合は元来資力のある者が来日しているのだからその必要なしとの意見もあるが、必ずしもそうではない。日本語の壁等もあり、日本ではアルバイトの機会も限られ、さらに最近の円高による負担増の問題等もある。仮りにそうだとすると、私費留学生に対する奨学金支給の機会の増加はそれだけ、その能力はありながら、資力なくして来日出来なかった人々の留学を新たに誘い出す契機となることだけは間違いない。しかし、その奨学金制度の拡充をどうするか。かつて外国、日本の奨学金を含めて外部の援助で海外留学をした人々を含めて国民1人1人が自らの責任と考えず、もっぱら政府依存、財界依存の風潮の強い日本では絶望的という感じさえあるが、やはりその重要性、必要性についてはくり返し強調しておかねばならない。

(2) 居住条件については、その希望が極めてはっきりしている。大学付属の寮を最優先とし、外国人用宿舎がその次、3位が民間アパートで、日本人家庭は最下位である。しかも、個室で、出来れば「日本人学生と一緒に」という。個室条件は設計、建築上の問題として別として、問題は日本人学生との共同生活という希望であろう。大学付属の寮の場合は、特に管理上の問題として、大学関係者の工夫と努力を必要とする点であろう。寮の建設については国公立大学の場合は別として、私立大学の場合は公的援助によるその建設推進の方途も考えよう。また、民間アパートの建設についても同様で、特に都市近郊では農地の利用に関連してこうした希望と計画をもつ者も少くない。これへの支援、推進が望まれる。日本人家庭への希望が少ないのみならず、家屋構造等からして受入れの事実上困難な実態からすれば、特にこの種の共同宿舎の建設推進が急がるべきであろう。

(3) 受入れ条件に関連しては、特に途上国学生の場合、母国に対する日本人の認識のなさ、日本人社会との接触の困難の不満が表明されていることを注意しておきたい。教育の国際交流推進の根本は、「国民が全体として、国際的に開かれた心の持ち主と行

動の人となること」だと、既述の「21世紀への留学生政策に関する提言」も述べているが、かくて、われわれは再び原点に立ちかえるわけである。この心と行動なくしては、何事も前進しない。しかもそれは他人事ではない。何よりもまずわれわれ国民1人1人にとっての問題なのであり、その責任なのだ、このことを重ねてここに強調しておきたい。

## V 終りに

終りに、日本経済の発展についての見方を質したが、それは留学生達がいわゆる学問以外に日本人、日本社会との接触によって何を学び、何を持ち帰ろうとしつつあるかを知りたいということからであった。広い意味での留学の成果を知ろうということであった。そして彼らは確かな眼を以て日々、日本を教師、あるいは反面教師として見つめつつあることを知った。さらに、その見つめる眼の、先進国、途上国の学生間における差は微妙な交錯として、われわれ自身の眼をもとどめさせることとなった。彼らの声に聞き、彼らの声に答えながらわれわれ自身も亦前進しなければならない。それが真の国際交流というものであり、また、それこそが進歩への大道なのである。

(川野重任)

付表 アンケート集計表



## 付表 アンケート集計表

### はしがき

1. ここに収めるアンケート集計表は、回収されたアンケートのうち集計可能な分——「在日留学生」については967人、「元留学生」については138人——をそれぞれの属性に応じて集計し、一覧表としたものである。

ここにいう属性とは、留学生問題に関する分析を行ううえで公約数的性格をもつ要素を抽出したものであり、本研究の目的に応じて次の9つを採用した。これらの属性は在日留学生、元留学生いずれの集計にも共通している。

- (総計) 一回答者全体としての集計結果である。
- (性別) 一男、女の区分である。
- (回答言語別) 一アンケートは日本文および英文で書かれているが、留学生の回答は日本語または英語のいずれを使用してもよいとされ、その回答言語別に集計したものである。なお両方で回答した場合、全項目の回答であれば英語を（数例あった）、部分的であれば項目数で多い方を採用（数例あった）した。
- (国別) 一出身国名であって、記入方式によった。
- (地域別) 一アンケートにあらかじめ次の10地域を区分・指定し、これに○印をつける方式とした。北米・南米・西欧・東欧・中東・アフリカ・南アジア・東アジア・オセアニア、これである。
- (専攻別) 一留学大学または大学院、研究生で在籍する場合の「学部」または「研究科」の名称によって、アンケートに記入されたものを事後的に分類した。区分は全体で9つであるが、理科系としては、理工、農学、医・薬学、その他理系の4区分、文科系としては、日本語、人文・社会、経営・経済、政治・法律、その他文系の5区分を採用した。
- (国公・私立別) 国立・公立大学と私立大学の区分である。
- (学籍区分別) 一在籍過程の区分であり、学部、大学院、研究生の3区分である。
- (奨学金類別) 一奨学金の有無および奨学金支給母体による区分であり、アンケートの記入結果により、次のように事後的に分類した。即ち文部省（日本の文部省奨学金受給者）、その他奨学金（母国の政府、または民間団体奨学金受給者、日本の私費留学生または地方自治体の奨学金受給者、その他）、及び奨学金なし（どこからも奨学金をもらっていない）の3区分である。2つ以上にまたがる場合は3区分として文部省を優先した。

2. アンケート記入による事後的な分類で特に留意すべきことがある。分類不能分は本来的な無記入とは区別されねばならないが、ここではそれらを併せてとり上げられた分類基準にあては

まらないものもN・Aに含めた。分類には細心の注意が払われたが、関連する他の（2つ以上の）属性について矛盾があれば、正確な属性についてのみ採用し他をN・Aに含めた。問題は（国別）と（地域別）とのそれである。この場合、申告記入された国名によって判断、修正したが、中国という記入については、他の回答項目との間に部分的に喰い違いがある場合もあり、結果的に正確さを期待することがかなり困難となった。このため、ここに掲げるアンケート集計表では中国という分類項目で申告のあったものについてはこれをそのまま中国として集計しているが、報告書の記述では台湾との区別の困難を避けるため東アジアという（地域別）の区分を採用し、東アジア地域を国別に扱う必要のあるときは韓国を代表例として説明するに留めた。

3. なお参考として、在日留学生および元留学生に対するアンケート（本文）を掲げておく。問題事項したがって質問項目に差があるため、これら2つのアンケートは必ずしも共通していないのは当然である。この意味で、アンケート集計表の表側部分は質問項目にコード番号を付し、質問内容を端的に表す文言を記載した。報告書の記述は冒頭に掲げたとおり「在日留学生」についてはA-I～IVを、また「元留学生」についてはB-I～IVを、それぞれ「付表」からの引用を表すものとした。

A-1 I 在日留学生アンケート集計表 (総計・性別・性別・回答言語別)

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別			
		男		女		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
1. あなたは日本 留学以前に他の 国に留学したこ とがありますか	ない	590	91.9	214	95.1	88	88.0	584	97.7	308	83.5
	ある	52	8.1	11	4.9	12	12.0	14	2.3	61	16.5
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
1-(2)-A どの国(地域) でしたか	北米	15	28.8	4	36.4	3	25.0	7	50.0	15	24.6
	南米	3	5.8	0	0	1	8.3	0	0	4	6.6
	西欧	14	26.9	3	27.3	4	33.3	2	14.3	19	31.1
	東欧	3	5.8	0	0	1	8.3	0	0	4	6.6
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	2	2.7	0	0	0	0	0	0	2	3.3
	南アジア	3	4.0	1	9.1	1	8.3	0	0	3	4.9
	東南アジア	9	12.0	6	18.2	1	8.3	2	14.3	7	11.5
	東アジア	8	10.7	6	11.5	1	8.3	3	21.4	5	8.2
	その他	2	2.7	2	3.8	0	0	0	0	2	3.3
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	75	100.0	11	100.0	12	100.0	14	100.0	61	100.0
1-(2)-B 留学期間は何年 でしたか	1年	20	26.7	14	26.9	3	25.0	4	28.6	16	26.2
	2年	13	17.3	11	21.2	1	8.3	2	14.3	11	18.0
	3年	5	6.7	3	5.8	2	16.7	1	7.1	4	6.6
	4年	6	8.0	4	7.7	1	8.3	3	21.4	3	4.9
	5年	6	8.0	3	5.8	2	16.7	1	7.1	5	8.2
	6年	7	9.3	6	11.5	1	8.3	1	7.1	6	9.8
	7年	1	1.3	0	0	1	8.3	0	0	1	1.6
	8年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	性別						別												
		総計			男			女			N.A.			日本語			英語			
		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数
1-(2)-C 学校は次のいずれでしたか	9年以上	4	5.3	1	1.9	2	18.2	1	8.3	0	0	4	6.6							
	NA	13	17.3	10	19.2	2	18.2	1	8.3	2	14.3	11	18.0							
	計	75	100.0	52	100.0	11	100.0	12	100.0	14	100.0	61	100.0							
2. 今回の留学で 日本は留学生と なるときの第1 志望国でしたか	高校	15	20.0	13	25.0	1	9.1	1	8.3	3	21.4	12	19.7							
	大学	27	36.0	17	32.7	2	18.2	8	66.7	5	35.7	22	36.1							
	大学院	31	41.3	21	40.4	7	63.6	3	25.0	6	42.9	25	41.0							
3. 日本留学後の経緯	NA	2	2.7	1	1.9	1	9.1	0	0	0	0	2	3.3							
	計	75	100.0	52	100.0	11	100.0	12	100.0	14	100.0	61	100.0							
	第1志望国	710	73.4	472	73.5	174	77.3	64	64.0	477	79.8	233	63.1							
2-(2)-A それでは、第1 志望の国はどこ でしたか	第1志望でない	235	24.3	154	24.0	47	20.9	34	34.0	111	18.6	124	33.6							
	NA	22	2.3	16	2.5	4	1.8	2	2.0	10	1.7	12	3.3							
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0							
3. 日本留学後の経緯	北米	153	65.1	101	65.6	33	70.2	19	55.9	76	68.5	77	62.1							
	南米	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	西欧	47	20.0	31	20.1	8	17.0	8	23.5	20	18.0	27	21.8							
3. 日本に入国するにあたって、あなたは保証人 あなたまたは保証人	東欧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	東南アジア	1	0.4	1	0.6	0	0	0	0	0	0	1	0.8							
	東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	その他	1	0.4	1	0.6	0	0	0	0	0	1.0	0	0.8							
	NA	33	14.0	20	13.0	6	12.8	7	20.6	15	13.5	18	14.5							
	計	235	100.0	154	100.0	47	100.0	34	100.0	111	100.0	124	100.0							
	親類	93	9.6	58	9.0	31	13.8	4	4.0	80	13.4	13	3.5							
知人友人	232	24.0	141	22.0	80	35.6	11	11.0	211	35.3	21	5.7								
文部省	255	26.4	166	25.9	50	22.2	39	39.0	59	9.9	196	53.1								

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				別				回答言語別			
		男		女		N.A.		日本語		英語		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
をだれに頼みま したか	その他	183	18.9	136	21.2	33	14.7	14	14.0	155	25.9	28	7.6		
	NA	204	21.1	141	22.0	31	13.8	32	32.0	93	15.6	111	30.1		
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0		
3-(2)-1	1965	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日本に入国した 年	1966	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	1967	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	1968	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	1969	1	0.1	1	0.2	0	0	0	0	1	0.2	0	0		
	1970	1	0.1	0	0	1	0.4	0	0	1	0.2	0	0		
	1971	1	0.1	1	0.2	0	0	0	0	1	0.2	0	0		
	1972	3	0.3	2	0.3	0	0	1	1.0	3	0.5	0	0		
	1973	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	1974	3	0.3	2	0.3	1	0.4	0	0	2	0.3	1	0.3		
	1975	4	0.4	1	0.2	2	0.9	1	1.0	3	0.5	1	0.3		
	1976	5	0.5	4	0.6	1	0.4	0	0	5	0.8	0	0		
	1977	9	0.9	5	0.8	2	0.9	2	2.0	6	1.0	3	0.8		
	1978	15	1.6	10	1.6	4	1.8	1	1.0	13	2.2	2	0.5		
	1979	41	4.2	28	4.4	7	3.1	6	6.0	27	4.5	14	3.8		
	1980	97	10.0	60	9.3	30	13.3	7	7.0	74	12.4	23	6.2		
	1981	117	12.1	71	11.1	40	17.8	6	6.0	81	13.5	36	9.8		
	1982	97	10.0	63	9.8	15	6.7	19	19.0	35	5.9	62	16.8		
1983	147	15.2	94	14.6	33	14.7	20	20.0	60	10.0	87	23.6			
1984	132	13.7	77	12.0	34	15.1	21	21.0	24	4.0	108	29.3			
1985	2	0.2	2	0.3	0	0	0	0	0	0	2	0.5			
NA	292	30.2	221	34.4	55	24.4	16	16.0	262	43.8	30	8.1			
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0		
3-(2)-2	入学した	467	48.3	291	45.3	126	56.0	50	50.0	255	42.6	212	57.5		
	入学しない	164	17.0	102	15.9	33	14.7	29	29.0	30	5.0	134	36.3		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
学しましたか	NA	336	34.7	249	38.8	66	29.3	21	21.0	313	52.3	23	6.2
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
3-(2)-3	1974以前	3	0.3	1	0.2	1	0.4	1	1.0	3	0.5	0	0
何年から現在の	1975	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学に在籍し	1976	1	0.1	1	0.2	0	0	0	0	1	0.2	0	0
ますか	1977	8	0.8	5	0.8	1	0.4	2	2.0	6	1.0	2	0.5
(1974以前は	1978	5	0.5	5	0.8	0	0	0	0	4	0.7	1	0.3
その合計数)	1979	22	2.3	12	1.9	5	2.2	5	5.0	18	3.0	4	1.1
	1980	47	4.9	37	5.8	6	2.7	4	4.0	29	4.8	18	4.9
	1981	135	14.0	85	13.2	46	20.4	4	4.0	105	17.6	30	8.1
	1982	204	21.1	135	21.0	49	21.8	20	20.0	143	23.9	61	16.5
	1983	187	19.3	125	19.5	40	17.8	22	22.0	116	19.4	71	19.2
	1984	271	28.0	179	27.9	62	27.6	30	30.0	123	20.6	148	40.1
	1985	10	1.0	5	0.8	3	1.3	2	2.0	6	1.0	4	1.1
	NA	74	7.7	52	8.1	12	5.3	10	10.0	44	7.4	30	8.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
3-(2)-4	国公立	824	85.2	569	88.6	168	74.7	87	87.0	487	81.4	337	91.3
在籍する大学の	私立	132	13.7	69	10.7	52	23.1	11	11.0	106	17.7	26	7.0
区分	NA	11	1.1	4	0.6	5	2.2	2	2.0	5	0.8	6	1.6
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
3-(2)-5	学部	298	30.8	184	28.7	98	43.6	16	16.0	244	40.8	54	14.6
学部大学院等と	大学院	415	42.9	293	45.6	68	30.2	54	54.0	242	40.5	173	46.9
在籍区分	研究生	220	22.8	146	22.7	49	21.8	25	25.0	84	14.0	136	36.9
	NA	34	3.5	19	3.0	10	4.4	5	5.0	28	4.7	6	1.6
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
3-(2)-6	理工	291	30.1	240	37.4	22	9.8	29	29.0	191	31.9	100	27.1
現在の専攻分野	農学	87	9.0	66	10.3	11	4.9	10	10.0	46	7.7	41	11.1
	医・薬学	88	9.1	59	9.2	21	9.3	8	8.0	48	8.0	40	10.8

質問(項目) 番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	その他理科	26	2.7	19	3.0	6	2.7	1	1.0	13	2.2	13	3.5
	日本語	27	2.8	9	1.4	15	6.7	3	3.0	18	3.0	9	2.4
	人文・社会	53	5.5	25	3.9	23	10.2	5	5.0	41	6.9	12	3.3
	経営・経済	136	14.1	86	13.4	40	17.8	10	10.0	90	15.1	46	12.5
	政治・法律	38	3.9	24	3.7	11	4.9	3	3.0	14	2.3	24	6.5
	その他文科	122	12.6	56	8.7	52	23.1	14	14.0	80	13.4	42	11.4
	N.A.	99	10.2	58	9.0	24	10.7	17	17.0	57	9.5	42	11.4
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
4. 奨学金について													
4. 現在、あなたは奨学金をもらっていますか	もらっていない	169	17.5	120	18.7	41	18.2	8	8.0	151	25.3	18	4.9
	もらっている	775	80.1	510	79.4	178	79.1	87	87.0	431	72.1	344	93.2
	N.A.	23	2.4	12	1.9	6	2.7	5	5.0	16	2.7	7	1.9
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
4-(2)-1	母国の政府奨学金	94	12.1	71	13.9	16	9.0	7	8.0	77	17.9	17	4.9
	母国民間団体奨学金	12	1.5	10	2.0	2	1.1	0	0	11	2.6	1	0.3
	日本文部省奨学金	464	59.9	308	60.4	90	50.6	66	75.9	166	38.5	298	86.6
	日本私費留学生奨学金	158	20.4	95	18.6	53	29.8	10	11.5	138	32.0	20	5.8
	日本地方自治体奨学金	11	1.4	5	1.0	5	2.8	1	1.1	9	2.1	2	0.6
	その他	34	4.4	19	3.7	12	6.7	3	3.4	28	6.5	6	1.7
	N.A.	2	0.3	2	0.4	0	0	0	0	2	0.5	0	0
	計	775	100.0	510	100.0	178	100.0	87	100.0	431	100.0	344	100.0
4-(2)-2	～50千円	147	19.0	82	16.1	58	32.6	7	8.0	138	32.0	9	2.6
	50～100千円	105	13.5	77	15.1	22	12.4	6	6.9	90	20.9	15	4.4
	100～150	85	11.0	56	11.0	21	11.8	8	9.2	47	10.9	38	11.0
	150～200	396	51.1	267	52.4	70	39.3	59	67.8	131	30.4	265	77.0
	200～250	3	0.4	2	0.4	0	0	1	1.1	3	0.7	0	0
	250～300	2	0.3	1	0.2	0	0	1	1.1	0	0	2	0.6
	300千円以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		実数	(%)	男		女		日本語		英語			
				実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
	NA	37	4.8	25	4.9	7	3.9	5	5.7	22	5.1	15	4.4
	計	775	100.0	510	100.0	178	100.0	87	100.0	431	100.0	344	100.0
5. 日本留学を決めるにあたって次のことほどの程度影響力がありましたか													
5一(1)	大きな影響力	184	19.0	125	19.5	35	15.6	24	24.0	106	17.7	78	21.1
	一応影響力	279	28.9	185	28.8	70	31.1	24	24.0	189	31.6	90	24.4
	全く影響なし	365	37.7	239	37.2	91	40.4	35	35.0	210	35.1	155	42.0
	なんともいえない	76	7.9	57	8.9	14	6.2	5	5.0	54	9.0	22	6.0
	NA	63	6.5	36	5.6	15	6.7	12	12.0	39	6.5	24	6.5
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5一(2)	大きな影響力	215	22.2	134	20.9	57	25.3	24	24.0	148	24.7	67	18.2
	一応影響力	292	30.2	199	31.0	68	30.2	25	25.0	183	30.6	109	29.5
	全く影響なし	361	37.3	248	38.6	79	35.1	34	34.0	200	33.4	161	43.6
	なんともいえない	30	3.1	20	3.1	8	3.6	2	2.0	22	3.7	8	2.2
	NA	69	7.1	41	6.4	13	5.8	15	15.0	45	7.5	24	6.5
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5一(3)	大きな影響力	126	13.0	97	15.1	20	8.9	9	9.0	86	14.4	40	10.8
	一応影響力	400	41.4	268	41.7	91	40.4	41	41.0	272	45.5	128	34.7
	全く影響なし	284	29.4	179	27.9	72	32.0	33	33.0	141	23.6	143	38.8
	なんともいえない	93	9.6	61	9.5	27	12.0	5	5.0	60	10.0	33	8.9
	NA	64	6.6	37	5.8	15	6.7	12	12.0	39	6.5	25	6.8
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5一(4)	大きな影響力	64	6.6	40	6.2	21	9.3	3	3.0	59	9.9	5	1.4
	一応影響力	133	13.8	91	14.2	38	16.9	4	4.0	116	19.4	17	4.6
	全く影響なし	611	63.2	409	63.7	133	59.1	69	69.0	324	54.2	287	77.8
	なんともいえない	80	8.3	56	8.7	14	6.2	10	10.0	50	8.4	30	8.1
	NA	79	8.2	46	7.2	19	8.4	14	14.0	49	8.2	30	8.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5一(5)	大きな影響力	76	7.9	42	6.5	27	12.0	7	7.0	53	8.9	23	6.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総 計		性 別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
家族から外国留学体験を要請された	一応影響力	185	19.1	132	20.6	37	16.4	16	16.0	112	18.7	73	19.8
	全く影響なし	582	60.2	389	60.6	134	59.6	59	59.0	345	57.7	237	64.2
	なんともいえない	49	5.1	35	5.5	11	4.9	3	3.0	39	6.5	10	2.7
	NA	75	7.8	44	6.9	16	7.1	15	15.0	49	8.2	26	7.0
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5一(6) 母国から日本は距離的に近い	大きな影響力	140	14.5	90	14.0	44	19.6	6	6.0	119	19.9	21	5.7
	一応影響力	271	28.0	176	27.4	73	32.4	22	22.0	206	34.4	65	17.6
	全く影響なし	448	46.3	311	48.4	81	36.0	56	56.0	208	34.8	240	65.0
	なんともいえない	34	3.5	25	3.9	7	3.1	2	2.0	21	3.5	13	3.5
	NA	74	7.7	40	6.2	20	8.9	14	14.0	44	7.4	30	8.1
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	
5一(7) 母国のかかえる問題現象は日本も似通っており日本はそれを早く解決しようとした国である	大きな影響力	181	18.7	123	19.2	39	17.3	19	19.0	121	20.2	60	16.3
	一応影響力	279	28.9	196	30.5	58	25.8	25	25.0	182	30.4	97	26.3
	全く影響なし	330	34.1	218	34.0	78	34.7	34	34.0	178	29.8	152	41.2
	なんともいえない	103	10.7	67	10.4	30	13.3	6	6.0	73	12.2	30	8.1
	NA	74	7.7	38	5.9	20	8.9	16	16.0	44	7.4	30	8.1
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	
5一(8) 日本の文部省奨学金が得られたこと	大きな影響力	319	33.0	205	31.9	68	30.2	46	46.0	96	16.1	223	60.4
	一応影響力	92	9.5	61	9.5	18	8.0	13	13.0	40	6.7	52	14.1
	全く影響なし	434	44.9	292	45.5	118	52.4	24	24.0	367	61.4	67	18.2
	なんともいえない	44	4.6	33	5.1	8	3.6	3	3.0	37	6.2	7	1.9
	NA	78	8.1	51	7.9	13	5.8	14	14.0	58	9.7	20	5.4
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	
5一(9) 日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束されたこと	大きな影響力	44	4.6	31	4.8	10	4.4	3	3.0	33	5.5	11	3.0
	一応影響力	52	5.4	36	5.6	12	5.3	4	4.0	47	7.9	5	1.4
	全く影響なし	723	74.8	480	74.8	172	76.4	71	71.0	436	72.9	287	77.8
	なんともいえない	62	6.4	46	7.2	11	4.9	5	5.0	33	5.5	29	7.9
	NA	86	8.9	49	7.6	20	8.9	17	17.0	49	8.2	37	10.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
と	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5-(10) 日本でしか得られない勉学、研究機会	大きな影響力	161	16.6	94	14.6	55	24.4	12	12.0	107	17.9	54	14.6
	一応影響力	232	24.0	166	25.9	43	19.1	23	23.0	151	25.3	81	22.0
	全く影響なし	423	43.7	284	44.2	95	42.2	44	44.0	243	40.6	180	48.8
	なんともいえない	75	7.8	54	8.4	17	7.6	4	4.0	51	8.5	24	6.5
	NA	76	7.9	44	6.9	15	6.7	17	17.0	46	7.7	30	8.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5-(11) 日本の文化、社会、経済、科学技術水準等に対する関心	大きな影響力	429	44.4	285	44.4	104	46.2	40	40.0	240	40.1	189	51.2
	一応影響力	398	41.2	267	41.6	94	41.8	37	37.0	263	44.0	135	36.6
	全く影響なし	72	7.4	52	8.1	11	4.9	9	9.0	52	8.7	20	5.4
	なんともいえない	12	1.2	9	1.4	3	1.3	0	0	8	1.3	4	1.1
	NA	56	5.8	29	4.5	13	5.8	14	14.0	35	5.9	21	5.7
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369頻	100.0
5-(12) 日本では容易に学位が得られるという見通し	大きな影響力	11	1.1	7	1.1	4	1.8	0	0	8	1.3	3	0.8
	一応影響力	51	5.3	37	5.8	11	4.9	3	3.0	34	5.7	17	4.6
	全く影響なし	718	74.3	479	74.6	169	75.1	70	70.0	451	75.4	267	72.4
	なんともいえない	103	10.7	70	10.9	24	10.7	9	9.0	51	8.5	52	14.1
	NA	84	8.7	49	7.6	17	7.6	18	18.0	54	9.0	30	8.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5-(13) 日本語の学習経験があったこと	大きな影響力	134	13.9	78	12.1	49	21.8	7	7.0	109	18.2	25	6.8
	一応影響力	217	22.4	152	23.7	48	21.3	17	17.0	160	26.8	57	15.4
	全く影響なし	506	52.3	350	54.5	101	44.9	55	55.0	266	44.5	240	65.0
	なんともいえない	38	3.9	25	3.9	9	4.0	4	4.0	19	3.2	19	5.1
	NA	72	7.4	37	5.8	18	8.0	17	17.0	44	7.4	28	7.6
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
5-(14) 日本に対して一般的な親近感が	大きな影響力	139	14.4	88	13.7	40	17.8	11	11.0	104	17.4	35	9.5
	一応影響力	393	40.6	264	41.1	99	44.0	30	30.0	252	42.1	141	38.2
	全く影響なし	291	30.1	200	31.2	56	24.9	35	35.0	146	24.4	145	39.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		計		男		女		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
あったこと	なんともいえない NA 計	54 90 967	5.6 9.3 100.0	37 53 642	5.8 8.3 100.0	13 17 225	5.8 7.6 100.0	4 20 100	4.0 20.0 100.0	38 58 598	6.4 9.7 100.0	16 32 369	4.3 8.7 100.0
6. 現在留學生の大学(院)について、第一志望と考えていたところですか。													
6. 現在留学して いる大学(院)は 第一志望と考えて いたところですか	その通りである そうではない NA 計	739 204 24 967	76.4 21.1 2.5 100.0	493 135 14 642	76.8 21.0 2.2 100.0	174 46 5 225	77.3 20.4 2.2 100.0	72 23 5 100	72.0 23.0 5.0 100.0	468 113 17 598	78.3 18.9 2.8 100.0	271 91 7 369	73.4 24.7 1.9 100.0
6-① (第一志望と答 えた)理由	入学試験合格 文部省の配置 その大学の推薦 その他の理由 NA 計	296 180 108 155 0 739	40.1 24.4 14.6 21.0 0 100.0	183 129 77 104 0 493	37.1 26.2 15.6 21.1 0 100.0	92 26 19 37 0 174	52.9 14.9 10.9 21.3 0 100.0	21 25 12 14 0 72	29.2 34.7 16.7 19.4 0 100.0	244 70 66 88 0 468	52.1 15.0 14.1 18.8 0 100.0	52 110 42 67 0 271	19.2 40.6 15.5 24.7 0 100.0
6-② (第一志望でな いと答えた)理 由	入試の失敗 文部省の配置 大学推薦得られず その他の理由 NA 計	16 142 13 33 0 204	7.8 69.6 6.4 16.2 0 100.0	13 93 7 22 0 135	9.6 68.9 5.2 16.3 0 100.0	2 32 4 8 0 46	4.3 69.6 8.7 17.4 0 100.0	1 17 2 3 0 23	4.3 73.9 8.7 13.0 0 100.0	16 67 10 20 0 113	14.2 59.3 8.8 17.7 0 100.0	0 75 3 13 0 91	0 82.4 3.3 14.3 0 100.0
6-③ (留学先の大学) 必ずしもそうでない A. 日本ではよ い大学(院)であ る	その通り 必ずしもそうでない なんともいえない わからない NA 計	616 145 82 66 58 967	63.7 15.0 8.5 6.8 6.0 100.0	440 83 44 42 33 642	68.5 12.9 6.9 6.5 5.1 100.0	115 51 30 17 12 225	51.1 22.7 13.3 7.6 5.3 100.0	61 11 8 7 13 100	61.0 11.0 8.0 7.0 13.0 100.0	366 99 52 42 39 598	61.2 16.6 8.7 7.0 6.5 100.0	250 46 30 24 19 369	67.8 12.5 8.1 6.5 5.1 100.0
6-③-B 専門分野によい	その通り 必ずしもそうでない	593 164	61.3 17.0	416 104	64.8 16.2	119 45	52.9 20.0	58 15	58.0 15.0	378 94	63.2 15.7	215 70	58.3 19.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
研究者がいる	なんともいえない	78	8.1	51	7.9	19	8.4	8	8.0	45	7.5	33	8.9
	わからない	66	6.8	33	5.1	29	12.9	4	4.0	36	6.0	30	8.1
	NA	66	6.8	38	5.9	13	5.8	15	15.0	45	7.5	21	5.7
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
6-(3)-C 教育、研究環境 がよい	その通り	539	55.7	375	58.4	114	50.7	50	50.0	338	56.5	201	54.5
	必ずしもそうでない	220	22.8	142	22.1	53	23.6	25	25.0	126	21.1	94	25.5
	なんともいえない	96	9.9	55	8.6	33	14.7	8	8.0	60	10.0	36	9.8
	わからない	42	4.3	28	4.4	12	5.3	2	2.0	27	4.5	15	4.1
	NA	70	7.2	42	6.5	13	5.8	15	15.0	47	7.9	23	6.2
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	
7. 日本留学終了後の計画について													
7-(1) 留学後、帰国し ますか	直ちに母国に帰国する	546	56.5	375	58.4	110	48.9	61	61.0	342	57.2	204	55.3
	日本以外の国にゆく	76	7.9	50	7.8	18	8.0	8	8.0	46	7.7	30	8.1
	なお日本に留まる	121	12.5	76	11.8	33	14.7	12	12.0	74	12.4	47	12.7
	いまのところ決めていない	219	22.6	137	21.3	63	28.0	19	19.0	131	21.9	88	23.8
	NA	5	0.5	4	0.6	1	0.4	0	0	5	0.8	0	0
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	
7(2) (帰国する人 についての のみ) 帰国して何を するか	前職に復帰する	240	44.0	170	45.3	32	29.1	38	62.3	111	32.5	129	63.2
	新しく職を探す	167	30.6	108	28.8	47	42.7	12	19.7	137	40.1	30	14.7
	進学、復学し勉学を続ける	38	7.0	28	7.5	8	7.3	2	3.3	20	5.8	18	8.8
	家族のしている仕事につく	7	1.3	3	0.8	3	2.7	1	1.6	4	1.2	3	1.5
	いまのところ決めていない	84	15.4	58	15.5	20	18.2	6	9.8	65	19.0	19	9.3
	NA	10	1.8	8	2.1	0	0	2	3.3	5	1.5	5	2.5
計	546	100.0	375	100.0	110	100.0	61	100.0	342	100.0	204	100.0	
8. 日本語の学習について、母国でのあなた自身の経験や身近な事情を教えてください													
8-(1) 母国にある日本 語学校で学習す	できた	474	49.0	315	49.1	120	53.3	39	39.0	359	60.0	115	31.2
	できなかった	419	43.3	285	44.4	88	39.1	46	46.0	217	36.3	202	54.7
	NA	74	7.7	42	6.5	17	7.6	15	15.0	22	3.7	52	14.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				別					
		計		男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
8-(2)	ることが 母国では日本語 の教科書を手 入すること 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
8-(3)	できた できなかった NA 計	637	65.9	439	68.4	151	67.1	47	47.0	486	81.3	151	40.9
8-(4)	母国の人で日本 語を話せる人か ら教わることが 計	241	24.9	157	24.5	52	23.1	32	32.0	83	13.9	158	42.8
8-(5)	母国で日本語を 学習することが 計	89	9.2	46	7.2	22	9.8	21	21.0	29	4.8	60	16.3
8-(6)	母国では日本語 のカセットテー プを入手すること 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
9-(1)	母国のTV, RA- DIOで日本語を 学習することが 計	277	28.6	200	31.2	58	25.8	19	19.0	241	40.5	35	9.5
9-(2)	母国の人で日本 語を話せる人か ら教わることが 計	590	61.0	387	60.3	142	63.1	61	61.0	318	53.2	272	73.7
9-(3)	母国で日本語を 学習することが 計	100	10.3	55	8.6	25	11.1	20	20.0	38	6.4	62	16.8
9-(4)	母国で日本語を 学習することが 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
9-(5)	母国で日本語を 学習することが 計	421	43.5	278	43.3	117	52.0	26	26.0	340	56.9	81	22.0
9-(6)	母国で日本語を 学習することが 計	437	45.2	299	46.6	85	37.8	53	53.0	214	35.8	233	60.4
9-(7)	母国で日本語を 学習することが 計	109	11.3	65	10.1	23	10.2	21	21.0	44	7.4	65	17.6
9-(8)	母国で日本語を 学習することが 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
9-(9)	母国で日本語を 学習することが 計	195	20.2	137	21.3	48	21.3	10	10.0	160	26.8	35	9.5
9-(10)	母国で日本語を 学習することが 計	562	58.5	443	69.0	152	67.6	67	67.0	394	65.9	268	72.6
9-(11)	母国で日本語を 学習することが 計	110	11.4	62	9.7	25	11.1	23	23.0	44	7.4	66	17.9
9-(12)	母国で日本語を 学習することが 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
9-(13)	母国で日本語を 学習することが 計	511	52.8	362	56.4	114	50.7	35	35.0	424	70.9	87	23.6
9-(14)	母国で日本語を 学習することが 計	353	36.5	222	34.6	87	38.7	44	44.0	136	22.7	217	58.8
9-(15)	母国で日本語を 学習することが 計	103	10.7	58	9.0	24	10.7	21	21.0	38	6.4	65	17.6
9-(16)	母国で日本語を 学習することが 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
9. 現在の日本語の力について(あなた自身の日本語の力をどのように評価しますか)													
9-(17)	十分にできる	286	29.6	205	31.9	58	25.8	23	23.0	220	36.8	66	17.9
9-(18)	一応はできる	445	46.0	295	46.0	111	49.3	39	39.0	303	50.7	142	38.5
9-(19)	なんとかできる	177	18.3	102	15.9	44	19.6	31	31.0	67	11.2	110	29.8
9-(20)	全くできない	47	4.9	32	5.0	10	4.4	5	5.0	3	0.5	44	11.9
9-(21)	NA	12	1.2	8	1.2	2	0.9	2	2.0	5	0.8	7	1.9
9-(22)	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		男		女		N.A.		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
9-(2) 日本語で授業の ときに質問する こと	十分にできる 一応できる なんとかできる 全くできない NA 計	249	25.7	179	27.9	50	22.2	20	20.0	187	31.3	62	16.8
		393	40.6	256	39.9	99	44.0	38	38.0	280	46.8	113	30.6
		253	26.2	160	24.9	62	27.6	31	31.0	111	18.6	142	38.5
		53	5.5	37	5.8	10	4.4	6	6.0	11	1.8	42	11.4
		19	2.0	10	1.6	4	1.8	5	5.0	9	1.5	10	2.7
967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	100.0	
9-(3) 日本語の研究論 文を読むこと	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	289	29.9	220	34.3	52	23.1	17	17.0	241	40.3	48	13.0
		347	35.9	223	34.7	97	43.1	27	27.0	261	43.6	86	23.3
		172	17.8	103	16.0	48	21.3	21	21.0	82	13.7	90	24.4
		142	14.7	85	13.2	25	11.1	32	32.0	6	1.0	136	36.9
		17	1.8	11	1.7	3	1.3	3	3.0	8	1.3	9	2.4
967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	100.0	
9-(4) 日本語で論文、 レポートを書く こと	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	147	15.2	112	17.4	23	10.2	12	12.0	126	21.1	21	5.7
		372	38.5	250	38.9	96	42.7	26	26.0	296	49.5	76	20.6
		265	27.4	165	25.7	71	31.6	29	29.0	159	26.6	106	28.7
		169	17.5	107	16.7	32	14.2	30	30.0	11	1.8	158	42.8
		14	1.4	8	1.2	3	1.3	3	3.0	6	1.0	8	2.2
967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	100.0	
9-(5) 日常生活に差支 えない程度の日 本語での会話	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	416	43.0	289	45.0	96	42.7	31	31.0	295	49.3	121	32.8
		378	39.1	245	38.2	98	43.6	35	35.0	245	41.0	133	36.0
		130	13.4	83	12.9	24	10.7	23	23.0	49	8.2	81	22.0
		28	2.9	17	2.6	5	2.2	6	6.0	2	0.3	26	7.0
		15	1.6	8	1.2	2	0.9	5	5.0	7	1.2	8	2.2
967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0	100.0	
9-(6) テレビ、ラジオ で日本語の放送 を聞くこと	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない	311	32.2	217	33.8	70	31.1	24	24.0	235	39.3	76	20.6
		430	44.5	289	45.0	102	45.3	39	39.0	288	48.2	142	38.5
		174	18.0	103	16.0	40	17.8	31	31.0	64	10.7	110	29.8
		37	3.8	24	3.7	8	3.6	5	5.0	3	0.5	34	9.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	15	1.6	9	1.4	5	2.2	1	1.0	8	1.3	7	1.9
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
9一(7)	日本語の新聞を 読むこと	276	28.5	219	34.1	43	19.1	14	14.0	242	40.5	34	9.2
	十分にできる	360	37.2	224	34.9	112	49.8	24	24.0	288	48.2	72	19.5
	一応はできる	142	14.7	84	13.1	37	16.4	21	21.0	60	10.0	82	22.2
	なんとかかできる	176	18.2	107	16.7	31	13.8	38	38.0	3	0.5	173	46.9
	全くできない	13	1.3	8	1.2	2	0.9	3	3.0	5	0.8	8	2.2
	NA	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
	計	202	20.9	142	22.1	46	20.4	14	14.0	160	26.8	42	11.4
9一(8)	友人に日本語で 手紙を書くこと	399	41.3	267	41.6	100	44.4	32	32.0	303	50.7	96	26.0
	十分にできる	251	26.0	158	24.6	61	27.1	32	32.0	126	21.1	125	33.9
	一応はできる	103	10.7	67	10.4	16	7.1	20	20.0	4	0.7	99	26.7
	なんとかかできる	12	1.2	8	1.2	2	0.9	2	2.0	5	0.8	7	1.9
	全くできない	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
	NA	202	20.9	142	22.1	46	20.4	14	14.0	160	26.8	42	11.4
	計	399	41.3	267	41.6	100	44.4	32	32.0	303	50.7	96	26.0
	十分にできる	251	26.0	158	24.6	61	27.1	32	32.0	126	21.1	125	33.9
	一応はできる	103	10.7	67	10.4	16	7.1	20	20.0	4	0.7	99	26.7
	なんとかかできる	12	1.2	8	1.2	2	0.9	2	2.0	5	0.8	7	1.9
	全くできない	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
	NA	202	20.9	142	22.1	46	20.4	14	14.0	160	26.8	42	11.4
	計	399	41.3	267	41.6	100	44.4	32	32.0	303	50.7	96	26.0
10. 学部課程カリキュラムについて(母国でうけた高校の教育水準からみて難かすぎると考えますか)													
	大きな格差はないと思う	196	65.8	118	64.1	69	70.4	9	56.3	173	70.9	23	42.6
	ある科目は難しすぎと思う	87	29.2	57	31.0	25	25.5	5	31.3	57	23.4	30	55.6
	NA	15	5.0	9	4.9	4	4.1	2	12.5	14	5.7	1	1.9
	計	298	100.0	184	100.0	98	100.0	16	100.0	244	100.0	54	100.0
10一(2)	理工	47	54.0	31	54.4	13	52.0	3	60.0	26	45.6	21	70.0
	具体的科目	3	3.4	1	1.8	2	8.0	0	0	3	5.3	0	0
	(難しいと思う)	14	16.1	11	19.3	2	8.0	1	20.0	11	19.3	3	10.0
	経営、経済	6	6.9	4	7.0	2	8.0	0	0	5	8.8	1	3.3
	政治、法律	2	2.3	0	0	2	8.0	0	0	1	1.8	1	3.3
	その他	1	1.1	1	1.8	0	0	0	0	1	1.8	0	0
	NA	14	16.1	9	15.8	4	16.0	1	20.0	10	17.5	4	13.3
	計	87	100.0	57	100.0	25	100.0	5	100.0	57	100.0	30	100.0
11. 授業の理解度について(あなたはどの程度理解できていると考えますか)													

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				別				回答言語別	
		実数	(%)	男		女		N.A.		日本語		英語	
				実数	(%)								
11-(1) 一般教養課程の 講義	10(%)	2	0.7	0	0	1	1.0	1	6.3	1	0.4	1	1.9
	20	2	0.7	2	1.1	0	0	0	0	1	0.4	1	1.9
	30	12	4.0	4	2.2	7	7.1	1	6.3	7	2.9	5	9.3
	40	13	4.4	11	6.0	2	2.0	0	0	11	4.5	2	3.7
	50	22	7.4	15	8.2	5	5.1	2	12.5	16	6.6	6	11.1
	60	37	12.4	23	12.5	14	14.3	0	0	31	12.7	6	11.1
	70	73	24.5	44	23.9	26	26.5	3	18.8	61	25.0	12	22.2
	80	81	27.2	53	28.8	26	26.5	2	12.5	72	29.5	9	16.7
	90	35	11.7	17	9.2	13	13.3	5	31.3	29	11.9	6	11.1
	100	11	3.7	9	4.9	1	1.9	1	6.3	8	3.3	3	5.6
	N.A	10	3.4	6	3.3	3	3.1	1	6.3	7	2.9	3	5.6
計	298	100.0	184	100.0	98	100.0	16	100.0	244	100.0	54	100.0	
11-(2) 専門教養課程の 講義	10(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	3	1.0	2	1.1	1	1.0	0	0	3	1.2	0	0
	40	8	2.7	6	3.3	2	2.0	0	0	5	2.0	3	5.6
	50	20	6.7	11	6.0	7	7.1	2	12.5	16	6.6	4	7.4
	60	37	12.4	23	12.5	13	13.3	1	6.3	30	12.3	7	13.0
	70	85	28.5	50	27.2	34	34.7	1	6.3	75	30.7	10	18.5
	80	78	26.2	51	27.7	23	23.5	4	25.0	67	27.5	11	20.4
	90	44	14.8	26	14.1	13	13.3	5	31.3	34	13.9	10	18.5
	100	8	2.7	5	2.7	2	2.0	1	6.3	6	2.5	2	3.7
	N.A	15	5.0	10	5.4	3	3.1	2	12.5	8	3.3	7	13.0
計	298	100.0	184	100.0	98	100.0	16	100.0	244	100.0	54	100.0	
11-(3) 専門教養課程の 演習	10(%)	2	0.7	2	1.1	0	0	0	0	2	0.8	0	0
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	2	0.7	1	0.5	1	1.0	0	0	1	0.4	1	1.9
	40	7	2.3	4	2.2	3	3.1	0	0	5	2.0	2	3.7

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総 計		性 別						回 答 言 語 別			
				男		女		N.A.		日 本 語		英 語	
		実 数	(%)	実 数	(%)	実 数	(%)	実 数	(%)	実 数	(%)	実 数	(%)
	50	24	8.1	16	8.7	5	5.1	3	18.8	19	7.8	5	9.2
	60	30	10.1	19	10.3	10	10.2	1	6.3	24	9.8	6	11.1
	70	77	25.8	40	21.7	36	36.7	1	6.3	70	28.7	7	13.0
	80	65	21.8	48	26.1	15	15.3	2	12.5	57	23.4	8	14.8
	90	46	15.4	23	12.5	17	17.3	6	37.5	34	13.9	12	22.2
	100	11	3.7	9	4.9	2	2.0	0	0	11	4.5	0	0
	NA	34	11.4	22	12.0	9	9.2	3	18.8	21	8.6	13	24.1
	計	298	100.0	184	100.0	98	100.0	16	100.0	244	100.0	54	100.0
11-(4)	10(%)	2	0.7	1	0.5	1	1.0	0	0	2	0.8	0	0
専門教養課程の 実習	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	3	1.0	2	1.1	1	1.0	0	0	2	0.8	1	1.9
	40	5	1.7	3	1.6	2	2.0	0	0	5	2.0	0	0
	50	21	7.0	15	8.2	4	4.1	2	12.5	16	6.6	5	9.3
	60	27	9.1	18	9.8	9	9.2	0	0	18	7.4	9	16.7
	70	63	21.1	32	17.4	29	29.6	2	12.5	58	23.8	5	9.3
	80	60	20.1	44	23.9	13	13.3	3	18.8	51	20.9	9	16.7
	90	39	13.1	22	12.0	14	14.3	3	18.8	28	11.5	11	20.4
	100	13	4.4	11	6.0	1	1.0	1	6.3	12	4.9	1	1.9
	NA	65	21.8	36	19.6	24	24.5	5	31.3	52	21.3	13	24.1
	計	298	100.0	184	100.0	98	100.0	16	100.0	244	100.0	54	100.0
12. 大学院での学習等について													
12. 日本の大学院 で最終的に取得 したい学位	修 士	138	33.3	85	29.0	39	57.4	14	25.9	78	32.2	60	34.7
	博 士	240	57.8	179	61.1	26	38.2	35	64.8	144	59.5	96	55.5
	NA	37	8.9	29	9.9	3	4.4	5	9.3	20	8.3	17	9.8
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	242	100.0	173	100.0
12-(1)	理 工	31	22.5	29	34.1	1	2.6	1	7.1	18	23.1	13	21.7
修士学位	農 学	15	10.9	6	7.1	4	10.3	5	35.7	2	2.6	13	21.7
	医・薬学	7	5.1	4	4.7	2	5.1	1	7.1	2	2.6	5	8.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		男		女		日本語		英語					
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
	その他理科 日本語 人文・社会 経営・経済 政治・法律 その他文科 計	2 1 22 25 6 13 138	1.4 0.7 15.9 18.1 4.3 9.4 100.0	2 1 9 16 3 5 85	2.4 1.2 10.6 18.8 3.5 5.9 100.0	0 0 12 7 3 7 39	0 0 30.8 17.9 7.7 17.9 100.0	0 0 1 2 0 1 14	0 0 7.1 14.3 0 7.1 100.0	1 0 20 18 4 8 78	1.3 0 25.6 23.1 5.1 10.3 100.0	1 1 2 7 2 5 60	1.7 1.7 3.3 11.7 3.3 8.3 100.0
12-(2) 博士学位	理工 農学 医・薬学 その他理科 日本語 人文・社会 経営・経済 政治・経済 その他理科 計	85 40 19 9 0 26 15 4 11 240	35.4 16.7 7.9 3.7 0 10.8 6.3 1.7 4.6 100.0	70 36 13 8 0 10 12 2 7 179	39.1 20.1 7.3 4.5 0 5.6 6.7 1.1 3.9 100.0	4 2 4 0 0 6 0 2 2 26	15.4 7.7 15.4 0 0 23.1 0 7.7 7.7 100.0	11 2 2 1 0 10 3 0 2 35	31.4 5.7 5.7 2.9 0 28.6 8.6 0 5.7 100.0	58 27 10 5 0 20 6 0 6 144	40.3 18.8 6.9 3.5 0 13.9 4.2 0 4.2 100.0	27 13 9 4 0 6 9 4 5 96	28.1 13.5 9.4 4.2 0 6.3 9.4 4.2 5.2 100.0
13. 博士学位の取得について(日本のそれは、外国人留学生にとって難かしいといわれていますが、どう考えますか)													
13-(1) 日本語の理解が 十分でないため 講義が理解でき ないから	その通り そうではない なんともいえない NA 計	87 211 67 50 415	21.0 50.8 16.1 12.0 100.0	53 165 39 36 293	18.1 56.3 13.3 12.3 100.0	13 34 14 7 68	19.1 50.0 20.6 10.3 100.0	21 12 14 7 54	38.9 22.2 25.9 13.0 100.0	53 165 39 36 293	18.1 56.3 13.3 12.3 100.0	13 34 14 7 68	19.1 50.0 20.6 10.3 100.0
13-(2) 日本語の能力が 十分でないため 研究資料が理解 できないから	その通り そうではない なんともいえない NA 計	87 234 46 48 415	21.0 56.4 11.1 11.6 100.0	57 176 26 34 293	19.5 60.1 8.9 11.6 100.0	12 37 13 6 68	17.6 54.4 19.1 8.8 100.0	18 21 7 8 54	33.3 38.9 13.0 14.8 100.0	57 176 26 34 293	19.5 60.1 8.9 11.6 100.0	12 37 13 6 68	17.6 54.4 19.1 8.8 100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
13-(3) 論文執筆に日本語が要求されるから	その通り	80	19.3	57	19.5	13	19.1	10	18.5	57	19.5	13	19.1
	そうではない	218	52.5	164	56.0	35	51.5	19	35.2	164	56.0	35	51.5
	なんともいえない	64	15.4	35	11.9	12	17.6	17	31.5	35	11.9	12	17.6
	NA	53	12.8	37	12.6	8	11.8	8	14.8	37	12.6	8	11.8
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
13-(4) 英,仏,独語等2カ国語の履修が要求されこの面の負担が大きすぎるから	その通り	75	18.1	50	17.1	14	20.6	11	20.4	50	17.1	14	20.6
	そうではない	210	50.6	158	53.9	34	50.0	18	33.3	158	53.9	34	50.0
	なんともいえない	78	18.8	49	16.7	14	20.6	15	27.8	49	16.7	14	20.6
	NA	52	12.5	36	12.3	6	8.8	10	18.5	36	12.3	6	8.8
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
14. 学位の利用について、母国ではどの位有利に利用されますか													
14-(1) 政府・行政機関への就職	大いに有利	98	23.6	73	24.9	16	23.5	9	16.7	73	24.9	16	23.5
	ある程度有利	154	37.1	114	38.9	21	30.9	19	35.2	114	38.9	21	30.9
	無関係	107	25.8	69	23.5	23	33.8	15	27.8	69	23.5	23	33.8
	なんともいえない	27	6.5	18	6.1	6	8.8	3	5.6	18	6.1	6	8.8
	NA	29	7.0	19	6.5	2	2.9	8	14.8	19	6.5	2	2.9
計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0	
14-(2) 母国の民間トップ企業への就職	大いに有利	57	13.7	42	14.3	9	13.2	6	11.1	42	14.3	9	13.2
	ある程度有利	169	40.7	124	42.3	26	38.2	19	35.2	124	42.3	26	38.2
	無関係	116	28.0	78	26.6	22	32.4	16	29.6	78	26.6	22	32.4
	なんともいえない	37	8.9	25	8.5	8	11.8	4	7.4	25	8.5	8	11.8
	NA	36	8.7	24	8.2	3	4.4	9	16.7	24	8.2	3	4.4
計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0	
14-(3) 母国にある日本(または合弁)企業への就職	大いに有利	77	18.6	57	19.5	12	17.6	8	14.8	57	19.5	12	17.6
	ある程度利用	132	31.8	90	30.7	25	36.8	17	31.5	90	30.7	25	36.8
	無関係	111	26.7	77	26.3	20	29.4	14	25.9	77	26.3	20	29.4
	なんともいえない	53	12.8	41	14.0	7	10.3	5	9.3	41	14.0	7	10.3
	NA	41	10.1	28	9.6	4	5.9	10	18.5	28	9.6	4	5.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	415	100.0	292	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
4—(4) 研究・教育機関 への就職	大いに有利	179	43.1	127	43.3	30	44.1	22	40.7	127	43.3	30	44.1
	ある程度有利	160	38.6	116	39.6	28	41.2	16	29.6	116	39.6	28	41.2
	無関係	44	10.6	29	9.9	7	10.3	8	14.8	29	9.9	7	10.3
	なんともいえない	12	2.9	8	2.7	2	2.9	2	3.7	8	2.7	2	2.9
	NA	20	4.8	13	4.4	1	1.5	6	11.1	13	4.4	1	1.5
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
14—(5) 高い報酬を得る ため	大いに有利	45	10.8	36	12.3	7	10.3	2	3.7	36	12.3	7	10.3
	ある程度有利	151	36.4	109	37.2	20	29.4	22	40.7	109	37.2	20	29.4
	無関係	149	35.9	99	33.8	31	45.6	19	35.2	99	33.8	31	45.6
	なんともいえない	40	9.6	29	9.9	8	11.8	3	5.6	29	9.9	8	11.8
	NA	30	7.2	20	6.8	2	2.9	8	14.8	20	6.8	2	2.9
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
14—(6) 社会的威信の証 明	大いに有利	79	19.0	61	20.8	12	17.6	6	11.1	61	20.8	12	17.6
	ある程度は有利	149	35.9	106	36.2	25	36.8	18	33.3	106	36.2	25	36.8
	無関係	124	29.9	82	28.0	23	33.8	19	35.2	82	28.0	23	33.8
	なんともいえない	30	7.2	20	6.8	7	10.3	3	5.6	20	6.8	7	10.3
	NA	33	8.0	24	8.2	1	1.5	8	14.8	24	8.2	1	1.5
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
14—(7) 専門的知識と仕 事での直接的活 用	大いに有利	177	42.7	125	42.7	27	39.7	25	46.3	125	42.7	27	39.7
	ある程度有利	173	41.7	125	42.7	34	50.0	14	25.9	125	42.7	34	50.0
	無関係	27	6.5	18	6.1	3	4.4	6	11.1	18	6.1	3	4.4
	なんともいえない	13	3.1	10	3.4	1	1.5	2	3.7	10	3.4	1	1.5
	NA	25	6.0	15	5.1	3	4.4	7	13.0	15	5.1	3	4.4
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
14—(8) 母国発展への寄 与	大いに有利	174	41.9	134	45.7	20	29.4	20	37.0	134	45.7	20	29.4
	ある程度有利	151	36.4	101	34.5	33	48.5	17	31.5	101	34.5	33	48.5
	無関係	27	6.5	17	5.8	6	8.8	4	7.4	17	5.8	6	8.8

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	なんともいえない	24	5.8	18	6.1	4	5.9	2	3.7	18	6.1	4	5.9
	NA	39	9.4	23	7.8	5	7.4	11	20.4	23	7.8	5	7.4
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
15. 博士学位の評価について(母国の仕事の領域では、次の諸国の学位はどのように評価されていますか)													
15-(1)	高く評価	102	24.6	71	24.2	20	29.4	11	20.4	71	24.2	20	29.4
母国の学位	ある程度評価	205	49.4	147	50.2	32	47.1	26	48.1	147	50.2	32	47.1
	ほとんど評価されぬ	23	5.5	19	6.5	2	2.9	2	3.7	19	6.5	2	2.9
	なんともいえない	28	6.7	20	6.8	4	5.9	4	7.4	20	6.8	4	5.9
	わからない	25	6.0	16	5.5	7	10.3	2	3.7	16	5.5	7	10.3
	NA	32	7.7	20	6.8	3	4.4	9	16.7	20	6.8	3	4.4
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
	15-(2)	高く評価	299	72.0	210	71.7	57	83.8	32	59.3	210	71.7	57
アメリカ合衆国の学位	ある程度評価	69	16.6	51	17.4	7	10.3	11	20.4	51	17.4	7	10.3
	殆んど評価されぬ	4	1.0	3	1.0	0	0	1	1.9	3	1.0	0	0
	なんともいえない	5	1.2	4	1.4	0	0	1	1.9	4	1.4	0	0
	わからない	15	3.6	11	3.8	1	1.5	3	5.6	11	3.8	1	1.5
	NA	23	5.5	14	4.8	3	4.4	6	11.1	14	4.8	3	4.4
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
15-(3)	高く評価	221	53.3	151	51.5	39	57.4	31	57.4	151	51.5	39	57.4
ヨーロッパ諸国の学位	ある程度評価	125	30.1	92	31.4	21	30.9	12	22.2	92	31.4	21	30.9
	殆んど評価されぬ	8	1.9	8	2.7	0	0	0	0	8	2.7	0	0
	なんともいえない	7	1.7	6	2.0	0	0	1	1.9	6	2.0	0	0
	わからない	30	7.2	21	7.2	5	7.4	4	7.4	21	7.2	5	7.4
	NA	24	5.8	14	5.1	3	4.3	6	11.1	15	5.1	3	4.4
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
15-(4)	高く評価	17	4.1	11	3.8	4	5.9	2	3.7	11	3.8	4	5.9
東洋諸国の学位	ある程度評価	151	36.4	98	33.4	33	48.5	20	37.0	98	33.4	33	48.5
	殆んど評価されぬ	102	24.6	79	27.0	12	17.6	11	20.4	79	27.0	12	17.6

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	なんともいえない	43	10.4	30	10.2	7	10.3	6	11.1	30	10.2	7	10.3
	わからない	74	17.8	56	19.1	10	14.7	8	14.8	56	19.1	10	14.7
	NA	28	6.7	19	6.5	2	2.9	7	13.0	19	6.5	2	2.9
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
15-(5) 日本の学位	高く評価	128	30.8	96	32.8	19	27.9	13	24.1	96	32.8	19	27.9
	ある程度評価	210	50.6	145	49.5	38	55.9	27	50.0	145	49.5	38	55.9
	殆んど評価されぬ	19	2.4	7	2.4	3	4.4	0	0	7	2.4	3	4.4
	なんともいえない	21	5.1	15	5.1	4	5.9	2	3.7	15	5.1	4	5.9
	わからない	27	6.5	19	6.5	2	2.9	6	11.1	19	6.5	2	2.9
	NA	19	4.6	11	3.8	2	2.9	6	11.1	11	3.8	2	2.9
	計	415	100.0	293	100.0	68	100.0	54	100.0	293	100.0	68	100.0
V. 日本留学への評価													
16. 留学学生生活の満足度													
16-(1) 大学スタッフ の交流	大いに満足	217	22.4	148	23.1	39	17.3	30	30.0	148	23.1	39	17.3
	どちらかといえば満足	471	48.7	315	49.1	114	50.7	42	42.0	315	49.1	114	50.7
	不満が多い	125	12.9	73	11.4	35	15.6	17	17.0	73	11.4	35	15.6
	なんともいえない	131	13.5	93	14.5	32	14.2	6	6.0	93	14.5	32	14.2
	NA	23	2.4	13	2.0	5	2.2	5	5.0	13	2.0	5	2.2
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
16-(2) 大学の学生たち との交流	大いに満足	156	16.1	109	17.0	30	13.3	17	17.0	109	17.0	30	13.3
	どちらかといえば満足	470	48.6	324	50.5	103	45.8	43	43.0	324	50.5	103	45.7
	不満が多い	208	21.5	125	19.5	58	25.8	25	25.0	125	19.5	58	25.8
	なんともいえない	107	11.1	70	10.9	28	12.4	9	9.0	70	10.9	28	12.4
	NA	26	2.7	14	2.2	6	2.7	6	6.0	14	2.2	6	2.7
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
16-(3) 一般社会人との 交流	大いに満足	175	18.1	123	19.2	27	12.0	25	25.0	123	19.2	27	12.0
	どちらかといえば満足	443	45.8	295	46.0	104	46.2	44	44.0	295	46.9	104	46.2
	不満が多い	171	17.7	105	16.4	49	21.8	17	17.0	105	16.4	49	21.8

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計						性別						別						回答言語別					
		男		女		N.A.		男		女		N.A.		日本語		英語		日本語		英語					
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
	なんともいえない NA 計	159	16.4	107	16.7	41	18.2	11	11.0	107	16.7	41	18.2	107	16.7	41	18.2	107	16.7	41	18.2				
		19	2.0	12	1.9	4	1.8	3	3.0	12	1.9	4	1.8	12	1.9	4	1.8	12	1.9	4	1.8				
		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0				
16-(4) 日常の学習・研 究活動	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	245	25.3	174	27.1	38	16.9	33	33.0	174	27.1	38	16.9	174	27.1	38	16.9	174	27.1	38	16.9				
		503	52.0	337	52.5	119	52.9	47	47.0	337	52.5	119	52.9	337	52.5	119	52.9	337	52.5	119	52.9				
		138	14.3	77	12.0	46	20.4	15	15.0	77	12.0	46	20.4	77	12.0	46	20.4	77	12.0	46	20.4				
16-(5) 日本国内の視察 見学旅行	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	64	6.6	43	6.7	18	8.0	3	3.0	43	6.7	18	8.0	43	6.7	18	8.0	43	6.7	18	8.0				
		17	1.8	11	1.7	4	1.8	2	2.0	11	1.7	4	1.8	11	1.7	4	1.8	11	1.7	4	1.8				
		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0				
16-(6) 日常の衣食住生 活	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	213	22.0	133	20.7	50	22.2	30	30.0	133	20.7	50	22.2	133	20.7	50	22.2	133	20.7	50	22.2				
		417	43.1	281	43.8	99	44.0	37	37.0	281	43.8	99	44.0	281	43.8	99	44.0	281	43.8	99	44.0				
		184	19.0	115	17.9	51	22.7	18	18.0	115	17.9	51	22.7	115	17.9	51	22.7	115	17.9	51	22.7				
16-(7) 孤独感からの解 放	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	124	12.8	92	14.3	22	9.8	10	10.0	92	14.3	22	9.8	92	14.3	22	9.8	92	14.3	22	9.8				
		29	3.0	21	3.3	3	1.3	5	5.0	21	3.3	3	1.3	21	3.3	3	1.3	21	3.3	3	1.3				
		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0				
16-(8)	大いに満足	221	22.9	149	23.1	45	20.0	27	27.0	149	23.2	45	20.0	149	23.2	45	20.0	149	23.2	45	20.0				
		528	54.6	337	52.5	140	62.2	51	51.0	337	52.5	140	62.2	337	52.5	140	62.2	337	52.5	140	62.2				
		135	14.0	97	15.1	23	10.2	15	15.0	97	15.1	23	10.2	97	15.1	23	10.2	97	15.1	23	10.2				
16-(7) 孤独感からの解 放	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	56	5.8	41	6.4	13	5.8	2	2.0	41	6.4	13	5.8	41	6.4	13	5.8	41	6.4	13	5.8				
		27	2.8	18	2.8	4	1.8	5	5.0	18	2.8	4	1.8	18	2.8	4	1.8	18	2.8	4	1.8				
		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0				
16-(8)	大いに満足	124	12.8	78	12.1	29	12.9	17	17.0	78	12.1	29	12.9	78	12.1	29	12.9	78	12.1	29	12.9				
		370	38.3	247	38.5	87	38.7	36	36.0	247	38.5	87	38.7	247	38.5	87	38.7	247	38.5	87	38.7				
		240	24.8	162	25.2	47	20.9	31	31.0	162	25.2	47	20.9	162	25.2	47	20.9	162	25.2	47	20.9				
16-(8)	大いに満足	192	19.9	129	20.1	54	24.0	9	9.0	129	20.1	54	24.0	129	20.1	54	24.0	129	20.1	54	24.0				
		41	4.2	26	4.0	8	3.6	7	7.0	26	4.0	8	3.6	26	4.0	8	3.6	26	4.0	8	3.6				
		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0	642	100.0	225	100.0				
16-(8)	大いに満足	215	22.2	138	21.5	45	20.0	32	32.0	138	21.5	45	20.0	138	21.5	45	20.0	138	21.5	45	20.0				

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				別				回答言語別			
		実数	(%)	男		女		N.A.		日本語		英語			
				実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
留学成果の母国 での活用の期待 感	どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	427	44.2	287	44.7	98	43.6	42	42.0	287	44.7	98	43.6		
		100	10.3	72	11.2	22	9.8	6	6.0	72	11.2	22	9.8		
16-19)	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	195	20.2	127	19.8	52	23.1	16	16.0	127	19.8	52	23.1		
		30	3.1	18	2.8	8	3.6	4	4.0	18	2.8	8	3.6		
日本人の母国事 情の理解	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0		
		42	4.3	33	5.1	6	2.7	3	3.0	33	5.1	6	2.7		
17-1)	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	291	30.1	201	31.3	59	26.2	31	31.0	201	31.3	59	26.2		
		433	44.8	274	42.7	114	50.7	45	45.0	274	42.7	114	50.7		
17-1)-1	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	158	16.3	109	17.0	34	15.1	15	15.0	109	17.0	34	15.1		
		43	4.4	25	3.9	12	5.3	6	6.0	25	3.9	12	5.3		
17-1)-2	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0		
		233	24.1	179	27.9	32	14.2	22	22.0	179	27.9	32	14.2		
日本の大学は概 ね国際的な学術 水準に達してい る	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	513	53.1	354	55.1	112	49.8	47	47.0	354	55.1	112	49.8		
		65	6.7	35	5.5	21	9.3	9	9.0	35	5.5	21	9.3		
17-1)-3	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	56	5.8	28	4.4	21	9.3	7	7.0	28	4.4	21	9.3		
		77	8.0	36	5.6	28	12.4	13	13.0	36	5.6	28	12.4		
日本の大学は発 展途上国の抱え る問題に十分な 関心を持っている	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	23	2.4	10	1.6	11	4.9	2	2.0	10	1.6	11	4.9		
		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0		
17-1)-3	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	95	9.8	58	9.0	23	10.2	14	14.0	58	9.0	23	10.2		
		304	31.4	210	32.7	68	30.2	26	26.0	210	32.7	68	30.2		
日本の大学教授	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	308	31.9	216	33.6	68	30.2	24	24.0	216	33.6	68	30.2		
		106	11.0	60	9.3	28	12.4	18	18.0	60	9.3	28	12.4		
17-1)-3	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	129	13.3	86	13.4	28	12.4	15	15.0	86	13.4	28	12.4		
		25	2.6	12	1.9	10	4.4	3	3.0	12	1.9	10	4.4		
日本の大学教授	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0		
		245	25.3	168	26.2	48	21.3	29	29.0	168	26.2	48	21.3		
日本の大学教授	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	405	41.9	271	42.2	96	42.7	38	38.0	271	42.2	96	42.7		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
は留学生問題に 十分な関心を持 っている	同意できない	161	16.6	103	16.0	44	19.6	14	14.0	103	16.0	44	19.6
	なんともいえない	90	9.3	56	8.7	21	9.3	13	13.0	56	8.7	21	9.3
	わからない	38	3.9	29	4.5	6	2.7	3	3.0	29	4.5	6	2.7
	NA	28	2.9	15	2.3	10	4.4	3	3.0	15	2.3	10	4.4
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
17-(1)-4 日本の大学教授 は留学生の成績 を厳しく評価し ている	全くその通り	109	11.3	70	10.9	21	9.3	18	18.0	70	10.9	21	9.3
	ある程度同意	354	36.6	250	38.9	73	32.4	31	31.0	250	38.9	73	32.4
	同意できない	152	15.7	95	14.8	43	19.1	14	14.0	95	14.8	43	19.1
	なんともいえない	163	16.9	95	14.8	49	21.8	19	19.0	95	14.8	49	21.8
	わからない	157	16.2	113	17.6	29	12.9	15	15.0	113	17.6	29	12.9
NA	32	3.3	19	3.0	10	4.4	3	3.0	19	3.0	10	4.4	
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	
17-(1)-5 日本の大学生は 留学生の勉学に 十分に協力的で ある	全くその通り	137	14.2	96	15.0	23	10.2	18	18.0	96	15.0	23	10.2
	ある程度同意	415	42.9	275	42.8	98	43.6	42	42.0	275	42.8	98	43.6
	同意できない	225	23.3	150	23.4	53	23.6	22	22.0	150	23.4	53	23.6
	なんともいえない	118	12.2	76	11.8	32	14.2	10	10.0	76	11.8	32	14.2
	わからない	45	4.7	29	4.5	10	4.4	6	6.0	29	4.5	10	4.4
NA	27	2.8	16	2.5	9	4.0	2	2.0	16	2.5	9	4.0	
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	
17-(1)-6 日本の大学は留 学生に対して歳 新の理論や学術 成果を積極的に 提供している	全くその通り	134	13.9	93	14.5	24	10.7	17	17.0	93	14.5	24	10.7
	ある程度同意	312	32.3	224	34.9	60	26.7	28	28.0	224	34.9	60	26.7
	同意できない	205	21.2	124	19.3	66	29.3	15	15.0	124	19.3	66	29.3
	なんともいえない	137	14.2	87	13.6	33	14.7	17	17.0	87	13.6	33	14.7
	わからない	149	15.4	101	15.7	32	14.2	16	16.0	101	15.7	32	14.2
NA	30	3.1	13	2.0	10	4.4	7	7.0	13	2.0	10	4.4	
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	
17-(1)-7 日本の大学は帰	全くその通り	79	8.2	55	8.6	15	6.7	9	9.0	55	8.6	15	6.7
	ある程度同意	143	14.8	108	16.8	25	11.1	10	10.0	108	16.8	25	11.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
国後の留学生と積極的に交流しようとしている	同意できない	172	17.8	108	16.8	53	23.6	11	11.0	108	16.8	53	23.6
	なんともいえない	99	10.2	70	10.9	20	8.9	9	9.0	70	10.9	20	8.9
	わからない	445	46.0	286	44.5	102	45.3	57	57.0	286	44.5	102	45.3
	NA	29	3.0	15	2.3	10	4.4	4	4.0	15	2.3	10	4.4
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
17-(2)日本留学に関して													
17-(2)-1 再度の機会があれば、日本で研究の仕上げをしたい	全くその通り	443	45.8	299	46.6	92	40.9	52	52.0	299	46.6	92	40.9
	ある程度同意	299	30.9	201	31.3	75	33.3	23	23.0	201	31.3	75	33.3
	同意できない	65	6.7	43	6.7	16	7.1	6	6.0	43	6.7	16	7.1
	なんともいえない	66	6.8	39	6.1	18	8.0	9	9.0	39	6.1	18	8.0
	わからない	71	7.3	49	7.6	15	6.7	7	7.0	49	7.6	15	6.7
	NA	23	2.4	11	1.7	9	4.0	3	3.0	11	1.7	9	4.0
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	
17-(2)-2 母国の学生達に日本留学を積極的にすすめたい	全くその通り	275	28.4	183	28.5	54	24.0	38	38.0	183	28.5	54	24.0
	ある程度同意	408	42.3	281	43.8	96	42.7	32	32.0	281	43.8	96	42.7
	同意できない	101	10.4	64	10.0	27	12.0	10	10.0	64	10.0	27	12.0
	なんともいえない	121	12.5	79	12.3	31	13.8	11	11.0	79	12.3	31	13.8
	わからない	38	3.9	24	3.7	9	4.0	5	5.0	24	3.7	9	4.0
	NA	23	2.4	11	1.7	8	3.6	4	4.0	11	1.7	8	3.6
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	
17-(2)-3 留学体験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となろう	全くその通り	489	50.6	339	52.8	94	41.8	56	56.0	339	52.8	94	41.8
	ある程度同意	319	33.0	208	32.4	81	36.0	30	30.0	208	32.4	81	36.0
	同意できない	49	5.1	30	4.7	15	6.7	4	4.0	30	4.7	15	6.7
	なんともいえない	56	5.8	34	5.3	20	8.9	2	2.0	34	5.3	20	8.9
	わからない	30	3.1	19	3.0	5	2.2	6	6.0	19	3.0	5	2.2
	NA	24	2.5	12	1.9	10	4.4	2	2.0	12	1.9	10	4.4
計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0	
17-(2)-4	全くその通り	727	75.2	481	74.9	170	75.6	76	76.0	481	74.9	170	75.6

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
留学は日本人の生活態度、考え方や日本の文化社会、経済等を認識する絶好の機会である	ある程度同意	184	19.0	124	19.3	42	18.7	18	18.0	124	19.3	42	18.7
	同意できない	13	1.3	10	1.6	1	0.4	2	2.0	10	1.6	1	0.4
	なんともいえない	14	1.4	10	1.6	4	1.8	0	0	10	1.6	4	1.8
	わからない	6	0.6	5	0.8	0	0	1	1.0	5	0.8	0	0
	NA	23	2.4	12	1.9	8	3.6	3	3.0	12	1.9	8	3.6
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
17-(2)-5 日本は帰国留学生に対するアフターサービスをよくやっている	全うその通り	60	6.2	38	5.9	10	4.4	12	12.0	38	5.9	10	4.4
	ある程度同意	122	12.6	84	13.1	28	12.4	10	10.0	84	13.1	28	12.4
	同意できない	181	18.7	120	18.7	50	22.2	11	11.0	120	18.7	50	22.7
	なんともいえない	77	8.0	52	8.1	17	7.6	8	8.0	52	8.1	17	7.6
	わからない	499	51.6	331	51.6	113	50.2	55	55.0	331	51.6	113	50.2
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
17-(3) 留学生の受入について													
17-(3)-1 留学生受入れについて民間のボランティア活動は充実している	全くその通り	86	8.9	59	9.2	12	5.3	15	15.0	59	9.2	12	5.3
	ある程度同意	317	32.8	201	31.3	78	34.7	38	38.0	201	31.3	78	34.7
	同意できない	202	20.9	147	22.9	51	22.7	4	4.0	147	22.9	51	22.7
	なんともいえない	86	8.9	58	9.0	20	8.9	8	8.0	58	9.0	20	8.9
	わからない	250	25.9	161	25.1	58	25.8	31	31.0	161	25.1	58	25.8
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
17-(3)-2 宿舎やアルバイト探しについて日本人は協力的である	全くその通り	121	12.5	88	13.7	20	8.9	13	13.0	88	13.7	20	8.9
	ある程度同意	310	32.1	202	31.5	68	30.2	40	40.0	202	31.5	68	30.2
	同意できない	242	25.0	165	25.7	59	26.2	18	18.0	165	25.7	59	26.2
	なんともいえない	95	9.8	57	8.9	27	12.0	11	11.0	57	8.9	27	12.0
	わからない	176	18.2	117	18.2	43	19.1	16	16.0	117	18.2	43	19.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
17-(3)-3 留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	全くその通り	47	4.9	29	4.5	13	5.8	5	5.0	29	4.5	13	5.8
	ある程度同意	176	18.2	108	16.8	50	22.2	18	18.0	108	16.8	50	22.2
	同意できない	357	36.9	253	39.4	79	35.1	25	25.0	253	39.4	79	35.1
	なんともいえない	77	8.0	54	8.4	15	6.7	8	8.0	54	8.4	15	6.7
	わからない	288	29.8	185	28.8	61	27.1	42	42.0	185	28.8	61	27.1
	NA	22	2.3	13	2.0	7	3.1	2	2.0	13	2.0	7	3.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
[宿舎条件— 希望順位] 17-(4)-A-1 大学付属の寮	1位	328	33.9	218	34.0	80	35.6	30	30.0	218	34.0	80	35.6
	2位	275	28.4	172	26.8	68	30.2	35	35.0	172	26.8	68	30.2
	3位	160	16.5	107	16.7	40	17.8	13	13.0	107	16.7	40	17.8
	4位	95	9.8	76	11.8	13	5.8	6	6.0	76	11.8	13	5.8
	NA	109	11.3	69	10.7	24	10.7	16	16.0	69	10.7	24	10.7
17-(4)-A-2 外国人用宿舎	1位	249	25.7	171	26.6	55	24.4	23	23.0	171	26.6	55	24.4
	2位	254	26.3	177	27.6	59	26.2	18	18.0	177	27.6	59	26.2
	3位	163	16.9	100	15.6	42	18.7	21	21.0	100	15.6	42	18.7
	4位	181	18.7	120	18.7	44	19.6	17	17.0	120	18.7	44	19.6
	NA	120	12.4	74	11.5	25	11.1	21	21.0	74	11.5	25	11.1
17-(4)-A-3 民間アパート	1位	156	16.1	100	15.6	36	16.0	20	20.0	100	15.6	36	16.0
	2位	171	17.7	121	18.8	35	15.6	15	15.0	121	18.8	35	15.6
	3位	307	31.7	211	32.9	64	28.4	32	32.0	211	32.9	64	28.4
	4位	210	21.7	133	20.7	63	28.0	14	14.0	133	20.7	63	28.0
	NA	123	12.7	77	12.0	27	12.0	19	19.0	77	12.0	27	12.0
17-(4)-A-4 日本人の家庭	1位	141	14.6	94	14.6	32	14.2	15	15.0	94	14.6	32	14.2
	2位	147	15.2	97	15.1	38	16.9	12	12.0	97	15.1	38	16.9
	3位	208	21.5	144	22.4	51	22.7	13	13.0	144	22.4	51	22.7
	4位	343	35.5	227	35.4	76	33.8	40	40.0	227	35.4	76	33.8
	NA	128	13.2	80	12.5	28	12.4	20	20.0	80	12.5	28	12.4
17-(4)-B	外国人留学生だけ	168	17.4	123	19.2	30	13.3	15	15.0	123	19.2	30	13.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
留学生だけが日 本人と一諸か	日本人と一諸	673	69.6	441	68.7	165	73.3	67	67.0	441	68.7	165	73.3
	NA	126	13.0	78	12.1	30	13.3	18	18.0	78	12.1	30	13.3
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
17-(4)-C 個室か共用か	個室がよい	847	87.6	565	88.0	201	89.3	81	81.0	565	88.0	201	89.3
	他人と共用がよい	33	3.4	22	3.4	6	2.7	5	5.0	22	3.4	6	2.7
	NA	87	9.0	55	8.6	18	8.0	14	14.0	55	8.6	18	8.0
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
VI. 日本経済の発展について(次の意見につき、あなたの考えを聞かせてください)													
19-(1)日本の教育制度(総計)		967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	598	100.0	369	100.0
19-(1)-A	その通り	268	27.7	181	28.2	57	25.3	30	30.0	181	28.2	57	25.3
義務教育年限が 6.3制で十分に 長いこと	どちらかといえば その通りと思う	287	29.7	188	29.3	73	32.4	26	26.0	188	29.3	73	32.4
	そうは思わない	279	28.9	185	28.8	67	29.8	27	27.0	185	28.8	67	29.8
	なんともいえない	45	4.7	27	4.2	13	5.8	5	5.0	27	4.2	13	5.8
	わからない	70	7.2	52	8.1	9	4.0	9	9.0	52	8.1	9	4.0
	NA	18	1.9	9	1.4	6	2.7	3	3.0	9	1.4	6	2.7
19-(1)-B	その通り	272	28.1	188	29.3	62	27.6	22	22.0	188	29.3	62	27.6
義務教育での中 途退学(drop out]が少ない こと	どちらかといえば その通りと思う	240	24.8	163	25.4	55	24.4	22	22.0	163	25.4	55	24.4
	そうは思わない	119	12.3	79	12.3	30	13.3	10	10.0	79	12.3	30	13.3
	なんともいえない	61	6.3	34	5.3	18	8.0	9	9.0	34	5.3	18	8.0
	わからない	248	25.6	164	25.5	51	22.7	33	33.0	164	25.5	51	22.7
	NA	27	2.8	14	2.2	9	4.0	4	4.0	14	2.2	9	4.0
19-(1)-C	その通り	251	26.0	175	27.3	52	23.1	24	24.0	175	27.3	52	23.1
義務教育の教育 内容が充実して いること	どちらかといえば その通りと思う	324	33.5	211	32.9	82	36.4	31	31.0	211	32.9	82	36.4
	そうは思わない	79	8.2	56	8.7	15	6.7	8	8.0	56	8.7	15	6.7
	なんともいえない	64	6.6	36	5.6	24	10.7	4	4.0	36	5.6	24	10.7
	わからない	215	22.2	145	22.6	43	19.1	27	27.0	145	22.6	43	19.1
	NA	34	3.5	19	3.0	9	4.0	6	6.0	19	3.0	9	4.0
19-(1)-D	その通り	418	43.2	283	44.1	97	43.1	38	38.0	283	44.1	97	43.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
高等学校以上の 高等教育への進 学率が高いこと	どちらかといえば その通り	357	36.9	241	37.5	85	37.8	31	31.0	241	37.5	85	37.8
	そうは思わない	55	5.7	40	6.2	12	5.3	3	3.0	40	6.2	12	5.3
	なんともいえない	29	3.0	15	2.3	10	4.4	4	4.0	15	2.3	10	4.4
	わからない	84	8.7	54	8.4	11	4.9	19	19.0	54	8.4	11	4.9
	NA	24	2.5	9	1.4	10	4.4	5	5.0	9	1.4	10	4.4
19-(1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率が 高いこと	その通り	173	17.9	119	18.5	36	16.0	18	18.0	119	18.5	36	16.0
	どちらかといえば その通り	323	33.4	210	32.7	78	34.7	35	35.0	210	32.7	78	34.7
	そうは思わない	217	22.4	145	22.6	57	25.3	15	15.0	145	22.6	57	25.3
	なんともいえない	75	7.8	54	8.4	14	6.2	7	7.0	54	8.4	14	6.2
	わからない	151	15.6	102	15.9	29	12.9	20	20.0	102	15.9	29	12.9
NA	28	2.9	12	1.9	11	4.9	5	5.0	12	1.9	11	4.9	
19-(1)-F 高等教育の内容 が充実している こと	その通り	219	22.6	161	25.1	39	17.3	19	19.0	161	25.1	39	17.3
	どちらかといえば その通り	408	42.2	280	43.6	83	36.9	45	45.0	280	43.6	83	36.9
	そうは思わない	84	8.7	58	9.0	22	9.8	4	4.0	58	9.0	22	9.8
	なんともいえない	67	6.9	38	5.9	22	9.8	7	7.0	38	5.9	22	9.8
	わからない	165	17.1	96	15.0	48	21.3	21	21.0	96	15.0	48	21.3
NA	24	2.5	9	1.4	11	4.9	4	4.0	9	1.4	11	4.9	
19-(1)-G 高等教育への進 学率を高めるだ けの経済的余裕 が父兄にあるこ	その通り	220	22.8	140	21.8	57	25.3	23	23.0	140	21.8	57	25.3
	どちらかといえば その通り	383	39.6	246	38.3	92	40.9	45	45.0	246	38.3	92	40.9
	そうは思わない	122	12.6	88	13.7	29	12.9	5	5.0	88	13.7	29	12.9
	なんともいえない	54	5.6	39	6.1	9	4.0	6	6.9	39	6.1	9	4.0
	わからない	161	16.6	118	18.4	28	12.4	15	15.0	118	18.4	28	12.4
NA	27	2.8	11	1.7	10	4.4	6	6.0	11	1.7	10	4.4	
19-(1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り	156	16.1	94	14.6	42	18.7	20	20.0	94	14.6	42	18.7
	どちらかといえば その通り	296	30.6	194	30.2	65	28.9	37	37.0	194	30.2	65	28.9
	そうは思わない	170	17.6	122	19.9	35	15.6	13	13.0	122	19.0	35	15.6
	なんともいえない	60	6.2	43	6.7	11	4.9	6	6.0	43	6.7	11	4.9
	わからない	262	27.1	178	27.7	64	28.4	20	20.0	178	27.7	64	28.4

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		男		女		N.A.		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
19-(1)-I 国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	NA	23	2.4	11	1.7	8	3.6	4	4.0	11	1.7	8	3.6
	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	333	34.4	235	36.6	68	30.2	30	30.0	235	36.6	68	30.2
19-(1)-J 高等教育を積極的に進めることについての国民的関心が高いこと	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	374	38.7	235	36.6	96	42.7	43	43.0	235	36.6	96	42.7
	NA	43	4.4	32	5.0	9	4.0	2	2.0	32	5.0	9	4.0
19-(1)-K 高等教育を受けるときが、立身出世の条件として考えられてきたこと	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	33	3.4	22	3.4	9	4.0	2	2.0	22	3.4	9	4.0
	NA	158	16.3	108	16.8	32	14.2	18	18.0	108	16.8	32	14.2
19-(1)-L 個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	26	2.7	10	1.6	11	4.9	5	5.0	10	1.6	11	4.9
	NA	388	40.1	254	39.6	100	44.4	34	34.0	254	39.6	100	44.4
19-(2)-A 人口の規模が一人当たり	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	354	36.6	238	37.1	75	33.3	41	41.0	238	37.1	75	33.3
	NA	44	4.6	34	5.3	7	3.1	3	3.0	34	5.3	7	3.1
19-(2)-B 日本の経済発展の要因としての、人口増加について	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	36	3.7	21	3.3	13	5.8	2	2.0	21	3.3	13	5.8
	NA	116	12.0	32	12.8	19	8.4	15	15.0	82	12.8	19	8.4
19-(2)-C 高等教育を受けるときが、立身出世の条件として考えられてきたこと	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	29	3.0	13	2.0	11	4.9	5	5.0	13	2.0	11	4.9
	NA	449	46.4	292	45.5	112	49.8	45	45.0	292	45.5	112	49.8
19-(2)-D 高等教育を受けるときが、立身出世の条件として考えられてきたこと	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	324	33.5	222	34.6	71	31.6	31	31.0	222	34.6	71	31.6
	NA	68	7.0	45	7.0	18	8.0	5	5.0	45	7.0	18	8.0
19-(2)-E 個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	36	3.7	19	3.0	11	4.9	6	6.0	19	3.0	11	4.9
	NA	64	6.6	51	7.9	6	2.7	7	7.0	51	7.9	6	2.7
19-(2)-F 日本の経済発展の要因としての、人口増加について	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	26	2.7	13	2.0	7	3.1	6	6.0	13	2.0	7	3.1
	NA	276	28.5	188	29.3	60	26.7	28	28.0	188	29.3	60	26.7
19-(2)-G 人口の規模が一人当たり	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	341	35.3	228	35.5	77	34.2	36	36.0	228	35.5	77	34.2
	NA	164	17.0	109	17.0	44	19.6	11	11.0	109	17.0	44	19.6
19-(2)-H 日本の経済発展の要因としての、人口増加について	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	65	6.7	39	6.1	20	8.9	6	6.0	39	6.1	20	8.9
	NA	87	9.0	61	9.5	15	6.7	11	11.0	61	9.5	15	6.7
19-(2)-I 人口の規模が一人当たり	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	34	3.5	17	2.6	9	4.0	8	8.0	17	2.6	9	4.0
	NA	199	20.6	140	21.8	40	17.8	19	19.0	140	21.8	40	17.8
19-(2)-J 人口の規模が一人当たり	その通り どちらかといえば その通りと思わない そんなともいえない わからない	260	26.9	163	25.4	66	29.3	31	31.0	163	25.4	66	29.3
	NA												

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別			
		男		女		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	そうは思わない なんともいえない わからない NA	326	33.7	230	35.8	72	32.0	230	35.8	72	32.0
			6.7	41	6.4	17	7.6	41	6.4	17	7.6
		83	8.6	53	8.3	20	8.9	53	8.3	20	8.9
		34	3.5	15	2.3	10	4.4	15	2.3	10	4.4
19-(2)-B 人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	その通り どちらかといえば そうは思わない なんともいえない わからない NA	255	26.4	169	26.3	66	29.3	169	26.3	66	29.3
		363	37.5	241	37.5	80	35.6	241	37.5	80	35.6
		171	17.7	109	17.0	46	20.4	109	17.0	46	20.4
		70	7.2	52	8.1	14	6.2	52	8.1	14	6.2
19-(2)-C 最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	その通り どちらかといえば そうは思わない なんともいえない わからない NA	30	3.1	15	2.3	7	3.1	15	2.3	7	3.1
		462	47.8	321	50.0	108	48.0	321	50.0	108	48.0
		273	28.2	171	26.6	74	32.9	171	26.6	74	32.9
		70	7.2	47	7.3	14	6.2	47	7.3	14	6.2
19-(2)-D 出生率が低いのは	その通りと思う どちらかといえば そうは思わない なんともいえない わからない NA	25	2.6	15	2.3	5	2.2	15	2.3	5	2.2
		99	10.2	71	11.1	15	6.7	71	11.1	15	6.7
		38	3.9	17	2.6	9	4.0	17	2.6	9	4.0
		468	48.4	300	46.7	128	56.9	300	46.7	128	56.9
19-(2)-D-1 家族計画の考え方が普及しているから	その通りと思う どちらかといえば そうは思わない なんともいえない わからない NA	293	30.3	201	31.3	61	27.1	201	31.3	61	27.1
		53	5.5	42	6.5	6	2.7	42	6.5	6	2.7
		20	2.1	15	2.3	4	1.8	15	2.3	4	1.8
		85	8.8	62	9.7	13	5.8	62	9.7	13	5.8
19-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	その通りと思う どちらかといえば そうは思わない なんともいえない わからない NA	48	5.0	22	3.4	13	5.8	22	3.4	13	5.8
		131	13.5	91	14.2	25	11.1	91	14.2	25	11.1
		280	29.0	175	27.3	65	28.9	175	27.3	65	28.9
		317	32.8	225	35.0	74	32.9	225	35.0	74	32.9
	その通りと思う どちらかといえば そうは思わない なんともいえない わからない	66	6.8	43	6.7	18	8.0	43	6.7	18	8.0
		102	10.5	75	11.7	19	8.4	75	11.7	19	8.4

質問(項目) 番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		男		女		N.A.		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
19-(2)-D-3 優生保護法で産 児制限が合法化 されているから	NA	71	7.3	33	5.1	24	10.7	14	14.0	33	5.1	24	10.7
その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない		134	13.9	87	13.6	30	13.3	17	17.0	87	13.6	30	13.3
248	25.6	158	24.6	64	28.4	26	26.0	158	24.6	64	28.4	26	26.0
156	16.1	116	18.1	29	12.9	11	11.0	116	18.1	29	12.9	11	11.0
51	5.3	35	5.5	10	4.4	6	6.0	35	5.5	10	4.4	6	6.0
310	32.1	215	33.5	68	30.2	27	27.0	215	33.5	68	30.2	27	27.0
68	7.0	31	4.8	24	10.7	13	13.0	31	4.8	24	10.7	13	13.0
19-(2)-D-4 社会保険制度の整 備などにより老後 を子供に頼らうと いう考えが国民の 間に少なくなったから	その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	213	22.0	139	21.7	59	26.2	15	15.0	139	21.7	59	26.2
300	31.0	203	31.6	64	28.4	33	33.0	203	31.6	64	28.4	33	33.0
140	14.5	98	15.3	33	14.7	9	9.0	98	15.3	33	14.7	9	9.0
69	7.1	47	7.3	16	7.1	6	6.0	47	7.3	16	7.3	6	6.0
189	19.5	128	19.9	35	15.6	26	26.0	128	19.9	35	15.6	26	26.0
56	5.8	27	4.2	18	8.0	11	11.0	27	4.2	18	8.0	11	11.0
19-(2)-E 1940 年代の出生率が高 く若い労働者が急 増したことがこと に1960年代の日本 の経済成長を支えた	その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	167	17.3	111	17.3	43	19.1	13	13.0	111	17.3	43	19.1
321	33.2	210	32.7	71	31.6	40	40.0	210	32.7	71	31.6	40	40.0
162	16.8	128	19.9	26	11.6	8	8.0	128	19.9	26	11.6	8	8.0
67	6.9	38	5.9	20	8.9	9	9.0	38	5.9	20	8.9	9	9.0
214	22.1	140	21.8	52	23.1	22	22.0	140	21.8	52	23.1	22	22.0
36	3.7	15	2.3	13	5.8	8	8.0	15	2.3	13	5.8	8	8.0
19-(2)-F 最近 における日本の出 生率の低下、人口増 加率の低下は、日本 の経済成長を今後 低下させるであろう	その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	26	2.7	18	2.8	7	3.1	1	1.0	18	2.8	7	3.1
122	12.6	83	12.9	22	9.8	17	17.0	83	12.9	22	9.8	17	17.0
547	56.6	373	58.1	132	58.7	42	42.0	373	58.1	132	58.7	42	42.0
104	10.8	63	9.8	24	10.7	17	17.0	63	9.8	24	10.7	17	17.0
134	13.9	93	14.5	27	12.0	14	14.0	93	14.5	27	12.0	14	14.0
34	3.5	12	1.9	13	5.8	9	9.0	12	1.9	13	5.8	9	9.0
19-(3) 日本の経済成長の要因としての労働体制について													
19-(3)-A 日本人は本来勤	その通りと思う どちらかといえば その通りと思う	626	64.7	415	64.6	150	66.7	61	61.0	415	64.6	150	66.7
243	25.1	161	25.1	56	24.9	26	26.0	161	25.1	56	25.1	26	26.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		実数	(%)	男		女		日本語		英語			
				実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
他で労働の密度 が高いこと	そうは思わない なんともいえない わからない	36	3.7	26	4.0	8	3.6	2	2.0	26	4.0	8	3.6
		14	1.4	11	1.7	1	0.4	2	2.0	11	1.7	1	0.4
19-(3)-B 日本には身分意 識が少く上下の 差別なくよく働 くから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	22	2.3	16	2.5	2	0.9	4	4.0	16	2.5	2	0.9
		26	2.7	13	2.0	8	3.6	5	5.0	13	2.0	8	3.6
19-(3)-C 週45時間の長時 間労働の体制に なっている企業 が多いから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	196	20.3	131	20.4	42	18.7	23	23.0	131	20.4	42	18.7
		273	28.2	179	27.9	64	28.4	30	30.0	179	27.9	64	28.4
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	357	36.9	242	37.7	90	40.0	25	25.0	242	37.7	90	40.0
		43	4.4	25	3.9	12	5.3	6	6.0	25	3.9	12	5.3
19-(4) 経済と人的能力との関係について	その通りだ むしろそうだと 思わない まちがっている なんともいえない	64	6.6	45	7.0	9	4.0	10	10.0	45	7.0	9	4.0
		34	3.5	20	3.1	8	3.6	6	6.0	20	3.1	8	3.6
「人的能力の開発 は経済発展の重 要な原因の一つ である」という	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	287	29.7	192	29.9	61	27.1	34	34.0	192	29.9	61	27.1
		302	31.2	208	32.4	64	28.4	30	30.0	208	32.4	64	28.4
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	148	15.3	108	16.8	36	16.0	4	4.0	108	16.8	36	16.0
		39	4.0	28	4.4	10	4.4	1	1.0	28	4.4	10	4.4
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	152	15.7	85	13.2	43	19.1	24	24.0	85	13.2	43	19.1
		39	4.0	21	3.3	11	4.9	7	7.0	21	3.3	11	4.9
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	268	27.7	189	29.4	56	24.9	23	23.0	189	29.4	56	24.9
		317	32.8	204	31.8	82	36.4	31	31.0	204	31.7	82	36.4
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	133	13.8	91	14.2	31	13.8	11	11.0	91	14.2	31	13.8
		55	5.7	39	6.1	9	4.0	7	7.0	39	6.1	9	4.0
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う どちらかと思う そうは思わない なんともいえない わからない	154	15.9	97	15.1	35	15.6	22	22.0	97	15.1	35	15.6
		40	4.1	22	3.4	12	5.3	6	6.0	22	3.4	12	5.3
19-(4) 経済と人的能力との関係について	その通りだ むしろそうだと 思わない まちがっている なんともいえない	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
		775	80.1	524	81.6	176	78.2	75	75.0	524	81.6	176	78.2
19-(4) 経済と人的能力との関係について	その通りだ むしろそうだと 思わない まちがっている なんともいえない	122	12.6	70	10.9	35	15.6	17	17.0	70	10.9	35	15.6
		8	0.8	6	0.9	1	0.4	1	1.0	6	0.9	1	0.4
19-(4) 経済と人的能力との関係について	その通りだ むしろそうだと 思わない まちがっている なんともいえない	12	1.2	10	1.6	2	0.9	0	0	10	1.6	2	0.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総 計		性 別						回 答 言 語 別			
				男		女		N.A.		日 本 語		英 語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
考え方について あなたは同意し ますか	わからない	11	1.1	9	1.4	0	0	2	2.0	9	1.4	0	0
	NA	38	4.0	23	3.6	11	4.9	5	5.0	23	3.6	11	4.9
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
20. 家族について													
20-1 父親の職業	公務員	52	5.4	41	6.4	7	3.1	4	4.0	41	6.4	7	3.1
	教 師	57	5.9	39	6.1	16	7.1	2	2.0	39	6.1	16	7.1
	会社員	71	7.3	48	7.5	23	10.2	0	0	48	7.5	23	10.2
	自由業	38	3.9	25	3.9	9	4.0	4	4.0	25	3.9	9	4.0
	農 業	37	3.8	29	4.5	6	2.7	2	2.0	29	4.5	6	2.7
	商 業	76	7.9	47	7.3	22	9.8	7	7.0	47	7.3	22	9.8
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無職・無回答	636	65.8	413	64.4	142	63.1	81	81.0	413	64.4	142	63.1
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0
20-2 男子の数	1 人	191	19.8	107	16.7	64	28.4	20	20.0	107	16.7	64	28.4
	2 人	304	31.4	209	32.6	66	29.3	29	29.0	209	32.6	66	29.3
	3 人	215	22.2	159	24.8	41	18.2	15	15.0	159	24.8	41	18.2
	4 人	109	11.3	89	13.9	10	4.4	10	10.0	89	13.9	10	4.4
	5人以上	69	7.1	51	7.9	6	2.7	12	12.0	51	7.9	6	2.7
	無回答・0人	79	8.2	27	4.2	38	16.9	14	14.0	27	4.2	38	16.9
20-3 女子の数	1 人	273	28.2	190	29.6	53	23.6	30	30.0	190	29.6	53	23.6
	2 人	248	25.6	164	25.5	67	29.8	17	17.0	164	25.5	67	29.8
	3 人	139	14.4	74	11.5	45	20.0	20	20.0	74	11.5	45	20.0
	4 人	74	7.7	29	4.5	34	15.1	11	11.0	29	4.5	34	15.1
	5人以上	31	3.2	15	2.3	13	5.8	3	3.0	15	2.3	13	5.8
	無回答・0人	202	20.9	170	26.5	13	5.8	19	19.0	170	26.5	13	5.8
20-4 家族に海外留学 の体験があるか	あ る	374	38.8	227	35.4	111	49.3	37	37.0	227	35.4	111	49.3
	な い	407	42.1	290	45.2	77	34.2	40	40.0	290	45.2	77	34.2
	NA	185	19.1	125	19.5	37	16.4	23	23.0	125	19.5	37	16.4

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答言語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	967	100.0	642	100.0	225	100.0	100	100.0	642	100.0	225	100.0

A-11 在日留学生アンケート集計表 (国別)

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1. あなたは日本留学以前に他の国に留学したことがありますか	ない	104	98.1	140	95.9	174	99.4	22	95.7	280	85.1	172	91.5
	ある	2	1.9	6	4.1	1	0.6	1	4.3	49	14.9	16	8.5
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
1-(2)-A どの国(地域)でしたか	北米	0	0	6	100.0	0	0	0	0	11	22.4	5	31.3
	南米	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6.1	1	6.3
	西欧	0	0	0	0	0	0	0	0	16	32.7	5	31.3
	東欧	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6.1	1	6.3
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.1	0	0
	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.1	1	6.3
	東南アジア	1	50.0	0	0	1	100.0	0	0	5	10.2	2	12.5
	東アジア	1	50.0	0	0	0	0	1	100.0	5	10.2	1	6.3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.1	0	0
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	100.0	6	100.0	1	100.0	1	100.0	49	100.0	16	100.0
	1-(2)-B 留学期間は何年でしたか	1年	0	0	2	33.3	1	100.0	0	0	13	26.5	4
2年		1	50.0	2	33.3	0	0	0	0	7	14.3	3	18.8
3年		0	0	1	16.7	0	0	0	0	1	2.0	3	18.8
4年		1	50.0	0	0	0	0	1	100.0	3	6.1	1	6.3
5年		0	0	1	16.7	0	0	0	0	3	6.1	2	12.5
6年		0	0	0	0	0	0	0	0	7	14.3	0	0
7年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6.3
8年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1-(2)-C 学校は次のいずれで でしたか	9年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6.1	1	6.3
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	12	24.5	1	6.3
	計	2	100.0	6	100.0	1	100.0	1	100.0	49	100.0	16	100.0
1-(2)-C 高校	高校	0	0	1	16.7	0	0	0	0	10	20.4	4	25.0
	大学	1	50.0	0	0	1	100.0	1	100.0	16	32.7	8	50.0
1-(2)-C 大学院	大学院	1	50.0	5	83.3	0	0	0	0	21	42.9	4	25.0
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.1	0	0
	計	2	100.0	6	100.0	1	100.0	1	100.0	49	100.0	16	100.0
2. 今回の留学で 日本は留学生と なるときの第一 志望国でしたか	第1志望国	89	84.0	127	87.0	122	69.7	17	73.9	230	69.9	125	66.5
	第1志望でない	16	15.1	17	11.6	46	26.3	5	21.7	91	27.7	60	31.9
	NA	1	0.9	2	1.4	7	4.0	1	4.3	8	2.4	3	1.6
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
2-(2)-A それでは、第一 志望の国はどこ でしたか	北米	13	81.3	13	76.5	26	56.5	2	40.0	58	63.7	41	68.3
	南米	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西欧	3	18.8	3	17.6	7	15.2	2	40.0	20	22.0	12	20.0
	東欧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.1	0	0
	東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	1	20.0	0	0	0	0
	NA	0	0	1	5.9	13	28.3	0	0	12	13.2	7	11.7
	計	16	100.0	17	100.0	46	100.0	5	100.0	91	100.0	60	100.0
3. 日本留学後の経緯	親類	19	17.9	24	16.4	20	11.4	0	0	16	4.9	14	7.4
	知人友人	33	31.1	98	67.1	25	14.3	8	34.8	38	11.6	30	16.0
	あなたは保証人	16	15.1	3	2.1	9	5.1	9	39.1	159	48.3	59	31.4

質問(項目) 番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
をだれに頼みま したか	28	26.4	13	8.9	73	41.7	6	26.1	36	10.9	27	14.4
NA	10	9.4	8	5.5	48	27.4	0	0	80	24.3	58	30.9
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
3-(2)-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本に入国した 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	1	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	1	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3	2	1.1
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6	1	0.5
	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6	2	1.1
	1	0.9	0	0	0	0	0	0	3	0.9	1	0.5
	0	0	1	0.7	0	0	0	0	5	1.5	3	1.6
	2	1.9	1	0.7	0	0	0	0	12	3.6	0	0
	0	0.1	11	7.5	6	3.4	2	8.7	14	4.3	8	4.3
	6	5.7	31	12.2	20	11.4	3	13.0	25	7.6	12	6.4
	10	9.4	27	18.5	17	9.7	6	26.1	40	12.2	17	9.0
	4	3.8	10	6.8	10	5.7	0	0	43	13.1	30	16.0
	10	9.4	14	9.6	8	4.6	8	34.8	78	23.7	29	15.4
	3	2.8	3	2.1	9	5.1	4	17.4	79	24.0	34	18.1
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3	1	0.5
NA	70	66.0	46	31.5	105	60.0	0	0	23	7.0	48	25.5
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
3-(2)-2	20	18.9	92	63.0	44	25.1	20	87.0	203	61.7	88	46.8
日本語学校に入 学しない	4	3.8	2	1.4	15	8.6	2	8.7	94	28.6	47	25.0

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
学しましたか	82	77.4	52	35.6	116	66.3	1	4.3	32	9.7	53	28.7
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
3-(2)-3 1974以前 何年から現在の 大学に在籍して いますか (1974年以前 はその合計数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	1	0.9	2	1.4	0	0	0	0	2	0	3	1.6
	1	0.9	1	0.7	0	0	0	0	1	0	2	1.1
	1	0.9	4	2.7	0	0	0	0	12	3.6	5	2.7
	5	4.7	2	1.4	10	5.7	1	4.3	18	5.5	11	5.9
	15	14.2	33	22.6	31	17.7	4	17.4	34	10.3	18	9.6
	28	26.4	35	24.0	46	26.3	6	26.1	52	15.8	37	19.7
	22	20.8	21	14.4	39	22.3	2	8.7	69	21.0	34	18.1
	31	29.2	26	17.8	34	19.4	10	43.5	113	34.3	57	30.3
	0	0	5	3.4	0	0	0	0	2	0.6	3	1.6
	2	1.9	15	10.3	15	8.6	0	0	25	7.6	17	9.0
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
3-(2)-4 国公立 在籍する大学の 区分	95	89.6	97	66.4	152	86.9	19	82.6	296	90.0	165	87.8
	11	10.4	47	32.2	22	12.6	4	17.4	28	8.5	20	10.6
	0	0	2	1.4	1	0.6	0	0	5	1.5	3	1.6
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
3-(2)-5 学部 大学院等の 在籍区分	18	17.0	86	58.9	63	36.0	17	73.9	63	19.1	51	27.1
	63	59.4	44	30.1	65	37.1	4	17.4	148	45.0	91	48.4
	23	21.7	10	6.8	34	19.4	2	8.7	108	32.8	43	22.9
	2	1.9	6	4.1	13	7.4	0	0	10	3.0	3	1.6
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
3-(2)-6 理工 現在の専攻分野	29	27.4	26	17.8	80	45.7	11	47.8	87	26.4	58	30.9
	21	19.8	2	1.4	10	5.7	1	4.3	28	8.5	25	13.3
	3	2.8	17	11.6	14	8.0	1	4.3	38	11.6	15	8.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	その他理科 日本語 人文・社会 経営・経済 政治・法律 その他文科 NA 計	3 3 7 10 2 19 9 106	2.8 2.8 6.6 9.4 1.9 17.9 8.5 100.0	3 6 19 37 7 20 9 146	2.1 4.1 13.0 25.3 4.8 13.7 6.2 100.0	7 5 2 18 1 18 20 175	4.0 2.9 1.1 10.3 0.6 10.3 11.4 100.0	0 0 1 5 2 1 1 23	0 0 4.3 21.7 8.7 4.3 4.3 100.0	10 10 12 46 23 40 35 329	3.0 3.0 3.6 14.0 7.0 12.2 10.6 100.0	3 3 12 20 3 24 25 188	1.6 1.6 6.4 10.6 1.6 12.8 13.3 100.0
4. 奨学金について													
4. 現在、あなたは奨学金をもらっていますか	もらっていたい もらっている NA 計	30 76 0 106	28.3 71.7 0 100.0	60 79 7 146	41.1 54.1 4.8 100.0	27 145 3 175	15.4 82.9 1.7 100.0	5 18 0 23	21.7 78.3 0 100.0	20 305 4 329	6.1 92.7 1.2 100.0	27 152 9 188	14.4 80.9 4.8 100.0
4-(2)-1 次のどれですか	母国の政府奨学金 母国民間団体奨学金 日本文部省奨学金 日本私費留学生奨学金 日本地方自治体奨学金 その他 NA 計	1 4 39 30 0 2 0 76	1.3 5.3 51.3 39.5 0 2.6 0 100.0	2 4 11 45 4 13 0 79	2.5 5.1 13.9 57.0 5.1 16.5 0 100.0	70 1 37 28 4 4 1 145	48.3 0.7 25.5 19.3 2.8 2.8 0.7 100.0	0 0 12 6 0 0 0 18	0 0 66.7 33.3 0 0 0 100.0	11 2 257 22 2 11 0 305	3.6 0.7 84.3 7.2 0.7 3.6 0 100.0	10 1 108 27 1 4 1 152	6.6 0.7 71.1 17.8 0.7 2.6 0.7 100.0
4-(2)-2 日にくらぶか	～50千円 50～100千円 100～150 150～200 200～250 250～300 300千円以上	16 9 13 35 1 0 0	21.1 11.8 17.1 46.1 1.3 0 0	58 5 7 8 0 0 0	73.4 6.3 8.9 10.1 0 0 0	29 68 3 31 0 0 0	20.0 46.9 2.1 21.4 0 0 0	5 1 7 5 0 0 0	27.8 5.6 38.9 27.8 0 0 0	22 12 39 221 0 1 0	7.2 3.9 12.8 72.5 0 0.3 0	17 10 16 96 2 1 0	11.2 6.6 10.5 63.2 1.3 0.7 0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	2	2.6	1	1.3	14	9.7	0	0	10	3.3	10	6.6
	計	76	100.0	79	100.0	145	100.0	18	100.0	305	100.0	152	100.0
5.日本留学を決めるにあたって、次のことほどの程度影響力がありましたか													
5-(1)母国に適切な勉強、研究の機会がなかったこと	大きな影響力	22	20.8	20	13.7	22	12.6	9	39.1	70	21.3	41	21.8
	一応影響力	44	41.5	55	37.7	38	21.7	6	26.1	90	27.4	46	24.5
	全く影響なし	30	28.3	50	34.2	71	40.6	5	21.7	144	43.8	65	34.6
	なんともいえない	8	7.5	18	8.2	22	12.6	1	4.3	12	3.5	21	11.2
	NA	2	1.9	9	6.2	22	12.6	2	8.7	13	4.0	15	8.0
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-(2)先生、先輩、知人等からの日本留学の勧めがあったこと	大きな影響力	41	38.7	51	34.9	18	10.3	5	21.7	61	18.5	39	20.7
	一応影響力	33	31.1	50	34.2	50	28.6	8	34.8	88	26.7	63	33.5
	全く影響なし	29	27.4	34	23.3	68	38.9	9	39.1	157	47.7	64	34.0
	なんともいえない	2	1.9	2	1.4	13	7.4	0	0	8	2.4	5	2.7
	NA	1	0.9	9	6.2	26	14.9	1	4.3	15	4.6	17	9.0
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-(3)母国における日本留学についての高い評価	大きな影響力	10	9.4	14	9.6	41	23.4	6	26.1	37	11.2	18	9.6
	一応影響力	52	49.1	80	54.8	73	41.7	9	39.1	118	35.9	68	36.2
	全く影響なし	34	32.1	34	23.3	15	8.6	5	21.7	133	40.4	63	33.5
	なんともいえない	9	8.5	11	7.5	24	13.7	1	4.3	23	7.0	25	13.3
	NA	1	0.9	7	4.8	22	12.6	2	8.7	18	5.5	14	7.4
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-(4)母国の家庭からの経済的援助が約束された	大きな影響力	8	7.5	27	18.5	4	2.3	7	30.4	4	1.2	14	7.4
	一応影響力	34	32.1	45	29.5	7	4.0	2	8.7	28	8.5	19	10.1
	全く影響なし	53	50.0	59	40.4	117	66.9	11	47.8	258	78.4	113	60.1
	なんともいえない	9	8.5	7	4.8	21	12.0	2	8.7	16	4.9	25	13.3
	NA	2	1.9	10	6.8	26	14.9	1	4.3	23	7.0	17	9.0
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-(5)	大きな影響力	14	13.2	17	11.6	9	5.1	2	8.7	24	7.3	10	5.3

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓国		中国		台湾		マレーシア		その他		N.A.	
	実数	(%)										
家族から外国留学 体験を要請さ れた NA 計	23	21.7	32	21.9	29	16.6	6	26.1	57	17.3	38	20.2
	60	56.6	82	56.2	96	54.9	12	52.2	221	67.2	111	59.0
	7	6.6	5	3.4	14	8.0	2	8.7	7	2.1	14	7.4
	2	1.9	10	6.8	27	15.4	1	4.3	20	6.1	15	8.0
106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
5-(6) 大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない NA 計	31	29.2	42	28.8	22	12.6	3	13.0	18	5.5	24	12.8
	46	43.4	56	38.4	54	30.9	6	26.1	59	17.9	50	26.6
	24	22.6	38	26.0	64	36.6	12	52.2	220	66.9	90	47.9
	4	3.8	4	2.7	10	5.7	1	4.3	7	2.1	8	4.3
1	0.9	6	4.1	25	14.3	1	4.3	25	7.6	16	8.5	
106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
5-(7) 大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない NA 計	30	28.3	38	26.0	24	13.7	1	4.3	51	15.5	37	19.7
	37	34.9	43	29.5	50	28.6	8	34.8	91	27.7	50	26.6
	25	23.6	41	28.1	49	28.0	10	43.5	140	42.6	65	34.6
	13	12.3	13	8.9	30	17.1	3	13.0	26	7.9	18	9.6
1	0.9	11	7.5	22	12.6	1	4.3	21	6.4	18	9.6	
106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
5-(8) 大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない NA 計	28	26.4	13	8.9	5	2.9	9	39.1	186	56.5	78	41.5
	6	5.7	6	4.1	9	5.1	1	4.3	49	14.9	21	11.2
	61	57.5	102	69.9	122	69.7	11	47.8	74	22.5	64	34.0
	9	8.5	10	6.8	12	6.9	1	4.3	3	0.9	9	4.8
2	1.9	15	10.3	27	15.4	1	4.3	17	5.2	16	8.5	
106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
5-(9) 日本に住む親戚 知人、団体等か らの経済的援助 が約束されたこ	3	2.8	8	5.5	18	10.3	0	0	9	2.7	6	3.2
	12	11.3	18	12.3	9	5.1	0	0	5	1.5	8	4.3
	83	78.3	106	72.6	110	62.9	19	82.6	273	83.0	132	70.2
	6	5.7	5	3.4	13	7.4	2	8.7	16	4.9	20	10.6
2	1.9	9	6.2	25	14.3	2	8.7	26	7.9	22	11.7	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
と	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-10	大きな影響力	16	15.1	26	17.8	25	14.3	5	21.7	63	19.1	26	13.8
	一応影響力	34	32.1	42	28.8	37	21.1	3	13.0	85	25.8	31	16.5
	全く影響なし	46	43.4	60	41.1	67	38.3	9	39.1	148	45.0	93	49.5
	なんともいえない	6	5.7	9	6.2	22	12.6	5	21.7	14	4.3	19	10.1
	NA	4	3.8	9	6.2	24	13.7	1	4.3	19	5.8	19	10.1
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-11	大きな影響力	36	34.0	62	42.5	74	42.3	12	52.5	167	50.8	78	41.5
	一応影響力	49	46.2	61	41.8	72	41.1	11	47.8	126	38.3	79	42.0
	全く影響なし	16	15.1	14	9.6	11	6.3	0	0	17	5.2	14	7.4
	なんともいえない	3	2.8	2	1.4	2	1.1	0	0	3	0.9	2	1.1
	NA	2	1.9	7	4.8	16	9.1	0	0	16	4.9	15	8.0
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.1	188	100.1
5-12	大きな影響力	0	0	2	1.4	0	0	1	4.3	5	1.5	3	1.6
	一応影響力	4	3.8	10	6.8	8	4.6	3	13.0	16	4.9	10	5.3
	全く影響なし	94	88.7	116	79.5	118	67.4	15	65.2	249	75.7	126	67.0
	なんともいえない	3	2.8	9	6.2	21	12.0	3	13.0	38	11.6	29	15.4
	NA	5	4.7	9	6.2	28	16.0	1	4.3	21	6.4	20	10.6
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-13	大きな影響力	25	23.6	30	20.5	27	15.4	1	4.3	34	10.3	17	9.0
	一応影響力	30	28.3	50	34.2	43	24.6	2	8.7	55	16.7	37	19.7
	全く影響なし	44	41.5	55	37.7	78	44.6	17	73.9	212	64.4	100	53.2
	なんともいえない	2	1.9	3	2.1	9	5.1	2	8.7	6	1.8	16	8.5
	NA	5	4.7	8	5.5	18	10.3	1	4.3	22	6.7	18	9.6
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
5-14	大きな影響力	11	10.4	32	21.9	31	17.7	2	8.7	43	13.1	20	10.6
	一応影響力	46	43.4	64	43.8	74	42.3	7	30.4	142	43.2	60	31.9
	全く影響なし	37	34.9	33	22.6	27	15.4	11	47.8	115	35.0	68	36.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
あったこと	なんともいえない	9	8.5	4	2.7	18	10.3	2	8.7	6	1.8	15	8.0
	NA	3	2.8	13	8.9	25	14.3	1	4.3	23	7.0	25	13.3
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
6. 現在留学先の大学(院)について、第一志望と考えていたところですか													
6. 現在留学して いる大学(院)は、 第一志望と考 えたところですか	その通りである	92	86.8	126	86.3	113	64.6	17	73.9	248	75.4	143	76.1
	そうではない	10	9.4	16	11.0	58	33.1	6	26.1	76	23.1	38	20.2
	NA	4	3.8	4	2.7	4	2.3	0	0	5	1.5	7	3.7
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
	6-1(1)	入学試験合格	28	30.4	92	73.0	41	36.3	8	47.1	70	28.2	57
(第一志望と答 えた)理由	文部省の配置	10	10.9	2	1.6	40	35.4	2	11.8	79	31.9	47	32.9
	その大学の推薦	25	27.2	11	8.7	12	10.6	4	23.5	36	14.5	20	14.0
	その他の理由	29	31.5	21	16.7	20	17.7	3	17.6	63	25.4	19	13.3
	NA	92	100.0	126	100.0	113	100.0	17	100.0	248	100.0	143	100.0
	計	92	100.0	126	100.0	113	100.0	17	100.0	248	100.0	143	100.0
6-1(2) (第一志望で ないと答えた) 理由	入試の失敗	0	0	7	43.8	2	3.4	3	50.0	4	5.3	0	0
	文部省の配置	6	60.0	0	0	47	81.0	2	33.3	56	73.7	31	81.6
	大学推薦得られず	3	30.0	2	12.5	0	0	0	0	5	6.6	3	7.9
	その他の理由	1	10.0	7	43.8	9	15.5	1	16.7	11	14.5	4	10.5
	NA	10	100.0	16	100.0	58	100.0	6	100.0	76	100.0	38	100.0
6-1(3)-A (留学先の大学) 日本ではよい大 学(院)である	その通り	78	73.6	79	54.1	92	52.5	14	60.9	231	70.2	122	64.9
	必ずしもそうでない	12	11.3	33	22.6	32	18.3	5	21.7	35	10.6	28	14.9
	なんともいえない	7	6.6	14	9.6	15	8.6	0	0	32	9.7	14	7.4
	わからない	5	4.7	8	5.5	19	10.9	4	17.4	17	5.2	13	6.9
	NA	4	3.8	12	8.2	17	9.7	0	0	14	4.3	11	5.9
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
6-1(3)-B 専門分野によい	その通り	74	69.8	83	56.8	113	64.6	8	34.8	20.9	63.5	106	56.4
	必ずしもそうでない	17	16.0	26	17.8	22	12.6	8	34.8	61	18.5	30	16.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)										
研究者がいる	なんともいえない	7	6.6	14	9.6	10	5.7	4	17.4	20	6.1	23	12.2
	わからない	3	2.8	10	6.8	11	6.3	3	13.0	23	7.0	16	8.5
	NA	5	4.7	13	8.9	19	10.9	0	0	16	4.9	13	6.9
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
	6-(3)-C	その通り	71	67.0	78	53.4	90	51.4	10	43.5	192	58.4	98
教育、研究環境 がよい	必ずしもそうでない	20	18.9	30	20.5	38	21.7	9	39.1	76	23.1	47	25.0
	なんともいえない	4	3.7	19	13.0	17	9.7	4	17.4	33	10.0	19	10.0
	とからたい	3	2.8	7	4.8	10	5.7	0	0	12	3.6	10	5.3
	NA	8	7.5	12	8.2	20	11.4	0	0	16	4.9	14	7.4
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
7. 日本留学終了後の計画について													
7-(1) 留学後、帰国し ますか	直ちに母国に帰国する	81	76.4	62	42.5	112	64.0	6	26.1	172	52.3	113	60.1
	日本以外の国にゆく	7	6.6	2.1	14.4	5	2.9	1	4.3	30	9.1	12	6.4
	なお日本に留まる	3	2.8	20	13.7	20	11.4	7	30.4	50	15.2	21	11.2
	いまのところ決めていない	15	14.2	41	28.1	36	20.6	9	39.1	76	23.1	42	22.3
	NA	0	0	2	1.4	2	1.1	0	0	1	0.3	0	0
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
7-(2) (帰国する人に ついてのみ) 帰 国して何をす るか	前職に復帰する	35	43.2	12	19.4	41	36.6	4	66.7	91	52.9	57	50.4
	新しく職を探す	29	35.8	36	58.1	33	29.5	1	16.7	38	22.1	30	26.5
	進学、復学し勉学を続ける	10	12.3	0	0	3	2.7	0	0	22	12.8	3	2.7
	家族のしている仕事につく	1	1.2	2	3.2	0	0	0	0	1	0.6	3	2.7
	いまのところ決めていない	6	7.4	12	19.4	32	28.6	1	16.7	17	9.9	16	14.2
	NA	0	0	0	0	3	2.7	0	0	3	1.7	4	3.5
計	81	100.0	62	100.0	112	100.0	6	100.0	172	100.0	113	100.0	
8. 日本語の学習について、母国でのあなた自身の経験や身近かな事情を教えてください													
8-(1) 母国にある日本 語学校で学習す	できた	66	62.3	79	54.1	126	72.0	5	21.7	127	38.6	71	37.8
	できなかった	36	34.0	62	42.5	42	24.0	15	65.2	167	50.8	97	51.6
	NA	4	3.8	5	3.4	7	4.0	3	13.0	35	10.6	20	10.6

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
ることが	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
8-(2) 母国では日本語 の教科書を入手 することが	96	90.6	122	83.6	148	84.6	12	52.5	156	47.4	103	54.8
	8	7.5	20	13.7	11	6.3	8	34.8	135	41.0	59	31.4
	2	1.9	4	2.7	16	9.1	3	13.0	38	11.6	26	13.8
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
8-(3) 母国のTV・RA・ DIOで日本語を 学習することが	64	60.4	38	26.0	105	60.6	2	8.7	30	9.1	37	19.7
	37	34.9	101	69.2	50	28.6	18	78.3	260	79.0	124	66.0
	5	4.1	7	4.8	19	10.9	3	13.0	39	11.9	27	14.4
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
8-(4) 母国の人で日本 語を話せる人か ら教わることが	79	74.5	92	63.0	90	51.4	3	13.0	99	30.1	58	30.9
	22	20.8	49	33.6	59	33.7	17	73.9	188	57.1	192	54.3
	5	4.7	5	3.4	26	14.9	3	13.0	42	12.8	28	14.9
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
8-(5) 母国にいる日本 人から個人的に 教わることが	20	18.9	52	35.6	42	24.0	2	8.7	55	16.7	24	12.8
	81	76.4	89	61.0	109	62.3	18	78.3	231	70.2	134	71.3
	5	4.7	5	3.4	24	13.7	3	13.0	43	13.1	30	16.0
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
8-(6) 母国では日本語 のカセットテーブ を手入することが	94	88.7	111	76.0	115	65.7	12	52.2	97	29.5	82	43.6
	9	8.5	29	19.9	31	23.4	8	34.8	188	57.1	78	41.5
	3	2.8	6	4.1	19	10.9	3	13.0	44	13.4	28	14.9
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
9. 現在の日本語の力について(あなた自身の日本語の力をどのように評価しますか)												
9-(1) 日本語の授業を きくこと	54	50.9	37	25.3	69	39.4	3	13.0	78	23.7	45	23.9
	46	43.4	88	60.3	89	50.9	10	43.5	126	38.3	86	45.7
	4	3.8	18	12.3	16	9.1	9	39.1	86	26.1	44	23.4
	1	0.9	1	0.7	0	0	1	4.3	33	10.0	11	5.9
	1	0.9	2	1.4	1	0.6	0	0	6	1.8	2	1.1
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
9-(2) 日本語で授業の ときに質問する こと	49	46.2	31	21.2	51	29.1	4	17.4	70	21.3	44	23.4
	43	40.6	69	47.3	86	49.1	8	34.8	112	34.0	75	39.9
	10	9.4	39	26.7	33	18.9	6	26.1	113	34.3	52	27.7
	2	1.9	5	3.4	2	1.1	5	21.7	28	8.5	11	5.9
	2	1.9	2	1.4	3	1.7	0	0	6	1.8	6	3.2
	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
9-(3) 日本語の研究論 文を読むこと	68	64.2	38	26.0	87	49.7	3	13.0	49	14.9	44	23.4
	33	31.1	76	52.1	68	38.9	10	43.5	105	31.9	55	29.3
	4	3.8	28	19.2	17	9.7	5	21.7	74	22.5	44	23.4
	0	0	2	1.4	0	0	5	21.7	94	28.6	41	21.8
	1	0.9	2	1.4	3	1.7	0	0	7	2.1	4	2.1
	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
9-(4) 日本語で論文、 レポートを書く こと	37	34.9	20	13.7	34	19.4	1	4.3	30	9.1	25	13.3
	58	54.7	69	47.3	92	52.6	9	39.1	85	25.8	59	31.4
	10	9.4	50	34.2	45	25.7	8	34.8	92	28.0	60	31.9
	0	0	5	3.4	3	1.7	5	21.7	115	35.0	41	21.8
	1	0.9	2	1.4	1	0.6	0	0	7	2.1	3	1.6
	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
9-(5) 日常生活に差支 えない程度の日 本語での会話	69	65.1	57	39.0	76	43.4	8	34.8	143	43.5	63	33.5
	30	28.3	72	49.3	79	45.1	10	43.5	106	32.2	81	43.1
	6	5.7	13	8.9	17	9.7	4	17.4	58	17.6	32	17.0
	0	0	1	0.7	2	1.1	1	4.3	17	5.2	7	3.7
	1	0.9	3	2.1	1	0.6	0	0	5	1.5	5	2.7
	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
9-(6) テレビ、ラジオ で日本語の放送 を聞くこと	62	58.5	44	30.1	61	34.9	5	21.7	89	21.7	50	26.6
	34	32.1	84	57.5	94	53.7	11	47.8	128	38.9	79	42.0
	8	7.5	12	8.2	19	10.9	7	30.4	81	24.6	47	25.0
	1	0.9	2	1.4	0	0	0	0	24	7.3	10	5.3

質問(項目)番号 質問内容	国 別												
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
9-(7)	NA 計	1 106	0.9 100.0	4 146	2.7 100.0	1 175	0.6 100.0	0 23	0 100.0	7 329	2.1 100.0	2 188	1.1 100.0
9-(7)	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	58 40 7 0 1 106	54.7 37.7 6.6 0 0.9 100.0	46 86 11 0 3 146	31.5 58.9 7.5 0 2.1 100.0	77 84 13 0 1 175	44.0 48.0 7.4 0 0.6 100.0	6 8 6 3 0 23	26.1 34.8 26.1 13.0 0 100.0	52 85 68 119 5 329	15.8 25.8 20.7 36.2 1.5 100.0	37 57 37 54 3 188	19.7 30.3 19.7 28.7 1.6 100.0
9-(8)	友人に日本語で 手紙を書くこと	39 47 19 0 1 106	36.8 44.3 17.9 0 0.9 100.0	32 72 38 2 2 146	21.9 49.3 26.0 1.4 1.4 100.0	41 98 34 1 1 175	23.4 56.0 19.4 0.6 0.6 100.0	5 10 4 4 0 23	21.7 43.5 17.4 17.4 0 100.0	47 106 103 67 6 329	14.3 32.2 31.3 20.4 1.8 100.0	38 66 53 29 2 188	20.2 35.1 28.2 15.4 1.1 100.0
10. 学部課程カリキュラムについて (母国でうけた高校の教育水準からみて難かしすぎると考えますか)	大きな格差はないと思う ある科目は難しすぎると思う NA 計	18 0 0 18	100.0 0 0 100.0	61 21 4 86	70.9 24.4 4.7 100.0	43 15 5 63	68.3 23.8 7.9 100.0	6 10 1 17	35.3 58.8 5.9 100.0	37 24 2 63	58.7 38.1 3.2 100.0	31 17 3 31	60.8 33.3 5.9 100.0
10-(2)	理工 日本語 人文社会 経営経済 政治法律 その他 NA	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	9 1 3 2 1 0	42.9 4.8 14.3 9.5 4.8 0	3 1 6 3 0 0	20.0 6.7 40.0 20.0 0 0	8 1 0 0 0 0	80.0 10.0 0 0 0 0	18 0 2 0 1 1	75.0 0 8.3 0 4.2 4.2	9 0 3 1 0 0	52.9 0 17.6 5.9 0 0
11. 授業の理解度について (あなたはどの程度理解できていると考えますか)	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別												
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
11-(1) 一般教養課程の 講義	10(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3.9
	20	0	0	0	0	0	0	1	5.9	0	0	0	1	2.0
	30	0	0	5	5.8	0	0	1	5.9	3	4.8	3	3	5.9
	40	0	0	4	4.7	1	1.6	2	11.8	3	4.8	3	3	5.9
	50	1	5.6	5	5.8	2	3.2	3	17.6	6	9.5	5	5	9.8
	60	1	5.6	8	9.3	9	14.3	4	23.5	12	19.0	3	3	5.9
	70	2	11.1	28	32.6	12	19.0	3	17.6	17	27.0	11	11	21.6
	80	7	38.9	25	29.1	23	36.5	3	17.6	14	22.2	9	9	17.6
	90	6	33.3	7	8.1	12	19.0	0	0	3	4.8	7	7	13.7
	100	1	5.6	2	2.3	2	3.2	0	0	2	3.2	4	4	7.8
	NA	0	0	2	2.3	2	3.2	0	0	3	4.8	3	3	5.9
	計	18	100.0	86	100.0	63	100.0	17	100.0	63	100.0	51	51	100.0
	11-(2) 専門教養課程の 講義	10(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30		0	0	3	3.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40		0	0	2	2.3	1	1.6	0	0	2	3.2	3	3	5.9
50		3	16.7	5	5.8	1	1.6	4	23.5	3	4.8	4	4	7.8
60		1	5.6	14	16.3	2	3.2	4	23.5	9	14.3	7	7	13.7
70		1	5.6	32	37.2	17	27.0	7	41.2	19	30.2	9	9	17.6
80		8	44.4	21	24.4	26	41.3	1	5.9	12	19.0	10	10	19.6
90		4	22.2	6	7.0	14	22.2	0	0	11	17.5	9	9	17.6
100		1	5.6	2	2.3	0	0	0	0	1	1.6	4	4	7.8
NA		0	0	1	1.2	2	3.2	1	5.9	6	9.5	5	5	9.8
計		18	100.0	86	100.0	63	100.0	17	100.0	63	100.0	51	51	100.0
11-(3) 専門教養課程の 演習		10(%)	0	0	1	1.2	0	0	0	0	0	0	0	1
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.6	1	1	2.0
	40	0	0	2	2.3	2	3.2	0	0	1	1.6	2	2	3.9

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
50	2	11.1	4	4.7	2	3.2	6	35.3	5	7.9	5	9.8
60	1	5.6	12	14.0	4	6.3	2	11.8	7	11.1	4	7.8
70	5	27.8	32	37.2	14	22.2	2	11.8	17	27.0	7	13.7
80	2	11.1	18	20.9	23	36.5	2	11.8	10	15.9	10	19.6
90	4	22.2	7	8.1	10	15.9	0	0	14	22.2	11	21.6
100	2	11.1	2	2.3	5	7.9	0	0	1	1.6	1	2.0
NA	2	11.1	8	9.3	3	4.8	5	29.4	7	11.1	9	17.6
計	18	100.0	86	100.0	63	100.0	17	100.0	63	100.0	51	100.0
11-(4)	0	0	2	2.3	0	0	0	0	0	0	0	0
専門教養課程の 実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.6	2	3.9
40	0	0	2	2.3	1	1.6	0	0	2	3.2	0	0
50	2	11.1	2	2.3	2	3.2	6	35.3	4	6.3	5	9.8
60	1	5.6	10	11.6	3	4.8	0	0	10	15.9	3	5.9
70	3	16.7	28	32.6	13	20.6	2	11.8	9	14.3	8	15.7
80	4	22.2	12	14.0	20	31.7	2	11.8	9	14.3	13	25.5
90	2	11.1	8	9.3	8	12.7	1	5.9	13	20.6	7	13.7
100	2	11.1	3	3.5	4	6.3	0	0	2	3.2	2	3.9
NA	4	22.2	19	22.1	12	19.0	6	35.3	13	20.6	11	21.6
計	18	100.0	86	100.0	63	100.0	17	100.0	63	100.0	51	100.0
12. 大学院での学習等について												
12. 日本の大学	18	28.6	24	54.5	8	12.3	4	100.0	57	38.5	27	29.7
院で最終的に取 得したい学位	39	61.9	19	43.2	50	76.9	0	0	78	52.7	54	59.3
NA	6	9.5	1	2.3	7	10.8	0	0	13	8.8	10	11.0
計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
12-(1)	4	22.2	1	4.2	3	37.5	1	25.0	15	26.3	7	25.9
修士学位	1	5.6	0	0	0	0	0	0	8	14.0	6	22.2
理 工	0	0	1	4.2	1	12.5	0	0	4	7.0	1	3.7
農 学												
医・薬学												

別 国 別

質問(項目)番号 質問内容	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
12-(2) 博士学位	その他理科	0	0	1	4.2	0	0	0	0	0	1	3.7	
	日本語	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.8	0	
	人文・社会	4	22.2	8	33.3	3	37.5	0	0	3	5.3	4	14.8
	経営・経済	3	16.7	7	29.2	0	0	1	25.0	11	19.3	3	11.1
	政治・法律	2	11.1	2	8.3	0	0	0	0	1	1.8	1	3.7
	その他文科	2	11.1	2	8.3	1	12.5	0	0	6	10.5	2	7.4
	計	18	100.0	24	100.0	8	100.0	4	100.0	57	100.0	27	100.0
	理 工	14	35.9	4	21.1	27	54.0	0	0	23	29.5	17	31.5
	農 学	12	30.8	3	15.8	7	14.0	0	0	11	14.1	7	13.0
	医・薬学	3	7.7	3	15.8	5	10.0	0	0	6	7.7	2	3.7
その他理科	1	2.6	1	5.3	2	4.0	0	0	3	3.8	2	3.7	
日本語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人文・社会	3	7.7	6	31.6	3	6.0	0	0	7	9.0	7	13.0	
経営・経済	2	5.1	2	10.5	0	0	0	0	7	9.0	4	7.4	
政治・経済	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2.6	2	3.7	
その他理科	2	5.1	0	0	2	4.0	0	0	3	3.8	4	7.4	
計	39	100.0	19	100.0	50	100.0	0	100.0	78	100.0	54	100.0	
13. 博士学位の取得について(日本のそれは、外国人留学生にとって難しいといわれていますが、どう考えますか)													
13-(1) 日本語の理解が 十分でないため、 講義が理解でき ないから	その通り	4	6.3	4	9.1	2	3.1	1	25.0	47	31.8	29	31.9
	そうではない なんともいえない	45	71.4	35	79.5	42	64.6	3	75.0	56	37.8	30	33.0
	NA	6	9.5	2	4.5	11	16.9	0	0	30	20.3	18	19.8
	計	8	12.7	3	6.8	10	15.4	0	0	15	10.1	14	15.4
13-(2) 日本語の能力が 十分でないため、 研究資料が理解 できないから	その通り	8	12.7	2	4.5	4	6.2	1	25.0	46	31.1	26	28.6
	そうではない なんともいえない	45	71.4	38	86.4	44	67.7	3	75.0	62	41.9	41	46.2
	NA	2	3.2	1	2.3	8	12.3	0	0	25	16.9	10	11.0
	計	8	12.7	3	6.8	9	13.8	0	0	15	10.1	13	14.3
計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
13-(3) 論文執筆に日本語が要求されるから	その通り そうではない なんともいえない NA 計	9	14.3	6	13.6	8	12.3	1	25.0	41	27.7	15	16.5
13-(4) 英、仏、独語等2カ 国語の機修が要求 され、この面の負 担が大きすぎるから	その通り そうではない なんともいえない NA 計	9	14.3	9	20.5	10	15.4	1	25.0	32	21.6	14	15.4
14. 学位の利用について、母国ではどの位有利に利用されますか		40	63.5	24	54.5	35	53.8	2	50.0	66	44.6	43	47.3
14-(1) 政府・行政機関 への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	6	9.5	6	13.6	11	16.9	1	25.0	35	23.6	19	20.9
14-(2) 母国の民間トッ プ企業への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	8	12.7	5	11.4	9	13.8	0	0	15	10.1	15	16.5
14-(3) 母国にある日本 (または合弁)企 業への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	3	4.8	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
		63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
		9	14.3	8	18.2	9	13.7	0	0	22	14.9	9	9.9
		34	54.0	19	43.2	18	27.7	3	75.0	59	39.9	36	39.6
		9	14.3	13	29.5	20	30.8	1	25.0	42	28.4	31	34.1
		8	12.7	1	2.3	5	7.7	0	0	17	11.5	6	6.6
		3	4.8	3	6.8	13	20.2	0	0	8	5.4	9	9.9
		63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
		5	7.9	6	13.6	7	10.8	2	50.0	44	29.7	13	14.3
		21	33.3	18	40.9	15	23.1	2	50.0	50	33.8	26	28.6
		20	31.7	12	27.3	22	33.8	0	0	30	20.3	27	29.7
		11	17.5	5	11.4	8	12.3	0	0	16	10.8	13	14.3
		6	9.5	3	6.8	13	20.0	0	0	8	5.4	12	13.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		その 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
14-(4) 研究・教育機関 への就職	大いに有利	29	46.0	18	40.9	35	53.8	0	0	60	40.5	37	40.7
	ある程度有利	27	42.9	19	43.2	24	36.9	4	100.0	57	38.5	29	31.9
	無関係	3	4.8	5	11.4	2	3.1	0	0	19	12.8	15	16.5
	なんともいえない	3	4.8	1	2.3	0	0	0	0	4	2.7	4	4.4
	NA	1	1.6	1	2.3	4	6.2	0	0	8	5.4	6	6.6
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
14-(5) 高い報酬を得る ため	大いに有利	3	4.8	7	15.9	9	13.8	1	25.0	20	13.5	5	5.5
	ある程度有利	22	34.9	16	36.4	30	46.2	1	25.0	51	34.5	31	34.1
	無関係	28	44.4	18	40.9	12	18.5	2	50.0	49	33.1	40	44.0
	なんともいえない	6	9.5	2	4.5	5	7.7	0	0	21	14.2	6	6.6
	NA	4	6.3	1	2.3	9	13.8	0	0	7	4.7	9	9.9
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
14-(6) 社会的威信の証 明	大いに有利	12	19.0	11	25.0	15	23.1	0	0	28	18.9	13	14.3
	ある程度有利	18	28.6	16	36.4	31	47.7	2	50.0	53	35.8	29	31.9
	無関係	22	34.9	15	34.1	6	9.2	2	50.0	46	31.1	33	36.3
	なんともいえない	8	12.7	1	2.3	3	4.6	0	0	12	8.1	6	6.6
	NA	3	4.8	1	2.3	10	15.4	0	0	9	6.1	10	11.0
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
14-(7) 専門的知識の仕 事での直接的活 用	大いに有利	30	47.6	19	43.2	33	50.8	3	75.0	57	38.5	35	38.5
	ある程度有利	26	41.3	21	47.7	22	33.8	1	25.0	71	48.0	32	35.2
	無関係	3	4.8	2	4.5	1	1.5	0	0	11	7.4	10	11.0
	なんともいえない	2	3.2	0	0	3	4.6	0	0	2	1.4	6	6.6
	NA	2	3.2	2	4.5	6	9.2	0	0	7	4.7	8	8.8
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
14-(8) 母国発展への寄 与	大いに有利	31	49.2	14	31.8	38	58.5	1	25.0	57	38.5	33	36.3
	ある程度有利	22	34.9	23	52.3	15	23.1	2	50.0	53	35.8	36	39.6
	無関係	6	9.5	1	2.3	1	1.5	0	0	13	8.8	6	6.6

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	なんともいえない	2	3.2	3	6.8	2	3.1	0	0	12	8.1	5	5.5
	NA	2	3.2	3	6.8	9	13.8	1	25.0	13	8.8	11	12.1
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
15. 博士学位の評価について(母国の仕事の領域では、次の諸国の学位はどのように評価されていますか)													
15-(1)	高く評価	6	9.5	7	15.9	33	50.8	2	50.0	34	23.0	20	22.0
母国の学位	ある程度評価	44	69.8	31	70.5	20	30.8	0	0	70	47.3	40	44.0
	ほとんど評価されない	4	6.3	0	0	0	0	0	0	15	10.1	4	4.4
	なんともいえない	5	7.9	2	4.5	3	4.6	1	25.0	10	6.8	7	7.7
	わからない	1	1.6	1	2.3	7	10.8	1	25.0	8	5.4	7	7.7
	NA	3	4.8	3	6.8	2	3.1	0	0	11	7.4	13	14.3
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
15-(2)	高く評価	51	81.0	32	72.7	39	60.0	4	100.0	116	78.4	57	62.6
アメリカ合衆国 の学位	ある程度評価	8	12.7	8	18.2	18	27.7	0	0	19	12.8	16	17.6
	殆んど評価されぬ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.4	2	2.2
	なんともいえない	0	0	1	2.3	0	0	0	0	0	0	4	4.4
	わからない	1	1.6	0	0	6	9.2	0	0	4	2.7	4	4.4
	NA	3	4.8	3	6.8	2	3.1	0	0	7	4.7	8	8.8
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
15-(3)	高く評価	36	57.1	18	40.9	35	53.8	3	75.0	84	36.8	45	49.5
ヨーロッパ諸国 の学位	ある程度評価	20	31.7	18	40.9	17	26.2	1	25.0	47	31.8	22	24.2
	殆んど評価されぬ	1	1.6	0	0	0	0	0	0	4	2.7	3	3.3
	なんともいえない	0	0	2	4.5	0	0	0	0	1	0.7	4	4.4
	わからない	2	3.2	2	4.5	11	16.9	0	0	7	4.7	8	8.8
	NA	4	6.3	4	9.1	2	3.1	0	0	5	3.4	9	9.9
	計	63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
15-(4)	高く評価	3	4.8	0	0	5	7.7	1	25.0	5	3.4	3	3.3
東洋諸国の学位	ある程度評価	23	36.5	20	45.5	17	26.2	3	75.0	59	39.9	29	31.9
	殆んど評価されぬ	20	31.7	12	27.3	14	21.5	0	0	35	23.6	21	23.1

質問(項目) 番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	なんともいえない わからない NA 計	6	9.5	3	6.8	5	7.7	0	0	19	12.8	10	11.0
		7	11.1	6	13.6	21	32.3	0	0	21	14.2	19	20.9
		4	6.3	3	6.8	3	4.6	0	0	9	6.1	9	9.9
		63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
15-(5)	高く評価 ある程度評価 殆んど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	19	30.2	8	18.2	33	50.8	3	75.0	43	29.1	22	24.2
		41	65.1	33	75.0	26	40.0	1	25.0	67	45.3	42	46.2
		0	0	0	0	0	0	0	0	9	6.1	1	1.1
		0	0	1	2.3	0	0	0	0	13	8.8	7	7.7
		1	1.6	1	2.3	4	6.2	0	0	10	6.8	11	12.1
		2	3.2	1	2.3	2	3.1	0	0	6	4.1	8	8.8
		63	100.0	44	100.0	65	100.0	4	100.0	148	100.0	91	100.0
V. 日本留学への評価													
16. 留学生生活の満足度													
16-(1)	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	26	24.5	17	11.6	15	8.6	6	26.1	106	32.2	47	25.0
		55	51.9	75	51.4	88	50.3	13	56.5	165	50.2	75	39.9
		8	7.5	23	15.8	21	12.0	4	17.4	35	10.6	34	18.1
		16	15.1	25	17.1	45	25.7	0	0	18	5.5	27	14.4
		1	0.9	6	4.1	6	3.4	0	0	5	1.5	5	2.7
		106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16-(2)	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	22	20.8	15	10.3	20	11.4	0	0	67	20.4	31	17.0
		49	46.2	79	54.1	79	45.1	15	65.2	163	49.5	85	45.2
		16	15.1	36	24.7	34	19.4	6	26.1	68	20.7	48	25.5
		18	17.0	12	8.2	32	18.3	2	8.7	25	7.6	18	9.6
		1	0.9	4	2.7	10	5.7	0	0	6	1.8	5	2.7
		106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16-(3)	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い	16	15.1	16	11.0	19	10.9	4	17.4	80	24.3	40	21.3
		42	39.6	75	51.4	82	46.9	8	34.8	160	48.6	76	40.4
		13	12.3	30	20.5	25	14.3	4	17.4	55	16.7	44	23.4

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	なんともいえない	34	32.1	20	13.7	44	25.1	7	30.4	30	9.1	24	12.8
	NA	1	0.9	5	3.4	5	2.9	0	0	4	1.2	4	2.1
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16—(4)	大いに満足	34	32.1	27	18.5	40	22.9	2	8.7	94	28.6	48	25.5
日常の学習・研 究活動	どちらかといえば満足	57	53.8	88	60.3	98	56.0	14	60.9	161	48.9	85	45.2
	不満が多い	6	5.7	20	13.7	16	9.1	6	26.1	53	16.1	37	19.7
	なんともいえない	8	7.5	9	6.2	18	10.3	1	4.3	15	4.6	13	6.9
	NA	1	0.9	2	1.4	3	1.7	0	0	6	1.8	5	2.7
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16—(5)	大いに満足	13	12.3	26	17.8	20	11.4	2	8.7	115	35.0	37	19.7
日本国内の視察 見学旅行	どちらかといえば満足	52	49.1	61	41.8	70	40.0	11	47.8	137	41.6	86	45.7
	不満が多い	16	15.1	38	26.0	46	26.3	7	30.4	41	12.8	35	18.6
	なんともいえない	24	22.6	18	12.3	28	16.0	3	13.0	27	8.2	24	12.8
	NA	1	0.9	3	2.1	11	6.3	0	0	8	2.4	6	3.2
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16—(6)	大いに満足	20	18.9	17	11.6	29	16.6	2	8.7	107	32.5	46	24.5
日常の衣食住生 活	どちらかといえば満足	50	47.2	91	62.3	101	57.7	13	56.5	170	51.7	103	54.8
	不満が多い	20	18.9	23	15.8	20	11.4	7	30.4	34	10.3	31	16.5
	なんともいえない	14	13.2	12	8.2	19	10.9	1	4.3	6	1.8	4	2.1
	NA	2	1.9	3	2.1	6	3.4	0	0	12	3.6	4	2.1
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16—(7)	大いに満足	12	11.3	10	6.8	11	6.3	1	4.3	66	20.1	24	12.8
孤独感からの解 放	どちらかといえば満足	38	35.8	50	34.2	50	28.6	12	52.2	149	45.3	71	37.8
	不満が多い	25	23.6	38	26.0	54	30.9	5	21.7	65	19.8	53	28.2
	なんともいえない	30	28.3	41	28.1	50	28.6	4	17.4	36	10.9	31	16.5
	NA	1	0.9	7	4.8	10	5.7	1	4.3	13	4.0	9	4.8
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16—(8)	大いに満足	22	20.8	21	14.4	31	17.7	2	8.9	94	28.6	45	23.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)										
留学成果の母国 での活用の期待 感	どちらかといえば満足	50	47.2	71	48.6	79	45.1	11	47.8	133	40.4	83	44.1
	不満が多い	8	7.5	20	13.7	14	8.0	4	17.4	33	10.0	21	11.2
	なんともいえない	24	22.6	29	19.9	44	25.1	6	26.1	60	18.2	32	17.0
	NA	2	1.9	5	3.4	7	4.0	0	0	9	2.7	7	3.7
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
16-(9) 日本人の母国事 情の理解	大いに満足	3	2.8	4	2.7	11	6.3	0	0	19	5.8	5	2.7
	どちらかといえば満足	19	17.9	41	28.1	63	36.0	4	17.4	102	31.0	62	33.0
	不満が多い	58	54.7	72	49.3	53	30.3	14	60.9	157	47.7	79	42.0
	なんともいえない	23	21.7	19	13.0	32	18.3	5	21.7	45	13.7	34	18.1
	NA	3	2.8	10	6.8	16	9.1	0	0	6	1.8	8	4.3
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
17-(1) 日本の大学(院)について(現在までの日本留学体験から判断して、あなたは次の意見に同意しますか)													
17-(1)-1 日本の大学は概 ね国際的な学 術水準に達して いる	全くその通り	36	34.0	25	17.1	41	23.4	3	13.0	89	27.1	39	20.7
	ある程度同意	53	50.0	97	66.4	100	57.1	14	60.9	150	45.6	99	52.7
	同意できない	6	5.7	11	7.5	4	2.3	2	8.7	27	8.2	15	8.0
	なんともいえない	5	4.7	7	4.8	7	4.0	3	13.0	23	7.0	11	5.9
	わからない	4	3.8	6	4.1	16	9.1	1	4.3	31	9.4	19	10.1
	NA	2	1.9	0	0	7	4.0	0	0	9	2.7	5	2.7
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
17-(1)-2 日本の大学は発 展途上国の抱え る問題に十分な 関心を持っている	全くその通り	3	2.8	15	10.3	13	7.4	0	0	40	12.2	24	12.8
	ある程度同意	33	31.1	52	35.6	59	33.7	9	39.1	103	31.3	48	25.5
	同意できない	52	49.1	55	37.7	34	19.4	8	34.8	101	30.7	58	30.9
	なんともいえない	9	8.5	9	6.2	7	15.4	1	4.3	32	9.7	28	14.9
	わからない	7	6.6	14	9.6	36	20.6	5	21.7	42	12.8	25	13.3
	NA	2	1.9	1	0.7	6	3.4	0	0	11	3.3	15	2.7
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	183	100.0	
17-(1)-3 日本の大学教授	全くその通り	29	27.4	32	21.9	44	25.1	4	17.4	89	27.1	47	25.0
	ある程度同意	49	45.2	74	50.7	72	41.1	9	39.1	129	39.2	72	38.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)										
は留学生問題に 十分な関心を持 っている	同意できない	17	16.0	26	17.8	16	9.1	5	21.7	57	17.3	40	21.3
	なんともいえない	8	7.5	10	6.8	19	10.9	4	17.4	31	9.4	18	9.6
	わからない	1	0.9	2	1.4	15	8.6	1	4.3	13	4.0	16	3.2
	NA	2	1.9	2	1.4	9	5.1	0	0	10	3.0	5	2.7
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(1)-4 日本の大学教授 は留学生の成績 を厳しく評価し ている	全くその通り	13	12.3	15	10.3	12	6.9	2	8.7	39	11.9	28	14.9
	ある程度同意	36	34.0	71	48.6	62	35.4	7	30.4	110	33.4	68	36.2
	同意できない	15	14.2	23	15.8	28	16.0	4	17.4	53	16.1	29	15.4
	なんともいえない	18	17.0	24	16.4	30	17.1	3	13.0	58	17.6	30	16.0
	わからない	21	19.8	11	7.5	36	20.6	7	30.4	55	16.7	27	14.4
計	3	2.8	2	1.4	7	4.0	0	0	14	4.3	6	3.2	
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
17-(1)-5 日本の大学生は 留学生の勉学に 十分に協力的で ある	全くその通り	15	14.2	17	11.6	23	13.1	1	4.3	49	14.9	32	17.0
	ある程度同意	48	45.3	62	42.5	66	37.7	9	39.1	153	46.5	77	41.0
	同意できない	26	24.5	42	28.8	41	23.4	9	39.1	66	20.1	41	21.8
	なんともいえない	11	10.4	23	15.8	29	16.6	4	17.4	27	8.2	24	12.8
	わからない	3	2.8	1	0.7	10	5.7	0	0	22	6.7	9	4.8
計	3	2.8	1	0.7	6	3.4	0	0	12	3.6	5	2.7	
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
17-(1)-6 日本の大学は留 学生に対して最 新の理論や学術 成果を積極的 に提供している	全くその通り	13	12.3	12	8.2	20	11.4	2	8.7	62	18.8	25	13.3
	ある程度同意	37	34.9	48	32.9	47	26.9	5	12.7	116	35.3	59	31.4
	同意できない	27	25.5	46	31.5	26	14.9	8	34.8	61	18.5	37	19.7
	なんともいえない	10	9.4	24	16.4	34	19.4	2	8.7	38	11.6	29	15.4
	わからない	17	16.0	15	10.3	41	23.4	6	26.1	41	12.5	29	15.4
計	2	1.9	1	0.7	7	4.0	0	0	11	3.3	9	4.8	
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
17-(1)-7 日本の大学は帰	全くその通り	17	16.0	9	6.2	17	9.7	0	0	25	7.6	11	5.9
	ある程度同意	21	19.8	25	17.1	35	20.0	2	8.7	42	12.8	18	9.6

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
国語の留学生と積極的に交流しようとしている	27	25.5	40	27.4	14	8.0	5	21.7	49	14.9	37	19.7
	10	9.4	14	9.6	26	14.9	2	8.7	28	8.5	19	10.1
	29	27.4	57	39.0	75	42.9	14	60.9	174	52.9	96	51.1
	2	1.9	1	0.7	8	4.6	0	0	11	3.3	7	3.7
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(2)日本留学に関して												
17-(2)-1 再度の機会があれば、日本で研究の仕上げをしたい	56	52.8	49	33.6	80	45.7	11	47.8	164	49.8	83	44.1
	32	30.2	67	45.9	51	29.1	7	30.4	83	25.2	59	31.4
	8	7.5	14	9.6	4	2.3	0	0	22	6.7	17	9.0
	4	3.8	9	6.2	15	8.6	2	8.7	24	7.3	12	6.4
	4	3.8	6	4.1	19	10.9	3	13.0	25	7.6	14	7.4
	2	1.9	1	0.7	6	3.4	0	0	11	3.3	3	1.6
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(2)-2 母国の学生達に日本留学を積極的にすすめたい	28	26.4	24	16.4	48	27.4	3	13.0	117	35.6	55	29.3
	60	56.6	83	56.8	72	41.1	12	52.2	114	34.7	68	36.2
	5	4.7	16	11.0	16	9.1	4	17.4	31	9.4	29	15.4
	10	9.4	19	13.0	18	10.3	4	17.4	47	14.3	23	12.2
	1	0.9	3	2.1	14	8.0	0	0	11	3.3	9	4.8
	2	1.9	1	0.7	7	4.0	0	0	9	2.7	4	2.1
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(2)-3 留学体験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となろう	62	58.5	57	39.0	103	58.9	11	47.8	163	49.5	93	49.5
	32	30.2	59	40.4	49	28.0	7	30.4	108	32.8	64	34.0
	4	3.8	14	9.6	5	2.9	3	13.0	13	4.0	10	5.3
	4	3.8	9	6.2	6	3.4	2	8.7	27	8.2	8	4.3
	2	1.9	5	3.4	6	3.4	0	0	9	2.7	8	4.3
	2	1.9	2	1.4	6	3.4	0	0	9	2.7	5	2.7
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(2)-4 全くその通り	72	67.9	110	75.3	150	85.7	19	82.6	246	74.8	130	69.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
留学は日本人の 生活態度、考え 方や日本の文化 社会、経済等を 認識する絶好の 機会である	ある程度同意	24	22.6	31	21.2	18	10.3	3	13.0	63	19.1	45	23.9
	同意できない	3	2.8	2	1.4	0	0	1	4.3	2	0.6	5	2.7
	なんともいえない	3	2.8	2	1.4	1	0.6	0	0	6	1.8	2	1.1
	わからない	2	1.9	0	0	0	0	0	0	2	0.6	2	1.1
	NA	2	1.9	1	0.7	6	3.4	0	0	10	3.0	4	2.1
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(2)-5	全くその通り	8	7.5	3	2.1	11	6.3	0	0	26	7.9	12	6.4
日本は帰国留学 生に対するアフ ターサービスを よくやっている	ある程度同意	14	13.2	26	17.8	20	11.4	5	21.7	33	10.0	24	12.8
	同意できない	32	30.2	52	35.6	20	11.4	4	17.4	38	11.6	35	18.6
	なんともいえない	10	9.4	12	8.2	17	9.7	1	4.3	25	7.6	12	6.4
	わからない	40	37.7	52	35.6	99	56.6	13	56.5	197	59.9	98	52.1
	NA	2	1.9	1	0.7	8	4.6	0	0	10	3.0	7	3.7
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(3)留学生の受入れについて													
17-(3)-1	全くその通り	7	6.6	12	8.2	15	8.6	0	0	32	9.7	20	10.6
留学生受入れに ついて民間のボ ランティア活動 は充実している	ある程度同意	28	26.4	52	35.6	50	28.6	12	52.2	111	33.7	64	34.0
	同意できない	28	26.4	44	30.1	30	17.1	4	17.4	61	18.5	35	18.6
	なんともいえない	7	6.6	15	10.3	15	8.6	1	4.3	29	8.8	19	10.1
	わからない	34	32.1	21	14.4	57	32.6	6	26.1	86	26.1	46	24.5
	NA	2	1.9	2	1.4	8	4.6	0	0	10	3.0	4	2.1
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(3)-2	全くその通り	9	8.5	9	6.2	24	13.7	2	8.7	52	15.8	25	13.3
宿舍やアルバイ ト探しにすいて 日本人は協力的 である	ある程度同意	32	30.2	61	41.8	59	33.7	8	34.8	85	25.8	65	34.6
	同意できない	33	31.1	47	32.2	29	16.6	8	34.8	81	24.6	44	23.4
	なんともいえない	12	11.3	12	8.2	22	12.6	2	8.7	30	9.1	17	9.0
	わからない	18	17.0	16	11.0	35	20.0	3	13.0	70	21.3	34	18.1
	NA	2	1.9	1	0.7	6	3.4	0	0	11	3.3	3	1.6
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
17-(3)-3 留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	全くその通り	4	3.8	6	4.1	5	2.9	0	0	20	6.1	12	6.3
	ある程度同意	28	26.4	37	25.3	23	13.1	7	30.4	46	14.0	35	18.6
	同意できない	45	42.5	78	53.4	79	45.1	7	30.4	88	26.7	60	31.9
	なんともいえない	11	10.4	9	6.2	16	9.1	1	4.3	25	7.6	15	8.0
	わからない	16	15.1	14	9.6	46	26.3	8	34.8	141	42.9	63	33.5
	NA	2	1.9	2	1.4	6	3.4	0	0	9	2.7	3	1.6
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
[宿舍条件— 希望順位] 17-(4)-A-1 大学付属の寮	1 位	48	45.3	53	36.3	60	34.3	7	34.3	95	30.4	65	28.9
	2 位	26	24.5	40	27.4	57	32.6	5	21.7	95	28.9	52	27.7
	3 位	13	12.3	25	17.1	33	18.9	2	8.7	56	17.0	31	16.5
	4 位	10	9.4	18	12.3	16	9.1	6	26.1	31	9.4	14	7.4
	NA	9	8.5	10	6.8	9	5.1	3	13.0	52	15.8	26	13.8
17-(4)-A-2 外国人用宿舍	1 塩	29	27.4	27	18.5	57	32.6	9	39.1	85	25.8	42	22.3
	2 位	38	35.8	36	24.7	48	27.4	7	30.4	78	23.7	47	25.0
	3 位	14	13.2	32	21.9	26	14.9	1	4.3	51	15.5	39	20.7
	4 塩	16	15.1	42	28.8	35	20.0	3	13.0	56	17.0	29	15.4
	NA	9	8.5	9	6.2	9	5.1	3	13.0	59	17.9	31	16.5
17-(4)-A-3 民間アパート	1 位	13	12.3	16	11.0	21	12.0	3	13.0	67	20.4	36	19.1
	2 位	14	13.2	33	22.6	27	15.4	7	30.4	58	17.6	32	17.0
	3 位	44	41.5	45	30.8	62	35.4	5	21.7	93	28.3	58	30.9
	4 位	26	24.5	43	29.5	54	30.9	5	21.7	48	14.6	34	18.1
	NA	9	8.5	9	6.2	11	6.3	3	13.0	63	18.1	28	14.9
17-(4)-A-4 日本人の家庭	1 位	7	6.6	41	28.8	32	18.3	1	4.3	35	10.6	24	12.8
	2 位	19	17.9	27	18.5	33	18.9	1	4.3	40	12.2	27	14.4
	3 位	26	24.5	35	24.0	42	24.0	12	52.2	64	19.5	29	15.4
	4 位	45	42.5	31	21.9	58	33.1	6	26.1	124	37.7	78	41.5
	NA	9	8.5	10	6.8	10	5.7	3	13.0	66	20.1	30	16.0
17-(4)-B	外国人留学生だけ	23	21.7	16	11.0	47	26.9	6	26.1	45	13.7	31	16.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
留学生だけか日 本人と一緒にか	日本人と一緒に	72	68.9	119	81.5	117	66.9	13	56.5	22.3	67.8	128	68.1
	NA	10	9.4	11	7.5	11	6.3	4	17.4	61	18.5	29	15.4
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
17-(4)-C 個室か共用か	個室がよい	94	88.7	128	87.7	167	95.4	19	82.6	279	84.8	160	85.1
	他人と共用	2	1.9	10	6.8	5	2.9	1	4.3	9	2.7	6	3.2
	NA	10	9.4	8	5.5	3	1.7	3	13.0	41	12.5	22	11.7
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
	VI 日本経済の発展について(次の意見につき、あなたの考えを聞かせて下さい)												
19-(1) 日本の教育制度(総計)		106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
19-(1)-A	その通り	22	20.8	29	19.9	58	33.1	8	34.8	99	30.1	52	27.7
義務教育年限 が6・3制で十 分に長いこと	どちらかといえば その通りと思う	34	32.1	38	26.0	52	29.7	4	17.4	107	32.5	52	27.7
	そうは思わない	30	28.3	64	43.8	38	21.7	10	43.5	78	23.7	59	31.4
	なんともいえない	3	2.8	9	6.2	6	3.4	0	0	21	6.4	6	3.2
	わからない	14	13.2	5	3.4	14	8.0	1	4.3	19	5.8	17	9.0
	NA	3	2.8	1	0.7	7	4.0	0	0	5	1.5	2	1.1
19-(1)-B	その通り	13	12.3	47	32.2	65	37.1	8	34.8	94	28.6	45	23.9
義務教育での中 途退学(drop out)が少ない こと	どちらかといえば その通りと思う	26	24.5	28	19.2	38	21.7	8	34.8	90	27.4	50	26.6
	そうは思わない	26	24.5	30	20.5	8	4.6	1	4.3	26	7.9	28	14.9
	なんともいえない	7	6.6	12	8.2	14	8.0	0	0	20	6.1	8	4.3
	わからない	30	28.3	24	16.4	42	24.0	6	26.1	92	28.0	54	28.7
	NA	4	3.8	5	3.4	8	4.6	0	0	7	2.1	3	1.6
19-(1)-C	その通り	21	19.8	38	26.0	71	40.6	6	26.1	77	23.4	38	20.2
義務教育の教育 内容が充実して いること	どちらかといえば その通りと思う	41	38.7	46	31.5	45	25.7	10	43.5	111	33.7	71	37.8
	そうは思わない	13	12.3	21	14.4	9	5.1	0	0	20	6.1	16	8.5
	なんともいえない	5	4.7	12	8.2	8	4.6	0	0	27	8.2	12	6.4
	わからない	22	20.8	25	17.1	34	19.4	7	30.4	83	25.2	44	23.4
	NA	4	3.8	4	2.7	8	4.6	0	0	11	3.3	7	3.7
19-(1)-D	その通り	31	29.2	59	40.4	107	61.1	12	52.2	140	42.6	69	36.7

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
高等学校以上の 高等教育への進 学率が高いこと	どちらかといえば その通りと思う	56	52.8	57	39.0	49	28.0	10	43.5	109	33.1	76	40.4
	そうは思わない	9	8.5	16	11.9	4	2.3	0	0	17	5.2	9	4.8
	なんともいえない	1	0.9	8	5.5	3	1.7	0	0	11	3.3	6	3.2
	わからない	5	4.7	3	2.1	6	3.4	1	4.3	43	13.1	26	13.8
	NA	4	3.8	3	2.1	6	3.4	0	0	9	2.7	2	1.1
19-(1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率が 高いこと	その通り	11	10.4	30	20.5	44	25.1	3	13.0	35	16.7	30	16.0
	どちらかといえば その通りと思う	43	40.6	51	34.9	42	24.0	9	39.1	110	33.4	68	36.2
	そうは思わない	28	26.4	29	19.9	43	24.6	6	26.1	75	22.8	36	19.1
	なんともいえない	7	6.6	12	8.2	15	8.6	0	0	27	8.2	14	7.4
	わからない	13	12.3	20	13.7	23	13.1	5	2.7	53	16.1	37	19.7
NA	4	3.8	4	2.7	8	4.6	0	0	9	2.7	3	1.6	
19-(1)-F 高等教育の内容 が充実している こと	その通り	26	24.5	40	27.4	43	24.6	5	21.7	68	20.7	37	19.7
	どちらかといえば その通りと思う	41	38.7	57	39.0	72	40.1	10	43.5	135	41.0	93	49.5
	そうは思わない	14	13.2	12	8.2	17	9.7	0	0	29	8.8	12	6.4
	なんともいえない	6	5.7	10	6.8	15	8.6	2	8.6	27	8.2	7	3.7
	わからない	16	15.1	23	15.8	23	13.1	6	26.1	61	18.5	36	19.1
NA	3	2.8	4	2.7	5	2.9	0	0	9	2.7	3	1.6	
19-(1)-G 高等教育への進 学率を高めるだ けの経済的余裕 が父兄にあるこ と	その通り	18	17.0	29	19.9	40	22.9	8	34.8	82	24.9	43	22.9
	どちらかといえば その通りと思う	47	44.3	56	38.4	54	30.9	7	30.4	130	39.5	89	47.3
	そうは思わない	16	15.1	31	21.2	24	13.7	5	21.7	31	9.4	15	8.0
	なんともいえない	6	5.7	9	6.2	14	8.0	0	0	18	5.5	7	3.7
	わからない	15	14.2	18	12.3	37	21.1	3	13.0	59	17.9	29	15.4
NA	4	3.8	3	2.1	6	3.4	0	0	9	2.7	5	2.7	
19-(1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り	12	11.3	21	14.4	25	14.3	3	13.0	57	17.3	38	20.2
	どちらかといえば その通りと思う	28	26.4	36	24.7	44	25.1	9	39.1	112	34.0	67	35.6
	そうは思わない	25	23.6	44	30.1	33	18.9	3	13.0	36	10.9	29	15.4
	なんともいえない	6	5.7	13	8.9	12	6.9	1	4.3	18	5.5	10	5.3
	わからない	31	29.2	29	19.9	56	32.0	7	30.4	97	29.8	41	21.8

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	4	3.8	3	2.1	5	2.9	0	0	8	2.4	3	1.6
19-(1)-I 国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	その通り	23	21.7	61	41.8	57	32.6	9	39.1	120	36.5	63	33.5
	どちらかといえば その通りを思う	50	47.2	50	34.2	67	38.3	8	34.8	122	37.1	77	41.0
	そうは思わない	9	8.5	11	7.5	8	4.6	0	0	9	2.7	6	3.2
	なんともいえない	5	4.7	5	3.4	5	2.9	0	0	13	4.0	5	2.7
	わからない	15	14.2	16	11.0	32	18.3	6	26.1	35	16.7	34	18.1
	NA	4	3.8	3	2.1	6	3.4	0	0	10	3.0	3	1.6
19-(1)-J 高等教育を積極的に進めることについての国民的関心が高いこと	その通り	27	25.5	65	44.5	86	49.1	13	56.5	127	38.6	70	37.2
	どちらかといえば その通りを思う	49	46.2	49	33.6	49	28.0	8	34.8	126	38.3	73	38.8
	そうは思わない	10	9.4	9	6.2	4	2.3	0	0	13	4.0	8	4.3
	なんともいえない	3	2.8	11	7.5	6	3.4	1	4.3	9	2.7	6	3.2
	わからない	13	12.3	8	5.5	24	13.7	1	4.3	42	12.8	28	14.9
	NA	4	3.8	4	2.7	6	3.4	0	0	12	3.6	3	1.6
19-(1)-K 高等教育を受けることが、立身出世の条件として考えられてきたこと	その通り	26	24.5	64	43.8	85	48.6	14	60.9	173	52.6	87	46.3
	どちらかといえば その通りを思う	48	45.3	58	39.7	48	27.4	4	17.4	99	30.1	67	35.6
	そうは思わない	16	15.1	14	9.6	10	5.7	2	8.7	13	4.0	13	6.9
	なんともいえない	5	4.7	2	1.4	4	2.3	2	8.7	17	5.2	6	3.2
	わからない	7	6.6	5	3.4	22	12.6	1	4.3	18	5.5	11	5.9
	NA	4	3.8	3	2.1	6	3.4	0	0	9	2.7	4	2.1
19-(1)-L 個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	その通り	24	22.6	47	32.2	42	24.6	7	30.4	107	32.5	48	25.5
	どちらかといえば その通りを思う	45	42.5	52	35.6	58	33.1	9	39.1	110	33.4	67	35.6
	そうは思わない	22	20.8	26	17.8	29	16.6	3	13.0	52	15.8	32	17.0
	なんともいえない	4	3.8	5	3.4	15	8.6	2	8.7	25	7.6	14	7.4
	わからない	7	6.6	11	7.5	21	12.0	2	8.7	24	7.3	22	11.7
	NA	4	3.8	5	3.4	9	5.1	0	0	11	3.3	5	2.7
19-(2) 日本の経済発展の要因としての人口増加について													
19-(2)-A 人口の規模が一	その通り	33	31.1	29	19.9	22	12.6	4	17.4	72	21.9	39	20.7
	どちらかといえば その通りを思う	30	28.3	29	19.9	30	17.1	11	47.8	105	31.9	55	29.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	そうは思わない	34	32.1	71	48.6	80	45.7	5	21.7	84	25.5	52	27.7
	なんともいえない	3	2.8	7	4.8	12	6.9	3	13.0	27	8.2	13	6.9
	わからない	4	3.8	7	4.8	24	13.7	0	0	28	8.5	20	10.6
	NA	2	1.9	3	2.1	7	4.0	0	0	13	4.0	9	4.8
19-(2)-B 人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	その通り	22		44		50		6		89		44	23.4
	どちらかといえば その通りだと思う	42	39.6	53	36.3	62	35.4	12	52.2	109	33.1	85	45.2
	そうは思わない	27	25.5	30	20.5	22	12.6	4	17.4	53	16.1	35	18.6
	なんともいえない	6	5.7	12	8.2	19	10.9	0	0	28	8.5	5	2.7
	わからない	7	6.6	6	4.1	15	8.6	1	4.3	38	11.6	11	5.9
NA	2	1.9	1	0.7	7	4.0	0	0	12	3.6	8	4.3	
19-(2)-C 最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	その通り	47	38.7	69	47.3	76	43.4	13	56.5	184	55.9	79	42.0
	どちらかといえば その通りだと思う	35	33.0	48	32.9	40	22.9	6	26.1	88	26.7	56	29.8
	そうは思わない	15	14.2	13	8.9	8	4.6	0	0	15	4.6	19	10.1
	なんともいえない	2	1.9	4	2.7	9	5.1	0	0	7	2.1	3	1.6
	わからない	11	10.4	9	6.2	34	19.4	4	17.4	22	6.7	19	10.1
NA	2	1.9	3	2.1	8	4.0	0	0	13	4.0	12	6.4	
19-(2)-D 出生率が低いのは													
19-(2)-D-1 家族計画の考え方が普及しているから	その通り	50	47.2	93	63.7	63	36.0	11	47.8	169	51.4	82	43.6
	どちらかといえば その通りだと思う	40	37.7	39	26.7	57	32.6	7	30.4	92	28.0	58	30.9
	そうは思わない	5	4.7	1	0.7	18	10.3	1	4.3	17	5.2	11	5.9
	なんともいえない	1	0.9	2	1.4	10	5.7	0	0	4	1.2	3	1.6
	わからない	8	7.5	3	2.1	17	9.7	4	17.4	35	10.6	18	9.6
NA	2	1.9	8	5.5	10	5.7	0	0	12	3.6	16	8.5	
19-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	その通り	11	10.4	26	17.8	28	16.0	2	8.7	37	11.2	27	14.4
	どちらかといえば その通りだと思う	17	16.0	44	30.1	47	26.9	5	21.7	103	31.3	64	34.0
	そうは思わない	43	40.6	55	37.7	52	29.7	7	30.4	109	33.1	51	27.1
	なんともいえない	12	11.3	6	4.1	20	11.4	3	13.0	16	4.9	9	4.8
わからない	19	17.9	3	2.1	17	9.7	5	21.7	41	12.5	17	9.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		その 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	4	3.8	12	8.2	11	6.3	1	4.3	23	7.0	20	10.6
19-(2)-D-3	その通りと思う	8	7.5	31	21.2	24	13.7	2	8.7	36	10.9	33	17.6
優生保護法で産 児制限が合法化 されているから	どちらかといえば その通りと思う	34	32.1	38	26.0	24	13.7	5	21.7	96	29.2	51	27.1
	そうは思わない	24	22.6	35	24.0	32	18.3	5	21.7	34	10.3	26	13.8
	なんともいえない	1	0.9	7	4.8	15	8.6	1	4.3	21	6.4	6	3.2
	わからない	35	33.0	22	15.1	71	40.6	10	43.5	114	34.7	58	30.9
	NA	4	3.8	13	8.9	9	5.1	0	0	28	8.5	14	7.4
19-(2)-D-4	その通りと思う	29	27.4	56	38.4	58	33.1	2	8.7	29	8.8	39	20.7
社会保障制度の整 備などにより老後 を子供に頼れぬと いう考えが国民の 間になつたから	どちらかといえば その通りと思う	43	40.6	49	33.6	48	27.4	8	34.8	95	28.9	57	30.3
	そうは思わない	12	11.3	22	15.1	20	11.4	7	30.4	62	18.8	17	9.0
	なんともいえない	5	4.7	4	2.7	17	9.7	2	8.7	28	8.5	13	6.9
	わからない	14	13.2	8	5.5	23	13.1	4	17.4	90	27.4	50	26.6
	NA	3	2.8	7	4.8	9	5.1	0	0	25	7.6	12	6.4
19-(2)-E	その通りと思う	10	9.4	23	15.8	37	21.1	5	21.7	61	18.5	31	16.5
1940年代の出生率が 高く、若い労働者が 急増したことが、こ とに1960年代の日本 本の経済成長を支えた	どちらかといえば その通りと思う	26	24.5	49	33.6	42	24.0	8	34.8	131	39.8	65	34.6
	そうは思わない	30	28.3	43	29.5	38	21.7	1	4.3	27	8.2	23	12.2
	なんともいえない	10	9.4	4	2.7	14	8.0	3	13.0	24	7.3	12	6.4
	わからない	29	27.4	25	17.1	35	20.0	6	26.1	70	21.3	49	26.1
	NA	1	0.9	2	1.4	9	5.1	0	0	16	4.9	8	4.3
19-(2)-F	その通りと思う	2	1.9	4	2.7	6	3.4	0	0	9	2.7	5	2.7
最近における日本の 出生率の低下、人口 増加率の低下は、丁 本の経済成長を今後 低下させるであろう	どちらかといえば その通りと思う	14	13.2	11	7.5	7	4.0	2	8.7	63	19.1	25	13.3
	そうは思わない	78	73.6	104	71.2	102	58.3	17	73.9	157	47.7	89	47.3
	なんともいえない	3	2.8	7	4.7	19	10.9	3	13.0	42	12.8	30	16.0
	わからない	8	7.5	16	11.0	33	18.8	1	4.3	46	14.0	30	16.0
	NA	1	0.9	4	2.7	8	4.6	0	0	12	3.6	9	4.8
19-(3) 日本の経済発展の要因としての労働体制について													
19-(3)-A	その通りと思う	71	67.0	99	67.8	112	64.0	15	65.2	209	63.5	120	63.8
日本人は本来勤	どちらかといえば その通りと思う	25	23.6	34	23.3	47	26.9	7	30.4	86	26.1	44	23.4

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		その他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
勉で労働の密度 が高いこと	そうは思わない	3	2.8	9	6.2	3	1.7	1	4.3	11	3.3	9	4.8
	なんともいえない	1	0.9	2	1.4	2	1.1	0	0	5	1.5	4	2.1
	わからない	2	1.9	1	0.7	7	4.0	0	0	6	1.8	6	3.2
	NA	4	3.8	1	0.7	4	2.3	0	0	12	3.6	5	2.7
19-(3)-B 日本には身分意 識が少く上下の 差別なくよく働 くから	その通りと思う	28	26.4	23	15.8	26	14.9	4	17.4	71	21.9	43	22.9
	どちらかといえば その通りと思う	32	30.2	28	19.2	42	24.0	12	52.2	101	30.7	58	30.9
	そうは思わない	32	30.2	83	56.8	81	46.3	6	26.1	100	30.4	55	29.3
	なんともいえない	5	4.7	7	4.8	5	2.9	0	0	17	5.2	9	4.8
	わからない	5	4.7	3	2.1	11	6.3	1	4.3	26	7.9	18	9.6
NA	4	3.8	2	1.4	10	5.7	0	0	13	4.0	5	2.7	
19-(3)-C 週45時間の長時 間労働の体制に なっている企業 が多いから	その通りと思う	19	17.9	39	26.7	40	22.8	9	39.1	124	37.7	56	29.8
	どちらかといえば その通りと思う	34	32.1	53	36.3	53	30.3	8	34.8	87	26.4	67	35.6
	そうは思わない	29	27.4	33	22.6	32	18.3	2	8.7	37	11.2	15	8.0
	なんともいえない	6	5.7	9	6.2	9	5.1	1	4.3	6	1.8	8	4.3
	わからない	13	12.3	10	6.8	32	18.3	3	13.0	58	17.6	36	19.1
NA	5	4.7	2	1.4	9	5.1	0	0	17	5.2	6	3.2	
19-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	その通りと思う	21	19.8	36	24.7	41	23.4	9	39.1	110	33.4	51	27.1
	どちらかといえば その通りと思う	27	25.5	46	31.5	64	36.6	9	39.1	110	33.4	61	32.4
	そうは思わない	30	28.3	40	27.4	15	8.6	1	4.3	25	7.6	22	11.7
	なんともいえない	4	3.8	10	6.8	14	8.0	2	8.7	17	5.2	8	4.3
	わからない	18	17.0	11	7.5	31	17.7	2	8.7	51	15.5	41	21.8
NA	6	5.7	3	2.1	10	5.7	0	0	16	4.9	5	2.7	
19-(4) 経済と人的能力との関係について													
「人的能力の開 発は経済発展の 重要な原因の一 つである」とい う考え方につい	その通りだ	93	87.7	125	85.6	157	89.7	16	69.6	24.0	72.9	144	76.6
	必ずしもそうだと は思わない	8	7.5	16	11.0	5	2.9	6	26.1	59	17.9	28	14.9
	まちがっている	0	0	0	0	0	0	1	4.3	6	1.8	1	0.5
	なんともいえない	0	0	1	0.7	1	0.6	0	0	8	2.4	2	1.1
	わからない	0	0	1	0.7	3	1.7	0	0	3	0.9	4	2.1

質問(項目)番号 質問内容	国 別												
	韓国		中国		台湾		マレーシア		その他		N.A.		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
てあなたは同意 しますか	5	4.7	3	2.1	9	5.1	0	0	13	4.0	9	4.8	
計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0	
20. 家族について													
20-1 父親の職業	公務員	3	2.8	10	6.8	21	12.0	0	0	9	2.7	9	4.8
	教師	11	10.4	3	2.1	20	11.4	0	0	14	4.3	9	4.8
	会社員	4	3.8	7	4.8	15	8.6	0	0	38	11.6	7	3.7
	自由業	2	1.9	10	6.8	9	5.1	0	0	13	4.0	4	2.1
	農業	8	7.5	3	2.1	3	1.7	2	8.7	17	5.2	4	2.1
	商業	10	9.4	31	21.2	1	0.6	5	21.7	15	4.6	14	7.4
	その他	5	4.7	13	8.9	21	12.0	7	30.4	46	14.0	21	11.2
	無職~無回答	63	59.4	69	47.3	85	48.6	9	39.1	177	53.8	120	63.8
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0
20-2 男子の数	1人	18	17.0	29	19.9	48	27.4	1	4.3	64	19.5	31	16.5
	2人	36	34.0	51	34.9	64	36.6	4	17.4	93	28.3	56	29.8
	3人	25	23.6	34	23.3	35	20.0	6	26.1	77	23.4	38	20.2
	4人	13	12.3	15	10.3	10	5.7	3	13.0	44	13.4	24	12.8
	5人以上	4	3.8	9	6.2	1	0.6	8	34.8	29	8.8	18	9.6
	無回答,0人	10	9.4	8	5.5	17	9.7	1	4.3	22	6.7	21	11.2
20-3 女子の数	1人	29	27.4	41	28.1	57	32.6	4	17.4	80	24.3	62	33.0
	2人	31	29.2	42	28.8	31	17.7	4	17.4	93	28.3	47	25.0
	3人	13	12.3	29	19.9	12	6.9	1	4.3	59	17.9	25	13.3
	4人	6	5.7	9	6.2	5	2.9	4	17.4	31	9.4	19	10.1
	5人以上	3	2.8	2	1.4	0	0	6	26.1	12	3.6	8	4.3
	無回答,0人	24	22.6	23	15.8	70	40.0	4	17.4	54	16.4	27	14.4
20-4 家族に海外留学 の体験があるか	ある	46	43.4	81	55.5	39	22.3	10	43.5	122	37.1	77	41.0
	ない	39	36.8	47	32.2	91	52.0	7	30.4	150	45.6	73	38.8
	NA	21	19.8	18	12.3	45	25.7	6	26.1	57	17.3	38	20.2
	計	106	100.0	146	100.0	175	100.0	23	100.0	329	100.0	188	100.0

A-III 在日留学生アンケート集計表 (地域別)

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別										
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)																					
1. あなたは日本留学以前に他の国に留学したことがありますか	ない	12	57.1	43	84.3	18	64.3	3	100.0	17	89.5	7	77.8	38	84.4	244	93.5	425	97.9	12	100.0	73	86.9	
	ある	9	42.9	8	15.7	10	55.7	0	0	2	10.5	2	22.2	7	15.6	17	6.5	9	2.1	0	0	11	13.1	
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
		0	0	3	37.5	2	20.0	0	0	2	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	27.3
1-(2)-A どの国(地域)でしたか	北米	1	11.1	2	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	南米	7	77.8	3	37.5	2	20.0	0	0	0	0	0	0	3	42.9	3	17.6	0	0	0	0	0	3	27.3
	西欧	0	0	0	0	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14.3	0	0	0	0	0	1	9.1
	東欧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東アジア	1	11.1	0	0	4	40.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9.1
その他	0	0	0	0	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	9	100.0	8	100.0	10	100.0	0	100.0	2	100.0	2	100.0	7	100.0	17	100.0	9	100.0	0	100.0	11	100.0		
1-(2)-B 留学期間は何年でしたか	1年	3	33.3	1	12.5	3	30.0	0	0	0	0	0	0	2	28.6	6	35.3	2	22.2	0	0	3	27.3	
	2年	1	11.1	2	25.0	0	0	0	0	1	50.0	0	0	2	28.6	3	17.6	3	33.3	0	0	1	9.1	
	3年	0	0	0	0	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.9	1	11.1	0	0	2	18.2	
	4年	0	0	1	12.5	0	0	0	0	1	50.0	1	50.0	0	0	1	5.9	1	11.1	0	0	1	9.1	
	5年	0	0	0	0	1	10.0	0	0	0	0	1	14.3	0	0	1	11.1	0	0	0	0	2	18.2	
	6年	0	0	0	0	2	20.0	0	0	0	0	0	0	1	14.3	3	17.6	1	11.1	0	0	0	0	
	7年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9.1
	8年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	地域														別						
	北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
1-(2)-C 学校は次のいずれでしたか	9年以上	1	11.1	0	0	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9.1
	NA	4	44.4	4	50.0	2	20.0	0	0	0	0	1	14.3	2	11.8	0	0	0	0	0	0
	計	9	100.0	8	100.0	10	100.0	0	0	2	100.0	2	100.0	7	100.0	17	100.0	9	100.0	0	0
2. 今回の留学で 日本は留学生と なるときの第一 志望国でしたか	高校	2	22.2	4	50.0	2	20.0	0	0	0	0	0	0	1	14.3	4	23.5	1	11.1	0	0
	大学	5	55.6	2	25.0	2	20.0	0	0	1	50.0	2	100.0	1	14.3	5	29.4	2	22.2	0	0
	大学院	2	22.2	1	12.5	6	60.0	0	0	1	50.0	0	0	5	71.4	7	41.2	6	66.7	0	0
NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.9	0	0	0	0
	計	9	100.0	8	100.0	10	100.0	0	0	2	100.0	2	100.0	7	100.0	17	100.0	9	100.0	0	0
	第1志望国	21	100.0	41	80.4	27	96.4	3	100.0	14	73.7	4	44.4	27	60.0	168	64.4	342	78.8	10	83.3
2-(2)-A それでは、 第一志望の国 はどこでした か	日本は留学生と なるときの第一 志望国でない	0	0	8	15.7	1	3.6	0	0	4	21.1	5	55.6	18	40.0	85	32.6	82	18.9	2	16.7
	NA	0	0	2	3.9	0	0	0	0	1	5.3	0	0	0	0	8	3.1	10	2.3	0	0
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	61	100.0	434	100.0	12	100.0
3. 日本留学後の経緯	北米	0	0	4	50.0	0	0	0	0	2	50.0	3	60.0	13	72.2	61	71.8	52	63.4	2	100.0
	南米	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西欧	0	0	3	37.5	1	100.0	0	0	2	50.0	1	20.0	2	11.1	16	18.8	15	18.3	0	0
3. 日本に入国 するにあたって、 あなたは	東欧	0	0	0	0	0	0	0	0	2	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 日本に入国 するにあたって、 あなたは	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.2	0	0	0	0
	東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 日本に入国 するにあたって、 あなたは	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.2	0	0	0	0
	NA	0	0	1	12.5	0	0	0	0	1	20.0	1	20.0	3	16.7	6	7.1	15	18.3	0	0
	計	0	0	8	100.0	1	100.0	0	0	4	100.0	5	100.0	18	100.0	85	100.0	82	100.0	2	100.0
3. 日本に入国 するにあたって、 あなたは	親類	1	4.8	8	15.7	0	0	0	0	1	5.3	0	0	2	4.4	16	6.1	62	14.3	0	0
	知人友人	2	9.5	2	3.9	6	21.4	1	33.3	1	5.3	1	11.1	1	2.2	49	18.8	156	35.9	3	25.0
	文部省	12	57.1	21	41.2	15	53.6	1	33.3	6	31.6	5	55.6	20	44.4	103	39.5	32	7.4	5	41.7

質問(項目)番号 質問内容	地 域												別										
	北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)									
保証人をだれ に頼みました か	2	9.5	4	7.8	2	7.1	0	0	2	10.5	0	0	6	13.3	35	13.4	120	27.6	1	8.3	11	13.1	
NA	4	19.0	16	31.4	5	17.9	1	33.3	9	47.4	3	33.3	16	35.6	58	22.2	64	14.7	3	25.0	25	29.8	
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
3-(2)-1																							
日本に入国し た年																							
1965																							
1966																							
1967																							
1968																							
1969																							
1970																							
1971																							
1972									1	5.3					1	0.4							
1973																							
1974																							
1975																							
1976																							
1977									1	5.3			1	2.2	2	0.8	1	0.2					
1978									1	3.6			2	4.4	6	2.3	4	0.9					
1979									3	10.7			1	2.2	18	6.9	16	3.7					
1980									1	3.6			4	8.9	20	7.7	56	12.9	1	8.3	7	8.3	
1981									2	7.1			5	11.1	37	14.2	56	12.9	3	25.0	5	6.0	
1982									2	7.1			4	21.1	29	11.1	23	5.3	2	16.7	18	21.4	
1983									4	19.0			4	21.1	59	22.6	30	6.9	1	8.3	12	14.3	
1984									8	38.1			3	15.8	48	18.4	22	5.1	3	25.0	18	21.4	
1985																							
NA									1	4.8			2	22.2	31	11.9	223	51.4	1	8.3	17	20.2	
計									21	100.0			28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	434	100.0	
3-(2)-2																							
日本語学校に 入学した	7	33.3	24	47.1	19	67.9			14	73.7	5	55.6	25	55.6	180	69.0	150	34.6	5	41.7	38	45.2	
日本語学校に 入学しない	11	52.4	13	25.5	7	25.0	3	100.0	2	10.5	4	44.4	15	33.3	49	18.8	29	6.7	5	41.7	26	31.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域												別										
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A				
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
入学しましたか	NA	3	14.3	14	27.5	2	7.1			3	15.8			5	11.1	32	12.3	255	58.8	2	16.7	20	23.8	
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
3-(2)-3 何年から現在の大学に在籍していますか(1974年以前はその合計数)	1974以前																							
	1975													1	2.2	1	0.4	3	0.7	1	8.3	2	2.4	
	1976																							
	1977										1	11.1												
	1978																							
	1979													2	4.4	10	3.8	7	1.6			2	2.4	
	1980			3	5.9				1	33.3														
	1981		3	14.3	4	7.8	2	7.1			3	15.8	1	11.1	4	8.9	27	10.3	85	19.6	1	8.3	5	6.0
	1982		3	14.3	7	13.7	3	10.7			5	26.3	1	11.1	9	20.0	47	18.0	107	24.7	4	33.3	18	21.4
	1983		3	14.3	15	29.4	6	21.4			2	66.7			3	33.3	10	22.2	48	18.4	79	18.2	1	8.3
	1984		12	57.1	17	33.3	15	53.6			7	36.8	1	11.1	13	28.9	86	33.0	95	21.9	3	25.0	22	26.2
1985														1	2.2	2	0.8	4	0.9	1	8.3	2	2.4	
NA			5	9.8	2	7.1							2	22.2	3	6.7	25	9.5	28	6.5				
計		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
3-(2)-4 在籍する大学の区分	国公立	18	85.7	49	96.1	23	82.1			17	89.5			38	84.4	234	89.7	352	80.1	9	75.0	72	85.7	
	私立	3	14.3	2	3.9	5	17.9	0	0	1	5.3	0	0	7	15.6	23	8.8	80	18.4	2	16.7	9	10.7	
3-(2)-5 学部大学院等の在籍区分	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.3	0	0	0	0	4	1.5	2	0.5	1	8.3	3	3.6	
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
3-(2)-6 現在の専攻分野	学 部	1	4.8	3	5.9	4	14.3			1	5.3			1	2.2	97	37.5	166	38.2	4	33.3	18	21.4	
	大学院	5	23.8	22	43.1	6	21.4			15	78.9	6	66.7	27	60.0	107	41.0	182	41.9	3	25.0	42	50.0	
3-(2)-6 現在の専攻分野	研究生	14	66.7	24	47.1	18	64.3			3	15.8	2	22.2	15	33.3	47	18.0	69	15.9	4	33.3	22	26.2	
	NA	1	4.8	2	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.4	9	3.4	17	3.9	1	8.3	2	2.4	
計		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
3-(2)-6 現在の専攻分野	理 工	4	19.0	18	35.3	8	28.6			1	33.3	9	47.4	3	33.3	9	20.0	75	28.7	138	31.8	1	8.3	
	農 学	2	9.5	4	7.8	1	3.6							1	11.1	5	11.1	27	10.3	36	8.3	2	16.7	
3-(2)-6 現在の専攻分野	医・薬学			11	21.6	3	10.7			1	33.3	5	26.3	2	22.2	6	13.3	19	7.3	36	8.3	0	0	
	野																							



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域														別								
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)									
	NA	1	5.3	3	6.4	2	7.4	0	0	0	0	0	0	2	4.9	5	2.8	17	5.3	1	9.1	5	7.0	
	計	19	100.0	47	100.0	27	100.0	3	100.0	18	100.0	8	100.0	41	100.0	211	100.0	319	100.0	11	100.0	71	100.0	
5. 日本留学を決めるにあたって、次のこととはどの程度影響力がありましたか。																								
5-1(1)	母国に 適切な勉強、 研究の機会が なかったこと NA	1	4.8	15	29.4	2	7.1	0	0	6	31.6	2	22.2	14	31.1	51	19.5	69	15.9	6	33.3	20	23.8	
	大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない	3	14.3	19	37.3	7	25.0	2	66.7	5	26.3	1	11.1	12	26.7	69	26.4	139	32.0	2	16.7	20	23.8	
	計	17	81.0	12	23.5	18	64.3	1	33.3	8	42.1	4	44.4	12	26.7	109	41.8	152	35.0	4	33.3	28	33.3	
	NA	0	0	2	3.9	1	3.6	0	0	0	0	0	0	4	8.9	21	8.0	42	9.7	0	0	6	7.1	
	計	0	0	3	5.9	0	0	0	0	0	0	0	2	22.2	3	6.7	11	4.2	32	7.4	2	16.7	10	11.9
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
5-1(2)	先生、先輩、 知人等からの 日本留学の働 めがあったこ と	4	19.0	6	11.8	7	25.0	0	0	4	21.1	2	22.2	11	24.4	51	19.3	110	25.3	2	16.7	18	21.4	
	大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない	5	23.8	12	23.5	11	39.3	1	33.3	4	21.1	1	11.1	8	17.8	82	31.4	142	32.7	2	16.7	24	28.6	
	計	12	57.1	28	54.9	10	35.7	2	66.7	8	42.1	4	44.4	19	42.2	111	42.5	132	30.4	6	50.0	29	34.5	
	NA	0	0	2	3.9	0	0	0	0	1	5.3	0	0	3	6.7	6	2.3	17	3.9	0	0	1	1.2	
	計	0	0	3	5.9	0	0	0	0	2	10.5	2	22.2	4	8.9	11	4.2	33	7.6	2	16.7	12	14.3	
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
5-1(3)	母国における 日本留学につ いての高い評 価	3	14.3	4	7.8	2	7.1	0	0	3	15.8	0	0	10	22.2	35	13.4	64	14.7	1	8.3	4	4.8	
	大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない	5	23.8	19	37.3	6	21.4	1	33.3	5	26.3	1	11.1	13	28.9	107	41.0	206	47.5	3	25.0	34	40.5	
	計	12	57.1	20	39.2	19	67.9	2	66.7	10	52.6	6	66.7	10	22.2	82	31.4	90	20.7	4	33.3	29	34.5	
	NA	1	4.8	3	5.9	1	3.6	0	0	0	0	0	0	8	17.8	25	9.6	45	10.4	2	16.7	8	9.5	
	計	0	0	5	9.8	0	0	0	0	1	5.3	2	22.2	4	8.9	12	4.6	29	6.7	2	16.7	9	10.7	
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
5-1(4)	母国の家庭か らの経済的援 助が約束され た	0	0	0	0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	8.0	0	0	3	3.6	
	大きな影響力 一応影響力 全く影響なし なんともいえない	1	4.8	2	3.9	0	0	0	0	3	15.8	1	11.1	1	2.2	33	12.6	86	19.8	1	8.3	6	6.0	
	計	20	95.2	41	80.4	26	92.9	3	100.0	15	78.9	6	66.7	29	64.4	174	66.7	234	53.9	7	58.3	56	66.7	
	NA	0	0	3	5.9	1	3.6	0	0	0	0	0	0	8	17.8	17	6.5	39	8.0	2	16.7	10	11.9	
	計	0	0	4	9.8	0	0	0	0	1	5.3	2	22.2	7	15.6	16	6.1	36	8.3	2	16.7	10	11.9	
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
5-1(5)	大きな影響力	1	4.8	1	2.0	0	0	0	0	1	5.3	0	0	8	17.8	20	7.7	40	9.2	0	0	5	6.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別													
		北米		南米		西欧		東欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A.			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)												
5-(6)	家族から外国留学体験を要請された	0	0	4	7.8	2	7.1	0	0	2	66.7	2	66.7	13	68.4	6	66.7	17	37.8	146	55.9	248	57.1	6	50.0	56	66.7
		0	0	1	2.0	0	0	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	5.7	26	6.0	1	8.3	5	6.0
5-(7)	母国から日本は距離的に近い	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	19	100.0	45	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
		0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	14.2	92	21.1	2	16.7	7	8.2
5-(8)	母国のかかえる問題現象が日本と似通っており、日本はそれを早く解決しようとした国である	14	66.7	25	19.0	13	46.4	2	66.7	9	47.4	4	44.4	30	66.7	127	48.7	54	12.4	88	33.7	133	30.6	0	0	21	25.0
		17	81.0	28	54.9	18	64.3	1	33.3	5	31.6	5	55.6	14	31.1	82	31.4	119	27.4	82	31.4	119	27.4	6	50.0	34	40.5
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	3	14.3	15	29.4	6	21.4	1	33.3	7	36.8	1	11.1	5	11.1	83	31.8	289	66.6	3	25.0	21	25.0	3	25.0	21	25.0
		0	0	1	2.0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	1	2.2	10	3.8	27	6.2	1	8.3	3	3.6	9	10.7	9	10.7
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	19	100.0	45	100.0	434	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
		2	9.5	2	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.4	8	3.1	26	6.0	1	8.3	3	3.6	
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	1	4.8	0	0	0	0	0	0	1	5.3	0	0	1	5.3	0	0	0	0	11	4.2	38	8.8	0	0	1	1.2
		18	85.7	43	84.3	25	89.3	3	100.0	15	78.9	7	77.8	29	64.4	202	77.4	311	71.7	7	58.3	63	75.0	4	4.8	4	4.8
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	0	0	2	3.9	2	7.1	0	0	1	5.3	0	0	2	10.5	2	22.2	4	8.9	12	4.6	43	6.9	2	16.7	9	10.7
		0	0	4	7.8	9	0	0	0	19	100.0	9	100.0	19	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	2	9.5	2	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.4	8	3.1	26	6.0	1	8.3	3	3.6	9	10.7
		1	4.8	0	0	0	0	0	0	1	5.3	0	0	1	5.3	0	0	0	0	11	4.2	38	8.8	0	0	1	1.2
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	18	85.7	43	84.3	25	89.3	3	100.0	15	78.9	7	77.8	29	64.4	202	77.4	311	71.7	7	58.3	63	75.0	4	4.8	4	4.8
		0	0	2	3.9	2	7.1	0	0	1	5.3	0	0	2	10.5	2	22.2	4	8.9	12	4.6	43	6.9	2	16.7	9	10.7
5-(9)	日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束	0	0	4	7.8	1	3.6	0	0	2	10.5	2	22.2	4	8.9	12	4.6	43	6.9	2	16.7	9	10.7	2	16.7	10	11.8
		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	19	100.0	45	100.0	434	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別																																			
		北米			南米			西欧			東欧			中東			アフリカ			南アジア			東南アジア			東アジア			その他			N.A																	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																												
5-10)	日本でしか得られない勉強、研究機会	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	9	42.9	12	23.5	14	50.0	0	0	4	21.1	0	0	7	15.6	29	11.1	69	15.9	5	41.7	12	14.3		
	大きな影響力	6	28.6	14	27.5	9	32.1	2	66.7	4	21.1	0	0	10	22.2	58	22.2	113	26.0	1	8.3	15	17.9	6	28.6	18	35.3	5	17.9	1	33.3	8	42.1	6	66.7	21	46.7	134	51.3	181	41.7	3	25.0	40	47.6				
	一応影響力	0	0	3	5.9	0	0	0	0	2	10.5	1	11.1	2	4.4	26	10.0	36	8.3	1	8.3	4	4.8	0	0	4	7.8	0	0	0	0	1	5.5	2	22.2	5	11.1	14	5.4	35	8.1	2	16.7	13	15.5				
	全く影響力なし	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
	なんともいえない	16	76.2	32	62.7	19	67.9	1	33.3	8	42.1	3	33.3	26	57.8	113	43.3	170	39.2	7	58.3	34	40.5	3	14.3	15	29.4	6	21.4	2	66.7	8	42.1	2	22.2	15	33.3	124	47.5	190	43.8	3	25.0	30	35.7				
	NA	2	9.5	2	3.9	3	10.7	0	0	2	10.5	1	11.1	0	0	14	5.4	41	9.4	0	0	7	8.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.8	7	1.6	0	0	2	2.4	0	0	2	2.4				
	等に対する関心	0	0	2	3.9	0	0	0	0	1	5.3	2	22.2	4	8.9	8	3.1	26	6.0	2	16.7	11	13.1	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
5-12)	日本では容易に学位が得られるという見通し	0	0	2	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1.9	3	0.7	0	0	1	1.2	1	4.8	4	7.8	1	3.6	0	0	0	0	1	11.1	2	4.4	15	5.7	23	5.3	0	0	4	4.8				
	大きな影響力	19	90.5	35	68.6	26	92.9	3	100.0	17	89.5	5	55.6	28	62.2	190	72.8	331	76.3	8	66.7	56	66.7	1	4.8	6	11.8	1	3.6	0	0	0	0	1	11.1	9	20.0	38	14.6	36	8.3	2	16.7	9	10.7				
	一応影響力	0	0	4	7.8	0	0	0	0	2	10.5	2	22.2	6	13.3	13	5.0	41	9.4	2	16.7	14	16.7	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
	全く影響力なし	7	33.3	8	15.7	5	17.9	1	33.3	2	10.5	0	0	3	6.7	16	6.1	81	18.7	1	8.3	10	11.9	7	33.3	11	21.6	7	25.0	1	33.3	1	5.3	0	0	3	6.7	44	16.9	126	29.0	4	33.3	13	15.5				
	なんともいえない	6	28.6	26	51.0	15	53.1	1	33.3	12	63.2	7	77.8	32	71.1	173	66.3	184	42.4	5	41.7	45	53.6	1	4.8	1	2.0	1	3.6	0	0	0	0	2	4.4	14	5.4	14	3.2	0	0	4	4.8						
	NA	0	0	5	9.8	0	0	0	0	3	15.8	2	22.2	5	11.1	14	5.4	29	6.7	2	16.7	12	14.3	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	7	33.3	8	15.7	5	17.9	1	33.3	2	10.5	0	0	3	6.7	16	6.1	81	18.7	1	8.3	10	11.9		
5-13)	日本語の学習経験があったこと	5	16.7	8	15.7	9	46.4	1	66.7	2	47.4	0	44.4	5	66.7	29	48.7	68	15.7	2	16.7	10	44.0	12	14.3	21	11.8	10	28.6	2	0	5	10.5	1	22.2	17	11.1	105	11.1	189	43.5	5	41.7	26	16.7				
	大きな影響力	4	14.3	16	29.4	8	21.4	0	33.3	8	36.8	6	11.1	16	11.1	97	31.8	104	24.0	2	16.7	30	25.0	7	28.6	26	53.1	15	42.9	6	21.4	3	10.7	12	33.3	63	23.3	126	29.0	4	33.3	13	15.5						
	一応影響力	0	0	5	9.8	0	0	0	0	3	15.8	2	22.2	5	11.1	14	5.4	29	6.7	2	16.7	12	14.3	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
	全く影響力なし	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	7	33.3	8	15.7	5	17.9	1	33.3	2	10.5	0	0	3	6.7	16	6.1	81	18.7	1	8.3	10	11.9		
	なんともいえない	5	23.8	12	23.5	14	50.0	0	0	4	21.1	0	0	7	15.6	29	11.1	69	15.9	5	41.7	12	14.3	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	7	33.3	8	15.7	5	17.9	1	33.3	2	10.5	0	0	3	6.7	16	6.1	81	18.7	1	8.3	10	11.9		

質問(項目)番号 質問内容	地域												別																		
	北米			南米			西欧			東欧			中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A								
	実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)					
感のあったこと	0	0		1	2.0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
と	0	4.8		5	7.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	21	100.0		51	100.0	28	100.0	3	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0				
6. 現在留学先の大学(院)について、第一志望と考えていたところですか。																															
6-(1)	16	76.2	33	64.7	24	85.7	3	100.0	12	63.2	8	88.9	34	75.6	200	76.6	341	78.6	8	66.7	60	71.4	8	66.7	60	71.4	8	66.7	60	71.4	
(第一志望と答えた)理由	7	43.8	14	42.4	6	25.0	0	0	7	36.8	1	11.1	10	22.2	58	22.2	83	19.1	3	25.0	19	22.6	3	25.0	19	22.6	3	25.0	19	22.6	
NA	2	9.5	2	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	12	100.0	84	100.0	12	100.0	84	100.0	
6-(2)	0	0	8	24.2	5	20.8	1	33.3	4	33.3	1	12.5	8	23.5	88	44.0	160	46.9	2	25.0	19	31.7	2	25.0	19	31.7	2	25.0	19	31.7	
(第一志望と答えた)理由	7	43.8	14	42.4	6	25.0	0	0	2	16.7	2	25.0	15	44.1	53	26.5	58	17.0	1	12.5	22	36.7	1	12.5	22	36.7	1	12.5	22	36.7	
NA	3	18.8	5	15.2	5	20.8	0	0	2	16.7	3	37.5	8	23.5	22	11.0	50	14.7	3	37.5	7	11.7	3	37.5	7	11.7	3	37.5	7	11.7	
計	6	37.5	6	18.2	8	33.3	2	66.7	4	33.3	2	25.0	3	8.8	37	18.5	73	21.4	2	25.0	12	20.0	2	25.0	12	20.0	2	25.0	12	20.0	
6-(3)-A	16	100.0	33	100.0	24	100.0	3	100.0	12	100.0	8	100.0	34	100.0	200	100.0	341	100.0	8	100.0	60	100.0	8	100.0	60	100.0	8	100.0	60	100.0	
(留学先の大学)日本ではよい大学(院)である	0	0	1	6.3	1	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
必ずしもそうでない	1	33.3	13	81.3	3	75.0	0	0	6	85.7	1	100.0	9	90.0	41	70.7	51	62.7	3	100.0	13	68.4	3	100.0	13	68.4	3	100.0	13	68.4	
わからない	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	33.3	2	12.5	0	0	0	0	1	14.3	0	0	1	10.0	8	13.8	17	20.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-(3)-B	3	100.0	16	100.0	4	100.0	0	0	7	100.0	1	100.0	10	100.0	58	100.0	83	100.0	3	100.0	19	100.0	3	100.0	19	100.0	3	100.0	19	100.0	
(留学先の大学)日本ではよい大学(院)である	17	81.0	37	72.5	21	75.0	2	66.7	13	68.4	7	77.8	27	60.0	172	65.9	261	60.1	7	58.3	52	61.9	7	58.3	52	61.9	7	58.3	52	61.9	
必ずしもそうでない	2	9.5	6	11.8	1	3.6	1	33.3	3	15.8	1	11.1	6	13.3	34	13.0	78	18.0	2	16.7	11	13.1	2	16.7	11	13.1	2	16.7	11	13.1	
わからない	0	0	2	3.9	5	17.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	4.8	2	3.9	1	3.6	0	0	2	10.5	1	11.1	3	6.7	21	8.0	29	6.7	0	0	6	7.1	0	0	6	7.1	0	0	6	7.1	
NA	1	4.8	4	3.8	0	0	0	0	1	5.3	0	0	4	8.9	7	2.1	31	7.1	1	8.3	9	10.7	1	8.3	9	10.7	1	8.3	9	10.7	
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	12	100.0	84	100.0	12	100.0	84	100.0	
6-(3)-B	16	76.2	32	62.7	19	67.9	2	66.7	10	52.6	5	55.6	18	40.0	161	61.7	276	63.6	5	41.7	49	58.3	5	41.7	49	58.3	5	41.7	49	58.3	
専門分野による	1	4.8	12	23.5	5	17.9	0	0	4	21.1	1	11.1	13	28.9	45	17.2	67	15.4	3	25.0	13	15.5	3	25.0	13	15.5	3	25.0	13	15.5	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域														別							
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		NA			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)										
い研究者がい る	なんともいえない	1	4.8	1	2.0	2	7.1	0	0	1	5.3	2	22.2	4	8.9	23	8.8	36	8.3	1	8.3	7	8.3
	わからない	1	4.8	2	3.9	2	7.1	1	33.3	1	5.3	1	11.1	5	11.1	25	9.6	23	5.3	1	8.3	4	4.8
	NA	2	9.5	4	7.8	0	0	0	0	3	15.8	0	0	5	11.1	7	2.7	32	7.4	2	16.7	11	13.1
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
6-(3)-C	その通り	12	57.1	33	64.7	15	53.6	2	66.7	12	63.2	4	44.4	27	60.0	145	55.6	242	55.8	3	25.0	44	52.4
教育, 研究環 境がよい	必ずしもそうでない	7	33.3	12	23.5	6	21.4	1	33.3	4	21.1	3	33.3	9	20.0	62	23.8	93	21.4	6	50.0	17	20.2
	なんともいえない	0	0	1	2.0	6	21.4	0	0	1	5.3	1	11.1	2	4.4	32	12.3	42	9.7	1	8.3	10	11.9
	わからない	0	0	0	0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	1	2.2	17	6.5	20	4.6	1	8.3	2	2.4
	NA	2	9.5	5	9.8	0	0	0	0	2	10.5	1	11.1	6	13.3	5	1.9	37	8.5	1	8.3	11	13.1
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
7. 日本留学終了後の計画について																							
7-(1) 留学後, 帰国 しますか	帰国に母国に 帰る	10	47.6	22	43.1	10	35.7	1	33.3	5	26.3	7	70.8	25	55.6	143	54.8	264	60.8	6	50.0	53	63.1
	日本以外の国にゆく	3	14.3	6	11.8	3	10.7	0	0	1	5.3	0	0	3	6.7	19	7.2	35	8.1	1	8.3	5	6.0
	なお日本に留まる	3	14.3	7	13.7	4	17.9	1	33.3	5	26.3	0	0	10	22.2	36	13.8	44	10.1	2	16.7	8	9.5
	決めどきよくない	5	23.8	16	31.4	10	35.7	1	33.3	8	42.1	2	22.2	7	15.6	62	23.8	87	20.0	3	25.0	18	21.4
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4	4	0.9	0	0	0	0
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
7-(2) (帰国する 人についての み) 帰国して何を するか	前職に復帰する	2	20.2	12	54.5	2	20.0	1	100.0	4	80.0	5	71.4	16	64.0	72	50.3	91	34.5	3	50.0	32	60.4
	新しく職を探す	1	10.0	6	27.3	3	30.0	0	0	0	0	1	14.3	4	16.0	38	26.6	103	39.0	1	16.7	10	18.9
	進学, 復学し 勉強を続ける	6	60.0	2	9.1	4	40.0	0	0	0	0	1	14.3	3	12.0	7	4.9	13	4.9	1	16.7	1	1.9
	専業主婦として 働く	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.4	2	0.8	1	16.7	2	3.8
	決めどきよくない	1	10.0	2	9.1	0	0	0	0	1	20.0	0	0	0	2	8.0	22	15.4	50	18.9	0	0	6
	NA	0	0	0	0	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.4	5	1.9	0	0	2	3.8
	計	10	100.0	22	100.0	10	100.0	1	100.0	5	100.0	7	100.0	25	100.0	143	100.0	264	100.0	6	100.0	53	100.0
8. 日本語の学習について, 母国でのあなたの自身の経歴や身近かな事情を教えてください																							
8-(1) 母国にある日 本語学校で学	できた	11	52.4	27	52.9	11	39.3	2	66.7	5	26.3	0	0	4	8.9	91	34.9	282	65.0	6	50.0	35	41.7
	できなかった	7	33.3	23	45.1	10	35.7	1	33.3	11	57.9	5	55.5	37	82.2	147	56.3	136	31.3	4	33.3	38	45.2
	NA	3	14.3	1	2.0	7	25.0	0	0	3	15.8	4	44.4	4	8.9	23	8.8	16	3.7	2	16.7	11	13.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A.	
		実数 (%)																					
	習することが	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
8-(2)	できた	16	76.2	23	45.1	15	53.6	2	66.7	2	10.5	0	0	7	15.6	153	58.6	373	85.9	5	41.7	41	48.8
	できなかった	3	14.3	24	47.1	7	25.0	1	33.3	12	63.2	5	55.6	34	75.6	85	32.6	37	8.5	5	41.7	28	33.3
	NA	2	9.5	4	7.8	6	21.4	0	0	5	26.3	4	44.4	4	8.9	23	8.8	24	5.5	2	16.7	15	17.9
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
8-(3)	できた	2	9.5	4	7.8	2	7.1	0	0	0	0	0	0	0	0	38	14.6	214	49.3	1	8.3	16	19.0
	できなかった	17	81.0	43	84.3	18	64.3	3	100.0	14	72.7	5	55.6	41	81.1	199	76.2	188	43.3	9	75.0	53	63.1
	NA	2	9.5	4	7.8	8	28.6	0	0	5	26.3	4	44.4	4	8.9	24	9.2	32	7.4	2	16.7	15	17.9
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
8-(4)	できた	12	57.1	22	43.1	8	28.6	1	33.3	3	15.8	0	0	6	13.3	85	32.6	260	59.0	5	41.7	19	22.6
	できなかった	7	33.3	24	47.1	11	39.3	2	66.7	11	57.9	5	55.6	34	75.6	153	58.6	136	31.3	5	41.7	49	58.3
	NA	2	9.5	5	9.8	9	32.1	0	0	5	26.3	4	44.4	5	11.1	23	8.8	38	8.8	2	16.7	16	19.0
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
8-(5)	できた	6	28.6	17	33.3	5	17.9	1	33.3	1	5.3	0	0	2	4.4	38	14.6	117	27.0	2	16.7	6	7.1
	できなかった	12	57.1	29	56.9	16	57.1	2	66.7	13	58.4	5	55.6	38	84.4	197	75.5	282	65.0	8	66.6	60	71.4
	NA	3	14.3	5	9.8	7	25.0	0	0	5	26.3	4	44.4	5	11.1	26	10.2	35	8.1	2	16.7	18	21.4
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
8-(6)	できた	11	52.4	8	15.7	9	32.1	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	116	44.4	329	75.8	4	33.3	32	38.1
	できなかった	8	38.1	37	72.5	11	39.3	3	100.0	13	68.4	5	55.6	39	86.7	120	46.0	75	17.3	6	50.0	36	42.9
	NA	1	9.5	6	11.8	8	28.6	0	0	4	26.3	4	44.4	5	11.1	25	9.6	30	6.9	2	16.7	16	19.0
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
9.	現在の日本語の力にすいて (あなた自身の日本語の力をどのように評価しますか)																						
9-(1)	十分にできる	6	28.6	15	29.4	5	17.9	2	66.7	4	21.1	2	22.2	14	31.1	45	17.2	172	39.6	1	8.3	20	23.8
	一応はできる	7	33.3	23	45.1	13	46.4	0	0	8	42.1	1	11.1	19	42.2	113	43.3	220	50.7	7	58.3	34	40.5
	なんとかできる	5	23.8	7	13.7	6	21.4	1	33.3	6	31.6	4	44.4	10	22.2	78	29.9	36	8.3	1	8.3	23	27.4
	全くできない	2	9.5	5	9.8	3	10.7	0	0	0	0	2	22.2	2	4.4	22	8.4	2	0.5	3	25.0	6	7.1
	NA	1	4.8	1	2.0	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	0	0	3	1.1	4	0.9	0	0	1	1.2
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
9-(2) 日本語で授業のときに質問すること	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	5	23.8	12	23.5	7	25.0	2	66.7	5	26.3	2	22.2	12	26.7	38	14.6	148	34.1	1	8.3	17	20.2
		8	38.1	19	37.3	11	39.3	0		6	31.6	1	11.1	8	40.0	97	37.2	194	44.7	5	41.7	34	40.5
		6	28.6	14	27.5	8	28.6	1	33.3	5	26.3	4	44.4	12	26.7	99	37.9	48	18.0	2	16.7	24	28.6
		1	4.8	5	9.8	1	3.6	0		2	10.5	2	22.2	3	6.7	23	8.7	7	1.6	4	33.3	5	6.0
		1	4.8	1	2.0	1	3.6	0		1	5.3	0	0	0	0	4	1.5	7	1.6	0	0	4	4.8
9-(3) 日本語の研究論文を読むこと	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
		6	28.6	7	13.7	4	14.3	1	33.3	3	15.8	0		5	11.1	40	15.3	207	47.7	1	8.3	15	17.9
		4	19.0	18	35.3	14	50.0	1	33.3	4	21.1	1	11.1	15	33.3	90	34.5	173	39.9	4	33.3	23	27.4
		7	33.3	13	25.5	4	14.3	0		4	21.1	1	11.1	12	26.7	68	26.1	44	10.1	3	25.0	16	19.0
		3	14.3	12	23.5	5	17.9	1	33.3	7	36.8	6	66.7	13	28.9	61	23.4	2	0.5	4	33.3	28	33.3
9-(4) 日本語で論文、レポートを書くこと	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	1	4.8	1	2.0	1	3.6	0		1	5.3	1	11.1	0	0	2	0.8	8	1.8	0	0	2	2.4
		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
		3	14.3	4	7.8	2	7.1	0		3	15.8	0		2	4.4	21	8.0	99	22.8	1	8.3	12	14.3
		6	28.6	13	25.5	8	28.6	1	33.3	1	5.3	0		13	28.9	82	31.4	222	51.2	3	25.0	23	27.4
		5	23.8	17	33.3	11	39.3	1	33.3	5	26.3	1	11.1	13	28.9	88	33.7	99	22.8	4	33.3	21	25.0
9-(5) 日常生活に差支えない程度の日本語での会話	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	6	28.6	15	29.4	6	21.4	1	33.3	9	47.4	8	88.9	17	37.8	68	26.1	9	2.1	4	33.3	26	31.0
		1	4.8	2	3.9	1	3.6	0		1	5.3	0	0	0	0	2	0.8	5	1.2	0	0	2	2.4
		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
		12	57.1	30	58.8	15	53.6	2	66.7	8	42.1	1	11.1	26	54.8	72	27.6	216	49.8	7	58.3	27	32.1
		6	28.6	11	21.6	8	28.6	0		5	26.3	3	33.3	13	28.9	124	47.5	178	41.0	2	16.7	28	33.3
9-(6) テレビ、ラジオで日本語の放送を聞くこと	十分にできる 一応はできる なんとかできる 全くできない NA 計	2	9.5	6	11.8	2	7.1	1	33.3	4	21.1	4	44.4	6	13.3	52	19.9	32	7.4	1	8.3	20	23.8
		0		3	5.9	2	7.1	0		1	5.3	1	11.1	0	0	11	4.2	3	0.7	2	16.7	5	6.0
		1	4.8	1	2.0	1	3.6	0		1	5.3	0	0	0	0	2	0.8	5	1.2	0	0	4	4.8
		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
		5	23.8	18	35.3	4	14.3	1	33.3	5	26.3	0		17	37.8	53	20.3	183	42.2	3	25.0	22	26.2

質問(項目)番号 質問内容	地										別														
	北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		NA				
	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)			
と	2	9.5	2	3.9	1	3.6	1	33.3	1	5.3	0	0	0	0	2	0.8	6	1.4	0	0	0	0			
9-(7)	5	23.8	8	15.7	5	17.9	1	33.3	3	15.8	0	0	0	44	16.9	195	44.9	1	8.3	14	16.7				
日本語の新聞 を読むこと	5	23.8	12	23.5	11	39.3	1	33.3	4	21.1	0	0	9	20.0	91	34.9	201	46.3	5	41.7	21	25.0			
	4	19.0	14	27.5	7	25.0	0	0	3	15.8	1	11.1	14	31.1	53	20.3	30	6.9	2	16.7	14	16.7			
	6	28.6	16	31.4	4	14.3	1	33.3	8	42.1	8	88.9	22	48.9	71	27.2	3	0.7	4	33.3	33	39.3			
NA	1	4.8	1	2.0	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	0	0	2	0.8	5	1.2	0	0	2	2.4			
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0			
9-(8)	6	28.6	13	25.5	3	10.7	0	0	3	15.8	0	0	1	2.2	31	11.9	127	29.3	2	16.7	16	19.0			
友人に日本語 で手紙を書く こと	6	28.6	15	29.4	11	39.3	2	66.7	4	21.1	0	0	16	35.6	105	40.2	210	48.4	3	25.0	27	32.1			
	7	33.3	12	23.5	8	28.6	0	0	4	21.1	4	44.4	20	44.4	79	30.3	90	20.7	4	33.3	23	27.4			
	1	4.8	10	19.6	5	17.9	1	33.3	6	31.6	5	55.6	8	17.8	44	16.9	3	0.7	3	25.0	17	20.2			
NA	1	4.8	1	2.0	1	3.6	0	0	2	10.5	0	0	0	0	2	0.8	4	0.9	0	0	1	1.2			
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0			
10. 学部課程カリキュラムについて (母国でうけた高校の教育水準からみて難かしすぎると考えますか)	大きな格差はないと思う ある科目は難しすぎと思う NA	1	100.0	1	33.3	1	25.0	1	100.0	1	100.0	0	0	1	100.0	1	100.0	50	50.0	129	77.7	3	75.0	9	50.0
		0	0	1	33.3	3	75.0	0	0	0	0	0	1	100.0	1	100.0	45	45.9	29	17.5	0	0	7	38.9	
計		0	0	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3.1	8	4.8	1	25.0	2	11.1	2	11.1	
	理工	1	100.0	3	100.0	4	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	98	100.0	166	100.0	4	100.0	18	100.0		
10-(2)	具体的科目 (難しいと思う)	0	0	1	100.0	1	33.3	0	0	0	0	1	100.0	1	100.0	30	66.7	8	27.6	0	0	5	71.4		
	日本語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.2	2	6.9	0	0	0	0			
	人文社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11.1	8	27.6	0	0	1	14.3			
	経営経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.2	5	17.2	0	0	0	0			
	政治法律	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.2	1	3.4	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	NA	0	0	0	0	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	7	15.6	5	17.2	0	0	1	14.3			
11. 授業の理解度について (あなたはどの程度理解できていると考えますか)		0	0	0	0	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	7	15.6	5	17.2	0	0	1	14.3			

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域														別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)										
11-(1) 一般教養課程 の講義	10(%)	0		0		0		0		0		0		0		1	1.0	0		0		0		1	5.6
	20	0		0		0		0		0		1	100.0	2	2.0	0		0		0		0		0	
	30	0		0		0		0		0		0		6	6.1	4	2.4	0		0		0		1	5.6
	40	0		0		0		0		0		0		9	9.2	4	2.4	0		0		0		0	
	50	0		0		0		0		0		0		12	12.2	8	4.8	0		0		0		2	11.1
	60	0		1	33.3	2	50.0	0		0		0		13	13.3	19	11.4	1	25.0	0		1	5.6	1	5.6
	70	0		0		1	25.0	1	100.0	0		1	100.0	29	29.6	37	22.3	1	25.0	0		1	5.6	3	16.7
	80	0		1	33.3	0		0		1	100.0	0		18	18.4	57	34.3	1	25.0	0		1	5.6	3	16.7
	90	0		0		1	25.0	0		0		0		3	3.1	27	16.3	0		0		0		4	22.2
	100	1	100.0	0		0		0		0		0		2	2.0	7	4.2	0		0		0		1	5.6
	NA	0		1	33.3	0		0		0		0		3	3.1	3	1.8	1	25.0	0		1	5.6	2	11.1
計		1	100.0	3	100.0	4	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	166	100.0	4	100.0	0		4	100.0	18	100.0
11-(2) 専門教養課程 の講義	10(%)	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	20	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	30	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	40	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	50	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	60	0		0		2	50.0	0		0		0		18	18.4	16	9.6	0		0		0		1	5.6
	70	0		1	33.3	0		0		0		1	100.0	32	32.7	47	28.3	2	50.0	0		2	11.1	2	11.1
	80	0		1	33.3	1	25.0	1	25.0	0		0		18	18.4	55	33.1	0		0		3	16.7	3	16.7
	90	1	100.0	0		1	25.0	1	100.0	0		0		6	6.1	28	16.9	1	25.0	0		1	5.6	5	27.8
	100	0		0		0		0		0		0		2	2.0	5	3.0	0		0		0		1	5.6
	NA	0		1	33.3	0		0		0		0		7	7.1	3	1.8	1	25.0	0		1	5.6	3	16.7
計		1	100.0	3	100.0	4	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	98	100.0	166	100.0	4	100.0	0		4	100.0	18	100.0
11-(3) 専門教養課程 の演習	10(%)	0		0		0		0		0		0		0		1	1.0	1	0.6	0		0		0	
	20	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	30	0		0		0		0		0		0		2	2.0	0		0		0		0		0	
	40	0		0		0		0		0		0		3	3.1	4	2.4	0		0		0		0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	50	0		0		1	25.0	0		0		0		1	100.0	12	12.2	7	4.2	0		3	16.7
	60	0		0		1	25.0	0		0		0		0		11	11.2	16	9.6	0		2	11.1
	70	0		1	33.3	0		0		0		1	100.0	0		24	24.5	48	28.9	1	25.0	2	11.1
	80	0		1	33.3	1	25.0	0		0		0		0		18	18.4	44	26.5	0		1	5.6
	90	1	100.0	0		1	25.0	1	100.0	1	100.0	0		0		8	8.2	26	15.7	2	50.0	6	33.3
	100	0		0		0		0		0		0		0		1	1.0	10	6.0	0		0	0
	NA	0		1	33.3	0		0		0		0		0		18	18.4	10	6.0	1	25.0	4	22.2
	計	1	100.0	3	100.0	4	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	98	100.0	166	100.0	4	100.0	18	100.0
11-(4)	10(%)	0		0		0		0		0		0		0		0		2	1.2	0		0	
専門教養課程 の実習	20	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
	30	0		0		0		0		0		0		0		3	3.1	0		0		0	
	40	0		0		1	25.0	0		0		0		0		1	1.0	3	1.8	0		0	
	50	0		0		0		0		0		0		1	100.0	11	11.2	7	4.2	0		2	11.1
	60	0		1	33.3	1	25.0	0		0		0		0		11	11.2	13	7.8	0		1	5.6
	70	0		0		2	50.0	0		0		1	100.0	0		16	16.3	43	25.9	0		3	16.7
	80	0		0		0		0		0		0		0		19	19.4	36	21.7	0		3	16.7
	90	1	100.0	1	33.3	0		1	100.0	0		0		0		11	11.2	20	12.0	2	50.0	3	16.7
	100	0		0		0		0		1	100.0	0		0		1	1.0	10	6.0	0		1	5.6
	NA	0		1	33.3	0		0		0		0		0		25	25.5	32	19.3	2	50.0	5	27.8
	計	1	100.0	3	100.0	4	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	98	100.0	166	100.0	4	100.0	18	100.0
12. 大学院での学習等について																							
12. 日本の大学 院で最終的に 取得したい学 位	修 士	3	60.0	10	45.5	0		0		0		2	33.3	6	22.2	51	47.7	53	29.1	2	66.7	11	26.2
	博 士	2	40.0	12	54.5	1	16.7	0		12	80.0	4	66.7	18	66.7	50	46.7	114	62.6	0		27	64.3
	NA	0		0		5	83.3	0		3	20.0	0		3	11.1	6	5.6	15	8.2	1	33.3	4	9.5
	計	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0		15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
12-(1)	理 工	1	33.3	6	60.0	0		0		0	0	0	0	1	16.7	13	25.5	9	17.0	0		1	9.1
修士学位	農 学	1	33.3	0	0	0		0		0	0	1	50.0	2	33.3	4	7.8	1	1.9	2	100.0	4	36.4
	医・薬学	0		0	0	0		0		0	0	1	50.0	0	0	4	7.8	2	3.8	0		0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域														別								
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
	その他理科	0		0		0		0		0		0		1	16.7	0	0	0	0	1	1.9	0	0	0
	日本語	0		0		0		0		0		0		0		1	2.0	0	0	0	0	0	0	0
	人文・社会	0		0		0		0		0		0		0		4	7.8	17	32.6	0	0	0	1	9.1
	経営・経済	0		3	30.0	0		0		0		0		1	16.7	8	15.7	10	18.9	0	0	0	3	27.3
	政治・法律	1	33.0	0		0		0		0		0		0	5.6	2	3.9	3	5.7	0	0	0	1	9.1
	その他文科	0		1	10.0	0		0		0		0		1	16.7	5	9.8	6	10.3	0	0	0	0	0
	計	2	100.0	10	100.0	0		0		0		2	100.0	6	100.0	51	100.0	53	100.0	0	0	0	11	100.0
12-(2)	理工	1	50.0	2	16.7	0		0		3	25.0	1	25.0	5	27.8	15	30.0	50	43.9	0	0	0	8	29.6
博士学位	農学	1	50.0	1	8.3	0		0		0		0		1	5.6	13	26.0	22	19.3	0	0	0	2	7.4
	医・薬学	0		1	8.3	0		0		2	16.7	2	50.0	1	5.6	1	2.0	11	9.6	0	0	0	1	3.7
	その他理科	0		0		0		0		0		0		2	11.1	2	4.0	4	3.5	0	0	0	1	3.7
	日本語	0		0		0		0		0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人文・社会	0		0		1	100.0	0		1	8.3	0		1	5.6	4	8.0	12	10.5	0	0	0	7	25.9
	経営・経済	0		1	8.3	0		0		2	16.7	0		2	11.1	5	10.0	3	2.6	0	0	0	2	7.4
	政治・経済	0		0		0		0		0		0		1	5.6	3	6.0	0	0	0	0	0	0	0
	その他文科	0		0		0		0		1	8.3	0		2	11.1	1	2.0	6	5.3	0	0	0	1	3.7
	計	2	100.0	12	100.0	1	100.0	0		12	100.0	4	100.0	18	100.0	50	100.0	114	100.0	0	0	0	27	100.0
13.	博士学位の取得について (日本のそれは、外国人留学生にとって難かしいといわれていますが、どう考えますか)																							
13-(1)	その通り	1	20.0	6	27.3	0		0		4	26.7	3	50.0	5	18.5	41	38.3	13	7.1	0	0	0	14	33.3
日本語の理解が十分でないため講義が理解できないから	そうではない	2	40.0	9	40.9	2	33.3	0		5	33.3	1	16.7	6	22.2	44	41.1	130	71.4	0	0	0	12	28.6
	なんともいえない	2	40.0	6	27.3	2	33.3	0		4	26.7	2	33.3	12	44.4	11	10.3	18	9.9	1	33.3	9	21.4	
	NA	0		1	4.5	2	33.3	0		2	13.3	0		4	14.8	11	10.3	21	11.5	2	66.7	7	16.7	
	計	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0		15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0	
13-(2)	その通り	2	40.0	8	36.4	1	16.7	0		3	20.0	2	33.3	6	22.2	37	34.6	15	8.2	0	0	0	13	31.0
日本語の能力が十分でないため、研究資料が理解できないか	そうではない	2	40.0	8	36.4	2	33.3	0		7	46.7	2	33.3	10	37.0	49	45.8	136	74.7	0	0	0	18	42.9
	なんともいえない	1	20.0	5	22.7	1	16.7	0		3	20.0	1	16.7	7	25.9	10	9.3	11	6.0	2	66.7	5	11.9	
	NA	0		1	4.5	2	33.3	0		2	13.3	1	16.7	4	14.8	11	10.3	20	11.0	1	33.3	6	14.3	
	計	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0		15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A			
		実数 (%)																					
13-(3) 論文執筆に日 本語が要求さ れるから	その通り そうではない なんともいえ ない NA 計	0	3	13.6	1	16.7	0	0	2	13.3	4	66.7	9	33.3	27	25.2	26	14.3	0	8	19.0		
13-(4) 英仏独語等2カ 国語の必修が要求 され、この面の負 担が大きすぎるから	その通り そうではない なんともいえ ない NA 計	0	1	4.5	0	0	0	0	4	26.7	2	33.3	7	25.9	21	19.6	32	17.6	1	33.3	7	16.7	
14. 学位の利用について、母国ではどの位有利に利用されますか																							
14-(1) 政府・行政機 関への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえ ない NA 計	1	20.0	2	9.1	0	0	0	0	3	20.0	2	33.3	10	37.0	30	28.0	41	22.5	1	33.3	8	19.0
14-(2) 母国の民間ト ップ企業への 就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえ ない NA 計	1	20.0	3	13.6	0	0	0	0	2	13.3	1	16.7	5	18.5	16	15.0	24	13.2	0	0	5	11.9
14-(3) 母国にある日 本(または合 弁)企業への 就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえ ない NA 計	2	40.0	5	22.7	2	33.3	0	0	3	20.0	3	50.0	8	29.6	46	43.0	79	43.4	1	33.3	16	38.1
		1	20.0	12	54.5	2	33.3	0	0	6	40.0	3	50.0	10	37.0	33	30.8	44	24.2	0	0	11	26.2
		1	20.0	4	18.2	0	0	0	0	1	6.7	0	0	2	7.4	9	8.4	15	8.2	1	33.3	3	7.1
		1	20.0	1	4.5	1	16.7	0	0	2	13.3	0	0	2	7.4	3	2.8	20	11.0	1	33.3	7	16.7
		5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
		2	40.0	5	22.7	2	33.3	0	0	3	20.0	3	50.0	8	29.6	29	27.1	19	10.4	0	0	6	14.3
		1	20.0	12	54.5	2	33.3	0	0	1	6.7	0	0	7	25.9	40	37.4	57	31.3	1	33.3	11	26.2
		1	20.0	4	18.2	0	0	0	0	6	40.0	2	33.3	4	14.8	24	22.4	57	31.3	0	0	13	31.0
		1	20.0	1	4.5	1	16.7	0	0	2	13.3	1	16.7	6	22.2	10	9.3	26	14.3	1	33.3	4	9.5
		0	0	0	0	1	16.7	0	0	3	20.0	0	0	2	7.4	4	3.7	23	12.6	1	33.3	8	19.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
14-(4)	研究・教育機関への就職	2	40.0	7	31.8	2	33.3	0	0	8	53.3	3	50.0	12	44.4	41	38.3	85	46.7	1	33.3	18	42.9
	大いに有利	2	40.0	11	50.0	2	33.3	0	0	3	20.0	1	16.7	6	22.2	46	43.0	76	41.8	1	33.3	12	28.6
	ある程度有利	0	0	2	9.1	1	16.7	0	0	1	6.7	0	0	6	22.2	16	15.0	10	5.5	0	0	8	19.0
	無関係	1	20.0	2	9.1	0	0	0	0	1	6.7	2	33.3	1	3.7	1	0.9	4	2.2	0	0	0	0
	なんともいえない	0	0	0	0	1	16.7	0	0	2	13.3	0	0	2	7.4	3	2.8	7	3.8	1	33.3	4	9.5
	NA	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
14-(5)	高い報酬を得るため	0	0	2	9.1	0	0	0	0	2	13.3	2	33.3	4	14.8	15	14.0	18	9.9	0	0	2	4.8
	大いに有利	1	20.0	7	31.8	1	16.7	0	0	4	26.7	1	16.7	11	40.7	42	39.3	56	36.3	2	66.7	16	38.1
	ある程度有利	3	60.0	9	40.9	3	50.0	0	0	5	33.3	0	0	7	25.9	35	32.7	70	38.5	0	0	17	40.5
	無関係	1	20.0	4	18.2	1	16.7	0	0	2	13.3	3	50.0	3	11.1	13	12.1	13	7.1	0	0	0	0
	なんともいえない	0	0	0	0	1	16.7	0	0	2	13.3	0	0	2	7.4	2	1.9	15	8.2	1	33.3	7	16.7
	NA	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	106	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
14-(6)	社会的威信の証明	1	20.0	1	4.5	0	0	0	0	3	20.0	1	16.7	8	29.6	23	21.5	37	20.3	0	0	5	11.9
	大いに有利	0	0	10	45.5	3	50.0	0	0	3	20.0	1	16.7	9	33.3	42	39.3	57	36.8	2	66.7	12	28.6
	ある程度有利	4	80.0	10	45.5	1	16.7	0	0	4	26.7	1	16.7	5	18.5	32	29.9	50	27.5	0	0	17	40.5
	無関係	0	0	1	4.5	1	16.7	0	0	2	13.3	2	33.3	3	11.1	7	6.5	13	7.1	0	0	1	2.4
	なんともいえない	0	0	0	0	1	16.7	0	0	3	20.0	1	16.7	2	7.4	3	2.8	15	8.2	1	33.3	7	16.7
	NA	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
14-(7)	専門的知識の仕事での直接的活用	2	40.0	7	31.8	2	33.3	0	0	6	40.0	5	83.3	11	40.7	42	39.3	82	45.1	1	33.3	19	45.2
	大いに有利	3	60.0	12	54.5	2	33.3	0	0	5	33.3	0	0	11	40.7	55	51.4	75	41.2	0	0	10	23.8
	ある程度有利	0	0	3	13.6	1	16.7	0	0	2	13.3	1	16.7	1	3.7	6	5.6	7	3.8	0	0	6	14.3
	無関係	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6.7	0	0	1	3.7	2	1.9	7	3.8	1	33.3	1	2.4
	なんともいえない	0	0	0	0	1	16.7	0	0	1	6.7	0	0	3	11.1	2	1.9	11	6.0	1	33.3	6	14.3
	NA	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
14-(8)	母国発展への寄与	1	20.0	8	36.4	0	0	0	0	6	40.0	5	83.3	14	51.9	41	38.3	80	44.0	1	33.3	18	42.9
	大いに有利	0	0	10	45.5	1	16.7	0	0	5	33.3	1	16.7	5	18.5	47	43.9	69	37.9	1	33.3	12	28.6
	ある程度有利	4	80.0	1	4.5	2	33.3	0	0	1	6.7	0	0	0	0	6	5.6	10	5.5	0	0	3	7.1
	無関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																												
		地						域																						
		北米	南米	西米	東欧	中東	アフリカ	南アジア	東アジア	その他	N.A.																			
実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)																				
	なんともいえない NA 計	0 0 5	3 0 100.0	13.6 0 22	0 50.0 100.0	0 0 6	0 0 100.0	0 0 0	6.7 13.3 100.0	0 0 6	0 0 100.0	4 4 27	14.8 14.8 100.0	8 5 106	7.5 4.7 100.0	8 15 182	4.4 8.2 100.0	0 9 42	0 21.4 100.0											
15. 博士学位の評価については、次の諸国の学位はどのように評価されていますか)																														
15-(1)	母国の学位	3	60.0	5	22.7	1	16.7	0	0	4	26.7	5	73.3	0	0	5	18.5	21	19.6	49	26.9	0	0	0	0	0	0	0	9	21.4
	高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	1	20.0	11	50.0	0	0	0	0	4	26.7	0	0	0	0	2	7.4	8	7.5	98	53.8	1	0	0	0	0	0	0	20	47.6
		0	0	2	9.1	2	33.3	0	0	2	13.3	0	0	0	0	1	3.7	10	9.3	12	6.6	0	0	0	0	0	0	0	2	4.8
		1	20.0	1	4.5	1	16.7	0	0	1	6.7	0	0	0	0	1	3.7	6	5.6	9	4.9	0	0	0	0	0	0	3	7.1	
		0	0	2	9.1	1	16.7	0	0	1	6.7	0	0	0	0	3	11.1	6	5.6	9	4.9	0	0	0	0	0	0	2	6.7	
		0	0	1	4.5	1	16.7	0	0	3	20.0	1	16.7	1	3.7	7	6.5	9	4.9	9	4.9	2	0	0	0	0	0	2	6.7	
		5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	182	100.0	3	0	0	0	0	0	42	100.0	
15-(2)	アメリカ合衆国の学位	4	80.0	17	77.3	3	50.0	0	0	9	60.0	4	66.7	26	96.3	83	77.6	129	70.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	57.1
	高く評価 ある程度評価 殆んど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	1	20.0	3	13.6	0	0	0	0	4	26.7	2	33.3	0	0	16	15.0	36	19.8	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16.7	
		0	0	0	0	1	16.7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.4	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2.8	1	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.4	
		0	0	2	9.1	1	16.7	0	0	0	0	0	0	1	3.7	1	0.9	7	3.8	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7.1	
		0	0	0	0	1	16.7	0	0	2	13.3	0	0	0	0	2	1.9	9	4.9	3	100.0	6	0	0	0	0	0	6	14.3	
		5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	182	100.0	3	0	0	0	0	0	42	100.0	
15-(3)	ヨーロッパ諸国の学位	2	40.0	10	45.5	1	16.7	0	0	8	53.3	6	100.0	18	66.7	56	52.3	94	51.1	1	0	0	0	0	0	0	0	25	59.5	
	高く評価 ある程度評価 殆んど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	3	60.0	8	36.4	2	33.3	0	0	6	40.0	0	0	6	22.2	36	33.6	59	32.4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11.9	
		0	0	0	0	1	16.7	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5.6	1	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	1	4.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2.8	2	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.4	
		0	0	3	13.6	1	16.7	0	0	0	0	0	0	3	11.1	3	2.8	15	8.2	0	0	0	0	0	0	0	5	11.9		
		0	0	0	0	1	16.7	0	0	1	6.7	0	0	0	0	3	2.8	11	6.0	2	66.7	6	0	0	0	0	6	14.3		
		5	100.0	22	100.0	6	100.0	0	0	15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	182	100.0	3	0	0	0	0	0	42	100.0	
15-(4)	東洋諸国の学位	0	0	2	9.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	4.7	9	4.9	0	0	0	0	0	0	0	1	2.4		
	高く評価 ある程度評価 殆んど評価されぬ	0	0	2	9.1	1	16.7	0	0	3	20.0	2	33.3	13	48.1	53	49.5	63	34.6	1	0	0	0	0	0	0	1	33.3	13	31.0
		1	20.0	9	40.9	1	16.7	0	0	4	26.7	2	33.3	4	14.8	25	23.4	49	26.9	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16.7	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																					
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	なんともいえない	1	20.0	3	13.6	1	16.7	0		2	13.3	2	33.3	4	14.8	11	10.3	13	7.1	0		6	14.3
	わからない	3	60.0	6	27.3	2	33.3	0		3	20.0	0		5	18.5	9	8.4	37	20.3	0		9	21.4
	NA	0	0	0	0	1	16.7	0		3	20.0	0		1	3.7	4	3.7	11	6.0	2	66.7	6	14.3
	計	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0		15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
15-(5)	高く評価	2	40.0	6	27.3	0		0		4	26.7	1	16.7	10	37.0	31	29.0	63	34.6	1	33.3	10	23.8
日本の学位	ある程度評価	2	40.0	8	36.4	1	16.7	0		6	40.0	2	33.3	10	37.0	58	54.2	105	57.7	0		18	42.9
	殆んど評価されぬ	0		2	9.1	1	16.7	0		1	6.7	0		2	7.4	4	3.7	0		0		0	
	なんともいえない	0		4	18.2	1	16.7	0		0		1	16.7	4	14.8	7	6.5	2	1.1	0		2	4.8
	わからない	1	20.0	2	9.1	2	33.3	0		2	13.3	2	33.3	1	3.7	5	4.7	6	3.3	0		6	14.3
	NA	0	0	0	0	1	16.7	0		2	13.3	0		0		2	1.9	6	3.3	2	66.7	6	14.3
	計	5	100.0	22	100.0	6	100.0	0		15	100.0	6	100.0	27	100.0	107	100.0	182	100.0	3	100.0	42	100.0
V. 日本留学への評価																							
16. 留学学生生活の満足度																							
16-(1)	大いに満足	10	47.6	20	39.2	14	50.0	0		8	42.1	4	44.4	19	42.2	58	22.2	58	13.4	2	16.7	24	28.6
大学スタッフ	どちらかとい	8	38.1	24	47.1	11	39.3	3	100.0	7	36.8	3	33.3	22	48.9	123	47.1	226	52.1	5	41.7	39	46.4
との交流	えは満足	3	14.3	5	9.8	2	7.1	0		3	15.8	0		3	6.7	46	17.6	46	10.6	4	33.3	13	15.5
	不満が多い	0		1	2.0	0		0		1	5.3	2	22.2	1	2.2	29	11.1	92	21.2	0		5	6.0
	なんともいえない	0		1	2.0	1	3.6	0		0		0		0		5	1.9	12	2.8	1	8.3	3	3.6
	NA	0		1	2.0	1	3.6	0		0		0		0		5	1.9	12	2.8	1	8.3	3	3.6
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
16-(2)	大いに満足	3	14.3	14	27.5	7	25.0	0		3	15.8	1	11.1	10	22.2	46	17.6	55	12.7	3	25.0	14	16.7
大学の学生た	どちらかとい	10	47.6	20	39.2	12	42.9	2	66.7	12	63.2	5	55.6	24	53.3	127	48.7	217	50.0	4	33.3	37	44.0
ちとの交流	えは満足	6	28.6	8	15.7	7	25.0	1	33.3	3	15.8	0		8	17.8	64	24.5	85	19.6	4	33.3	22	26.2
	不満が多い	2	9.5	8	15.7	1	3.6	0		1	5.3	3	33.3	2	4.4	19	7.3	63	14.5	0		8	9.5
	なんともいえない	0		1	2.0	1	3.6	0		0		0		1	2.2	5	1.9	14	3.2	1	8.3	3	3.6
	NA	0		1	2.0	1	3.6	0		0		0		1	2.2	5	1.9	14	3.2	1	8.3	3	3.6
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
16-(3)	大いに満足	6	28.6	19	37.3	7	25.0	1	33.3	5	26.3	1	11.1	22	48.9	38	14.6	53	12.2	4	33.3	19	22.6
一般社会人と	どちらかとい	12	57.1	21	41.2	15	53.6	1	33.3	9	47.4	3	33.3	17	37.8	121	46.4	202	46.5	4	33.3	38	45.2
の交流	えは満足	2	9.5	7	13.7	3	10.7	1	33.3	4	21.1	1	11.1	3	6.7	61	23.4	69	15.9	2	16.7	18	21.4
	不満が多い																						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
	なんともいえない NA 計	1	4.8	4	7.8	2	7.1	0	0	1	5.3	4	44.4	3	6.7	36	13.8	100	23.0	1	8.3	7	8.3
16-(4)	大いに満足 どちらかとい えば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	9	42.9	17	33.3	7	25.0	1	33.3	7	36.8	4	44.4	18	40.0	51	19.5	103	23.7	2	16.7	26	31.0
16-(5)	大いに満足 どちらかとい えば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	9	42.9	19	37.3	10	35.7	1	33.3	8	42.1	2	22.2	14	31.1	68	26.1	57	13.1	4	33.3	21	25.0
16-(6)	大いに満足 どちらかとい えば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	10	47.6	18	35.3	9	32.1	1	33.3	7	36.8	3	33.3	16	35.6	63	24.1	67	15.4	3	25.0	24	28.6
16-(7)	孤独感からの 解放 なんともいえない NA 計	6	28.6	12	23.5	10	35.7	0	0	4	21.1	1	11.1	6	13.3	36	13.8	32	7.4	1	8.3	16	19.0
16-(8)	大いに満足	7	33.3	17	33.3	9	32.1	0	0	5	26.3	5	55.6	16	35.6	52	19.9	72	16.6	4	33.3	28	33.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別											
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A					
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)												
留学成果の母国での活用の期待感	どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	10	47.6	20	39.2	7	25.0	2	66.7	6	31.6	3	33.3	21	46.7	111	42.5	206	47.5	4	33.3	37	44.0		
		1	4.8	2	3.9	3	10.7	0		1	5.3	1	11.1	2	4.4	43	16.5	39	9.0	1	8.3	7	8.3		
		2	9.5	11	21.6	7	25.0	1	33.3	7	36.8	0		6	13.3	46	17.6	104	24.0	2	16.7	9	10.7		
		1	4.8	1	2.0	2	7.1	0		0		0		0		0		9	3.4	13	3.0	1	8.3	3	3.6
		21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
16-(9) 日本人の母国事情の理解	大いに満足 どちらかといえば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	1	4.8	5	9.8	2	7.1	0		1	5.3	0		6	13.3	8	3.1	16	3.7	0		3	3.6		
		16	76.2	15	29.4	16	57.1	0		4	21.1	0		12	26.7	70	26.8	126	29.0	3	25.0	29	34.5		
		2	9.5	24	47.1	7	25.0	3	100.0	10	52.6	8	88.9	19	42.2	34	51.3	181	41.7	8	66.7	37	44.0		
		1	4.8	6	11.8	2	7.1	0		4	21.1	1	11.1	8	17.8	41	15.7	71	18.9	0		13	15.5		
		1	4.8	1	2.0	1	3.6	0		0		0		0		0		8	3.1	29	6.7	1	8.3	2	2.4
21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
17-(1) 日本の大学院について (現在までの日本留学体験から判断して、あなたは次の意見に同意しますか)																									
17-(1)-1 日本の大学は概ね国際的な学術水準に達している	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	3	14.3	17	33.3	8	28.6	0		5	26.3	3	33.3	16	35.6	63	24.1	99	22.8	2	16.7	17	20.2		
		9	42.9	19	37.3	13	46.4	1	33.3	11	57.9	3	33.3	14	31.1	137	52.5	262	60.4	3	25.0	41	48.8		
		2	9.5	3	5.9	3	10.7	1	33.3	1	5.3	1	11.1	4	8.9	21	8.9	18	4.1	3	25.0	8	9.5		
		3	14.3	2	3.9	1	3.6	0		0		2	10.5	1	11.1	7	15.6	14	5.4	21	4.8	3	25.0	4	4.8
		4	19.0	7	13.7	2	7.1	0		2	10.5	1	11.1	4	8.9	18	6.9	25	5.8	1	8.3	13	15.5		
0		3	5.9	1	3.6	1	33.3	0		0		0		0		8	3.1	9	2.1	0		1	1.2		
21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
17-(1)-2 日本の大学は発底途上国の抱える問題に十分な関心を持っている	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	1	4.8	7	13.7	4	14.3	0		3	15.8	1	11.1	8	17.8	33	12.6	26	6.0	0		12	14.3		
		4	19.0	15	29.4	7	25.0	1	33.3	7	36.8	1	11.1	12	26.7	90	34.5	144	33.2	3	25.0	20	23.8		
		5	23.8	14	27.5	5	17.9	1	33.3	7	36.8	3	33.3	17	37.8	79	30.3	150	34.6	4	33.3	23	27.4		
		3	14.3	6	11.8	4	14.3	0		1	5.3	2	33.3	3	6.7	24	9.2	45	10.4	3	25.0	14	16.7		
		8	38.1	5	9.8	6	21.4	1	33.3	1	5.3	1	11.1	5	11.1	27	10.3	60	13.8	2	16.7	13	15.5		
0		4	7.8	2	7.1	0		0		0		0		0		8	3.1	9	2.1	0		2	2.4		
21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0		
17-(1)-3 日本の大学教	全くその通り ある程度同意	6	28.6	7	13.7	14	50.0	1	33.3	5	26.3	3	33.3	20	44.4	61	23.4	104	24.0	2	16.7	22	26.2		
		10	47.6	19	37.3	11	39.3	2	66.7	2	10.5	4	44.4	13	28.9	106	40.6	199	45.9	5	41.7	34	40.5		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)																				
授は留学生問題に十分な関心を持っている	同意できない	3	14.3	15	29.4	1	3.6	0		6	31.6	1	11.1	8	17.8	54	20.7	59	13.6	2	16.7	12	14.3
	なんともいえない	2	9.5	3	5.9	0		0		5	26.3	0		3	6.7	24	9.2	41	9.4	2	16.7	10	11.9
	わからない	0		3	5.9	1	3.6	0		1	5.3	1	11.1	1	2.2	9	3.4	18	4.1	0		4	4.8
	NA	0		4	7.8	1	3.6	0		0	0	0		0		7	2.7	13	3.0	1	8.3	2	2.4
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
17-(1)-4 日本の大学教授は留学生の成績を厳しく評価している	全くその通り	2	9.5	1	2.0	3	10.7	1	33.3	3	15.8	1	11.1	14	31.1	28	10.7	40	9.2	2	16.7	14	16.7
	ある程度同意	3	14.3	17	33.3	10	35.7	1	33.3	4	21.1	2	22.2	12	26.7	101	38.7	173	39.9	5	41.7	26	31.0
	同意できない	7	33.3	11	21.6	2	7.1	1	33.3	4	21.1	1	11.1	4	8.9	45	17.2	64	14.7	0		13	15.5
	なんともいえない	5	23.8	6	11.8	5	17.9	0		5	26.3	2	22.2	9	20.0	37	14.2	75	17.3	5	41.7	14	16.7
	わからない	4	19.0	11	21.6	6	21.4	0		3	15.8	3	33.3	4	11.1	40	15.3	69	15.9	0		16	19.0
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
17-(1)-5 日本の大学生は留学生の勉学に十分に協力的である	全くその通り	1	4.8	10	19.6	7	25.0	1	33.3	2	10.5	1	22.2	12	26.7	36	13.7	52	12.0	1	8.3	13	15.5
	ある程度同意	11	52.4	19	37.3	12	42.9	1	33.3	7	36.8	3	33.3	17	37.8	118	45.2	183	42.2	5	41.7	39	46.4
	同意できない	2	9.5	10	19.6	3	14.2	1	33.3	5	31.6	1	11.1	11	24.4	59	22.6	111	25.6	3	25.0	17	20.2
	なんともいえない	3	14.3	4	9.8	1	3.6	0		1	5.3	1	11.1	2	6.7	31	11.9	62	14.3	3	25.0	8	9.5
	わからない	3	19.0	3	5.9	2	7.1	0		1	5.3	2	22.2	2	4.4	9	3.4	16	3.7	0		6	7.1
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
17-(1)-6 日本の大学は留学生に対して最新の理論や学術成果を積極的に提供している	全くその通り	2	9.5	9	17.6	6	21.4	1	33.3	4	21.1	2	22.2	17	37.8	36	13.8	45	10.4	0		12	14.3
	ある程度同意	7	33.3	20	39.2	9	32.1	1	33.3	9	47.4	4	44.4	11	24.4	87	33.3	135	31.1	4	33.3	25	29.8
	同意できない	6	28.6	11	21.6	4	14.3	1	33.3	3	15.8	1	11.1	8	17.8	49	18.8	104	24.0	4	33.3	14	16.7
	なんともいえない	3	14.3	2	3.9	2	7.1	0		3	15.8	2	22.2	7	15.6	34	13.0	68	15.7	4	33.3	12	14.3
	わからない	3	14.3	5	9.8	5	17.9	0		0	0	0		2	4.4	45	17.2	72	16.6	0		17	20.2
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
17-(1)-7 日本の大学は	全くその通り	1	4.8	2	3.9	1	3.6	0		2	10.4	0		6	13.3	18	6.9	43	9.9	0		6	7.1
	ある程度同意	0		4	7.8	3	10.7	0		2	10.5	0		4	8.9	41	15.7	79	18.2	0		10	11.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)																				
帰国後の留学生と積極的に交流しようとしている	同意できない	3	14.3	10	19.6	2	7.1	0		3	15.8	1	11.1	5	11.1	48	18.4	87	20.2	3	25.0	10	11.9
	なんともいえない	1	4.8	4	7.8	0	0	0		0		1	11.1	1	2.2	28	10.7	52	12.0	5	41.7	7	8.3
	わからない	16	76.2	27	52.9	20	71.4	3	100.0	12	63.2	7	77.8	29	64.4	118	45.2	162	37.3	3	25.0	48	57.1
	NA	0		4	7.8	2	7.1	0		0		0		0		8	3.1	11	2.5	1	8.3	3	3.6
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
17-(2)日本留学に関して																							
17-(2)-1 再度の機会があれば、日本で研究の仕上げをしたい	全くその通り	11	52.4	30	58.8	17	60.7	1	33.3	8	42.1	2	22.2	27	60.0	110	42.1	186	42.9	6	50.0	45	53.6
	ある程度同意	6	28.6	13	25.5	4	14.3	1	33.3	5	26.3	2	22.2	12	26.7	78	29.9	154	35.5	2	16.7	22	26.2
	同意できない	0		0		1	3.6	0		1	5.3	3	33.3	2	4.4	24	9.2	28	6.5	1	8.3	5	6.0
	なんともいえない	1	4.8	2	3.9	0		0		0		2	22.2	1	4.4	24	9.2	27	6.2	2	16.7	6	7.1
	わからない	3	14.3	3	5.9	4	14.3	1	33.3	5	26.3	0		2	4.4	17	6.5	30	6.9	1	8.3	5	6.0
	NA	0		3	5.9	2	7.1	0		0		0		0		8	3.1	9	2.1	0		1	1.2
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
17-(2)-2 母国の学生達に日本留学を積極的にすすめたい	全くその通り	8	38.1	22	43.1	17	60.7	2	66.7	6	31.6	2	22.2	23	51.1	60	23.0	101	23.3	5	41.7	29	34.5
	ある程度同意	8	38.1	21	41.2	5	17.9	0		5	26.3	4	44.4	6	13.3	106	40.6	218	50.2	4	33.3	32	38.1
	同意できない	3	14.3	2	3.9	0		0		2	10.5	0		6	13.3	39	14.9	41	9.4	1	8.3	7	8.3
	なんともいえない	2	9.5	2	3.9	4	14.3	1	33.3	5	26.3	3	33.3	8	17.8	39	14.9	47	10.8	1	8.3	9	10.7
	わからない	0		2	3.9	0		0		1	5.3	0		2	4.4	10	3.8	17	3.9	1	8.3	5	6.0
	NA	0		2	3.9	2	7.1	0		0		0		0		7	2.7	10	2.3	0		2	2.4
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
17-(2)-3 留学体験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となろう	全くその通り	7	33.3	35	68.6	14	50.0	2	66.7	11	57.9	2	22.2	32	71.1	107	41.0	225	51.8	7	58.3	47	56.0
	ある程度同意	7	33.3	10	19.6	8	28.6	1	33.3	6	31.6	3	33.3	10	22.2	101	38.7	142	32.7	5	41.7	26	31.0
	同意できない	2	9.5	1	2.0	1	3.6	0		0		0		2	4.4	16	6.1	24	5.5	0		3	3.6
	なんともいえない	3	14.3	1	2.0	1	3.6	0		1	5.3	2	22.2	1	2.2	25	9.6	21	4.8	0		1	1.2
	わからない	2	9.5	1	2.0	2	7.1	0		1	5.3	2	22.2	0		4	1.5	12	2.8	0		6	7.1
	NA	0		3	5.9	2	7.1	0		0		0		0		8	3.1	10	2.3	0		1	1.2
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0	
17-(2)-4	全くその通り	15	71.4	45	88.2	20	71.4	3	100.0	15	78.9	6	66.7	40	88.9	175	67.0	334	77.0	10	83.3	64	76.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別																																																																																																																																	
		北米			南米			西欧			東欧			中東			アフリカ			南アジア		東アジア		その他		N.A																																																																																																																					
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																																																																																																																		
17-(2)-5 留学は日本人の生活態度、考え方や日本の文化、社会、経済等を認識する絶好な機会である	ある程度同意 同意できない なんともいえない わかからない NA 計	5	23.8	3	5.9	6	21.4	0	0	4	21.1	3	33.3	4	8.9	66	25.3	77	17.7	1	8.3	15	17.9	0	0	7	2.7	4	0.9	0	0	2	2.4	8	1.8	1	8.3	0	0	2	0.5	0	0	2	2.4	7	2.7	9	2.1	0	0	12	100.0	434	100.0	84	100.0																																																																																						
		2	9.5	3	5.9	1	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4.4	24	9.2	20	4.6	0	0	8	9.5	1	4.8	3	5.9	2	7.1	0	0	6	13.3	37	14.2	62	14.3	1	8.3	10	11.9	5	11.1	49	18.8	105	24.2	3	25.0	11	13.1	2	9.5	4	7.8	0	0	19	7.3	40	9.2	2	16.7	6	7.1	16	76.2	36	70.6	21	75.0	2	66.7	15	78.9	8	88.9	30	66.7	122	46.7	196	45.2	6	50.0	47	56.0	0	0	2	3.9	2	7.1	0	0	1	2.2	10	3.8	11	2.5	0	0	2	2.4	21	100.0	51	100.0	28	100.0	434	100.0	84	100.0																										
17-(3)-1 留学生受入れについて民間のボランティア活動は充実している	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わかからない NA 計	2	9.5	9	17.6	4	14.3	0	0	2	10.5	1	11.1	6	13.3	19	7.3	30	6.9	2	16.7	11	13.1	4	19.0	16	31.4	10	35.7	1	33.3	1	33.3	8	42.1	0	0	3	15.8	3	33.3	11	24.4	106	40.6	129	29.7	3	25.0	31	36.9	2	9.5	8	15.7	4	14.3	3	10.7	0	0	1	11.1	4	8.9	21	8.0	40	9.2	0	0	9	10.7	3	14.3	5	9.8	3	10.7	0	0	4	44.4	15	33.3	53	20.7	117	27.2	3	25.0	25	29.8	10	47.6	9	17.6	6	21.4	1	33.3	6	31.6	0	0	0	0	5	1.9	13	3.0	2	16.7	1	1.2	21	100.0	51	100.0	28	100.0	434	100.0	84	100.0																		
17-(3)-2 宿舍やアルバイト探している日本人は協力的である	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わかからない NA 計	6	28.6	10	19.6	9	32.1	0	0	4	21.1	2	22.2	7	15.6	33	12.6	39	9.0	1	8.3	10	11.9	9	42.9	13	25.5	7	25.0	0	0	8	42.1	2	22.2	11	24.4	73	28.0	152	35.0	2	16.7	33	39.3	4	19.0	5	9.8	6	21.4	2	66.7	4	21.1	2	22.2	9	20.0	78	29.9	112	25.8	4	33.3	16	19.0	0	0	7	13.7	1	3.6	0	0	2	22.2	3	6.7	27	10.3	46	10.6	0	0	15	33.3	45	17.2	76	17.5	3	25.0	15	17.9	2	9.5	12	23.5	4	14.3	1	33.3	2	10.5	1	11.1	15	33.3	45	17.2	76	17.5	3	25.0	15	17.9	0	0	4	7.8	1	3.6	0	0	5	1.9	9	2.1	2	16.7	2	2.4	21	100.0	51	100.0	28	100.0	434	100.0	84	100.0

17-(3)留学生の受入れについて

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域												別									
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)
17-(3)-3	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない	3 14.3	5 9.8	3 10.7	0	0	0	0	2 10.5	0	0	0	0	2 4.4	14 5.4	14 5.4	14 3.2	2 16.7	2 2.4	2 16.7	2 2.4	2 16.7	2 2.4
留學生に対する 民間の奨学 金制度が充実 している		4 19.0	7 13.7	4 14.3	0	0	0	0	1 5.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 6.7	45 17.2	45 17.2	92 21.2	1 8.3	18 21.4	1 8.3	18 21.4	1 8.3	18 21.4
17-(4)-A-1	大学付属の寮	5 23.8	6 11.8	5 17.9	2 66.7	2 66.7	2 66.7	2 66.7	7 36.8	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	17 37.8	92 35.2	92 35.2	199 45.9	4 33.3	19 22.6	4 33.3	19 22.6	4 33.3	19 22.6
		0	2 3.9	0	0	0	0	0	1 5.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	5 11.1	17 6.5	17 6.5	40 9.2	1 8.3	8 9.5	1 8.3	8 9.5	1 8.3	8 9.5
	NA	9 42.9	28 54.9	15 53.6	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	8 42.1	4 44.4	4 44.4	4 44.4	4 44.4	18 40.0	88 33.7	88 33.7	79 18.2	2 16.7	36 42.9	2 16.7	36 42.9	2 16.7	36 42.9
	計	0	3 5.9	1 3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5 1.9	5 1.9	10 2.3	2 16.7	1 1.2	2 16.7	1 1.2	2 16.7	1 1.2
		21 100.0	51 100.0	28 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	3 100.0	19 100.0	9 100.0	9 100.0	9 100.0	9 100.0	45 100.0	261 100.0	261 100.0	434 100.0	12 100.0	84 100.0	12 100.0	84 100.0	12 100.0	84 100.0
[宿舍条件一 希望順位]	1 位	7 33.3	10 19.6	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 10.5	4 44.4	4 44.4	4 44.4	4 44.4	19 42.2	85 33.0	85 33.0	164 37.8	4 37.8	26 31.0	4 37.8	26 31.0	4 37.8	26 31.0
	2 位	6 28.6	18 35.3	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	5 26.3	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	12 26.7	73 28.0	73 28.0	120 27.6	3 27.6	30 35.7	3 27.6	30 35.7	3 27.6	30 35.7
	3 位	3 14.3	12 23.5	11 39.3	0	0	0	0	5 26.3	0	0	0	0	2 4.4	35 13.4	35 13.4	79 18.2	2 18.2	11 13.1	2 18.2	11 13.1	2 18.2	11 13.1
	4 位	2 9.5	2 3.9	2 7.1	0	0	0	0	1 5.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	5 11.0	31 11.9	31 11.9	44 10.1	1 10.1	6 7.1	1 10.1	6 7.1	1 10.1	6 7.1
	NA	3 14.3	9 17.6	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	6 31.6	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	7 15.6	36 13.8	36 13.8	27 6.2	2 16.7	11 13.1	2 16.7	11 13.1	2 16.7	11 13.1
17-(4)-A-2	外国人用宿舍	1 4.8	15 29.4	4 14.3	0	0	0	0	5 26.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	9 20.0	76 29.1	76 29.1	116 26.7	1 8.3	19 22.6	1 8.3	19 22.6	1 8.3	19 22.6
		6 28.6	8 15.7	6 21.4	0	0	0	0	2 10.5	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	9 20.0	74 28.4	74 28.4	125 28.8	3 25.0	20 23.8	3 25.0	20 23.8	3 25.0	20 23.8
		3 14.3	9 17.6	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0	0	0	0	0	8 17.8	70 15.3	70 15.3	74 17.1	3 25.0	17 20.2	3 25.0	17 20.2	3 25.0	17 20.2
		7 33.3	7 13.7	8 28.6	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	6 31.6	0	0	0	0	8 17.8	35 13.4	35 13.4	94 21.7	3 25.0	12 14.3	3 25.0	12 14.3	3 25.0	12 14.3
	NA	4 19.0	12 23.5	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	6 31.6	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	11 24.4	36 13.8	36 13.8	25 5.8	2 16.7	16 19.0	2 16.7	16 19.0	2 16.7	16 19.0
17-(4)-A-3	民間アパート	8 38.1	12 23.5	12 42.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	5 26.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	3 6.7	40 15.3	40 15.3	51 11.8	4 33.3	19 22.6	4 33.3	19 22.6	4 33.3	19 22.6
		4 19.0	10 19.6	5 17.9	0	0	0	0	2 10.5	3 33.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	8 17.8	40 18.8	40 18.8	77 17.7	4 33.3	9 10.7	4 33.3	9 10.7	4 33.3	9 10.7
		3 14.3	11 21.6	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	5 26.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	16 35.6	81 31.0	81 31.0	152 35.0	2 16.7	28 33.3	2 16.7	28 33.3	2 16.7	28 33.3
		1 4.8	7 13.7	2 7.1	0	0	0	0	1 5.3	0	0	0	0	7 15.6	54 20.7	54 20.7	125 28.8	0	13 15.5	0	13 15.5	0	13 15.5
	NA	5 23.8	11 21.6	4 14.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	6 31.6	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 22.2	11 24.4	37 14.2	37 14.2	29 6.7	2 16.7	15 17.9	2 16.7	15 17.9	2 16.7	15 17.9
17-(4)-A-4	日本人の家庭	2 9.5	4 7.8	3 10.7	0	0	0	0	1 5.3	0	0	0	0	6 13.3	30 11.5	30 11.5	82 18.9	1 8.3	12 14.3	1 8.3	12 14.3	1 8.3	12 14.3
		1 4.8	4 7.8	7 25.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	4 21.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	8 17.8	27 10.3	27 10.3	84 19.4	0	10 11.9	0	10 11.9	0	10 11.9
		7 33.3	9 17.6	2 7.1	0	0	0	0	3 15.8	0	0	0	0	8 17.8	63 24.5	63 24.5	100 23.0	3 25.0	12 14.3	3 25.0	12 14.3	3 25.0	12 14.3
		6 28.6	22 43.1	11 39.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	5 26.3	5 55.6	5 55.6	5 55.6	5 55.6	11 24.4	101 38.7	101 38.7	140 32.3	6 50.0	35 41.7	6 50.0	35 41.7	6 50.0	35 41.7
	NA	5 23.8	12 23.5	5 17.9	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	6 31.6	3 33.3	3 33.3	3 33.3	3 33.3	12 26.7	39 14.9	39 14.9	28 6.5	2 16.7	15 17.9	2 16.7	15 17.9	2 16.7	15 17.9
17-(4)-B	外国人留学生だけ	2 9.5	9 17.6	3 10.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 6.7	49 18.8	49 18.8	86 19.8	1 8.3	12 14.3	1 8.3	12 14.3	1 8.3	12 14.3

質問(項目)番号 質問内容	地域別																										
	北米					南米					地																
	実数	(%)	実数	(%)																							
留学生だけか 日本人と一緒に か	15	71.4	27	52.9	21	75.0	3	100.0	12	63.2	5	55.6	32	71.1	174	66.7	316	72.8	9	75.0	59	70.2					
NA	4	19.0	15	29.4	4	14.3	0		7	36.8	1	11.1	10	22.2	38	14.6	32	7.4	2	16.7	13	15.5					
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0					
17-(4)-C 個室か共用か 他人と共用がよい NA	16	76.2	42	82.4	25	89.3	3	100.0	14	73.7	8	88.9	34	75.6	227	87.0	399	91.9	11	91.7	68	81.0					
計	1	4.8	2	3.9	0	0	0		0	0	0	0	3	6.7	7	2.7	15	3.5	0	0	5	6.0					
4	19.0	7	13.7	3	10.7	0		5	26.3	1	11.1	8	17.8	27	10.3	20	4.6	1	8.3	11	13.1						
計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0					
VI. 日本経済の発展につき、あなたの考えを聞かせて下さい																											
19-(1) 日本の教育制度(総計)	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0					
19-(1)-A 義務教育年限 が6・3制で 十分に長いこ と	8	38.1	12	23.5	8	28.6	1	33.3	5	26.3	2	22.2	11	24.4	82	31.4	113	26.0	3	25.0	23	27.4					
その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともない わからない	6	28.6	18	35.3	12	42.9	1	33.3	4	21.1	4	44.4	13	28.9	75	28.7	128	29.5	4	33.3	22	26.2					
計	4	19.0	9	17.6	5	17.9	0		8	42.1	0		13	28.9	78	29.9	133	30.6	3	25.0	26	31.0					
1	4.8	6	11.8	1	3.6	1	33.3	0		1	11.1	2	4.4	11	4.2	16	3.7	1	8.3	5	6.0						
1	4.8	4	7.8	2	7.1	0		1	5.3	1	5.3	2	22.2	5	11.1	14	5.4	33	7.6	1	8.3						
1	4.8	2	3.9	0	0	0		1	5.3	0	0	1	2.2	1	0.4	11	2.5	0	0	1	1.2						
19-(1)-B 義務教育での 中途退学 (drop out) が少ないこと	5	23.8	21	41.2	10	35.7	1	33.3	3	15.8	2	22.2	12	26.7	77	29.5	119	27.4	0		22	26.2					
その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともない わからない	9	42.9	12	23.5	9	32.1	1	33.3	6	31.6	2	22.2	11	24.4	70	26.8	98	22.6	6	50.0	16	19.0					
計	3	14.3	4	9.8	1	3.6	0		2	10.5	0		4	8.9	26	10.0	65	15.0	3	25.0	10	11.9					
0	0	2	3.9	1	3.6	1	33.3	1	5.3	1	11.1	3	6.7	11	4.2	34	7.8	1	8.3	6	7.1						
3	14.3	8	15.7	7	25.0	0		6	31.6	4	44.3	14	31.1	74	28.4	102	23.5	2	16.7	28	33.3						
1	4.8	3	5.9	0	0	0		1	5.3	1	5.3	1	2.2	3	1.1	16	3.7	0		2	2.4						
19-(1)-C 義務教育の教 育内容が充実 していること	7	33.3	9	17.6	7	25.0	0		2	10.5	2	22.2	13	28.9	57	21.8	130	30.0	4	33.3	20	23.8					
その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともない わからない	8	38.1	23	45.1	10	35.7	3	33.3	6	31.6	3	33.3	13	28.9	93	35.6	136	31.3	2	16.7	27	32.1					
計	2	9.5	1	2.0	3	10.7	0		2	10.5	0		1	2.2	20	7.7	38	8.8	2	16.7	10	11.9					
0	0	5	9.8	1	3.6	0		1	5.3	0		2	4.4	24	9.2	26	6.0	1	8.3	4	4.8						
3	14.3	9	17.6	7	25.0	0		6	31.6	3	33.3	14	31.1	63	24.1	88	20.3	3	25.0	19	22.6						
1	4.8	4	7.8	0	0	0		2	10.5	1	11.1	2	4.4	4	1.5	16	3.7	0		4	4.8						
19-(1)-D その通り	10	47.6	22	43.1	18	64.3	1	33.3	7	36.8	5	55.6	12	26.7	108	41.4	200	46.1	2	16.7	33	39.3					

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別																																																																																																																			
		北米			南米			西欧			中欧			アフリカ			東アジア		東南アジア		その他		NA																																																																																																										
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																																																																																																																		
19-0-1	高等学校以上の の高等教育への 進学率が高いこと	8	38.1	18	35.3	6	21.4	1	33.3	4	21.1	3	33.3	22	48.9	92	35.2	169	38.9	6	50.0	28	33.3	0	0	2	3.9	0	0	0	0	2	10.5	0	0	0	0	2	4.4	16	6.1	29	6.7	1	8.3	3	3.6	0	0	2	5.9	0	0	0	0	2	4.4	11	4.2	9	2.1	0	0	4	4.8	2	9.5	3	5.9	4	14.3	1	33.3	5	26.3	1	11.1	6	13.3	30	11.5	14	3.2	3	25.0	15	17.9	1	4.8	3	5.9	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	4	1.5	13	3.0	0	0	1	1.2																						
19-0-2	その通り	2	9.5	4	7.8	11	39.3	0	0	2	10.5	3	33.3	6	13.3	43	16.5	87	20.0	1	8.3	14	16.7	10	47.6	13	25.5	6	21.4	0	0	8	42.1	1	11.1	16	35.6	140	32.3	5	41.7	29	34.5	4	19.0	14	27.5	6	21.4	2	66.7	5	26.3	1	11.1	10	22.2	54	20.7	102	23.5	3	25.0	16	19.0	0	0	11	21.6	0	0	1	33.3	1	5.3	1	11.1	5	11.1	17	6.5	32	7.4	0	0	7	8.3	4	19.0	5	9.8	5	17.9	0	0	2	10.5	3	33.3	7	15.5	47	18.0	58	13.4	3	25.0	17	20.2	1	4.8	4	7.8	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	5	1.9	15	3.5	0	0	1	1.2
19-0-3	その通り	2	9.5	7	13.7	5	17.9	0	0	7	36.8	1	11.1	12	26.7	60	23.0	107	24.7	1	8.3	17	20.2	13	61.9	22	43.1	9	32.1	2	66.7	4	21.1	4	44.4	19	42.2	121	46.4	173	39.9	5	41.7	36	42.9	3	14.3	3	5.9	5	17.9	1	33.3	2	10.5	0	0	1	2.2	16	6.1	44	10.1	5	41.7	4	4.8	0	0	5	9.8	2	7.1	0	0	6	13.3	15	5.7	33	7.6	0	0	6	7.1	2	9.5	11	21.6	7	25.0	0	0	5	26.3	4	44.4	5	11.1	46	17.6	65	15.0	1	8.3	19	22.6	1	4.8	3	5.9	0	0	1	5.3	0	0	2	4.4	3	1.1	12	2.8	0	0	2	2.4		
19-0-4	その通り	1	4.8	13	25.5	6	21.4	0	0	2	10.5	2	22.2	10	22.2	74	28.4	89	20.5	3	25.0	20	23.8	7	33.3	17	33.3	11	39.3	1	33.3	8	42.1	3	33.3	18	40.0	108	41.4	166	38.2	7	58.3	37	44.0	2	9.5	6	11.8	5	17.9	2	66.7	2	10.5	0	0	7	15.6	21	8.0	92	16.6	0	0	5	6.0	2	9.5	5	9.8	0	0	2	4.4	12	4.6	26	6.0	1	8.3	5	6.0	8	38.1	7	13.7	6	21.4	0	0	3	15.8	4	44.4	7	15.6	42	16.5	68	15.7	0	0	15	17.9	1	4.8	3	5.9	0	0	3	15.8	0	0	3	1.1	13	3.0	1	8.3	2	2.4						
19-0-5	その通り	2	9.5	5	9.8	4	14.3	0	0	6	31.6	3	33.3	12	26.7	45	17.2	62	14.3	2	16.7	15	17.9	5	23.8	17	33.3	12	42.9	2	66.7	3	15.8	1	11.1	16	35.6	98	37.5	105	24.2	4	33.3	33	39.3	4	19.0	5	9.8	5	17.9	0	0	3	15.8	0	0	2	4.4	35	13.4	102	23.5	3	25.0	11	13.1	2	9.5	4	7.8	1	3.6	1	5.3	1	11.1	1	2.2	12	4.6	31	7.1	0	0	6	7.1	7	33.3	17	33.3	5	17.9	0	0	5	26.3	5	17.9	0	0	13	28.9	69	26.4	122	28.1	3	25.0	17	20.2																		

質問(項目)番号 質問内容	地域												別									
	北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
19-(1)-I NA その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	3	5.9	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	2	0.8	12	2.8	0	0	2	2.4
19-(1)-J その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	9	42.9	15	29.4	12	42.9	1	33.3	3	15.8	4	44.4	20	44.4	93	35.6	147	33.9	3	25.0	26	31.0
19-(1)-K その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	5	23.8	16	31.4	12	42.9	2	66.7	7	36.8	3	33.3	15	33.3	107	41.0	163	37.6	6	50.0	38	45.2
19-(1)-L その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	2	3.9	0	0	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	10	3.8	27	6.2	0	0	1	1.2
19-(1)-M その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	5	9.8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.2	8	14.9	15	3.5	0	0	3	3.6
19-(1)-N その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	3	19.0	10	19.6	3	10.7	0	0	7	36.8	2	22.2	7	15.6	39	1.5	69	15.9	3	25.0	14	16.7
19-(1)-O その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	3	5.9	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	4	100.0	13	3.0	0	0	2	2.4
19-(1)-P その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	13	61.9	19	37.3	14	50.0	2	66.7	5	26.3	5	55.6	15	33.3	98	37.5	185	42.6	3	25.0	29	34.5
19-(1)-Q その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	5	23.8	19	37.3	9	32.1	1	33.3	5	26.3	3	33.3	18	40.0	101	38.7	151	34.8	6	50.0	36	42.9
19-(1)-R その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10.5	0	0	4	8.9	13	5.0	22	5.1	0	0	3	3.6
19-(1)-S その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	0	0	2	3.9	0	0	0	0	1	5.3	1	11.1	1	2.2	11	4.2	17	3.9	1	8.3	2	2.4
19-(1)-T その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	7	13.7	4	14.3	0	0	4	21.1	0	0	6	13.3	35	13.4	45	10.4	2	16.7	12	14.3
19-(1)-U その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	2	9.5	4	7.8	1	3.6	0	0	2	10.5	0	0	1	2.2	3	1.1	14	3.2	0	0	2	2.4
19-(1)-V その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	15	71.4	22	43.1	23	82.1	2	66.7	7	36.8	6	66.7	15	33.3	134	51.3	180	41.5	7	58.3	38	45.2
19-(1)-W その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	2	9.5	20	39.2	4	14.3	1	33.3	6	31.6	3	33.3	18	40.0	84	32.2	156	35.9	3	25.0	27	32.1
19-(1)-X その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	2	3.9	0	0	0	0	1	5.3	0	0	4	8.9	16	6.1	40	9.2	1	8.3	3	3.6
19-(1)-Y その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	0	0	2	3.9	0	0	0	0	3	15.8	0	0	1	2.2	13	5.0	11	2.5	0	0	6	7.1
19-(1)-Z その通り どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	2	9.5	3	5.9	0	0	0	0	1	5.3	0	0	6	13.3	11	4.2	34	7.8	0	0	7	8.3
19-(2) 日本の経済発展の要因としての、人口増加について	1	4.8	2	3.9	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	3	1.1	13	3.0	1	8.3	3	3.6
19-(2)-A その通り どちらかといえば その通りだと思う	6	28.6	12	23.5	10	35.7	1	33.3	4	21.1	1	11.1	13	28.9	87	33.3	113	26.0	7	58.3	22	26.2
19-(2)-B その通り どちらかといえば その通りだと思う	8	38.1	16	31.4	8	28.6	1	33.3	7	36.8	5	55.6	13	28.9	95	36.4	153	35.3	3	25.0	32	38.1
19-(2)-C その通り どちらかといえば その通りだと思う	3	14.3	10	19.6	6	21.4	1	33.3	3	15.8	1	11.1	6	13.3	36	13.8	86	19.8	0	0	12	14.3
19-(2)-D その通り どちらかといえば その通りだと思う	2	9.5	4	7.8	2	7.1	0	0	1	5.3	1	11.1	6	13.3	17	6.5	26	6.0	1	8.3	5	6.0
19-(2)-E その通り どちらかといえば その通りだと思う	1	4.8	4	7.8	1	3.6	0	0	3	15.8	1	11.1	6	13.3	23	8.8	38	8.8	1	8.3	9	10.7
19-(2)-F その通り どちらかといえば その通りだと思う	1	4.8	5	9.8	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	1	2.2	3	1.1	18	4.1	0	0	4	4.8
19-(2)-G その通り どちらかといえば その通りだと思う	1	4.8	12	23.5	10	35.7	0	0	5	26.3	2	22.2	10	22.2	56	21.5	86	19.8	4	33.3	13	15.5
19-(2)-H その通り どちらかといえば その通りだと思う	8	38.1	10	19.6	6	21.4	1	33.3	10	52.6	4	44.4	10	22.2	88	33.7	94	21.7	3	25.0	26	31.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																					
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
一億人を超えており大規模生産ができるようになったこと	そうは思わない	5	23.8	16	31.4	8	28.6	1	33.3	2	10.5	1	11.1	14	31.1	70	26.8	185	42.6	4	33.3	20	23.8
	なんともいえない	2	9.5	4	7.8	1	3.6	0		1	5.3	2	22.2	2	4.4	23	8.8	21	4.8	1	8.3	8	9.5
	わからない	2	9.5	6	11.8	3	10.7	1	33.3	1	5.3	0		7	15.6	17	6.5	36	8.3	0		10	11.9
	NA	3	14.3	3	5.9	0		0		0		0		2	4.4	7	2.7	12	2.8	0		7	8.3
19-(2)-B 人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	その通り	4	19.0	7	13.7	8	28.6	0		3	15.8	3	33.3	14	31.1	81	31.0	115	26.5	1	8.3	19	22.6
	どちらかといえば	7	33.3	19	37.3	6	21.4	1	33.3	5	26.3	5	55.6	17	37.8	105	40.2	161	37.1	4	33.3	33	39.3
	そうは思わない	3	14.3	12	23.5	6	21.4	0		3	15.8	0		6	13.3	39	14.9	83	19.1	5	41.7	14	16.7
	なんともいえない	2	14.3	4	7.8	4	14.3	1	33.3	2	10.5	1	11.1	4	8.9	12	4.6	35	8.1	0		4	4.8
	わからない	3	14.3	5	9.8	4	14.3	1	33.3	5	26.3	0		2	4.4	18	6.9	30	6.9	2	16.7	8	9.5
	NA	1	4.8	4	7.8	0		0		1	5.3	0		2	4.4	6	2.3	10	2.3	0		6	7.1
19-(2)-C 最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	その通り	12	57.1	27	52.9	18	64.3	2	66.7	11	57.9	6	66.7	27	60.0	130	49.8	189	43.5	8	66.7	31	38.1
	どちらかといえば	6	28.6	13	25.5	6	21.4	0		6	31.6	2	22.2	9	20.0	88	33.7	122	28.1	1	8.3	20	23.8
	その通りと思えば	0		3	5.9	1	3.6	0		0		0		2	4.4	14	5.4	41	9.4	2	16.7	7	8.3
	そうは思わない	0		0		1	3.6	0		0		0		2	4.4	7	2.7	12	2.8	1	8.3	2	2.4
	なんともいえない	1	4.8	5	9.8	1	3.5	1	33.3	2	10.5	1	11.1	2	4.4	16	6.1	57	13.1	0		13	15.5
わからない	2	9.5	3	5.9	1	3.6	0		0		0		3	6.7	6	2.3	13	3.0	0		10	11.9	
19-(2)-D 出生率が低いのは																							
19-(2)-D-1 家族計画の考え方が普及しているから	その通り	11	52.4	26	51.0	12	42.9	1	33.3	6	31.6	4	44.4	29	64.4	137	52.5	202	46.5	5	41.7	35	41.7
	どちらかといえば	5	23.8	14	27.5	6	21.4	1	33.3	7	36.8	3	44.4	11	24.4	78	29.9	140	32.3	3	25.0	24	28.6
	そうは思わない	2	9.5	4	7.8	2	7.1	0		3	15.8	0		7	2.7	29	6.7	29	6.7	2	16.7	4	4.8
	なんともいえない	0		0		1	3.6	0		0		0		0		3	1.1	14	3.2	0		2	2.4
	わからない	2	9.5	5	9.8	6	21.4	1	33.3	3	15.8	1	11.1	2	4.4	25	9.6	30	6.9	2	16.7	8	9.5
NA	1	4.8	2	3.9	1	3.6	0		0		0		3	6.7	11	4.2	19	4.3	0		11	13.1	
19-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	その通り	4	19.0	2	3.9	4	14.3	0		3	15.8	0		7	15.6	31	11.9	63	14.5	0		17	20.2
	どちらかといえば	7	33.3	10	19.6	8	28.6	0	33.3	7	36.8	3	33.3	17	37.8	83	31.8	113	26.0	6	50.0	26	31.0
	その通りと思えば	6	28.6	25	49.0	11	39.3	1		4	21.1	3	33.3	8	17.8	83	31.8	155	35.7	2	16.7	19	22.6
	そうは思わない	0		3	5.9	0		0		3	15.8	1	11.1	4	8.9	13	5.9	37	8.5	1	8.3	4	4.8
なんともいえない	3	14.3	7	13.7	3	10.7	2	66.7	1	5.3	1	11.1	6	13.3	31	11.9	40	9.2	2	16.7	6	7.1	
わからない																							

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)										
19-(2)-D-3 優生保護法で産児制限が合法化されているから	NA その通り どちらかといえばその通りと思お そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	4	7.8	2	7.1	0	0	1	5.3	1	11.1	3	6.7	20	7.6	26	6.0	1	8.3	12	14.3
19-(2)-D-4 社会保障制度の整備などにより老後を子供に頼らうという考えが国民の間になくなったから	その通り どちらかといえばその通りと思お そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	2	3.9	4	14.3	0	0	2	10.5	0	0	1	2.2	45	17.2	141	32.5	1	8.3	16	19.0
19-(2)-E 1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、これと1960年代の日本の経済成長を支えた	その通り どちらかといえばその通りと思お そうは思わない なんともいえない わからない	3	14.3	9	17.6	6	21.4	0	0	3	15.8	1	11.1	12	26.7	43	16.5	74	17.1	3	25.0	13	15.5
19-(2)-F 最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長を今後低下させるであろう	その通り どちらかといえばその通りと思お そうは思わない なんともいえない わからない	1	4.8	0	0	1	3.6	0	0	1	5.3	0	0	2	4.4	5	1.9	11	2.5	2	16.7	3	3.6
19-(3)-A 日本人は本来日本人は本来	その通り どちらかといえばその通りと思お	13	61.9	31	60.8	16	57.1	1	33.3	13	68.4	5	55.6	36	80.0	168	64.4	286	65.9	5	41.7	52	61.9
		5	23.8	15	29.4	11	39.3	1	33.3	4	21.1	2	22.2	7	15.6	66	25.3	108	24.9	4	33.3	20	23.8

19-(3)日本の経済発展の要因としての労働体制について

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域														別									
		北米		南米		西欧		中欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		NA	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)										
19-1	勤勉で労働の密度が高いこと	1	4.8	3	5.9	0		1	33.3	1	5.3	0		0		1	2.2	9	3.4	15	3.5	2	16.7	3	3.6
	そうは思わない	0		0		0		0		0		1	11.1	0		0		4	1.5	6	1.4	1	8.3	2	2.4
	なんともいえない	1	4.8	0		0		0		0		0		0		0		6	2.3	11	2.5	0		4	4.8
	わからない	1	4.8	2	3.9	1	3.6	0		1	5.3	1	11.1	1	2.2	1	2.2	8	3.1	8	1.8	0		3	3.6
19-(3)-B	NA	1	4.8	11	21.6	5	17.9	1	33.3	1	26.3	2	22.2	15	33.3	50	19.2	82	18.9	1	8.3	23	27.4		
	その通り	4	19.0	11	21.6	6	21.4	1	33.3	6	31.6	3	33.3	17	37.8	94	36.0	102	23.7	2	16.7	26	31.0		
	日本には身分意識が少なく	11	52.4	20	39.2	14	50.0	0		3	15.8	1	11.1	9	20.0	75	28.7	199	45.9	7	58.3	18	21.4		
	その通り	2	9.5	2	3.9	0		1	33.3	0		2	22.2	2	4.4	13	5.0	16	3.7	1	8.3	4	4.8		
	なんともいえない	3	14.3	4	7.8	2	7.1	0		4	21.1	0		1	2.2	20	7.7	20	4.6	1	8.3	9	10.7		
	わからぬ	0		3	5.9	1	3.6	0		1	5.3	1	11.1	1	2.2	9	3.4	14	3.2	0		4	4.8		
19-(3)-C	NA	12	57.1	13	25.5	16	57.1	1	33.3	11	57.9	3	33.3	21	46.7	83	31.8	95	21.9	2	16.7	30	35.7		
	その通り	5	23.8	13	25.5	7	25.0	2	66.7	5	26.3	1	11.1	12	26.7	77	29.5	148	34.1	5	41.7	27	32.1		
	週48時間の長時間労働の体	1	4.8	7	13.7	1	7.1	0		0		1	11.1	3	6.7	33	12.6	95	21.9	5	41.7	1	1.2		
	制になってい	0		2	3.9	1	3.6	0		0		1	11.1	0		10	3.8	24	5.5	0		1	1.2		
	その通り	1	9.5	12	23.5	1	3.6	0		1	5.3	2	22.2	8	17.8	48	18.4	57	13.1	0		21	25.0		
	企業が多い	1	4.8	4	7.8	1	3.6	0		2	10.5	1	11.1	1	2.2	10	3.8	15	3.5	0		4	4.8		
19-(3)-D	から	5	23.8	21	41.2	12	42.9	2	66.7	8	42.1	4	44.4	17	37.8	72	27.6	102	23.5	2	16.7	23	27.4		
	その通り	9	42.9	11	21.6	8	28.6	1	33.3	7	36.8	1	11.1	16	35.6	91	34.9	138	31.8	7	58.3	28	33.3		
	労働組合が企業	3	14.3	2	5.9	4	14.3	0		0		0		0		30	11.5	85	19.6	1	8.3	7	8.3		
	業制組合であ	0		5	9.8	1	3.6	0		0		1	22.2	1	2.2	11	4.2	30	6.9	0		5	6.0		
	り、ストライ	3	14.3	8	15.7	2	7.1	0		3	15.8	1	11.1	10	22.2	46	17.6	61	14.1	2	16.7	18	21.4		
	キが少なか	1	4.8	3	5.9	1	3.6	0		1	5.3	1	11.1	1	2.2	11	4.2	18	4.1	0		3	3.6		
19-(4)	経済と人的能力との関係について	13	61.9	33	64.6	20	71.4	2	66.7	11	57.3	6	66.7	33	7.3	206	78.9	380	87.6	5	41.7	66	78.6		
	「人的能力の	5	23.8	16	31.4	7	25.0	1	33.3	6	31.6	2	22.2	7	15.6	29	11.1	31	7.1	6	50.0	12	14.3		
	開発は経済発	0		1	2.0	0		0		1	5.3	0		1	2.2	4	1.5	0		1	8.3	0			
	展の重要な原	1	4.8	1	2.0	1	3.6	0		0		0		1	2.2	6	2.3	2	0.5	0		0			
	因の一つであ	0		0		0		0		0		0		1	2.2	2	0.8	6	1.4	0		2	2.4		
	る」という考え	0		0		0		0		0		0		1	2.2	2	0.8	6	1.4	0		2	2.4		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
	についてあなた は同意しますか。	2	9.5	0		0		0		1	5.3	1	11.1	2	4.4	14	5.4	15	3.5	0		4	4.8
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	9	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
20. 家族について																							
20-1	公務員	0		0		1	3.6	0		1	5.3	0		3	6.7	7	2.7	33	7.6	2	16.7	5	6.0
	教師	2	9.5	3	5.9	4	14.3	0		0	0	0		1	2.2	11	4.2	34	7.8	0		2	2.4
	会社員	2	9.5	2	3.9	4	14.3	1	33.3	1	5.3	0		3	6.7	30	11.5	27	6.2	1	8.3	0	0
	自由業	0	0	1	2.0	0	0	1	33.3	0	0	0		0	0	11	4.2	21	4.8	0		4	4.8
	農業	0	0	10	19.6	0	0	0		0	0	1	11.1	2	4.4	6	2.3	15	3.5	2	16.7	1	1.2
	商業	0	0	3	5.9	1	3.6	0		0	0	0		1	2.2	22	8.4	40	9.2	1	8.3	8	9.5
	その他	9	42.9	6	11.8	6	21.4	1	33.3	0	0	0		8	17.8	26	10.0	43	9.9	4	33.3	10	11.9
	無職・無回答	8	38.1	26	51.0	12	42.9	0		0	17.89.5	8	88.9	27	60.0	148	56.7	221	50.9	2	16.7	54	64.3
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0
20-2	男子の数	6	28.6	11	21.6	5	17.9	1	33.3	2	10.5	2	22.2	8	17.8	40	15.3	93	21.4	3	25.0	20	23.8
		7	33.3	13	25.5	13	46.4	1	33.3	3	15.8	1	11.1	11	24.4	77	29.5	151	34.8	5	41.1	22	26.2
		5	23.8	11	21.6	4	14.3	0		3	15.8	2	22.2	11	24.4	68	26.1	97	22.4	2	16.7	12	14.3
		1	4.8	5	9.8	3	10.7	0		6	31.6	3	33.3	9	20.0	34	13.0	41	9.4	0		7	8.3
	5人以上	0		3	5.9	2	7.1	0		2	10.5	1	11.1	4	8.9	28	10.7	16	3.7	2	16.7	11	13.1
	無回答、0人	2	9.5	8	15.7	1	3.6	1	33.3	3	15.8	0		2	4.4	14	5.4	36	8.3	0		12	14.3
20-3	女子の数	7	33.3	10	19.6	11	39.3	2	66.7	3	15.8	1	11.1	8	17.8	70	26.8	134	30.9	4	33.3	23	27.4
		8	38.1	14	27.5	4	14.3	1	33.3	5	26.3	3	33.3	17	37.8	65	24.9	109	25.1	3	25.0	19	22.6
		2	9.5	11	21.6	3	10.7	0		5	26.3	3	33.3	7	15.6	39	14.9	51	11.8	3	33.3	15	17.9
		1	4.8	6	11.8	0		0		2	10.5	1	11.1	6	13.3	26	10.0	22	5.1	0		10	11.9
	5人以上	0		0		1	3.6	0		0	0	0		2	4.4	20	7.7	6	1.4	0		2	2.4
	無回答、0人	3	14.3	10	19.6	9	32.1	0		4	21.1	1	11.1	5	11.1	41	15.7	112	25.8	2	16.7	15	17.9
20-4	ある	9	42.9	15	29.4	12	42.9	1	33.3	8	42.1	4	44.4	14	31.1	106	40.6	166	38.2	8	66.7	32	38.1
	ない	11	52.4	28	54.9	14	50.0	2	66.7	6	31.6	4	44.4	20	44.4	99	37.9	184	42.4	3	25.0	36	42.9
	NA	1	4.8	8	15.7	2	7.1	0		5	26.3	1	11.1	11	24.4	56	21.5	84	19.4	1	8.3	16	19.0
	計	21	100.0	51	100.0	28	100.0	3	100.0	19	100.0	9	100.0	45	100.0	261	100.0	434	100.0	12	100.0	84	100.0

A-IV 在日留学生アンケート集計表（専攻別）

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻別																			
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)																		
1. あなたは日本留学以前に他の国に留学したことがありますか	ない	274	94.2	77	88.5	79	89.8	26	100.0	25	92.6	48	90.6	125	91.9	31	81.6	113	92.6	94	94.9
	ある	17	5.8	10	11.5	9	10.2	0	0	2	7.4	5	9.4	11	8.1	7	18.4	9	7.4	5	5.1
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
1-(2)-A どの国(地域)でしたか	北米	6	35.3	0	0	6	6.67	0	0	1	50.0	1	20.0	2	18.2	3	42.9	3	33.3	0	0
	南米	1	5.9	1	10.0	0	0	0	0	0	0	2	40.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西欧	3	17.6	4	40.0	0	0	0	0	1	50.0	2	40.0	5	45.5	2	28.6	2	22.2	2	40.0
	東欧	2	11.8	0	0	1	11.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11.1	0	0
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	1	5.9	0	0	1	11.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南アジア	0	0	0	0	1	11.1	0	0	0	0	0	0	1	9.1	0	0	0	0	1	20.0
	東南アジア	2	11.8	4	40.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9.1	1	14.3	0	0	1	20.0
	東アジア	2	11.8	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18.2	0	0	3	33.3	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14.3	0	0	1	20.0
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	17	100.0	10	100.0	9	100.0	0	0	2	100.0	5	100.0	11	100.0	7	100.0	9	100.0	5	100.0	
1-(2)-B 留学期間は何年でしたか	1年	1	5.9	2	20.0	2	22.2	0	0	2	100.0	1	20.0	1	9.1	5	71.4	6	66.7	0	0
	2年	3	17.6	4	40.0	1	11.1	0	0	0	0	0	0	2	18.2	1	14.3	1	11.1	1	20.0
	3年	1	5.9	0	0	1	11.1	0	0	0	0	1	20.0	1	9.1	1	14.3	0	0	0	0
	4年	3	17.6	1	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	18.2	0	0	0	0	0	0
	5年	1	5.9	0	0	2	22.2	0	0	0	0	1	20.0	2	18.2	0	0	0	0	0	0
	6年	1	5.9	0	0	2	22.2	0	0	0	0	0	0	1	9.1	0	0	1	11.1	2	40.0
	7年	1	5.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専						攻						N.A							
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会			経営・経済		政治・法律		その他文系		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数
	9年以上 NA 計	0 6 17	0 35.3 100.0	2 1 10	20.0 10.0 100.0	0 1 9	0 11.1 100.0	0 0 0	0 0 0	0 0 2	0 0 100.0	0 2 5	0 40.0 100.0	0 1 11	0 9.1 100.0	0 0 7	0 0 100.0	0 1 9	0 11.1 100.0	1 1 5	1 20.0 100.0
1-(2)-C 学校は次のいずれでしたか	高 校 大 学 大学院 NA 計	4 10 3 0 17	23.5 58.8 17.6 0 100.0	2 4 4 0 10	20.0 40.0 40.0 0 100.0	1 2 5 1 9	11.1 22.2 55.6 11.1 100.0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 1 1 0 2	0 50.0 50.0 0 100.0	2 1 2 0 5	40.0 20.0 40.0 0 100.0	1 4 6 0 11	9.1 36.4 54.5 0 100.0	3 0 3 1 7	42.9 0 42.9 14.3 100.0	1 2 6 0 9	11.1 22.2 66.7 0 100.0	1 3 6 0 5	1 20.0 60.0 20.0 100.0
2. 今回の留学で日本は留学生と第1志望でないなるときの第1志望国でしたか	第1志望国 第1志望でない NA 計	187 95 9 291	64.3 32.6 3.1 100.0	59 26 2 87	67.8 29.9 2.3 100.0	65 22 1 88	73.9 25.0 1.1 100.0	13 11 2 26	50.0 42.3 7.7 100.0	26 1 0 27	96.3 3.7 0 100.0	44 7 2 53	83.0 13.2 3.8 100.0	108 28 0 136	79.4 20.6 0 100.0	30 7 1 38	78.9 18.4 2.6 100.0	100 21 1 122	82.0 17.2 0.8 100.0	78 17 4 99	78.8 17.2 4.0 100.0
2-(2)-A それでは、第1志望の国はどこでしたか	北 米 南 米 西 欧 東 欧 中 東 アフリカ 南アジア 東南アジア 東アジア その他 NA 計	62 0 18 0 0 0 0 0 0 1 14 95	65.3 0 18.9 0 0 0 0 0 0 1.1 14.7 100.0	18 0 5 0 0 0 0 0 0 3 26	69.2 0 19.2 0 0 0 0 0 0 11.5 14.7 100.0	11 0 8 0 0 0 0 0 0 3 22	50.0 0 36.4 0 0 0 0 0 0 0 13.6 100.0	6 0 2 0 0 0 0 0 0 0 2 11	54.5 0 18.2 0 0 0 0 0 0 9.1 18.2 100.0	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2	100.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 18.2 100.0	7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7	100.0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 100.0	19 0 4 0 0 0 0 0 0 0 5 28	67.9 0 14.3 0 0 0 0 0 0 0 17.9 100.0	5 0 1 0 0 0 0 0 0 1 7	71.4 0 14.3 0 0 0 0 0 0 14.3 100.0	14 0 5 0 0 0 0 0 0 2 21	66.7 0 23.8 0 0 0 0 0 0 9.5 100.0	10 0 4 0 0 0 0 0 0 3 17	58.8 0 23.5 0 0 0 0 0 0 17.6 100.0
3. 日本留学後の経緯	親 類 知人、友人 あなたは保証人	21 47 72	7.2 16.2 24.7	6 9 24	6.9 10.3 27.6	11 21 22	12.5 23.9 25.0	3 6 5	11.5 23.1 19.2	1 6 12	3.7 22.2 44.4	4 26 11	7.5 49.1 20.8	22 54 29	16.2 39.7 21.3	2 12 17	5.3 31.6 44.7	15 37 33	12.3 30.3 27.0	8 14 30	8.1 14.1 30.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	尊										攻										別	
		理工		農学		医学		その他理学		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A			
		実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)		
をだれに頼みま したか	その他 NA 計	89 62 291	30.6 21.3 100.0	25 23 87	28.7 26.4 100.0	13 21 88	14.8 23.9 100.0	4 8 26	15.4 30.8 100.0	4 4 27	14.8 14.8 100.0	8 4 53	15.1 7.5 100.0	12 19 136	8.8 14.0 100.0	4 3 38	10.5 7.9 100.0	13 24 122	10.7 19.7 100.0	11 36 99	11.1 36.4 100.0		
3-(2)-1 日本に入国した 年	1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 NA 計	0 0 0 0 0 0 0 2 0 2 2 1 1 4 11 25 38 36 37 35 0 97 291	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.7 0.0 0.7 0.7 0.3 0.3 1.4 3.8 8.6 13.1 12.4 12.7 12.0 0.0 33.3 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 6 4 13 22 8 2 30 87	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.1 1.1 6.9 4.6 14.9 25.3 9.2 2.3 34.5 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 2 1 3 10 7 11 14 11 11 0 27 88	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 2.3 2.3 1.1 3.4 11.4 8.0 12.5 15.9 12.5 0.0 30.7 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 3 3 4 6 3 3 8 26	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 3.8 3.8 11.5 23.1 11.5 0.0 30.8 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 26	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 5.3 5.3 15.8 10.3 12.5 7.4 0.0 0.0 17.0 17.0 9.4 5.7 5.7 0.0 0.0 34.0 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 17 20 23 14 17 10 0 0 18 136	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.7 0.7 0.7 0.7 12.5 14.7 16.9 10.3 12.5 7.4 0.0 0.0 17.0 17.0 9.4 5.7 5.7 0.0 0.0 17.0 17.0 9.4 5.7 5.7 0.0 0.0 34.0 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 2 2 3 4 4 8 11 0 0 5 34 38	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 5.3 5.3 15.8 10.3 12.5 7.4 0.0 0.0 17.0 17.0 9.4 5.7 5.7 0.0 0.0 17.0 17.0 9.4 5.7 5.7 0.0 0.0 34.0 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 16 16 17 7 7 21 23 0 0 34 122	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.8 0.0 0.0 0.8 13.1 13.9 5.7 17.2 18.9 0.0 0.0 27.9 100.0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 3 3 5 8 3 14 23 0 0 41 99	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1.0 1.0 3.0 5.1 8.1 3.0 14.1 23.2 0.0 0.0 41.4 100.0				
3-(2)-2 日本語学校に入	入学した 入学しない	139 36	47.8 12.4	28 23	32.2 26.4	40 19	45.5 21.6	9 6	34.6 23.1	11 7	40.7 25.9	26 6	49.1 11.3	98 12	72.1 8.8	19 13	50.0 34.2	56 25	45.9 20.5	41 17	41.4 17.2		



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別									
		理工	農学	医学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A	実数	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)					
		実数 (%)																			
	その他理科	0	0	0	0	26	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	日本語	0	0	0	0	0	0	27	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	人文社会	0	0	0	0	0	0	0	0	53	100.0	0	0	0	0	0	0	0			
	経営経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	100.0	0	0	0	0	0			
	政治法律	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	100.0	0	0	0			
	その他文科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122	100.0	0			
	N.A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99			
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0		
4. 奨学金について																					
4. (1)あなた	もらっていない	44	15.1	13	14.9	24	27.3	5	19.2	1	3.7	13	24.5	24	17.6	6	15.8	18	14.8	21	21.2
	は奨学金をもら	240	82.5	71	81.6	64	72.7	21	80.8	26	96.3	39	73.6	111	81.6	31	81.6	101	82.8	71	71.7
	っていますか	7	2.4	3	3.4	0	0	0	0	0	0	1	1.9	1	0.7	1	2.6	3	2.5	7	7.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
4 (2)-1	母国の政府奨学金	45	18.8	6	8.5	9	14.1	4	19.0	1	3.8	2	5.1	10	9.0	2	6.5	4	4.0	11	15.5
	母国民間団体奨学金	5	2.1	0	0	0	0	1	4.8	0	0	1	2.6	2	1.8	2	6.5	0	0	1	1.4
	日本文部省奨学金	140	58.3	54	76.1	44	68.8	11	52.4	18	69.2	16	41.0	52	46.8	20	64.5	59	58.4	50	70.4
	日本私費留学	38	15.8	8	11.3	10	15.6	3	14.3	7	26.9	16	41.0	39	35.1	4	12.9	27	26.7	6	8.5
	日本奨学金	1	0.4	1	1.4	0	0	2	9.5	0	0	1	2.6	2	1.8	0	0	3	3.0	1	1.4
	日本地方自治	10	4.2	2	2.8	1	1.6	0	0	0	0	3	7.7	6	5.4	3	9.7	7	6.9	2	2.8
	体奨学金	1	0.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.0	0	0
	その他	240	100.0	71	100.0	64	100.0	21	100.0	26	100.0	39	100.0	111	100.0	31	100.0	101	100.0	71	100.0
	計	27	11.3	2	2.8	6	9.4	4	19.0	6	23.1	16	41.0	49	44.1	4	12.9	27	26.7	6	8.5
4 (2)-2	～50千円	47	19.6	9	12.7	10	15.6	4	19.0	2	7.7	5	12.8	9	8.1	1	3.2	8	7.9	10	14.1
	50～100千円	29	12.1	6	8.5	6	9.4	1	4.8	3	11.5	4	10.3	11	9.9	8	25.8	10	9.9	7	9.9
	100～150	119	49.6	50	70.4	39	60.9	10	47.6	14	53.8	12	30.8	39	35.1	17	54.8	51	50.5	45	63.4
	150～200	2	0.8	0	0	0	0	0	0	1	3.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	200～250	1	0.4	1	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	250～300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	300千円以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	15	6.3	3	4.2	3	4.7	2	9.5	0	0	2	5.1	3	2.7	1	3.2	5	5.0	3	4.2
	計	240	100.0	71	100.0	64	100.0	21	100.0	26	100.0	39	100.0	111	100.0	31	100.0	101	100.0	71	100.0
5. 日本留学を決めるにあたって、次のことはどの程度影響力がありましたか																					
5-1(1) 母国に適切な勉 学、研究の機会 がなかったこと	大きな影響力	58	19.9	21	24.1	13	14.8	5	19.2	9	33.3	12	22.6	23	16.9	7	18.4	23	18.9	13	13.1
	一応影響力	77	26.5	28	32.2	33	37.5	12	46.2	9	33.3	15	28.3	35	25.7	8	21.1	39	32.0	23	23.2
	全く影響なし	114	39.2	23	26.4	33	37.5	5	19.2	7	25.9	21	39.6	59	43.4	20	52.6	38	31.1	45	45.5
	なんともいえない	22	7.6	10	11.5	3	3.4	2	7.7	1	3.7	4	7.5	12	8.8	2	5.3	12	9.8	8	8.1
	NA	20	6.9	5	5.7	6	6.8	2	7.7	1	3.7	1	1.9	7	5.1	1	2.6	10	8.2	10	10.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-1(2) 先生、先輩、知 人等からの日本 留学の勧めがあ ったこと	大きな影響力	58	19.9	23	26.4	24	27.3	3	11.5	9	33.3	14	26.4	31	22.8	8	21.1	30	24.6	15	15.2
	一応影響力	85	29.2	25	28.7	31	35.2	10	38.5	7	25.9	18	34.0	35	25.7	12	31.6	41	33.6	28	28.3
	全く影響なし	115	39.5	29	33.3	27	30.7	11	42.3	9	33.3	16	30.2	58	42.6	16	42.1	40	32.8	40	40.4
	なんともいえない	12	4.1	3	3.4	2	2.3	0	0	1	3.7	3	5.7	4	2.9	0	0	2	1.6	3	3.0
	NA	21	7.2	7	8.0	4	4.5	2	7.7	1	3.7	2	3.8	8	5.9	2	5.3	9	7.4	13	13.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-1(3) 母国における、 日本留学につい ての高い評価	大きな影響力	39	13.4	8	9.2	12	13.6	2	7.7	2	7.4	7	13.2	21	15.4	6	15.8	17	13.9	12	12.1
	一応影響力	127	43.6	41	47.1	34	38.6	12	46.2	11	40.7	18	34.0	55	40.4	14	36.8	50	41.0	38	38.4
	全く影響なし	73	25.1	29	33.3	32	36.4	6	23.1	9	33.3	20	37.7	40	29.4	15	39.5	33	27.0	27	27.3
	なんともいえない	29	10.0	6	6.9	6	6.8	4	15.4	4	14.8	7	13.2	12	8.8	2	5.3	12	9.8	11	11.1
	NA	23	7.9	3	3.4	4	4.5	2	7.7	1	3.7	1	1.9	8	5.9	1	2.6	10	8.2	11	11.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-1(4) 母国の家庭から の経済的援助が 約束された	大きな影響力	20	6.9	2	2.3	3	3.4	1	3.8	2	7.4	8	15.1	12	8.8	5	13.2	8	6.6	3	3.0
	一応影響力	25	8.6	14	16.1	12	13.6	4	15.4	3	11.1	10	18.9	24	17.6	4	10.5	24	19.7	13	13.1
	全く影響なし	192	66.0	57	65.5	57	64.8	17	65.4	18	66.7	32	60.4	78	57.4	28	73.7	72	59.0	60	60.6
	なんともいえない	31	10.7	8	9.2	7	8.0	2	7.7	2	7.4	1	1.9	10	7.4	0	0	8	6.6	11	11.1
	NA	23	7.9	6	6.9	9	10.2	2	7.7	2	7.4	2	3.8	12	8.8	1	2.6	10	8.2	12	12.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-1(5)	大きな影響力	16	5.5	8	9.2	4	4.5	2	7.7	1	3.7	9	17.0	14	10.3	3	7.9	13	10.7	6	6.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										攻										別							
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A									
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
家族から外国留学体験を要請された	一応影響力なく影響なし なんともいえない NA	58	19.9	20	23.0	20	22.7	4	15.4	5	18.5	6	11.3	28	20.6	7	18.4	20	16.4	17	17.2	56	56.6	6	6.1	14	14.1	99	100.0
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	122	100.0	99	100.0						
5-(6) 母国から日本は距離的に近い	大きな影響力 一応影響力なく影響なし なんともいえない NA	32	11.0	8	9.2	20	22.7	3	11.5	2	7.4	5	9.4	26	19.1	5	13.2	26	21.3	13	13.1	27	27.3	31	25.4	40	40.4	4	4.0
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	122	100.0	99	100.0						
5-(7) 母国のかかえる問題現象は日本も似通っており日本はそれを早く解決しようとした国である	大きな影響力 一応影響力なく影響なし なんともいえない NA	48	16.5	20	23.0	11	12.5	7	26.9	2	7.4	6	11.3	32	23.5	14	36.8	20	16.4	21	21.2	33	33.3	29	23.8	47	38.5	27	27.3
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	122	100.0	99	100.0						
5-(8) 日本の文部省奨学金が得られたこと	大きな影響力 一応影響力なく影響なし なんともいえない NA	83	28.5	34	39.1	34	38.6	11	42.3	13	48.1	14	26.4	35	25.7	17	44.7	44	36.1	34	34.3	33	33.4	10	10.1	51	41.8	35	35.4
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	122	100.0	99	100.0						
5-(9) 日本に住む親戚知人、団体等からの経済的援助が約束されたこと	大きな影響力 一応影響力なく影響なし なんともいえない NA	9	3.1	2	2.3	2	2.3	3	11.5	1	3.7	1	1.9	9	6.6	0	0	8	6.6	9	9.1	15	15.0	2	2.3	33	26.8	82	82.0
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	122	100.0	99	100.0						

質問(項目)番号 質問内容	専攻										別									
	理工		農学		医学・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
と	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-00) 大きな影響力	29	10.0	8	9.2	5	5.7	2	7.7	17	63.0	17	32.1	23	16.9	13	34.2	33	27.0	14	14.1
一応影響力	59	20.3	23	26.4	25	28.4	10	38.5	4	14.8	14	26.4	40	29.4	6	15.8	24	19.7	27	27.3
全く影響なし	146	50.2	40	46.0	44	50.0	11	42.3	5	18.5	19	35.8	56	41.2	17	44.7	45	36.9	40	40.4
なんともいえない	31	10.7	9	10.3	6	6.8	1	3.8	1	3.7	1	1.9	9	6.6	1	2.6	10	8.2	6	6.1
NA	26	8.9	7	8.0	8	9.1	2	7.7	0	0	2	3.8	8	5.9	1	2.6	10	8.2	12	12.1
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-01) 大きな影響力	121	41.6	35	40.2	26	29.5	14	53.8	21	77.8	23	43.4	71	52.2	27	71.1	53	43.4	38	38.4
一応影響力	130	44.7	35	40.2	46	52.3	8	30.8	5	18.5	23	43.4	52	38.2	9	23.7	53	43.4	37	37.4
全く影響なし	23	7.9	8	9.2	11	12.5	1	3.8	1	3.7	5	9.4	4	2.9	1	2.6	8	6.6	10	10.1
なんともいえない	2	0.7	2	2.3	1	1.1	0	0	0	0	2	3.8	2	1.5	0	0	0	0	3	3.0
NA	15	5.2	7	8.0	4	4.5	3	11.5	0	0	0	0	7	5.1	1	2.6	8	6.6	11	11.1
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-02) 大きな影響力	4	1.4	0	0	0	0	1	3.8	1	3.7	0	0	3	2.2	1	2.6	0	0	1	1.0
一応影響力	13	4.5	6	6.9	4	4.5	3	11.5	1	3.7	2	3.8	11	8.1	1	2.6	3	2.5	7	7.1
全く影響なし	217	74.6	63	72.4	62	70.5	18	69.2	20	74.1	46	86.8	102	75.0	32	84.2	93	76.2	65	65.7
なんともいえない	32	11.0	11	12.6	13	14.8	2	7.7	3	11.1	3	5.7	10	7.4	3	7.9	14	11.5	12	12.1
NA	25	8.6	7	8.0	9	10.2	2	7.7	2	7.4	2	3.8	10	7.4	1	2.6	12	9.8	14	14.1
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-03) 大きな影響力	23	7.9	9	10.3	5	5.7	0	0	15	55.6	20	37.7	18	13.2	7	18.4	23	18.9	14	14.1
一応影響力	68	23.4	19	21.8	17	19.3	6	23.1	7	25.9	13	24.5	33	24.3	8	21.1	30	24.6	16	16.2
全く影響なし	166	57.0	48	55.2	52	59.1	16	61.5	4	14.8	18	34.0	74	54.4	22	57.9	53	43.4	53	53.5
なんともいえない	13	4.5	6	6.9	4	4.5	2	7.7	1	3.7	1	1.9	2	1.5	0	0.0	5	4.1	4	4.0
NA	21	7.2	5	5.7	10	11.4	2	7.7	0	0	1	1.9	9	6.6	1	2.6	11	9.0	12	12.1
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
5-04) 大きな影響力	33	11.3	5	5.7	10	11.4	3	11.5	11	40.7	9	17.0	29	21.3	7	18.4	20	16.4	12	12.1
一応影響力	124	42.6	33	37.9	38	43.2	10	38.5	13	48.1	24	45.3	53	39.0	18	47.4	47	38.5	33	33.3
全く影響なし	88	30.2	36	41.4	28	31.8	10	38.5	2	7.4	17	32.1	39	28.7	9	23.7	34	27.9	28	28.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別									
		理工		農学		医学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		NA	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
あったこと	なんともいえない NA 計	29	6.9	7	8.0	4	4.5	0	0	1	3.7	1	1.9	3	2.2	2	5.3	8	6.6	8	8.1
6. 現在留學生の大学(院)について、第一志望と考えていたところですか		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
6. 現在留学して いる大学(院)は そうではない 第一志望と考えて いたところですか	その通りである そうではない NA 計	215	73.9	74	85.1	63	71.6	20	76.9	22	81.5	43	81.1	109	80.1	27	71.1	99	81.1	67	67.7
6-1) (第一志望と答 えた)理由	入学試験合格 文部省の配属 その大学の推薦 その他の理由 NA 計	66	30.7	14	18.9	33	52.4	6	30.0	10	45.5	27	62.8	65	59.6	12	44.4	34	34.3	29	43.3
6-2) (第一志望でな いと答えた)理 由	入試の失敗 文部省の配属 大学推薦得られず その他の理由 NA 計	56	74.7	9	75.0	18	78.3	4	66.7	3	100.0	4	50.0	11	42.3	6	75.0	14	70.0	17	73.9
6-3) (留学先の大学) 必ずしもそうでない A. 日本ではよい 大学(院)である	必ずしもそうでない なんともいえない わからない NA 計	3	4.0	1	8.3	0	0	0	0	0	0	1	12.5	4	15.4	1	12.5	0	0	3	13.0
6-3)-B 専門分野によい	その通り 必ずしもそうでない	11	14.7	2	16.7	4	17.4	2	33.3	0	0	3	37.5	5	19.2	1	12.5	3	15.0	2	8.7
		75	100.0	12	100.0	23	100.0	6	100.0	3	100.0	8	100.0	26	100.0	8	100.0	29	100.0	23	100.0
	その通り	201	69.1	48	55.2	61	69.3	14	53.8	17	63.0	36	67.9	87	64.0	28	73.7	71	58.2	53	53.5
	必ずしもそうでない	37	12.7	15	17.2	9	10.2	7	26.9	4	14.8	10	18.9	23	16.9	1	2.6	20	16.4	19	19.2
	なんともいえない	14	4.8	10	11.5	6	6.8	3	11.5	3	11.1	2	3.8	13	9.6	5	13.2	16	13.1	10	10.1
	わからない	27	9.3	8	9.2	7	8.0	1	3.8	2	7.4	1	1.9	5	3.7	1	2.6	8	6.6	6	6.1
	NA	12	4.1	6	6.9	5	5.7	1	3.8	1	3.7	4	7.5	8	5.9	3	7.9	7	5.7	11	11.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
	その通り	202	69.4	48	55.2	53	60.2	19	73.1	15	55.6	37	69.8	74	54.4	21	55.3	63	51.6	61	61.6
	必ずしもそうでない	36	12.4	18	20.7	14	15.9	4	15.4	5	18.5	8	15.1	30	22.1	8	21.1	30	24.6	11	11.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)																		
研究者がいる	なんともいえない	21	7.2	9	10.3	4	4.5	2	7.7	3	11.1	3	5.7	11	8.1	2	5.3	11	9.0	12	12.1
	わからない	18	6.2	6	6.9	9	10.2	1	3.8	3	11.1	1	1.9	10	7.4	3	7.9	10	8.2	5	5.1
	NA	14	4.8	6	6.9	8	9.1	0	0	1	3.7	4	7.5	11	8.1	4	10.5	8	6.6	10	10.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
6—(3)—C 教育、研究環境 がよい	その通り	161	55.3	47	54.0	44	50.0	18	69.2	16	59.3	31	58.5	76	55.9	24	63.2	73	59.8	49	49.5
	必ずしもそうでない	78	26.8	19	21.8	18	20.5	6	23.1	6	22.2	14	26.4	36	26.5	9	23.7	19	15.6	15	15.2
	なんともいえない	25	8.6	8	9.2	10	11.4	2	7.7	3	11.1	4	7.5	11	8.1	1	2.6	17	13.9	15	15.2
	わからない	10	3.4	7	8.0	6	6.8	0	0	1	3.7	1	1.9	6	4.4	0	0	5	4.1	6	6.1
	NA	17	5.8	6	6.9	10	11.4	0	0	1	3.7	3	5.7	7	5.1	4	10.5	8	6.6	14	14.1
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
7. 日本留学終了後の計画について																					
7—(1) 留学後、帰国し ますか	直ちに母国に 帰国する	167	57.4	70	80.5	38	43.2	17	65.4	19	70.4	23	43.4	58	42.6	23	60.5	67	54.9	64	64.6
	日本以外の国にゆく	18	6.2	9	10.3	7	8.0	3	11.5	1	3.7	7	13.2	11	8.1	4	10.5	13	10.7	3	3.0
	なお日本に留まる	40	13.7	1	1.1	12	13.6	5	19.2	1	3.7	7	13.2	31	22.8	2	5.3	12	9.8	10	10.1
	いまのところ 決めていない	64	22.0	7	8.0	29	33.0	1	3.8	5	18.5	16	30.2	36	26.5	9	23.7	30	24.6	22	12.2
	NA	2	0.7	0	0	2	2.3	0	0	1	3.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
7—(2) (帰国する人に ついてのみ) 帰 国して何をす るか	前職に復帰する	70	41.9	38	54.3	18	47.4	10	58.8	8	42.1	6	26.1	16	27.6	11	47.8	27	40.3	36	56.3
	新しく職を探す	52	31.1	16	22.9	10	25.3	2	11.8	7	36.8	9	39.1	28	48.3	7	30.4	22	32.8	14	21.9
	進学、復学し る	8	4.8	5	7.1	3	7.9	2	11.8	3	15.8	2	8.7	2	3.4	4	17.4	6	9.0	3	4.7
	進学を続ける 家族のしてい く仕事につく る	1	0.6	1	1.4	0	0	0	0	0	0	2	8.7	2	3.4	0	0	1	1.5	0	0
	いまのところ 決めていない	28	16.8	10	14.3	6	15.8	3	17.6	1	5.3	4	17.4	10	17.2	1	4.3	10	14.9	11	17.2
NA	8	4.8	0	0	1	2.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.5	0	0	
計	167	100.0	70	100.0	38	100.0	17	100.0	19	100.0	23	100.0	58	100.0	23	100.0	67	100.0	64	100.0	
8. 日本語の学習について、母国でのあなた自身の経験や身近な事情を教えてください																					
8—(1) 母国にある日本 語学校で学習す	できた	148	50.9	35	40.2	35	39.8	10	38.5	23	85.2	34	64.2	67	49.3	18	47.4	55	45.1	49	49.5
	できなかった	129	44.3	43	49.4	47	53.4	13	50.0	3	11.1	17	32.1	57	41.9	16	42.1	57	46.7	37	37.4
	NA	14	4.8	9	10.3	6	6.8	3	11.5	1	3.7	2	3.8	12	8.8	4	10.5	10	8.2	13	13.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻												別							
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	ることが	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
8一(2)	できた	198	68.0	57	65.5	55	62.5	19	73.1	19	70.4	42	79.2	91	66.9	21	55.3	82	67.2	53	53.5
	できなかった	71	24.4	23	26.4	26	29.5	3	11.5	7	25.9	9	17.0	32	23.5	12	31.6	29	23.8	29	29.3
	NA	22	7.6	7	8.0	7	8.0	4	15.4	1	3.7	2	3.8	13	9.6	5	13.2	11	9.0	17	17.2
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
8一(3)	できた	93	32.0	29	33.3	16	18.2	8	30.8	10	37.0	13	24.5	34	25.0	9	23.7	35	28.7	30	30.3
	できなかった	176	60.5	48	55.2	64	72.7	14	53.8	16	59.3	37	69.8	84	61.8	25	65.8	75	61.5	51	51.5
	NA	22	7.6	10	11.5	8	9.1	4	15.4	1	3.7	3	5.7	18	13.2	4	10.5	12	9.8	18	18.2
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
8一(4)	できた	119	40.9	38	43.7	31	35.2	10	38.5	20	74.1	35	66.0	58	42.6	16	42.1	56	45.9	38	38.4
	できなかった	144	49.5	38	43.7	49	55.7	12	46.2	6	22.2	16	30.2	61	44.9	18	47.4	51	41.8	42	42.4
	NA	28	9.6	11	12.6	8	9.1	4	15.4	1	3.7	2	3.8	17	12.5	4	10.5	15	12.3	19	19.2
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
8一(5)	できた	55	18.9	15	17.2	11	12.5	2	7.7	10	37.0	19	35.8	35	25.7	10	26.3	25	20.5	13	13.1
	できなかった	209	71.8	60	69.0	69	78.4	20	76.9	15	55.6	32	60.4	84	61.8	24	63.2	84	68.9	65	65.7
	NA	27	9.3	12	13.8	8	9.1	4	15.4	2	7.4	2	3.8	17	12.5	4	10.5	13	10.7	21	21.2
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
8一(6)	できた	162	55.7	39	44.8	38	43.2	14	53.8	16	59.3	30	56.6	80	58.8	21	55.3	68	55.7	43	43.4
	できなかった	106	36.4	37	42.5	41	46.6	8	30.8	10	37.0	20	37.7	41	30.1	13	34.2	41	33.6	36	36.4
	NA	23	7.9	11	12.6	9	10.2	4	15.4	1	3.7	3	5.7	15	11.0	4	10.5	13	10.7	20	20.2
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
9.	現在の日本語の力について(あなた自身の日本語の力をどのように評価しますか)																				
9一(1)	十分にできる	101	34.7	21	24.1	22	25.0	9	34.6	16	59.3	22	41.5	33	24.3	8	21.1	34	27.9	20	20.2
	一応はできる	126	43.3	37	42.5	38	43.2	10	38.5	9	33.3	30	56.6	80	58.8	16	42.1	51	41.8	48	48.5
	なんとかできる	49	16.8	18	20.7	22	25.0	6	23.1	2	7.4	1	1.9	21	15.4	6	15.8	29	23.8	23	23.2
	全くできない	11	3.8	9	10.3	6	6.8	1	3.8	0	0	0	0	2	1.5	6	15.8	6	4.9	6	6.1
	NA	4	1.4	2	2.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5.3	2	1.6	2	2.0
	計	291	100.0	86	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)																		
9-1(2) 日本語で授業の ときに質問する こと	十分にできる	82	28.2	18	20.7	18	20.5	6	23.1	12	44.4	20	37.7	35	25.7	7	18.4	29	23.8	22	22.2
	一応はできる	115	39.5	32	36.8	32	36.4	10	38.5	12	44.4	22	41.5	59	43.4	14	36.8	57	46.7	40	40.4
	なんとかできる	68	23.4	26	29.9	29	33.0	8	30.8	2	7.4	8	15.1	37	27.2	12	31.6	31	25.4	32	32.3
	全くできない	20	6.9	9	10.3	7	8.0	2	7.7	1	3.7	0	0	5	3.7	3	7.9	3	2.5	3	3.0
	NA	6	2.1	2	2.3	2	2.3	0	0	0	0	3	5.7	0	0	2	5.3	2	1.6	2	2.0
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
9-1(3) 日本語の研究論 文を読むこと	十分にできる	104	35.7	24	27.6	22	25.0	9	34.6	10	37.0	21	39.6	37	27.2	8	21.1	30	24.6	24	24.2
	一応はできる	90	30.9	28	32.2	29	33.0	5	19.2	9	33.3	22	41.5	63	46.3	15	39.5	52	42.6	34	34.3
	なんとかできる	58	19.9	11	12.6	12	13.6	8	30.8	7	25.9	9	17.0	25	18.4	5	13.2	16	13.1	21	21.2
	全くできない	33	11.3	21	24.1	25	28.4	4	15.4	1	3.7	0	0	11	8.1	8	21.1	21	17.2	18	18.2
	NA	6	2.1	3	3.4	0	0	0	0	0	0	1	1.9	0	0	2	5.3	3	2.5	2	2.0
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
9-1(4) 日本語で論文、 レポートを書く こと	十分にできる	51	17.5	12	13.8	7	8.0	6	23.1	6	22.2	15	28.3	18	13.2	5	13.2	14	11.5	13	13.1
	一応はできる	112	38.5	29	33.2	30	34.1	5	19.2	13	48.1	21	39.6	62	45.6	13	34.2	53	43.4	34	34.3
	なんとかできる	81	27.8	22	25.3	27	30.7	9	34.6	4	14.8	15	28.3	43	31.6	10	26.3	28	23.0	26	26.3
	全くできない	44	15.1	21	24.1	24	27.3	6	23.1	4	14.8	1	1.9	13	9.6	9	23.7	24	19.7	23	23.2
	NA	3	1.0	3	3.4	0	0	0	0	0	0	1	1.9	0	0	1	2.6	3	2.5	3	3.0
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
9-1(5) 日常生活に差支 えない程度の日 本語での会話	十分にできる	120	41.2	36	41.4	36	40.9	10	38.5	20	74.1	31	58.5	69	50.7	13	34.2	49	40.2	32	32.3
	一応はできる	123	42.3	30	34.5	33	37.5	11	42.3	5	18.5	19	35.8	57	41.9	16	42.1	47	38.5	37	37.4
	なんとかできる	37	12.7	13	14.9	15	17.0	4	15.4	2	7.4	1	3.8	9	6.6	5	13.2	20	16.4	23	23.2
	全くできない	8	2.7	5	5.7	4	4.5	1	3.8	0	0	0	0	0	0	2	5.3	3	2.5	5	5.1
	NA	3	1.0	3	3.4	0	0	0	0	0	0	1	1.9	1	0.7	2	5.3	3	2.5	2	2.0
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
9-1(6) テレビ、ラジオ で日本語の放送 を聞くこと	十分にできる	99	34.0	21	24.1	23	26.1	11	42.3	10	37.0	23	43.4	47	34.6	10	26.3	41	33.6	26	26.3
	一応はできる	129	44.3	40	46.0	41	46.6	8	30.8	14	51.9	26	49.1	71	52.2	17	44.7	48	39.3	36	36.4
	なんとかできる	54	18.6	21	24.1	19	21.6	4	15.4	3	11.1	3	5.7	17	12.5	5	13.2	21	17.2	27	27.3
	全くできない	6	2.1	4	4.6	4	4.5	3	11.5	0	0	0	0	1	0.7	3	7.9	8	6.6	8	8.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										攻										別	
		理工		農学		医学・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	3	1.0	1	1.1	1	1.1	0	0	0	0	1	1.9	0	0	3	7.9	4	3.3	2	2.0		
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0		
9一(7)	十分にできる	95	32.6	23	26.4	24	27.3	7	26.9	13	48.1	23	43.4	36	26.5	10	26.3	24	19.7	21	21.2		
	一応はできる	98	33.7	23	26.4	24	27.3	9	34.6	9	33.3	24	45.3	66	48.5	14	36.8	61	50.0	32	32.3		
	なんとかできる	54	18.6	16	18.4	11	12.5	5	19.2	2	7.4	4	7.5	22	16.2	2	5.3	10	8.2	16	16.2		
	全くできない	41	14.1	23	26.4	28	31.8	5	19.2	3	11.1	1	1.9	11	8.1	10	26.3	25	20.5	29	29.3		
	NA	3	1.0	2	2.3	1	1.1	0	0	0	0	1	1.9	1	0.7	2	5.3	2	1.6	1	1.0		
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0		
9一(8)	十分にできる	56	19.2	13	14.9	16	18.2	7	26.9	12	44.4	21	39.6	29	21.3	7	18.4	24	19.7	17	17.2		
	一応はできる	119	40.9	36	41.4	35	39.8	7	26.9	9	33.3	22	41.5	66	48.5	16	42.1	57	46.7	32	32.3		
	なんとかできる	88	30.2	23	26.4	21	23.9	9	34.6	5	18.5	10	18.9	37	27.2	5	13.2	24	19.7	29	29.3		
	全くできない	25	8.6	13	14.9	16	18.2	3	11.5	1	3.7	0	0	3	2.2	8	21.1	15	12.3	19	19.2		
	NA	3	1.0	2	2.3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	2	5.3	2	1.6	2	2.0		
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0		
10. 学部課程カリキュラムについて(母国でうけた高校の教育水準からみて難かすぎると考えますか)																							
	大きな格差はないと思う	46	55.4	3	42.9	23	82.1	11	100.0	6	85.7	12	60.0	48	67.6	4	40.0	33	76.7	10	55.6		
	ある科目は難しすぎると思う	34	41.0	2	28.6	5	17.9	0	0	0	0	6	30.0	22	31.0	4	40.0	7	16.3	7	38.9		
	NA	3	3.6	2	28.6	0	0	0	0	1	14.3	2	10.0	1	1.4	2	20.0	3	7.0	1	5.6		
	計	83	100.0	7	100.0	28	100.0	11	100.0	7	100.0	20	100.0	71	100.0	10	100.0	43	100.0	18	100.0		
10一(2)	理工	1	26	76.5	1	50.0	4	80.0	0	0	0	1	16.7	10	45.5	0	0	2	28.6	3	42.9		
	(難かしいと思	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	33.3	0	0	0	0	1	14.3	0	0		
	う) 具体的科目	6	3	8.8	1	50.0	0	0	0	0	0	1	16.7	3	13.6	2	50.0	3	42.9	1	14.3		
	経営経済	7	1	2.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	18.2	0	0	1	14.3	0	0		
	政治法律	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4.5	1	25.0	0	0	0	0		
	その他	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16.7	0	0	0	0	0	0	0	0		
	NA	4	11.8	0	0	1	20.0	0	0	0	0	1	16.7	4	18.2	1	25.0	0	0	3	42.9		
11. 授業の理解度について(あなたはどの程度理解できていると考えますか)																							
11一(1)	10(%)	1	1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.4	0	0	0	0	0	0		

質問(項目)番号 質問内容	専 攻 別										N.A												
	理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系						
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
一般教養課程の 講義	20	2.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	30	2.4	0	0	1	3.6	1	9.1	0	0	0	0	3	4.2	0	0	5	11.6	0	0	0		
	40	0.6	2	28.6	1	3.6	0	0	0	0	1	5.0	0	0	1	10.0	1	2.3	2	11.1	2	11.1	
	50	10.8	0	0	2	7.1	1	9.1	0	0	1	5.0	6	8.5	0	0	1	2.3	2	11.1	2	11.1	
	60	12.0	1	14.3	4	14.3	1	9.1	1	14.3	3	15.0	5	7.0	1	10.0	8	18.6	3	16.7	3	16.7	
	70	28.9	0	0	7	25.0	2	18.2	2	28.6	6	30.0	20	28.2	2	20.0	6	14.0	4	22.2	4	22.2	
	80	26.5	1	14.3	10	35.7	4	36.4	2	28.6	6	30.0	21	29.6	1	10.0	11	25.6	3	16.7	3	16.7	
	90	7.2	0	0	2	7.1	1	9.1	1	14.3	3	15.0	9	12.7	3	30.0	7	16.3	3	16.7	3	16.7	
	100	2.4	0	0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	4	5.6	2	20.0	1	2.3	1	5.6	1	5.6	
NA	0	0	3	42.9	0	0	1	9.1	1	14.3	0	0	2	2.8	0	0	3	7.0	0	0	0	0	
計	83	100.0	7	100.0	28	100.0	11	100.0	7	100.0	20	100.0	71	100.0	10	100.0	43	100.0	18	100.0	18	100.0	
11-(2) 専門教養課程の 講義	10(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30	1.2	0	0	1	3.6	0	0	0	0	1	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	40	3.6	0	0	1	3.6	1	9.1	0	0	0	0	1	1.4	1	10.0	0	0	0	1	5.6	1	5.6
	50	7.2	0	0	0	0	1	9.1	0	0	0	0	6	8.5	0	0	4	9.3	3	16.7	3	16.7	
	60	12.0	1	14.3	4	14.3	0	0	2	28.6	3	15.0	7	9.9	3	30.0	6	14.0	1	5.6	1	5.6	
	70	34.9	1	14.3	8	28.6	3	27.3	1	14.3	5	25.0	23	32.4	2	20.0	8	18.6	5	27.8	5	27.8	
	80	22.9	1	14.3	8	28.6	3	27.3	1	14.3	7	35.0	21	29.6	2	20.0	12	27.9	4	22.2	4	22.2	
	90	13.3	1	14.3	4	14.3	3	27.3	2	28.6	4	20.0	7	9.9	1	10.0	7	16.3	4	22.2	4	22.2	
	100	2.4	0	0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	2	2.8	1	10.0	2	4.7	0	0	0	0	
NA	2	2.4	3	42.9	1	3.6	0	0	1	14.3	0	0	4	5.6	0	0	4	9.3	0	0	0	0	
計	83	100.0	7	100.0	28	100.0	11	100.0	7	100.0	20	100.0	71	100.0	10	100.0	43	100.0	18	100.0	18	100.0	
11-(3) 専門教養課程の 演習	10(%)	1	1.2	0	0	1	3.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30	0	0	0	0	0	0	1	9.1	0	0	0	1	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	
	40	2.4	0	0	1	3.6	0	0	0	0	1	5.0	2	2.8	0	0	0	0	0	0	1	5.6	
	50	13.3	1	14.3	0	0	1	9.1	0	0	1	5.0	4	5.6	1	10.0	2	4.7	3	16.7	3	16.7	

質問(項目)番号 質問内容	専 攻										別										
	理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A		
	実数	(%)																			
60	4	4.8	0	0	6	21.4	1	9.1	2	28.6	1	5.0	7	9.9	2	20.0	5	11.6	2	11.1	
70	25	30.1	1	14.3	6	21.4	2	18.2	1	14.3	6	30.0	16	22.5	2	20.0	14	32.6	4	22.2	
80	17	20.5	1	14.3	7	25.0	3	27.3	0	0	4	20.0	20	28.2	2	20.0	6	14.0	5	27.8	
90	12	14.5	1	14.3	4	14.3	2	18.2	3	42.9	5	25.0	8	11.3	1	10.0	8	18.6	2	11.1	
100	4	4.8	0	0	1	3.6	1	9.1	0	0	0	0	2	2.8	1	10.0	2	4.7	0	0	
NA	7	8.4	3	43.9	2	7.1	0	0	1	14.3	2	10.0	11	15.5	1	10.0	6	14.0	1	5.6	
計	83	100.0	7	100.0	28	100.0	11	100.0	7	100.0	20	100.0	71	100.0	10	100.0	43	100.0	18	100.0	
11-(4)	10(%)	0	0	0	1	3.6	0	0	0	0	1	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	
専門教養課程の 実習	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30	1	1.2	0	0	0	0	1	9.1	0	0	0	0	1	1.4	0	0	0	0	0	0	
40	1	1.2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10.0	1	1.4	0	0	0	0	0	0	
50	11	13.3	1	14.3	1	3.6	1	9.1	0	0	0	0	3	4.2	0	0	2	4.7	2	11.1	
60	3	3.6	0	0	4	14.3	1	9.1	2	28.6	1	5.0	5	7.0	1	10.0	6	14.0	4	22.2	
70	24	28.9	1	14.3	5	17.9	1	9.1	1	14.3	4	20.0	12	16.9	3	30.0	9	20.9	3	16.7	
80	21	25.3	1	14.3	9	32.1	3	27.3	1	14.3	3	15.0	13	18.3	0	0	7	16.3	2	11.1	
90	12	14.5	1	14.3	4	14.3	3	27.3	2	28.6	4	20.9	5	7.0	1	10.0	6	14.0	1	5.6	
100	5	6.0	0	0	1	3.6	1	9.1	0	0	0	0	2	2.8	1	10.0	3	7.0	0	0	
NA	5	6.0	3	42.9	3	10.7	0	0	1	14.3	5	25.0	29	40.8	4	40.0	10	23.3	5	27.8	
計	83	100.0	7	100.0	28	100.0	11	100.0	7	100.0	20	100.0	71	100.0	10	100.0	43	100.0	18	100.0	
12. 大学院での学習等について																					
12. 日本の大学院 で最終的に取得 したい学位	修 士	29	21.6	20	31.3	6	16.7	1	10.0	3	42.9	14	51.9	23	51.1	12	60.0	19	47.5	11	34.4
	博 士	90	67.2	42	65.6	26	72.2	8	80.0	4	57.1	13	48.1	17	36.8	7	35.0	16	40.0	17	53.1
	NA	15	11.2	2	3.1	4	11.1	1	10.1	0	0	0	0	5	11.1	1	5.0	5	12.5	4	12.5
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
12-(1)	理 工	27	93.1	2	10.0	0	0	0	0	0	0	1	7.1	0	0	0	0	0	0	1	9.1
	農 学	1	3.4	14	70.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医・薬学	0	0	0	0	6	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他理科	1	3.4	0	0	0	0	1	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別									
		理工		農学		医学・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	日本語 人文・社会 経営・経済 政治・法律 その他文科 計	0	0	1	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	理工	29	100.0	20	100.0	6	100.0	1	100.0	3	100.0	14	100.0	23	100.0	12	100.0	19	100.0	11	100.0
12-(2)	博士學位	79	87.8	2	4.8	1	3.8	1	12.5	0	0	0	0	2	11.8	0	0	0	0	0	0
	農学	0	0	36	85.7	1	3.8	1	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	医学・薬学	0	0	0	0	18	69.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他理系	3	3.3	0	0	0	0	6	75.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人文・社会	0	0	0	0	0	0	0	0	4	100.0	12	92.3	0	0	0	0	6	37.5	4	23.5
	経営・経済	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	15	88.2	0	0	0	0	0	0
	政治・経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	57.1	0	0	0	0
	その他理系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	62.5	1	5.9
	計	90	100.0	42	100.0	26	100.0	8	100.0	4	100.0	13	100.0	17	100.0	7	100.0	16	100.0	17	100.0
13. 博士學位の取得について (日本のそれは、外国人留学生にとって難かしいといわれていますか、どう考えますか)																					
13-(1)	その通り 日本語の理解が そうではない 十分でないため なんとでもない N.A 計	21	15.7	22	34.4	11	30.6	2	20.0	2	28.6	6	22.2	6	13.3	7	35.0	4	10.0	6	18.8
	理工	76	56.7	27	42.2	14	38.9	5	50.0	4	57.1	15	55.6	25	55.6	10	50.0	19	47.5	16	50.0
	農学	21	15.7	8	12.5	7	19.4	1	10.0	1	14.3	4	14.8	9	20.0	1	5.0	8	20.0	7	21.9
	医学・薬学	16	11.9	7	10.9	4	11.1	2	20.0	0	0	2	7.4	5	11.1	2	10.0	9	22.5	3	9.4
	その他理系	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
13-(2)	その通り 日本語の能力が そうではない 十分でないため 研究資料が理解 できないから 計	23	17.2	21	32.8	11	30.6	2	20.0	2	28.6	3	11.1	7	15.6	7	35.0	8	20.0	3	9.4
	理工	79	59.0	33	51.6	16	44.4	5	50.0	4	57.1	20	74.1	29	64.4	10	50.0	19	47.5	19	59.4
	農学	17	12.7	4	6.3	5	13.9	1	10.0	1	14.3	2	7.4	4	8.9	1	5.0	5	12.5	6	18.8
	医学・薬学	15	11.2	6	9.4	4	11.1	2	20.0	0	0	2	7.4	5	11.1	2	10.0	8	20.0	4	12.5
	その他理系	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
13-(3)	その通り	17	12.7	14	21.9	8	22.2	0	0	2	28.6	4	14.8	9	20.0	8	40.0	12	30.0	6	18.8

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										別									
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
論文執筆に日本語が要求されるから	そうではない	78	58.2	34	53.1	18	50.0	6	60.0	4	57.1	17	63.1	23	51.1	8	40.0	14	35.0	16	50.0
	なんともいえない	23	17.2	10	15.6	5	13.9	2	20.0	1	14.3	4	14.8	6	13.3	2	10.0	5	12.5	6	18.8
	NA	16	11.9	6	9.4	5	13.9	2	20.0	0	0	2	7.4	7	15.6	2	10.0	9	22.5	4	12.5
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
13-(4) 英、仏、独語等2カ国語の履修が要求されるこの面の負担が大きすぎるから	その通り	21	15.7	8	12.5	6	16.7	3	30.0	3	42.9	6	22.2	11	24.4	3	15.0	9	22.5	5	15.6
	そうではない	68	50.7	35	54.7	21	58.3	5	50.0	3	42.9	13	48.1	20	44.4	7	35.0	21	52.5	17	53.1
	なんともいえない	28	20.9	15	23.4	6	16.7	0	0	1	14.3	6	22.2	7	15.6	8	40.0	2	5.0	5	15.6
	NA	17	12.7	6	9.4	3	8.3	2	20.0	0	0	2	7.4	7	15.6	2	10.0	8	20.0	5	15.6
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
14. 学位の利用について、母国ではどの位有利に利用されますか																					
14-(1) 政府・行政機関への就職	大いに有利	29	21.6	11	17.2	4	11.1	4	40.0	3	42.9	6	22.2	13	28.9	8	40.0	10	25.0	10	31.3
	ある程度有利	52	38.8	25	39.1	14	38.9	5	50.0	1	14.3	10	37.0	17	37.8	8	40.0	9	22.5	13	40.6
	無関係	36	26.9	18	28.1	13	36.1	1	10.0	2	28.6	6	22.2	9	20.0	2	10.0	12	30.0	8	25.0
	なんともいえない	7	5.2	6	9.4	2	5.6	0	0	1	14.3	2	7.4	3	6.7	1	5.0	4	10.0	1	3.1
	NA	10	7.5	4	6.3	3	8.3	0	0	0	0	3	11.1	3	6.7	1	5.0	5	12.5	0	0
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
14-(2) 母国の民間トップ企業への就職	大いに有利	22	16.4	4	6.3	2	5.6	2	20.0	1	14.3	4	14.8	12	26.7	3	15.0	4	10.0	3	9.4
	ある程度有利	57	42.5	24	37.5	14	38.9	5	50.0	4	57.1	11	40.7	20	44.4	12	60.0	12	30.0	10	31.3
	無関係	30	22.4	24	37.5	12	33.3	2	20.0	1	14.3	7	25.9	7	15.6	4	20.0	15	37.5	14	43.8
	なんともいえない	13	9.7	7	10.9	4	11.1	0	0	1	14.3	2	7.4	3	6.7	0	0	4	10.0	3	9.4
	NA	12	9.0	5	7.8	4	11.1	1	10.0	0	0	3	11.1	3	6.7	1	5.0	5	12.5	2	6.3
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
14-(3) 母国にある日本(または合弁)企業への就職	大いに有利	28	20.9	9	14.1	4	11.1	3	30.0	3	42.9	5	18.5	14	31.1	4	20.0	3	7.5	4	12.5
	ある程度有利	43	32.1	19	29.7	10	27.8	2	20.0	3	42.9	5	18.5	15	33.3	8	40.0	19	47.5	8	25.0
	無関係	32	23.9	21	32.8	13	36.1	3	30.0	0	0	10	37.0	4	8.9	5	25.0	11	27.5	12	37.5
	なんともいえない	17	12.7	19	15.6	5	13.9	1	10.0	1	14.3	3	11.1	7	15.6	2	10.0	2	5.0	5	15.6
	NA	14	10.4	5	7.8	4	11.1	1	10.0	0	0	4	14.8	5	11.1	1	5.0	5	12.5	3	9.4
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	29	100.0	40	100.0	32	100.0

攻 別

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										攻											
		理工	農学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A	理工	農学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
14-(4) 研究・教育機関 への就職	大いに有利	62	46.3	20	31.3	13	36.1	6	60.6	6	85.7	17	63.0	15	33.3	7	35.0	19	47.5	14	43.8	14	43.8
	ある程度有利	50	37.3	25	39.1	16	44.4	4	40.0	0	0	10	37.9	19	42.2	13	65.0	9	22.5	14	43.8	14	43.8
	無関係	12	9.0	12	18.8	4	11.1	0	0	0	0	0	0	8	17.8	0	0	5	12.5	3	9.4	3	9.4
	なんともいえない	2	1.5	5	7.8	0	0	0	0	0	1	14.3	0	0	2	2.2	0	0	2	5.0	1	3.1	1
	NA	8	6.0	2	3.1	3	8.3	0	0	0	0	0	0	2	4.4	0	0	5	12.5	0	0	0	0
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0	32	100.0
14-(5) 高い報酬を得る ため	大いに有利	16	11.9	2	3.1	2	5.6	2	20.0	3	42.9	3	11.1	8	17.8	2	10.0	4	10.0	3	9.4	3	9.4
	ある程度有利	50	37.3	23	35.9	13	36.1	5	50.0	2	28.6	8	29.6	15	33.3	8	40.0	10	25.0	17	53.1	17	53.1
	無関係	47	35.1	27	42.2	15	41.7	2	20.0	1	14.3	12	44.4	13	28.9	7	35.0	19	47.5	6	18.8	6	18.8
	なんともいえない	12	9.0	7	10.9	2	5.6	1	10.0	0	0	1	14.3	2	7.4	6	30.0	2	10.0	3	7.5	4	12.5
	NA	9	6.7	5	7.8	4	11.1	0	0	0	0	0	2	7.4	3	6.7	1	5.0	4	10.0	2	6.3	
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0	32	100.0
14-(6) 社会的威信の証 明	大いに有利	23	17.2	11	17.2	5	13.9	4	40.0	3	42.9	8	29.6	8	17.8	1	5.0	8	20.0	8	25.0	8	25.0
	ある程度有利	51	38.1	19	29.7	12	33.3	4	40.0	2	28.6	7	25.9	16	35.6	10	50.0	13	32.5	15	46.9	15	46.9
	無関係	39	29.1	23	35.9	13	36.1	1	10.0	1	14.3	10	37.0	14	31.1	6	30.0	12	30.0	5	15.6	5	15.6
	なんともいえない	11	8.2	5	7.8	1	2.8	1	10.0	1	14.3	1	3.7	3	6.7	2	10.0	3	7.5	2	6.3	2	6.3
	NA	10	7.5	6	9.4	5	13.9	0	0	0	0	1	3.7	4	8.9	1	5.0	4	10.0	2	6.3	2	6.3
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0	32	100.0
14-(7) 専門的知識の仕 事での直接的活 用	大いに有利	57	42.5	26	40.6	12	33.3	5	50.0	6	85.7	13	48.1	16	35.6	11	55.0	18	45.0	13	40.6	13	40.6
	ある程度有利	55	41.0	28	43.8	17	47.2	5	50.0	1	14.3	9	33.3	21	46.7	6	30.0	15	37.5	16	50.0	16	50.0
	無関係	8	6.0	4	6.3	3	8.3	0	0	0	0	3	11.1	5	11.1	1	5.0	2	5.0	1	3.1	1	3.1
	なんともいえない	6	4.5	3	4.7	0	0	0	0	0	0	1	3.7	1	2.2	1	5.0	1	2.5	0	0	0	0
	NA	8	6.0	3	4.7	4	11.1	0	0	0	0	1	3.7	2	4.4	1	5.0	4	10.0	2	6.3	2	6.3
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	29	100.0	40	100.0	32	100.0	32	100.0
14-(8) 母国発展への寄 与	大いに有利	61	45.5	29	45.3	13	36.1	5	50.0	4	57.1	7	25.9	16	35.6	9	45.0	17	42.5	13	40.6	13	40.6
	ある程度有利	48	35.8	27	42.2	16	44.4	3	30.0	2	28.6	12	44.4	13	28.9	5	25.0	11	27.5	14	43.8	14	43.8
	無関係	9	6.7	2	3.1	1	2.8	0	0	0	0	3	11.1	6	13.3	2	10.0	4	10.0	0	0	0	0
	なんともいえない	6	4.5	2	3.1	2	5.6	1	10.0	1	14.3	1	3.7	4	8.9	2	10.0	3	7.5	2	6.3	2	6.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										攻										N.A																			
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系																							
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																				
15-(1)	NA 計	10	7.5	4	6.3	4	11.1	1	10.0	0	0	4	14.8	6	13.2	2	10.0	5	12.5	3	9.4	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0		
15-(1)	高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	31	23.1	16	25.0	10	27.8	4	40.0	2	28.6	6	22.2	5	11.1	9	45.0	9	22.5	10	31.3	64	47.8	32	50.0	16	44.4	5	50.0	4	57.1	14	51.9	26	57.8	10	50.0	18	45.0	16	50.0
15-(2)	高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	93	69.4	46	71.9	25	69.4	9	90.0	5	71.4	19	70.4	35	77.8	17	85.0	28	70.0	22	68.8	28	20.9	10	15.6	6	16.7	0	0	1	14.3	7	25.9	4	8.9	3	15.0	4	10.9	6	18.8
15-(3)	高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	75	56.0	29	45.3	18	50.0	7	70.0	5	71.4	17	63.0	23	51.1	12	60.0	20	50.0	15	46.9	39	29.1	20	31.3	13	36.1	2	20.0	0	0	8	29.6	15	33.3	6	20.0	11	27.5	11	34.4
15-(4)	高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	5	3.7	3	4.7	1	2.8	0	0	1	14.3	0	0	1	3.7	0	0	1	2.5	2	6.3	42	31.3	20	31.3	9	25.0	5	50.0	3	42.9	14	51.9	19	42.2	10	50.0	18	45.0	11	34.4
		37	27.6	20	31.3	9	25.0	3	30.0	2	28.6	7	25.9	7	15.6	6	30.0	6	15.0	5	15.6	12	9.0	3	4.7	5	13.9	0	0	2	7.4	8	17.8	1	5.0	5	12.5	7	21.9		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	わからない	29	21.6	12	18.8	8	22.2	2	20.0	1	14.3	4	14.8	7	15.6	1	5.0	5	12.5	5	15.6
	NA	9	6.7	6	9.4	4	11.1	0	0	0	0	0	0	3	6.7	0	0	4	10.0	2	6.3
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
15-(5)	高く評価	46	34.3	17	26.6	10	27.8	8	80.0	2	28.6	7	25.9	11	24.4	9	45.0	12	30.0	6	18.8
日本の学位	ある程度評価	67	50.0	32	50.0	20	55.6	1	10.0	5	71.4	15	55.6	23	51.1	8	40.0	19	47.5	20	62.5
	殆んど評価されぬ	2	1.5	4	6.3	1	2.8	0	0	0	0	1	3.7	1	2.2	0	0	0	0	1	3.1
	なんともいえない	4	3.0	3	4.7	2	5.6	0	0	0	0	1	3.7	4	8.9	2	10.0	3	7.5	2	6.3
	わからない	10	7.5	5	7.8	1	2.8	1	10.0	0	0	3	11.1	3	6.7	1	5.0	2	5.0	1	3.1
	NA	5	3.7	3	4.7	2	5.6	0	0	0	0	0	0	3	6.7	0	0	4	10.0	2	6.3
	計	134	100.0	64	100.0	36	100.0	10	100.0	7	100.0	27	100.0	45	100.0	20	100.0	40	100.0	32	100.0
V. 日本留学への評価																					
16. 留学学生生活の満足度																					
16-(1)	大いに満足	70	24.1	22	25.3	24	27.3	6	23.1	7	25.9	10	18.9	25	18.4	10	26.3	21	17.2	22	22.2
大学スタッフとの交流	どちらかといえば満足	137	47.1	45	51.7	41	46.6	12	46.2	14	51.9	22	41.5	70	51.5	19	50.0	66	54.1	45	45.5
	不満が多い	33	11.3	9	10.3	8	9.1	4	15.4	1	3.7	12	22.6	24	17.6	5	13.2	19	15.6	10	10.1
	なんともいえない	46	15.8	9	10.3	13	14.8	4	15.4	5	18.5	9	17.0	13	9.6	1	2.6	13	10.7	18	18.2
	NA	5	1.7	2	2.3	2	2.3	0	0	0	0	0	0	4	2.9	3	7.9	3	2.5	4	4.0
	計	291	100.0	86	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
16-(2)	大いに満足	48	16.5	14	16.1	20	22.7	5	19.2	1	3.7	7	13.2	22	16.2	5	13.2	19	15.6	15	15.2
大学の学生たちとの交流	どちらかといえば満足	155	53.3	38	43.7	38	43.2	9	34.6	12	44.4	25	47.2	69	50.7	23	60.5	61	50.0	40	40.4
	不満が多い	52	17.9	21	24.1	13	14.8	8	30.8	8	29.6	17	32.1	34	25.0	6	15.8	30	24.6	19	19.2
	なんともいえない	32	11.0	11	12.6	13	14.8	4	15.4	5	18.5	3	5.7	8	5.9	1	2.6	10	8.2	20	20.2
	NA	4	1.4	3	3.4	4	4.5	0	0	1	3.7	1	1.9	3	2.2	3	7.9	2	1.6	5	5.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
16-(3)	大いに満足	57	19.6	13	14.9	12	13.6	10	38.5	4	14.8	9	17.0	24	17.6	8	21.1	22	18.0	16	16.2
一般社会人との交流	どちらかといえば満足	131	45.0	35	40.2	50	56.8	7	26.9	11	40.7	22	41.5	69	50.7	18	47.4	57	46.7	43	43.4
	不満が多い	45	15.5	15	17.2	13	14.8	5	19.2	5	18.5	16	30.2	25	18.4	6	15.8	19	15.6	22	22.2
	なんともいえない	55	18.9	21	24.1	13	14.8	4	15.4	6	22.2	5	9.4	14	10.3	3	7.9	22	18.0	16	16.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻										N.A
		理 工	農 学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A	
		実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	
16-(4) 日常の学習・研 究活動	NA	3 1.0	3 3.4	0 0	0 0	1 3.7	1 1.9	4 2.9	3 7.9	2 1.6	2 2.0	
	計	291 100.0	87 100.0	88 100.0	26 100.0	27 100.0	53 100.0	136 100.0	38 100.0	122 100.0	99 100.0	
	大いに満足	71 24.4	26 29.9	18 20.5	10 38.5	6 22.2	15 28.3	27 19.9	12 31.6	38 31.1	22 22.2	
	どちらかとい えば満足	150 51.5	42 48.3	47 53.4	13 50.0	16 59.3	24 45.3	82 60.3	20 52.6	61 50.0	48 48.5	
	不満が多い なんともいえない	41 14.1	11 12.6	15 17.0	3 11.5	4 14.8	12 22.6	19 14.0	4 10.5	16 13.1	13 13.1	
NA	25 8.6	6 6.9	8 9.1	0 0	1 3.7	1 1.9	5 3.7	0 0	6 4.9	12 12.1		
計	4 1.4	2 2.3	0 0	0 0	0 0	1 1.9	3 2.2	2 5.3	1 0.8	4 4.0		
291 100.0	87 100.0	88 100.0	26 100.0	27 100.0	53 100.0	136 100.0	38 100.0	122 100.0	99 100.0	99 100.0		
16-(5) 日本国内の視察 見学旅行	大いに満足	59 20.3	15 17.2	21 23.9	11 42.3	9 33.3	13 24.5	34 25.0	8 21.1	27 22.1	16 16.2	
	どちらかとい えば満足	121 41.6	35 40.2	31 35.2	7 26.9	12 44.4	28 52.8	60 44.1	19 50.0	58 47.5	46 46.5	
	不満が多い	62 21.3	17 19.5	20 22.7	6 23.1	1 3.7	8 15.1	26 19.1	6 15.8	21 17.2	17 17.2	
	なんともいえない	42 14.4	16 18.4	15 17.0	2 7.7	5 18.5	4 7.5	12 8.8	2 5.3	13 10.7	13 13.1	
	NA	7 2.4	4 4.6	1 1.1	0 0	0 0	0 0	4 2.9	3 7.9	3 2.5	7 7.1	
計	291 100.0	87 100.0	88 100.0	26 100.0	27 100.0	53 100.0	136 100.0	38 100.0	122 100.0	99 100.0		
16-(6) 日常の衣食住生 活	大いに満足	71 24.4	26 29.9	20 22.7	13 50.0	6 22.2	14 26.4	19 14.0	14 36.8	22 18.0	16 16.2	
	どちらかとい えば満足	157 54.0	33 37.9	48 54.5	9 34.6	16 59.3	27 50.9	88 64.7	18 47.4	77 63.1	55 55.6	
	不満が多い	42 14.4	16 18.4	12 13.6	2 7.7	2 7.4	10 18.9	20 14.7	2 5.3	14 11.5	15 15.2	
	なんともいえない	17 5.8	8 9.2	6 6.8	2 7.7	2 7.4	2 3.8	6 4.4	1 2.6	6 4.9	6 6.1	
	NA	4 1.4	4 4.6	2 2.3	0 0	1 3.7	0 0	3 2.2	3 7.1	3 2.5	7 7.1	
計	291 100.0	87 100.0	88 100.0	26 100.0	27 100.0	53 100.0	136 100.0	38 100.0	122 100.0	99 100.0		
16-(7) 孤独感からの解 放	大いに満足	33 11.3	9 10.3	12 13.6	5 19.2	4 14.8	9 17.0	13 9.6	8 21.1	18 14.8	13 13.1	
	どちらかとい えば満足	112 38.5	36 41.4	27 30.7	6 23.1	9 33.3	18 34.0	57 41.1	19 50.0	55 45.1	31 31.3	
	不満が多い	75 25.8	21 24.1	28 31.8	10 38.5	6 22.2	16 30.2	36 26.5	3 7.9	19 15.6	26 26.3	
	なんともいえない	63 21.6	15 17.2	17 19.3	4 15.4	8 29.6	8 15.1	25 18.4	5 13.2	25 20.5	22 22.2	
	NA	8 2.7	6 6.9	4 4.5	1 3.8	0 0	2 3.8	5 3.7	3 7.9	5 4.1	7 7.1	
計	291 100.0	87 100.0	88 100.0	26 100.0	27 100.0	53 100.0	136 100.0	38 100.0	122 100.0	99 100.0		
16-(8) 留学成果の母国	大いに満足	51 17.5	25 28.7	24 27.3	5 19.2	10 37.0	13 24.5	29 21.3	12 31.6	25 20.5	21 21.2	
	どちらかとい えば満足	129 44.3	32 36.8	37 42.0	18 69.2	8 29.6	22 41.5	61 44.9	14 36.8	60 49.2	46 46.5	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻										別									
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
での活用の期待感	不満が多い なんともいえない NA 計	26	8.9	11	12.6	7	8.0	0	0	2	7.4	9	17.0	16	11.8	6	15.8	11	9.0	12	12.1
16-(9) 日本人の母国事情の理解	大いに満足 どちらかとい えば満足 不満が多い なんともいえない NA 計	11	3.8	4	4.6	2	2.3	2	7.7	0	0	4	7.5	9	6.6	2	5.3	1	0.8	7	7.1
17-(1) 日本の大学の大学院について (現在までの日本留学体験から判断して、あなたは次の意見に同意しますか)		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
17-(1)-1 日本の大学は概ね国際的な学術水準に達している	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	87	29.9	20	23.0	24	27.3	7	26.9	3	11.1	11	20.8	25	18.4	9	23.7	18	14.8	29	29.3
17-(1)-2 日本の大学は発展途上国の抱える問題に十分な関心を持っている	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	14	4.8	9	10.3	10	11.4	3	11.5	1	3.7	8	15.1	18	13.2	3	7.9	12	9.8	17	17.2
17-(1)-3 日本の大学教授は留学生問題に	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	117	40.2	24	27.6	22	25.0	6	23.1	4	14.8	14	26.4	37	27.2	14	36.8	36	29.5	30	30.3
		78	26.8	30	34.5	35	39.8	8	30.8	11	40.7	24	45.3	55	40.4	14	36.8	33	27.0	20	20.2
		32	11.0	9	10.3	6	6.8	4	15.4	4	14.8	4	7.5	12	8.8	2	5.3	21	17.2	12	12.1
		46	15.8	14	16.1	13	14.8	4	15.4	6	22.2	2	3.8	12	8.8	2	5.3	17	13.9	13	13.1
		4	1.4	1	1.1	2	2.3	1	3.8	1	3.7	1	1.9	2	1.5	3	7.9	3	2.5	7	7.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
		14	4.8	9	10.3	10	11.4	3	11.5	1	3.7	8	15.1	18	13.2	3	7.9	12	9.8	17	17.2
		117	40.2	24	27.6	22	25.0	6	23.1	4	14.8	14	26.4	37	27.2	14	36.8	36	29.5	30	30.3
		78	26.8	30	34.5	35	39.8	8	30.8	11	40.7	24	45.3	55	40.4	14	36.8	33	27.0	20	20.2
		32	11.0	9	10.3	6	6.8	4	15.4	4	14.8	4	7.5	12	8.8	2	5.3	21	17.2	12	12.1
		46	15.8	14	16.1	13	14.8	4	15.4	6	22.2	2	3.8	12	8.8	2	5.3	17	13.9	13	13.1
		4	1.4	1	1.1	2	2.3	1	3.8	1	3.7	1	1.9	2	1.5	3	7.9	3	2.5	7	7.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
		85	29.2	19	21.8	22	25.0	7	26.9	9	33.3	8	15.1	29	21.3	9	23.7	32	26.2	25	25.3
		115	39.5	43	49.4	27	30.7	13	50.0	8	29.6	27	50.9	58	42.6	16	42.1	54	44.3	44	44.4
		38	13.1	17	19.5	25	28.4	1	3.8	5	18.5	12	22.6	28	20.6	8	21.1	16	13.1	11	11.1

攻 別

専

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										攻																																																	
		理工	農学	医学	農学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A	理工	農学	農学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A																																					
実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																																				
十分な関心を持って いる	なんともいない わからない NA 計	30	10.3	6	6.9	7	8.0	3	11.5	4	14.8	4	7.5	13	9.6	2	5.3	14	11.5	7	7.1	18	6.2	1	1.1	4	4.5	1	3.8	0	0	3	2.5	6	6.1	5	1.7	1	1.1	3	3.4	1	3.8	3	7.9	3	2.5	6	6.1												
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0	99	100.0	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0																		
17-(1)-4 日本の大学教授 は留学生の成績 を厳しく評価し ている	全くその通り ある程度同意 同意でない なんともいない わからない NA 計	31	10.7	10	11.5	11	12.5	4	15.4	2	7.4	9	17.0	12	8.8	7	18.4	14	11.5	9	9.1	112	38.5	30	34.5	28	31.8	11	42.3	6	22.2	23	43.4	53	39.0	13	34.2	42	34.4	36	36.4	44	15.1	11	12.6	9	10.2	4	15.4	6	15.8	22	18.0	15	15.2						
		41	14.1	19	21.8	15	17.0	2	7.7	9	33.3	5	9.4	5	9.4	11	8.1	5	13.2	20	16.4	17	17.2	56	19.2	14	16.1	22	25.0	4	15.4	3	11.1	5	9.4	11	8.1	5	13.2	20	16.4	17	17.2	7	2.4	3	3.4	1	3.8	1	1.9	3	2.2	3	7.9	5	4.1	5	5.1		
291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0	99	100.0	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0																				
17-(1)-5 日本の大学生は 留学生の勉学に 十分に協力的で ある	全くその通り ある程度同意 同意でない なんともいない わからない NA 計	41	14.1	16	18.4	12	13.6	7	26.9	2	7.4	8	15.1	16	11.8	3	7.9	16	13.1	16	16.2	129	44.3	37	42.5	37	42.0	13	50.0	8	29.6	23	43.4	53	39.0	23	60.5	56	45.9	36	36.4	70	24.1	14	16.1	22	25.0	3	11.5	8	29.6	14	26.4	38	27.9	5	13.2	27	22.1	24	24.2
		32	11.0	15	17.2	8	9.1	1	3.8	4	14.8	5	9.4	1	1.9	5	3.7	0	0	2	1.6	8	8.1	13	4.5	4	4.6	7	8.0	1	3.8	1	3.8	2	3.8	3	2.2	3	7.9	3	2.5	5	5.1	6	2.1	1	1.1	2	2.3	1	3.8	1	3.8	1	3.8	26	100.0	26	100.0		
291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0	99	100.0	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0																				
17-(1)-6 日本の大学は留 学生に対して最 新の理論や学術 成果を積極的に 提供している	全くその通り ある程度同意 同意でない なんともいない わからない NA 計	41	14.1	14	16.1	13	14.8	6	23.1	0	0	7	13.2	17	12.5	5	13.2	19	15.6	12	12.1	88	30.2	32	36.8	26	29.5	12	46.2	4	14.8	18	34.0	50	36.8	13	34.2	40	32.8	29	29.3	58	19.9	17	19.5	20	22.7	1	3.8	10	37.0	16	30.0	30	22.1	9	23.7	28	23.0	16	16.2
		48	16.5	12	13.8	11	12.5	2	7.7	3	11.1	3	5.7	26	19.1	5	13.2	15	12.3	12	12.1	50	17.2	10	11.5	15	17.0	4	15.4	8	15.1	11	8.1	3	7.9	17	13.9	22	22.2	6	2.1	2	2.3	3	3.4	1	3.8	1	3.7	1	1.9	2	1.5	3	7.9	3	2.5	8	8.1		
291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0	99	100.0	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	37	100.0	122	100.0	99	100.0																				
17-(1)-7 日本の大学は帰 国後の留学生と	全くその通り ある程度同意 同意でない	26	8.9	13	14.9	8	9.1	3	11.5	1	3.7	5	9.4	7	5.1	1	2.6	9	7.4	6	6.1	51	17.5	13	14.9	6	6.8	9	34.6	2	7.4	5	9.4	21	15.4	7	18.4	18	14.8	11	11.1	47	16.2	12	13.8	14	15.9	3	11.5	8	21.1	16	13.1	12	12.1						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別									
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
積極的に交流 ようとしている	なんともいえない わからない NA 計	28	9.6	11	12.6	9	10.2	1	3.8	3	11.1	5	9.4	13	9.6	3	7.9	11	9.0	15	15.2
		133	45.7	37	42.5	49	55.7	9	34.6	15	55.6	21	39.6	54	39.7	16	42.1	64	52.5	47	47.5
		6	2.1	1	1.1	2	2.3	1	3.8	1	3.7	1	1.9	2	1.5	3	7.9	4	3.3	8	8.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
17-(2) 日本留学に関して																					
17-(2)-1	全くその通り ある程度同意 再度の機会があれば、日本で研究の仕上げをしたい	129	44.3	42	48.3	38	43.2	13	50.0	19	70.4	28	52.8	58	42.6	19	50.0	52	42.6	45	45.5
		94	32.3	27	31.0	24	27.3	4	15.4	3	11.1	17	32.1	45	33.1	12	31.6	39	32.0	34	34.3
		20	6.9	3	3.4	10	11.4	2	7.7	1	3.7	4	7.5	11	8.1	1	2.6	7	5.7	6	6.1
		17	5.8	8	9.2	4	4.5	5	19.2	1	3.7	0	0	12	8.8	2	5.3	12	9.8	5	5.1
		27	9.3	6	6.9	11	12.5	1	3.8	2	7.4	2	3.8	8	5.9	3	7.9	10	8.2	1	1.0
		4	1.4	1	1.1	1	1.1	1	3.8	1	3.7	2	3.8	2	1.5	1	2.6	2	1.6	8	8.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	52	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
17-(2)-2	全くその通り ある程度同意 母国の学生達に日本留学を積極的にすすめたい	73	25.1	29	33.3	24	27.3	9	34.6	15	55.6	14	26.4	38	27.9	13	34.2	40	32.8	20	20.2
		128	44.0	37	42.5	33	37.5	8	30.8	5	18.5	26	49.1	61	44.9	15	39.5	50	41.0	46	46.5
		31	10.7	8	9.2	10	11.4	2	7.7	1	3.7	6	11.3	13	9.6	4	10.5	14	11.5	12	12.1
		41	14.1	8	9.2	15	17.0	5	19.2	5	18.5	5	9.4	18	13.2	4	10.5	13	10.7	7	7.1
		13	4.5	4	4.6	5	5.7	1	3.8	0	0	1	1.9	4	2.9	0	0	3	2.5	7	7.1
		5	1.7	1	1.1	1	1.1	1	3.8	1	3.7	1	1.9	2	1.5	2	5.3	2	1.6	7	7.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
17-(2)-3	全くその通り ある程度同意 留学体験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となるう	139	47.8	46	52.9	48	54.5	13	50.0	11	40.7	28	52.8	75	55.1	18	47.4	63	51.6	48	48.5
		112	38.5	30	34.5	22	25.0	6	23.1	11	40.7	17	32.1	39	28.7	10	26.3	44	36.1	28	28.3
		9	3.1	2	2.3	5	5.7	1	3.8	1	3.7	7	13.2	8	5.9	3	7.9	1	0.8	12	12.1
		15	5.2	5	5.7	6	6.8	3	11.5	3	11.1	0	0	7	5.1	5	13.2	8	6.6	4	4.9
		11	3.8	3	3.4	4	4.5	2	7.7	0	0	0	0	4	2.9	0	0	4	3.3	2	2.0
		5	1.7	1	1.1	3	3.4	1	3.8	1	3.7	1	1.9	3	2.2	2	5.3	2	1.6	5	5.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
17-(2)-4	全くその通り ある程度同意 留学は日本人の	217	74.6	57	65.5	70	79.5	20	76.9	20	74.1	44	83.0	112	82.4	31	81.6	90	73.8	66	66.7
		58	19.9	20	23.0	16	18.2	4	15.4	5	18.5	8	15.1	20	14.7	4	10.5	26	21.3	23	23.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻										別									
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日 本 語		人 文・社 会		経 営・経 済		政 治・法 律		そ の 他 文 系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
生活態度、考えや日本の文化、社会、経済等を認識する絶対の機会である	同意できない なんともいえない わからない NA 計	5	1.7	3	3.4	0	0	1	3.8	0	0	0	0	1	0.7	0	0	2	1.6	1	1.0
17-(2)-5 日本は帰国留学生に対するアプターサービスをよくやっっている	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	18	6.2	12	13.8	3	3.4	4	15.4	1	3.7	2	3.8	5	3.7	2	5.3	7	5.7	6	6.1
17-(3) 留学生の受入れについて	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	28	9.6	8	9.2	10	11.4	5	19.2	2	7.4	4	7.5	9	6.6	2	5.3	12	9.8	6	6.1
17-(3)-1 留学生受入れについて民間のボランティア活動は充実している	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	82	28.2	24	27.6	30	34.1	10	38.5	8	29.6	17	32.1	49	36.0	20	52.6	42	34.4	35	35.4
17-(3)-2 宿舍やアルバイト探しについて日本人は協力的である	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	62	21.3	17	19.5	22	25.0	1	3.8	9	33.3	15	28.3	36	26.5	6	15.8	22	18.0	12	12.1
17-(3)-3	全くその通り	27	9.3	9	10.3	6	6.8	2	7.7	2	7.4	4	7.5	16	11.8	3	7.9	7	5.7	10	10.1
		84	28.9	27	31.0	20	22.7	6	23.1	6	22.2	13	24.5	23	16.9	5	13.2	36	29.5	30	30.3
		8	2.7	2	2.3	0	0	2	7.7	0	0	0	0	3	2.2	2	5.3	3	2.5	6	6.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
		42	14.4	15	17.2	13	14.8	5	19.2	2	7.4	4	7.5	9	6.6	9	23.7	14	11.5	8	8.1
		96	33.0	25	28.7	20	22.7	10	38.5	10	37.0	19	35.8	45	33.1	11	28.9	46	37.7	28	28.3
		67	23.0	22	25.3	22	25.0	5	19.2	9	33.3	20	37.7	44	32.4	8	21.1	24	19.7	21	21.2
		26	8.9	4	4.6	9	10.2	2	7.7	2	7.4	6	11.3	18	13.2	1	2.6	11	9.0	16	16.2
		55	18.9	20	23.0	22	25.0	2	7.7	4	14.8	4	7.5	16	11.8	8	21.1	24	19.7	21	21.2
		5	1.7	1	1.1	2	2.3	2	7.7	0	0	0	0	4	2.9	1	2.6	3	2.5	5	5.1
		291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
		10	3.4	6	6.9	3	3.4	3	11.5	1	3.7	2	3.8	8	5.9	1	2.6	10	8.2	3	3.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻										別									
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	ある程度同意	50	17.2	12	13.8	15	17.0	4	15.4	5	18.5	13	24.5	25	18.4	7	18.4	32	26.2	13	13.1
	同意できない	119	40.9	27	31.0	34	38.6	4	15.4	6	22.2	25	47.2	57	41.9	12	31.6	39	32.0	34	34.3
	なんともいえない	25	8.6	10	11.5	3	3.4	4	15.4	4	14.8	3	5.7	9	6.6	1	2.6	6	4.9	12	12.1
	わからない	82	28.2	31	35.6	32	36.4	9	34.6	11	40.7	10	18.9	34	25.0	15	39.5	33	27.0	31	31.3
	NA	5	1.7	1	1.1	1	1.1	2	7.7	0	0	0	0	3	2.2	2	5.3	2	1.6	6	6.1
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	26	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
[宿舍条件— 希望順位] 17-(4)-A-1 大学付属の寮	1 位	94	32.3	32	36.8	30	34.1	10	38.5	10	37.0	20	37.7	46	33.8	15	39.5	41	33.6	30	30.3
	2 位	95	32.6	28	32.2	22	25.0	5	19.2	7	25.9	14	26.4	33	24.3	6	15.8	32	26.2	33	33.3
	3 位	43	14.8	8	9.2	19	21.6	4	15.4	6	22.2	11	20.8	25	18.4	5	13.2	27	22.1	12	12.1
	4 位	35	12.0	4	4.6	6	6.8	3	11.5	3	11.1	4	7.5	17	12.5	3	7.9	12	9.8	8	8.1
	NA	24	8.2	15	17.2	11	12.5	4	15.4	1	3.1	4	7.5	15	11.0	9	23.7	10	8.2	16	16.2
17-(4)-A-2 外国人用宿舍	1 位	94	32.3	31	35.6	19	21.6	5	19.2	3	11.1	9	17.0	21	15.4	8	21.1	28	23.0	31	31.3
	2 位	80	27.5	23	26.4	24	27.3	13	50.0	6	22.2	5	9.4	40	29.4	12	31.6	32	26.2	19	19.2
	3 位	42	14.4	14	16.1	17	19.3	3	11.5	7	25.9	11	20.8	25	18.4	5	13.2	25	20.5	14	14.1
	4 位	45	15.5	5	5.7	18	20.5	1	3.8	9	33.3	23	43.4	36	26.5	3	7.9	26	21.3	15	15.2
	NA	30	10.3	14	16.1	10	11.4	4	15.4	2	7.4	5	9.4	14	10.3	10	26.3	11	9.0	20	20.2
17-(4)-A-3 民間アパート	1 位	43	14.8	7	8.0	12	13.6	6	23.1	4	14.8	9	17.0	32	23.5	3	7.9	28	23.0	12	12.1
	2 位	45	15.5	10	11.5	20	22.7	3	11.5	7	25.9	13	24.5	25	18.4	8	21.1	22	18.0	18	18.2
	3 位	104	35.7	36	41.4	30	34.1	9	34.6	6	22.2	13	24.5	37	27.2	11	28.9	36	29.5	25	25.3
	4 位	71	24.4	19	21.8	15	17.0	4	15.4	7	25.9	13	24.5	26	19.1	7	18.4	25	20.5	23	23.2
	NA	28	9.6	15	17.2	11	12.5	4	15.4	3	11.1	5	9.4	16	11.8	9	23.7	11	9.0	21	21.2
17-(4)-A-4 日本人の家庭	1 位	37	12.7	7	8.0	17	19.3	1	3.8	9	33.3	11	20.8	24	17.6	4	10.5	18	14.8	13	13.1
	2 位	44	15.1	9	10.3	11	12.5	1	3.8	5	18.5	16	30.2	23	16.9	3	7.9	25	20.5	10	10.1
	3 位	73	25.1	13	14.9	11	12.5	6	23.1	5	18.5	13	24.5	31	22.8	7	18.4	23	18.9	26	26.3
	4 位	107	36.8	41	47.1	38	43.2	14	53.8	5	18.5	8	15.1	41	30.1	14	36.8	46	37.7	29	29.3
	NA	30	10.3	17	19.5	11	12.5	4	15.4	3	11.1	5	9.4	17	12.5	10	26.3	10	8.2	21	21.2
17-(4)-B 留学生だけか日 留学生だけか日	外国人留学生だけ	70	24.1	17	19.5	15	17.0	7	26.9	2	7.4	5	9.4	14	10.3	1	2.6	15	12.3	22	22.2
	日本人と一緒に	187	64.3	57	65.5	58	65.9	16	61.5	23	85.2	44	83.0	103	75.7	28	73.7	96	78.7	61	61.6

質問(項目)番号 質問内容	専 攻												別								
	回答内容		理工	農学	医学	理学系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A									
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)					
本人と一緒に	34	11.7	13	14.9	15	17.0	3	11.5	2	7.4	4	7.5	19	14.0	9	23.7	11	9.0	16	16.2	
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
17-(4)-C 個室がよい 他人と共用がよい	261	89.7	75	86.2	75	85.2	24	92.3	23	85.2	47	88.7	118	86.8	29	76.3	112	91.8	83	83.8	
個室がよい 他人と共用がよい	9	3.1	2	2.3	5	5.7	0	0	2	7.4	3	5.7	6	4.4	1	2.6	1	0.8	4	4.0	
NA	21	7.2	10	11.5	8	9.1	2	7.7	2	7.4	3	5.7	12	8.8	8	21.1	9	7.4	12	12.1	
計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
VI. 日本経済の発展について(次の意見を聞き、あなたの考えを聞かせてください)																					
19-(1) 日本の教育制度(総計)	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0	
19-(1)-A その通り どちらかといえば その通りと思わない そうは思わない 6・3個で十分に長いこと なんともいえない わからない	83	28.5	23	26.4	24	27.3	10	38.5	11	40.7	10	18.9	35	25.7	13	34.2	34	27.9	25	25.3	
義務教育年限が6・3個で十分に長いこと	87	29.9	24	27.6	29	33.0	7	26.9	6	22.2	19	35.8	40	29.4	10	26.3	32	26.2	33	33.3	
なんともいえない	81	27.8	28	32.2	23	26.1	6	23.1	5	18.5	18	34.0	48	35.3	9	23.7	39	32.0	22	22.2	
わからない	14	4.8	1	1.1	5	5.7	0	0	2	7.4	3	5.7	4	2.9	2	5.3	9	7.4	5	5.1	
NA	23	7.9	10	11.5	6	6.8	3	11.5	3	11.1	3	5.7	6	4.4	3	7.9	5	4.1	8	8.1	
その通り	3	1.0	1	1.1	1	1.1	0	0	0	0	0	0	3	2.2	1	2.6	3	2.5	6	6.1	
19-(1)-B その通り どちらかといえば その通りと思わない 途退学(drop out)が少ないこと	100	34.4	19	21.8	21	23.9	8	30.8	9	33.3	11	20.8	42	30.9	11	28.9	29	23.8	22	22.2	
義務教育での中途退学(drop out)が少ないこと	66	22.7	23	26.4	24	27.3	6	23.1	9	33.3	14	26.4	34	25.0	12	31.6	28	23.0	24	24.2	
NA	27	9.3	14	16.1	8	9.1	3	11.5	2	7.4	12	22.6	19	14.0	4	10.5	21	17.2	9	9.1	
その通り	13	4.5	4	4.6	8	9.1	2	7.7	3	11.1	2	3.8	13	9.6	1	2.6	7	5.7	8	8.1	
わからない	81	27.8	26	29.9	26	29.5	7	26.9	4	14.8	13	24.5	23	16.9	9	23.7	32	26.2	27	27.3	
NA	4	1.4	1	1.1	1	1.1	0	0	0	0	0	0	5	3.7	1	2.6	5	4.1	9	9.1	
19-(1)-C その通り どちらかといえば その通りと思わない 内容が充実していること	72	24.7	26	29.9	17	19.3	10	38.5	5	18.5	12	22.6	45	33.1	8	21.1	29	23.8	27	27.3	
義務教育の内容が充実していること	101	34.7	22	25.3	27	30.7	6	23.1	11	40.7	20	37.7	42	30.9	20	52.6	44	36.1	31	31.3	
NA	24	8.2	7	8.0	8	9.1	0	0	2	7.4	5	9.4	11	8.1	2	5.3	11	9.0	9	9.1	
その通り	14	4.8	7	8.0	5	5.7	2	7.7	4	14.8	2	3.8	13	9.6	1	2.6	12	9.8	4	4.0	
わからない	69	23.7	23	26.4	29	33.0	8	30.8	4	14.8	14	26.4	22	16.2	6	15.8	21	17.2	19	19.2	
NA	11	3.8	2	2.3	2	2.3	0	0	1	3.7	0	0	3	2.2	1	2.6	5	4.1	9	9.1	
19-(1)-D その通り どちらかといえば その通りと思わない 高等学校以上の	132	45.4	33	37.9	41	46.6	12	46.2	16	59.3	18	34.0	68	50.0	18	47.4	50	41.0	30	30.3	
高等学校以上の	110	37.8	31	35.6	26	29.5	10	38.5	7	25.9	29	54.7	44	32.4	14	36.8	45	36.9	41	41.4	

攻 別

専

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
19-1)-E 高等教育への進 学率が高いこと	そうは思わない なんともいえない わからない NA	13	4.5	5	5.7	8	9.1	0	0	2	7.4	3	5.7	7	5.1	3	7.9	8	6.6	6	6.1
		8	2.7	3	3.4	1	1.1	1	3.8	1	3.7	1	1.9	5	3.7	1	2.6	3	2.5	5	5.1
19-1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率が 高いこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	51	17.5	14	16.1	14	15.9	5	19.2	5	18.5	6	11.3	32	23.5	10	26.3	21	17.2	15	15.2
		91	31.3	24	27.6	25	28.4	11	42.3	12	44.4	24	45.3	40	29.4	14	36.8	49	40.2	33	33.3
19-1)-F 高等教育の内容 が充実している こと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	67	23.0	25	28.7	22	25.0	3	11.5	3	11.1	11	20.8	34	25.0	9	23.7	24	19.7	19	19.2
		27	9.3	4	4.6	8	9.1	3	11.5	3	11.5	5	18.5	2	3.8	13	9.6	1	2.6	5	4.1
19-1)-G 高等教育への進 学率を高めるだ けの経済的余裕 が父兄にあるこ と	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	48	16.5	17	19.5	18	20.5	3	11.5	2	7.4	10	18.9	13	9.6	3	7.9	19	15.6	18	18.2
		7	2.4	3	3.4	1	1.1	1	3.8	0	0	0	0	0	4	2.9	1	2.6	4	3.3	7
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	68	23.4	21	24.1	21	23.9	12	46.2	3	11.1	11	20.8	28	20.6	9	23.7	25	20.5	21	21.2
		137	47.1	33	37.9	27	30.7	9	34.6	10	37.0	26	49.1	58	42.6	21	55.3	48	39.3	39	39.4
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	21	7.2	8	9.2	7	8.0	1	3.8	5	18.5	6	11.3	15	11.0	2	5.3	14	11.5	5	5.1
		15	5.2	4	4.6	9	10.2	2	7.7	7	25.9	4	7.5	12	8.8	0	0	6	4.9	8	8.1
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	46	15.8	20	23.0	22	25.0	2	7.7	2	7.4	6	11.3	19	14.0	5	13.2	24	19.7	19	19.2
		4	1.4	1	1.1	2	2.3	0	0	0	0	0	0	0	4	2.9	1	2.6	5	4.1	7
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	59	20.3	22	25.3	22	25.0	7	26.9	6	22.2	10	18.9	43	31.6	8	21.1	22	18.0	21	21.2
		106	36.4	39	44.8	31	35.2	13	50.0	10	37.0	28	52.8	45	33.1	20	52.6	52	42.6	39	39.4
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	42	14.4	8	9.2	10	11.4	1	3.8	4	14.8	3	5.7	19	14.0	6	15.8	21	17.2	8	8.1
		15	5.2	5	5.7	4	4.5	0	0	2	7.4	3	5.7	13	9.6	2	5.3	5	4.1	5	5.1
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	62	21.3	11	12.6	20	22.7	5	19.2	5	18.5	9	17.0	12	8.8	1	2.6	18	14.8	18	18.2
		7	2.4	2	2.3	1	1.1	0	0	0	0	0	0	0	4	2.9	1	2.6	4	3.3	8
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	53	18.2	17	19.5	16	18.2	7	26.9	3	11.1	4	7.5	15	11.0	5	13.2	20	16.4	16	16.2
		101	34.7	28	32.2	18	20.5	8	30.8	8	29.6	21	39.6	37	27.2	15	39.5	36	29.5	24	24.2
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	47	16.2	7	8.0	19	21.6	2	7.7	3	11.1	12	22.6	36	26.5	6	15.8	23	18.9	15	15.2
		19	6.5	4	4.6	5	5.7	0	0	2	7.4	3	5.7	12	8.8	3	7.9	5	4.1	7	7.1
19-1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	66	22.7	29	33.3	29	33.0	9	34.6	11	40.7	13	24.5	33	24.3	8	21.1	34	27.9	30	30.3
		5	1.7	2	2.3	1	1.1	0	0	0	0	0	0	0	3	2.2	1	2.6	4	3.3	7

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専										攻										別	
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
19-(1)-I 国や公共団体が積極的 に高等教育制度を整備し てきたこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	106	36.4	32	36.8	28	31.8	11	42.3	10	37.0	18	34.0	45	33.1	15	39.5	42	34.4	26	26.3		
19-(1)-J 高等教育を積極的に進める ことについての国民的関心 が高いこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	109	37.5	33	37.9	28	31.8	10	38.5	14	51.9	27	50.9	62	45.6	19	50.0	56	45.9	30	30.3		
19-(1)-K 高等教育を受けられること が、立身出世の条件として考 えられてきたこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	127	43.6	38	43.7	42	47.7	10	38.5	11	40.7	33	62.3	71	52.2	21	55.3	57	46.7	39	39.4		
19-(1)-L 個人的な能力さえあれば社 会的指導者になれるとい う社会の体質が連学意欲 を高めているから	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	86	29.6	31	35.6	29	33.0	6	23.1	6	22.2	17	32.1	35	25.7	8	21.1	35	28.7	23	23.2		
19-(2)-A 人口の規模が一億人を 超えてお	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない	44	15.1	25	28.7	18	20.5	5	19.2	9	33.3	11	20.8	38	27.9	8	21.1	21	17.2	20	20.2		
		80	27.5	23	26.4	23	26.1	6	23.1	8	29.6	15	28.3	31	22.8	16	42.1	34	27.9	24	24.2		
		114	39.2	28	32.2	27	30.7	11	42.3	4	14.8	21	39.6	48	35.3	10	26.3	38	31.1	25	25.3		

19-(2) 日本の経済発展の要因としての、人口増加について

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
り、大規模生産 ができるように なったこと	なんともいえない	25	8.6	3	3.4	11	12.5	2	7.7	0	0	2	3.8	6	4.4	0	0	11	9.0	5	5.1
	わからない	20	6.9	7	8.0	7	8.0	2	7.7	4	14.8	2	3.8	10	7.4	2	5.3	12	9.8	17	17.2
	NA	8	2.7	1	1.1	2	2.3	0	0	2	7.4	2	3.8	3	2.2	2	5.3	6	4.9	8	8.1
19-(2)-B 人口増加率が低 く、子供の扶養 負担が小さかつ たこと	その通り	67	23.0	28	32.2	25	28.4	9	34.6	7	25.9	14	26.4	38	27.9	14	36.8	33	27.0	20	20.2
	どちらかといえば そうは思わない	106	36.4	36	41.4	37	42.0	9	34.6	12	44.4	21	39.6	50	36.8	15	39.5	40	32.8	37	37.4
	なんともいえない	52	17.9	13	14.9	10	11.4	3	11.5	4	14.8	13	24.5	29	21.3	6	15.8	23	18.9	18	18.2
	わからない	27	9.3	2	2.3	8	9.1	1	3.8	1	3.7	2	3.8	11	8.1	2	5.3	10	8.2	6	6.1
	NA	29	10.0	8	9.2	5	5.7	4	15.4	2	7.4	3	5.7	7	5.1	0	0	10	8.2	10	10.1
	NA	10	3.4	0	0	3	3.4	0	0	1	3.7	0	0	1	0.7	1	2.6	6	4.9	8	8.1
19-(2)-C 最近の人口増加 率が低くなった のは出生率が低 くなったから	その通り	136	46.7	45	51.7	41	46.6	14	53.8	13	48.1	27	50.9	75	55.1	23	60.5	52	42.6	36	36.4
	どちらかといえば そうは思わない	75	25.8	26	29.9	30	34.1	8	30.8	7	25.9	19	35.8	34	25.0	8	21.1	36	29.5	30	30.3
	なんともいえない	23	7.9	3	3.4	2	2.3	0	0	2	7.4	3	5.7	15	11.0	1	2.6	10	8.2	11	11.1
	わからない	9	3.1	3	3.4	3	3.4	0	0	1	3.7	0	0	3	2.2	2	5.3	3	2.5	1	1.0
	NA	40	13.7	8	9.2	9	10.2	4	15.4	3	11.1	3	5.7	6	4.4	2	5.3	13	10.7	11	11.1
	NA	8	2.7	2	2.3	3	3.4	0	0	1	3.7	1	1.9	3	2.2	2	5.3	8	6.6	10	10.1
19-(2)-D 出生率が低いのは																					
19-(2)-D-1 家族計画の考え 方が普及してい るから	その通りと思う	133	45.7	53	60.9	45	51.1	9	34.6	13	48.1	28	52.8	79	58.1	21	55.3	54	44.3	33	33.3
	どちらかといえば そうは思わない	87	29.9	23	26.4	23	26.1	11	42.3	10	37.0	16	30.2	38	27.9	9	23.7	39	32.0	37	37.4
	なんともいえない	22	7.6	3	3.4	7	8.0	2	7.7	0	0	4	7.5	2	1.5	3	7.9	6	4.9	4	4.0
	わからない	5	1.7	2	2.3	1	1.1	1	3.8	1	3.7	2	3.8	4	2.9	1	2.6	1	0.8	2	2.0
	NA	33	11.3	5	5.7	10	11.4	3	11.5	2	7.4	2	3.8	8	5.9	3	7.9	8	6.6	11	11.1
	NA	11	3.8	1	1.1	2	2.3	0	0	1	3.7	1	1.9	5	3.7	1	2.6	14	11.5	12	12.1
19-(2)-D-2 結婚年齢が高く なったから	その通りと思う	40	13.7	17	19.5	11	12.5	4	15.4	6	22.2	9	17.0	14	10.3	6	15.8	11	9.0	13	13.1
	どちらかといえば そうは思わない	82	28.2	18	20.7	29	33.0	8	30.8	8	29.6	21	39.6	40	29.4	12	31.6	36	29.5	26	26.3
	なんともいえない	90	30.9	28	32.2	37	42.0	7	26.9	6	22.2	16	30.2	53	39.0	14	36.8	40	32.8	26	26.3
	わからない	28	9.6	2	2.3	4	4.5	2	7.7	2	7.4	2	3.8	8	5.9	2	5.3	10	8.2	6	6.1
	NA	38	13.1	15	17.2	3	3.4	5	19.2	2	7.4	3	5.7	10	7.4	3	7.9	11	9.0	12	12.1
	NA	13	4.5	7	8.0	4	4.5	0	0	3	11.1	2	3.8	11	8.1	1	2.6	14	11.5	16	16.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別									
		理工	農学	医学	薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A	実数	実数	実数	実数					
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)									
19-(2)-D-3 優生保護法で産 児制限が合法化 されているから されない	その通りと思う どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	36	12.4	12	13.8	15	17.0	5	19.2	3	11.1	10	18.9	20	14.7	1	2.6	20	16.4	12	12.1
19-(2)-D-4 社会保障制度の整 備などにより老後 を子供に頼らうと いう考えが国民の 間に少なくなったから	その通りと思う どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	70	24.1	19	21.8	12	13.6	4	15.4	6	22.2	14	26.4	35	25.7	4	10.5	26	21.3	23	23.2
19-(2)-E 1940 年代の出生率が高 く若い労働者が急 増したことがこと に1960年代の日本 の経済成長を支えた	その通りと思う どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	41	14.1	14	16.1	10	11.4	6	23.1	5	18.5	10	18.9	39	28.7	8	21.1	23	18.9	11	11.1
19-(2)-F 最近 における日本の出 生率の低下、人口 増加率の低下は日 本の経済成長を今後 低下させるであらう	その通りと思う どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない なんともいえない わからない	9	3.1	2	2.3	0	0	4	15.4	0	0	1	1.9	4	2.9	2	5.3	1	0.8	3	3.0
19-(3) 日本の経済発展の要因としての労働体制について	その通りと思う どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない	192	66.0	54	62.1	55	62.5	20	76.9	17	63.0	36	67.9	94	69.1	31	81.6	69	56.6	58	58.6
日本人は本来勤 勉で労働の密度	その通りと思う どちらかといえば その通りだと思う そうは思わない	71	24.4	24	27.6	25	28.4	3	11.5	10	37.0	14	26.4	31	22.8	5	13.2	36	29.5	24	24.2
		9	3.1	3	3.4	5	5.7	2	7.7	0	0	1	1.9	4	2.9	2	5.3	6	4.9	4	4.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻別																			
		専攻				攻				別											
		理工	農学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A										
実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
が高いこと	なんともいえない	5	1.7	1	1.1	0	0	1	3.8	0	0	2	3.8	2	1.5	0	0	2	1.6	1	1.0
	わからない	5	1.7	4	4.6	1	1.1	0	0	0	0	0	0	2	1.5	0	0	4	3.3	6	6.1
	NA	9	3.1	1	1.1	2	2.3	0	0	0	0	0	0	3	2.2	0	0	5	4.1	6	6.1
19-(3)-B 日本には身分意識が少く上下の差別なくよく働くから	その通りと思う	60	20.6	23	26.4	21	23.9	9	34.6	3	11.1	9	17.0	23	16.9	8	21.1	25	20.5	15	15.1
	どちらかといえばその通りと思う	77	26.5	30	34.5	18	20.5	6	23.1	11	40.7	14	26.4	46	33.8	10	26.3	38	31.1	23	23.2
	そうは思わない	111	38.1	21	24.1	32	36.4	8	30.8	8	29.6	23	43.4	57	41.9	18	47.4	45	36.9	34	34.3
	なんともいえない	9	3.1	4	4.6	2	2.3	2	7.7	4	14.8	5	9.4	4	2.9	1	2.6	3	2.5	9	9.1
	わからない	21	7.2	8	9.2	12	13.6	1	3.8	0	0	2	3.8	3	2.2	0	0	6	4.9	11	11.1
NA	13	4.5	1	1.1	3	3.4	0	0	1	3.7	0	0	3	2.2	1	2.6	5	4.1	7	7.1	
19-(3)-C 週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	その通りと思う	87	29.9	26	29.9	28	31.8	6	23.1	11	40.7	17	32.1	42	30.9	15	39.5	36	29.5	19	19.2
	どちらかといえばその通りと思う	90	30.9	25	28.7	30	34.1	11	42.3	6	22.2	19	35.8	42	30.9	10	26.3	38	31.1	31	31.3
	そうは思わない	46	15.8	11	12.6	8	9.1	2	7.7	9	33.3	9	17.0	28	20.0	5	13.2	17	13.9	13	13.1
	なんともいえない	14	4.8	2	2.3	1	1.1	2	7.7	0	0	3	5.7	7	5.1	0	0	6	4.9	4	4.0
	わからない	40	13.7	20	23.0	18	20.5	5	19.2	1	3.7	5	9.4	14	10.3	7	18.4	19	15.6	23	23.2
NA	14	4.8	3	3.4	3	3.4	0	0	0	0	0	0	3	2.2	1	2.6	6	4.9	9	9.1	
19-(3)-D 労働組合が企業制組合であり、ストライキが少ないから	その通りと思う	81	27.8	29	33.3	21	33.9	4	15.4	14	51.9	11	20.8	45	33.1	12	31.6	31	25.4	20	20.2
	どちらかといえばその通りと思う	95	32.6	21	24.1	23	26.1	11	42.3	7	25.9	21	39.6	54	39.7	18	47.4	39	32.0	28	28.3
	そうは思わない	38	13.1	9	10.3	15	17.0	5	19.2	3	11.1	11	20.8	17	12.5	6	15.8	18	14.8	11	11.1
	なんともいえない	17	5.8	5	5.7	6	6.8	1	3.8	1	3.7	2	3.8	7	5.1	0	0	7	5.7	9	9.1
	わからない	45	15.5	20	23.0	21	23.9	5	19.2	2	7.4	8	15.1	9	6.6	1	2.6	19	15.6	24	24.2
NA	15	5.2	3	3.4	2	2.3	0	0	0	0	0	0	4	2.9	1	2.6	8	6.6	7	7.1	
19-(4) 経済と人的能力との関係について																					
「人的能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方についてあなたは同	その通りだ	233	80.1	75	86.2	71	80.7	22	84.6	18	66.7	48	90.6	116	85.3	32	84.2	91	74.6	69	69.7
	必ずしもそうだとは思わない	39	13.4	6	6.9	12	13.6	3	11.5	8	29.6	5	9.4	13	9.6	5	13.2	19	15.6	12	12.1
	まちがっている	4	1.4	1	1.1	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	0.7	0	0	1	0.8	0	0
	なんともいえない	2	0.7	1	1.1	0	0	1	3.8	0	0	0	0	1	0.7	1	2.6	4	3.3	2	2.0
	わからない	2	0.7	1	1.1	1	1.1	0	0	1	3.7	0	0	0	0	0	0	1	0.8	5	5.1
NA	11	3.8	3	1.1	3	3.4	0	0	0	0	0	0	5	3.7	0	0	6	4.9	11	11.1	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別									
		理工		農学		医学・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
20-1 家族について 父親の職業	計	291	100.0	87	3.4	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
	公務員	20	6.9	3	3.4	4	4.5	2	7.7	2	7.4	3	5.7	7	5.1	2	5.3	2	1.6	7	7.1
	教師	21	7.2	5	5.7	4	4.5	3	11.5	4	14.8	4	7.5	5	3.7	3	7.9	5	4.1	3	3.0
	会社員	20	6.9	2	2.3	2	2.3	0	0	2	7.4	6	11.3	14	10.3	7	18.4	11	9.0	7	7.1
	自由業	12	4.1	3	3.4	7	8.0	0	0	1	3.7	1	1.9	8	5.9	1	2.6	4	3.3	1	1.0
	農業	9	3.1	12	13.8	3	3.4	0	0	2	7.4	1	1.9	3	2.2	1	2.6	3	2.5	3	3.0
	商業	10	3.4	12	13.8	7	8.0	1	3.8	1	3.7	7	13.2	17	12.5	4	10.5	12	9.8	5	5.1
	その他	36	12.4	4	4.6	12	13.6	5	19.2	6	22.2	7	13.2	16	11.8	4	10.5	16	13.1	7	7.1
	無職・無回答	163	56.0	46	52.9	49	55.7	15	57.7	9	33.3	24	45.3	66	48.5	16	42.1	69	56.6	66	66.7
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0
20-2 男子の数	1人	58	19.9	14	16.1	13	14.8	5	19.2	8	29.6	13	24.5	32	23.5	10	26.3	22	18.0	16	16.2
	2人	93	32.0	21	24.0	31	35.2	12	46.2	7	25.9	18	34.0	38	27.9	12	31.6	41	33.6	31	31.3
	3人	58	19.9	25	28.7	23	26.1	4	15.4	7	25.9	7	13.2	37	27.2	19	26.3	26	21.3	18	18.2
	4人	38	13.1	13	14.9	14	15.9	2	7.7	2	7.4	7	13.2	9	6.6	5	13.2	9	7.4	10	10.1
	5人以上	22	6.6	11	12.6	4	4.5	3	11.5	0	0	1	1.9	8	5.9	1	2.6	11	9.0	8	8.1
	無回答, 0人	22	7.6	3	3.4	3	3.4	0	0	3	11.1	7	13.2	12	8.8	0	0	13	10.7	16	16.2
20-3 女子の数	1人	84	28.9	24	27.6	23	26.1	6	23.1	9	33.3	13	24.5	32	23.5	11	28.9	43	35.2	28	28.3
	2人	66	22.7	28	32.2	24	27.3	5	19.2	8	29.6	17	32.1	38	27.9	13	34.2	31	25.4	18	18.2
	3人	35	12.0	11	12.6	15	17.0	5	19.2	3	11.1	6	11.3	21	15.4	8	21.1	20	16.4	15	15.2
	4人	23	7.9	6	6.9	11	12.5	3	11.5	3	11.1	4	7.5	11	8.1	0	0	6	4.9	7	7.1
	5人以上	10	3.4	4	4.6	0	0	0	0	1	3.7	4	7.5	8	5.9	0	0	4	3.3	0	0
	無回答, 0人	73	25.1	14	16.1	15	17.0	7	26.9	3	11.1	9	17.0	26	19.1	6	15.8	18	14.8	31	31.3
20-4 家族に海外留学 の体験があるか	ある	97	33.3	38	43.7	37	42.0	10	38.5	14	51.9	29	54.7	54	39.7	17	44.7	47	38.5	32	32.3
	ない	138	47.4	39	44.8	39	44.3	10	38.5	9	33.3	14	26.4	59	43.4	15	39.5	46	37.7	38	38.4
	N.A	56	19.2	10	11.5	12	13.6	6	23.1	4	14.8	10	18.9	23	16.9	6	15.8	29	23.8	29	29.3
	計	291	100.0	87	100.0	88	100.0	26	100.0	27	100.0	53	100.0	136	100.0	38	100.0	122	100.0	99	100.0

A-V 在日留学生アンケート集計表（国公立別・在籍区分別・奨学金別・奨学金類別）

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1. あなたは日本留学以前に他の国に留学したことがありますか	754	91.5	128	97.0	10	90.9	290	97.3	383	92.3	185	84.1	34	100.0	404	87.1	308	99.0	159	94.1	21	91.3
	70	8.5	4	3.0	1	9.1	8	2.7	32	7.7	35	15.9	0	0	60	12.9	3	1.0	10	5.9	2	8.7
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
I-(2)-A	22	31.4	0	0	0	0	6	75.0	6	18.8	10	28.6	0	0	14	23.3	0	0	8	80.0	0	0
北米	4	5.7	0	0	0	0	0	0	2	6.3	2	5.7	0	0	4	6.7	0	0	0	0	0	0
南米	18	25.7	2	50.0	1	100.0	1	12.5	8	25.0	12	34.3	0	0	20	33.3	1	33.3	0	0	0	0
西欧	3	4.3	1	25.0	0	0	0	0	1	3.1	3	8.6	0	0	4	6.7	0	0	0	0	0	0
東欧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中東	2	2.9	0	0	0	0	0	0	2	6.3	0	0	0	0	2	3.3	0	0	0	0	0	0
アフリカ	3	4.3	0	0	0	0	0	0	2	6.3	1	2.9	0	0	3	5.0	0	0	0	0	0	0
南アジア	9	12.9	0	0	0	0	0	0	8	25.0	1	2.9	0	0	7	11.7	0	0	1	10.0	1	50.0
東南アジア	7	10.0	1	25.0	0	0	1	12.5	3	9.4	4	11.4	0	0	4	6.7	2	66.7	1	10.0	1	50.0
東アジア	2	2.9	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5.7	0	0	2	3.3	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NA	70	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0	32	100.0	35	100.0	0	0	60	100.0	3	100.0	10	0	2	0
計	19	27.1	1	25.0	0	0	3	37.5	9	28.1	8	22.9	0	0	18	30.0	0	0	2	20.0	0	0
I-(2)-B	13	18.6	0	0	0	0	2	25.0	6	18.8	5	14.3	0	0	8	13.3	1	33.3	3	30.0	1	50.0
留学期間は何年でしたか	5	7.1	0	0	0	0	1	12.5	2	6.3	2	5.7	0	0	2	3.3	0	0	2	20.0	1	50.0
	4	5.7	2	50.0	0	0	1	12.5	3	9.4	2	5.7	0	0	4	6.7	1	33.3	1	10.0	0	0
	6	8.6	0	0	0	0	1	12.5	4	12.5	1	2.9	0	0	5	8.3	0	0	1	10.0	0	0
	7	10.0	0	0	0	0	0	0	1	3.1	6	17.1	0	0	7	11.7	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	1	100.0	0	0	0	0	1	2.9	0	0	1	1.7	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
9年以上 NA 計	3	4.3	1	25.0	0	0	0	0	3	9.4	1	2.9	0	0	4	6.7	0	0	0	0	0	0
	13	18.6	0	0	0	0	0	4	12.5	9	25.7	0	0	11	18.3	1	33.3	1	10.0	0	0	
1-(2)-C 学校は次のい ずれでしたか	70	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0	32	100.0	35	100.0	0	0	60	100.0	3	100.0	10	100.0	2	100.0
	14	20.0	1	25.0	0	0	4	50.0	5	15.6	6	17.1	0	0	12	20.0	0	0	3	30.0	0	0
2. 今回の留学で 日本は留学生と なるときの第一 志望国でしたか	24	34.3	2	50.0	1	100.0	1	12.5	13	40.6	13	37.1	0	0	22	36.7	2	66.7	2	20.0	1	50.0
	30	42.9	1	25.0	0	0	3	37.5	13	40.6	15	42.9	0	0	24	40.0	1	33.3	5	50.0	1	50.0
2-(2)-A それでは、第 一志望の国は どこでしたか	2	2.9	0	0	0	0	0	0	1	3.1	1	2.9	0	0	2	3.3	0	0	0	0	0	0
	70	100.0	4	100.0	1	100.0	8	100.0	32	100.0	35	100.0	0	0	60	100.0	3	100.0	10	100.0	2	100.0
2. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	587	71.2	112	84.8	11	100.0	227	76.2	288	69.4	164	74.5	31	91.2	321	69.2	235	75.6	136	80.5	18	78.3
	215	26.1	20	15.2	0	0	65	21.8	117	28.2	51	23.2	2	5.9	132	28.4	68	21.9	30	17.8	5	21.7
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	22	2.7	0	0	0	0	6	2.0	10	2.4	5	2.3	1	2.9	11	2.4	8	2.6	3	1.8	0	0
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	138	64.2	15	75.0	0	0	36	55.4	84	71.8	31	60.8	2	100.0	88	66.7	43	63.2	19	63.3	3	60.0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	43	20.0	4	20.0	0	0	18	27.7	18	15.4	11	21.6	0	0	30	22.7	11	16.2	6	20.0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0.5	0	0	0	0	1	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	0.5	0	0	0	0	1	1.5	0	0	0	0	0	0	1	0.8	0	0	0	0	0	0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	32	14.9	1	5.0	0	0	9	13.8	15	12.8	9	17.6	0	0	13	9.8	14	20.6	4	13.3	2	40.0
	215	100.0	20	100.0	0	0	65	100.0	117	100.0	51	100.0	2	100.0	132	100.0	68	100.0	30	100.0	5	100.0
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	67	8.1	24	18.2	2	18.2	51	17.1	26	6.3	10	4.5	6	17.6	13	2.8	50	16.1	28	16.6	2	8.7
	148	18.0	81	61.4	3	27.3	131	44.0	66	15.9	21	9.5	14	41.2	21	4.5	119	38.3	88	52.1	4	17.4
3. 日本留学後の経緯 3. 日本に入国 するにあたり て、あなたは	243	29.5	10	7.6	2	18.2	31	10.4	132	31.8	89	40.5	3	8.8	247	53.2	3	1.0	3	1.8	2	8.7
	67	8.1	24	18.2	2	18.2	51	17.1	26	6.3	10	4.5	6	17.6	13	2.8	50	16.1	28	16.6	2	8.7

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国立		公立		私立		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
保証人をだれ に頼みました か	179	21.7	3	2.3	1	9.1	49	16.4	94	22.7	38	17.3	2	5.9	52	11.2	93	29.9	31	18.3	7	30.4
	187	22.7	14	10.6	3	27.3	36	12.1	97	23.4	62	28.2	9	26.5	131	28.2	46	14.8	19	11.2	8	34.8
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
3-(2)-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1965	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1966	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1967	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1968	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1969	1	0.1	0	0	0	0	1	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3	0	0	0	0
1970	0	0	1	0.8	0	0	1	0.3	0	0	0	0	0	0	1	0.2	0	0	0	0	0	0
1971	1	0.1	0	0	0	0	0	0	1	0.2	0	0	0	0	0	0	1	0.3	0	0	0	0
1972	3	0.4	0	0	0	0	0	0	3	0.7	0	0	0	0	2	0.4	0	0	1	0.6	0	0
1973	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1974	3	0.4	0	0	0	0	0	0	3	0.7	0	0	0	0	2	0.4	1	0.3	0	0	0	0
1975	4	0.5	0	0	0	0	1	0.3	3	0.7	0	0	0	0	2	0.4	1	0.3	1	0.6	0	0
1976	5	0.6	0	0	0	0	3	1.0	2	0.5	0	0	0	0	2	0.4	2	0.6	1	0.6	0	0
1977	7	0.8	1	0.8	1	9.1	5	1.7	4	1.0	0	0	0	0	4	0.9	4	1.3	1	0.6	0	0
1978	14	1.7	1	0.8	0	0	3	1.0	9	2.2	2	0.9	1	2.9	8	1.7	4	1.3	3	1.8	0	0
1979	30	3.6	11	8.3	0	0	24	8.1	16	3.9	1	0.5	0	0	16	3.4	17	5.5	7	4.1	1	4.3
1980	54	6.6	43	32.6	0	0	67	22.5	24	5.8	0	0	6	17.6	28	6.0	57	18.3	8	4.7	4	17.4
1981	82	10.0	34	25.8	1	9.1	76	25.5	36	8.7	2	0.9	3	8.8	40	8.6	62	19.9	13	7.7	2	8.7
1982	92	11.2	5	3.8	0	0	20	6.7	73	17.6	4	1.8	0	0	67	14.4	18	5.8	11	6.5	1	4.3
1983	135	16.4	10	7.6	2	18.2	33	11.1	59	14.2	52	23.6	3	8.8	95	20.5	18	5.8	32	18.9	2	8.7
1984	119	14.4	10	7.6	3	27.3	12	4.0	23	5.5	91	41.4	6	17.6	98	21.1	17	5.5	14	8.3	3	13.0
1985	2	0.2	0	0	0	0	0	0	1	0.2	1	0.5	0	0	2	0.4	0	0	0	0	0	0
NA	272	33.0	16	12.1	4	36.4	52	17.4	158	38.1	67	30.5	15	44.1	97	20.9	108	34.7	77	45.6	10	43.5
計	834	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	24	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
3-(2)-2	361	43.8	102	77.3	4	36.4	215	72.1	148	35.7	88	40.0	16	47.1	243	52.4	146	46.9	69	40.8	9	39.1
日本語学校に 入学しない	151	18.3	10	7.6	3	27.3	20	6.7	83	20.0	61	27.7	0	0	114	24.6	33	10.6	14	8.3	3	13.0

質問(項目)番号 質問内容	国公私立別				在籍区分別				奨学金類別								
	国立		私立		大学院		学部		N.A		文部省		その他		奨学金なし		
	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	
入学しましたか	312 37.9	20 15.2	4 36.4	63 21.1	184 44.3	71 32.3	18 52.9	107 23.1	132 42.4	86 50.9	11 47.8	169 100.0	311 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0
3-(2)-3 1974以前 何年から現在の 大学の在籍 していますか (1974年以前 はその合計数)	2 0.2	1 0.8	0 0	2 0.6	1 0.2	0 0	0 0	1 0.2	1 0.2	1 0.6	0 0	0 0	1 0.3	1 0.2	1 0.3	1 0.6	0 0
	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	1 0.1	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.5	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.6	0 0
	8 1.0	0 0	0 0	2 0.7	6 1.4	0 0	0 0	2 0.4	4 1.3	1 0.6	1 4.3	0 0	4 1.3	2 0.6	0 0	2 1.2	0 0
	5 0.6	0 0	0 0	2 0.7	3 0.7	0 0	0 0	3 0.6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 0.6	0 0	4 2.4	0 0
	19 2.3	2 1.5	1 9.1	4 1.3	18 4.3	0 0	0 0	12 2.6	6 1.9	4 2.4	0 0	0 0	6 1.9	12 2.6	6 1.9	4 2.4	0 0
	44 5.3	3 2.3	0 0	6 2.0	39 9.4	1 0.5	1 2.9	29 6.3	13 4.2	5 3.0	0 0	0 0	13 4.2	29 6.3	13 4.2	5 3.0	0 0
	89 10.8	46 34.8	0 0	95 31.9	36 8.7	0 0	4 11.8	36 7.8	87 28.0	12 7.1	0 0	0 0	87 28.0	36 7.8	87 28.0	12 7.1	0 0
	171 20.8	32 24.2	1 9.1	85 28.5	110 26.5	4 1.8	5 14.7	94 20.3	87 28.0	19 11.2	4 17.4	0 0	87 28.0	94 20.3	87 28.0	19 11.2	4 17.4
	175 21.2	11 8.3	1 9.1	28 9.4	109 26.3	48 21.8	2 5.9	100 21.6	45 14.5	37 21.9	5 21.7	0 0	45 14.5	100 21.6	45 14.5	37 21.9	5 21.7
	250 30.3	19 14.4	2 18.2	53 17.8	69 16.6	144 65.5	5 14.7	158 34.1	44 14.1	66 39.1	3 13.0	0 0	44 14.1	158 34.1	44 14.1	66 39.1	3 13.0
	4 0.5	6 4.5	0 0	4 1.3	3 0.7	1 0.5	2 5.9	2 0.4	5 1.6	2 1.2	1 4.3	0 0	5 1.6	2 0.4	5 1.6	2 1.2	1 4.3
	56 6.8	12 9.1	6 54.5	17 5.7	21 5.1	21 9.5	15 44.1	27 5.8	19 6.1	19 11.2	9 39.1	0 0	19 6.1	27 5.8	19 6.1	19 11.2	9 39.1
	824 100.0	132 100.0	11 100.0	298 100.0	415 100.0	220 100.0	34 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0	0 0	311 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0
3-(2)-4 在籍する大学の 区分	824 100.0	0 0	0 0	197 66.1	401 96.6	208 94.5	18 52.9	436 94.0	218 70.1	156 92.3	14 60.9	0 0	218 70.1	436 94.0	218 70.1	156 92.3	14 60.9
	0 0	132 100.0	0 0	98 32.9	14 3.4	9 4.1	11 32.4	24 5.2	91 29.3	10 5.9	7 30.4	0 0	91 29.3	24 5.2	91 29.3	10 5.9	7 30.4
	0 0	0 0	11 100.0	3 1.0	0 0	3 1.4	5 14.7	4 0.9	2 0.6	3 1.8	2 8.7	0 0	4 0.9	4 0.9	2 0.6	3 1.8	2 8.7
	824 100.0	132 100.0	11 100.0	298 100.0	415 100.0	220 100.0	34 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0	0 0	311 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0
3-(2)-5 学部大学院等 の在籍区分	197 23.9	98 74.2	3 27.3	298 100.0	0 0	0 0	0 0	59 12.7	182 58.5	49 29.0	8 34.8	0 0	182 58.5	59 12.7	182 58.5	49 29.0	8 34.8
	401 48.7	14 10.6	0 0	0 0	415 100.0	0 0	0 0	256 55.2	88 28.3	64 37.9	7 30.4	0 0	415 100.0	256 55.2	88 28.3	64 37.9	7 30.4
	208 25.2	9 6.8	3 27.3	0 0	0 0	220 100.0	0 0	142 30.6	31 10.0	44 26.0	3 13.0	0 0	0 0	142 30.6	31 10.0	44 26.0	3 13.0
	18 2.2	11 8.3	5 45.5	0 0	0 0	0 0	34 100.0	7 1.5	10 3.2	12 7.1	5 21.7	0 0	0 0	7 1.5	10 3.2	12 7.1	5 21.7
	824 100.0	132 100.0	11 100.0	298 100.0	415 100.0	220 100.0	34 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0	0 0	311 100.0	464 100.0	311 100.0	169 100.0	23 100.0
3-(2)-6 理工 農学 現在の専攻分 野	263 31.9	26 19.7	2 18.2	83 27.9	134 32.3	70 31.8	4 11.8	140 30.2	100 32.2	44 26.0	7 30.4	0 0	100 32.2	140 30.2	100 32.2	44 26.0	7 30.4
	86 10.4	1 0.8	0 0	7 2.3	64 15.4	16 7.3	0 0	54 11.6	17 5.5	13 7.7	3 13.0	0 0	17 5.5	54 11.6	17 5.5	13 7.7	3 13.0
	86 10.4	1 0.8	1 9.1	28 9.4	36 8.7	24 10.9	0 0	44 9.5	20 6.4	24 14.2	0 0	0 0	20 6.4	44 9.5	20 6.4	24 14.2	0 0

質問(項目)番号 質問内容	国公立				国公私立別				在籍区分別				奨学金類別										
	実数		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし						
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)					
その他理科	24	2.9	2	1.5	0	0	11	3.7	10	2.4	5	2.3	0	0	11	2.4	10	3.2	5	3.0	0	0	
日本語	25	3.0	0	0	2	18.2	7	2.3	7	1.7	12	5.5	1	2.9	18	3.9	8	2.6	1	0.6	0	0	
人文・社会	40	4.9	12	9.1	1	9.1	20	6.7	27	6.5	5	2.3	1	2.9	16	3.4	23	7.4	13	7.7	1	4.3	
経営・経済	89	10.8	47	35.6	0	0	71	23.8	45	10.8	15	6.8	5	14.7	52	11.2	59	19.0	24	14.2	1	4.3	
政治・法律	32	3.9	6	4.5	0	0	10	3.4	20	4.8	7	3.2	1	2.9	20	4.3	11	3.5	6	3.6	1	4.3	
その他文科	92	11.2	30	22.7	0	0	43	14.4	40	9.6	36	16.4	3	8.8	59	12.7	42	13.5	18	10.7	3	13.0	
NA	87	10.6	7	5.3	5	45.5	18	6.0	32	7.7	30	13.6	19	55.9	50	10.8	21	6.8	21	12.4	7	30.4	
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0	
4. 奨学金について																							
4-1 現在、あなたは奨学金をもらっていますか	156	18.9	10	7.6	3	27.3	49	16.4	64	15.4	44	20.0	12	35.3	0	0	0	0	169	100.0	0	0	0
4-2 母国の政府奨学金	94	14.4	0	0	0	0	49	20.3	28	8.1	14	8.1	3	17.6	0	0	94	30.2	0	0	0	0	0
母国民間団体奨学金	11	1.7	1	0.9	0	0	2	0.8	8	2.3	2	1.2	0	0	0	0	12	3.9	0	0	0	0	0
日本文部省奨学金	436	66.7	24	20.9	4	66.7	59	24.5	256	74.4	142	82.1	7	41.2	464	100.0	0	0	0	0	0	0	0
日本私費留学生奨学金	82	12.5	75	65.2	1	16.7	112	46.5	40	11.6	2	1.2	4	23.5	0	0	158	50.8	0	0	0	0	0
日本地方自治体奨学金	8	1.2	3	2.6	0	0	5	2.1	1	0.3	4	2.3	1	5.9	0	0	11	3.5	0	0	0	0	0
その他	21	3.2	12	10.4	1	16.7	12	5.0	11	3.2	9	5.2	2	11.8	0	0	34	10.9	0	0	0	0	0
NA	2	0.3	0	0	0	0	2	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6	0	0	0	0	0
計	654	100.0	115	100.0	6	100.0	241	100.0	344	100.0	173	100.0	17	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0	0
4-2-1 月にいくらくですか	61	9.3	85	73.9	1	16.7	130	53.9	9	2.6	1	0.6	7	41.2	13	2.8	134	43.1	0	0	0	0	0
4-2-2 月にいくらくですか	98	15.0	6	5.2	1	16.7	42	17.4	40	11.6	20	11.6	3	17.6	1	0.2	104	33.4	0	0	0	0	0
100~150	84	12.8	1	0.9	0	0	47	19.5	28	8.1	10	5.8	0	0	50	10.8	35	11.3	0	0	0	0	0
150~200	374	57.2	18	15.7	4	66.7	7	2.9	246	71.5	138	79.8	5	29.4	379	81.7	17	5.5	0	0	0	0	0
200~250	3	0.5	0	0	0	0	1	0.4	2	0.6	0	0	0	0	1	0.2	2	0.6	0	0	0	0	0
250~300	2	0.3	0	0	0	0	0	0	2	0.6	0	0	0	0	1	0.2	1	0.3	0	0	0	0	0
300千円以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	国公立				国公私立別				在籍区分別				奨学金類別										
	回答内容		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
NA	32	4.9	5	4.3	0	0	14	5.8	17	4.9	4	2.3	2	11.8	19	4.1	18	5.8	0	0	0	0	
計	654	100.0	115	100.0	6	100.0	241	100.0	344	100.0	173	100.0	17	100.0	464	100.0	311	100.0	0	0	0	0	
5. 日本留学を決めるにあたって、次のこととはどの程度影響力がありましたか																							
5-(1)	大きな影響力	152	18.4	30	22.7	2	18.2	46	15.4	97	23.4	33	15.0	8	23.5	91	19.6	57	18.3	36	21.3	0	0
	一応影響力	239	29.0	37	28.0	3	27.3	74	24.8	135	32.5	61	27.7	9	26.5	135	29.1	85	27.3	57	33.7	2	8.7
	全く影響なし	310	37.6	50	37.9	5	45.5	140	47.0	124	29.9	89	40.5	12	35.3	182	39.2	125	40.2	51	30.2	7	30.4
	なんともいえない	68	8.3	8	6.1	0	0	24	8.1	37	8.9	15	6.8	0	0	35	7.5	23	7.4	17	10.1	1	4.3
NA		55	6.7	7	5.3	1	9.1	14	4.7	22	5.3	22	10.0	5	14.7	21	4.5	21	6.8	8	4.7	13	56.5
計		824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(2)	大きな影響力	180	21.8	33	25.0	2	18.2	73	24.5	89	21.4	45	20.5	8	23.5	95	20.5	75	24.1	43	25.4	2	8.7
	一応影響力	244	29.6	45	34.1	3	27.3	91	30.5	127	30.6	66	30.0	8	23.5	143	30.8	86	27.7	57	33.7	6	26.1
	全く影響なし	308	37.4	47	35.6	6	54.5	116	38.9	154	37.1	81	36.8	10	29.4	183	39.4	117	37.6	57	33.7	4	17.4
	なんともいえない	29	3.5	1	0.8	0	0	5	1.7	18	4.3	7	3.2	0	0	20	4.3	7	2.3	3	1.8	0	0
NA		63	7.6	6	4.5	0	0	13	4.4	27	6.5	21	9.5	8	23.5	23	5.0	26	8.4	9	5.3	11	47.8
計		834	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(3)	大きな影響力	100	12.1	23	17.4	3	27.3	39	13.1	60	14.5	18	8.2	9	26.5	53	11.4	45	14.5	26	15.4	2	8.7
	一応影響力	345	41.9	52	39.4	3	27.3	139	46.6	164	39.5	85	38.6	12	35.3	176	37.9	136	43.7	82	48.5	6	26.1
	全く影響なし	243	29.5	37	28.0	4	36.4	75	25.2	132	31.8	73	33.2	4	11.8	170	36.6	76	24.4	37	21.9	1	4.3
	なんて高い評価	79	9.6	13	9.8	1	9.1	31	10.4	37	8.9	22	10.0	3	8.8	41	8.8	35	11.3	15	8.9	2	8.7
NA		57	6.9	7	5.3	0	0	14	4.7	22	5.3	22	10.0	6	17.6	24	5.2	19	6.1	9	5.3	12	52.2
計		824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(4)	大きな影響力	40	4.9	23	17.4	1	9.1	41	13.8	20	4.8	2	0.9	1	2.9	6	1.3	30	9.6	26	15.4	2	8.7
	一応影響力	97	11.8	33	25.0	3	27.3	65	21.8	45	10.8	14	6.4	9	26.5	25	5.4	60	19.3	45	26.6	3	13.0
	全く影響なし	539	65.4	65	49.2	7	63.6	155	52.0	284	68.4	158	71.8	14	41.2	365	78.7	170	54.7	71	42.0	5	21.7
	なんて束縛され	77	9.3	3	2.3	0	0	21	7.0	34	8.2	22	10.0	3	8.8	38	8.2	26	8.4	15	8.9	1	4.3
NA		71	8.6	8	6.1	0	0	16	5.4	32	7.7	24	10.9	7	20.6	30	6.5	25	8.0	12	7.1	12	52.2
計		824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(5)	大きな影響力	56	6.8	19	14.4	1	9.1	32	10.7	33	8.0	10	4.5	1	2.9	27	5.8	33	10.6	15	8.9	1	4.3

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
家族から外国 留学体験を要 請された	156	18.9	29	22.0	0	0	77	25.8	68	16.4	31	14.1	9	26.5	83	17.9	67	21.5	35	20.7	0	0
	497	60.3	75	56.8	10	90.9	159	53.4	262	63.1	145	65.9	16	47.1	306	65.9	166	53.4	101	59.8	9	39.1
NA 計	48	5.8	1	0.8	0	0	12	4.0	24	5.8	12	5.5	1	2.9	22	4.7	17	5.5	9	5.3	1	4.3
	67	8.1	8	6.1	0	0	18	6.0	28	6.7	22	10.0	7	20.6	26	5.6	28	9.0	9	5.3	12	52.2
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(6) 大きな影響力 母国から日本 は距離的に近 い	108	13.1	31	23.5	1	9.1	66	22.1	54	13.0	13	5.9	7	20.6	35	7.5	59	19.0	44	26.0	2	8.7
	223	27.1	44	33.3	4	36.4	103	34.6	120	28.9	39	17.7	9	26.5	103	22.2	103	33.1	61	36.1	4	17.4
NA 計	397	48.2	46	34.8	5	45.4	107	35.9	201	48.4	132	60.0	8	23.5	280	60.3	108	34.7	56	33.1	4	17.4
	29	3.5	5	3.8	0	0	7	2.3	15	3.6	9	4.1	3	8.8	14	3.0	18	5.8	2	1.2	0	0
	67	8.1	6	4.5	1	9.1	15	5.0	25	6.0	27	12.3	7	20.6	32	6.9	23	7.4	6	3.6	13	56.5
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(7) 大きな影響力 母国のかかえる問 題現象は日本も似 通っており日本は それを早く解決し ようとした国である	148	18.0	32	24.2	1	9.1	50	16.8	95	22.9	29	13.2	7	20.6	81	17.5	60	19.3	35	20.7	5	21.7
	237	28.8	38	28.8	4	36.4	74	24.8	143	34.5	47	21.4	15	44.1	135	29.1	99	28.6	50	29.6	5	21.7
NA 計	289	35.1	37	28.0	4	36.4	113	37.9	112	27.0	99	45.0	6	17.6	176	37.9	103	33.1	50	29.6	1	4.3
	87	10.6	16	12.1	0	0	42	14.1	40	9.6	21	9.5	0	0	44	9.5	33	10.6	25	14.8	1	4.3
	63	7.6	9	6.8	2	18.2	19	6.4	25	6.0	24	10.9	6	17.6	28	6.0	26	8.4	9	5.3	11	47.8
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(8) 日本の文部省 奨学金が得ら れたこと	300	36.4	17	12.9	2	18.2	37	12.4	165	39.8	112	50.9	5	14.7	301	64.9	10	3.2	7	4.1	1	4.3
	81	9.8	7	5.3	4	36.4	21	7.0	45	10.8	24	10.9	2	5.9	79	17.0	7	2.3	4	2.4	2	8.7
NA 計	340	41.3	89	67.4	5	45.5	207	69.5	156	37.6	56	25.5	15	44.1	60	12.9	239	76.8	128	75.7	7	30.4
	32	3.9	12	9.1	0	0	14	4.7	21	5.1	7	3.2	2	5.9	8	1.7	23	7.4	13	7.7	0	0
	71	8.6	7	5.3	0	0	19	6.4	28	6.7	21	9.5	10	29.4	16	3.4	32	10.3	17	10.1	13	56.5
	834	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-(9) 日本に住む親 戚知人、団体 等からの経済 的援助	25	3.0	18	13.6	1	9.1	23	7.7	11	2.7	5	2.3	5	14.7	6	1.3	26	8.4	10	5.9	2	8.7
	38	4.6	12	9.1	2	18.2	28	9.4	17	4.1	5	2.3	2	5.9	10	2.2	23	7.4	17	10.1	2	8.7
NA 計	626	76.0	90	68.2	7	63.6	214	71.8	326	78.6	166	75.5	17	50.0	377	81.3	219	70.4	120	71.0	7	30.4
	56	6.8	6	4.5	0	0	15	5.0	28	6.7	15	6.8	4	11.8	34	7.3	17	5.5	11	6.5	0	0
	79	9.6	6	4.5	1	9.1	18	6.0	33	8.0	29	13.2	6	17.6	37	8.0	26	8.4	11	6.5	12	52.2

質問(項目)番号 質問内容	国公私立別				在籍区分別				奨学金類別																	
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A					
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
5-1(10)	824	100.0	132	100.0	11	100.0	4	36.4	43	14.4	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
大きな影響力	122	14.8	35	26.5	4	36.4	43	14.4	64	15.4	46	20.9	64	15.4	46	20.9	8	23.5	83	17.9	52	16.7	25	14.8	1	4.3
一応影響力	192	23.3	36	27.3	4	36.4	77	25.8	99	23.9	48	21.8	99	23.9	48	21.8	8	23.5	103	22.2	83	26.7	41	24.3	5	21.7
全く影響なし	371	45.0	49	37.1	3	27.3	134	45.0	193	46.5	87	39.5	193	46.5	87	39.5	9	26.5	217	46.8	124	39.9	78	46.2	4	17.4
なんともいえない	70	8.5	5	3.8	0	0	28	9.4	28	6.7	18	8.2	28	6.7	18	8.2	1	2.9	31	6.7	26	8.4	17	10.1	1	4.3
NA	69	8.4	7	5.3	0	0	16	5.4	31	7.5	21	9.5	31	7.5	21	9.5	8	23.5	30	6.5	26	8.4	8	4.7	12	52.2
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-1(11)	349	42.4	73	55.3	7	63.6	121	40.6	182	43.9	116	52.7	182	43.9	116	52.7	10	29.4	228	49.1	133	42.8	63	37.3	5	21.7
日本の文化、	347	42.1	48	36.4	3	27.3	138	46.3	171	41.2	75	34.1	171	41.2	75	34.1	14	41.2	181	39.0	137	44.1	74	43.8	6	26.1
社会、経済、	68	8.3	3	2.3	1	9.1	21	7.0	36	8.7	12	5.5	36	8.7	12	5.5	3	8.8	29	6.3	20	6.4	22	13.0	1	4.3
科学技術水準	9	1.1	3	2.3	0	0	6	2.0	5	1.2	1	0.5	5	1.2	1	0.5	0	0	5	1.1	7	2.3	0	0	0	0
等に対する関	51	6.2	5	3.8	0	0	12	4.0	21	5.1	16	7.3	21	5.1	16	7.3	7	20.6	21	4.5	14	4.5	10	5.9	11	47.8
心	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
5-1(12)	6	0.7	4	3.0	1	9.1	5	1.7	2	0.5	3	1.4	2	0.5	3	1.4	1	2.9	5	1.1	3	1.0	2	1.2	1	4.3
大きな影響力	37	4.5	13	9.8	1	9.1	20	6.7	20	4.8	7	3.2	20	4.8	7	3.2	4	11.8	17	3.7	20	6.4	11	6.5	3	13.0
一応影響力	607	73.7	103	78.0	8	72.7	225	75.5	321	77.3	153	69.5	321	77.3	153	69.5	19	55.9	349	75.2	232	74.6	131	77.5	6	26.1
全く影響なし	98	11.9	5	3.8	0	0	30	10.1	42	10.1	28	12.7	42	10.1	28	12.7	3	8.8	62	13.4	27	8.7	13	7.7	1	4.3
なんともいえない	76	9.2	7	5.3	1	9.1	18	6.0	30	7.2	29	13.2	30	7.2	29	13.2	7	20.6	31	6.7	29	9.3	12	7.1	12	52.2
NA	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
計	109	13.2	25	18.9	0	0	38	12.8	58	14.0	33	15.0	58	14.0	33	15.0	5	14.7	53	11.4	40	12.9	39	23.1	2	8.7
5-1(13)	178	21.6	36	27.3	3	27.3	61	20.5	98	23.6	51	23.2	98	23.6	51	23.2	7	20.6	90	19.4	79	25.4	45	26.6	3	13.0
日本語の学習	436	52.9	63	47.7	7	63.6	167	56.0	218	52.5	106	48.2	218	52.5	106	48.2	15	44.1	276	59.5	156	50.2	68	40.2	6	26.1
経験があった	36	4.4	2	1.5	0	0	15	5.0	14	3.4	9	4.1	14	3.4	9	4.1	0	0	15	3.2	15	4.8	7	4.1	1	4.3
全く影響なし	65	7.9	6	4.5	1	9.1	17	5.7	27	6.5	21	9.5	27	6.5	21	9.5	7	20.6	30	6.5	21	6.8	10	5.9	11	47.8
なんともいえない	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
NA	100	12.1	37	28.0	2	18.2	50	16.8	47	11.3	32	14.5	47	11.3	32	14.5	10	29.4	50	10.8	56	18.0	31	18.3	2	8.7
計	326	39.6	59	44.7	8	72.7	128	43.0	167	40.2	88	40.0	167	40.2	88	40.0	10	29.4	188	40.5	135	43.4	65	38.5	5	21.7
5-1(14)	264	32.0	26	19.7	1	9.1	78	26.2	139	33.5	68	30.9	139	33.5	68	30.9	6	17.6	166	35.8	73	23.5	49	29.0	3	13.0
大きな影響力																										
一応影響力																										
全く影響なし																										
全く影響なし																										

質問(項目)番号 質問内容	国公私立別			在籍区分別						奨学金類別												
	国立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
感があつたこと と 計	52	6.3	2	1.5	0	0	23	7.7	21	5.1	10	4.5	0	0	26	5.6	21	6.8	6	3.6	1	4.3
NA	82	10.0	8	6.1	0	0	19	6.4	41	9.9	22	10.0	8	23.5	34	7.3	26	8.4	18	10.7	12	52.2
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
6. 現在留學先の大学(院)について、第一志望と考へていたところですか。																						
6-(1)	入學試験合格																					
(第一志望と 答えた)理由	216	34.5	75	70.1	5	83.3	158	68.7	110	33.6	11	7.0	17	70.8	69	19.4	135	58.4	85	62.5	7	41.2
NA	172	27.5	7	6.5	1	16.7	21	9.1	87	26.6	68	43.0	4	16.7	151	42.5	20	8.7	5	3.7	4	23.5
計	101	16.1	7	6.5	0	0	10	4.3	65	19.9	32	20.3	1	4.2	64	18.0	28	12.1	12	8.8	4	23.5
理由	137	21.9	18	16.8	0	0	41	17.8	65	19.9	47	29.7	2	8.3	71	20.0	48	20.8	34	25.0	2	11.8
NA	626	100.0	107	100.0	6	100.0	230	100.0	327	100.0	158	100.0	24	100.0	355	100.0	231	100.0	136	100.0	17	100.0
計	6	3.4	10	41.7	0	0	14	21.5	1	1.2	0	0	1	16.7	3	2.9	11	15.3	2	8.0	0	0
入試の失敗	134	75.7	5	20.8	3	100.0	27	41.5	67	82.7	45	86.5	3	50.0	90	86.5	40	55.6	10	40.0	2	66.7
文部省の配属	10	5.6	3	12.5	0	0	6	9.2	4	4.9	1	1.9	2	33.3	4	3.8	2	2.8	6	24.0	1	33.3
大学推薦得られず	27	15.3	6	25.0	0	0	18	27.7	9	11.1	6	11.5	0	0	7	6.7	19	26.4	7	28.0	0	0
理由	177	100.0	24	100.0	3	100.0	65	100.0	81	100.0	52	100.0	6	100.0	104	100.0	72	100.0	25	100.0	3	100.0
NA	542	65.8	70	53.0	4	36.4	177	56.0	294	70.8	140	63.6	15	44.1	325	70.0	180	57.9	104	61.5	7	30.4
その通り	114	13.8	30	22.7	1	9.1	66	22.1	47	11.3	29	13.2	3	8.8	54	11.6	61	19.6	24	14.2	6	26.1
必ずしもそうでない	60	7.3	20	15.2	2	18.2	33	11.1	28	6.7	16	7.3	5	14.7	36	7.8	28	9.0	16	9.5	2	8.7
なんとなくいい	60	7.3	6	4.5	0	0	20	6.7	23	5.5	22	10.0	1	2.9	28	6.0	20	6.4	17	10.1	1	4.3
わからない	48	5.8	6	4.5	4	36.4	12	4.0	23	5.5	13	5.9	10	29.4	21	4.5	22	7.1	8	4.7	7	30.4
NA	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
計	520	63.1	68	51.5	5	45.5	163	54.7	269	64.8	141	64.1	20	58.8	280	60.3	193	62.1	110	65.1	10	43.5
その通り	132	16.0	31	23.5	1	9.1	59	19.8	73	17.6	30	13.6	2	5.9	81	17.5	58	18.6	22	13.0	3	13.0
必ずしもそうでない																						
専門分野によ																						

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
い研究者がい る	63	7.6	14	10.6	1	9.1	26	8.7	28	6.7	20	9.1	4	11.8	43	9.3	18	5.8	14	8.3	3	13.0
	53	6.4	12	9.1	1	9.1	32	10.7	19	4.6	14	6.4	1	2.9	32	6.9	19	6.1	14	8.3	1	4.3
	56	6.8	7	5.3	3	27.3	18	6.0	26	6.3	15	6.8	7	20.6	28	6.0	23	7.4	9	5.3	6	26.1
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
6-(3)-C 教育、研究環 境がよい	470	57.0	63	47.7	6	54.5	131	44.0	262	63.1	128	58.2	18	52.9	263	56.7	168	54.0	100	59.2	8	34.8
	181	22.0	39	29.5	0	0	90	30.2	83	20.0	43	19.5	4	11.8	103	22.2	82	26.4	30	17.8	5	21.7
	77	9.3	18	13.6	1	9.1	41	13.8	30	7.2	21	9.5	4	11.8	46	9.9	27	8.7	20	11.8	3	13.0
	35	4.2	6	4.5	1	9.1	20	6.7	13	3.1	9	4.1	0	0	21	4.5	13	4.2	7	4.1	1	4.3
	61	7.4	6	4.5	3	27.3	16	5.4	27	6.5	19	8.6	8	23.5	31	6.7	21	6.8	12	7.1	6	26.1
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
7. 日本留学終了後の計画について																						
7-(1) 留学後、帰国 しますか	502	60.9	41	31.1	3	27.3	108	36.2	278	67.0	142	64.5	18	52.9	281	60.6	163	52.4	88	52.1	14	60.9
	57	6.9	18	13.6	1	9.1	30	10.1	29	7.0	15	6.8	2	5.9	32	6.9	26	8.4	15	8.9	3	13.0
	79	9.6	38	28.8	4	36.4	67	22.5	35	8.4	14	6.4	5	14.7	51	11.0	52	16.7	16	9.5	2	8.7
	183	22.2	34	25.8	2	18.2	90	30.2	72	17.3	48	21.8	9	26.5	100	21.6	67	21.5	49	29.0	3	13.0
	3	0.4	1	0.8	1	9.1	3	1.0	1	0.2	1	0.5	0	0	0	0	3	1.0	1	0.6	1	4.3
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
7-(2) 前職に復帰する (帰国する人 についてのみ) 帰国して何を するか	229	45.6	9	22.0	2	66.7	12	11.1	140	50.4	83	58.5	5	27.8	165	58.7	39	23.9	26	29.5	10	71.4
	147	29.3	19	46.3	1	33.3	46	42.6	92	33.1	22	15.5	7	38.9	56	19.9	72	44.2	36	40.9	3	21.4
	34	6.8	4	9.8	0	0	6	5.6	9	3.2	22	15.5	1	5.6	24	8.5	6	3.7	8	9.1	0	0
	3	0.6	4	9.8	0	0	7	6.5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3.1	2	2.3	0	0
	79	15.7	5	12.2	0	0	33	30.6	34	12.2	12	8.5	5	27.8	33	11.7	35	21.5	15	17.0	1	7.1
	10	2.0	0	0	0	0	4	3.7	3	1.1	3	2.1	0	0	3	1.1	6	3.7	1	1.1	0	0
計	502	100.0	41	100.0	3	100.0	108	100.0	278	100.0	142	100.0	18	100.0	281	100.0	163	100.0	88	100.0	14	100.0
8. 日本語の学習について、母国でのあなたの自身の経歴や身近な事情を教えてください																						
8-(1) 母国にある日 本語学校で学 ぶ	414	50.2	57	43.2	3	27.3	142	47.7	220	53.0	97	44.1	15	44.1	180	38.8	191	61.4	95	56.2	8	34.8
	343	41.6	69	52.3	7	63.6	141	47.3	166	40.0	96	43.6	16	47.1	232	50.0	109	35.0	68	40.2	10	43.5
	67	8.1	6	4.5	1	9.1	15	5.0	29	7.0	27	12.3	3	8.8	52	11.2	11	3.5	6	3.6	5	21.7

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
習することが	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
8-② 母国では日本語の教科書を入手することが	534	64.8	99	75.0	4	36.4	221	74.2	271	65.3	127	57.7	18	52.9	244	52.6	249	80.1	133	78.7	11	47.8
8-③ 母国のTV、RA-DIOで日本語を学習することが	207	25.1	28	21.2	6	54.5	60	20.1	106	25.5	64	29.1	11	32.4	162	34.9	44	14.1	28	16.6	7	30.4
8-④ 母国の人で日本語を話せる人から教わることが	83	10.1	5	3.8	1	9.1	17	5.7	38	9.2	29	13.2	5	14.7	58	12.5	18	5.8	8	4.7	5	21.7
8-⑤ 母国にいる日本人から個人的に教わることが	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
8-⑥ 母国では日本語のカセットテープを入手することが	241	29.2	35	26.5	1	9.1	73	24.5	136	32.8	53	24.1	15	44.1	89	19.2	117	37.6	64	37.9	7	30.4
9-① 現在の日本語の力について(あなた自身の日本語の力をどのように評価しますか)	491	59.6	90	68.2	9	81.8	201	67.4	238	57.3	136	61.8	15	44.1	316	68.1	170	54.7	93	55.0	11	47.8
9-② 十分にできる	92	11.2	7	5.3	1	9.1	24	8.1	41	9.9	31	14.1	4	11.8	59	12.7	24	7.7	12	7.1	5	21.7
9-③ 一応はできる	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
9-④ なんとかできる	348	42.2	71	53.8	2	18.2	131	44.0	189	45.5	83	37.7	18	52.9	148	31.9	165	53.1	100	59.2	8	34.8
9-⑤ 全くできない	376	45.6	53	40.2	8	72.7	144	48.3	181	43.6	101	45.9	11	32.4	251	54.1	120	38.6	58	34.3	8	34.8
9-⑥ NA	100	12.1	8	6.1	1	9.1	23	7.7	45	10.8	36	16.4	5	14.7	65	14.0	26	8.4	11	6.5	7	30.4
9-⑦ 計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
9-⑧ 十分にはできない	160	19.4	34	25.8	1	9.1	68	22.8	86	20.7	35	15.9	6	17.6	77	16.6	73	23.5	41	24.3	4	17.4
9-⑨ 一応はできる	562	68.2	91	68.9	9	81.8	207	69.5	284	68.4	148	67.3	23	67.6	322	69.4	211	67.8	117	69.2	12	52.2
9-⑩ なんとかできる	102	12.4	7	5.3	1	9.1	23	7.7	45	10.8	37	16.8	5	14.7	65	14.0	27	8.7	11	6.5	7	30.4
9-⑪ 全くできない	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
9-⑫ 計	435	52.8	73	55.3	3	27.3	173	58.1	226	54.5	97	44.1	15	44.1	179	38.6	201	64.6	122	72.2	9	39.1
9-⑬ 十分にできる	296	35.9	50	37.9	7	63.6	101	33.9	148	35.7	90	40.9	14	41.2	222	47.8	85	27.3	38	22.5	8	34.8
9-⑭ 一応はできる	93	11.3	9	6.8	1	9.1	24	8.1	41	9.9	33	15.0	5	14.7	63	13.6	25	8.0	9	5.3	6	26.1
9-⑮ なんとかできる	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
9-⑯ 全くできない	249	30.2	37	28.0	0	0	93	31.2	157	37.8	29	13.2	7	20.6	128	27.6	105	33.8	49	29.0	4	17.4
9-⑰ 日本語の授業をきくこと	367	44.5	70	53.0	8	72.7	168	56.4	173	41.7	89	40.5	15	44.1	176	37.9	169	54.3	86	50.9	14	60.9
9-⑱ 全くできない	151	18.3	23	17.4	3	27.3	36	12.1	62	14.9	70	31.8	9	26.5	112	24.1	35	11.3	28	16.6	2	8.7
9-⑳ 計	45	5.5	2	1.5	0	0	1	0.3	19	4.6	26	11.8	1	2.9	41	8.8	1	0.3	3	1.8	2	8.7
9-㉑ 計	12	1.5	0	0	0	0	0	0	4	1.0	6	2.7	2	5.9	7	1.5	1	0.3	3	1.8	1	4.3
9-㉒ 計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立						国公私立別						在籍区分別						奨学金類別					
	私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A					
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
9-1(2) 日本語で授業 のときに質問 する	214	26.0	34	25.8	1	9.1	84	28.2	129	31.1	30	13.6	6	17.6	120	25.9	86	27.7	39	23.1	4	17.4		
	329	39.9	60	45.5	4	36.4	145	48.7	168	40.5	65	29.5	15	44.1	155	33.4	156	50.2	73	43.2	9	39.1		
	214	26.0	34	25.8	5	45.5	60	20.1	87	21.0	95	43.2	11	32.4	142	30.6	61	19.6	44	26.0	6	26.1		
	48	5.8	4	3.0	1	9.1	8	2.7	23	5.5	22	10.0	0	0	38	8.2	5	1.6	8	4.7	2	8.7		
NA	19	2.3	0	0	0	0	1	0.3	8	1.9	8	3.6	2	5.9	9	1.9	3	1.0	5	3.0	2	8.7		
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0		
9-1(3) 日本語の研究 論文を読むこ と	254	30.8	35	26.5	0	0	83	27.9	162	39.0	38	17.3	6	17.6	114	24.6	117	37.6	54	32.0	4	17.4		
	284	34.5	59	44.7	4	36.4	144	48.3	131	31.6	59	26.8	13	38.2	127	27.4	137	44.1	74	43.8	9	39.1		
	139	16.9	29	22.0	4	36.4	64	21.5	61	14.7	37	16.8	10	29.4	95	20.5	43	13.8	29	17.2	5	21.7		
	130	15.8	9	6.8	3	27.3	4	1.3	56	13.5	79	35.9	3	8.8	121	26.1	10	3.2	8	4.7	3	13.0		
NA	17	2.1	0	0	0	0	3	1.0	5	1.2	7	3.2	2	5.9	7	1.5	4	1.3	4	2.4	2	8.7		
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0		
9-1(4) 日本語で論文、 レポートを書 くこと	129	15.7	18	13.6	0	0	50	16.8	86	20.7	7	3.2	4	11.8	66	14.2	53	17.0	26	15.4	2	8.7		
	312	37.9	57	43.2	3	27.3	147	49.3	156	37.6	55	25.0	14	41.2	132	28.4	157	50.5	75	44.4	8	34.8		
	214	26.0	47	35.6	4	36.4	94	31.5	96	23.1	64	29.1	11	32.4	119	25.6	84	27.0	55	32.5	7	30.4		
	156	18.9	9	6.8	4	36.4	6	2.0	72	17.3	88	40.0	3	8.8	140	30.2	14	4.5	11	6.5	4	17.4		
NA	13	1.6	1	0.8	0	0	1	0.3	5	1.2	6	2.7	2	5.9	7	1.5	3	1.0	2	1.2	2	8.7		
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0		
9-1(5) 日常生活に差 支えない程度 の日本語での 会話	354	43.0	58	43.9	4	36.4	145	48.7	203	48.9	59	26.8	9	26.5	198	42.7	149	47.9	61	36.1	8	34.8		
	312	37.9	63	47.7	3	27.3	133	44.6	155	37.3	75	34.1	15	44.1	155	33.4	135	43.4	79	46.7	9	39.1		
	117	14.2	10	7.6	3	27.3	18	6.3	41	9.9	63	28.6	8	23.5	82	17.7	20	6.4	23	13.6	5	21.7		
	27	3.3	0	0	1	9.1	1	0.3	10	2.4	17	7.7	0	0	22	4.7	4	1.3	2	1.2	0	0		
NA	14	1.7	1	0.8	0	0	1	0.3	6	1.4	6	2.7	2	5.9	7	1.5	3	1.0	4	2.4	1	4.3		
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0		
9-1(6) テレビ、ラジ オで日本語の 放送を聞くこ と	263	31.9	47	35.6	1	9.1	121	40.6	157	37.8	27	12.3	6	17.6	136	29.3	120	38.6	50	29.6	5	21.7		
	362	43.9	63	47.7	5	45.5	147	49.3	184	44.3	83	37.7	16	47.1	185	39.9	157	50.5	78	46.2	10	43.5		
	151	18.3	19	14.4	4	36.4	27	9.1	61	14.7	77	35.0	9	26.5	101	21.8	32	10.3	34	20.1	7	30.4		
	35	4.2	1	0.8	1	9.1	1	0.3	10	2.4	25	11.4	1	2.9	33	7.1	1	0.3	3	1.8	0	0		



質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
11-(1)	2	1.0	0	0	0	0	2	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.1	0	0	0	0
一般教養課程 の講義	2	1.0	0	0	0	0	2	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	9	4.6	3	3.1	0	0	12	4.0	0	0	0	0	0	0	0	7	11.9	1	0.5	3	6.1	1
	11	5.6	2	2.0	0	0	13	4.4	0	0	0	0	0	0	0	6	10.2	3	1.6	4	8.2	0
	16	8.1	5	5.1	1	33.3	22	7.4	0	0	0	0	0	0	0	8	13.6	9	4.9	4	8.2	1
	25	12.7	11	11.2	1	33.3	37	12.4	0	0	0	0	0	0	0	10	16.9	22	12.1	4	8.2	1
	47	23.9	26	26.5	0	0	73	24.5	0	0	0	0	0	0	0	9	15.3	41	22.5	21	42.9	2
	52	26.4	29	29.6	0	0	81	27.2	0	0	0	0	0	0	0	9	15.3	64	35.2	7	14.3	1
	20	10.2	14	14.3	1	33.3	35	11.7	0	0	0	0	0	0	0	4	6.8	26	14.3	4	8.2	1
	6	3.0	5	5.1	0	0	11	3.7	0	0	0	0	0	0	0	1	1.7	8	4.4	2	4.1	0
	7	3.6	3	3.1	0	0	10	3.4	0	0	0	0	0	0	0	3	1.5	6	3.3	0	0	1
計	197	100.0	98	100.0	3	100.0	298	100.0	0	100.0	0	100.0	0	100.0	59	100.0	182	100.0	49	100.0	8	100.0
11-(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門教養課程 の講義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1.0	1	1.0	0	0	3	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5	2	4.1	0	0
	8	4.1	0	0	0	0	8	2.7	0	0	0	0	0	0	0	4	6.8	2	1.1	2	4.1	0
	14	7.1	6	6.1	0	0	20	6.7	0	0	0	0	0	0	0	8	13.6	7	3.8	5	10.2	0
	23	11.7	12	12.2	2	66.7	37	12.4	0	0	0	0	0	0	0	8	13.6	24	13.2	3	6.1	2
	55	27.9	30	30.6	0	0	85	28.5	0	0	0	0	0	0	0	18	30.5	45	24.7	20	40.8	2
	46	23.4	32	32.7	0	0	78	26.2	0	0	0	0	0	0	0	7	11.9	56	30.8	13	26.5	2
	33	16.8	10	10.2	1	33.3	44	14.8	0	0	0	0	0	0	0	8	13.6	32	17.6	3	6.1	1
	4	2.0	4	4.1	0	0	8	2.7	0	0	0	0	0	0	0	1	1.7	7	3.8	0	0	0
	12	6.1	3	3.1	0	0	15	5.0	0	0	0	0	0	0	0	5	8.5	8	4.4	1	2.0	1
計	197	100.0	98	100.0	3	100.0	298	100.0	0	100.0	0	100.0	0	100.0	59	100.0	182	100.0	49	100.0	8	100.0
11-(3)	2	1.0	0	0	0	0	2	0.7	0	0	0	0	0	0	0	1	1.7	0	0	1	2.0	0
専門教養課程 の演習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1.0	0	0	0	0	2	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5	1	2.0	0	0
	5	2.5	2	2.0	0	0	7	2.3	0	0	0	0	0	0	0	1	1.7	4	2.2	2	4.1	0



質問(項目)番号 質問内容	国公立				私立				N.A				学部				大学院				研究生				N.A				文部省				その他				奨学金なし				N.A			
	実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%					
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%						
12-(2) 博士學位	その他理科	2	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	日本語	1	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	人文・社会	22	16.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	経営・経済	24	18.0	1	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	政治・法律	4	3.0	2	40.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他文科	13	9.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	133	100.0	5	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	理工	83	35.6	2	28.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	農学	40	17.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	医・薬学	19	8.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他理科	9	3.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
日本語	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
人文・社会	25	10.7	1	14.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
経営・経済	13	5.6	2	28.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
政治・法律	3	1.3	1	14.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
その他文科	11	4.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計	233	100.0	7	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
13. 博士學位の取得について(日本のそれは、外国人留学生にとって難かしいといわれていますが、どう考えますか)																																												
13-(1) 日本語の理解 が十分でない ため、講義が理 解できないから	その通り	84	20.9	3	21.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	そうではない なんともいえない	205	51.1	6	42.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13-(2) 日本語の能力 が十分でない め研究資料が理 解できないから	NA	48	12.0	2	14.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その通り	84	20.9	3	21.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そうではない なんともいえない	228	56.9	6	42.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NA	43	10.7	3	21.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	46	11.5	2	14.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				在籍区分別				奨学金類別											
	国立		私立		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A			
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
13-(3) 論文執筆に日 本語が要求さ れるから	76	19.0	4	28.6	0	0	0	0	80	19.3	0	0	51	19.9	16	18.2	12	18.8	1	14.3
	212	52.9	6	42.9	0	0	0	0	218	52.5	0	0	124	48.4	51	58.0	39	60.9	4	57.1
	62	15.5	2	14.3	0	0	0	0	64	15.4	0	0	49	19.1	9	10.2	5	7.8	1	14.3
	51	12.7	2	14.3	0	0	0	0	53	12.8	0	0	32	12.5	12	13.6	8	12.5	1	14.3
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
13-(4) 英仏独語等2カ 国語の履修が要求 され、この面の負 担が大きすぎるから	72	18.0	3	21.4	0	0	0	0	75	18.1	0	0	46	18.0	11	12.5	16	25.0	2	28.6
	202	50.4	8	57.1	0	0	0	0	210	50.6	0	0	127	49.6	51	58.0	29	45.3	3	42.9
	77	19.2	1	7.1	0	0	0	0	78	18.8	0	0	54	21.1	12	13.6	11	17.2	1	14.3
	50	12.5	2	14.3	0	0	0	0	52	12.5	0	0	29	11.3	14	15.9	8	12.5	1	14.3
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14. 学位の利用について、母国ではどの位有利に利用されますか																				
14-(1) 政府・行政機 関への就職	96	23.9	2	14.3	0	0	0	0	98	23.6	0	0	61	23.8	19	21.6	15	23.4	3	42.9
	149	37.2	5	35.7	0	0	0	0	154	37.1	0	0	93	36.3	32	36.4	27	42.2	2	28.6
	102	25.4	5	35.7	0	0	0	0	107	25.8	0	0	71	27.7	21	23.9	14	21.9	1	14.3
	26	6.5	1	7.1	0	0	0	0	27	6.5	0	0	16	6.3	6	6.8	4	6.3	1	14.3
	28	7.0	1	7.1	0	0	0	0	29	7.0	0	0	15	5.9	10	11.4	4	6.3	0	0
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14-(2) 母国の民間ト ップ企業への 就職	56	14.0	1	7.1	0	0	0	0	57	13.7	0	0	34	13.3	10	11.4	9	14.1	4	57.1
	161	40.1	8	57.1	0	0	0	0	169	40.7	0	0	104	40.6	31	35.2	34	53.1	0	0
	112	27.9	4	28.6	0	0	0	0	116	28.0	0	0	77	30.1	25	28.4	12	18.8	2	28.6
	37	9.2	0	0	0	0	0	0	37	8.9	0	0	24	9.4	8	9.1	4	6.3	1	14.3
	35	8.7	1	7.1	0	0	0	0	36	8.7	0	0	17	6.6	14	15.9	5	7.8	0	0
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14-(3) 母国にある日 本(または合 併)企業への 就職	72	18.0	5	35.7	0	0	0	0	77	18.6	0	0	55	21.5	10	11.4	9	14.1	3	42.9
	127	31.7	5	35.7	0	0	0	0	132	31.8	0	0	85	33.2	26	29.5	20	31.3	1	14.3
	108	26.9	3	21.4	0	0	0	0	111	26.7	0	0	63	24.6	23	26.1	33	35.9	2	28.6
	53	13.2	0	0	0	0	0	53	12.8	0	0	34	13.3	12	13.6	6	9.4	1	14.3	
	41	10.2	1	7.1	0	0	0	42	10.1	0	0	19	7.4	17	19.3	6	9.4	0	0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別											
		国立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A			
		実数(%)																							
14-(4)	研究・教育機関への就職	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
	計	176	43.9	3	21.4	0	0	0	0	179	43.1	0	0	0	0	0	0	111	43.4	35	39.8	28	43.8	5	71.4
	大いに有利	152	37.9	8	57.1	0	0	0	0	160	38.6	0	0	0	0	0	0	94	36.7	38	43.2	27	42.2	1	14.3
	ある程度有利	42	10.5	2	14.3	0	0	0	0	44	10.6	0	0	0	0	0	0	31	12.1	8	9.1	5	7.8	0	0
	無関係	12	3.0	0	0	0	0	0	0	12	2.9	0	0	0	0	0	0	9	3.5	1	1.1	1	1.6	1	14.3
	なんともいえない	19	4.7	1	7.1	0	0	0	0	20	4.8	0	0	0	0	0	0	11	4.3	6	6.8	3	4.7	0	0
	NA	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14-(5)	高い報酬を得るため	43	10.7	2	14.3	0	0	0	0	45	10.8	0	0	0	0	0	0	27	10.5	10	11.4	6	9.4	2	28.6
	大いに有利	148	36.9	3	21.4	0	0	0	0	151	36.4	0	0	0	0	0	0	98	38.3	26	29.5	25	39.1	2	28.6
	ある程度有利	141	35.2	8	57.1	0	0	0	0	149	35.9	0	0	0	0	0	0	91	35.5	35	39.8	21	32.8	2	28.6
	無関係	40	10.0	0	0	0	0	0	0	40	9.6	0	0	0	0	0	0	27	10.5	5	5.7	7	10.9	1	14.3
	なんともいえない	29	7.2	1	7.1	0	0	0	0	30	7.2	0	0	0	0	0	0	13	5.1	12	13.6	5	7.8	0	0
	NA	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14-(6)	社会的威信の証明	79	19.7	0	0	0	0	0	0	79	19.0	0	0	0	0	0	0	51	19.9	16	18.2	10	15.6	2	28.6
	大いに有利	144	35.9	5	35.7	0	0	0	0	149	35.9	0	0	0	0	0	0	93	36.3	29	33.0	23	35.9	4	57.1
	ある程度有利	116	28.9	8	57.1	0	0	0	0	124	29.9	0	0	0	0	0	0	78	30.5	25	28.4	21	32.8	0	0
	無関係	30	7.5	0	0	0	0	0	0	30	7.2	0	0	0	0	0	0	19	7.4	6	6.8	4	6.3	1	14.3
	なんともいえない	32	8.0	1	7.1	0	0	0	0	33	8.0	0	0	0	0	0	0	15	5.9	12	13.6	6	9.4	0	0
	NA	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14-(7)	専門的知識の仕事での直接的活用	173	43.1	4	28.6	0	0	0	0	177	42.7	0	0	0	0	0	0	109	42.6	37	42.0	28	43.8	3	42.9
	大いに有利	166	41.4	7	50.0	0	0	0	0	173	41.7	0	0	0	0	0	0	108	42.2	36	40.9	27	42.2	2	28.6
	ある程度有利	25	6.2	2	14.3	0	0	0	0	27	6.5	0	0	0	0	0	0	20	7.8	3	3.4	3	4.7	1	14.3
	無関係	13	3.2	0	0	0	0	0	0	13	3.1	0	0	0	0	0	0	8	3.1	3	3.4	1	1.6	1	14.3
	なんともいえない	24	6.0	1	7.1	0	0	0	0	25	6.0	0	0	0	0	0	0	11	4.3	9	10.2	5	7.8	0	0
	NA	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0
14-(8)	母国発展への寄与	171	42.6	3	21.4	0	0	0	0	174	41.9	0	0	0	0	0	0	110	43.0	38	43.2	22	34.4	4	57.1
	大いに有利	144	35.9	7	50.0	0	0	0	0	151	36.4	0	0	0	0	0	0	91	35.5	29	33.0	28	43.8	3	42.9
	ある程度有利	26	6.5	1	7.1	0	0	0	0	27	6.5	0	0	0	0	0	0	19	7.4	4	4.5	4	6.3	0	0
	無関係																								

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				国公立別				在籍区分別				奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし			
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
なんともいえない NA 計	22	5.5	2	14.3	0	0	0	0	24	5.8	0	0	0	0	17	6.6	3	3.4	4	6.3	0	0
15. 博士学位の評価については、次の諸国の学位はどのように評価されていますか。																						
15-(1) 母国の学位	101	25.2	1	7.1	0	0	0	0	102	24.6	0	0	0	0	66	25.8	24	27.3	10	15.6	2	28.6
高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	198	49.4	7	50.0	0	0	0	0	205	49.4	0	0	0	0	123	48.0	42	47.7	37	57.8	3	42.9
	22	5.5	1	7.1	0	0	0	0	23	5.5	0	0	0	18	7.0	4	4.5	1	1.6	0	0	
	24	6.0	4	28.6	0	0	0	0	28	6.7	0	0	0	19	7.4	5	5.7	4	6.3	0	0	
	25	6.2	0	0	0	0	0	0	25	6.0	0	0	0	16	6.3	6	6.8	3	4.7	0	0	
	31	7.7	1	7.1	0	0	0	0	32	7.7	0	0	0	14	5.5	7	8.0	9	14.1	2	28.6	
	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0	
15-(2) アメリカ合衆 国の学位	291	72.6	8	57.1	0	0	0	0	299	72.0	0	0	0	0	185	72.3	60	68.2	48	75.0	6	85.7
高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	66	16.5	3	21.4	0	0	0	0	69	16.6	0	0	0	0	44	17.2	19	21.6	6	9.4	0	0
	3	0.7	1	7.1	0	0	0	0	4	1.0	0	0	0	3	1.2	1	1.1	0	0	0	0	
	4	1.0	1	7.1	0	0	0	0	5	1.2	0	0	0	2	0.8	2	2.3	1	1.6	0	0	
	15	3.7	0	0	0	0	0	0	15	3.6	0	0	0	10	3.9	3	3.4	2	3.1	0	0	
	22	5.5	1	7.1	0	0	0	0	23	5.5	0	0	0	12	4.7	3	3.4	7	10.9	1	14.3	
	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0	
15-(3) ヨーロッパ諸 国の学位	217	54.1	4	28.6	0	0	0	0	221	53.3	0	0	0	0	142	55.5	45	51.1	29	45.3	5	71.4
高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ なんともいえない わからない NA 計	119	29.7	6	42.9	0	0	0	0	125	30.1	0	0	0	0	76	29.7	29	33.0	19	29.7	1	14.3
	7	1.7	1	7.1	0	0	0	0	8	1.9	0	0	0	6	2.3	1	1.1	1	1.6	0	0	
	6	1.5	1	7.1	0	0	0	0	7	1.7	0	0	0	4	1.6	2	2.3	1	1.6	0	0	
	29	7.2	1	7.1	0	0	0	0	30	7.2	0	0	0	18	7.0	7	8.0	5	7.8	0	0	
	23	5.7	1	7.1	0	0	0	0	24	5.8	0	0	0	10	3.9	4	4.5	9	14.1	1	14.3	
	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0	
15-(4) 東洋諸国の学 位	17	4.2	0	0	0	0	0	0	17	4.1	0	0	0	0	11	4.3	3	3.4	2	3.1	1	14.3
高く評価 ある程度評価 ほとんど評価されぬ	146	36.4	5	35.7	0	0	0	0	151	36.4	0	0	0	0	94	36.7	30	34.1	24	37.5	3	42.9
	99	24.7	3	21.4	0	0	0	0	102	24.6	0	0	0	0	60	23.4	22	25.0	18	28.1	2	28.6

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				在籍区分別				奨学金類別															
	国立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A			
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	38	9.5	5	35.7	0	0	0	0	43	10.4	0	0	0	0	0	0	29	11.3	10	11.4	4	6.3	0	0
	74	18.5	0	0	0	0	0	74	17.8	0	0	0	0	0	0	48	18.8	17	19.3	9	14.1	0	0	
NA	27	6.7	1	7.1	0	0	0	0	28	6.7	0	0	0	0	0	14	5.5	6	6.8	7	10.9	1	14.3	
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0	
15-(5)	127	31.7	1	7.1	0	0	0	0	128	30.8	0	0	0	0	0	87	34.0	28	31.8	11	17.2	2	28.6	
日本の学位	202	50.4	8	57.1	0	0	0	0	210	50.6	0	0	0	0	0	116	45.3	49	55.7	42	65.6	3	42.9	
	9	2.2	1	7.1	0	0	0	0	10	2.4	0	0	0	0	0	9	3.5	1	1.1	0	0	0	0	
	19	4.7	2	14.3	0	0	0	0	21	5.1	0	0	0	0	0	15	5.9	3	3.4	3	4.7	0	0	
	26	6.5	1	7.1	0	0	0	0	27	6.5	0	0	0	0	0	19	7.4	4	4.5	3	4.7	1	14.3	
NA	18	4.5	1	7.1	0	0	0	0	19	4.6	0	0	0	0	0	10	3.9	3	3.4	5	7.8	1	14.3	
計	401	100.0	14	100.0	0	0	0	0	415	100.0	0	0	0	0	0	256	100.0	88	100.0	64	100.0	7	100.0	
V. 日本留学への評価																								
16. 留学生生活の満足度																								
16-(1)	191	23.2	22	16.7	4	36.4	33	11.1	110	26.5	68	30.9	6	17.6	144	31.0	42	13.5	27	16.0	4	17.4		
大学スタッフ	404	49.0	63	47.7	4	36.4	160	53.7	193	46.5	104	47.3	14	41.2	211	45.5	165	53.1	85	50.3	10	43.5		
との交流	98	11.9	26	19.7	1	9.1	44	14.8	54	13.0	20	9.1	7	20.6	58	12.5	39	12.5	23	13.6	5	21.7		
	112	13.6	18	13.6	1	9.1	54	18.1	50	12.0	23	10.5	4	11.8	43	9.3	57	18.3	28	16.6	3	13.0		
	19	2.3	3	2.3	1	9.1	7	2.3	8	1.9	5	2.3	3	8.8	8	1.7	8	2.6	6	3.6	1	4.3		
NA	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0		
計	126	15.3	38	21.2	2	18.2	43	14.4	74	17.8	33	15.0	6	17.6	87	18.8	45	14.5	21	12.4	3	13.0		
大学の学生た	399	48.4	66	50.0	5	45.5	147	49.3	202	48.7	107	48.6	14	41.2	227	48.9	151	48.6	81	47.9	11	47.8		
ちとの交流	177	21.5	29	22.0	2	18.2	72	24.2	82	19.8	49	22.3	5	14.7	95	20.5	65	20.9	42	24.9	6	26.1		
	98	11.9	8	6.1	1	9.1	31	10.4	47	11.3	24	10.9	5	14.7	45	9.7	43	13.8	17	10.1	2	8.7		
	24	2.9	1	0.8	1	9.1	5	1.7	10	2.4	7	3.2	4	11.8	10	2.2	7	2.3	8	4.7	1	4.3		
NA	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0		
計	149	18.1	24	18.2	2	18.2	36	12.1	84	20.2	46	20.9	9	26.5	106	22.8	44	14.1	19	11.2	6	26.1		
一般社会人と	373	45.3	65	49.2	5	45.5	142	47.7	185	44.6	106	48.2	10	29.4	214	46.1	146	46.9	75	44.4	8	34.8		
の交流	149	18.1	20	15.2	2	18.2	57	19.1	74	17.8	33	15.0	7	20.6	72	15.5	57	18.3	37	21.9	1	521.7		

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別										
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
16-(4) 日常の学習・ 研究活動	なんともいえない	136	16.5	22	16.7	1	9.1	58	19.5	63	15.2	32	14.5	6	17.6	66	14.2	59	19.0	31	18.3	3	13.0
	NA	17	2.1	1	0.8	1	9.1	5	1.7	9	2.2	3	1.4	2	5.9	6	1.3	5	1.6	7	4.1	1	4.3
	計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
16-(4) 日常の学習・ 研究活動	大いに満足	214	26.0	30	22.7	1	9.1	45	15.1	131	31.6	57	25.9	12	35.3	149	32.1	59	19.0	28	16.6	9	39.1
	どちらかとい えば満足	429	52.1	66	50.0	8	72.7	163	54.7	209	50.4	120	54.5	11	32.4	218	47.0	185	59.5	91	53.8	9	39.1
	不満が多い	113	13.7	24	18.2	1	9.1	59	19.8	48	11.6	25	11.4	6	17.6	66	14.2	38	12.2	32	18.9	2	8.7
16-(4) 日常の学習・ 研究活動	なんともいえない	54	6.6	10	7.6	0	0	26	8.7	21	5.1	14	6.4	3	8.8	24	5.2	25	8.0	13	7.7	2	8.7
	NA	14	1.7	2	1.5	1	9.1	5	1.7	6	1.4	4	1.8	2	5.9	7	1.5	4	1.3	5	3.0	1	4.3
	計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
16-(5) 日本国内の視 察見学旅行	大いに満足	185	22.5	23	17.4	5	45.5	51	17.1	101	24.3	57	25.9	4	11.8	138	29.7	49	15.8	22	13.0	4	17.4
	どちらかとい えば満足	362	43.9	53	40.2	2	18.2	129	43.3	187	45.1	88	40.0	13	38.2	204	44.0	131	42.1	72	42.6	10	43.5
	不満が多い	148	18.0	34	25.8	2	18.2	75	25.2	70	16.9	33	15.0	6	17.6	62	13.4	75	24.1	44	26.0	3	13.0
16-(5) 日本国内の視 察見学旅行	なんともいえない	103	12.5	20	15.2	1	9.1	37	12.4	49	11.8	33	15.0	5	14.7	48	10.3	49	15.8	25	14.8	2	8.7
	NA	26	3.2	2	1.5	1	9.1	6	2.0	8	1.9	9	4.1	6	17.6	12	2.6	7	2.3	6	3.6	4	17.4
	計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
16-(6) 日常の衣食住 生活	大いに満足	200	24.3	20	15.2	1	9.1	48	16.1	114	27.5	55	25.0	4	11.8	146	31.5	52	16.7	19	11.2	4	17.4
	どちらかとい えば満足	445	54.0	78	59.1	5	55.5	177	59.4	215	51.8	119	54.1	17	50.0	233	50.2	186	59.8	98	58.0	11	47.8
	不満が多い	110	13.3	23	17.4	2	18.2	46	15.4	56	13.5	28	12.7	5	14.7	55	11.9	46	14.8	29	17.2	5	21.7
16-(6) 日常の衣食住 生活	なんともいえない	45	5.5	9	6.8	2	18.2	21	7.0	22	5.3	10	4.5	3	8.8	16	3.4	22	7.1	17	10.1	1	4.3
	NA	24	2.9	2	1.5	1	9.1	6	2.0	8	1.9	8	3.6	5	14.7	14	3.0	5	1.6	6	3.6	2	8.7
	計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
16-(7) 孤独感からの 解放	大いに満足	109	13.2	12	9.1	3	27.3	25	8.4	54	13.0	40	18.2	5	14.7	79	17.0	30	9.6	15	8.9	0	0
	どちらかとい えば満足	312	37.9	55	41.7	3	27.3	110	36.9	156	37.6	92	41.8	12	35.3	185	39.9	116	37.3	61	36.1	8	34.8
	不満が多い	212	25.7	26	19.7	2	18.2	80	26.8	109	26.3	44	20.0	7	20.6	109	23.5	78	25.1	46	27.2	7	30.4
16-(7) 孤独感からの 解放	なんともいえない	154	18.7	36	27.3	2	18.2	70	23.5	83	20.0	34	15.5	5	14.7	71	15.3	78	25.1	38	22.5	5	21.7
	NA	37	4.5	3	2.3	1	9.1	13	4.4	13	3.1	10	4.5	5	14.7	20	4.3	9	2.9	9	5.3	3	13.0
	計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
16-(8) 大いに満足	大いに満足	187	22.7	25	18.9	3	27.3	38	12.8	114	27.5	58	26.4	5	14.7	131	28.2	56	18.0	24	14.2	4	17.4

質問(項目)番号 質問内容	国公立						私立						N.A						在籍区分別						奨学金類別					
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A									
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																								
留学成果の母 国での活用の 期待感	366	44.4	58	43.9	3	27.3	133	44.6	187	45.1	93	42.3	14	41.2	199	42.9	138	44.4	79	46.7	11	47.8								
	82	10.0	16	12.1	2	18.2	34	11.4	41	9.9	17	7.7	8	23.5	46	9.9	29	9.3	21	12.4	4	17.4								
NA	162	19.7	31	23.5	2	18.2	85	28.5	61	14.7	45	20.5	4	11.8	76	16.4	80	25.7	36	21.3	3	13.0								
	27	3.3	2	1.5	1	9.1	8	2.7	12	2.9	7	3.2	3	8.8	12	2.6	8	2.6	9	5.3	1	4.3								
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0								
16-(9) 日本人の母国 事情の理解	33	4.0	9	6.8	0	0	4	1.3	19	4.6	12	5.5	7	20.6	22	4.7	12	3.9	6	3.6	2	8.7								
	251	30.5	35	26.5	5	45.5	75	25.2	114	27.5	95	43.2	7	20.6	145	31.3	90	28.9	49	29.0	7	30.4								
NA	369	44.8	62	47.0	2	18.2	153	51.3	200	48.2	72	32.7	8	23.5	210	45.3	141	45.3	72	42.6	10	43.5								
	135	16.4	20	15.2	3	27.3	52	17.4	70	16.9	30	13.6	6	17.6	74	15.9	49	15.8	33	19.5	2	8.7								
計	36	4.4	6	4.5	1	9.1	14	4.7	12	2.9	11	5.0	6	17.6	13	2.8	19	6.1	9	5.3	2	8.7								
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0								
17-(1) 日本の大学(院)について(現在までの日本留学体験から判断して、あなたは次の意見に同意しますか)																														
17-(1)-1 日本の大学は、 概ね国際的な 学術水準に達 している	199	24.2	29	22.0	5	45.5	55	18.5	114	27.5	48	21.8	16	47.1	128	27.6	63	20.3	35	20.7	7	30.4								
	441	53.5	70	53.0	2	18.2	172	57.7	229	55.2	101	45.9	11	32.4	209	45.0	191	61.4	104	61.5	9	39.1								
NA	48	5.8	16	12.1	1	9.1	25	8.4	28	6.7	11	5.0	1	2.9	38	8.2	16	5.1	8	4.7	3	13.0								
	44	5.3	11	8.3	1	9.1	18	6.0	16	3.9	20	9.1	2	5.9	31	6.7	14	4.5	9	5.3	2	8.7								
計	71	8.6	5	3.8	1	9.1	21	7.0	23	5.5	32	14.5	1	2.9	46	9.9	21	6.8	9	5.3	1	4.3								
	21	2.5	1	0.8	1	9.1	7	2.3	5	1.2	8	3.6	3	8.8	12	2.6	6	1.9	4	2.4	1	4.3								
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0								
17-(1)-2 日本の大学は 発展途上の 抱える問題に 十分な関心を 持っている	74	9.0	19	14.4	2	18.2	20	6.7	41	9.9	27	12.3	7	20.6	56	12.1	21	6.8	17	10.1	1	4.3								
	255	30.9	46	34.8	3	27.3	95	31.9	138	33.3	63	28.6	8	23.5	143	30.8	94	30.2	57	33.7	10	43.5								
NA	266	32.3	40	30.3	2	18.2	112	37.6	147	35.4	40	18.2	9	26.5	121	26.1	119	38.3	61	36.1	7	30.4								
	92	11.2	13	9.8	1	9.1	32	10.7	46	11.1	25	11.4	3	8.8	62	13.4	33	10.6	10	5.9	1	4.3								
計	114	13.8	13	9.8	2	18.2	32	10.7	37	8.9	58	26.4	2	5.9	69	14.9	37	11.9	20	11.8	3	13.0								
	23	2.8	1	0.8	1	9.1	7	2.3	6	1.4	7	3.2	5	14.7	13	2.8	7	2.3	4	2.4	1	4.3								
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0								
17-(1)-3 日本の大学教 育の程度同意	209	25.4	30	22.7	6	54.5	49	16.4	113	27.2	71	32.3	12	35.3	131	28.2	68	21.9	40	23.7	6	26.1								
	333	40.4	70	53.0	2	18.2	137	46.0	168	40.5	87	39.5	13	38.2	183	39.4	138	44.4	75	44.4	9	39.1								

質問(項目)番号 質問内容	国公立				私立				N.A				学部				大学院				研究生				N.A				文部省				その他				奨学金なし				N.A																																																																																																															
	実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%																																																																																																																	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%																																																																																																																		
17-1)-4	145	17.6	15	11.4	1	9.1	79	19.0	27	12.3	1	2.9	80	17.2	43	13.8	34	20.1	4	17.4	77	9.3	13	9.8	0	0	36	12.1	35	8.4	17	7.7	2	5.9	40	8.6	38	12.2	10	5.9	2	8.7	34	4.1	3	2.3	1	9.1	14	4.7	12	2.9	11	5.0	1	2.9	18	3.9	16	5.1	3	1.8	1	4.3	26	3.2	1	0.8	1	9.1	8	2.7	8	1.9	7	3.2	5	14.7	12	2.6	8	2.6	7	4.1	1	4.3	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0																																												
17-1)-5	91	11.0	14	10.6	4	36.4	53	12.8	23	10.5	4	11.8	62	13.4	29	9.3	14	8.3	4	17.4	290	35.2	62	47.0	2	18.2	105	35.2	174	41.9	62	28.2	13	38.2	160	34.5	121	38.9	68	40.2	5	21.7	130	15.8	20	15.2	2	18.2	54	18.1	69	16.6	25	11.4	4	11.8	71	15.3	54	17.4	23	13.6	4	17.4	138	16.7	24	18.2	1	9.1	63	21.1	62	14.9	36	16.4	2	5.9	75	16.2	54	17.4	27	16.0	7	30.4	146	17.7	10	7.6	1	9.1	38	12.8	49	11.8	64	29.1	6	17.6	81	17.5	55	14.5	30	17.8	1	4.3	29	3.5	2	1.5	1	9.1	9	3.0	8	1.9	10	4.5	5	14.7	15	3.2	8	2.6	7	4.1	2	8.7	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
17-1)-6	120	14.6	14	10.6	3	27.3	63	15.2	38	17.3	6	17.6	75	16.2	33	10.6	26	15.4	3	13.0	343	41.6	69	52.3	3	27.3	121	40.6	187	45.1	95	43.2	12	35.3	211	45.5	133	42.8	65	38.5	6	26.1	194	23.5	30	22.7	1	9.1	89	29.9	101	24.3	29	13.2	6	17.6	78	16.8	88	28.3	50	29.6	9	39.1	99	12.0	17	12.9	2	18.2	45	15.1	44	10.6	25	11.4	4	11.8	57	12.3	40	12.9	18	10.7	3	13.0	43	5.2	1	0.8	1	9.1	6	2.0	12	2.9	26	11.8	1	2.9	28	6.0	11	3.5	5	3.0	1	4.3	25	3.0	1	0.8	1	9.1	7	2.3	8	1.9	7	3.2	5	14.7	15	3.2	6	1.9	5	3.0	1	4.3	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
17-1)-7	119	14.4	13	9.8	2	18.2	80	19.3	33	15.0	2	5.9	86	17.9	32	10.3	18	10.7	1	4.3	265	32.2	44	33.3	3	27.3	84	28.2	145	34.9	69	31.4	14	41.2	153	33.0	97	31.2	55	32.5	7	30.4	167	20.3	36	27.3	2	18.2	76	25.5	95	22.9	31	14.1	3	8.8	84	18.1	71	22.8	43	25.4	7	30.4	112	13.6	24	18.2	1	9.1	53	17.8	59	14.2	22	10.0	3	8.8	61	13.1	52	16.7	17	10.1	7	30.4	133	16.1	14	10.6	2	18.2	58	19.5	28	6.7	57	25.9	6	17.6	67	14.4	52	16.7	30	17.8	0	0	28	3.4	1	0.8	1	9.1	8	2.7	8	1.9	8	3.6	6	17.6	16	3.4	7	2.3	6	3.6	1	4.3	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
17-1)-7	71	8.6	8	6.1	0	0	42	10.1	21	9.5	3	8.8	43	9.3	19	6.1	14	8.3	3	13.0	120	14.6	22	16.7	1	9.1	38	12.8	74	17.8	26	11.8	5	14.7	60	12.9	52	16.7	28	16.6	3	13.0	120	14.6	22	16.7	1	9.1	38	12.8	74	17.8	26	11.8	5	14.7	60	12.9	52	16.7	28	16.6	3	13.0	71	8.6	8	6.1	0	0	42	10.1	21	9.5	3	8.8	43	9.3	19	6.1	14	8.3	3	13.0	120	14.6	22	16.7	1	9.1	38	12.8	74	17.8	26	11.8	5	14.7	60	12.9	52	16.7	28	16.6	3	13.0																																														

質問(項目)番号 質問内容	国公立				私立				N.A				在籍区分別				奨学金類別							
	実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
帰国後の留学生と積極的に交流しようとしている	132	16.0	40	30.3	0	0	78	26.2	73	17.6	16	7.3	5	14.7	59	12.7	75	24.1	35	20.7	3	13.0	1	4.3
同意できない	84	10.2	12	9.1	3	27.3	36	12.1	45	10.8	15	6.8	3	8.8	43	9.3	34	10.9	21	12.4	1	4.3	1	4.3
なんともいえない	390	47.3	49	37.1	6	54.5	123	41.3	176	42.4	134	60.9	12	35.3	245	52.8	122	39.2	66	39.1	12	52.2	12	52.2
わからない	27	3.3	1	0.8	1	9.1	10	3.4	5	1.2	8	3.6	6	17.6	14	3.0	9	2.9	5	3.0	1	4.3	1	4.3
NA	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0	23	100.0
計																								
17-(2) 日本留学に関して																								
17-(2)-1 再度の機会がある程度同意すれば、日本で研究の仕上げをしたい	378	45.9	58	43.9	7	63.6	111	37.2	200	48.2	115	52.3	17	50.0	235	50.6	131	42.1	69	40.8	8	34.8	8	34.8
ある程度同意	247	30.0	51	38.6	1	9.1	113	37.9	121	29.2	57	25.9	8	23.5	113	24.4	113	36.3	65	38.5	8	34.8	8	34.8
同意できない	56	6.8	8	6.1	1	9.1	18	6.0	33	8.0	10	4.5	4	11.8	27	5.8	22	7.1	14	8.3	2	8.7	2	8.7
なんともいえない	60	7.3	6	4.5	0	0	24	8.1	29	7.0	12	5.5	1	2.9	39	8.4	21	6.8	5	3.0	1	4.3	1	4.3
わからない	63	7.6	8	6.1	0	0	25	8.4	26	6.3	20	9.1	0	0	37	8.0	18	5.8	13	7.7	3	13.0	3	13.0
NA	20	2.4	1	0.8	2	18.2	7	2.3	6	1.4	6	2.7	4	11.8	13	2.8	6	1.9	3	1.8	1	4.3	1	4.3
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0	23	100.0
17-(2)-2 母国の学生選に日本留学を積極的にすすめたい	236	28.6	34	25.8	5	45.5	52	17.4	129	31.1	87	39.5	7	20.6	171	36.9	69	22.2	32	18.9	3	13.0	3	13.0
ある程度同意	337	40.9	68	51.5	4	36.4	137	46.0	171	41.2	84	38.2	17	50.0	162	34.9	160	51.4	77	45.6	10	43.5	10	43.5
同意できない	92	11.2	8	6.1	1	9.1	38	12.8	45	10.8	16	7.3	2	5.9	42	9.1	30	9.6	26	15.4	3	13.0	3	13.0
なんともいえない	103	12.5	18	13.6	0	0	52	17.4	49	11.8	19	8.6	1	2.9	60	12.9	35	11.3	22	13.0	4	17.4	4	17.4
わからない	35	4.2	3	2.3	0	0	13	4.4	16	3.9	8	3.6	1	2.9	16	3.4	12	3.9	8	4.7	2	8.7	2	8.7
NA	21	2.5	1	0.8	1	9.1	6	2.0	5	1.2	6	2.7	6	17.6	13	2.8	5	1.6	4	2.4	1	4.3	1	4.3
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0	23	100.0
17-(2)-3 留学体験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となる	418	50.7	63	47.7	8	72.7	126	42.3	224	54.0	124	56.4	15	44.1	251	54.1	152	48.9	75	44.4	11	47.8	11	47.8
ある程度同意	272	33.0	46	34.8	1	9.1	116	38.9	126	30.4	66	30.0	11	32.4	135	29.1	119	38.3	58	34.3	7	30.4	7	30.4
同意できない	41	5.0	8	6.1	0	0	18	6.0	23	5.5	6	2.7	2	5.9	17	3.7	15	4.8	16	9.5	1	4.3	1	4.3
なんともいえない	47	5.7	9	6.8	0	0	20	6.7	23	5.5	13	5.9	0	0	32	6.9	14	4.5	10	5.9	0	0	0	0
わからない	25	3.0	4	3.0	1	9.1	11	3.7	12	2.9	6	2.7	1	2.9	16	3.4	5	1.6	6	3.6	3	13.0	3	13.0
NA	21	2.5	2	1.5	1	9.1	7	2.3	7	1.7	5	2.3	5	14.7	13	2.8	6	1.9	4	2.4	1	4.3	1	4.3
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0	23	100.0
17-(2)-4 全くその通り	619	75.1	100	75.8	8	72.7	224	75.2	310	74.7	167	75.9	26	76.5	341	73.5	243	78.1	126	74.6	17	73.9	17	73.9

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
留学者は日本人 の生活態度、 考え方や日本の 文化社会、経済 等を認識する絶 好の機会である	155	18.8	29	22.0	0	0	62	20.8	79	19.0	41	18.6	2	5.9	91	19.6	55	17.7	34	20.1	4	17.4
	12	1.5	0	0	1	9.1	3	1.0	8	1.9	1	0.5	1	2.9	8	1.7	2	0.6	2	1.2	1	4.3
NA	11	1.3	2	1.5	1	9.1	3	1.0	6	1.4	4	1.8	1	2.9	7	1.5	5	1.6	2	1.2	0	0
	6	0.7	0	0	0	0	0	0	5	1.2	1	0.5	0	0	4	0.9	0	0	2	1.2	0	0
計	21	2.5	1	0.8	1	9.1	6	2.0	7	1.7	6	2.7	4	11.8	13	2.8	6	1.9	3	1.8	1	4.3
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
17-(2)-5	52	6.3	5	3.8	3	27.3	9	3.0	24	5.8	23	10.5	4	11.8	39	8.4	11	3.5	9	5.3	1	4.3
日本は帰国留 学生に対する アフターサー ビスをよくや っている	100	12.1	22	16.7	0	0	45	15.1	53	12.8	16	7.3	8	23.5	51	11.0	40	12.9	27	16.0	4	17.4
	137	16.6	43	32.6	1	9.1	73	24.5	87	21.0	16	7.3	5	14.7	46	9.9	89	28.6	41	24.3	5	21.7
NA	66	8.0	9	6.8	2	18.2	29	9.7	32	7.7	14	6.4	2	5.9	32	6.9	27	8.7	16	9.5	2	8.7
	443	53.8	52	39.4	4	36.4	135	45.3	209	50.4	145	65.9	10	29.4	282	60.8	136	43.7	71	42.0	10	43.5
計	26	3.2	1	0.8	1	9.1	7	2.3	10	2.4	6	2.7	5	14.7	14	3.0	8	2.6	5	3.0	1	4.3
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
17-(3) 留學生の受入れについて																						
17-(3)-1 留學生受入れ について民間 のボランティア 活動は充実 している	74	9.0	11	8.3	1	9.1	20	6.7	32	7.7	29	13.2	5	14.7	50	10.8	22	7.1	12	7.1	2	8.7
	267	32.4	43	32.6	7	63.6	95	31.9	141	34.0	69	31.4	12	35.3	154	33.2	86	27.7	70	41.4	7	30.4
NA	164	19.9	36	27.3	2	18.2	88	29.5	86	20.7	22	10.0	6	17.6	66	14.2	96	30.9	38	22.5	2	8.7
	72	8.7	14	10.6	0	0	29	9.7	35	8.4	19	8.6	3	8.8	47	10.1	23	7.4	14	8.3	2	8.7
計	223	27.1	27	20.5	0	0	62	20.8	110	26.5	75	34.1	3	8.8	134	28.9	78	25.1	32	18.9	6	26.1
	24	2.9	1	0.8	1	9.1	4	1.3	11	2.7	6	2.7	5	14.7	13	2.8	6	1.9	3	1.8	4	17.4
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
	114	13.8	7	5.3	0	0	19	6.4	53	12.8	45	20.5	4	11.8	64	13.8	36	11.6	21	12.4	0	0
17-(3)-2 宿舍やアルバ イト探しにつ いて日本人は 協力的である	256	31.1	51	38.6	3	27.3	101	33.9	129	31.1	69	31.4	11	32.4	140	30.2	104	33.4	55	32.5	11	47.8
	195	23.7	43	32.6	4	36.4	107	35.9	105	25.3	24	10.9	6	17.6	93	20.0	102	32.8	43	25.4	4	17.4
NA	75	9.1	19	14.4	1	9.1	31	10.4	40	9.6	19	8.6	5	14.7	43	9.3	31	10.0	21	12.4	0	0
	163	19.8	11	8.3	2	18.2	35	11.7	81	19.5	56	25.5	4	11.8	112	24.1	34	10.9	26	15.4	4	17.4
計	21	2.5	1	0.8	1	9.1	5	1.7	7	1.7	7	3.2	4	11.8	12	2.6	4	1.3	3	1.8	4	17.4
	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別									
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
17-(3)-3 留学生に対する民間の奨学金制度が充実している	33	4.0	13	9.8	1	9.1	16	5.4	13	3.1	15	6.8	3	8.8	32	6.9	13	4.2	1	0.6	1	4.3
	135	16.4	39	29.5	2	18.2	62	20.8	82	19.8	26	11.8	6	17.6	72	15.5	72	23.2	28	16.6	4	17.4
	301	36.5	51	38.6	5	45.5	137	46.0	164	39.5	46	20.9	10	29.4	103	22.2	151	48.6	96	56.8	7	30.4
	65	7.9	11	8.3	1	9.1	27	9.1	32	7.7	16	7.3	2	5.9	37	8.0	24	7.7	14	8.3	2	8.7
	270	32.8	17	12.9	1	9.1	51	17.1	117	28.2	112	50.9	8	23.5	210	45.3	47	15.1	26	15.4	5	21.7
	20	2.4	1	0.8	1	9.1	5	1.7	7	1.7	5	2.3	5	14.7	10	2.2	4	1.3	4	2.4	4	17.4
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
[宿舎条件 一希望順位]	275	33.4	49	37.1	4	36.4	105	35.2	148	35.7	61	27.7	14	41.2	148	31.9	118	37.9	57	33.7	5	21.7
17-(4)-A-1 大学付属の寮	240	29.1	31	23.5	4	36.4	75	25.2	118	28.4	72	32.7	10	29.4	128	27.6	82	26.4	53	31.4	12	52.2
	126	15.3	34	25.8	0	0	60	20.1	67	16.1	30	13.6	3	8.8	75	16.2	59	19.0	24	14.2	2	8.7
	85	10.3	9	6.8	1	9.1	45	15.1	29	7.0	20	9.1	1	2.9	40	8.6	35	11.3	19	11.2	1	4.3
	98	11.9	9	6.8	2	18.2	13	4.4	53	12.8	37	16.8	6	17.6	73	15.7	17	5.5	16	9.5	3	13.0
17-(4)-A-2 外国人用宿舎	227	27.5	19	14.4	3	27.3	72	24.2	108	26.0	62	28.2	7	20.6	116	25.0	81	26.0	44	26.0	8	34.8
	216	26.2	36	27.3	2	18.2	85	28.5	108	26.0	53	24.1	8	23.5	118	25.4	87	28.0	47	27.8	2	8.7
	139	16.9	23	17.4	1	9.1	59	19.8	62	14.9	39	17.7	3	8.8	70	15.1	55	17.7	32	18.9	6	26.1
	135	16.4	45	34.1	1	9.1	69	23.2	77	18.6	27	12.3	8	23.5	75	16.2	71	22.8	31	18.3	4	17.4
	107	13.0	9	6.8	4	36.4	13	4.4	60	14.5	39	17.7	8	23.5	85	18.3	17	5.5	15	8.9	3	13.0
17-(4)-A-3 民間アパート	125	15.2	29	22.0	2	18.2	53	17.8	56	13.5	44	20.0	3	8.8	87	18.8	45	14.5	20	11.8	4	17.4
	146	17.7	25	18.9	0	0	64	21.5	75	18.1	28	12.7	4	11.8	81	17.5	57	18.3	30	17.8	3	13.0
	266	32.3	38	28.8	3	27.3	89	29.9	144	34.7	63	28.6	11	32.4	139	30.0	108	34.7	54	32.0	6	26.1
	176	21.4	32	24.2	2	18.2	77	25.8	79	19.0	46	20.9	8	23.5	72	15.5	82	26.4	50	29.6	6	26.1
	111	13.5	8	6.1	4	36.4	15	5.0	61	14.7	39	17.7	8	23.5	85	18.3	19	6.1	15	8.8	4	17.4
17-(4)-A-4 日本人の家庭	113	13.7	28	21.2	0	0	57	19.1	56	13.5	24	10.9	4	11.8	50	10.8	52	16.7	35	20.7	4	17.4
	115	14.0	31	23.5	1	9.1	60	20.1	55	13.3	28	12.7	4	11.8	53	11.4	67	21.5	25	14.8	2	8.7
	178	21.6	27	20.5	3	27.3	74	24.8	81	19.5	44	20.0	9	26.5	90	19.4	70	22.5	42	24.9	6	26.1
	304	36.9	36	27.3	3	27.3	93	31.2	158	38.1	83	37.7	9	26.5	180	38.8	103	33.1	53	31.4	7	30.4
	114	13.8	10	7.6	4	36.4	14	4.7	65	15.7	41	18.6	8	23.5	91	19.6	19	6.1	14	8.3	4	17.4
17-(4)-B 外国人留学生向け	150	18.2	16	12.1	2	18.2	56	18.8	68	16.4	36	16.4	8	23.5	76	16.4	54	17.4	33	19.5	5	21.7

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				在籍区分別				奨学金類別													
	国公立		私立		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A					
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
留学生だけか 日本人と一諾 か	559	67.8	107	81.1	7	63.6	223	74.8	276	66.5	154	70.0	20	58.8	303	65.3	235	75.6	121	71.6	14	60.9
日本人と一諾 か	115	14.0	9	6.8	2	18.2	19	6.4	71	17.1	30	13.6	6	17.6	85	18.3	22	7.1	15	8.9	4	17.4
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
17-(4)-C 個室か 個室か共同か	723	87.7	117	88.6	7	63.6	275	92.3	355	85.5	191	86.8	26	76.5	396	85.3	281	90.4	150	88.8	20	87.0
他人と共用でよい か	24	2.9	7	5.3	2	18.2	12	4.0	14	3.4	6	2.7	1	2.9	10	2.2	16	5.1	7	4.1	0	0
計	77	9.3	8	6.1	2	18.2	11	3.7	46	11.1	23	10.5	7	20.6	58	12.5	14	4.5	12	7.1	3	13.0
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
IV. 日本経済の発展につき、あなたの考えを聞かせて下さい																						
19-(1)日本の教育制度(総計)	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
19-(1)-A 義務教育年限 が6・3制で 十分に長いこ と	235	28.5	31	23.5	2	18.2	74	24.8	119	28.7	65	29.5	10	29.4	143	30.8	78	25.1	41	24.3	6	26.1
どちらかといえば そうは思わない	246	29.9	35	26.5	6	54.5	94	31.5	124	29.9	60	27.3	9	26.5	139	30.0	100	32.2	40	23.7	8	34.8
どちらかといえば そうは思わない	221	26.8	57	43.2	1	9.1	103	34.6	113	27.2	55	25.0	8	23.5	108	23.3	98	31.5	67	39.6	6	26.1
なんともいえない	40	4.9	5	3.8	0	0	14	4.7	20	4.8	11	5.0	0	0	28	6.0	10	3.2	7	4.1	0	0
わからない	67	8.1	2	1.5	1	9.1	11	3.7	33	8.0	24	10.9	2	5.9	39	8.4	20	6.4	10	5.9	1	4.3
計	15	1.8	2	1.5	1	9.1	2	0.7	6	1.4	5	2.3	5	14.7	7	1.5	5	1.6	4	2.4	2	8.7
19-(1)-B 義務教育での 中途退学(drop out)が少ない こと	225	27.3	46	34.8	1	9.1	95	31.9	117	28.2	56	25.5	4	11.8	125	26.9	99	31.8	44	26.0	4	17.4
どちらかといえば そうは思わない	209	25.4	27	20.5	4	36.4	83	27.9	101	24.3	45	20.5	11	32.4	123	26.5	79	25.4	31	18.3	7	30.4
どちらかといえば そうは思わない	92	11.2	26	19.7	1	9.1	39	13.1	55	13.3	18	8.2	7	20.6	40	8.6	40	12.9	33	19.5	6	26.1
なんともいえない	49	5.9	11	8.3	1	9.1	25	8.4	22	5.3	10	4.5	4	11.8	21	4.5	28	9.0	12	7.1	0	0
わからない	227	27.5	18	13.6	3	27.3	50	16.8	112	27.0	84	38.2	2	5.9	147	31.7	57	18.3	41	24.3	3	13.0
計	22	2.7	4	3.0	1	9.1	6	2.0	8	1.9	7	3.2	6	17.6	8	1.7	8	2.6	8	4.7	3	13.0
19-(1)-C 義務教育の教 育内容が充実 していること	212	25.7	38	28.8	1	9.1	81	27.2	107	25.8	50	22.7	13	38.2	110	23.7	92	29.6	44	26.0	5	21.7
どちらかといえば そうは思わない	271	32.9	48	36.4	5	45.5	103	34.6	138	33.3	73	33.2	10	29.4	159	34.3	99	31.8	58	34.3	8	34.8
どちらかといえば そうは思わない	64	7.8	13	9.8	2	18.2	39	13.1	29	7.0	8	3.6	3	8.8	30	6.5	25	8.0	19	11.2	5	21.7
なんともいえない	57	6.9	7	5.3	0	0	25	8.4	24	5.8	14	6.4	1	2.9	28	6.0	25	8.0	11	6.5	0	0
わからない	190	23.1	23	17.4	2	18.2	45	15.1	104	25.1	65	29.5	1	2.9	123	26.5	59	19.0	31	18.3	2	8.7
計	30	3.6	3	2.3	1	9.1	5	1.7	13	3.1	10	4.5	6	17.6	14	3.0	11	3.5	6	3.6	3	13.0
19-(1)-D その通り	347	42.1	68	51.5	3	27.3	147	49.3	173	41.7	83	37.7	15	44.1	198	42.7	149	47.9	64	37.9	7	30.4

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立						国公私立別						在籍区分別						奨学金類別					
		国公立		私立		NA		学部		大学院		研究生		NA		文部省		その他		奨学金なし		NA			
		実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)		
高等学校以上の の高等教育への 進学率が高いこと	どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	313 45 26 73 20	38.0 5.5 3.2 8.9 2.4	40 10 2 9 3	30.3 7.6 1.5 6.8 2.3	4 0 1 2 1	36.4 0 9.1 18.2 9.1	118 15 8 7 3	39.6 5.0 2.7 2.3 1.0	151 32 13 40 6	36.4 7.7 3.1 9.6 1.4	79 7 7 35 9	35.9 3.2 3.2 15.9 4.1	9 1 1 2 6	26.5 2.9 2.9 5.9 17.6	167 17 13 60 9	36.0 3.7 2.8 12.9 1.9	121 17 6 12 6	38.9 5.5 1.9 3.9 1.9	61 20 9 9 6	36.1 11.8 5.3 5.3 3.6	8 1 1 3 3	34.8 4.3 4.3 13.0 13.0		
19-(1)-E 高等学校以上の の高等教育への の、女子の進 学率が高いこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	136 265 198 67 134 24	16.5 32.2 24.0 8.1 16.3 2.9	36 52 19 7 15 3	27.3 39.4 14.4 5.3 11.4 2.3	1 6 0 1 2 1	9.1 54.5 0 9.1 18.2 9.1	54 107 72 24 36 5	18.1 35.9 24.2 8.1 12.1 1.7	74 143 92 32 64 10	17.8 34.5 22.2 7.7 15.4 2.4	36 61 50 17 49 7	16.4 27.7 22.7 7.7 22.3 3.2	9 12 3 2 2 6	26.5 35.3 8.8 5.9 5.9 17.6	78 158 97 39 81 11	16.8 34.1 20.9 8.4 17.5 2.4	59 103 76 26 39 8	19.0 33.1 24.4 8.4 12.5 2.6	30 55 41 9 28 6	17.8 32.5 24.3 5.3 16.6 3.6	6 7 3 1 3 3	26.1 30.4 13.0 4.3 13.0 13.0		
19-(1)-F 高等教育の内容 容が充実して いること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	184 350 66 55 150 19	22.3 42.5 8.0 6.7 18.2 2.3	32 54 17 11 14 4	24.2 40.9 12.9 8.3 10.6 3.0	3 4 1 1 1 1	27.3 36.4 9.1 9.1 9.1 9.1	60 126 39 29 39 5	20.1 42.3 13.1 9.7 13.1 1.7	109 175 31 23 71 6	26.3 42.2 7.5 5.5 17.1 1.4	38 94 13 13 54 8	17.3 42.7 5.9 5.9 24.5 3.6	12 13 1 2 1 5	35.3 38.2 2.9 5.9 2.9 14.7	98 202 37 24 94 9	21.1 43.5 8.0 5.2 20.3 1.9	71 130 30 31 42 7	22.8 41.8 9.6 10.0 13.5 2.3	46 65 15 12 26 5	27.2 38.5 8.9 7.1 15.4 3.0	4 11 2 0 3 3	17.4 47.8 8.7 0 13.0 13.0		
19-(1)-G 高等教育への 進学率を高め るだけの経済 的余裕が父兄 にあること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	179 333 98 46 146 22	21.7 40.4 11.9 5.6 17.7 2.7	39 47 23 7 12 4	29.5 35.6 17.4 5.3 9.1 3.0	2 3 1 1 3 1	18.2 27.3 9.1 9.1 27.3 9.1	71 120 52 16 36 3	23.8 40.3 17.4 5.4 12.1 1.0	95 185 43 28 56 10	22.9 44.1 10.4 6.7 13.5 2.4	46 65 26 9 65 9	20.9 29.5 11.8 4.1 29.5 4.1	8 15 1 1 4 5	23.5 44.1 2.9 2.9 11.8 14.7	102 198 37 27 89 11	22.0 42.7 8.0 5.8 19.2 2.4	75 121 49 15 44 7	24.1 38.9 15.8 4.8 14.1 2.3	34 58 33 11 27 6	20.1 34.3 19.5 6.5 16.0 3.6	9 6 3 1 1 3	39.1 26.1 13.0 4.3 4.3 13.0		
19-(1)-H 高等教育進学 について奨学 金制度が発達 していること	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	138 260 130 46 232	16.7 31.6 15.8 5.6 28.2	18 33 39 12 26	13.6 25.0 29.5 9.1 19.7	0 3 1 2 4	0 27.3 9.1 18.2 36.4	36 80 80 25 73	12.1 26.8 26.8 8.4 24.5	75 142 62 22 107	18.1 34.2 14.9 5.3 25.8	44 60 22 12 74	20.0 27.3 10.0 5.5 33.6	1 14 6 1 8	2.9 41.2 17.6 2.9 23.5	90 159 43 23 141	19.4 34.3 9.3 5.0 30.4	37 86 82 24 76	11.9 27.7 26.4 7.7 24.4	24 49 41 10 40	14.2 29.0 24.3 5.9 23.7	5 2 4 3 5	21.7 8.7 17.4 13.0 21.7		

質問(項目)番号 質問内容	国公立				私立				N.A				在籍区分別				奨学金類別					
	実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)		実数 (%)			
	実数	%																				
と	18	2.2	4	3.0	1	9.1	4	1.3	7	1.7	8	3.6	4	11.8	8	1.7	6	1.9	5	3.0	4	17.4
19-(1)-I 国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	291	35.3	41	31.1	1	9.1	89	29.9	152	36.6	83	37.7	9	26.5	167	36.0	104	33.4	53	31.4	9	39.1
その通り どちらかといえばその通りと思わない	315	38.2	55	41.7	4	36.4	126	42.3	162	39.0	74	33.6	12	35.3	172	37.1	125	40.2	71	42.0	6	26.1
そうは思わない	27	3.3	14	10.6	2	18.2	25	8.4	12	2.9	3	1.4	3	8.8	10	2.2	17	5.5	14	8.3	2	8.7
なんともいえない	28	3.4	4	3.0	1	9.1	10	3.4	16	3.9	5	2.3	2	5.9	14	3.0	11	3.5	7	4.1	1	4.3
わからない	144	17.5	12	9.1	2	18.2	42	14.1	65	15.7	47	21.4	4	11.8	89	19.2	47	15.1	20	11.8	2	8.7
わからない	19	2.3	6	4.5	1	9.1	6	2.0	8	1.9	8	3.6	4	11.8	12	2.6	7	2.3	4	2.4	3	13.0
19-(1)-J 高等教育を積極的に進めることについて国民的関心が高いこと	328	39.8	58	43.9	2	18.2	117	39.3	173	41.7	87	39.5	11	32.4	187	40.3	138	44.4	54	32.0	9	39.1
その通り どちらかといえばその通りと思わない	307	37.3	43	32.6	4	36.4	117	39.3	160	38.6	68	30.9	9	26.5	172	37.1	108	34.7	68	40.2	6	26.1
そうは思わない	32	3.9	10	7.6	2	18.2	19	6.4	17	4.1	5	2.3	3	8.8	17	3.7	9	2.9	16	9.5	2	8.7
なんともいえない	28	3.4	8	6.1	0	0	18	6.0	11	2.7	5	2.3	2	5.9	14	3.0	12	3.9	8	4.7	2	8.7
わからない	107	13.0	8	6.1	1	9.1	24	8.1	45	10.8	45	20.5	2	5.9	63	13.6	37	11.9	16	9.5	0	0
わからない	22	2.7	5	3.8	2	18.2	3	1.0	9	2.2	10	4.5	7	20.6	11	2.4	7	2.3	7	4.1	4	17.4
19-(1)-K 高等教育を受けることが、立身出世の条件として考えられてきたこと	378	45.9	67	50.8	4	36.4	153	51.3	180	43.4	106	48.2	10	29.4	235	50.6	146	46.9	60	35.5	8	34.8
その通り どちらかといえばその通りと思わない	287	34.8	34	25.8	3	27.3	95	31.9	158	38.1	62	28.2	9	26.5	154	33.2	98	31.5	65	38.5	7	30.4
そうは思わない	52	6.3	16	12.1	0	0	23	7.7	28	6.7	11	5.0	6	17.6	15	3.2	29	9.3	21	12.4	3	13.0
なんともいえない	27	3.3	7	5.3	2	18.2	13	4.4	14	3.4	6	2.7	3	8.8	19	4.1	10	3.2	6	3.6	1	4.3
わからない	60	7.3	3	2.3	1	9.1	11	3.7	25	6.0	26	11.8	2	5.9	31	6.7	21	6.8	11	6.5	1	4.3
わからない	20	2.4	5	3.8	1	9.1	3	1.0	10	2.4	9	4.1	4	11.8	10	2.2	7	2.3	6	3.6	3	13.0
19-(1)-L 個人的な能力さえあれば社会的弱者になれるという社会の体質が進歩意識を高めるから	243	29.5	33	25.0	0	0	78	26.2	121	29.2	70	31.8	7	20.6	150	32.3	82	26.4	40	23.7	4	17.4
その通り どちらかといえばその通りと思わない	289	35.1	46	34.8	6	54.5	111	37.2	146	35.2	71	32.3	13	38.2	157	33.8	105	33.8	69	40.8	10	43.5
そうは思わない	130	15.8	32	24.2	2	18.2	63	21.1	70	16.9	26	11.8	5	14.7	70	15.1	63	20.3	29	17.2	2	8.7
なんともいえない	54	6.6	10	7.6	1	9.1	22	7.4	26	6.3	15	6.8	2	5.9	32	6.9	22	7.1	10	5.9	1	4.3
わからない	79	9.6	7	5.3	1	9.1	21	7.0	36	8.7	29	13.2	1	2.9	41	8.8	29	9.3	14	8.3	3	13.0
わからない	29	3.5	4	3.0	1	9.1	3	1.0	16	3.9	9	4.1	6	17.6	14	3.0	10	3.2	7	4.1	3	13.0
19-(2)日本の経済発展の要因としての、人口増加について																						
19-(2)-A 人口の規模が	160	19.4	35	26.5	4	36.4	47	15.8	90	21.7	54	24.5	8	23.5	103	22.2	51	16.4	40	23.7	5	21.7
その通り どちらかといえばその通りと思わない	227	27.5	32	24.2	1	9.1	80	26.8	119	28.7	51	23.2	10	29.4	150	32.3	75	24.1	34	20.1	1	4.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立						国公私立別						在籍区分別						奨学金類別					
		国公立		私立		NA		学部		大学院		研究生		NA		文部省		その他		奨学金なし		NA			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
一億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	そうは思わない なんともいえない わからない NA	273	33.1	50	37.9	3	27.3	122	40.9	140	33.7	58	26.4	6	17.6	114	24.6	136	43.7	66	39.1	10	43.5		
19-(2)-B 人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	その通り どちらかといえばその通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	213	25.8	40	30.3	2	18.2	83	27.9	109	26.3	55	25.0	8	23.5	122	26.3	87	28.0	40	23.7	6	26.1		
19-(2)-C 最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	その通り どちらかといえばその通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	388	47.1	72	54.5	2	18.2	139	46.6	209	50.4	105	47.7	9	26.5	240	51.7	151	48.6	65	38.5	6	26.1		
19-(2)-D-1 家族計画の考え方が普及しているから	その通りと思う どちらかといえばその通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	388	47.1	78	59.1	2	18.2	160	53.7	207	49.9	90	40.9	11	32.4	220	47.4	159	51.1	80	47.3	9	39.1		
19-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	その通りと思う どちらかといえばその通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	255	30.9	34	25.8	4	36.4	83	27.9	131	31.6	69	31.4	10	29.4	139	30.0	88	28.3	57	33.7	9	39.1		
		47	5.7	6	4.5	0	0	18	6.0	23	5.5	11	5.0	1	2.9	24	5.2	24	7.7	4	2.4	1	4.3		
		16	1.9	4	3.0	0	0	13	4.4	5	1.2	1	0.5	1	2.9	6	1.3	12	3.9	2	1.2	0	0		
		79	9.6	4	3.0	2	18.2	15	5.0	32	7.7	35	15.9	3	8.8	51	11.0	18	5.8	15	8.9	1	4.3		
		39	4.7	6	4.5	3	27.3	9	3.0	17	4.1	14	6.4	8	23.5	24	5.2	10	3.2	11	6.5	3	13.0		
19-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	その通りと思う どちらかといえばその通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	116	14.1	13	9.8	2	18.2	31	10.4	62	14.9	35	15.9	3	8.8	57	12.3	41	13.2	28	16.6	5	21.7		
		231	28.0	46	34.8	3	27.3	94	31.5	113	27.2	65	29.5	8	23.5	141	30.4	89	28.6	45	26.6	5	21.7		
		271	32.9	46	34.8	0	0	116	38.9	141	34.0	53	24.1	7	20.6	142	30.6	115	37.0	56	33.1	4	17.4		
		54	6.6	11	8.3	1	9.1	25	8.4	22	5.3	15	6.8	4	11.8	30	6.5	27	8.7	7	4.1	2	8.7		
		94	11.4	6	4.5	2	18.2	20	6.7	46	11.1	34	15.5	2	5.9	60	12.9	25	8.0	15	8.9	2	8.7		

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						在籍区分別						奨学金類別										
	国公立		私立		NA		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A				
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
19-(2)-D-3 優生保護法で 児制限が合法 化されている から	58	7.0	10	7.6	3	27.3	12	4.0	31	7.5	18	8.2	10	29.4	34	7.3	14	4.5	18	10.7	5	21.7	
NA																							
その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わかららない	109	13.2	24	18.2	1	9.1	38	12.8	62	14.9	29	13.2	5	14.7	52	11.2	52	16.7	26	15.4	4	17.4	
215	26.1	30	22.7	3	27.3	75	25.2	109	26.3	58	26.4	6	17.6	133	28.7	71	22.8	37	21.9	7	30.4		
128	15.5	27	20.5	1	9.1	62	20.8	64	15.4	26	11.8	4	11.8	52	11.2	67	21.5	34	20.1	3	13.0		
44	5.3	7	5.3	0	0	20	6.7	20	4.8	10	4.5	1	2.9	26	5.6	18	5.8	5	3.0	2	8.7		
272	33.0	35	26.5	3	27.3	88	29.5	131	31.6	82	37.3	9	26.5	167	36.0	89	28.6	52	30.8	2	8.7		
56	6.8	9	6.8	3	27.3	15	5.0	29	7.0	15	6.8	9	26.5	34	7.3	14	4.5	15	8.9	5	21.7		
NA																							
19-(2)-D-4 その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わかららない	165	20.0	48	36.4	0	0	82	27.5	87	21.0	32	14.5	12	35.3	62	13.4	95	30.5	51	30.2	5	21.7	
258	31.3	39	29.5	3	27.3	97	32.6	142	34.2	54	24.5	7	20.6	139	30.0	103	33.1	52	30.8	6	26.1		
118	14.3	21	15.9	1	9.1	44	14.8	63	15.2	29	13.2	4	11.8	70	15.1	41	13.2	24	14.2	5	21.7		
61	7.4	8	6.1	0	0	29	9.7	21	5.1	18	8.2	1	2.9	38	8.2	22	7.1	7	4.1	2	8.7		
176	21.4	9	6.8	4	36.4	38	12.8	73	17.6	75	34.1	3	8.8	126	27.2	38	12.2	25	14.8	0	0		
46	5.6	7	5.3	3	27.3	8	2.7	29	7.0	12	5.5	7	20.6	29	6.3	12	3.9	10	5.9	5	21.7		
NA																							
19-(2)-E その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わかららない	139	16.9	27	20.5	1	9.1	64	21.5	69	16.6	29	13.2	5	14.7	84	18.1	60	19.3	19	11.2	4	17.4	
264	32.0	51	38.6	6	54.5	102	34.2	135	32.5	70	31.8	14	41.2	161	34.7	94	30.2	56	33.1	10	43.5		
140	17.0	22	16.7	0	0	53	17.8	79	19.0	26	11.8	4	11.8	54	11.6	69	22.2	37	21.9	2	8.7		
59	7.2	7	5.3	1	9.1	24	8.1	18	4.3	21	9.5	4	11.8	33	7.1	20	6.4	13	7.7	1	4.3		
191	23.2	21	15.9	2	18.2	50	16.8	99	23.9	62	28.2	3	8.8	114	24.6	59	19.0	39	23.1	2	8.7		
31	3.8	4	3.0	1	9.1	5	1.7	15	3.6	12	5.5	4	11.8	18	3.9	9	2.9	5	3.0	4	17.4		
NA																							
19-(2)-F その通りと思う どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わかららない	18	2.2	7	5.3	1	9.1	9	3.0	10	2.4	6	2.7	1	2.9	10	2.2	6	1.9	8	4.7	2	8.7	
101	12.3	18	13.6	3	27.3	22	7.4	63	15.2	29	13.2	8	23.5	74	15.9	29	9.3	15	8.9	4	17.4		
463	56.2	80	60.6	4	36.4	195	65.4	237	57.1	103	46.8	12	35.3	231	49.8	200	64.3	106	62.7	10	43.5		
92	11.2	11	8.3	1	9.1	28	9.4	39	9.4	36	16.4	1	2.9	63	13.6	27	8.7	13	7.7	1	4.3		
120	14.6	13	9.8	1	9.1	39	13.1	52	12.5	37	16.8	6	17.6	69	14.9	42	13.5	20	11.8	3	13.0		
30	3.6	3	2.3	1	9.1	5	1.7	14	3.4	9	4.1	6	17.6	17	3.7	7	2.3	7	4.1	3	13.0		
NA																							
19-(3)日本の経済発展の要因としての労働体制について																							
19-(3)-A その通りと思う どちらかといえば その通りと思う 日本人は本来	526	63.8	94	71.2	6	54.5	188	63.1	277	66.7	140	63.6	21	51.8	300	64.7	198	63.7	115	68.0	13	56.5	
213	25.8	27	20.5	3	27.3	82	27.5	100	24.1	53	24.1	8	23.5	111	23.9	83	26.7	42	24.9	7	30.4		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						在籍区分別								奨学金類別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
勤勉で労働の密度が高いこと	そうは思わない	29	3.5	7	5.3	0	0	12	4.0	16	3.9	8	3.6	0	0	17	3.7	13	4.2	6	3.6	0	0
	なんともいえない	12	1.5	2	1.5	0	0	5	1.7	5	1.2	4	1.8	0	0	8	1.7	4	1.3	2	1.2	0	0
	わからない	22	2.7	0	0	0	0	5	1.7	8	1.9	8	3.6	1	2.9	12	2.6	8	2.6	1	0.6	1	4.3
	NA	22	2.7	2	1.5	2	18.2	6	2.0	9	2.2	7	3.2	4	11.8	16	3.4	5	1.6	3	1.8	2	8.7
19-(3)-B 日本には身分意識が少く上下の差別なくよく働くから	その通りと思う	174	21.1	22	16.7	0	0	40	13.4	102	24.6	51	23.2	3	8.8	99	21.3	57	18.3	35	20.7	5	21.7
	どちらかといえばその通りと思う	234	28.4	35	26.5	4	36.4	82	27.5	120	28.9	62	28.2	9	26.5	160	34.5	75	24.1	35	20.7	3	13.0
	そうは思わない	291	35.3	64	48.5	2	18.2	143	48.0	132	31.8	68	30.9	14	41.2	129	27.8	148	47.6	74	43.8	6	26.1
	なんともいえない	34	4.1	7	5.3	2	18.2	14	4.7	19	4.6	8	3.6	2	5.9	21	4.5	11	3.5	8	4.7	3	13.0
	わからない	60	7.3	3	2.3	1	9.1	12	4.0	31	7.5	21	9.5	0	0	39	8.4	12	3.9	10	5.9	3	13.0
NA	31	3.8	1	0.8	2	18.2	7	2.3	11	2.7	10	4.5	6	17.6	16	3.4	8	2.6	7	4.1	3	13.0	
19-(3)-C 週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	その通りと思う	250	30.3	35	26.5	2	18.2	88	29.5	113	27.2	81	36.8	5	14.7	157	33.8	83	26.7	40	23.7	7	30.4
	どちらかといえばその通りと思う	251	30.5	48	36.4	3	27.3	107	35.9	134	32.3	51	23.2	10	29.4	136	29.3	101	32.5	54	32.0	11	47.8
	そうは思わない	121	14.7	24	18.2	3	27.3	48	16.1	66	15.9	28	12.7	6	17.6	51	11.0	63	20.3	34	20.1	0	0
	なんともいえない	33	4.0	6	4.5	0	0	14	4.7	17	4.1	7	3.2	1	2.9	13	2.8	15	4.8	10	5.9	1	4.3
	わからない	135	16.4	16	12.1	1	9.1	34	11.4	68	16.4	45	20.5	5	14.7	87	18.8	42	13.5	21	12.4	2	8.7
NA	34	4.1	3	2.3	2	18.2	7	2.3	17	4.1	8	3.6	7	20.6	20	4.3	7	2.3	10	5.9	2	8.7	
19-(3)-D 労働組合が企業制組合であり、ストライキがないから	その通りと思う	230	27.9	38	28.8	0	0	90	30.2	112	27.0	63	28.6	3	8.8	151	32.5	84	27.0	28	16.6	5	21.7
	どちらかといえばその通りと思う	257	31.2	54	40.9	6	54.5	104	34.9	140	33.7	58	26.4	15	44.1	140	30.2	111	35.7	57	33.7	9	39.1
	そうは思わない	113	13.7	19	14.4	1	9.1	41	13.8	61	14.7	26	11.8	5	14.7	45	9.7	43	13.8	41	24.3	4	17.4
	なんともいえない	47	5.7	7	5.3	1	9.1	21	7.0	23	5.5	10	4.5	1	2.9	27	5.8	24	7.7	4	2.4	0	0
	わからない	142	17.2	11	8.3	1	9.1	33	11.1	65	15.7	52	23.6	4	11.8	83	17.9	40	12.9	30	17.8	1	4.3
NA	35	4.2	3	2.3	2	18.2	9	3.0	14	3.4	11	5.0	6	17.6	18	3.9	9	2.9	9	5.3	4	17.4	
19-(4)経済と人的能力との関係について																							
「人的能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方	その通りだ	673	81.7	95	72.0	7	63.6	240	80.5	351	84.6	163	74.1	21	61.8	353	76.1	261	83.9	146	86.4	15	65.2
	必ずしもそうだとは思わない	95	11.5	26	19.7	1	9.1	40	13.4	41	9.9	37	16.8	4	11.8	75	16.2	32	10.3	12	7.1	3	13.0
	まちがっている	7	0.8	1	0.8	0	0	2	0.7	3	0.7	3	1.4	0	0	6	1.3	2	0.6	0	0	0	0
	なんともいえない	7	0.8	4	3.0	1	9.1	4	1.3	2	0.5	4	1.8	2	5.9	6	1.3	2	0.6	4	2.4	0	0
わからない	10	1.2	1	0.8	0	0	4	1.3	3	0.7	3	1.4	1	2.9	3	0.6	6	1.9	1	0.6	1	4.3	

質問(項目)番号 質問内容	国公私立別				在籍区分別				奨学金類別																																			
	国立		私立		N.A		学部		大学院		研究生		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A																							
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																				
20-1	32	3.9	5	3.8	2	18.2	8	2.7	15	3.6	10	4.5	6	17.6	21	4.5	8	2.6	6	3.6	4	17.4	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0
についてあなたは同意しますか																																												
20. 家族について																																												
20-1	49	5.9	3	2.3	0	0	20	6.7	23	5.5	7	3.2	2	5.9	17	3.7	24	7.7	10	5.9	1	4.3																						
父親の職業																																												
	53	6.4	4	3.0	0	0	19	6.4	22	5.3	15	6.8	1	2.9	26	5.6	23	7.4	8	4.7	0	0																						
	56	6.8	14	10.6	1	9.1	33	11.1	25	6.0	10	4.5	3	8.8	37	8.0	25	8.0	8	4.7	1	4.3																						
	35	4.2	3	2.3	0	0	15	5.0	13	3.1	9	4.1	1	2.9	12	2.6	13	4.2	13	7.7	0	0																						
	36	4.4	1	0.8	0	0	4	1.3	20	4.8	12	5.5	1	2.9	25	5.4	7	2.3	5	3.0	0	0																						
	55	6.7	20	15.2	1	9.1	34	11.4	33	8.0	6	2.7	3	8.8	19	4.1	32	10.3	22	13.0	3	13.0																						
	85	10.3	26	19.7	2	18.2	41	13.8	33	8.0	36	16.4	3	8.8	56	12.1	44	14.1	11	6.5	2	8.7																						
	455	55.2	61	46.2	7	63.6	132	44.3	246	59.3	125	56.8	20	58.8	272	58.6	143	46.0	92	54.4	16	69.6																						
無職・無回答																																												
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0																						
20-2	155	18.8	35	26.5	1	9.1	72	24.2	66	15.9	46	20.9	7	20.6	73	15.7	81	26.0	33	19.5	4	17.4																						
男子の数																																												
	259	31.4	42	31.8	3	27.3	100	33.6	120	28.9	73	33.2	11	32.4	131	28.2	100	32.2	67	39.6	6	26.1																						
	190	23.1	22	16.7	3	27.3	65	21.8	101	24.3	44	20.0	5	14.7	109	23.5	68	21.9	37	21.9	1	4.3																						
	100	12.1	7	5.3	2	18.2	20	6.7	57	13.7	28	12.7	4	11.8	71	15.3	20	6.4	13	7.7	5	21.7																						
	59	7.2	10	7.6	0	0	20	6.7	34	8.2	13	5.9	2	5.9	43	9.3	16	5.1	9	5.3	1	4.3																						
5人以上																																												
無回答、0人																																												
20-3	61	7.4	16	12.1	2	18.2	21	7.0	37	8.9	16	7.3	5	14.7	37	8.0	26	8.4	10	5.9	6	26.1																						
女子の数																																												
	229	27.8	41	31.1	3	27.3	85	28.5	102	24.6	77	35.0	9	26.5	136	27.2	90	28.9	52	30.8	5	21.7																						
	210	25.5	35	26.5	3	27.3	80	26.8	108	26.0	55	25.0	5	14.7	122	26.3	80	25.7	39	23.1	7	30.4																						
	120	14.6	19	14.4	0	0	45	15.1	63	15.2	26	11.8	5	14.7	72	15.5	40	12.9	25	14.8	2	8.7																						
	62	7.5	11	8.3	1	9.1	26	8.7	33	8.0	13	5.9	2	5.9	40	8.6	22	7.1	11	6.5	1	4.3																						
	27	3.3	4	3.0	0	0	11	3.7	14	3.4	6	2.7	0	0	21	4.5	7	2.3	3	1.8	0	0																						
5人以上																																												
無回答、0人																																												
20-4	176	21.4	22	16.7	4	36.4	51	17.1	95	22.9	43	19.5	13	38.2	83	17.9	72	23.2	39	23.1	8	34.8																						
ある																																												
	304	36.9	67	50.8	4	36.4	134	45.0	159	38.3	73	33.2	9	26.5	157	33.8	121	38.9	88	52.1	9	39.1																						
家族に海外留学の体験があるか																																												
	356	43.2	47	35.6	4	36.4	116	38.9	173	41.7	109	49.5	9	26.5	208	44.8	142	45.7	54	32.0	3	13.0																						
NA																																												
	164	19.9	18	13.6	3	27.3	48	16.1	83	20.0	38	17.3	16	47.1	99	21.3	48	15.4	27	16.0	11	47.8																						
計	824	100.0	132	100.0	11	100.0	298	100.0	415	100.0	220	100.0	34	100.0	464	100.0	311	100.0	169	100.0	23	100.0																						

B-I 元留学生アンケート集計表 (総計・性別・性別・回答言語別)

質問(項目) 番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別						
		実数	(% )	男		女		N.A.	日本語		英語			
				実数	(% )	実数	(% )		実数	(% )	実数	(% )		
I. 教育歴														
1-(1) 日本滞在の期間	1年	41	29.7	27	29.7	11	37.9	3	16.7	11	18.0	30	39.0	
	2年	37	26.8	26	28.6	6	20.7	5	27.8	23	37.7	14	18.2	
	3年	22	15.9	15	16.5	5	17.2	2	11.1	10	16.4	12	15.6	
	4年	13	9.4	9	9.9	1	3.4	3	16.7	5	8.2	8	10.4	
	5年	9	6.5	5	5.5	1	3.4	3	16.7	5	8.2	4	5.2	
	6年	2	1.4	0	0	2	6.9	0	0	0	1	1.6	1	1.3
	7年	7	5.1	6	6.6	0	0	1	5.6	4	6.6	3	3.9	
	8年	3	2.2	3	3.3	0	0	0	0	2	3.3	1	1.3	
	9年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	11年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	12年	1	7.0	0	0	1	3.4	0	0	0	0	1	1.3	
	13年	1	7.0	0	0	1	3.4	0	0	0	0	1	1.3	
NA	2	1.4	0	0	1	3.4	1	5.6	0	0	2	2.6		
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0		
1-(2)-1 学籍区分	学部	33	23.9	19	20.9	9	31.0	5	27.8	22	36.1	11	14.3	
	大学院	101	73.2	70	76.9	19	65.5	12	66.7	39	63.9	62	80.5	
	NA	4	2.9	2	2.2	1	3.4	1	5.6	0	0	4	5.2	
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0		
1-(2)-2 国公立別	国・公立	126	91.3	84	92.3	26	89.7	16	88.9	59	96.7	67	87.0	
	私立	8	5.8	5	5.5	2	6.9	1	5.6	2	3.3	6	7.8	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				別					
		計		男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
1-(3) 専門分野	NA	4	2.9	2	2.2	1	3.4	1	5.6	0	0	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
	理工	48	34.8	35	38.5	7	24.1	6	33.3	26	42.6	22	28.6
	農学	23	16.7	16	17.6	4	13.8	3	16.7	6	9.8	17	22.1
	医・薬学	13	9.4	9	9.9	3	10.3	1	5.6	7	11.5	6	7.8
	その他理科	5	3.6	2	2.2	3	10.3	0	0	4	6.6	1	1.3
	日本語	5	3.6	4	4.4	1	3.4	0	0	4	6.6	1	1.3
	人文・社会	14	10.1	6	6.6	7	24.1	1	5.6	6	9.8	8	10.4
	経営・経済	7	5.1	5	5.5	1	3.4	1	5.6	1	1.6	6	7.8
	政治・法律	2	1.4	1	1.1	0	0	1	5.6	0	0	2	2.6
	その他文科	9	6.5	6	6.6	1	3.4	2	11.1	5	8.2	4	5.2
	NA	12	8.7	7	7.7	2	6.9	3	16.7	2	3.3	10	13.0
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
1-(4)-1 日本留学で学位 を取得した年限 —学士—	1年	3	18.8	3	27.3	0	0	0	0	1	10.0	2	33.3
	2 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 "	11	68.8	7	63.6	2	100.0	2	66.7	7	70.0	4	66.7
	5年以上	2	12.5	1	9.1	0	0	1	33.3	2	20.0	0	0
NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	16	100.0	11	100.0	2	100.0	3	100.0	10	100.0	6	100.0	
1-(4)-2 一修士—	1年	1	2.7	1	4.0	0	0	0	0	1	5.0	0	0
	2 "	34	91.9	23	92.0	7	87.5	4	100.0	19	95.0	15	88.2
	3 "	2	5.4	1	4.0	1	12.5	0	0	0	0	2	11.8
	4 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	37	100.0	25	100.0	8	100.0	4	100.0	20	100.0	17	100.0	
1-(4)-3	1年	2	6.5	1	5.6	1	12.5	0	0	1	6.3	1	6.7

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答国語別					
		実数	(%)	男		女		N.A.		日本語		英語	
				実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
一博士—		3	9.7	1	5.6	0	0	2	40.0	1	6.3	2	13.3
	2 "	15	48.4	8	44.4	5	62.5	2	40.0	8	50.0	7	46.7
	3 "	7	22.6	7	38.9	0	0	0	0	4	25.0	3	20.0
	4 "	2	6.5	1	5.6	1	12.5	0	0	0	0	2	13.3
	5 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8 "	2	6.5	0	0	1	12.5	1	20.0	2	12.5	0	0
	9 "	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	31	100.0	18	100.0	8	100.0	5	100.0	16	100.0	15	100.0
I-(5)-A	日本語	16	38.1	10	37.0	3	37.5	3	42.9	13	65.0	3	13.6
	英語	21	50.0	13	48.1	4	50.0	4	57.1	6	30.0	15	68.2
	その他	5	11.9	4	14.8	1	12.5	0	0	1	5.0	4	18.2
	計	42	100.0	27	100.0	8	100.0	7	100.0	20	100.0	22	100.0
I-(5)-B	日本語	9	25.7	6	27.3	1	12.5	2	40.0	8	47.1	1	5.6
	英語	23	65.7	14	63.6	6	75.0	3	60.0	9	52.9	14	77.8
	その他	3	8.6	2	9.1	1	12.5	0	0	0	0	3	16.7
	計	35	100.0	22	100.0	8	100.0	5	100.0	17	100.0	18	100.0
I-(6)-A	指示された	6	12.8	4	13.8	1	11.1	1	11.1	4	20.0	2	7.4
	指示されなかった	41	87.2	25	86.2	8	88.9	8	88.9	16	80.0	25	92.6
	計	47	100.0	29	100.0	9	100.0	9	100.0	20	100.0	27	100.0
I-(6)-B	指示された	2	5.6	0	0	1	12.5	1	20.0	1	7.1	1	4.5
	指示されなかった	34	94.4	23	100.0	7	87.5	4	80.0	13	92.9	21	95.5
	計	36	100.0	23	100.0	8	100.0	5	100.0	14	100.0	22	100.0
I-(7)	無	7	5.1	3	3.3	1	3.4	3	16.7	3	4.9	4	5.2
	有	126	91.3	85	93.4	27	93.1	14	77.8	55	90.2	71	92.2
	NA	5	3.6	3	3.3	1	3.4	1	5.6	3	4.9	2	2.6

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
1-(7)-B 奨学金の種類別	母国の政府奨学金	4	3.2	3	3.5	1	3.7	0	0	4	7.3	0	0
	母国の民間団体奨学金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本の文部省奨学金	120	95.2	80	94.1	26	96.3	14	100.0	49	89.1	71	100.0
	日本の私費留学生奨学金	1	0.8	1	1.2	0	0	0	0	1	1.8	0	0
	日本の地方自治体奨学金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NA	1	0.8	1	1.2	0	0	0	0	1	1.8	0	0
	計	126	100.0	85	100.0	27	100.0	14	100.0	55	100.0	71	100.0
2. 留学体験													
2. 日本留学以前 に外国留学の経 験がありますか	ない	116	84.1	76	83.5	23	79.3	17	94.4	57	93.4	59	76.6
	ある	21	15.2	15	16.5	6	20.7	0	0	4	6.6	17	22.1
	NA	1	0.7	0	0	0	0	1	5.6	0	0	1	1.3
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
2-(2)-A どの国(地域) でしたか	北米	5	23.8	4	26.7	1	16.7	0	0	2	50.0	3	17.6
	南米	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西欧	8	38.1	5	33.3	3	50.0	0	0	1	25.0	7	41.2
	東欧	3	14.3	2	13.3	1	16.7	0	0	0	0	3	17.6
	中東	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	0	0	1	5.9
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東アジア	2	9.5	2	13.3	0	0	0	0	1	25.0	1	5.9
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NA	2	9.5	1	6.7	1	16.7	0	0	0	0	2	11.8
	計	21	100.0	15	100.0	6	100.0	0	0	4	100.0	17	100.0
2-(2)-B 留学期間は何年	1年	6	28.6	4	26.7	2	33.3	0	0	1	25.0	5	29.4
	2年	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	1	25.0	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
でしたか	3年	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	1	25.0	0	0
	4年	1	4.8	0	0	1	16.7	0	0	0	0	1	5.9
	5年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6年	3	14.3	2	13.3	1	16.7	0	0	1	25.0	2	11.8
	7年	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	0	0	1	5.9
	8年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9年	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	0	0	1	5.9
	10年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14年	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	0	0	1	5.9
	15年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NA計	6	28.6	4	26.7	2	33.3	0	0	0	0	6	35.3
		21	100.0	15	100.0	6	100.0	0	0	4	100.0	17	100.0
2-(2)-D 留学で取得した 学位	学士	4	19.0	4	26.7	0	0	0	0	2	50.0	2	11.8
	修士	6	28.6	4	26.7	2	33.3	0	0	1	25.0	5	29.4
	博士	1	4.8	1	6.7	0	0	0	0	0	0	1	5.9
	NA	10	47.6	6	40.0	4	66.7	0	0	1	25.0	9	52.9
	計	21	100.0	15	100.0	6	100.0	0	0	4	100.0	17	100.0
3. 日本留学後の再留学について													
3-1 再度留学をした か	しなかった	120	87.0	81	89.0	25	86.2	14	77.8	58	95.1	62	80.5
	した	17	12.3	10	11.0	4	13.8	3	16.7	3	4.9	14	18.2
3-(2)-A どの国(地域) でしたか	NA	1	0.7	0	0	0	0	1	5.6	0	0	1	1.3
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
	北米	3	17.6	2	20.0	0	0	1	33.3	1	33.3	2	14.3
	南米	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西欧	8	47.1	4	40.0	3	75.0	1	33.3	1	33.3	7	50.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	東欧	1	5.9	1	10.0	0	0	0	0	0	0	1	7.1
	中東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東南アジア	1	5.9	0	0	0	0	1	33.3	0	0	1	7.1
	東アジア	1	5.9	1	10.0	0	0	0	0	1	33.3	0	0
	その他	3	17.6	2	20.0	1	25.0	0	0	0	0	3	21.4
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
3-(2)-B 留学期間は何年 でしたか	1年	4	23.5	1	10.0	1	25.0	2	66.7	1	33.3	3	21.4
	2年	6	35.3	5	50.0	1	25.0	0	0	0	0	6	42.9
	3年	1	5.9	0	0	1	25.0	0	0	0	0	1	7.1
	4年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	NA	6	35.3	4	40.0	1	25.0	1	33.3	2	66.7	4	28.6
	計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
3-(2)-E-1 そこで取得した 学位は	学士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	修士	1	5.9	0	0	1	25.0	0	0	0	0	1	7.1
	博士	2	11.8	1	10.0	1	25.0	0	0	0	0	2	14.3
	NA	14	82.4	9	90.0	2	50.0	3	100.0	3	100.0	11	78.6
	計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
3-(2)-E-2 学位の分野	理工	3	17.6	2	20.0	0	0	1	33.3	0	0	3	21.4
	農学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医・薬学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他理科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本語	2	11.8	1	10.0	1	25.0	0	0	0	0	2	14.3
	人文・社会	4	23.5	1	10.0	3	75.0	0	0	1	33.3	3	21.4
	経営・経済	1	5.9	0	0	0	0	1	33.3	0	0	1	7.1

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総 計		性 別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	法律・政治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他文科	1	5.9	1	10.0	0	0	0	0	0	0	1	7.1
	NA	6	35.3	5	50.0	0	0	1	33.3	2	66.7	4	28.6
	計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
3-(2)-F	ない	7	41.2	3	30.0	3	75.0	1	33.3	0	0	7	50.0
そこでの奨学金	ある	7	41.2	4	40.0	1	25.0	2	66.7	2	66.7	5	35.7
取得	NA	3	17.6	3	30.0	0	0	0	0	1	33.3	2	14.3
	計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
4. 再留学の理由													
	日本の学位は母国では高く評価されぬ	1	5.9	0	0	0	0	1	33.3	0	0	1	7.1
	専門研究水準は日本より他国が高い	3	17.6	2	20.0	0	0	1	33.3	2	66.7	1	7.1
	日本留学期間の再延長が認められず	3	17.6	2	20.0	1	25.0	0	0	0	0	3	21.4
	日本での研究成果は母国では活用されず	1	5.9	0	0	0	0	1	33.3	0	0	1	7.1
	専門研究領域の拡大・深化の必要	10	58.8	6	60.0	2	50.0	2	66.7	3	100.0	7	50.0
	日本の大学は最新の研究成果を開放せず	1	5.9	0	0	0	0	1	33.3	0	0		7.1
	母国政府・大学からの再留学の要請	3	17.6	1	10.0	0	0	2	66.7	1	33.0	2	14.3
	その他	2	11.8	1	10.0	1	25.0	0	0	0	0	2	14.7
	NA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(複数回答) 計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
5. 再留学は、目的を達成したか													
5. 再留学は	目的は達成された	5	29.4	3	30.0	2	50.0	0	0	1	33.3	4	28.6
	一応の成果あり	4	23.5	1	10.0	1	25.0	2	66.7	1	33.3	3	21.4
	期待通りでない	2	11.8	2	20.0	0	0	0	0	0	0	2	14.3
	なんともいえない	3	17.6	3	30.0	0	0	0	0	1	33.3	2	14.3
	NA	3	17.6	1	10.0	1	25.0	1	33.3	0	0	3	21.4
	計	17	100.0	10	100.0	4	100.0	3	100.0	3	100.0	14	100.0
II. 日本留学への評価													
6. 日本留学の成果と事について													

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				別				回答言語別	
		実数	(%)	男		女		N.A.	日本語		英語		
				実数	(%)	実数	(%)		実数	(%)	実数	(%)	
6-1(1)-A 就職先 (現在)	政府行政機関 試験研究機関 大学 その他教育機関 日系民間企業 その他の国との合弁企業 母国系民間企業 自営業 その他 NA 計	18 8 71 8 3 4 9 5 9 3 138	13.0 5.8 51.4 5.8 2.2 2.9 6.5 3.6 6.5 2.2 100.0	10 6 49 3 2 1 7 4 7 2 91	11.0 6.6 53.8 3.3 2.2 1.1 7.7 4.4 7.7 2.2 100.0	4 1 13 4 0 3 0 1 2 1 29	13.8 3.4 44.8 13.8 0 10.3 0 3.4 6.9 3.4 100.0	4 1 9 1 0 1 2 0 0 0 18	22.2 5.6 50.0 5.6 5.6 0 11.1 0 0 0 100.0	6 1 37 4 2 2 3 0 4 2 61	9.8 1.6 60.7 6.6 3.3 3.3 4.9 0 6.6 3.3 100.0	12 7 34 4 1 2 6 5 5 1 77	15.6 9.1 44.2 5.2 1.3 2.6 7.8 6.5 6.5 1.3 100.0
6-1(1)-E その仕事で、日 本留学の成果を 活用できている か	直接に活用できている 間接的に活用できている 全く無関係である なんともいえない NA 計	83 42 5 4 4 138	60.1 30.4 3.6 2.9 2.9 100.0	57 27 3 2 2 91	62.6 29.7 3.3 2.2 2.2 100.0	16 7 2 2 2 29	55.2 24.1 6.9 6.9 6.9 100.0	10 8 0 0 0 18	55.6 44.4 0 0 0 100.0	41 15 2 1 2 61	67.2 24.6 3.3 1.6 3.3 100.0	42 27 3 3 2 77	54.5 35.1 3.9 3.9 2.6 100.0
6-1(2) 転職の有無	ない ある NA 計	114 18 6 138	82.6 13.0 4.3 100.0	78 11 2 91	85.7 12.1 2.2 100.0	22 4 3 29	75.9 13.8 10.3 100.0	14 3 1 18	77.8 16.7 5.6 100.0	55 4 2 61	90.2 6.6 3.3 100.0	59 14 4 77	76.6 18.2 5.2 100.0
6-1(2)-B 転職の回数は	1回 2回 3回 NA 計	12 2 2 0 18	66.7 11.1 11.1 0 100.0	7 2 2 0 11	63.6 18.2 18.2 0 100.0	2 2 0 0 4	50.0 50.0 0 0 100.0	3 0 0 0 3	100.0 0 0 0 100.0	3 1 0 0 4	75.0 25.0 0 0 100.0	9 3 2 0 14	64.3 21.4 14.3 0 100.0
6-1(3) 現在の仕事に、日本留学体験、知識、研究は活用されているか (A. 仕事の面では)		18	100.0	11	100.0	4	100.0	3	100.0	4	100.0	14	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	性別						別			回答国語別																																																												
		男		女		N.A.		日本語		英語		実数	実数	実数																																																									
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																																																												
6-(3)-A-1 大学での研究成果 果に関連して	大いに活用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	60	65.9	16	55.2	12	66.7	37	60.7	51	66.2	26	18.8	18	19.8	4	13.8	4	22.2	15	24.6	11	14.3	12	8.7	6	6.6	4	13.8	2	11.1	6	9.8	6	7.8	3	2.2	1	1.1	2	6.9	0	0	1	1.6	2	2.6	9	6.5	6	6.6	3	10.3	0	0	2	3.3	7	9.1	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
6-(3)-A-2 取得した技術	大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	45	49.5	13	44.8	9	50.0	28	45.9	39	50.6	32	23.2	22	24.2	5	17.2	5	27.8	15	24.6	17	22.1	14	10.1	10	11.0	3	10.3	1	5.6	8	13.1	6	7.8	10	7.2	7	7.7	3	10.3	0	0	4	6.6	6	7.8	15	10.9	7	7.7	5	17.2	3	16.7	6	9.8	9	11.7	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
6-(3)-A-3 日本語の能力 について	大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	43	47.3	15	51.7	8	44.4	41	67.2	25	32.5	28	20.3	18	19.8	5	17.2	5	27.8	10	16.4	18	23.4	33	23.9	26	28.6	5	17.2	2	11.1	8	13.1	25	32.5	2	1.4	0	0	2	11.1	1	1.3	9	6.5	4	4.4	4	13.8	1	5.6	1	1.6	8	10.4	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0				
6-(3)-A-4 日本の大学スタ ッフとの交流に 関連して	大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	35	38.5	12	41.4	8	44.4	27	44.3	28	36.4	29	21.0	22	24.2	4	13.8	3	16.7	14	23.0	15	19.5	30	21.7	20	22.0	6	20.7	4	22.2	11	18.0	19	24.7	9	6.5	6	6.6	2	6.9	1	5.6	3	3.9	15	10.9	8	8.8	5	17.2	2	11.1	3	4.9	12	15.6	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0		
6-(3)-A-5 日本の企業との 交流に関連して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない	17	18.7	2	6.9	2	11.1	7	11.5	14	18.2	27	19.6	17	18.7	6	20.7	4	22.2	13	21.3	14	18.2	55	39.9	39	42.9	11	37.9	5	27.8	29	47.5	26	33.8	16	11.6	8	8.8	5	17.2	3	16.7	7	11.5	6	11.7	16	11.6	8	8.8	5	17.2	3	16.7	7	11.5	6	11.7												

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
6-(3)-A-6 日本の社会人との交流に関連して	NA	19	13.8	10	11.0	5	17.2	4	22.2	5	8.2	14	18.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
	大いに利用	62	44.9	41	45.1	16	55.2	5	27.8	22	36.1	40	51.9
	それほど利用せず	31	22.5	20	22.0	3	10.3	8	44.4	18	29.5	13	16.9
	全く無関係	26	18.8	17	18.7	6	20.7	3	16.7	11	18.0	15	19.5
	なんともいえない	6	4.3	4	4.4	1	3.4	1	5.6	4	6.6	2	2.6
	NA	13	9.4	9	9.9	3	10.3	1	5.6	6	9.8	7	9.1
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
(B. 生活の面では)													
6-(3)-B-1 日本的な考え方や発想のしかた	積極的に採用	34	24.6	24	26.4	5	17.2	5	27.8	14	23.0	20	26.0
	一部採用	76	55.1	49	53.8	18	62.1	9	50.0	36	59.0	40	51.9
	全く無関係	10	7.2	7	7.7	2	6.9	1	5.6	5	8.2	5	6.5
	なんともいえない	13	9.4	9	9.9	2	6.9	2	11.1	5	8.2	8	10.4
	NA	5	3.6	2	2.2	2	6.9	1	5.6	1	1.6	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
6-(3)-B-2 日本的な生活様式	積極的に採用	22	15.9	13	14.3	6	20.7	3	16.7	8	13.1	14	18.2
	一部採用	58	42.0	39	42.9	13	44.8	6	33.3	26	42.6	32	41.6
	全く無関係	35	25.4	28	30.8	4	13.8	3	16.7	19	31.1	16	20.8
	なんともいえない	17	12.3	8	8.8	4	13.8	5	27.8	6	9.8	11	14.3
	NA	6	4.3	3	3.3	2	6.9	1	5.6	2	3.3	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
6-(3)-B-3 日本的な行動様式	積極的に採用	21	15.2	11	12.1	4	13.8	6	33.3	11	18.0	10	13.0
	一部採用	62	44.9	42	46.2	16	55.2	4	22.2	27	44.3	35	45.5
	全く無関係	32	23.2	23	25.3	4	13.8	5	27.8	16	26.2	16	20.8
	なんともいえない	18	13.0	12	13.2	4	13.8	2	11.1	5	8.2	13	16.9
	NA	5	3.6	3	3.3	1	3.4	1	5.6	2	3.3	3	3.9
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
7. 帰国後の日本語の使用													

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計				性別				回答国語別											
		男		女		N.A.		日本語		英語											
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)										
7-(1)-日本語を																					
7-(1)-A ふだんの生活で	かなり機会あり わずかにあり 全くない NA 計	35	25.4	23	25.3	8	27.6	4	22.2	18	29.5	17	22.1								
		68	49.3	49	53.8	12	41.4	7	38.9	33	54.1	35	45.5								
		26	18.8	15	16.5	5	17.2	6	33.3	9	14.8	17	22.1								
		9	6.5	4	4.4	4	13.8	1	5.6	1	1.6	8	10.4								
		138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0								
7-(1)-B 勤務先の仕事で	かなり機会あり わずかにあり 全くない NA 計	40	29.0	25	27.5	9	31.0	6	33.3	25	41.0	15	19.5								
		51	37.1	34	37.4	8	27.6	9	50.0	21	34.4	30	39.0								
		39	28.3	28	30.8	9	31.0	2	11.1	14	23.0	25	32.5								
		8	5.8	4	4.4	3	10.3	1	5.6	1	1.6	7	9.1								
		138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0								
7-(2)-日本語を使用する形は																					
7-(2)-A 日本語で会話を する	かなりある 時にはある 全くない NA 計	45	32.6	30	33.0	9	31.0	6	33.3	25	41.0	20	26.0								
		70	50.7	43	47.3	17	58.6	10	55.6	29	47.5	41	53.2								
		16	11.6	15	16.5	1	3.4	0	0	6	9.8	10	13.0								
		7	5.1	3	3.3	2	6.9	2	11.1	1	1.6	6	7.8								
		138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0								
7-(2)-B 日本語の文章を 読む	かなりある 時にはある 全くない NA 計	61	44.2	41	45.1	13	44.8	7	38.9	45	73.8	16	20.8								
		52	37.7	35	38.5	10	34.5	7	38.9	16	26.2	36	46.8								
		19	13.8	13	14.3	4	13.8	2	11.1	0	0	19	24.7								
		6	4.3	2	2.2	2	6.9	2	11.1	0	0	6	7.8								
		138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0								
7-(2)-C 日本語の放送を 聞く	かなりある 時にはある 全くない NA 計	17	12.3	10	11.0	5	17.2	2	11.1	11	18.0	6	7.8								
		39	28.3	25	27.5	6	20.7	8	44.4	21	34.4	18	23.4								
		72	52.5	51	56.0	15	51.7	6	33.3	26	42.6	46	59.7								
		10	7.2	5	5.5	3	10.3	2	11.1	3	4.9	7	9.1								
		138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0								
7-(2)-D	かなりある	19	13.8	13	14.3	5	17.2	1	5.6	13	21.3	6	7.8								

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
日本語で文章を 書く	時にはある	71	51.4	47	51.6	12	41.4	12	66.7	37	60.7	34	44.2
	全くない	41	29.7	28	30.8	10	34.5	3	16.7	10	16.4	31	40.3
	NA	7	5.1	3	3.3	2	6.9	2	11.1	1	1.6	6	7.8
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
7-(2)-E 日本語で通訳を する	かなりある	22	15.9	17	18.7	2	6.9	3	16.7	14	23.0	8	10.4
	時にはある	65	47.1	40	44.0	16	55.2	9	50.0	37	60.7	28	36.4
	全くない	45	32.6	31	34.1	9	31.0	5	27.8	9	14.8	36	46.8
	NA	6	4.3	3	3.3	2	6.9	1	5.6	1	1.6	5	6.5
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
8. 学位の利用について													
8-(1) 政府・行政機関 への就職	大いに有利	16	11.6	9	9.9	3	10.3	4	22.2	3	4.9	13	16.9
	ある程度有利	28	20.3	19	20.9	4	13.8	5	27.8	13	21.3	15	19.5
	無関係	31	22.5	16	17.6	11	37.9	4	22.2	14	23.0	17	22.1
	なんともいえない	12	8.7	10	11.0	1	3.4	1	5.6	3	4.9	9	11.7
	NA	51	37.0	37	40.7	10	34.5	4	22.2	28	45.9	23	39.9
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
8-(2) 母国の民間トッ プ企業への就職	大いに有利	9	6.5	6	6.6	2	6.9	1	5.6	1	1.6	8	10.4
	ある程度有利	28	20.3	20	22.0	5	17.2	3	16.7	16	26.2	12	15.6
	無関係	27	19.6	12	13.2	9	31.0	6	33.3	8	13.1	19	24.7
	なんともいえない	17	12.3	13	14.3	2	6.9	2	11.1	6	9.8	11	14.3
	NA	57	41.3	40	44.0	11	37.9	6	33.3	30	49.2	27	35.1
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
8-(3) 母国にある日本 (または合併) 企業への就職	大いに有利	17	12.3	11	12.1	3	10.3	3	16.7	6	9.8	11	14.3
	ある程度有利	21	15.2	14	15.4	5	17.2	2	11.1	11	18.0	10	13.0
	無関係	27	19.6	12	13.2	10	34.5	5	27.8	8	13.1	19	24.7
	なんともいえない	15	10.9	13	14.3	1	3.4	1	5.6	7	11.5	8	10.4
	NA	58	42.0	41	45.1	10	34.5	7	38.9	29	47.5	29	37.7
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
8-4 研究・教育機関 への就職	大いに有利	30	21.7	18	19.8	7	24.1	5	27.8	11	18.0	19	34.7
	ある程度有利	33	23.9	23	25.3	8	27.6	2	11.1	18	29.5	15	19.5
	無関係	17	12.3	9	9.9	5	17.2	3	16.7	5	8.2	12	15.6
	なんともいえない	10	7.2	6	6.6	1	3.4	3	16.7	4	6.6	6	7.8
	NA	48	34.8	35	38.5	8	27.6	5	27.8	23	37.7	25	32.5
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
8-5 高い報酬を得る ため	大いに有利	9	6.5	6	6.6	1	3.4	2	11.1	2	3.3	7	9.1
	ある程度有利	23	16.7	12	13.2	8	27.6	3	16.7	17	27.9	6	7.8
	無関係	41	29.7	27	29.7	8	27.6	6	33.3	11	18.0	30	39.0
	なんともいえない	13	9.4	9	9.9	2	6.9	2	11.1	6	9.8	7	9.1
	NA	52	37.7	37	40.7	10	34.5	5	27.8	25	41.0	27	35.1
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
8-6 社会的威信の証 明	大いに有利	19	13.8	13	14.3	2	6.9	4	22.2	7	11.5	12	15.6
	ある程度有利	26	18.8	15	16.5	9	31.0	2	11.1	12	19.7	14	18.2
	無関係	30	21.7	19	20.9	6	20.7	5	27.8	12	19.7	18	23.4
	なんともいえない	13	9.4	10	11.0	2	6.9	1	5.6	5	8.2	8	10.4
	NA	50	36.2	34	37.4	10	34.5	6	33.3	25	41.0	25	32.5
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
8-7 専門的知識の仕 事での直接的活 用	大いに有利	37	26.8	22	24.2	8	27.6	7	38.9	14	23.0	23	29.9
	ある程度有利	33	23.9	22	24.2	7	24.1	4	22.2	16	26.2	17	22.1
	無関係	14	10.1	10	11.0	3	10.3	1	5.6	5	8.2	9	11.7
	なんともいえない	5	3.6	3	3.3	1	3.4	1	5.6	1	1.6	4	5.2
	NA	49	35.5	34	37.4	10	34.5	5	27.8	25	41.0	24	31.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
8-8 母国発展への寄 与	大いに有利	25	18.1	16	17.6	5	17.2	4	22.2	7	11.5	18	23.4
	ある程度有利	32	23.2	18	19.8	7	24.1	7	38.9	20	32.8	12	15.6
	無関係	18	13.0	11	12.1	6	20.7	1	5.6	4	6.6	14	18.2
	なんともいえない	10	7.2	7	7.7	1	3.4	2	11.1	5	8.2	5	6.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	53	38.4	39	42.9	10	34.5	4	22.2	25	41.0	28	36.4
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1) 日本の大学(院)について													
10-(1)-1	全くその通り	45	32.6	31	34.1	7	24.1	7	38.9	19	31.1	26	33.8
	ある程度同意	52	37.7	33	36.3	11	37.9	8	44.4	23	37.7	29	37.7
	同意できない	12	8.7	7	7.7	4	13.8	1	5.6	1	1.6	11	14.3
	なんともいえない	5	3.6	3	3.3	2	6.9	0	0	3	4.9	2	2.6
	わからない	7	5.1	5	5.5	2	6.9	0	0	2	3.3	5	6.5
	NA	17	12.3	12	13.2	3	10.3	2	11.1	13	21.3	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1)-2	全くその通り	14	10.1	7	7.7	4	13.8	3	16.7	6	9.8	8	10.4
	ある程度同意	46	33.3	34	37.4	6	20.7	6	33.3	20	32.8	26	33.8
	同意できない	34	24.6	18	19.8	12	41.4	4	22.2	13	21.3	21	27.3
	なんともいえない	5	3.6	3	3.3	1	3.4	1	5.6	4	6.6	1	1.3
	わからない	23	16.7	18	19.8	3	10.3	2	11.1	6	9.8	17	22.1
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1)-3	全くその通り	44	31.9	30	33.0	8	27.6	6	33.3	21	34.4	23	29.9
	ある程度同意	49	35.5	34	37.4	8	27.6	7	38.9	18	29.5	31	40.3
	同意できない	22	15.9	13	14.3	8	27.6	1	5.6	9	14.8	13	16.9
	なんともいえない	4	2.9	2	2.2	1	3.4	1	5.6	1	1.6	3	3.9
	わからない	3	2.2	1	1.1	1	3.4	1	5.6	0	0	3	3.9
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1)-4	全くその通り	21	15.2	12	13.2	6	20.7	3	16.7	8	13.1	13	16.9
	ある程度同意	47	34.1	33	36.3	10	34.5	4	22.2	23	37.7	24	31.2
	同意できない	20	14.5	13	14.3	4	13.8	3	16.7	7	11.5	13	16.9
	なんともいえない	9	6.5	6	6.6	2	6.9	1	5.6	6	9.8	3	3.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総 計		性 別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日 本 語		英 語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
ている	わからない	22	15.9	14	15.4	4	13.8	4	22.2	4	6.6	18	23.4
	NA	19	13.8	13	14.3	3	10.3	3	16.7	13	21.3	6	7.8
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1)-5 日本の大学生は 留学生の勉学に 十分に協力的で ある	全くその通り	36	26.1	27	29.7	5	17.2	4	22.2	13	21.3	23	29.9
	ある程度同意	52	37.7	34	37.4	11	37.9	7	38.9	24	39.3	28	36.4
	同意できない	19	13.8	8	8.8	7	24.1	4	22.2	6	9.8	13	16.9
	なんともいえない	7	5.1	6	6.6	1	3.4	0	0	3	4.9	4	5.2
	わからない	5	3.6	2	2.2	2	6.9	1	5.6	0	0	5	6.5
	NA	19	13.8	14	15.4	3	10.3	2	11.1	15	24.6	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1)-6 日本の大学は留 学生に対して最 新の理論や学術 成果を積極的に 提供している	全くその通り	34	24.6	21	23.1	6	20.7	7	38.9	11	18.0	23	29.9
	ある程度同意	54	39.1	39	42.9	12	41.4	3	16.7	24	39.3	30	39.0
	同意できない	12	8.7	7	7.7	3	10.3	2	11.1	3	4.9	9	11.7
	なんともいえない	14	10.1	8	8.8	3	10.3	3	16.7	9	14.8	5	6.5
	わからない	8	5.8	5	5.5	2	6.9	1	5.6	2	3.3	6	7.8
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(1)-7 日本の大学は帰 国後の留学生と 積極的に交流し ようとしている													
10-(1)-7	全くその通り	22	15.9	15	16.5	2	6.9	5	27.8	12	19.7	10	13.0
	ある程度同意	35	25.4	26	28.6	7	24.1	2	11.1	14	23.0	21	27.3
	同意できない	46	33.3	27	29.7	12	41.4	7	38.9	18	29.5	28	36.4
	なんともいえない	8	5.8	3	3.3	3	10.3	2	11.1	4	6.6	4	5.2
	わからない	11	8.0	9	9.9	2	6.9	0	0	1	1.6	10	13.0
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(2) 日本留学に関して													
10-(2)-1 再度の機会があ れば、日本で研	全くその通り	97	70.3	62	68.1	21	72.4	14	77.8	37	60.7	60	77.9
	ある程度同意	20	14.5	14	15.4	4	13.8	2	11.1	9	14.8	11	14.3
	同意できない	1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	1	1.6	0	0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)										
究の仕上げをしたい	なんともいえない	3	2.2	2	2.2	1	3.4	0	0	2	3.3	1	1.3
	わからない	1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	1.3
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(2)-2 母国の学生達に 日本留学を積極 的にすすめたい	全くその通り	75	54.3	52	57.1	13	44.8	10	55.6	26	42.6	49	63.6
	ある程度同意	33	23.9	18	19.8	11	37.9	4	22.2	16	26.2	17	22.1
	同意できない	7	5.1	4	4.4	1	3.4	2	11.1	3	4.9	4	5.2
	なんともいえない	6	4.3	5	5.5	1	3.4	0	0	4	6.6	2	2.6
	わからない	1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	1.3
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
10-(2)-3 留学体験は、長 期的にみて日本 と良好な関係を 維持する契機と なろう	全くその通り	90	65.2	57	62.6	20	69.0	13	72.2	38	62.3	52	67.5
	ある程度同意	24	17.4	18	19.8	3	10.3	3	16.7	9	14.8	15	19.5
	同意できない	1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	1.3
	なんともいえない	4	2.9	1	1.1	3	10.3	0	0	1	1.6	3	3.9
	わからない	3	2.2	3	3.3	0	0	0	0	1	1.6	2	2.6
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
10-(2)-4 留学は日本人の 生活態度、考え 方や日本の文化 社会、経済等を 認識する絶好の 機会である	全くその通り	105	76.1	69	75.8	23	79.3	13	72.2	44	72.1	61	79.2
	ある程度同意	15	10.9	9	9.9	3	10.3	3	16.7	5	8.2	10	13.0
	同意できない	1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	1.3
	なんともいえない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	わからない	1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	1.3
	NA	16	11.6	11	12.1	3	10.3	2	11.1	12	19.7	4	5.2
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
10-(2)-5 日本は帰国留学 生に対するアフ	全くその通り	20	14.5	15	16.5	2	6.9	3	16.7	9	14.8	11	14.3
	ある程度同意	49	35.5	31	34.1	12	41.4	6	33.3	22	36.1	27	35.1
	同意できない	36	26.1	20	22.0	9	31.0	7	38.9	13	21.3	23	29.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総 計		性 別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英 語	
		実数	(%)										
ターサービスを よくやっている	なんともいえない	4	2.9	4	4.4	0	0	0	0	1	1.6	3	3.9
	わからない	12	8.7	9	9.9	3	10.3	0	0	3	4.9	9	11.7
	NA	17	12.3	12	13.2	3	10.3	2	11.1	13	21.3	4	5.2
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(3) 留学生の受入れについて													
10-(3)-1 留学生受入れに ついて民間のボ ランティア活動 は充実している	全くその通り	27	19.6	20	22.0	4	13.8	3	16.7	10	16.4	17	22.1
	ある程度同意	51	37.0	32	35.2	13	44.8	6	33.3	21	34.4	30	39.0
	同意できない	12	8.7	6	6.6	5	17.2	1	5.6	3	4.9	9	11.7
	なんともいえない	7	5.1	4	4.4	2	6.9	1	5.6	4	6.6	3	3.9
	わからない	25	18.1	19	20.9	2	6.9	4	22.2	10	16.4	15	19.5
	NA	16	11.6	10	11.0	3	10.3	3	16.7	13	21.3	3	3.9
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
10-(3)-2 宿舎やアルバイ ト探しについて 日本人は協力的 である	全くその通り	41	29.7	30	33.0	7	24.1	4	22.2	16	26.2	25	32.5
	ある程度同意	49	35.5	30	33.0	11	37.9	8	44.4	17	27.9	32	41.6
	同意できない	17	12.3	12	13.2	4	13.8	1	5.6	8	13.1	9	11.7
	なんともいえない	6	4.3	2	2.2	3	10.3	1	5.6	3	4.9	3	3.9
	わからない	13	9.4	8	8.8	3	10.3	2	11.1	5	8.2	8	10.4
	NA	12	8.7	9	9.9	1	3.4	2	11.1	12	19.7	0	0
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
10-(3)-3 留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	全くその通り	13	9.4	9	9.9	4	13.8	0	0	5	8.2	8	10.4
	ある程度同意	21	15.2	14	15.4	2	6.9	5	27.8	10	16.4	11	14.3
	同意できない	32	23.2	17	18.7	11	37.9	4	22.2	14	23.0	18	23.4
	なんともいえない	8	5.8	6	6.6	2	6.9	0	0	4	6.6	4	5.2
	わからない	51	37.0	36	39.6	8	27.6	7	38.9	16	26.2	35	45.5
	NA	13	9.4	9	9.9	2	6.9	2	11.1	12	19.7	1	1.3
計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0	
[宿舎条件— 希望順位]	1 位	33	23.9	26	28.6	3	10.3	4	22.2	19	31.1	14	18.2
	2 位	30	21.7	20	22.0	6	20.7	4	22.2	11	18.0	19	24.7

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
10-(4)-A-1 大学付属の寮	3位	25	18.1	13	14.3	11	37.9	1	5.6	9	14.8	16	20.8
	4位	20	14.5	11	12.1	6	20.7	3	16.7	7	11.5	13	16.9
	NA	30	21.7	21	23.1	3	10.3	6	33.3	15	24.6	15	19.5
10-(4)-A-2 外国人用宿舎	1位	22	15.9	15	16.5	4	13.8	3	16.7	10	16.4	12	15.6
	2位	27	19.6	18	19.8	8	27.6	1	5.6	10	16.4	17	22.1
	3位	29	21.0	23	25.3	3	10.3	3	16.7	10	16.4	19	24.7
	4位	28	20.3	12	13.2	12	41.4	4	22.2	15	24.6	13	16.9
	NA	32	23.2	23	25.3	2	6.9	7	38.9	16	26.2	16	20.8
10-(4)-A-3 民間アパート	1位	28	20.3	15	16.5	10	34.5	3	16.7	8	13.1	20	26.0
	2位	27	19.6	18	19.8	8	27.6	1	5.6	13	21.3	14	18.2
	3位	33	23.9	23	25.3	5	17.2	5	27.8	18	29.5	15	19.5
	4位	18	13.0	12	13.2	3	10.3	3	16.7	7	11.5	11	14.3
	NA	32	23.2	23	25.3	3	10.3	6	33.3	15	24.6	17	22.1
10-(4)-A-4 日本人の家庭	1位	28	20.3	15	16.5	10	34.5	3	16.7	10	16.4	18	23.4
	2位	22	15.9	14	15.4	3	10.3	5	27.8	10	16.4	12	15.6
	3位	17	12.3	9	9.9	6	20.7	2	11.1	7	11.5	10	13.0
	4位	37	26.8	30	33.0	6	20.7	1	5.6	18	29.5	19	24.7
	NA	34	24.6	23	25.3	4	13.8	7	38.9	16	26.2	18	23.4
10-(4)-B 留学生だけか 本人と一諸か	外国人留学生だけ	13	9.4	9	9.9	2	6.9	2	11.1	7	11.5	6	7.8
	外国人と一諸	97	70.3	60	65.9	25	86.2	12	66.7	39	63.9	58	75.3
	NA	28	20.3	22	24.2	2	6.9	4	22.2	15	24.6	13	16.9
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
10-(4)-C 個室か 個室か共用か	個室がよい	109	79.0	70	76.9	25	86.2	14	77.8	46	75.4	63	81.8
	他人と共同でよい	4	2.9	1	1.1	2	6.9	1	5.6	2	3.3	2	2.6
	NA	25	18.1	20	22.0	2	6.9	3	16.7	13	21.3	12	15.6
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
VI 日本経済の発展について													
12-(1) 教育制度	(総計)	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
12-(1)-A 義務教育年限が 6・3制で十分 に長いこと	その通り	56	40.6	39	42.9	9	31.0	8	44.4	25	41.0	31	40.3
	どちらかといえば その通りと思う	40	29.0	23	25.3	11	37.9	6	33.3	13	21.3	27	35.1
	そうは思わない	22	15.9	16	17.6	5	17.2	1	5.6	12	19.7	10	13.0
	なんともいえない	6	4.3	2	2.2	3	10.3	1	5.6	2	3.3	4	5.2
	わからない	9	6.5	6	6.6	1	3.4	2	11.1	6	9.8	3	3.9
	NA	5	3.6	5	5.5	0	0	0	0	3	4.9	2	2.6
12-(1)-B 義務教育での 中途退学(drop out)が少ない こと	その通り	41	29.7	25	27.5	11	37.9	5	27.8	19	31.1	22	28.6
	どちらかといえば その通りと思う	38	27.5	24	26.4	7	24.1	7	38.9	16	26.2	22	28.6
	そうは思わない	11	8.0	7	7.7	2	6.9	2	11.1	7	11.5	4	5.2
	なんともいえない	11	8.0	7	7.7	2	6.9	2	11.1	3	4.9	8	10.4
	わからない	27	19.6	19	20.9	6	20.7	2	11.1	11	18.0	16	20.8
	NA	10	7.2	9	9.9	1	3.4	0	0	5	8.2	5	6.5
12-(1)-C 義務教育の教育 内容が充実して いること	その通り	47	34.1	30	33.0	12	41.4	5	27.8	26	42.6	21	27.3
	どちらかといえば その通りと思う	39	28.3	26	28.6	8	27.6	5	27.8	17	27.9	22	28.6
	そうは思わない	9	6.5	6	6.6	1	3.4	2	11.1	2	3.3	7	9.1
	なんともいえない	6	4.3	1	1.1	5	17.2	0	0	2	3.3	4	5.2
	わからない	27	19.6	21	23.1	3	10.3	3	16.7	9	14.8	18	23.4
	NA	10	7.2	7	7.7	0	0	3	16.7	5	8.2	5	6.5
12-(1)-D 高等学校以上の 高等教育への進 学率が高いこと	その通り	74	53.6	49	53.8	17	58.6	8	44.4	32	52.5	42	54.5
	どちらかといえば その通りと思う	37	26.8	23	25.3	6	20.7	8	44.4	17	27.9	20	26.0
	そうは思わない	9	6.5	5	5.5	3	10.3	1	5.6	4	6.6	5	6.5
	なんともいえない	2	1.4	0	0	2	6.9	0	0	0	0	2	2.6
	わからない	10	7.2	8	8.8	1	3.4	1	5.6	4	6.6	6	7.8
	NA	6	4.3	6	6.6	0	0	0	0	4	6.6	2	2.6
12-(1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率が	その通り	38	27.5	26	28.6	8	27.6	4	22.2	13	21.3	25	32.5
	どちらかといえば その通りと思う	42	30.4	31	34.1	4	13.8	7	38.9	21	34.4	21	27.3
	そうは思わない	28	20.3	13	14.3	12	41.4	3	16.7	11	18.0	17	22.1
	なんともいえない	8	5.8	4	4.4	2	6.9	2	11.1	5	8.2	3	3.9

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
高いこと	わからない	15	10.9	11	12.1	2	6.9	2	11.1	8	13.1	7	9.1
	NA	7	5.1	6	6.6	1	3.4	0	0	3	4.9	4	5.2
12-(1)-F 高等教育の内容 が充実している こと	その通り	46	33.3	29	31.9	8	27.6	9	50.0	22	36.1	24	31.2
	どちらかといえば	43	31.2	31	34.1	6	20.7	6	33.3	21	34.4	22	28.6
	そうは思わない	15	10.9	6	6.6	8	27.6	1	5.6	5	8.2	10	13.0
	なんともいえない	6	4.3	3	3.3	2	6.9	1	5.6	2	3.3	4	5.2
	わからない	18	13.0	14	15.4	4	13.8	0	0	6	9.8	12	15.6
	NA	10	7.2	8	8.8	1	3.4	1	5.6	5	8.2	5	6.5
12-(1)-G 高等教育への進 学率を高めるだ けの経済的余裕 が父兄にあるこ と	その通り	51	37.0	28	30.8	13	44.8	10	55.6	22	36.1	29	37.7
	どちらかといえば	38	27.5	28	30.8	6	20.7	4	22.2	14	23.0	24	31.2
	そうは思わない	14	10.1	8	8.8	4	13.8	2	11.1	9	14.8	5	6.5
	なんともいえない	7	5.1	6	6.6	1	3.4	0	0	4	6.6	3	3.9
	わからない	21	15.2	15	16.5	4	13.8	2	11.1	8	13.1	13	16.9
	NA	7	5.1	6	6.6	1	3.4	0	0	4	6.6	3	3.9
12-(1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	その通り	28	20.3	19	20.9	4	13.8	5	27.8	14	23.0	14	18.2
	どちらかといえば	48	34.8	29	31.9	14	48.3	5	27.8	17	27.9	31	40.3
	そうは思わない	13	9.4	7	7.7	3	10.3	3	16.7	9	14.8	4	5.2
	なんともいえない	8	5.8	6	6.6	1	3.4	1	5.6	2	3.3	6	7.8
	わからない	35	25.4	25	27.5	7	24.1	3	16.7	16	26.2	19	24.7
	NA	6	4.3	5	5.5	0	0	1	5.6	3	4.9	3	3.9
12-(1)-I 国や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	その通り	76	55.1	48	52.7	17	58.6	11	61.1	29	47.5	47	61.0
	どちらかといえば	28	20.3	19	20.9	5	17.2	4	22.2	11	18.0	17	22.1
	そうは思わない	3	2.2	1	1.1	1	3.4	1	5.6	2	3.3	1	1.3
	なんともいえない	3	2.2	2	2.2	1	3.4	0	0	2	3.3	1	1.3
	わからない	20	14.5	14	15.4	4	13.8	2	11.1	12	19.7	8	10.4
	NA	8	5.8	7	7.7	1	3.4	0	0	5	8.2	3	3.9
12-(1)-J 高等教育を積極	その通り	84	60.9	58	63.7	12	41.4	14	77.8	36	59.0	48	62.3
	どちらかといえば	23	16.7	11	12.1	9	31.0	3	16.7	13	21.3	10	13.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
的に進めること についての国民 的関心が高いこ と	そうは思わない	5	3.6	4	4.4	1	3.4	0	0	2	3.3	3	3.9
	なんともいえない	5	3.6	4	4.4	1	3.4	0	0	2	3.3	3	3.9
	わからない	15	10.9	9	9.9	5	17.2	1	5.6	6	9.8	9	11.7
	NA	6	4.3	5	5.5	1	3.4	0	0	2	3.3	4	5.2
12-(1)-K 高等教育を受け ることが、立 身出世の条件と して考えられて きたこと	その通り	90	65.2	62	68.1	18	62.1	10	55.6	36	59.0	54	70.1
	どちら向きを いさげば	24	17.4	13	14.3	5	17.2	6	33.3	10	16.4	14	18.2
	そうは思わない	14	10.1	8	8.8	4	13.8	2	11.1	10	16.4	4	5.2
	なんともいえない	1	0.7	0	0	1	3.4	0	0	0	0	1	1.3
	わからない	2	1.4	2	2.2	0	0	0	0	2	3.3	0	0
NA	7	5.1	6	6.6	1	3.4	0	0	3	4.9	4	5.2	
22-(1)-L 個人的な能力さえ あれば社会的指導 者になれるという 社会の体質が進学意 欲を高めているから	その通り	53	38.4	35	38.5	9	31.0	9	50.0	22	36.1	31	40.3
	どちら向きを いさげば	50	36.2	33	36.3	11	37.9	6	33.3	22	36.1	28	36.4
	そうは思わない	17	12.3	12	13.2	2	6.9	3	16.7	10	16.4	7	9.1
	なんともいえない	3	2.2	0	0	3	10.3	0	0	1	1.6	2	2.6
	わからない	6	4.3	3	3.3	3	10.3	0	0	2	3.3	4	5.2
NA	9	6.5	8	8.8	1	3.4	0	0	4	6.6	5	6.5	
12-(2) 人口	(総計)	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
12-(2)-A 人口の規模が一 億人を超えてお り、大規模生産 ができるように なったこと	その通り	37	26.8	23	25.3	6	20.7	8	44.4	15	24.6	22	28.6
	どちら向きを いさげば	43	31.2	33	36.3	6	20.7	4	22.2	17	27.9	26	33.8
	そうは思わない	40	29.0	24	26.4	10	34.5	6	33.3	24	39.3	16	20.8
	なんともいえない	8	5.8	5	5.5	3	10.3	0	0	1	1.6	7	9.1
	わからない	7	5.1	3	3.3	4	13.8	0	0	2	3.3	5	6.5
NA	3	2.2	3	3.3	0	0	0	0	2	3.3	1	1.3	
12-(2)-B 人口増加率が低 く、子供の扶養 負担が小さかつ たこと	その通り	38	27.5	26	28.6	6	20.7	6	33.3	14	23.0	24	31.2
	どちら向きを いさげば	48	34.8	34	37.4	11	37.9	3	16.7	23	37.7	25	32.5
	そうは思わない	27	19.6	16	17.6	6	20.7	5	27.8	17	27.9	10	13.0
	なんともいえない	9	6.5	4	4.4	4	13.8	1	5.6	2	3.3	7	9.1
わからない	12	8.7	7	7.7	2	6.9	3	16.7	3	4.9	9	11.7	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	4	2.9	4	4.4	0	0	0	0	2	3.3	2	2.6
12-(2)-C	その通り	74	53.6	47	51.6	15	51.7	12	66.7	32	52.5	42	54.5
最近の人口増加	どちらかといえば	37	26.8	27	29.7	8	27.6	2	11.1	17	27.9	20	26.0
率が低くなった	そうは思わない	10	7.2	4	4.4	4	13.8	2	11.1	4	6.6	6	7.8
のは出生率が低	なんともいえない	2	1.4	2	2.2	0	0	0	0	1	1.6	1	1.3
くなったから	わからない	10	7.2	7	7.7	1	3.4	2	11.1	5	8.2	5	6.5
	NA	5	3.6	4	4.4	1	3.4	0	0	2	3.3	3	3.9
12-(2)-D 出生率	(総計)	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
12-(2)-D-1	その通りと思う	75	54.3	49	53.8	18	62.1	8	44.4	36	59.0	39	50.6
家族計画の考え	どちらかといえば	39	28.3	28	30.8	5	17.2	6	33.3	18	29.5	21	27.3
方が普及してい	そうは思わない	7	5.1	4	4.4	2	6.9	1	5.6	2	3.3	5	6.5
るから	なんともいえない	2	1.4	1	1.1	1	3.4	0	0	0	0	2	2.6
	わからない	9	6.5	5	5.5	1	3.4	3	16.7	3	4.9	6	7.8
	NA	6	4.3	4	4.4	2	6.9	0	0	2	3.3	4	5.2
12-(2)-D-2	その通りと思う	21	15.2	13	14.3	5	17.2	3	16.7	11	18.0	10	13.0
結婚年齢が高く	どちらかといえば	37	26.8	25	27.5	5	17.2	7	38.9	13	21.3	24	31.2
なったから	そうは思わない	46	33.3	27	29.7	14	48.3	5	27.8	22	36.1	24	31.2
	なんともいえない	7	5.1	4	4.4	2	6.9	1	5.6	3	4.9	4	5.2
	わからない	16	11.6	13	14.3	2	6.9	1	5.6	3	4.9	13	16.9
	NA	11	8.0	9	9.9	1	3.4	1	5.6	9	14.8	2	2.6
12-(2)-D-3	その通りと思う	25	18.1	14	15.4	7	24.1	4	22.2	11	18.0	14	18.2
優生保護法で産	どちらかといえば	35	25.4	24	26.4	6	20.7	5	27.8	16	26.2	19	24.7
児制限が合法化	そうは思わない	28	20.3	17	18.7	7	24.1	4	22.2	14	23.0	14	18.2
されているから	なんともいえない	8	5.8	6	6.6	1	3.4	1	5.6	2	3.3	6	7.8
	わからない	33	23.9	22	24.2	8	27.6	3	16.7	12	19.7	21	27.3
	NA	9	6.5	8	8.8	0	0	1	5.6	6	9.8	3	3.9
12-(2)-D-4	その通りと思う	24	17.4	19	20.9	4	13.8	1	5.6	14	23.0	10	13.0
社会保障制度の整	どちらかといえば	40	29.0	22	24.2	10	34.5	8	44.4	20	32.8	20	26.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別						回答国語別			
				男		女		N.A.		日本語		英語	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
備などにより老後 を子供に頼ろうと いう考えが国民の 間に少なくなったから	そうは思わない	24	17.4	17	18.7	3	10.3	4	22.2	11	18.0	13	16.9
	なんともいえない	10	7.2	5	5.5	3	10.3	2	11.1	3	4.9	7	9.1
	わからない	31	22.5	21	23.1	8	27.6	2	11.1	6	9.8	25	32.5
	NA	9	6.5	7	7.7	1	3.4	1	5.6	7	11.5	2	2.6
12-(2)-E 1940年代の出生率が 高く、若い労働者が 急増したことが、こ とに1960年代の日本 の経済成長を支えた	その通りと思う	34	24.6	17	18.7	10	34.5	7	38.9	13	21.3	21	27.3
	どちらかといえば その通りだと思う	43	31.2	31	34.1	6	20.7	6	33.3	14	23.0	29	37.7
	そうは思わない	24	17.4	17	18.7	4	13.8	3	16.7	13	21.3	11	14.3
	なんともいえない	11	8.0	6	6.6	5	17.2	0	0	5	8.2	6	7.8
	わからない	19	13.8	14	15.4	4	13.8	1	5.6	10	16.4	9	11.7
NA	7	5.1	6	6.6	0	0	1	5.6	6	9.8	1	1.3	
12-(2)-F 最近における日本の 出生率の低下、人口 増加率の低下は、日 本の経済成長を今後 低下させるであろう	その通りと思う	11	8.0	5	5.5	3	10.3	3	16.7	5	8.2	6	7.8
	どちらかといえば その通りだと思う	23	16.7	18	19.8	4	13.8	1	5.6	9	14.8	14	18.2
	そうは思わない	74	53.6	51	56.0	14	48.3	9	50.0	38	62.3	36	46.8
	なんともいえない	16	11.6	9	9.9	5	17.2	2	11.1	3	4.9	13	16.9
	わからない	9	6.5	4	4.4	3	10.3	2	11.1	3	4.9	6	7.8
NA	5	3.6	4	4.4	0	0	1	5.6	3	4.9	2	3.6	
12-(3) 労働制度	(総計)	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
12-(3)-A 日本人は本来勤 勉で労働の密度 が高いこと	その通りと思う	101	73.2	72	79.1	20	68.0	9	50.0	45	73.8	56	72.7
	どちらかといえば その通りだと思う	23	16.7	10	11.0	7	24.1	6	33.3	12	19.7	11	14.3
	そうは思わない	5	3.6	2	2.2	1	3.4	2	11.1	1	1.6	4	5.2
	なんともいえない	3	2.2	3	3.3	0	0	0	0	1	1.6	2	2.6
	わからない	2	1.4	1	1.1	1	3.4	0	0	0	0	2	2.6
NA	4	2.9	3	3.3	0	0	1	5.6	2	3.3	2	2.6	
12-(3)-B 日本には身分意 識が少く上下の 差別なくよく働 くから	その通りと思う	39	28.3	31	34.1	5	17.2	3	16.7	22	36.1	17	22.1
	どちらかといえば その通りだと思う	36	26.1	24	26.4	6	20.7	6	33.3	17	27.9	19	24.7
	そうは思わない	40	29.0	21	23.1	13	44.8	6	33.3	18	29.5	22	28.6
	なんともいえない	10	7.2	8	8.8	1	3.4	1	5.6	0	0	10	13.0
	わからない	5	3.6	1	1.1	3	10.3	1	5.6	0	0	5	6.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答国語別					
				男		女		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
12-(3)-C 週45時間の長時間労働の体制になっ ている企業が多いから	NA その通りと思う どちらかと言うば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	8	5.8	6	6.6	1	3.4	1	5.6	4	6.6	4	5.2
12-(3)-D 労働組合が企業 制組合であり、 ストライキが少 ないから	NA その通りと思う どちらかと言うば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	47	34.1	33	36.3	9	31.0	5	27.8	17	27.9	30	39.0
12-(4) 経済と人的能力		48	34.8	29	31.9	14	48.3	5	27.8	20	32.8	28	36.4
		20	14.5	15	16.5	2	6.9	3	16.7	14	23.0	6	7.8
		8	5.8	4	4.4	2	6.9	2	11.1	3	4.9	5	6.5
		8	5.8	5	5.5	1	3.4	2	11.1	3	4.9	5	6.5
		7	5.1	5	5.5	1	3.4	1	5.6	4	6.6	3	3.9
12-(4) 経済と人的能力		112	81.2	77	84.6	23	79.3	12	66.7	50	82.0	62	80.5
	その通りだ 必ずしもそうだと は思わない	20	14.5	10	11.0	5	17.2	5	27.8	8	13.1	12	15.6
	まちがっている なんともいえない わからない	2	1.4	1	1.1	1	3.4	0	0	2	3.3	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	0.7	1	1.1	0	0	0	0	0	0	1	1.3
	NA	3	2.2	2	2.2	0	0	1	5.6	1	1.6	2	2.6
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
13. 家族について													
13-1 父親の職業	公務員 教師 会社員 自由業 農業 商業	8	5.8	4	4.4	3	10.3	1	5.6	5	8.2	3	3.9
		4	2.9	3	3.3	1	3.4	0	0	1	1.6	3	3.9
		14	10.1	11	12.1	2	6.9	1	5.6	7	11.5	7	9.1
		1	0.7	0	0	1	3.4	0	0	0	0	1	1.3
		7	5.1	6	6.6	1	3.4	0	0	4	6.6	3	3.9
		4	2.9	2	2.2	2	6.9	0	0	2	3.3	2	2.6

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	総計		性別				回答言語別					
		男		女		N.A.		日本語		英語			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
	その他 無職・無回答 計	5	3.6	2	2.2	3	10.3	0	0	1	1.6	4	5.2
		95	68.8	63	69.2	16	55.2	16	88.9	41	67.2	54	70.1
		138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0
		44	31.9	29	31.9	11	37.9	4	22.2	18	29.5	26	33.8
		33	23.9	25	27.5	3	10.3	5	27.8	18	29.5	15	19.5
13-2 男子の数	3人	24	17.4	18	19.8	4	13.8	2	11.1	13	21.3	11	14.3
	4人	16	11.6	10	11.0	5	17.2	1	5.6	5	8.2	11	14.3
	8	5.8	5	5.5	0	0	0	0	3	4.9	5	6.5	
	13	9.4	4	4.4	6	20.7	3	16.7	3	16.7	4	11.7	
	35	25.4	24	26.4	6	20.7	5	27.8	14	23.0	21	27.3	
13-3 女子の数	2人	33	23.9	18	19.8	12	41.4	3	16.7	16	26.2	17	22.1
	3人	18	13.0	12	13.2	6	20.7	0	0	7	11.5	11	14.3
	4人	4	2.9	3	3.3	1	3.4	0	0	0	0	4	5.2
	4	2.9	3	3.3	1	3.4	1	3.4	0	0	0	4	5.2
	44	31.9	31	34.1	3	10.3	10	55.6	24	39.3	20	26.0	
13-4 家族に海外留学 の体験があるか	ある	45	32.6	26	28.6	13	44.8	6	33.3	16	26.2	29	37.7
	ない	80	58.0	59	64.8	13	44.8	8	44.4	40	65.6	40	51.9
	NA	13	9.4	6	6.6	3	10.3	4	22.2	5	8.2	8	10.4
	計	138	100.0	91	100.0	29	100.0	18	100.0	61	100.0	77	100.0

Ｂ－Ⅱ 元留学生アンケート集計表（国別）

質問（項目）番号 質問内容	回答内容	国 別																
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.						
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)					
I. 教育歴																		
1-(1)	1 年	2	8.7			3	27.3			34	39.1			2	18.2			
	2 年	10	43.5			8	72.7			16	18.4			3	27.3			
	3 年	6	26.1							12	13.8			2	18.2			
	4 年	4	17.4	1	100.0					6	6.9			2	18.2			
	5 年									7	8.0			1	9.1			
	6 年									2	2.3							
	7 年									5	5.7							
	8 年	1	4.3							2	2.3							
	9 年																	
	10 年																	
	11 年																	
	12 年																	
	13 年																	
	NA																	
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0			11	100.0			
1-(2)-1	学 部	6	26.1			6	54.5			18	20.7			3	27.3			
	大学院	17	73.9	1	100.0	5	45.5			66	75.9			7	63.6			
	NA																	
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0			11	100.0			
1-(2)-2	国・公立	23	100.0	1	100.0	11	100.0	4	80.0	77	88.5			10	90.9			
	私立							1	20.0	7	8.0			1	9.1			
	NA																	
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0			11	100.0			

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別												
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
1-(3) 専門分野	理 工	8	34.8			6	54.5	3	60.0	28	32.2	3	27.3	
	農 学	5	21.7							17	19.5	1	9.1	
	医・薬学	5	21.7	1	100.0	1	9.1			5	5.7	1	9.1	
	その他理科	4	17.4							1	1.1			
	日本語					1	9.1			4	4.6			
	人文・社会	1	4.3							13	14.9			
	経営・経済							1	20.0	4	4.6	2	18.2	
	政治・法律									1	1.1	1	9.1	
	その他文科					2	18.2	1	20.0	6	6.9			
	NA					1	9.1			8	9.2	3	27.3	
計			23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
1-(4)-1 日本留学で学位 を取得した年限 —学士—	1 年									3	23.1			
	2 年													
	3 年													
	4 年							3	100.0	8	61.5			
	5年以上									2	15.4			
計							3	100.0	13	100.0				
1-(4)-2 —修士—	1 年					1	33.3							
	2 年	5	100.0			2	66.7	4	100.0	21	91.3	2	100.0	
	3 年									2	8.7			
	4 年													
	5年以上													
計	5	100.0			3	100.0	4	100.0	23	100.0	2	100.0		
1-(4)-3 —博士—	1 年									2	13.3			
	2 年	1	8.3							1	6.7	1	33.3	
	3 年	5	41.7							8	53.3	2	66.7	

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	4	33.3	1	100.0					2	13.3		
4年									2	13.3		
5年												
6年												
7年												
8年												
9年	2	16.7										
10年以上												
NA												
計	12	100.0	1	100.0					15	100.0	3	100.0
1-(5)-A 学位論文を何語 で書きましたか	4	80.0			3	100.0			8	29.6	1	33.3
—修士—	1	20.0							4	100.0	2	66.7
—博士—	5	100.0			3	100.0			5	18.5	3	100.0
計	7	53.8	1	100.0					13	76.5	4	100.0
1-(5)-B 論文を「日本語で」 の指示—指示—	6	46.2							3	17.6		
—博士—	13	100.0	1	100.0					17	100.0	4	100.0
計	1	20.0							4	13.3	1	20.0
1-(6)-A 指示された 指示されなかった	4	80.0			3	100.0			26	86.7	4	80.0
—博士—	5	100.0			3	100.0			30	100.0	5	100.0
計	1	9.1									1	25.0
1-(6)-B 指示された 指示されなかった	10	90.9	1	100.0					20	100.0	3	75.0
—博士—	11	100.0	1	100.0					20	100.0	4	100.0
計	2	8.7							3	3.4	2	18.2
1-(7) 奨学金の取得の 有無	20	87.0	1	100.0	9	81.8			5	100.0	8	72.7
—博士—	1	4.3			2	18.2			1	1.1	1	9.1
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0			5	100.0	11	100.0
1-(7)-B 母国の政府奨学金					4	44.4						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別													
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
奨学金の 種類別	母国の民間団体奨学金 日本の文部省奨学金 日本の私費留学生奨学金 日本の地方自治体奨学金 その他 NA 計	20	100.0	1	100.0	4	44.4	1	11.1	5	100.0	82	98.8	8	100.0
2. 留学体験		20	100.0	1	100.0	9	100.0	5	100.0	83	100.0	8	100.0		
2. 日本留学以前 に外国留学の経 験がありますか	ない ある NA 計	22 1	95.7 4.3	1	100.0	11	100.0	5	100.0	69 18	79.3 20.7	8 2	72.7 18.2	1	9.1
2-(2)-A どの国(地域) でしたか	北米 南米 西欧 東欧 中東 アヘリカ 南アジア 東南アジア 東アジア その他 NA 計	1	100.0							4 6 3 1 2 2 18	22.2 33.3 16.7 5.6 11.1 11.1 100.0	2	100.0	2	100.0
2-(2)-B 留学期間は 何年でしたか	1年 2年 3年 4年	1	100.0							5 1	27.8 5.6	1	50.0	1	50.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別												
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
	5 年 6 年 7 年 8 年 9 年 10 年 11 年 12 年 13 年 14 年 15 年 NA 計										3 1  1	16.7 5.6  5.6		
2-(2)-D 留学で取得した 学位	学 士 修 士 博 士 NA 計	1	100.0								3 6 1 8 18	16.7 33.3 5.6 44.4 100.0	2	100.0
3. 日本留学校の再留学について 3- 再度留学をした か	しなかつた し た NA 計	22 1 23	95.7 4.3 100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	74 13 87	85.1 14.9 100.0	7 3 1 11	63.6 27.3 9.1 100.0	
3-(2)-A どの国(地域) でしたか	北 米 南 米 西 欧 東 欧 中 東	1	100.0							2 6 1	15.4 46.2 7.7	1 1	33.3 33.3	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	アフリカ 南アジア 東南アジア 東アジア その他 NA 計											1	33.3
										1	7.7		
										3	23.1		
										13	100.0	3	100.0
3-(2)-B 留学期間は 何年でしたか	1 年 2 年 3 年 4 年 5年以上 NA 計	1	100.0							2	15.4	1	33.3
										6	46.2		
												1	33.3
										5	38.5	1	33.3
		1	100.0							13	100.0	3	100.0
3-(2)-E-1 そこで取得した 学位は	学 士 修 士 博 士 NA 計									1	7.7		
										1	7.7	1	33.3
		1	100.0							11	84.6	2	66.7
		1	100.0							13	100.0	3	100.0
3-(2)-E-2 学位の分野	理 工 農 学 医・薬学 その他理科 日本語 人文・社会 経営・経済 法律・政治 その他									2	15.4	1	33.3
										2	15.4		
										3	23.1	1	33.3
												1	33.3
										1	7.7		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	1	100.0							5	38.5		
	計	1	100.0							13	100.0	3	100.0
3-(2)-F そこでの奨学金 取得	ない									6	46.2	1	33.3
	ある	1	100.0							4	30.8	2	66.7
	NA									3	23.1		
	計	1	100.0							13	100.0	3	100.0
4. 再留学の理由													
	日本の学位は、母国では高く評価されぬ 専門研究水準は日本より他国が高い 日本留学期間の再延長が認められず 日本での研究成果は母国では活用されず 専門研究領域の拡大、深化の必要 日本の大学は最新の研究成果を開放せず 母国政府、大学からの再留学の要請 その他	1	100.0							2	15.4	1	33.3
										2	15.4	1	33.3
												1	33.3
		1	100.0							7	53.8	2	66.7
												1	33.3
				1	100.0					1	7.7	1	33.3
	NA (複数回答)									2	15.4		
5. 再留学は、目的を達成したい													
5.	目的は達成された									4	30.8	1	33.3
	一応の成果あり	1	100.0							2	15.4	1	33.3
	期待通りでない									2	15.4		
	なんともいえない									3	23.1		
	NA									2	15.4	1	33.3
	計	1	100.0							13	100.0	3	100.0
II. 日本留学への評価													
6. 日本留学の成果と仕事について													
6-(1)-A	政府行政機関									15	17.2	3	27.3
就職先	試験研究機関	1	4.3							7	8.0		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		その他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
(現在)	大 学 その他教育機関 日系民間企業 その他の国との合弁企業 母国系民間企業 自営業 その他 NA 計	21	91.3			11	100.0			33	37.9	6	54.5
								1	20.0	7	8.0		
								1	20.0	2	2.3		
		1	4.3					1	20.0	2	2.3		
								2	40.0	6	6.9	1	9.1
				1	100.0					4	4.6	1	9.1
										8	9.2		
										3	3.4		
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
6-(1)-E	直接に活用できている	20	87.0	1	100.0	9	81.8	1	20.0	46	52.9	6	54.5
	その仕事で、	3	13.0			2	18.2	3	60.0	29	33.3	5	45.5
	間接的に利用できている							1	20.0	4	4.6		
	全く無関係である									4	4.6		
	を活用できて									4	4.6		
	いるか									4	4.6		
	NA												
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
6-(2)	な い	22	95.7	1	100.0	11	100.0	3	60.0	69	79.3	8	72.7
	転職の有無	1	4.3					2	40.0	13	14.9	2	18.2
	あ る									5	5.7	1	9.1
	NA												
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
6-2-B	1 回	1	100.0					1	50.0	8	61.5	2	100.0
	転職の回数は							1	50.0	3	23.1		
	2 回									2	15.4		
	3 回												
	NA												
	計	1	100.0					2	100.0	13	100.0	2	100.0
6-(3)現在の仕事に、日本留学体験、知識、研究は活用されているか													
(A. 仕事の面では)													
6-(3)-A-1	大いに利用	18	78.3			7	63.6	1	20.0	54	62.1	8	72.7
	大学での研究	5	21.7	1	100.0	3	27.3	2	40.0	13	14.9	2	18.2
	それほど利用せず												

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
成果に関連して なんともいえない NA 計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
									9	10.3	1	9.1
6-(3)-A-2 大いに利用 取得した技術 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	13	56.5	6	54.5	6	54.5	1	20.0	43	49.4	4	36.4
	7	30.4	3	27.3	3	27.3	2	40.0	17	19.5	3	27.3
6-(3)-A-3 日本語の能力 について 大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	1	4.3	1	100.0	2	18.2	2	40.0	10	11.5	4	36.4
	2	8.7	1	100.0	2	18.2	5	100.0	7	8.0	4	36.4
6-(3)-A-4 日本の大学スタ ッフとの交流に 関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
									33	37.9	4	36.4
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	16	69.6	11	100.0	11	100.0	2	40.0	17	19.5	3	27.3
	5	21.7	1	100.0	2	40.0	2	40.0	17	19.5	3	27.3
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	2	8.7	1	100.0	1	100.0	1	20.0	28	32.2	2	18.2
	2	8.7	1	100.0	1	100.0	1	20.0	2	2.3	2	18.2
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
									7	8.0	2	18.2
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	18	78.3	3	27.3	3	27.3	1	20.0	30	34.5	3	27.3
	3	13.0	5	45.5	5	45.5	1	20.0	17	19.5	3	27.3
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	2	8.7	1	100.0	1	100.0	2	40.0	23	26.4	2	18.2
	2	8.7	1	100.0	1	100.0	1	20.0	6	6.9	3	27.3
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
									11	12.6	3	27.3
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	2	8.7	4	36.4	2	18.2	2	40.0	16	18.4	1	9.1
	5	21.7	2	18.2	2	18.2	2	40.0	17	19.5	1	9.1
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	12	52.2	1	100.0	3	27.3	1	20.0	35	40.2	3	27.3
	2	8.7	3	27.3	2	18.2	1	20.0	9	10.3	1	9.1
6-(3)-A-5 日本企業との 交流に関連して 大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	2	8.7	2	18.2	2	18.2	5	100.0	10	11.5	5	45.5
	23	100.0	11	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
6-(3)-A-6 日本の社会人との交流に関連して	大いに利用	6	26.1			3	27.3	3	60.0	47	54.0	3	27.3
	それほど利用せず	8	34.8			6	54.5	1	20.0	12	13.8	4	36.4
	全く無関係	6	26.1					1	20.0	17	19.5	2	18.2
	なんともいえない	2	8.7	1	100.0					3	3.4		
	NA	1	4.3			2	18.2			8	9.2	2	18.2
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
(B. 生活の面では)													
6-(3)-B-1 日本的な考え方や発想としかた	積極的に採用	5	21.7			2	18.2			23	26.4	4	36.4
	一部採用	14	60.9	1	100.0	6	54.5	4	80.0	48	55.2	3	27.3
	全く無関係	1	4.3			1	9.1			6	6.9	2	18.2
	なんともいえない	3	13.0			2	18.2	1	20.0	7	8.0		
	NA									3	3.4	2	18.2
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
6-(3)-B-2 日本的な生活様式	積極的に採用	1	4.3							19	21.8	2	18.2
	一部採用	11	47.8			4	36.4	1	20.0	39	44.8	3	27.3
	全く無関係	9	39.1	1	100.0	4	36.4	3	60.0	16	18.4	2	18.2
	なんともいえない	2	8.7			2	18.2	1	20.0	10	11.5	2	18.2
	NA					1	9.1			3	3.4	2	18.2
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
6-(3)-B-3 日本的な行動様式	積極的に採用	2	8.7							14	16.1	5	45.5
	一部採用	11	47.8			5	45.5	1	20.0	44	50.6	1	9.1
	全く無関係	8	34.8	1	100.0	3	27.3	3	60.0	14	16.1	3	27.3
	なんともいえない	2	8.7			2	18.2	1	20.0	12	13.8	1	9.1
	NA					1	9.1			3	3.4	1	9.1
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
7. 帰国後の日本語の使用													
7-(1)日本語を使う機会													
7-(1)-A	かなり機会あり	3	13.0			3	27.3	1	20.0	26	29.9	2	18.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)										
ふだんの生活で	わずかにあり	14	60.9	1	100.0	6	54.5	2	40.0	41	47.1	4	36.4
	全くない	6	26.1			2	18.2	2	40.0	12	13.8	4	36.4
	NA									8	9.2	1	9.1
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
7-(1)-B 勤務先の仕事で	かなり機会あり	7	30.4			7	63.6	2	40.0	23	26.4	1	9.1
	わずかにあり	11	47.8	1	100.0	4	36.4	2	40.0	25	28.7	8	72.7
	全くない	5	21.7					1	20.0	31	35.6	2	18.2
	NA									8	9.2		
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0	
7-(2)日本語を使用する形は 7-(2)-A 日本語で会話 をする	かなりある	4	17.4			5	45.5	3	60.0	31	35.6	2	18.2
	時にはある	14	60.9	1	100.0	6	54.5	2	40.0	39	44.8	8	72.7
	全くない	4	17.4							12	13.8		
	NA	1	4.3							5	5.7	1	9.1
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0	
7-(2)-B 日本語の文章を 読む	かなりある	18	78.3	1	100.0	9	81.8			32	36.8	1	9.1
	時にはある	5	21.7			2	18.2	4	80.0	34	39.1	7	63.6
	全くない							1	20.0	16	18.4	2	18.2
	NA									5	5.7	1	9.1
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0	
7-(2)-C 日本語の放送 を聞く	かなりある	8	34.8			1	9.1			8	9.2		
	時にはある	7	30.4	1	100.0	8	72.7	1	20.0	18	20.7	4	36.4
	全くない	7	30.4			1	9.1	4	80.0	54	62.1	6	54.5
	NA	1	4.3			1	9.1			7	8.0	1	9.1
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0	
7-(2)-D 日本語で文章を 書く	かなりある	7	30.4			4	36.4			8	9.2		
	時にはある	13	56.5	1	100.0	7	63.6	2	40.0	44	50.6	4	36.4
	全くない	2	8.7					3	60.0	30	34.5	6	54.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	1	4.3							5	5.7	1	9.1
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
7-(2)-E 日本語で通訳 をする	かなりある	4	17.4			2	18.2	1	20.0	14	16.1	1	9.1
	時にはある	15	65.2	1	100.0	9	81.8	2	40.0	34	39.1	4	36.4
	全くない	3	13.0					2	40.0	34	39.1	6	54.1
	NA	1	4.3							5	5.7		
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
8. 学位の利用について													
8-(1) 政府・行政機関 への就職	大いに有利	1	4.3							11	12.6	4	36.4
	ある程度有利	5	21.7	1	100.0			2	40.0	18	20.7	2	18.2
	無関係	3	13.0			2	18.2	3	60.0	21	24.1	2	18.2
	なんともいえない									11	12.6	1	9.1
	NA	14	60.9			9	81.8			26	29.9	2	18.2
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
8-(2) 母国の民間トッ プ企業への就職	大いに有利	1	4.3							8	9.2		
	ある程度有利	3	13.0							23	26.4	2	18.2
	無関係	3	13.0			2	18.2	4	80.0	15	17.2	3	27.3
	なんともいえない	2	8.7					1	20.0	12	13.8	2	18.2
	NA	14	60.9	1	100.0	9	81.8			29	33.3	4	36.4
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
8-(3) 母国にある日本 (または合弁) 企業への就職	大いに有利	1	4.3					1	20.0	14	16.1	1	9.1
	ある程度有利	2	8.7					2	40.0	17	19.5		
	無関係	3	13.0			2	18.2			18	20.7	4	36.4
	なんともいえない	3	13.0					2	40.0	9	10.3	1	9.1
	NA	14	60.9	1	100.0	9	81.8			29	33.3	5	45.5
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
8-(4) 研究・教育機関	大いに有利	6	26.1							20	23.0	4	36.4
	ある程度有利	6	26.1	1	100.0	1	9.1			23	26.4	2	18.2

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
への就職	無関係 なんともいえない NA 計	1	4.3	1	9.1	1	9.1	3	60.0	12	13.8	1	9.1
		10	43.5	8	72.7	2	40.0	5	5.7	1	9.1	1	9.1
		23	100.0	11	100.0	11	100.0	5	100.0	27	31.0	3	27.3
8一(5) 高い報酬を得る ため	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	4.3			3	27.3			6	6.9	2	18.2
		3	13.0					4	80.0	17	19.5		
		5	21.7	1	100.0			1	20.0	29	33.3	3	27.3
8一(6) 社会的威信 の証明	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	2	8.7	1	72.7	8	72.7	1	20.0	7	8.0	2	18.2
		12	52.2	1	100.0	11	100.0	5	100.0	28	32.2	4	36.4
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	1	9.1	87	100.0	11	100.0
8一(7) 専門的知識の 仕事での直接的 活用	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	4.3	1	9.1	1	9.1	1	20.0	15	17.2	2	18.2
		6	26.1	1	100.0	1	9.1	2	40.0	17	19.5	1	9.1
		3	13.0	1	100.0	1	9.1	4	80.0	19	21.8	3	27.3
8一(8) 母国発展への寄 与	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	2	8.7			8	72.7	1	20.0	9	10.3	1	9.1
		11	47.8	1	100.0	11	100.0	5	100.0	27	31.0	4	36.4
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	1	9.1	87	100.0	11	100.0
8一(8) 母国発展への寄 与	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	8	34.8	1	9.1	1	9.1	2	40.0	24	27.6	4	36.4
		4	17.4	1	100.0	1	9.1	2	40.0	23	26.4	2	18.2
		11	47.8	1	100.0	1	9.1	1	20.0	10	11.5	1	9.1
8一(8) 母国発展への寄 与	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	11	47.8	8	72.7	8	72.7	1	20.0	3	3.4	1	9.1
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	27	31.0	3	27.3
		4	17.4	1	100.0	11	100.0	17	19.5	87	100.0	11	100.0
8一(8) 母国発展への寄 与	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	4	17.4	1	9.1	1	9.1	2	40.0	17	19.5	4	36.4
		8	34.8	1	100.0	1	9.1	2	40.0	20	23.0	1	9.1
		11	47.8	1	100.0	1	9.1	1	20.0	13	14.9	2	18.2
8一(8) 母国発展への寄 与	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	11	47.8	8	72.7	8	72.7	1	20.0	6	6.9	1	9.1
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	31	35.6	3	27.3
		4	17.4	1	100.0	11	100.0	17	19.5	87	100.0	11	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
10-(1)日本の大学(院)について													
10-(1)-1	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	7	30.4	1	100.0	3	27.3	1	20.0	28	32.2	6	54.5
		8	34.8	2	18.2	2	18.2	3	60.0	35	40.2	3	27.3
		1	4.3	1	9.1	1	9.1	1	20.0	9	10.3	2	18.2
		7	30.4	5	45.5	5	5.7	5	5.7	5	5.7	5	5.7
		23	100.0	11	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(1)-2	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	1	4.3	1	9.1	1	9.1	2	40.0	10	11.5	2	18.2
		9	39.1	3	27.3	3	27.3	2	40.0	28	32.2	3	27.3
		5	21.7	1	9.1	1	9.1	2	40.0	22	25.3	4	36.4
		1	4.3	2	18.2	2	18.2	1	20.0	4	4.6	2	18.2
		7	30.4	4	36.4	4	36.4	5	5.7	5	5.7	5	5.7
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(1)-3	全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA 計	6	26.1	3	27.3	3	27.3	1	20.0	29	33.3	5	45.5
		9	39.1	3	27.3	3	27.3	3	60.0	31	35.6	3	27.3
		1	4.3	1	9.1	1	9.1	1	20.0	17	19.5	2	18.2
		7	30.4	4	36.4	4	36.4	5	5.7	5	5.7	1	9.1
		23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(1)-4	全くそのとおり ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない NA	4	17.4	4	36.4	4	36.4	2	40.0	11	12.6	4	36.4
		7	30.4	1	100.0	1	100.0	2	40.0	32	36.8	3	27.3
		1	4.3	2	18.2	2	18.2	1	20.0	15	17.2	2	18.2
		3	13.0	5	45.5	5	5.7	7	8.0	7	8.0	2	18.2

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓国		中国		台湾		マレーシア		その他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
10-(1)-5 日本の大学生は 留学生の勉学に 十分に協力的で ある	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
計	3	13.0			6	54.5	2	40.0	28	32.2	3	27.3
全くとの通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない	10	43.5					3	60.0	12	13.8	4	36.4
NA	1	4.3	1	100.0					5	5.7		
計	9	39.1	1	100.0	5	45.5			5	5.7		
10-(1)-6 日本の大学は留 学生に対して最 新の理論や学術 成果を積極的に 提供している	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
計	3	13.0					1	20.0	24	27.6	6	54.5
全くとの通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない	10	43.5			5	45.5	3	60.0	34	39.1	2	18.2
NA	1	4.3							9	10.3	2	18.2
計	1	4.3	1	100.0	2	18.2	1	20.0	9	10.3	1	9.1
10-(1)-7 日本の大学は帰 国後の留学生と 積極的に交流し ようとしている	7	30.4	1	100.0	4	36.4			5	5.7		
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない	7	30.4			1	9.1			9	10.3	5	45.5
NA	5	21.7			3	27.3	1	20.0	24	27.6	2	18.2
計	4	17.4	1	100.0	1	9.1	2	40.0	36	41.4	2	18.2
10-(2)日本留学に関して												
10-(2)-1 再度の機会があ れば、日本で研 究の仕上げをし たい	13	56.5			6	54.5	1	20.0	67	77.0	10	90.9
計	3	13.0	1	100.0			3	60.0	12	13.8	1	9.1
全くその通り ある程度同意 同意できない なんともいえない わからない									1	1.1		
計					1	9.1	1	20.0	1	1.1	1	9.1
NA	7	30.4			4	36.4	2	40.0	8	9.2	1	9.1
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	7	30.4			4	36.5			5	5.7		
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(2)-2	全くその通り	8	34.8	1	100.0	5	45.5			53	60.9	8	72.7
母国の学生達に 日本留学を積極 的にすすめたい	ある程度同意	7	30.4			1	9.1	2	40.0	20	23.0	3	27.3
	同意できない							3	60.0	4	4.6		
	なんともいえない	1	4.3			1	9.1			4	4.6		
	わからない									1	1.1		
	NA	7	30.4			4	36.4			5	5.7		
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(2)-3	全くその通り	13	56.5	1	100.0	6	54.5	3	60.0	58	66.7	9	81.8
留学体験は、長 期的にみて日本 と良好な関係を 維持する契機と なろう	ある程度同意	2	8.7			1	9.1	1	20.0	18	20.7	2	18.2
	同意できない									1	1.1		
	なんともいえない	1	4.3					1	20.0	2	2.3		
	わからない									3	3.4		
	NA	7	30.4			4	36.4			5	5.7		
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(2)-4	全くその通り	15	65.2	1	100.0	7	63.6	4	80.0	68	78.2	10	90.9
留学は日本人の 生活態度、考え 方や日本の文化 社会、経済等を 認識する絶好の 機会である	ある程度同意	1	4.3					1	20.0	12	13.8	1	9.1
	同意できない									1	1.1		
	なんともいえない												
	わからない									1	1.1		
	NA	7	30.4			4	36.4			5	5.7		
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(2)-5	全くその通り	2	8.7	1	100.0	1	9.1			13	14.9	3	27.3
日本は帰国留学 生に対するアフ ターサービスを よくやっている	ある程度同意	12	52.2			3	27.3	3	60.0	27	31.0	4	36.4
	同意できない	1	4.3			3	27.3	1	20.0	28	32.2	3	27.3
	なんともいえない							1	20.0	3	3.4		
	わからない									11	12.6	1	9.1

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
NA 計	8	34.8	23	100.0	4	36.4	5	5.7	5	5.7	11	100.0
10-(3)留学生の受入れについて												
10-(3)-1 留学生受入れに ついて民間のボ ランティア活動 は充実している	8	34.8	3	13.0	2	18.2	1	20.0	21	24.1	3	27.3
	3	13.0	1	100.0	1	9.1	2	40.0	36	41.4	3	27.3
	4	17.4	1	100.0	1	9.1	2	40.0	8	9.2	1	9.1
	8	34.8	2	18.2	2	18.2	4	4.6	16	18.4	3	27.3
NA 計	23	100.0	5	45.5	5	45.5	2	2.3	2	2.3	1	9.1
10-(3)-2 宿舎やアルバイト探 しについて 日本人は協力的 である	1	4.3	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
	8	34.8	4	36.4	4	36.4	1	20.0	32	36.8	3	27.3
	5	21.7	1	100.0	1	9.1	3	60.0	30	34.5	6	54.5
	2	8.7	1	100.0	1	9.1	1	20.0	10	11.5	1	9.1
NA 計	7	30.4	5	45.5	5	45.5	5	100.0	5	5.7	1	9.1
10-(3)-3 留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
	2	8.7	1	100.0	2	18.2			11	12.6	2	18.2
	9	39.1	2	18.2	2	18.2			14	16.1	2	18.2
	5	21.7	1	100.0	1	9.1	5	100.0	7	8.0	3	27.3
	7	30.4	1	100.0	1	9.1	5	100.0	34	39.1	6	54.5
NA 計	23	100.0	5	45.5	5	45.5	1	1.1	1	1.1	11	100.0
(宿舎条件希望 順位)	8	34.8	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
10-(4)-A-1 大学附属の寮	3	13.0	1	100.0	3	27.3	1	20.0	20	23.0	1	9.1
	2	8.7	2	100.0	3	27.3	2	40.0	23	26.4	1	9.1
	2	8.7	3	100.0	1	9.1	1	20.0	18	20.7	2	18.2
	2	8.7	1	100.0	1	9.1	1	20.0	12	13.8	4	36.4

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
NA	8	34.8			4	36.4	1	20.0	14	16.1	3	27.3
10-(4)-A-2 外国人用宿舍	4	17.4			1	9.1	2	40.0	15	17.2	1	9.1
2 位	5	21.7			2	18.2	1	20.0	18	20.7	5	45.5
3 位	3	13.0	1	100.0			1	20.0	19	21.8	2	18.2
4 位	2	8.7			4	36.4			20	23.0	3	27.3
NA	9	39.1			4	36.4	1	20.0	15	17.2		
10-(4)-A-3 民間アパート	2	8.7			1	9.1	2	40.0	18	20.7	5	45.5
2 位	5	21.7			2	18.2	2	40.0	17	19.5	1	9.1
3 位	6	26.1			3	27.3	1	20.0	23	26.4		
4 位	1	4.3	1	100.0	1	9.1			13	14.9	2	18.2
NA	9	39.1			4	36.4			16	18.4	3	27.3
10-(4)-A-4 日本人の家庭	1	4.3	1	100.0	2	18.2			22	25.3	2	18.2
2 位					3	27.3			14	16.1	5	45.5
3 位	2	8.7			1	9.1	2	40.0	11	12.6	1	9.1
4 位	11	47.8			1	9.1	2	40.0	23	26.4		
NA	9	39.1			4	36.4	1	20.0	17	19.5	3	27.3
10-(4)-B 外国人留学生だけ 留学生だけが日 本人と一緒に	5	21.7			1	9.1	2	40.0	5	5.7		
NA	9	39.1	1	100.0	6	54.5	3	60.0	68	78.2	10	90.9
計	9	39.1			4	36.4			14	16.1	1	9.1
10-(4)-C 個室か共用か	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
個室か共用か	14	60.9	1	100.0	7	63.6	5	100.0	73	83.9	9	81.8
他人と共用でよい	1	4.3			1	9.1			1	1.1	1	9.1
NA	8	34.8			3	27.3			13	14.9	1	9.1
計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
VI. 日本経済の発展について												
12-(1)教育制度	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
12-(1)-A 義務教育年数が	6	26.1			3	27.3	2	40.0	40	46.0	5	45.5
その通り	9	39.1			3	27.3	1	20.0	21	24.1	6	54.5
どちらかと言うば その通りを思う												

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
6・3制で十分 に長いこと	1	4.3	1	100.0	2	18.2	1	20.0	17	19.5		
	1	4.3			1	9.1			4	4.6		
12-(1)-B 義務教育での中 途退学(drop out)が少ない こと	4	17.4			1	9.1	1	20.0	3	3.4		
	2	8.7			1	9.1			2	2.3		
12-(1)-C 義務教育の内容が 充実している こと	1	4.3			4	36.4	4	80.0	27	31.0	5	45.5
	7	30.4			2	18.2	1	20.0	25	28.7	3	27.3
12-(1)-D 高等学校以上の 高等教育への進 学率が高いこと	3	13.0	1	100.0	1	9.1			7	8.0	1	9.1
	2	8.7			1	9.1			7	8.0		
12-(1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率 が高いこと	7	30.4			3	27.3			15	17.2	2	18.2
	3	13.0			1	9.1			6	6.9		
その通り だと思います こと	6	26.1			5	45.5	2	40.0	31	35.6	3	27.3
	6	26.1	1	100.0	3	27.3	3	60.0	24	27.6	2	18.2
その通り だと思います こと									8	9.2	1	9.1
	7	30.4			2	18.2			5	5.7	1	9.1
12-(1)-D 高等学校以上の 高等教育への進 学率が高いこと	4	17.4			1	9.1			15	17.2	3	27.3
	9	39.1			5	45.5	4	80.0	4	4.6	1	9.1
その通り だと思います こと	5	21.7	1	100.0	5	45.5	1	20.0	50	57.5	6	54.5
	2	8.7							23	26.4	2	18.2
12-(1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率 が高いこと	4	17.4							5	5.7	2	18.2
	3	13.0			1	9.1			2	2.3		
その通り だと思います こと	1	4.3			1	9.1			5	5.7	1	9.1
	8	34.8	1	100.0	3	27.3	3	60.0	2	2.3		
その通り だと思います こと	5	21.7			1	9.1	1	20.0	30	34.5	3	27.3
	3	13.0			1	9.1			27	31.0	2	18.2
その通り だと思います こと	4	17.4			4	36.4			17	19.5	4	36.4
	2	8.7			1	9.1			3	3.4	1	9.1
NA					1	9.1			6	6.9	1	9.1
					1	9.1			4	4.6		

質問(項目)番号 質問内容	国 別												
	韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
12-(1)-F 高等教育の内容 が充実している こと	6	26.1			3	27.3			33	37.9		4	36.4
	7	30.4	1	100.0	5	45.5		4	80.0	27.6		2	18.2
	1	4.3						1	20.0	13.8		1	9.1
	1	4.3			1	9.1				2.3		2	18.2
	5	21.7			1	9.1				13.8			
	3	13.0			1	9.1			4	4.6		2	18.2
12-(1)-G その通り 高等教育への進 学率を高めた けの経済的余裕 が父兄にあるこ と	7	30.4			3	27.3		2	40.0	40.2		4	36.4
	6	26.1	1	100.0	1	9.1		2	40.0	28.7		3	27.3
	3	13.0			2	18.2				9.2		1	9.1
	2	8.7			1	9.1		1	20.0	3.4			
	2	8.7			3	27.3				16.1		2	18.2
	3	13.0			1	9.1			2	2.3		1	9.1
12-(1)-H その通り 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	4	17.4			1	9.1			21	24.1		2	18.2
	6	26.1	1	100.0	4	36.4		2	40.0	33.3		6	54.5
	4	17.4								9.2		1	9.1
		7	30.4			1	9.1		1	20.0		5	5.7
		2	8.7			4	36.4		2	40.0		22	25.3
	2	8.7			1	9.1			2	2.3		1	9.1
12-(1)-I その通り 国や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	9	39.1			4	36.4		2	40.0	60.9		8	72.7
	3	13.0	1	100.0	3	27.3		3	60.0	17.2		3	27.3
	1	4.3								2.3			
	7	30.4			3	27.3				3.4			
	3	13.0			1	9.1				11.5		4	4.6
12-(1)-J その通り 高等教育を積極 的に進めること についての国民	13	56.5			5	45.5		3	60.0	63.2		8	72.7
	4	17.4	1	100.0	3	27.3		1	20.0	13.8		2	18.2
	1	4.3						1	20.0	4.6		1	9.1

質問(項目)番号 質問内容	国 別											
	韓国		中国		台湾		マレーシア		その他		N.A.	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
的関心が高いこと	4	17.4			2	18.2			9	10.3		
NA	1	4.3			1	9.1			4	4.6		
12-(1)-K 高等教育を受け ることが、立身 出世の条件とし て考えられてき たこと	8	34.8			6	54.5		2	67	77.0	7	63.6
	5	21.7	1	100.0	2	18.2		1	12	13.8	3	27.3
	6	26.1			2	18.2		2	3	3.4	1	9.1
	2	8.7						1	1	1.1		
NA	2	8.7			1	9.1			4	4.6		
12-(1)-L 個人的な能力さえ あれば社会的指導 者になれるという 社会体質が進学意 欲を削めているから	6	26.1			8	72.7		2	32	36.8	5	45.5
	9	39.1	1	100.0	1	9.1		1	34	39.1	4	36.4
	3	13.0			1	9.1		2	9	10.3	2	18.2
	2	8.7							3	3.4		
NA	3	13.0			1	9.1			4	4.6		
12-(2) (総計)	23	100.0	1	100.0	11	100.0		5	87	100.0	11	100.0
12-(2)-A 人口の規模が一 億人を超えてお り、大規模生産 ができるように なったこと	6	26.1			1	9.1		1	24	27.6	5	45.5
	5	21.7			3	27.3		3	30	34.5	2	18.2
	12	52.2	1	100.0	5	45.5		1	18	20.7	3	27.3
									8	9.2		
					1	9.1			5	5.7	1	9.1
NA					1	9.1			2	2.3		
12-(2)-B 人口増加率が低 く、子供の扶養 負担が小さかつ たこと	3	13.0			1	9.1		2	27	31.0	5	45.5
	10	43.5			5	45.5		3	30	34.5	3	27.3
	8	34.8	1	100.0	3	27.3			12	13.8	3	27.3
	1	4.3							7	8.0	1	9.1
	1	4.3			1	9.1			8	9.2	2	18.2
NA					1	9.1			3	3.4		
12-(2)-C その通り	9	39.1			4	36.4		4	50	57.5	7	63.6

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
最近の人口増加 率が低くなった のは出生率が低 くなったから	どちらかといえば その通りだと思う	10	43.5	1	100.0	3	27.3	1	20.0	21	24.1	1	9.1
	そうは思わない	3	13.0			1	9.1			5	5.7	1	9.1
	なんともいえない									2	2.3		
	わからない	1	4.3			2	18.2			6	6.9	1	9.1
	NA					1	9.1			3	3.4	1	9.1
12-(2)-D出生率	(総計)	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
12-(2)-D-1 家族計画の考え 方が普及してい るから	その通りと思う	14	60.9			6	54.5	1	20.0	50	57.5	4	36.4
	どちらかといえば その通りだと思う	7	30.4	1	100.0	1	9.1	2	40.0	25	28.7	3	27.3
	そうは思わない	1	4.3			1	9.1	2	40.0	3	3.4		
	なんともいえない									1	1.1	1	9.1
	わからない	1	4.3			2	18.2			4	4.6	2	18.2
	NA					1	9.1			4	4.6	1	9.1
12-(2)-D-2 結婚年齢が高く なったから	その通りと思う					3	27.3			16	18.4	2	18.2
	どちらかといえば その通りだと思う	2	8.7			4	36.4	3	60.0	25	28.7	3	27.3
	そうは思わない	13	56.5	1	100.0	1	9.1	2	40.0	26	29.9	3	27.3
	なんともいえない					1	9.1			5	5.7	1	9.1
	わからない	1	4.3			1	9.1			13	14.9	1	9.1
	NA	7	30.4			1	9.1			2	2.3	1	9.1
12-(2)-D-3 優生保護法で産 児制限が合法化 されているから	その通りと思う	1	4.3			2	18.2	1	20.0	19	21.8	2	18.2
	どちらかといえば その通りだと思う	5	21.7	1	100.0	4	36.4	3	60.0	20	23.0	2	18.2
	そうは思わない	9	39.1							16	18.4	3	27.3
	なんともいえない									7	8.0	1	9.1
	わからない	4	17.4			4	36.4	1	20.0	22	25.3	2	18.2
	NA	4	17.4			1	9.1			3	3.4	1	9.1
12-(2)-D-4 社会保障制度の整 備などにより老後 を子供に頼ろうと	その通りと思う	6	26.1			5	45.5	1	20.0	11	12.6	1	9.1
	どちらかといえば その通りだと思う	5	21.7	1	100.0	5	45.5	1	20.0	25	28.7	3	27.3
	そうは思わない	4	17.4							18	20.7	2	18.2
	なんともいえない	1	4.3					1	20.0	5	5.7	3	27.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
いう考えが国民の 間に少なくなったから	わからない	3	13.0					2	40.0	25	28.7	1	9.1
	NA	4	17.4			1	9.1			13	3.4	1	9.1
12-(2)-E 1940年代の出生率が 高く、若い労働者が 急増したことが、こ とに1960年代の日本 本の経済成長を支えた	その通りと思う	2	8.7			2	18.2	2	40.0	23	26.4	5	45.5
	どちらかといえば その通りと思う	5	21.7			1	9.1	3	60.0	30	34.5	4	36.4
	そうは思わない	6	26.1	1	100.0	2	18.2			14	16.1	1	9.1
	なんともいえない	3	13.0			1	9.1			6	6.9	1	9.1
	わからない	4	17.4			4	36.4			11	12.6		
	NA	3	13.0			1	9.1			3	3.4		
12-(2)-F 最近における日本の 出生率の低下、人口 増加率の低下は、日 本の経済成長を今 後低下させるであろう	その通りと思う	1	4.3							8	9.2	2	18.2
	どちらかといえば その通りと思う	4	17.4			1	9.1	1	20.0	17	19.5		
	そうは思わない	16	69.6	1	100.0	6	54.5	4	80.0	43	49.4	4	36.4
	なんともいえない	1	4.3			1	9.1			12	13.8	2	18.2
	わからない	1	4.3			2	18.2			4	4.6	2	18.2
	NA					1	9.1			3	3.4	1	9.1
12-(3)労働制度	(総計)	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
12-(3)-A 日本人は本来勤 勉で労働の密度 が高いこと	その知りと思う	19	82.6			8	72.7	3	60.0	66	75.9	5	45.5
	どちらかといえば その知りと思う	4	17.4	1	100.0	1	9.1	2	40.0	13	14.9	2	18.2
	そうは思わない									1	1.1	4	36.4
	なんともいえない					1	9.1			2	2.3		
	わからない									2	2.3		
NA					1	9.1			3	3.4			
12-(3)-B 日本には身分意 識が少なく上下の 差別がなくよく 働くから	その通りと思う	13	56.5			3	27.3	1	20.0	21	24.1	1	9.1
	どちらかといえば その通りと思う	5	21.7			2	18.2	2	40.0	23	26.4	4	36.4
	そうは思わない	4	17.4	1	100.0	5	45.5	2	40.0	25	28.7	3	27.3
	なんともいえない									8	9.2	2	18.2
	わからない									4	4.6	1	9.1
NA	1	4.3			1	9.1			6	6.9			
12-(3)-C	その通りと思う	1	4.3			3	27.3	3	60.0	38	43.7	5	45.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別												
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		そ の 他		N.A.		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	どちらかといえばその通りだと思う	9	39.1			4	36.4	1	20.0	28	32.2	2	18.2	
	そうは思わない	8	34.8					1	20.0	10	11.5	3	27.3	
	なんともいえない	2	8.7	1	100.0									
	わからない	2	8.7			2	18.2			8	9.2	1	9.1	
	NA	1	4.3			2	18.2			3	3.4			
12-(3)-D 労働組合が企業制組合であり、ストライキが少たいから	その通りと思う	2	8.7			4	36.4	2	40.0	34	39.1	5	45.5	
	どちらかといえばその通りかと思う	10	43.5			5	45.5	1	20.0	29	33.3	3	27.3	
	そうは思わない	7	30.4					2	40.0	11	12.6			
	なんともいえない	1	4.3	1	100.0					5	5.7	1	9.1	
	わからない	1	4.3			1	9.1			5	5.7	1	9.1	
NA	2	8.7			1	.1			3	3.4	1	9.1		
12-(4)経済と人的能力 「人的能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方についてあなたは同意しますか	その通りだ	20	87.0			9	81.8	4	80.0	71	81.6	8	72.7	
	必ずしもそうだとは思わない	3	13.0	1	100.0	1	9.1	1	20.0	11	12.6	3	27.3	
	まちがっている									2	2.3			
	なんともいえない													
	わからない									1	1.1			
NA					1	9.1			2	2.3				
計			23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
13. 家族について														
13-1 父親の職業	公務員					4	36.4			4	4.6			
	教師					1	9.1			3	3.4			
	会社員							2	40.0	11	12.6	1	9.1	
	自由業									1	1.1			
	農業	3	13.0			1	9.1			3	3.4			
	商業							1	20.0	2	2.3	1	9.1	
	その他									5	5.7			
無職・無回答			20	87.0	1	100.0	5	45.5	2	40.0	58	66.7	9	81.8

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国 別											
		韓 国		中 国		台 湾		マレーシア		その他		N.A.	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0
13-2 男子の数	1人	5	21.7	1	100.0	5	45.5			30	34.5	3	27.3
	2人	8	34.8			3	27.3	1	20.0	18	20.7	3	27.3
	3人	3	13.0			2	18.2	1	20.0	18	20.7		
	4人	2	8.7					2	40.0	12	13.8		
	5人以上	1	4.3			1	9.1	1	20.0	4	4.6	1	9.1
	無回答0人	4	17.4							5	5.7	4	36.4
13-3 女子の数	1人	5	21.7			1	9.1			24	27.6	5	45.5
	2人	4	17.4			4	36.4	2	40.0	21	24.1	2	18.2
	3人	2	8.7			1	9.1	2	40.0	13	14.9		
	4人									4	4.6		
	5人以上							1	20.0	3	3.4		
	無回答0人	12	52.2	1	100.0	5	45.5			22	25.3	4	36.4
13-4 家族に海外留学 の体験があるか	ある	5	21.7					3	60.0	35	40.2	2	18.2
	ない	15	65.2	1	100.0	11	100.0	2	40.0	47	54.0	4	36.4
	NA	3	13.0							5	5.7	5	45.5
	計	23	100.0	1	100.0	11	100.0	5	100.0	87	100.0	11	100.0

B-III 元留学生アンケート集計表(地域別)

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		中東アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
I. 教育歴																							
1-(1) 日本滞在の期間	1 年	2	66.7	1	20.0	14	53.8	2	33.3	5	35.7			1	33.3	9	25.7	5	14.7			2	25.0
	2 年	1	33.3			7	26.9	4	66.7	2	14.3			1	33.3	1	2.9	18	52.9	1	25.0	2	25.0
	3 年			3	60.0					4	28.6					6	17.1	6	17.6	2	50.0	1	12.5
	4 年					1	3.8			1	7.1			1	33.5	5	14.3	4	11.8			1	12.5
	5 年									1	7.1					7	20.0					1	12.5
	6 年															2	5.7						
	7 年			1	20.0	1	3.8									4	11.4				1	25.0	
	8 年									1	7.1					1	2.9	1	2.9				
	9 年																						
	10 年																						
	11 年																						
	12 年						1	3.8															
	13 年						1	3.8															
NA						1	3.8															1	12.5
計		3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
1-(2)-1 学籍区分	学 部			1	20.0	5	19.2	1	16.7	1	7.1					9	25.7	12	35.3	1	25.0	3	37.5
	大学院	3	100.0	4	80.0	21	80.8	5	83.3	13	92.9			3	100.0	23	65.7	22	64.7	3	75.0	4	50.0
	NA															3	8.6					1	12.5
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
1-(2)-2 国・公立別	国・公立	3	100.0	5	100.0	21	80.8	6	100.0	14	100.0			3	100.0	29	82.9	34	100.0	4	100.0	7	87.5
	私 立					5	19.2									3	8.6						
	NA															3	8.6					1	12.5
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																						
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
1-(3) 専門分野	理工	1	33.3	4	80.0	6	23.1	5	83.3	4	28.6					12	34.3	14	41.2			2	25.0	
	農学	1	33.3			3	11.5	1	16.7	6	42.9			1	33.3	5	14.3	5	14.7			1	12.5	
	医・薬学					2	7.7			2	14.3			1	33.3	1	2.9	7	20.6					
	その他理科					1	3.8									1	2.9	3	8.8					
	日本語					1	3.8									1	2.9	1	2.9	1	25.0	1	12.5	
	人文・社会					7	26.9									5	14.3	1	2.9	1	25.0			
	経営・経済			1	20.0	3	11.5							1	33.3	2	5.7							
	政治・法律					1	3.8																1	12.5
	その他文科					1	3.8									4	11.4	2	5.9	2	50.0			
	NA	1	33.3			1	3.8			2	14.3					4	11.4	1	2.9			3	37.5	
計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0				3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0	
1-(4)-1 日本留学で学位を取得した年限 —学士—	1年							1	100.0							2	15.4							
	2年																							
	3年					1	100.0								9	69.2				1	100.0			
	4年														2	15.4								
	5年以上																							
NA					1	100.0	1	100.0							13	100.0				1	100.0			
計					1	100.0	1	100.0							13	100.0				1	100.0			
1-(4)-2 —修士—	1年																	1	12.5					
	2年			4	100.0	1	50.0			3	100.0					16	94.1	7	87.5	2	100.0	1	100.0	
	3年					1	50.0								1	5.9								
	4年																							
	5年以上																							
NA																								
計			4	100.0	2	100.0			3	100.0					17	100.0	8	100.0	2	100.0	1	100.0		
1-(4)-3 —博士—	1年												1	100.0	1	14.3								
	2年														1	14.3	1	8.3			1	50.0		
	3年			1	100.0	2	66.7			3	60.0				3	42.9	5	41.7			1	50.0		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別																				
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		その他		N.A														
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)													
	4年									1	20.0					2	28.6					4	33.3											
	5年			1	33.3					1	20.0																							
	6年																																	
	7年																																	
	8年																																	
	9年																																	
	10年以上																																	
	NA																																	
	計			1	100.0					5	100.0					7	100.0					12	100.0				2	100.0						
1-(5)-A	日本語			1	25.0											4	22.2					7	87.5					1	100.0					
	学位論文を何語			3	75.0											13	72.2					1	12.5											
	で書きましたか															1	5.6																	
	一修士			4	100.0					3	100.0					18	100.0					8	100.0							1	100.0			
1-(5)-B	日本語			1	50.0																													
	英語			1	50.0																													
	その他			2	100.0																													
	計			2	100.0					5	100.0					7	100.0					13	100.0								2	100.0		
1-(6)-A	指示された																																	
	論文を「日本語」			4	100.0																													
	で指示一修士			4	100.0																													
1-(6)-B	指示された																																	
	指示されなかった			2	100.0																													
	一博士			2	100.0																													
1-(7)	奨学金の取得																																	
	の有無			1	33.3																													
	無			2	66.7																													
	有			5	100.0																													
	NA			24	92.3																													
	計			3	100.0					6	100.0					34	97.1					1	2.9											
1-(7)-B	母国の政府奨学金			5	100.0					6	100.0					35	100.0					34	100.0											
				26	100.0					14	100.0					3	8.8					2	5.9											
				4	13.8																													

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																									
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A					
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
奨学金の種類 別	母国の民間団 体奨学金 日本の文部省奨学金 日本の私費留 学生奨学金 日本の地方自 治体奨学金 その他 NA 計	2	100.0	4	80.0	24	100.0	6	100.0	14	100.0					3	100.0	34	100.0	24	82.8	1	3.4	4	100.0	5	100.0
2. 留学体験																											
2. 日本留学以 前に外国留学 の経験があり ますか	な い あ る NA 計	2	66.7	5	100.0	16	61.5	5	83.3	8	57.1					3	100.0	33	94.3	33	97.1	4	100.0			7	87.5
		1	33.3			10	38.5	1	16.7	6	42.9					2	5.7	2	5.7	1	2.9					1	12.5
		3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0					3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0			8	100.0
2-(2)-A どの国(地域) でしたか	北 米 南 米 西 欧 東 欧 中 東 アフリカ 南アジア 東南アジア 東アジア その他 NA 計	1	100.0			2	20.0											1	50.0	1	100.0						
						4	40.0			1	100.0	2	33.3	1	16.7			1	50.0								
						2	20.0																				
						2	20.0																				
		1	100.0			10	100.0	1	100.0	6	100.0							2	100.0	1	100.0						
2-(2)-B 留学期間は何 年でしたか	1 年 2 年 3 年 4 年					3	30.0	1	100.0	1	16.7							1	50.0								
						1	10.0																				
						1	10.0													1	100.0						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別								
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
	5年																					
	6年			2	20.0				1	16.7												
	7年								1	16.7												
	8年																					
	9年	1	100.0																			
	10年																					
	11年																					
	12年																					
	13年																					
	14年								1	16.7												
	15年																					
	NA			3	30.0				2	33.3												
	計	1	100.0	10	100.0			1	100.0	6	100.0											
2-(2)-D 留学で取得した学位	学士	1	100.0																			
	修士			4	40.0				1	16.7												
	博士			1	10.0																	
	NA			5	50.0				3	50.0												
	計	1	100.0	10	100.0			1	100.0	6	100.0											
3. 日本留学後の再留学について																						
3-1 再度留学をした	しなかった	3	100.0	5	100.0	17	65.4	6	100.0	14	100.0											
	した			9	34.6							2	66.7	32	91.4	33	97.1	3	75.0	5	62.5	
	NA											1	33.3	3	8.6	1	2.9	1	25.0	2	25.0	
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0	3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0	
3-(2)-A どの国(地域)でしたか	北米			1	11.1																	
	南米																					
	西欧			6	66.7																	
	東欧			1	11.1																	
	中東																					

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																								
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A				
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
	アフリカ 南アジア 東南アジア 東アジア その他 NA 計			1	11.1									1	100.0			2	66.7					1	50.0	
3-(2)-B 留学期間は何 年でしたか	1年 2年 3年 4年 5年以上 NA 計			2	22.2	3	33.3	1	11.1						1	100.0			2	66.7					1	50.0
3-(2)-E-1 そこで取得し た学位は	学士 修士 博士 NA 計			3	33.3	9	100.0								1	100.0			1	33.3					1	50.0
3-(2)-E-2 学位の分野	理工学 農学 医・薬学 その他理科 日本語 人文・社会 経営・経済 法律・政治 その他文科			1	11.1																				1	50.0
				2	22.2	7	77.8								1	100.0			3	100.0					1	100.0
				9	100.0										1	100.0			3	100.0					1	100.0
				1	11.1														1	33.3					1	50.0
				2	22.2	2	22.2																			
				2	22.2	2	22.2																		1	100.0
				1	11.1																				1	50.0



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	大 学	1	33.3	1	20.0	9	34.6	6	100.0	9	64.3					8	22.9	31	91.2			6	75.0
	その他教育機関					2	7.7									4	11.4			2	50.0		
	日本系民間企業															3	8.6						
	その他の国との 合弁企業			1	20.0											2	5.7	1	2.9				
	母国系民間企業	1	33.3	1	20.0	3	11.5			1	7.1					2	5.7					1	12.5
	自営業					3	11.5			1	7.1									1	25.0		
	その他	1	33.3			4	15.4									3	8.6	1	2.9				
	NA					2	7.7													1	25.0		
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0					3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0
6-(1)-E	直接に活用できている	1	33.3	2	40.0	12	46.2	4	66.7	9	64.3					20	57.1	29	85.3	1	25.0	5	62.5
	その仕事で、間接的に利用できている	2	66.7	3	60.0	10	38.5	2	33.3	5	35.7					2	66.7	10	28.6	5	14.7	3	37.5
	日本留学の成果を活用できているか															4	11.4			1	25.0		
	全く無関係である					1	3.8								1	33.3	1	2.9			1	25.0	
	なんともいえない					3	11.5													1	25.0		
	NA					3	11.5													1	25.0		
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0					3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0
6-(2)	ない	3	100.0	4	80.9	19	73.1	6	100.0	12	85.7					2	66.7	29	82.9	33	97.1	1	25.0
	ある			1	20.0	4	15.4			2	14.3					1	33.3	6	17.1	1	2.9	1	25.0
	NA					3	11.5													2	50.0	1	12.5
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0					3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0
6-(2)-B	1 回			1	100.0	3	75.0			1	50.0					1	100.0	3	50.0	1	100.0		
	2 回					1	25.0													2	33.3		
	3 回									1	50.0									1	16.7		
	NA																						
	計			1	100.0	4	100.0			2	100.0					1	100.0	6	100.0	1	100.0	1	100.0
6-(3)	現在の仕事に、日本留学体験、知識、研究は活用されているか																						
	(A. 仕事の面では)																						
6-(3)-A-1	大いに利用	3	100.0	3	60.0	16	61.5	6	100.0	9	64.3					1	33.3	20	57.1	24	70.6	1	25.0
	大学での研究			2	40.0	5	19.2			2	14.3					1	33.3	4	11.4	9	26.5	1	25.0
	それほど利用せず																					2	25.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別											
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)										
成果に関連して	全く関係ない なんともいえない NA 計					3	11.5			1	7.1							6	17.1			1	25.0	1	12.5
				2	7.7					2	14.3			1	33.3			2	5.7			1	2.9		
6-(3)-A-2 取得した技術	大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0							35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
		1	33.3	5	100.0	7	26.9	3	50.0	10	71.4			1	33.3			18	51.4	18	52.9	2	50.0	4	50.0
6-(3)-A-3 日本語の能力 について	大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	2	66.7	2	40.0	10	38.5			4	28.6							15	42.9	26	76.5	3	75.0	3	37.5
		1	33.3	3	60.0	4	15.4	1	16.7	3	21.4			1	16.7			9	25.7	6	17.6	2	5.9	2	25.0
6-(3)-A-4 日本の大学ス タッフとの交 流に関連して	大いに利用 それほど利用せず 全く関係ない なんともいえない NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0							35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
		1	33.3	3	60.6	6	23.1	2	33.3	5	35.7							14	40.0	20	58.8	1	25.0	3	37.5
6-(3)-A-5 日本の企業と の交流に して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	2	40.0	5	19.2	1	16.7	3	21.4							6	17.1	8	23.5	1	25.0	2	25.0
		1	33.3	2	40.0	8	30.8	3	50.0	3	21.4			1	33.3			9	25.7	3	8.8	1	25.0	2	25.0
6-(3)-A-5 日本の企業と の交流に して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0							35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
		1	33.3	2	40.0	4	15.4	1	16.7	2	14.3							10	28.6	2	5.9			1	12.5
6-(3)-A-5 日本の企業と の交流に して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	2	40.0	3	11.5	1	16.7	4	28.6							7	20.0	9	26.5			2	25.0
		1	33.3	2	40.0	11	42.3	4	66.7	6	42.9			1	33.3			12	34.3	14	41.2	2	50.0	2	25.0
6-(3)-A-5 日本の企業と の交流に して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	1	20.0	3	11.5	1	16.7									4	11.4	5	14.7	1	25.0	1	12.5
		3	100.0	5	100.0	5	19.2	6	100.0	2	14.3			2	66.7			2	5.7	4	11.8	1	25.0	2	25.0
6-(3)-A-5 日本の企業と の交流に して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0							35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
		1	33.3	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0			35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																						
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
6-(3)-A-6 日本の社会人 との交流に関 連して	大いに利用	1	33.3	4	80.0	17	65.4	4	66.7	6	42.9			1	33.3	17	48.6	8	23.5	2	50.0	2	25.0	
	それほど利用せず	1	33.3			2	7.7			2	14.3					8	22.9	14	41.2			4	50.0	
	全く無関係			1	20.0	4	15.4	2	33.3	3	21.4			1	33.3	7	20.0	6	17.6	1	25.0	1	12.5	
	なんともいえない	1	33.3							1	7.1					1	2.9	3	8.8					
	NA					3	11.5			2	14.3			1	33.3	2	5.7	3	8.8	1	25.0	1	12.5	
計			3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
(B. 生活の面では)																								
6-(3)-B-1 日本的な考え 方や発想のし かた	積極的に採用	1	33.3	2	40.0	4	15.4	1	16.7	3	21.4					11	31.4	7	20.6	2	50.0	3	37.5	
	一部採用	1	33.3	3	60.0	13	50.0	4	66.7	7	50.0					23	65.7	20	58.8	1	25.0	4	50.0	
	全く無関係	1	33.3			3	11.5	1	16.7	1	7.1							2	5.9	1	25.0	1	12.5	
	なんともいえない					4	15.4			2	14.3			1	33.3	1	2.9	5	14.7					
	NA					2	7.7			1	7.1			2	66.7									
計			3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
6-(3)-B-2 日本的な生活 様式	積極的に採用			2	40.0	4	15.4	1	16.7	3	21.4					6	17.1	1	2.9	3	75.0	2	25.0	
	一部採用	2	66.7	3	60.0	10	38.5	2	33.3	6	42.9			1	33.3	16	45.7	15	44.1			3	37.5	
	全く無関係	1	33.3			4	15.4	3	50.0	3	21.4					9	25.7	13	38.2	1	25.0	1	12.5	
	なんともいえない					6	23.1			1	7.1					4	11.4	4	11.8			2	25.0	
	NA					2	7.7			1	7.1			2	66.7			1	2.9					
計			3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
6-(3)-B-3 日本的な行動 様式	積極的に採用			3	60.0	4	15.4									7	20.0	2	5.9	2	50.0	3	37.5	
	一部採用	1	33.3	2	40.0	13	50.0	3	50.0	9	64.3					17	48.6	15	44.1	1	25.0	1	12.5	
	全く無関係	2	66.7			3	11.5	2	33.3	2	14.3			1	33.3	6	17.1	12	35.3	1	25.0	3	37.5	
	なんともいえない					5	19.2	1	16.7	2	14.3					5	14.3	4	11.8			1	12.5	
	NA					1	3.8			1	7.1			2	66.7			1	2.9					
計			3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
7. 帰国後の日本語の使用																								
7-(1) 日本語を使う機会																								
7-(1)-A	かなり機会あり	1	33.3	5	100.0	8	30.8			3	21.4			1	33.3	8	22.9	6	17.6	3	75.0			



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別													
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東アジア		その他		N.A							
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		実数	(%)													
	NA 計	3	100.0	5	100.0	1	3.8	6	100.0	2	14.3	3	100.0	2	66.7	34	100.0	1	2.9	4	100.0	1	12.5	8	100.0		
7-(2)-E 日本語で通訳 をする	かなりある 時にはある 全くない NA 計	1	33.3	2	40.0	3	11.5	1	16.7	5	35.7	1	33.3	7	48.6	24	70.6	6	17.6	1	15.0	2	25.0	3	37.5		
	NA 計	2	66.7	1	20.0	11	42.3	5	83.3	7	50.0	2	66.7	11	31.4	3	8.8	2	50.0	3	8.8	2	50.0	3	37.5		
	NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0	3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0		
8. 学位の利用について																											
8-(1) 政府・行政機 関への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	2	40.0	4	15.4	1	16.7	2	14.3	1	33.3	5	35.7	2	14.03	1	2.9	3	8.6	23	67.6	1	25.0	3	37.5
	NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0	3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0		
8-(2) 母国の民間ト ップ企業への 就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	3	60.0	6	23.1	1	16.7	2	14.3	1	33.3	5	35.7	2	14.3	1	2.9	3	8.6	23	67.6	1	25.0	3	37.5
	NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0	3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0		
8-(3) 母国にある日 本(または合 弁)企業への 就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	2	40.0	4	15.4	1	16.7	2	14.3	1	33.3	5	35.7	2	14.3	1	2.9	3	8.6	23	67.6	1	25.0	3	37.5
	NA 計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0	3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0		
8-(4) 研究・教育機	大いに有利 ある程度有利	2	66.7	2	40.0	4	15.4	1	16.7	5	35.7	1	33.3	2	14.3	2	14.3	1	2.9	2	5.9	11	31.4	2	25.0	3	37.5
	NA 計	2	66.7	2	40.0	3	11.5	2	33.3	2	14.3	1	33.3	5	35.7	2	14.3	1	2.9	2	5.9	11	31.4	2	25.0	3	37.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別														
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A						
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)													
関への就職	無関係 なんともいえない NA 計	1	20.0	4	15.4			2	14.3							8	22.9	1	2.9					1	12.5			
				2	7.7			1	7.1								4	11.4	2	5.9					1	12.5		
		1	33.3	13	50.0	3	50.0	4	28.6								3	8.6	18	52.9	1	25.0			2	25.0		
8-(5) 高い報酬を得 るため	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	3	100.0	5	100.0	6	100.0	14	100.0							35	100.0	34	100.0					4	100.0	8	100.0	
				1	20.0			1	7.1								5	14.3	1	2.9							1	12.5
		2	66.7	4	80.0	2	7.7	1	16.7	1	7.1						9	25.7	6	17.6					2	50.0	3	37.5
8-(6) 社会的威信の 証明	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	3	60.0	1	3.8			4	28.6					6	17.1	2	5.9							2	25.0	
		1	33.3	2	40.0	3	11.5			3	21.4						9	25.7	8	23.5							3	37.5
				3	11.5	5	19.2	2	33.3	2	14.3						13	37.1	3	8.8							2	50.0
8-(7) 専門的知識の 仕事での直接 的活用	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	14	53.8	3	11.5	1	16.7	1	7.1					4	11.4	2	5.9							1	12.5	
		3	100.0	5	100.0	6	100.0	3	50.0	4	28.6						3	8.6	19	55.9	1	25.0			1	25.0		
		1	33.3	5	100.0	2	7.7	2	33.3	4	28.6						9	25.7	8	23.5					2	50.0		
8-(8) 母国発展への 寄与	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	33.3	4	15.4	1	3.8			3	21.4					16	45.7	6	17.6							1	12.5	
		3	100.0	5	100.0	6	100.0	3	50.0	4	28.6						3	8.6	19	55.9	1	25.0			1	12.5		
		1	33.3	4	80.0	2	7.7	2	33.3	3	21.4						7	20.0	4	11.8					3	37.5		
		1	20.0	1	3.8	1	16.7	3	21.4						16	45.7	8	23.5					1	25.0	1	12.5		
		2	66.7	5	19.2	2	14.3	2	14.3						5	14.3	1	2.9							1	25.0	2	25.0
		1	33.3	4	15.4	1	7.1			1	7.1				2	5.7	2	5.9							2	50.0	1	12.5
		3	100.0	14	53.8	3	11.5	3	50.0	5	35.7				5	14.3	19	55.9	2	50.0					2	50.0	1	12.5
		3	100.0	5	100.0	6	100.0	6	100.0	14	100.0					35	100.0	34	100.0						4	100.0	8	100.0



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																					
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(1)-5	全くその通り	2	66.7	2	40.0	12	46.2	2	33.3	3	21.4					9	25.7	3	8.8			3	37.5
	ある程度同意	1	33.3	3	60.0	3	11.5	3	50.0	8	57.1			1	33.3	12	34.3	16	47.1	2	50.0	3	37.5
	同意できない					6	23.1									9	25.7			2	50.0	2	25.0
	なんともいえない					1	3.8			1	7.1					3	8.6	2	5.9				
	わからない					2	7.7	1	16.7	1	7.1			1	33.3								
	NA					2	7.7			1	7.1			1	33.3	2	5.7	13	38.2				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(1)-6	全くその通り			3	60.0	6	23.1	4	66.7	4	28.6			1	33.3	5	14.3	3	8.8	3	75.0	5	62.5
	ある程度同意	2	66.7	2	40.0	11	42.3	2	33.3	5	35.7					16	45.7	15	44.1			1	12.5
	同意できない					2	7.7			2	14.3			1	33.3	5	14.3	1	2.9			1	12.5
	なんともいえない					4	15.4									6	17.1	4	11.8				
	わからない	1	33.3			1	3.8			2	14.3					1	2.9	1	2.9	1	25.0	1	12.5
	NA					2	7.7			1	7.1			1	33.3	2	5.7	10	29.4				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(1)-7	全くその通り			3	60.0	2	7.7	1	16.7	2	14.3					2	5.7	8	23.5			4	50.0
	ある程度同意	1	33.3			5	19.2	3	50.0	3	21.4					12	34.3	8	23.5	1	25.0	2	25.0
	同意できない	2	66.7	2	40.0	11	42.3	2	33.3	3	21.4			1	33.3	15	42.9	6	17.6	2	50.0	2	25.0
	なんともいえない					1	3.8			2	14.3			1	33.3	2	5.7	2	5.9				
	わからない					5	19.2			3	21.4					2	5.7			1	25.0		
	NA					2	7.7			1	7.1			1	33.3	2	5.7	10	29.4				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(2) 日本留学に関して																							
10-(2)-1	全くその通り	3	100.0	5	100.0	19	73.1	6	100.0	11	78.6			2	66.7	21	60.0	19	55.9	3	75.0	8	100.0
	ある程度同意					4	15.4			1	7.1					10	28.6	4	11.8	1	25.0		
	同意できない					1	3.8																
	なんともいえない															2	5.7	1	2.9				
	わからない									1	7.1												

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																						
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
	NA 計	3	100.0	5	100.0	2	7.7			1	7.1			1	33.3	2	5.7	10	29.4					
10-(2)-2	全くその通り	3	100.0	4	80.0	18	69.2	5	83.3	9	64.3					12	34.3	14	41.2	2	50.0		8	100.0
	ある程度同意			1	20.0	6	23.1	1	16.7	1	7.1			2	66.7	14	40.0	8	23.5			1	25.0	
	同意できない															6	17.1					1	25.0	
	同意できない									2	14.3					1	2.9	2	5.9			1	25.0	
	なんともいえない									1	7.1													
	わからない									1	7.1													
	NA 計	3	100.0	5	100.0	2	7.7			1	7.1			1	33.3	2	5.7	10	29.4					
10-(2)-3	全くその通り	3	100.0	4	80.0	16	61.5	6	100.0	9	64.3			2	66.7	20	57.1	20	58.8	3	75.0		7	87.5
	ある程度同意			1	20.0	7	26.9			2	14.3					9	25.7	3	8.8	1	25.0		1	12.5
	同意できない															1	2.9							
	同意できない					1	3.8									2	5.7	1	2.9					
	なんともいえない									2	14.3					1	2.9							
	わからない									1	7.1			1	33.3	2	5.7	10	29.4					
	NA 計	3	100.0	5	100.0	2	7.7			1	7.1			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0		8	100.0
10-(2)-4	全くその通り	3	100.0	5	100.0	21	80.8	5	83.3	11	78.6			2	66.7	25	71.4	23	67.6	3	75.0		7	87.5
	ある程度同意					3	11.5	1	16.7	1	7.1					7	20.0	1	2.9	1	25.0		1	12.5
	同意できない															1	2.9							
	同意できない																							
	なんともいえない									1	7.1													
	わからない									1	7.1			1	33.3	2	5.7	10	29.4					
	NA 計	3	100.0	5	100.0	2	7.7			1	7.1			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0		8	100.0
10-(2)-5	全くその通り	1	33.3	3	60.0	5	19.2			2	14.3					3	8.6	4	11.8				2	25.0
	ある程度同意			1	20.0	6	23.1	4	66.7	3	21.4			1	33.3	15	42.9	15	44.1	2	50.0		2	25.0
	同意できない	2	66.7	1	20.0	6	23.1			6	42.9			1	33.3	11	31.4	4	11.8	1	25.0		4	50.0
	同意できない					1	3.8	1	16.7							2	5.7							
	なんともいえない																							
	わからない					6	23.1	1	16.7	2	14.3					2	5.7			1	25.0			

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
っている	NA					2	7.7			1	7.1			1	33.3	2	5.7	11	32.4				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(3) 留学生の受入れについて																							
10-(3)-1	全くその通り	2	66.7	1	20.0	8	30.8	2	33.3	3	21.4					5	14.3	2	5.9	1	25.0	3	37.5
	留学生受入れ	1	33.3	2	40.0	9	34.6	2	33.3	7	50.0					17	48.6	10	29.4			3	37.5
	について民間					4	15.4									4	11.4	3	8.8	1	25.0		
	のボランティア															5	14.3	1	2.9	1	25.0		
	活動は充実															5	14.3	1	2.9	1	25.0		
	している															5	14.3	1	2.9	1	25.0		
	わからない			2	40.0	5	19.2	2	33.3	3	21.4			2	66.7	3	8.6	6	17.6	1	25.0	1	12.5
	NA									1	7.1			1	33.3	1	2.9	12	35.3			1	12.5
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(3)-2	全くその通り	2	66.7	2	40.0	11	42.3	2	33.3	6	42.9					9	25.7	5	14.7	1	25.0	3	37.5
	宿舎やアルバ			1	20.0	11	42.3	2	33.3	3	21.4					15	42.9	10	29.4	2	50.0	5	62.5
	イト探しにつ			1	20.0	2	7.7			2	14.3					7	20.0	5	14.7				
	いて日本人は					1	3.8							1	33.3	3	8.6			1	25.0		
	協力的である	1	33.3	1	20.0	1	3.8	2	33.3	3	21.4			2	66.7			3	8.8				
	わからない																						
	NA															1	2.9	11	32.4				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
10-(3)-3	全くその通り			1	20.0	1	3.8			4	28.6					3	8.6	2	5.9	2	50.0		
	留学生に対す			1	20.0	3	11.5									10	28.6	5	14.7			2	25.0
	る民間の奨学	2	66.7			7	26.9			4	28.6					8	22.9	9	26.5			2	25.0
	金制度が充実															2	5.7	1	2.9	1	25.0		
	している			1	20.0	3	11.5									2	5.7	1	2.9	1	25.0		
	わからない	1	33.3	2	40.0	12	46.2	6	100.0	6	42.9			2	66.7	11	31.4	6	17.6	1	25.0	4	50.0
	NA													1	33.3	1	2.9	11	32.4				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
[宿舎条件一	1 位	1	33.3	2	40.0	1	3.8	2	33.3	5	35.7			1	33.3	10	28.6	11	32.4				
希望の順位]	2 位			2	40.0	4	15.4	3	50.0	2	14.3			1	33.3	12	34.3	4	11.8			2	25.0
10-(4)-A-1	3 位					13	50.0	1	16.7	1	7.1					2	5.7	5	14.7	2	50.0	1	12.5
大学付属の寮	4 位	1	33.3	1	20.0	5	19.2			1	7.1					6	17.1	3	8.8	1	25.0	2	25.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域												別									
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
10-(4)-A-2	外国人用宿舍	1	33.3			3	11.5			5	35.7			1	33.3	5	14.3	11	32.4	1	25.0	3	37.5
	1位			2	40.0	2	7.7	2	33.3	1	7.1			1	33.3	9	25.7	5	14.7				
	2位	1	33.3	2	40.0	4	15.4	2	33.3	4	28.6			1	33.3	5	14.3	7	20.6	1	25.0		
	3位			1	20.0	6	23.1	1	16.7	3	21.4					10	28.6	4	11.8	1	25.0	3	37.5
	4位	1	33.3			11	42.3	1	16.7					1	33.3	5	14.3	6	17.6	1	25.0	2	25.0
	NA	1	33.3			3	11.5			6	42.9					6	17.1	12	35.3	1	25.0	3	37.5
10-(4)-A-3	民間アパート	1	33.3	1	20.0	10	38.5	1	16.7	1	7.1					5	14.3	3	8.8	3	75.0	3	37.5
	1位			7	26.9	2	33.3	2	14.3	2	14.3					8	22.9	7	20.6			1	12.5
	2位	1	33.3	3	60.0	2	7.7	3	50.0	3	21.4			1	33.3	11	31.4	9	26.5				
	3位			1	20.0	4	15.4			2	14.3			1	33.3	6	17.1	3	8.8			1	12.5
	4位	1	33.3			3	11.5			6	41.9			1	33.3	5	14.3	12	35.3	1	25.0	3	37.5
	NA	1	33.3			10	38.5	1	16.7	2	14.3			1	33.3	8	22.9	4	11.8			2	25.0
10-(4)-A-4	日本人の家庭	1	33.3	1	20.0	8	30.8	1	16.7							4	11.4	3	8.8	2	50.0	2	50.0
	1位			2	7.7	2	7.7	1	7.1	1	7.1			1	33.3	7	20.0	3	8.8			1	12.5
	2位	1	33.3	3	60.0	3	11.5	4	66.7	4	28.6			1	33.3	10	28.6	12	35.3	1	25.0		
	3位			3	60.0	3	11.5			7	50.0			1	33.3	6	17.1	12	35.3	1	25.0	3	37.5
	4位	1	33.3			3	11.5																
	NA	1	33.3			3	11.5																
10-(4)-B	外国人留学生だけ	1	33.3					2	33.3	1	7.1					3	8.6	6	17.6				
	留学生だけか	1	33.3	5	100.0	23	88.5	4	66.7	9	64.3			2	66.7	27	77.1	16	47.1	3	75.0	7	87.5
	日本人と一緒に	1	33.3			3	11.5			4	28.6			1	33.3	5	14.3	12	35.3	1	25.0	1	12.5
	日本人と一緒に	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
	か	2	66.7	5	100.0	24	92.3	6	100.0	9	64.3			3	100.0	30	85.7	22	64.7	2	50.0	6	75.0
10-(4)-C	個室がない	1	33.3			2	7.7			1	7.1					5	14.3	10	29.4	2	50.0	1	12.5
	個室か共用か	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
	個室か共用か	2	66.7	5	100.0	24	92.3	6	100.0	9	64.3			1	33.3	30	85.7	22	64.7	2	50.0	6	75.0
	個室がない	1	33.3			2	7.7			4	28.6					5	14.3	10	29.4	2	50.0	1	12.5
	他人と共用がない	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
	NA	1	33.3			3	11.5																
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
VI. 日本経済の発展について																							
12-(1)教育制度	(総計)	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
12-(1)-A	その通り			3	60.0	13	50.0	3	50.0	3	21.4			1	33.3	19	54.3	9	26.5	1	25.0	4	50.0
	義務教育年限	2	66.7			8	30.8	3	50.0	1	7.1			2	66.7	9	25.7	11	32.4			4	50.0
	その通りかと思えば																						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																					
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
が6・3制で十分に長いこと	そうは思わない	1	33.3	2	40.0	3	11.5			4	28.6					6	17.1	4	11.8	2	50.0		
	なんともいえない					1	3.8			2	14.3							2	5.9	1	25.0		
	わからない									3	21.4					1	2.9	5	14.7				
	NA					1	3.8			1	7.1							3	8.8				
12-(1)-B 義務教育での中途退学(drop out)が少ないこと	その通り			4	80.0	7	26.9			3	21.4					17	48.6	5	14.7	1	25.0	4	50.0
	どちらかといえば	3	100.0			9	34.6			1	7.1			1	33.3	12	34.3	9	26.5	1	25.0	2	25.0
	そうは思わない			1	20.0	1	3.8	1	16.7	2	14.3			1	33.3			4	11.8	1	25.0		
	なんともいえない					2	7.7			1	7.1					3	8.6	3	8.8	1	25.0	1	12.5
	わからない					5	19.2	5	83.3	3	21.4			1	33.3	3	8.6	9	26.5			1	12.5
	NA					2	7.7			4	28.6							4	11.8				
12-(1)-C 義務教育の教育内容が充実していること	その通り	2	66.7	3	60.0	8	30.8	1	16.7	4	28.6			1	33.3	14	40.0	11	32.4	1	25.0	2	25.0
	どちらかといえば	1	33.3	2	40.0	8	30.8	1	16.7	2	14.3			1	33.3	11	31.4	10	29.4	2	50.0	1	12.5
	そうは思わない					4	15.4	1	16.7							2	5.7			1	25.0	1	12.5
	なんともいえない					1	3.8	1	16.7					1	33.3	3	8.6						
	わからない					3	11.5	2	33.3	7	50.0					4	11.4	8	23.5			3	37.5
	NA					2	7.7			1	7.1					1	2.9	5	14.7			1	12.5
12-(1)-D 高等学校以上の高等教育への進学率が高いこと	その通り	2	66.7	4	80.0	17	65.4	2	33.3	7	50.0			2	66.7	20	57.1	14	41.2	2	50.0	4	50.0
	どちらかといえば	1	33.3	1	20.0	5	19.2	4	66.7	1	7.1					11	31.4	11	32.4	1	25.0	2	25.0
	そうは思わない					2	7.7			2	14.3					2	5.7	1	2.9	1	25.0	1	12.5
	なんともいえない															2	5.7						
	わからない					1	3.8			3	21.4			1	33.3			4	11.8			1	12.5
	NA					1	3.8			1	7.1							4	11.8				
12-(1)-E 高等学校以上の高等教育への、女子の進学率が高いこと	その通り	1	33.3	3	60.0	7	26.9	2	33.3	4	28.6			1	33.3	13	37.1	2	5.9	2	50.0	3	37.5
	どちらかといえば																						
	そうは思わない	2	66.7	1	20.0	9	34.6	1	16.7	3	21.4			1	33.3	12	34.3	12	35.3			1	12.5
	なんともいえない			1	20.0	7	26.9	2	33.3	3	21.4			1	33.3	4	11.4	6	17.6	2	50.0	2	25.0
	わからない															4	11.4	3	8.8			1	12.5
	NA					2	7.7	1	16.7	2	14.3					1	2.9	8	23.5			1	12.5
				1	3.8					2	14.3					1	2.9	3	8.8				



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
の国民的関心 が高いこと	わからない NA					3	11.5			4	28.6			1	33.3	1	2.9	6	17.6				
12-(1)-K 高等教育を受け ることが、 立身出世の条 件として考え られてきたこと	その通り どちら向きに思えば そうは思わない なんともいえない わからない NA	3	100.0	4	80.0	24	92.3	5	83.3	6	42.9			2	66.7	25	71.4	14	31.2	2	50.0	5	62.5
				1	20.0	1	3.8	1	16.7	4	28.6					7	20.0	7	20.6	1	25.0	2	25.0
										1	7.1					3	8.6	8	23.5	1	25.0	1	12.5
														1	33.3								
						1	3.8			3	21.4							2	5.9				
																		3	8.8				
12-(1)-L 個人的な能力さえ あれば社会的指導 者になれるという 社会の体質が進学意 欲を高めているから	その通り どちら向きに思えば そうは思わない なんともいえない わからない NA	2	66.7	1	20.0	11	42.3	3	50.0	3	21.4			2	66.7	14	40.0	14	41.2			3	37.5
		1	33.3	2	40.0	7	26.9	2	33.3	6	42.9					15	42.9	10	29.4	3	74.0	4	50.0
				2	40.0	3	11.5	1	16.7							5	14.3	4	11.8	1	25.0	1	12.5
						2	7.7									1	2.9						
						1	3.8			2	14.3			1	33.3			2	5.9				
						2	7.7			3	21.4							4	11.8				
12-(2) 人口 12-(2)-A 人口の規模が一 億人を超えてお り大規模生産が できるようになった こと	(総計) その通り どちら向きに思えば そうは思わない なんともいえない わからない NA	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
				1	20.0	11	42.3	2	33.3	1	7.1			2	66.7	10	28.6	7	20.6			3	37.5
		1	33.3	1	20.0	8	30.8	1	16.7	3	21.4			1	33.3	16	45.7	8	23.5	2	50.0	2	25.0
		1	33.3	2	40.0	4	15.4	2	33.3	4	28.6					6	17.1	17	50.0	1	25.0	3	37.5
						1	3.8	1	16.7	4	28.6					1	2.9			1	25.0		
				1	20.0	1	3.8			2	14.3					2	5.7	1	2.9				
		1	33.3			1	3.8											1	2.9				
12-(2)-B 人口増加率が低 く、子供の扶養 負担が小さかった こと	その通り どちら向きに思えば そうは思わない なんともいえない わからない NA	2	66.7	2	40.0	9	34.6	3	21.4					2	66.7	14	40.0	4	11.8	2	50.0	2	25.0
				1	20.0	7	26.9	4	66.7	4	28.6					14	40.0	15	44.1	1	25.0		
				2	40.0	3	11.5	1	16.7	2	14.3					4	11.4	11	32.4	1	25.0	3	37.5
						5	19.2									2	5.9	1	2.9			1	12.5
								1	16.7	5	35.7			1	33.3	1	2.9	2	5.9			2	25.0
		1	33.3			2	7.7											1	2.9				
12-(2)-C その通り		1	33.3	4	80.0	15	57.7	3	50.0	5	35.7			2	66.7	23	65.7	13	38.2	3	75.0	5	62.5

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																							
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	どちらかといえばその通りと思う	1	33.3			6	23.1	3	50.0	6	42.9					7	20.0	13	38.2			1	12.5		
	そうは思わない			1	20.0	1	3.8			1	7.1			1	33.3	1	2.9	4	11.8			1	12.5		
	なんともいえない															2	5.7								
	わからない					2	7.7			1	7.1					2	5.7	3	8.8	1	25.0	1	12.5		
	NA	1	33.3			2	7.7			1	7.1							1	2.9						
12-(2)-D	出生率(総計)	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0					3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
12-(2)-D-1 家族計画の考え方が普及しているから	その通りと思う			5	100.0	10	38.5	3	50.0	8	57.1					1	33.3	22	62.9	19	55.9	3	75.0	4	50.0
	どちらかといえばその通りと思う	2	66.7			8	30.8	2	33.3	5	35.7					1	33.3	9	25.7	9	26.5	1	25.0	2	25.0
	そうは思わない					1	3.8											4	11.4	2	5.9				
	なんともいえない					2	7.7																		
	わからない					3	11.5	1	16.7											3	8.8			2	25.0
	NA	1	33.3			2	7.7			1	7.1					1	33.3			1	2.9				
12-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	その通りと思う					5	19.2			2	14.3							8	22.9	3	8.8	1	25.0	2	25.0
	どちらかといえばその通りと思う	1	33.3	1	20.0	8	30.8	1	16.7							2	66.7	14	40.0	6	17.6	2	50.0	2	25.0
	そうは思わない			4	80.0	6	23.1	2	33.3	8	57.1							10	28.6	14	41.2			2	25.0
	なんともいえない					2	7.7											2	5.7	1	2.9	1	25.0	1	12.5
	わからない	1	33.3			3	11.5	3	50.0	4	28.6					1	33.3	1	2.9	2	5.9			1	12.5
	NA	1	33.3			2	7.7												8	23.5					
12-(2)-D-3 優生保護法で産児制限が合法化されているから	その通りと思う					8	30.8	2	33.3	1	7.1					1	33.3	8	22.9	3	8.8	1	25.0	1	12.5
	どちらかといえばその通りと思う	1	33.3	1	20.0	4	15.4			1	7.1							14	40.0	10	29.4	2	50.0	2	25.0
	そうは思わない			2	40.0	7	26.9			2	14.3					1	33.3	6	17.1	8	23.5			2	25.0
	なんともいえない			2	40.0	1	3.8	1	16.7	1	7.1							3	8.6						
	わからない	1	33.3			5	19.2	3	50.0	8	57.1							4	11.4	8	23.5	1	25.0	3	37.5
	NA	1	33.3			1	3.8			1	7.1					1	33.3			5	14.7				
12-(2)-D-4 社会保障制度の整備などにより老後を子供に頼ろうと	その通りと思う					3	11.5	1	16.7	1	7.1							8	22.9	10	29.4			1	12.5
	どちらかといえばその通りと思う	1	33.3	2	40.0	5	19.2			1	7.1					1	33.3	16	45.7	11	31.4	2	50.0	1	12.5
	そうは思わない			2	40.0	5	19.2	1	16.7	5	35.7					1	33.3	4	11.4	4	11.8			2	25.0
	なんともいえない					3	11.5											4	11.4	1	2.9			2	25.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地 域 別																					
		北 米		南 米		西 欧		東 欧		中 東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
いう考えが国民の間に少なくなったから	わからない	1	33.3	1	20.0	7	26.9	4	66.7	7	50.0			1	33.3	3	8.6	3	8.8	2	50.0	2	25.0
	NA	1	33.3			3	11.5											5	14.7				
12-(2)-E 1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、これに1960年代の日本の経済成長を支えた	その通りと思う					10	38.5			2	14.3			2	66.7	11	31.4	4	11.8	2	50.0	3	37.5
	どちらかといえば	1	33.3	2	40.0	6	23.1	3	50.0	7	50.0					13	37.1	6	17.6	1	25.0	4	50.0
	そうは思わない	1	33.3	3	60.0	2	7.7	1	16.7	2	14.3					6	17.1	8	23.5			1	12.5
	なんともいえない					2	7.7	1	16.7	1	7.1			1	33.3	2	5.7	4	11.8				
	わからない					4	15.4	1	16.7	2	14.3					3	8.6	8	23.5	1	25.0		
NA	1	33.3			2	7.7											4	11.8					
12-(2)-F 最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長を今後低下させるであろう	その通りと思う					2	7.7							1	33.3	6	17.1	1	2.9			1	12.5
	どちらかといえば			1	20.0	9	34.6	1	16.7	2	14.3			1	33.3	2	5.7	5	14.7	2	50.0		
	そうは思わない	1	33.3	3	60.0	8	30.8	4	66.7	8	57.1					23	65.7	22	64.7	1	25.0	4	50.0
	なんともいえない			1	20.0	3	11.5			3	21.4			1	33.3	4	11.4	2	5.9	1	25.0	1	12.5
	わからない	1	33.3			2	7.7	1	16.7	1	7.1							3	8.8			1	12.5
NA	1	33.3			2	7.7											1	2.9			1	12.5	
12-(3)労働制度	(総計)	3	100.0	5	100.0	21	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	29	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
12-(3)-A 日本人は本来勤勉で労働の密度が高いこと	その通りと思う	2	66.7	4	80.0	17	65.4	6	100.0	12	85.7			1	33.3	25	71.4	26	76.5	3	75.0	5	62.5
	どちらかといえば	1	33.3			5	19.2			1	7.1			1	33.3	8	22.9	6	17.6			1	12.5
	そうは思わない			1	20.0	1	3.8													1	25.0	2	25.0
	なんともいえない					2	7.7											1	2.9				
NA					1	3.8			1	7.1			1	33.3	2	5.7	1	2.9					
12-(3)-B 日本には身分意識が少く上下の差別なくよく働くから	その通りと思う			2	40.0	2	11.5	2	33.3	4	28.6			1	33.3	10	28.6	15	44.1	1	25.0	1	12.5
	どちらかといえば	1	33.3			7	26.9	2	33.3	5	35.7			1	33.3	11	31.4	7	20.6			2	25.0
	そうは思わない	2	66.7	2	40.0	8	30.8			2	14.3					10	28.6	10	29.4	3	75.0	3	37.5
	なんともいえない			1	20.0	4	15.4	2	33.3							2	5.7					1	12.5
	わからない					1	3.8			2	14.3			1	33.3							1	12.5
NA					3	11.5			1	7.1					2	5.7	2	5.9					
12-(3)-C	その通りと思う			2	40.0	16	61.5	2	33.3	5	35.7			1	33.3	15	42.9	4	11.8	3	75.0	2	25.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																					
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	どちらかといえば	3	100.0	1	20.0	5	19.2	1	16.7	6	42.9			1	33.3	12	34.3	12	35.3	1	25.0	2	25.0
	そうは思わない			2	40.0	2	7.7			2	14.3					5	14.3	8	23.5			3	37.5
	なんともいえない																	3	8.8				
	わからない					2	7.7	3	50.0	1	7.1			1	33.3	1	2.9	4	11.8			1	12.5
	NA			1	3.8											2	5.7	3	8.8				
12-(3)-D 労働組合が企業制組合であり、ストライキが少ないから	その通りと思う	1	33.3	2	40.0	16	61.5	2	33.3	3	21.4			1	33.3	10	28.6	6	17.6	3	75.0	3	37.5
	どちらかといえば	2	66.7	2	40.0	4	15.4	3	50.0	6	42.9			2	66.7	13	37.1	14	41.2			2	25.0
	そうは思わない			1	20.0	2	7.7			2	14.3					8	22.9	7	20.6				
	なんともいえない					2	7.7	1	16.7	1	7.1					1	2.9	2	5.9			1	12.5
	わからない									2	14.3					1	2.9	2	5.9	1	25.0	2	25.0
	NA					2	7.7									2	5.7	3	8.8				
12-(4)経済と人的能力																							
「人的能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方は同意しますか	その通りだ	2	66.7	4	80.0	22	84.6	5	83.3	13	92.9			3	100.0	27	77.1	28	82.4	3	75.0	5	62.5
	必ずしもそうだとは思わない	1	33.3	1	20.0	3	11.5			1	7.1					6	17.1	5	14.7			3	37.5
	まちがっている															1	2.9				1	25.0	
	なんともいえない																						
	わからない									1	16.7												
	NA					1	3.8									1	2.9	1	2.9				
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
13. 家族について																							
13-1 父親の職業	公務員	1	33.3					1	16.7							2	5.7	4	11.8				
	教師													1	33.3	2	5.7	1	2.9				
	会社員			2	40.0	3	11.5			2	14.3					5	14.3					2	25.0
	自由業					1	3.8																
	農業			1	20.0	2	7.7											4	11.8				
	商業					2	7.7									2	5.7						
	その他					1	3.8	1	16.7	1	7.1					1	2.9				1	25.0	
	無職・無回答	2	66.7	2	40.0	17	65.4	11	66.7	11	78.6			2	66.7	23	65.7	25	72.5	3	75.0	6	75.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	地域別																					
		北米		南米		西欧		東欧		中東		アフリカ		南アジア		東南アジア		東アジア		その他		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	14	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0
13-2 男子の数	1人	2	66.7	3	60.0	12	46.2	3	50.0	4	28.6			1	33.3	8	22.9	10	29.4			1	12.5
	2人	1	33.3			7	26.9	2	33.3	2	14.3					4	11.4	11	32.4	2	50.0	4	50.0
	3人			2	40.0	1	3.8	1	16.7	3	21.4					12	34.3	5	14.7				
	4人									3	21.4					10	28.6	2	5.9	1	25.0		
	5人以上 無回答の人					2	7.7			1	7.1			1	33.3	1	2.9	2	5.9			1	12.5
				4	15.4			1	7.1					1	33.3			4	11.8	1	25.0	2	25.0
13-3 女子の数	1人	1	33.3	3	60.0	10	38.5	1	16.7	4	28.6			2	66.7	5	14.3	6	17.6			3	37.5
	2人	1	33.3	2	40.0	7	26.9	1	16.7	4	28.6			1	33.3	8	22.9	8	23.5	1	25.0		
	3人	1	33.3			4	15.4			2	14.3					7	20.0	3	8.8	1	25.0		
	4人									1	7.1					3	8.6						
	5人以上 無回答、0人					5	19.2	4	66.7	3	21.4					8	22.9	17	50.0	2	50.0	5	61.5
13-4 家族に海外留 学の体験があ るか	ある	1	33.3	1	20.0	6	23.1	2	33.3	9	64.3			1	33.3	17	48.6	5	14.7	2	50.0	1	12.5
	ない	1	33.3	3	60.0	18	69.2	4	66.7	4	28.6			1	33.3	17	48.6	26	76.5	2	50.0	4	50.0
	NA	1	33.3	1	20.0	2	7.7			1	7.1			1	33.3	1	2.9	3	8.8			3	37.5
	計	3	100.0	5	100.0	26	100.0	6	100.0	14	100.0			3	100.0	35	100.0	34	100.0	4	100.0	8	100.0

B-IV 元留学生アンケート集計表（専攻別）

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻												別										
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A				
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
I. 教育歴	1-(1)	1	年	7	14.6	8	34.8	3	23.1			4	80.0	7	50.0	2	28.6	1	50.0	4	44.4	5	41.7	
		2	"	19	39.6	4	17.4	4	30.8	2	40.0			3	21.4	1	14.3			2	22.2	2	16.7	
		3	"	7	14.6	5	21.7	2	15.4	1	20.0	1	20.0	1	7.1					2	22.2	3	25.0	
		4	"	3	6.3	4	17.4	2	15.4	2	40.0													
		5	"	5	10.4			1	7.7										1	50.0			1	8.3
		6	"	1	2.1	1	4.3																	
		7	"	4	8.3	1	4.3																	
		8	"	2	4.2			1	7.7															
		9	"																					
		10	"																					
		11	"												1	7.1								
		12	"												1	7.1								
		13	"												1	7.1								
	NA													1	7.1							1	8.3	
	計			48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
I-(2)-1	学部	20	20.8	4	17.4	2	15.4	1	20.0	4	80.0	4	80.0	4	28.6	2	28.6	1	50.0	3	33.3	2	16.7	
	大学院	38	79.2	19	82.6	11	84.6	4	80.0	1	20.0	1	20.0	10	71.4	5	71.4	1	50.0	6	66.6	6	50.0	
	NA																					4	33.3	
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
I-(2)-2	国・公立	45	93.8	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	5	100.0	12	85.7	5	71.4	2	100.0	8	88.9	8	66.7	
	私立	3	6.3											2	14.3	2	28.6			1	11.1			
	NA																					4	33.3	
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
1-(3) 専門分野	理 工 農 学 医・薬学 その他理科 日本語 人文・社会 経営・経済 政治・法律 その他文科 NA 計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
1-(4)-1 日本留学で学位 を取得した年限 —学士—	1 年 2 年 3 年 4 年 5年以上 NA 計	1	10.0			1	100.0			1	100.0										
		7	70.0	1	100.0							1	100.0	1	100.0				1	100.0	
		2	20.0																		
	計	10	100.0	1	100.0	1	100.0			1	100.0	1	100.0	1	100.0				1	100.0	
1-(4)-2 —修士—	1 年 2 年 3 年 4 年 5年以上 NA 計	1	5.6	4	100.0	1	100.0	2	100.0	1	100.0	2	66.7	2	100.0	1	100.0	3	100.0	2	100.0
		16	88.9									1	33.3								
		1	5.6																		
	計	18	100.0	4	100.0	1	100.0	2	100.0	1	100.0	3	100.0	2	100.0	1	100.0	3	100.0	2	100.0
1-(4)-3 —博士—	1 年 2 年 3 年	1	14.3			1	11.1													1	50.0
		1	14.3	1	11.1																
		3	42.9	7	77.8	5	55.6														

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻別																							
		理工		農学		医学		その他理学		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A.					
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
	4年	2	28.6	1	11.1	3	33.3	1	50.0																
	5年																							1	50.0
	6年																								
	7年																								
	8年																								
	9年							1	50.0																
	10年以上																								
	NA																								
	計	7	100.0	9	100.0	9	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	2	100.0
1-(5)-A	日本語	7	33.3					2	100.0	1	100.0	1	100.0												
	英 語	11	52.4	4	100.0	1	100.0																		
	その他	3	14.3																						
	計	21	100.0	4	100.0	1	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	3	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	4	100.0	2	100.0
1-(5)-B	日本語	2	20.0	2	20.0	2	22.2	2	100.0																
	英 語	6	60.0	8	80.0	7	77.8																		
	その他	2	20.0																						
	計	10	100.0	10	100.0	9	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	1	50.0	3	75.0	4	80.0	2	100.0
1-(6)-A	指示された							1	50.0	1	100.0	1	100.0	1	25.0	1	33.3	1	100.0	1	20.0				
	指示されなかった	22	100.0	5	100.0	1	100.0	1	50.0																
	計	22	100.0	5	100.0	1	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0	4	100.0	3	100.0	1	100.0	5	100.0	4	80.0	2	100.0
1-(6)-B	指示された							2	22.2																
	指示されなかった	10	100.0	10	100.0	7	77.8	1	100.0																
	計	10	100.0	10	100.0	9	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	3	100.0	3	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0
1-(7)	無			2	8.7			1	20.0																
	有	47	97.9	21	91.3	13	100.0	4	80.0	5	100.0	5	100.0	13	92.9	7	100.0	1	50.0	8	88.9	7	58.3		
	NA	1	2.1																						
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	9	100.0	12	100.0
1-(7)-B	母国の政府奨学金	4	8.5																						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻別																							
		理工		農学		医学		理学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
奨学金の 種類別	母国の民間団体奨学金 日本の文部省奨学金 日本の私費留學生奨学金 日本の地方自治体奨学金 その他 NA 計	43	91.5	21	100.0	13	100.0	4	100.0	4	100.0	4	80.0	13	100.0	6	85.7	1	100.0	8	100.0	7	100.0		
		47	100.0	21	100.0	13	100.0	4	100.0	4	100.0	5	100.0	13	100.0	7	100.0	1	14.3	7	100.0	8	100.0	7	100.0
2. 留学体験																									
2-(2)-A どの国(地域)でしたか	ない	42	87.5	19	82.6	11	84.6	5	100.0	5	100.0	5	100.0	11	78.6	5	71.4	2	100.0	2	100.0	8	88.9	8	66.7
	ある	6	12.5	4	17.4	2	15.4							3	21.4	2	28.6			1	11.1	3	25.0	3	25.0
	NA																								
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
		1	16.7	2	50.0									1	33.3	1	50.0								
2-(2)-B 留学期間は 何年でしたか	北米	3	50.0			1	50.0																		
	南米	1	16.7	2	50.0	1	50.0																		
	西欧																								
	東欧																								
	中東	1	16.7			1	50.0																		
2-(2)-B 留学期間は 何年でしたか	アフリカ																								
	南アジア																								
	東南アジア																								
	東アジア	1	16.7																						
	その他	6	100.0	4	100.0	2	100.0	2	100.0					2	66.7	3	100.0	2	100.0			1	100.0	3	100.0
計	1	16.7	1	25.0									1	33.3	2	100.0	2	100.0			1	100.0	1	100.0	
1年	1	16.7	1	25.0																					
2年	1	16.7																							
3年			1	25.0																					





質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻別																			
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A 実数 (%)	
		実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)			
	その他文科 NA 計	1 1 5	20.0 20.0 100.0							1 3	33.3 100.0	1 2	50.0 100.0						1 2	50.0 100.0	
3-(2)-F そこで奨学金 取得	ない ある NA 計	1 3 1 5	20.0 60.0 20.0 100.0							1 1 1 3	33.3 33.3 33.3 100.0	2 2	100.0 66.7						1 1	50.0 50.0	
4. 再留学の理由																					
	日本の学位は、母国では高く評価されぬ 専門研究水準は、日本より他国が高い 日本留学期間の再延長が認められず 日本での研究成果は母国では活用されず 専門研究領域の拡大、深化の必要 日本の大学は最新の研究成果を開放せず 母国政府、大学からの再留学の要請 その他 NA (複数回答)	2 1 3 5	40.0 20.0 60.0 100.0							1 3	33.3 100.0								1 2 1 3	33.3 66.7 33.3 100.0	
5. 再留学は、目的を達成したか																					
5.	目的は達成された 一応成果あり 期待通りでない なんともいえない NA 計	1 1 2 1 5	20.0 20.0 40.0 20.0 100.0							1 1 1 1 3	33.3 33.3 33.3 33.3 100.0	1 1	50.0 50.0						1 1	50.0 50.0	
II. 日本留学への評価																					
6. 日本留学の成果と仕事について																					
6-(1)-A	政府行政機関	4	8.3	2	8.7	1	7.7	1	20.0	1	20.0	1	7.1	2	28.6	1	50.0	2	22.2	3	25.0

専 攻 別

質問(項目)番号 質問内容	理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日 本 語		人 文・社 会		経 営・経 済		政 治・法 律		そ の 他 文 系		N.A 実数 (%)	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
	1	2.1	4	17.4	9	69.2	1	20.0	3	60.0	3	21.4	1	14.3	1	14.3	3	33.3		1
就職先 (現在)	29	60.4	14	60.9	1	7.7	3	60.0	3	60.0	2	14.3	1	14.3	1	50.0	3	33.3	5	41.7
試験研究機関	1	2.1	4	17.4			1	20.0											1	8.3
その他教育機関	3	6.3			1	7.7					1	7.1							3	33.3
日本系民間企業	3	6.3									1	7.1							3	33.3
その他の国と の合弁企業	4	8.3	1	4.3							1	7.1							1	8.3
母国系民間企業	2	4.2			1	7.7					3	21.4							1	11.1
自営業	1	2.1	2	8.7	1	7.7			1	20.0	2	14.3								
その他	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
NA																				
計	26	54.2	19	82.6	10	76.9	4	80.0	4	80.0	4	28.6			1	50.0	4	44.4	11	91.7
6-(1)-E 直務に活用で いる	20	41.7	4	17.4	1	7.7	1	20.0	1	20.0	5	35.7			1	50.0	3	33.3	1	8.3
その仕事で、 日本留学の成果 を活用できて いるか	1	2.1			1	7.7			1	20.0	2	14.3							2	22.2
NA	1	2.1			1	7.7			1	20.0	3	21.4								
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
6-(2) 転職の有無	44	91.7	20	87.0	11	84.6	5	100.0	3	60.0	10	71.4	3	42.9	2	100.0	8	88.9	8	66.7
ない	4	8.3	2	8.7	1	7.7			1	20.0	1	7.1	4	57.1			1	11.1	4	33.3
ある	NA		1	4.3	1	7.7			1	20.0	3	21.4								
NA	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
計	2	50.0	2	100.0	1	100.0			1	100.0	1	100.0	3	75.0					2	50.0
6-(2)-B 転職の回数は	2	50.0																	1	25.0
1回	3																		1	25.0
2回	NA																			
3回	4	100.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	4	100.0
NA																				
計	4	100.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	1	100.0	4	100.0	1	100.0	1	100.0	4	100.0
6-(3)現在の仕事に、 第本留学体験、 知識、研究は活用されているか	30	62.5	19	82.6	7	53.8	4	80.0	4	80.0	6	42.9	5	71.4			5	55.6	8	66.7
(A. 仕事の面では)	6-(3)-A-1	大いに利用																		

質問(項目)番号 質問内容	専 攻										別											
	理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A			
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)																
大学での研究 成果に関連して	11	22.9	4	17.4	4	30.8	1	20.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3	2	100.0	1	11.1				
	7	14.6									3	21.4	1	14.3			2	22.2		1	8.3	
NA					2	15.4					3	21.4					1	11.1		3	25.0	
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0		7	100.0	2	100.0		9	100.0	12	100.0
6-(3)-A-2 取得した技術	21	43.8	18	78.3	5	38.5	4	80.0	4	80.0	3	21.4	2	28.6			4	44.4		6	50.0	
それほど利用せず	17	35.4	3	13.0	3	23.1	1	20.0			3	21.4	1	14.3	1	50.0	2	22.1		1	8.3	
	6	12.5	1	4.3	2	15.4					1	7.1	2	28.6			1	11.1		1	8.3	
NA	2	4.2								1	20.0	3	21.4			1	11.1		1	8.3		
計	2	4.2	1	4.3	3	23.1					4	28.6	2	28.6			1	11.1		2	16.7	
48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0		7	100.0	2	100.0		9	100.0	12	100.0	
6-(3)-A-3 日本語の能力 について	24	50.0	10	43.5	6	46.2	5	100.0	5	100.0	6	42.9	1	14.3	1	50.0	3	33.3		5	41.7	
それほど利用せず	8	16.7	7	30.4	2	15.4					2	14.3	5	71.4			1	11.1		3	25.0	
	24	29.2	4	17.4	2	15.4					3	21.4	1	14.3	1	50.0	5	55.6		3	25.0	
NA	1	2.1	1	4.3							3	21.4								1	8.3	
計	1	2.1	1	4.3	3	23.1					3	21.4										
48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0		7	100.0	2	100.0		9	100.0	12	100.0	
6-(3)-A-4 日本の大学スタ ッフとの交流に 関連して	22	45.8	12	52.2	5	38.5	3	60.0	3	60.0	3	21.4	1	14.3			2	22.2		4	33.3	
それほど利用せず	11	22.9	5	21.7	1	7.7	2	40.0	1	20.0	2	14.3	3	42.9						4	33.3	
	11	22.9	5	21.7	3	23.1					3	21.4	1	14.3	2	100.0	3	33.3		1	8.3	
NA	2	4.2			1	7.7					2	14.3	1	14.3			2	22.2		1	8.3	
計	2	4.2	1	4.3	3	23.1					4	28.6	1	14.3			2	22.2		2	16.7	
48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0		7	100.0	2	100.0		9	100.0	12	100.0	
6-(3)-A-5 日本の企業との 交流に関連して	5	10.4	7	30.4	2	15.4	1	20.0	1	20.0				2	28.6					3	25.0	
それほど利用せず	12	25.0	7	30.4	2	15.4	1	20.0	1	20.0				1	14.3	1	50.0		1	11.1	1	8.3
	21	43.8	8	34.8	6	46.2	3	60.0	3	60.0	6	42.9	2	28.6			3	33.3		3	25.0	
NA	6	12.5								4	28.6	1	14.3	1	50.0	3	33.3		3	33.3	1	8.3
計	4	8.3	1	4.3	3	23.1					4	28.6	1	14.3			2	22.2		2	16.7	
48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0		7	100.0	2	100.0		9	100.0	12	100.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
6-(3)-A-6 日本の社会人と の交流に際して	大いに利用 それほど利用せず 全く無関係 なんともいえない NA	23	47.9	9	39.1	3	23.1	2	40.0	3	60.0	6	42.9	7	100.0			4	44.4	5	41.7
		11	22.9	6	26.1	4	30.8	2	40.0	1	20.0	2	14.3			1	50.0	2	22.2	2	16.7
		11	22.9	6	26.1	2	15.4	1	20.0	1	20.0	2	14.3			1	50.0			2	16.7
		1	2.1	1	4.3	1	7.7					1	7.1					1	11.1	1	8.3
		2	4.2	1	4.3	3	23.1					3	21.4					2	22.2	2	16.7
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
(B. 生活の面では)																					
6-(3)-B-1 積極的に採用 一部採用 全く無関係 なんともいえない NA		13	27.1	9	39.1	1	7.7	1	20.0	2	40.0	2	14.3					2	23.2	4	33.3
		26	54.2	11	47.8	6	46.2	4	80.0	2	40.0	10	71.4	4	57.1	1	50.0	6	66.7	6	50.0
		6	12.5			1	7.7			1	20.0			1	14.3			1	11.1	1	8.3
		3	6.3	3	13.0	2	15.4			1	7.1	1	7.1	1	14.3	1	50.0	1	11.1	1	8.3
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
6-(3)-B-2 積極的に採用 一部採用 全く無関係 なんともいえない NA		6	13.5	6	26.1			2	40.0	1	20.0	3	21.4					2	22.2	2	16.7
		24	50.0	7	30.4	3	23.1	1	20.0	2	40.0	7	50.0	3	42.9	1	50.0	3	33.3	7	58.3
		13	27.1	7	30.4	5	38.5	2	40.0	1	20.0	2	14.3	2	28.6			3	33.3		
		5	10.4	3	13.0	2	15.4			1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	50.0	1	11.1	2	16.7
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
6-(3)-B-3 積極的に採用 一部採用 全く無関係 なんともいえない NA		7	14.6	3	13.0	1	7.7	1	20.0	1	20.0	3	21.4	1	14.3			1	11.1	3	25.0
		25	52.1	9	39.1	3	23.1	3	60.0	2	40.0	8	57.1	2	28.6			6	66.7	4	33.3
		10	20.8	7	30.4	6	46.2			2	40.0	1	7.1	2	28.6	1	50.0	1	11.1	2	16.7
		6	12.5	4	17.4	1	7.7	1	20.0			1	7.1	1	14.3	1	50.0	1	11.1	2	16.7
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
7. 帰国後の日本語の使用																					
7-1(1)日本語を使う機会																					

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
7-(1)-A ふだんの生活で	かなり機会あり	16	33.3	5	21.7	1	7.7			2	40.0	4	28.6	2	28.6			4	44.4	1	8.3
	わずかにあり	21	43.8	14	60.9	5	38.5	5	100.0	2	40.0	7	50.0	2	28.6	1	50.0	5	55.6	6	50.0
	全くない	11	22.9	3	13.0	4	30.8					2	14.3	2	28.6	1	50.0			3	25.0
	NA			1	4.3	3	23.1			1	20.0	1	7.1	1	14.3					2	16.7
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
7-(1)-B 勤務先の仕事で	かなり機会あり	15	31.3	5	21.7	2	15.4	1	20.0	4	80.0	4	28.6	1	14.3	1	50.0	3	33.3	4	33.3
	わずかにあり	19	39.6	9	39.1	6	46.2	2	40.0	1	20.0	3	21.4	4	57.1	1	50.0	2	22.2	4	33.3
	全くない	14	29.2	8	34.8	3	23.1	2	40.0			4	28.6	2	28.6			4	44.4	2	16.7
	NA			1	4.3	2	15.4					3	21.4							2	16.7
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
7-(2)日本語を使用する形は																					
7-(2)-A 日本語で会話を する	かなりある	19	39.6	4	17.4	2	15.4			4	80.0	5	35.7	3	42.9			5	55.6	3	25.0
	時にはある	20	41.7	15	65.2	6	46.2	5	100.0	1	20.0	7	50.0	3	42.9	2	100.0	4	44.4	7	58.3
	全くない	8	16.7	3	13.0	2	15.4					1	7.1	1	14.3					1	8.3
	NA	1	2.1	1	4.3	3	23.1					1	7.1							1	8.3
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
7-(2)-B 日本語の文章を 読む	かなりある	21	43.8	6	26.1	7	53.8	5	100.0	5	100.0	7	50.0	2	28.6	1	50.0	4	44.4	3	25.0
	時にはある	21	43.8	10	43.5	3	23.1					5	35.7	3	42.9			5	55.6	5	41.7
	全くない	5	10.4	6	26.1	1	7.7					1	7.1	2	28.6	1	50.0			3	25.0
	NA	1	2.1	1	4.3	2	15.4					1	7.1							1	8.3
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
7-(2)-C 日本語の放送を 聞く	かなりある	7	14.6	4	17.4	1	7.7	1	20.0	1	20.0	3	21.4								
	時にはある	16	33.3	4	17.4	5	38.5	1	20.0	1	20.0			2	28.6	1	50.0	6	66.7	3	25.0
	全くない	23	47.9	14	60.9	4	30.8	2	40.0	3	60.0	10	71.4	5	71.4	1	50.0	3	33.3	7	58.3
	NA	2	4.2	1	4.3	3	23.1	1	20.0			1	7.1							2	16.7
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
7-(2)-D 日本語で文章を	かなりある	7	14.6	3	13.0	2	15.4	1	20.0	2	40.0	1	7.1					1	11.1	2	16.7
	時にはある	27	56.3	14	60.9	5	38.5	3	60.0	1	20.0	8	57.1	2	28.6	1	50.0	7	77.8	3	25.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
書く	全くない NA 計	13	27.1	5	21.7	3	23.1	1	20.0	2	40.0	4	28.6	5	71.4	1	50.0	1	11.1	6	50.0
7-(2)-E 日本語で通訳 をする	かなりある 時にはある 全くない NA 計	19	39.6	14	60.9	4	30.8	5	100.0	2	40.0	10	71.4	2	28.6	1	50.0	4	44.4	4	33.3
		16	33.3	5	21.7	5	38.5			1	20.0	3	21.4	4	57.1	1	50.0	4	44.4	6	50.0
		48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
8. 学位の利用について																					
8-(1) 政府・行政機関 への就職	大いに利用 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	1	2.1	6	26.1	3	23.1	1	20.0	1	20.0	2	14.3	5	71.4	1	50.0			4	33.3
		9	18.8	5	21.7	2	15.4	2	40.0	2	40.0	2	14.3	2	14.3	1	50.0	5	55.6	1	8.3
		14	29.2	3	13.0	3	23.1	2	40.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	50.0	1	11.1	1	8.3
		7	14.6	1	4.3																
		17	35.4	8	34.8	5	38.5	2	40.0	1	20.0	9	64.3	1	14.3	1	50.0	2	22.1	5	41.7
		48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
8-(2) 母国の民間トッ プ企業への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	2	4.2	3	13.0	1	7.7	1	20.0	2	40.0	3	21.4	3	42.9	1	50.0	1	11.1	1	8.3
		12	25.0	4	17.4	1	7.7	2	40.0	2	40.0	2	14.3	1	14.3	1	50.0	4	44.4	1	8.3
		10	20.8	3	13.0	4	30.8	2	40.0	2	40.0	1	7.1	1	14.3	2	22.2	2	22.2	3	25.0
		7	14.6	3	13.0	1	7.7	2	40.0	1	20.0	10	71.4	2	28.6	1	50.0	2	22.2	6	50.0
		17	35.4	10	43.5	6	46.2	2	40.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
		48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
8-(3) 母国にある日本 (または)合弁 企業への就職	大いに有利 ある程度有利 無関係 なんともいえない NA 計	10	20.8	3	13.0	1	7.7			3	60.0	3	21.4	1	14.3	1	50.0	2	22.2	1	8.3
		9	18.8	2	8.7	5	38.5	3	60.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	50.0	3	33.3	2	16.7
		7	14.6	4	17.4	1	7.7	2	40.0	1	20.0	1	7.1	2	28.6	1	50.0	2	22.2	1	8.3
		4	8.3	4	17.4	1	7.7	2	40.0	1	20.0	9	64.3	2	28.6	1	50.0	2	22.2	7	58.3
		18	37.5	10	43.5	6	46.2	2	40.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
		48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0
8-(4)	大いに有利	8	16.7	6	26.1	3	23.1	3	60.0	2	40.0	3	21.4	1	14.3			1	11.1	3	25.0

質問(項目)番号 質問内容	専										攻										別		
	理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A				
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		実数	(%)
研究・教育機関 への就職	ある程度有利	11	22.9	4	17.4	3	23.1	2	40.0	2	40.0	3	21.4	3	42.9	1	50.0	3	33.3	1	8.3	1	8.3
	無関係	11	22.9	2	8.7	1	7.7					1	14.3	1	14.3			1	11.1	1	8.3	1	8.3
	なんともいえない	2	4.2	1	4.3	1	7.7					1	7.1	1	14.3			2	22.2	2	16.7	2	16.7
	NA	16	33.3	10	43.5	5	38.5			1	20.0	7	50.0	1	14.3	1	50.0	2	22.2	2	16.7	5	41.7
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	12	100.0	
8-(5) 高い報酬を得る ため	大いに有利	3	6.3	3	13.0	1	7.7															2	16.7
	ある程度有利	12	25.0	3	13.0					2	40.0	3	21.4	2	28.6			1	11.1	1	8.3	3	25.0
	無関係	14	29.2	4	17.4	5	38.5	3	60.0	2	40.0	2	14.3	3	42.9	1	50.0	4	44.4	4	33.3	2	16.7
	なんともいえない	2	4.2	3	13.0	2	15.4	1	20.0			1	7.1	2	28.6			2	22.2	2	16.7	2	16.7
NA	17	35.4	10	43.5	5	38.5	1	20.0	1	20.0	8	57.1	2	28.6	1	50.0	2	22.2	2	16.7	5	41.7	
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	12	100.0	
8-(6) 社会的威信 の証明	大いに有利	5	10.4	4	17.4	2	15.4			2	40.0	1	7.1	1	14.3			1	11.1	1	8.3	3	25.0
	ある程度有利	11	22.9	5	21.7	2	15.4	3	60.0			2	14.3	2	28.6			1	11.1	1	8.3	3	25.0
	無関係	12	25.0	1	4.3	4	30.8	1	20.0	2	40.0	2	14.3	2	28.6	1	50.0	2	22.2	2	16.7	3	25.0
	なんともいえない	4	8.3	3	13.0	1	7.7					1	7.1	1	14.3			3	33.3	3	25.0	1	8.3
NA	16	33.3	10	43.5	4	30.8	1	20.0	1	20.0	8	57.1	2	28.6	1	50.0	2	22.2	2	16.7	5	41.7	
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	12	100.0	
8-(7) 専門的知識の仕 事での直接的活 用	大いに有利	12	25.0	8	34.8	3	23.1	4	80.0	2	40.0			1	14.3			3	33.3	4	33.3	4	33.3
	ある程度有利	13	27.1	6	26.1	4	30.8			1	20.0	4	28.6	1	14.3	1	50.0	3	33.3	3	25.0	3	25.0
	無関係	7	14.6			1	7.7			1	20.0			3	42.9						2	16.7	
	なんともいえない	1	2.1	1	4.3							1	7.1					1	11.1	1	8.3	1	8.3
NA	15	31.3	8	34.8	5	38.5	1	20.0	1	20.0	9	64.3	2	28.6	1	50.0	2	22.2	2	16.7	5	41.7	
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	12	100.0	
8-(8) 母国発展への寄 与	大いに有利	9	18.8	7	30.4	3	23.1	1	20.0	1	20.0			1	14.3			1	11.1	3	25.0	3	25.0
	ある程度有利	13	27.1	4	17.4	1	7.7	3	60.0	1	20.0	4	28.6			1	50.0	3	33.3	2	16.7	2	16.7
	無関係	6	12.5	2	8.7	2	15.4			2	40.0	1	7.1	3	42.9			1	11.1	1	8.3	1	8.3
	なんともいえない	4	8.3	1	4.3	1	7.7			1	20.0	1	7.1	1	14.3			2	22.2	2	16.7	2	16.7
NA	16	33.3	9	39.1	6	46.2	1	20.0	1	20.0	8	57.1	2	28.6	1	50.0	3	33.3	6	50.0	6	50.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専攻										別										
		理工		農学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
10-(1)日本の大学	10-(1)についての																					
10-(1)-1	全くその通り ある程度同意 日本の大学は概 ね国際的な学術 水準に達してい る	20	41.7	12	52.2	2	15.4	3	60.0	2	40.0	1	7.1	3	42.9			1	11.1	1	8.3	
	NA	19	39.6	4	17.4	7	53.8	1	20.0	1	20.0	6	42.9	3	42.9	2	100.0	4	44.4	6	50.0	
	計	4	8.3	2	8.7	1	7.7			1	20.0	3	21.4	1	14.3			1	11.1	1	8.3	
	NA	1	2.1	1	4.3			1	20.0			2	14.3					1	11.1	1	8.3	
	計	4	8.3	3	13.0	3	23.1	1	20.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3	2	22.2	2	22.2	2	16.7	
10-(1)-2	全くその通り ある程度同意 展途上国の抱え る問題に十分な 関心を持っている	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
	NA	5	10.4	4	17.4			1	20.0			1	7.1	1	14.3					2	16.7	
	計	14	29.2	9	39.1	4	30.8	3	60.0	3	60.0	5	35.7	3	42.9	4	44.4	4	44.4	4	33.3	
	NA	12	25.0	4	17.4	5	38.5	2	40.0	1	20.0	3	21.4	2	28.6	2	22.2	2	22.2	1	8.3	
	計	3	6.3							1	20.0	1	7.1	1	14.3			1	11.1	1	8.3	
	NA	10	20.8	3	13.0	1	7.7	1	20.0	1	20.0	3	21.4	1	14.3	3	25.0	2	22.2	1	8.3	
	計	4	8.3	3	13.0	3	23.1	1	20.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3	2	22.2	2	22.2	1	8.3	
10-(1)-3	全くその通り ある程度同意 日本の大学教授 は留学生問題に 十分な関心を持 っている	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
	NA	21	43.8	8	34.8	2	15.4	1	20.0	1	20.0	3	21.4	2	28.6			1	11.1	5	41.7	
	計	17	35.4	8	34.8	4	30.8	2	40.0	1	20.0	6	42.9	2	28.6	1	50.0	6	66.7	2	16.7	
	NA	5	10.4	3	13.0	3	23.1	1	20.0	2	40.0	4	28.6	3	42.9			1	11.1	1	8.3	
	計	1	2.1	1	4.3							1	7.1	1	14.3	1	50.0	1	11.1	1	8.3	
	NA	4	8.3	3	13.0	3	23.1	1	20.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3	2	22.2	2	22.2	1	8.3	
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
10-(1)-4	全くその通り ある程度同意 日本の大学教授 は留学生の成績 を厳しく評価し ている	8	15.7	3	13.0	1	7.7	3	60.0	2	40.0							1	11.1	3	25.0	
	NA	15	31.3	8	34.8	6	46.2	1	20.0	1	20.0	5	35.7	3	42.9	1	50.0	5	55.6	2	16.7	
	計	8	16.7	2	8.7	1	7.7	1	20.0	1	20.0	3	21.4	2	28.6			1	11.1	3	25.0	
	NA	5	10.4									2	14.3			1	50.0	1	11.1			
	計	7	14.6	6	26.1	2	15.4					3	21.4	2	28.6			2	22.2	2	16.7	





質問(項目)番号 質問内容	攻 別													
	専							別						
	理工	農学	医学	農学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	NA		
実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)		
よくやっている	3	6.3	2	8.7	2	15.4	1	20.0	2	14.3	1	11.1	1	8.3
NA	5	10.4	3	13.0	3	23.1	1	20.0	1	7.1	2	22.2	1	8.3
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	9	100.0
10-(3)留学生の受入れについて														
10-(3)-1 留学生受入れに ある程度同意	13	27.1	5	21.7	1	7.7	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	11.1
同意できない	17	35.4	9	39.1	5	38.5	2	40.0	6	42.9	2	28.6	4	44.4
ランティア活動 は充実している	4	8.3	1	4.3	1	7.7	1	20.0	3	21.4	1	14.3	1	11.1
NA	3	6.3	2	8.7	3	23.1	2	40.0	4	28.6	3	42.9	2	22.2
計	7	14.6	3	13.0	3	23.1	2	40.0	4	28.6	3	42.9	2	22.2
10-(3)-2 全くその通り ある程度同意	4	8.3	3	13.0	3	23.1	2	40.0	5	35.7	2	28.6	2	22.2
同意できない	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	9	100.0
日本人は協力的 である	15	31.3	7	30.4	3	23.1	1	20.0	5	35.7	2	28.6	2	22.2
NA	17	35.4	8	34.8	2	15.4	2	40.0	6	42.9	3	42.9	4	44.4
計	7	14.6	3	13.0	2	15.4	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	11.1
10-(3)-3 留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	5	10.4	2	8.7	4	30.8	1	20.0	2	14.3	1	14.3	1	11.1
NA	4	8.3	2	8.7	2	15.4	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	11.1
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	9	100.0
10-(4)-A-1 [宿舎条件 希望順位]	2	4.2	3	13.0	2	15.4	1	20.0	3	21.4	1	14.3	1	11.1
ある程度同意	11	22.9	4	17.4	1	7.7	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	11.1
同意できない	8	16.7	6	26.1	4	30.8	1	20.0	7	50.0	2	28.6	1	11.1
NA	3	6.3	3	13.0	3	23.1	2	40.0	1	7.1	1	14.3	1	11.1
計	20	41.7	8	34.8	3	23.1	2	40.0	3	21.4	2	28.6	1	11.1
10-(4)-A-1 [宿舎条件 希望順位]	4	8.3	2	8.7	3	23.1	1	20.0	1	7.1	1	14.3	1	11.1
計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	9	100.0
1位	13	27.1	4	17.4	3	23.1	1	20.0	3	21.4	2	28.6	2	22.2
2位	11	22.9	7	30.4	1	7.7	1	20.0	2	14.3	1	14.3	2	22.2
3位	5	10.4	3	13.0	4	30.8	2	40.0	6	42.9	2	28.6	1	11.1

専 攻 別

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																				
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
大学付属の寮	4 位	8	16.7	4	17.4			1	20.0			1	7.1	2	28.6	1	50.0	1	11.1	2	16.7	
	NA	11	22.9	5	21.7	5	38.5	1	20.0	1	20.0	2	14.3			3	33.3	2	16.7			
	1 位	11	22.9	4	17.4	1	7.7	1	20.0			1	7.1	1	14.3			1	11.1	2	16.7	
	2 位	11	22.9	6	26.1	4	30.8					2	14.3	4	57.1							
外国人用宿舎	3 位	8	16.7	6	26.1	3	23.1					3	21.4	2	28.6	1	50.0	3	33.3	3	25.7	
	4 位	7	14.6	2	8.7	1	7.7	3	60.0	4	80.0	5	35.7	1	50.0	1	50.0	2	22.2	3	25.7	
	NA	11	22.9	5	21.7	4	30.8	1	20.0	1	20.0	3	21.4			3	33.3	3	33.3	4	33.3	
	1 位	9	18.8	4	17.4	2	15.4	1	20.0	2	40.0	3	21.4	2	28.6	2	100.0	1	11.1	2	16.7	
民間アパート	2 位	8	16.7	4	17.4	2	15.4	2	40.0			5	35.7	1	14.3			2	22.2	3	25.0	
	3 位	19	39.6	6	26.1	1	7.7	1	20.0	2	40.0	1	7.1	1	14.3			1	11.1	1	8.3	
	4 位	2	4.2	4	17.4	3	23.1					2	14.3	3	42.9			2	22.2	2	16.7	
	NA	10	20.8	5	21.7	5	38.5	1	20.0	1	20.0	3	21.4			3	33.3	3	33.3	4	33.3	
10-(3)-A-4 日本人の家庭	1 位	6	12.5	6	26.1	3	23.1	2	40.0	1	20.0	5	35.7	2	28.6			2	22.2	1	8.3	
	2 位	9	18.8	1	4.3	1	7.7			2	40.0	2	14.3	1	14.3	2	100.0	2	22.2	2	16.7	
	3 位	5	10.4	3	13.0					1	20.0	1	7.1	2	28.6			1	11.1	4	33.3	
	4 位	17	35.4	7	30.4	4	30.8	2	40.0			3	21.4	2	28.6			1	11.1	1	8.3	
10-(4)-B 留学生だけか日 本人と一緒か	NA	11	22.9	6	26.1	5	38.5	1	20.0	1	20.0	3	21.4					3	33.3	4	33.3	
	外国人留学生だけ	8	16.7	2	8.7	1	7.7	1	20.0			1	7.1									
	日本人と一緒	30	62.5	15	65.2	7	53.8	3	60.0	4	80.0	11	78.6	7	100.0	2	100.0	6	66.7	12	100.0	
	本人と一緒か	10	20.8	6	26.1	5	38.5	1	20.0	1	20.0	2	14.3			3	33.3					
10-(4)-C 個室か共用か	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
	個室かよい	37	77.1	17	73.9	9	69.2	3	60.0	4	80.0	12	85.7	7	100.0	2	100.0	6	66.7	12	100.0	
	他人と共用でよい	1	2.1	2	8.7			1	20.0			2	14.3					3	33.3			
	NA	10	20.8	4	1.4	4	30.8	1	20.0	1	20.0	2	14.3									
VI. 日本経済の発展について	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
	個室か共用か	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
12-(1)教育制度	(総計)	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
12-(1)-A	その通り	28	58.3	10	43.5	2	15.4	2	40.0	4	80.0	3	21.4	1	14.3			3	33.3	3	25.0	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																			
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
義務教育年限が 6・3制で十分 に長いこと	どちらかといえば そうは思わない	11	22.9	6	26.1	5	38.5	2	40.0			3	21.4	4	57.1	2	100.0	2	22.2	5	41.7
	そうは思わない	3	6.3	3	13.0	2	15.4			1	20.0	6	42.9	2	28.6			2	22.2	3	25.0
	なんともいえない	2	4.2	2	8.7	1	7.7					1	7.1								
	わからない	3	6.3	1	4.3	2	15.4	1	20.0									1	11.1	1	8.3
	NA	1	2.1	1	4.3	1	7.7					1	7.1					1	11.1		
12-(1)-B 義務教育での中 途退学(drop out)が少ないこ と	その通り	18	37.5	3	13.0	2	15.4			4	80.0	3	21.4	4	57.1			4	44.4	3	25.0
	どちらかといえば そうは思わない	11	22.9	7	30.4			3	60.0			5	35.7	2	28.6	2	100.0	2	22.2	6	50.0
	そうは思わない	3	6.3	2	8.7	4	30.8			1	20.0	1	7.1								
	なんともいえない	4	8.3	2	8.7							2	14.3	1	14.3			1	11.1	1	8.3
	わからない	9	18.8	6	26.1	6	46.2	2	40.0			2	14.3					1	11.1	1	8.3
NA	3	6.3	3	13.0	1	7.7					1	7.1					1	11.1	1	8.3	
12-(1)-C 義務教育の教育 内容が充実して いること	その通り	20	41.7	9	39.1	1	7.7	2	40.0	3	60.0	2	14.3	4	57.1			2	22.2	4	33.3
	どちらかといえば そうは思わない	15	31.3	4	17.4	3	23.1	1	20.0	2	40.0	5	35.7	3	42.9	1	50.0	3	33.3	2	16.7
	そうは思わない	2	4.2	2	8.7	1	7.7					1	7.1					3	33.3		
	なんともいえない			1	4.3	2	15.4					3	21.4								
	わからない	10	20.8	4	17.4	4	30.8	2	40.0			1	7.1			1	50.0			5	41.7
NA	1	2.1	3	13.0	2	15.4					2	14.3					1	11.1	1	8.3	
12-(1)-D 高等学校以上の 高等教育への進 学率が高いこと	その通り	28	58.3	12	52.2	4	30.8	2	40.0	3	60.0	7	50.0	6	85.7	1	50.0	5	55.6	6	50.0
	どちらかといえば そうは思わない	15	31.3	5	21.7	3	23.1	1	20.0	1	20.0	4	28.6	1	14.3	1	50.0	3	33.3	3	25.0
	そうは思わない	2	4.2	2	8.7	1	7.7	2	40.0	1	20.0	1	7.1								
	なんともいえない											1	7.1							1	8.3
	わからない	2	4.2	2	8.7	4	30.8													2	16.7
NA	1	2.1	2	8.7	1	7.7					1	7.1					1	11.1			
12-(1)-E 高等学校以上の 高等教育への、 女子の進学率が	その通り	13	27.1	9	39.1	1	7.7			3	60.0	3	21.4	1	14.3	1	50.0	4	44.4	3	25.0
	どちらかといえば そうは思わない	20	41.7	7	30.4	3	23.1	1	20.0			2	14.3	4	57.1	1	50.0	1	11.1	3	25.0
	そうは思わない	9	18.8	2	8.7	4	30.8	2	40.0	1	20.0	6	42.9	1	14.3			2	22.2	1	8.3
	なんともいえない	1	2.1			1	7.7	1	20.0	1	20.0	1	7.1	1	14.3					2	16.7
	わからない	4	8.3	3	13.0	3	23.1	1	20.0			1	7.1					1	11.1	2	16.7

専 攻 別

質問(項目)番号 質問内容	回答内容		専 攻 別													
	実数	%	理 工	農 学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	N.A				
			実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
12-(1)-F 高等教育の内容が充実していること	1	2.1	2	8.7	1	7.7			1	7.1		1	11.1	1	8.3	
	18	37.5	9	39.1	2	15.4	1	20.0	2	40.0	3	21.4	5	71.4	4	33.3
	18	37.5	5	21.7	5	38.5	1	20.0			4	28.6	1	14.3	4	33.3
	4	8.3	1	4.3	2	15.4	1	20.0	2	40.0	4	28.6			1	8.3
	1	2.1			2	15.4			1	20.0	1	7.1			1	50.0
12-(1)-G 高等教育への進学率を高めるための経済的余裕が父兄にあること	5	10.4	5	21.7	1	7.7	2	40.0			1	7.1			1	50.0
	2	4.2	3	13.0	1	7.7			1	7.1					2	22.2
	19	39.6	7	30.4	3	23.1	1	20.0	1	20.0	6	42.9	4	57.1	3	33.3
	18	47.5	8	34.8	4	30.8			4	28.6	4	28.6	1	14.3	1	11.1
	2	4.2			1	7.7	4	80.0	3	60.0	1	7.1			2	22.2
12-(1)-H 高等教育進学について奨学金制度が発達していること	8	16.7	5	21.7	2	15.4			1	20.0	2	14.3			1	11.1
	1	2.1	2	8.7	1	7.7			1	7.1					1	11.1
	8	16.7	9	39.1	1	7.7	1	20.0			2	14.3	1	14.3	3	33.3
	18	37.5	9	39.1	5	38.5			6	42.9	2	28.6	2	28.6	2	22.2
	3	6.3	1	4.3	1	7.7	1	20.0	1	20.0	3	21.4			2	22.2
12-(1)-I 国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	3	6.3	3	13.0	5	38.5	3	60.0	4	80.0	1	7.1	2	28.6	1	8.3
	15	31.3	3	13.0	1	7.7			1	7.1	1	7.1	1	14.3	1	8.3
	1	2.1	1	4.3	1	7.7			1	7.1					1	11.1
	30	62.5	14	60.9	4	30.8	3	60.0	4	80.0	7	50.0	5	71.4	2	22.2
	10	20.8	3	13.0	2	15.4			3	21.4	2	28.6	2	28.6	4	44.4
12-(1)-J 高等教育を積極的に進めること	2	4.2	1	4.3												
	5	10.4	2	8.7	6	46.2	2	40.0	1	20.0					1	11.1
	1	2.1	3	13.0	1	7.7			1	7.1					2	22.2
	32	66.7	14	60.9	2	15.4	2	40.0	4	80.0	9	64.3	5	71.4	5	55.6
	10	30.8	4	17.4	4	30.8			3	21.4	3	21.4			1	11.1
1	2.1			1	7.7	1	20.0	1	20.0	1	7.1			1	11.1	

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																				
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
についての国民的関心が高いこと	なんともいえない	1	2.1					1	20.0					2	28.6			1	11.1			
	わからない	3	6.3	4	17.4	5	38.5	1	20.0									1	11.1	1	8.3	
	NA	1	2.1	1	4.3	1	7.7					1	7.1					1	11.1	1	8.3	
12-1(1)-K 高等教育を受けることが、立身出世の条件として考えられてきたこと	その通り	36	75.0	12	52.2	4	30.8	2	40.0	4	80.0	10	71.4	6	85.7	1	50.0	5	55.6	10	83.3	
	どちらかといえばその通りと思う	7	14.6	5	21.7	5	38.5	1	20.0			3	21.4	1	14.3	1	50.0	1	11.1			
	そうは思わない	3	6.3	4	17.4	1	7.7	2	40.0	1	20.0							2	22.2	1	8.3	
	なんともいえない					1	7.7															
	わからない	1	2.1			1	7.7															
NA	1	2.1	2	8.7	1	7.7					1	7.1						1	11.1	1	8.3	
12-1(1)-L 個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	その通り	20	41.7	7	30.4	2	15.4	2	40.0	2	40.0	5	35.7	5	71.4			1	11.1	9	75.0	
	どちらかといえばその通りと思う	20	41.7	7	30.4	6	46.2	1	20.0	1	20.0	6	42.9			2	100.0	5	55.6	2	16.7	
	そうは思わない	6	12.5	3	13.0	1	7.7	1	20.0	2	40.0			2	28.6			2	22.2			
	なんともいえない			1	4.3	1	7.7					1	7.1									
	わからない			2	8.7	2	15.4	1	20.0			1	7.1									
NA	2	4.2	3	13.0	1	7.7					1	7.1						1	11.1	1	8.3	
12-1(2)人口	(総計)	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
12-1(2)-A 人口の規模が一億人を超えており大規模生産ができるようになったこと	その通り	14	29.2	5	21.7	4	30.8	1	20.0	2	40.0	4	28.6	4	57.1	1	50.0			2	16.7	
	どちらかといえばその通りと思う	16	33.3	8	34.8	3	23.1					4	28.6	1	14.3	1	50.0	5	55.6	5	41.7	
	そうは思わない	16	33.3	6	26.1	5	38.5	4	80.0	2	40.0	2	14.3	2	28.6			2	22.2	1	8.3	
	なんともいえない	1	2.1	3	13.0	1	7.7												1	11.1	2	16.7
	わからない	1	2.1	1	4.3					1	20.0	3	21.4								1	8.3
NA											1	7.1						1	11.1	1	8.3	
12-1(2)-B 人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	その通り	8	16.7	7	30.4	3	23.1			2	40.0	4	28.6	4	57.1			4	44.4	6	50.0	
	どちらかといえばその通りと思う	21	43.8	10	43.5	2	15.4	2	40.0	1	20.0	7	50.0	2	28.6			2	22.2	1	8.3	
	そうは思わない	14	29.2	2	8.7	4	30.8	3	60.0	2	40.0							1	11.1	1	8.3	
	なんともいえない	2	4.2			2	15.4					1	7.1	1	14.3	2	100.0			1	8.3	
	わからない	2	4.2	4	17.4	2	15.4					1	7.1						1	11.1	2	16.7
NA	1	2.1									1	7.1						1	11.1	1	8.3	



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別															
		理 工	農 学	医・薬学	その他理系	日本語	人文・社会	経営・経済	政治・法律	その他文系	NA						
		実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)	実数 (%)						
後を子供に頼ろう という考えが国民の 間に少なくなつたから	なんともいえない わからない NA	3 10 3	6.3 20.8 6.3	1 9 1	4.3 39.1 4.3	1 2 1	7.7 15.4 7.1	2 2 1	14.3 14.3 7.1	2 2 1	40.0 40.0 14.3	2 2 1	28.6 33.3 22.2	1 1 1	8.3 8.3 8.3		
12-(2)-E 1940年代の出生率が 高く、若い労働者が 急増したことが、こ とに1960年代の日本 の経済成長を支えた	その通りと思う どちらかといえば その通りかと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	8 17 10 5 6 2	16.7 35.4 20.8 10.4 12.5 4.2	7 6 3 2 5 1	30.4 26.1 13.0 8.7 21.7	4 4 3 2 2	30.8 30.8 23.1 15.4	6 5 1 1 1	42.9 35.7 7.1 7.1 7.1	5 1 1 1 1	20.0 20.0 40.0 40.0 20.0	2 1 1 1 1	71.4 14.3 14.3	3 4 2 1 2	25.0 33.3 16.7 8.3 8.3		
12-(2)-F 最近における日本の 出生率の低下、人口 の増加率の低下は、 日本の経済成長を今 後低下させるであらう	その通りと思う どちらかといえば その通りかと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	2 9 28 6 3	4.2 18.8 58.3 12.5 6.3	3 5 9 4 2	13.0 21.7 39.1 17.4 8.7	1 2 9 4 1	7.7 15.4 69.2 7.7	2 2 2 1	40.0 20.0 40.0 14.3	2 2 2 1	40.0 20.0 40.0 20.0	1 2 8 2	14.3 14.3 57.1 14.3	1 1 4 1	11.1 11.1 44.4 11.1	1 1 7 2	8.3 8.3 58.3 16.7
12-(3)労働制度 日本人は本来勤 勉で労働の密度 が高いこと	(総計) その通りと思う どちらかといえば その通りかと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	48 32 12 2 2	100.0 66.7 25.0 4.2 4.2	23 19 3	100.0 82.6 13.0	13 9 2	100.0 69.2 15.4	5 5 1	100.0 60.0 20.0	14 9 4	100.0 64.3 28.6	7 6 1	100.0 85.7 14.3	2 8 1	100.0 88.9	12 10	100.0 83.3
12-(3)-B 日本には身分意 識が少く上下の 差別なくよく働 くから	その通りと思う どちらかといえば その通りかと思う そうは思わない なんともいえない わからない NA	17 13 15 3	35.4 27.1 31.3 6.3	6 4 4 3	26.1 17.4 17.4 13.0	5 4 3 1	38.5 30.8 23.1 7.7	3 1 1	60.0 20.0 20.0	3 5 4 1	21.4 35.7 28.6 7.1	1 3 2 1	14.3 42.9 28.6 14.3	1 1 1	50.0 33.3 44.4	4 2 4 1	33.3 16.7 33.3 8.3



質問(項目)番号 質問内容	回答内容	専 攻 別																				
		理 工		農 学		医・薬学		その他理系		日本語		人文・社会		経営・経済		政治・法律		その他文系		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
	無職・無回答 計	29	60.4	19	82.6	9	69.2	3	60.0	3	60.0	10	71.4	5	71.4	2	100.0	7	77.8	8	66.7	
		48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	
13-2	1 人	14	29.2	9	39.1	3	23.1	3	60.0	1	20.0	6	42.9	1	14.3	1	50.0	3	33.3	3	25.0	
	男子の数	2 人	13	27.1	3	13.0	4	30.8		4	80.0	2	14.3	2	28.6	1	50.0	1	11.1	3	25.0	
	3 人	11	22.9	6	26.1	2	15.4					1	7.1	1	14.3			2	22.2	1	8.3	
	4 人	3	6.3	4	17.4	1	7.7	1	20.0			2	14.3					3	33.3	2	16.7	
	5人以上	3	6.3	1	4.3	1	7.7					1	7.1	1	14.3					1	8.3	
	無回答、0人																					
13-3	1 人	13	27.1	8	34.8	3	23.1	1	20.0	3	60.0	4	28.6	1	14.3	1	50.0	1	11.1			
	女子の数	2 人	9	18.8	7	30.4	3	23.1	2	40.0		5	35.7	4	57.1					3	25.0	
	3 人	6	12.5	2	8.7	4	30.8					2	14.3					2	22.2	2	16.7	
	4 人			1	4.3							1	7.1					1	11.1	1	8.3	
	5人以上	1	2.1	1	4.3													1	11.1	1	8.3	
	無回答、0人																					
13-4	あ る	15	31.3	5	21.7	4	30.8	2	40.0			7	50.0	4	57.1			4	44.4	4	33.3	
	家 族 に 海 外 留 学 の 体 験 が あ る か	な い	27	56.3	17	73.9	9	69.2	2	40.0	5	100.0	6	42.9	2	28.6	1	50.0	5	55.6	6	50.0
	NA	6	12.5	1	4.3			1	20.0			1	7.1	1	14.3	1	50.0			2	16.7	
	計	48	100.0	23	100.0	13	100.0	5	100.0	5	100.0	14	100.0	7	100.0	2	100.0	9	100.0	12	100.0	

B-1-V 元留学生アンケート集計表（国公立別・学籍区分別・学額区分別・奨学金別）

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				学籍区分別				奨学金別													
	国公立		私立		学部		大学院		文部省		奨学金なし		N.A									
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)								
I. 教育歴																						
1-(1)	1	年	36	28.6	3	37.5	2	50.0	16	48.5	23	22.8	2	50.0	34	28.3	2	33.3	2	28.6	3	60.0
日本滞在の期間	2	年	35	27.8	1	12.5	1	25.0	7	21.2	29	28.7	1	25.0	29	24.2	4	66.7	3	42.9	1	20.0
	3	年	20	15.9	1	12.5	1	25.0	1	3.0	20	19.8	1	25.0	21	17.5			1	14.3		
	4	年	12	9.5	1	12.5			1	3.0	12	11.9			13	10.8						
	5	年	9	7.1					6	18.0	3	3.0			8	6.7					1	14.3
	6	年	2	1.6							2	2.0			2	1.7						
	7	年	6	4.8	1	12.5					7	6.9			7	5.8						
	8	年	3	2.4							3	3.0			3	2.5						
	9	年																				
	10	年																				
	11	年	1	0.8								1	1.0			1	0.8					
	12	年			1	12.5				1	3.0					1	0.8					
	13	年	2	1.6						1	3.0					1	0.8					
	NA				2																	
計			126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
1-(2)-1	学部		32	25.4	1	12.5			33	100.0					23	19.2	3	50.0	3	42.9	4	80.0
学籍区分	大学院		94	74.6	7	87.5					101	100.0			94	78.3	3	50.0	4	57.1	1	20.0
	NA							4	100.0					4	100.0	3	2.5					
	計		126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
1-(2)-2	国・公立		126	100.0					32	97.0	94	93.1			109	90.8	6	100.0	7	100.0	4	80.0
国公立別	私立				8	100.0			1	3.0	7	6.9			8	6.7						
	NA							4	100.0					4	100.0	3	2.5					
	計		126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立				公私立				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別											
	実数 (%)		N.A (%)		実数 (%)		N.A (%)		学部		大学院		N.A (%)		文部省		その他		奨学金なし		N.A (%)			
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
1-(3) 専門分野	理工	45	35.7	3	37.5	10	30.3	38	37.6			43	35.8	4	66.7			2	28.6			1	20.0	
	農学	23	18.3			4	12.1	19	18.8			21	17.5											
	医・薬学	13	10.3			2	6.1	11	10.9			13	10.8											
	その他理科	5	4.0			1	3.0	4	4.0			4	3.3					1	14.3					
	日本語	5	4.0			4	12.1	1	1.0			4	3.3			1	16.7							
	人文・社会	12	9.5		25.0	4	12.1	10	9.9			13	10.8			1	14.3							
	経営・経済	5	4.0		25.0	2	6.1	5	5.0			6	5.0			1	16.7							
	政治・法律	2	1.6			1	3.0	1	1.0			1	0.8			1	14.3							
	その他文科	8	6.3		12.5	3	9.1	6	5.9			8	6.7			1	14.3						1	20.0
	NA	8	6.3			2	6.1	6	5.9			7	5.8			2	28.6						3	60.0
計	126	100.0	8	100.0	33	100.0	101	100.0			120	100.0	6	100.0	7	100.0						5	100.0	
1-(4)-1 日本留学で学位 を取得した年限 —学士—	1 月	3	20.0			2	25.0	1	12.5			3	18.8											
	2 年																							
	3 年																							
	4 年	10	66.7	1	100.0	4	50.0	7	87.5			11	68.8											
	5 年以上	2	13.3			2	25.0					2	12.5											
	NA																							
計	15	100.0	1	100.0	8	100.0	8	100.0			16	100.0												
1-(4)-2 —修士—	1 年	1	3.0					1	2.9									1	50.0					
	2 年	30	90.9			2	100.0	31	91.2			1	100.0			1	50.0							
	3 年	2	6.1		3100.0			2	5.9															
	4 年																							
	5 年以上																							
NA																								
計	33	100.0	3	100.0	2	100.0	34	100.0			34	100.0	1	100.0	2	100.0								
1-(4)-3 —博士—	1 年	2	6.7					2	7.1															
	2 年	2	6.7			1	100.0																	
	3 年	15	50.0					15	53.6															

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						学 籍 区 分 別						奨 学 金 類 別							
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
4 年	7	23.3								7	25.0									
5 年	2	6.7								2	7.1									
6 年																				
7 年																				
8 年																				
9 年	2	6.7					2	100.0												
10年以上																				
NA																				
計	30	100.0					2	100.0		28	100.0									
1-(5)-A	14	37.8	1	25.0			2	66.7	13	34.2										
学位論文を何語	18	48.6	3	75.0			1	33.3	20	52.6										
で書きましたか	5	13.5							5	13.2										
—修士—	37	100.0	4	100.0			3	100.0	38	100.0										
1-(5)-B	9	26.5					2	100.0	9	21.9										
日本語	22	64.7							22	68.8										
英語	3	8.8							3	9.4										
—博士—	34	100.0							32	100.0										
1-(6)-A	5	11.9	1	25.0			1	20.0	5	12.2										
指示された	37	88.1	3	75.0			4	80.0	36	87.8										
論文を「日本語で」	42	100.0	4	100.0			5	100.0	41	100.0										
の指示—修士—	2	5.6							2	6.1										
1-(6)-B	34	94.4					3	100.0	31	93.9										
指示されなかった	36	100.0					3	100.0	33	100.0										
—博士—	7	5.6					3	9.1	4	4.0										
1-(7)	115	91.3	8	100.0	3	75.0	26	78.8	97	96.0	3	75.0	120	100.0	6	100.0				
奨学金の取得の	4	3.2			1	25.0	4	12.1			1	25.0								5
有無	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0		5
計	4	3.5					1	3.8	3	3.1										
1-(7)-B																				
母国の政府奨学金																				

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立				公私立				学籍区分別				奨学金類別							
		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%					
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%				
奨学金の種類別	外国の民間団体奨学金 日本の文部省奨学金 日本の総務省留学生奨学金 日本の地方自治体奨学金 その他 NA 計	109	94.8	8	100.0	3	100.0	23	88.5	94	96.9	3	100.0	120	100.0						
		1	0.9			1	3.8							1	16.7						
		1	0.9			1	3.8							1	16.7						
		115	100.0	8	100.0	3	100.0	26	100.0	97	100.0	3	100.0	120	100.0	6	100.0				
2. 留学体験																					
2. 日本留学以前に外国留学の経験がありますか	ない ある NA 計 北米 南米 西欧 東欧 中東 アフリカ 南アジア 東南アジア 東アジア その他 NA 計	108	85.7	5	62.5	3	75.0	28	84.8	85	84.2	3	75.0	99	82.5	6	100.0	7	100.0	4	80.0
		17	13.5	3	37.5	1	25.0	4	12.1	16	15.8	1	25.0	21	17.5						
		1	0.8			1	3.0														
		126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
		3	17.6	2	66.7			1	25.0	4	25.0					5	23.8				
		7	41.2			1	100.0	1	25.0	6	37.5	1	100.0			8	38.1				
		3	17.6			2	50.0	2	50.0	1	6.3	1	6.3			3	14.3				
		1	5.9							1	6.3					1	4.8				
				1	5.9	1	33.3			2	12.5					2	9.5				
				2	11.8					2	12.5					2	9.5				
		17	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	16	100.0	1	100.0	21	100.0						
2-(2)-B 留学期間は 何月でしたか	1年 2年 3年 4年	5	29.4	1	33.3			3	75.0	3	18.8			6	28.6						
		1	5.9					1	6.3	1	6.3			1	4.8						
		1	5.9					1	6.3	1	6.3			1	4.8						
		1	5.9					1	6.3	1	6.3			1	4.8						

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						学籍区分別						奨学金類別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	5年																				
	6年	3	17.6							3	18.8			3	14.3						
	7年	1	5.9							1	6.3			1	4.8						
	8年																				
	9年	1	5.9							1	6.3			1	4.8						
	10年																				
	11年																				
	12年																				
	13年																				
	14年	1	5.9							1	6.3			1	4.8						
	15年																				
	NA	3	17.6	2	66.7	1	100.0	1	25.0	4	25.0	1	100.0	6	28.6						
	計	17	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	16	100.0	1	100.0	21	100.0						
2-(2)-D	学士	3	17.6			1	100.0			3	18.8	1	100.0	4	19.0						
留学で取得した	修士	5	29.4	1	33.3			1	25.0	5	31.3			6	28.6						
学位	博士	1	5.9							1	6.3			1	4.8						
	NA	8	47.1	2	66.7			3	75.0	7	43.8			10	47.6						
	計	17	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	16	100.0	1	100.0	21	100.0						
3. 日本留学後の再留学について																					
3-	しなかった	112	88.9	5	62.5	3	75.0	28	84.8	89	88.1	3	75.0	103	85.8	6	100.0	7	100.0	4	80.0
再度留学をした	した	13	10.3	3	37.5	1	25.0	4	12.1	12	11.9	1	25.0	17	14.2						
か	NA	1	0.8					1	3.0												
	計	136	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
3-(2)-A	北米	2	15.4			1	100.0			2	16.7	1	100.0	3	17.6						
どの国(地域)	南米																				
でしたか	西欧	5	28.5	3	100.0			2	50.0	6	50.0			8	47.1						
	西欧	1	7.7							1	8.3			1	5.9						
	中東																				

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別											
	国公立		私立		NA		学 部		大 学 院		NA		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		NA	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	1	7.7																		
	1	7.7																		
	3	23.1																		
	13	100.0																		
3-(2)-B 留学期間は何年 でしたか	3	23.1	1	33.3																
	5	38.5	1	33.3																
	1	7.7																		
	4	30.8	1	33.3																
	13	100.0	3	100.0																
3-(2)-E-1 そこで取得した 学位は	1	7.7																		
	2	15.4																		
	10	76.9	3	100.0																
	13	100.0	3	100.0																
3-(2)-E-2 学位の分野	1	7.7	1	33.3																
	2	15.4																		
	3	23.1	1	33.3																
	1	7.7																		
	1	7.7																		

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						学籍区分別						奨学金類別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	NA	5	38.5	1	33.3			1	25.0	5	41.7			6	35.3						
	計	13	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	12	100.0	1	100.0	17	100.0						
3-(2)-F	ない	4	30.8	2	66.7	1	100.0	2	50.0	4	33.3	1	100.0	7	41.2						
そこでの奨学金	ある	6	46.2	1	33.3			1	25.0	6	50.0			7	41.2						
取得	NA	3	24.1					1	25.0	2	16.7			3	17.6						
	計	13	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	12	100.0	1	100.0	17	100.0						
4. 再留学の理由																					
	日本の学位は母国では高く評価されぬ	1	7.7							1	8.3			1	5.9						
	専門研究水準は、日本より他国が高い	3	23.1							3	25.0			3	17.6						
	日本留学期間の再延長が認められず	3	23.1					1	25.0	2	16.7			3	17.6						
	日本での研究成果は母国では活用されず	1	7.7							1	8.3			1	5.9						
	専門研究領域の拡大、深化の必要	9	69.2	1	33.3			3	75.0	7	58.3			10	58.8						
	日本の大学は最新の研究成果を開放せず	1	7.7							1	8.3			1	5.9						
	母国政府、大学からの再留学の要請	3	23.1							3	25.0			3	17.6						
	その他			2	66.7			1	25.0	1	8.3			2	11.8						
	NA																				
	計	13	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	12	100.0	1	100.0	17	100.0						
5. 再留学は、目的を達成したか																					
5.	目的は達成された	3	23.1	2	66.7			3	75.0	2	16.7			5	29.4						
	一応成果あり	4	30.8					1	25.0	3	25.0			4	23.5						
	期待通りでない	2	15.4							2	16.7			2	11.8						
	なんともいえない	2	15.4	1	33.3	1	100.0			3	25.0			3	17.6						
	NA	2	15.4							2	16.7	1	100.0	3	17.6						
	計	13	100.0	3	100.0	1	100.0	4	100.0	12	100.0	1	100.0	17	100.0						
II. 日本留学への評価																					
6. 日本留学の成果と仕事について																					
6-(1)-A	政府行政機関	17	13.5			1	25.0	7	21.2	10	9.9	1	25.0	15	12.5	1	16.7	2	28.6		
就職先	試験研究機関	6	4.8	1	12.5	1	25.0	1	3.0	6	5.9	1	25.0	8	6.7						

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別											
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		其 他		奨 学 金 な し		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
(現在)	68	54.0	2	25.0	1	25.0	18	54.5	52	51.5	1	25.0	59	49.2	5	83.3	3	42.9	4	80.0
大 学																				
その他教育機関	7	5.6	1	12.5			1	3.0	7	6.9			8	6.7						
日本系民間企業	3	2.4					1	3.0	2	2.0			3	2.5						
その他の国と 合弁企業	3	2.4	1	12.5					4	4.0			4	3.3						
母国系民間企業	8	6.3	1	12.5					9	8.9			9	7.5						
自営業	5	4.0					1	3.0	4	4.0			5	4.2						
その他	7	5.6	1	12.5	1	25.0	4	12.1	4	4.0	1	25.0	6	5.0			2	28.6	1	20.0
NA	2	1.6	1	12.5					3	3.0			3	2.5						
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
6-(1)-E その仕事で、日 本留学の成果を 活用できている か	77	61.1	2	25.0	4	100.0	19	57.6	60	59.4	4	100.0	72	60.0	5	83.3	2	28.6	4	80.0
	38	30.2	4	50.0			10	30.3	32	31.7			35	29.2	1	16.7	5	71.4	1	20.0
	5	4.0					2	6.1	3	3.0			5	4.2						
	4	3.2					1	3.0	3	3.0			4	3.3						
	2	1.6	2	25.0			1	3.0	3	3.0			4	3.3						
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	9	100.0	5	100.0
6-(2) 転職の有無	108	85.7	3	37.5	3	75.0	29	87.9	82	81.2	3	75.0	98	81.7	6	100.0	7	100.0	3	60.0
	13	10.3	4	50.0	1	25.0	4	12.1	13	12.9	1	25.0	16	13.3					2	40.0
	5	4.0	1	12.5					6	5.9			6	5.0						
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
6-(2)-B 転職の回数は	11	84.6	1	25.0			4	100.0	8	61.5			11	68.8					1	50.0
	1	7.7	2	50.0	1	100.0			3	23.1	1	100.0	3	18.8					1	50.0
	1	7.7	1	25.0					2	15.4			2	12.5						
	NA																			
計	13	100.0	4	100.0	1	100.0	4	100.0	13	100.0	1	100.0	16	100.0					2	100.0
6-(3)現在の仕事に、日本留学体験、知識、研究は活用されているか (A. 仕事の面では)																				
6-(3)-A-1 大学での研究成 果	80	63.5	5	62.5	3	75.0	19	57.6	66	65.3	3	75.0	74	61.7	6	100.0	6	85.7	2	40.0
	25	19.8	1	12.5			7	21.2	19	18.8			24	20.0	1	14.3	1	14.3	1	20.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						学籍区分別						奨学金類別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
		実数	(%)																		
果に関連して	全く関係ない	11	8.7	1	12.5			3	9.1	9	8.9			12	10.0						
	なんともいえない	3	2.4					2	6.1	1	1.0			3	2.5						
	NA	7	5.6	1	12.5	1	25.0	2	6.1	6	5.9	1	25.0	7	5.8					2	40.0
	計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
6-(3)-A-2 取得した技術	大いに利用	61	48.4	3	37.5	3	75.0	16	48.5	48	47.5	3	75.0	59	49.2	4	66.7	3	42.9	1	20.0
	それほど利用せず	31	24.6	1	12.5			7	21.2	25	24.8			28	23.3	2	33.3	2	28.6		
	全く関係ない	12	9.5	2	25.0			3	9.1	11	10.9			13	10.8					1	20.0
	なんともいえない	10	7.9					3	9.1	7	6.9			9	7.5			1	14.3		
	NA	12	9.5	2	25.0	1	25.0	4	12.1	10	9.9	1	25.0	11	9.2			1	14.3	3	60.0
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0	
6-(3)-A-3 日本語の能力に ついて	大いに利用	63	50.0	1	12.5	2	50.0	19	57.6	45	44.6	2	50.0	53	44.2	5	83.3	3	42.9	5	100.0
	それほど利用せず	23	18.3	4	50.0	1	25.0	6	18.2	21	20.8	1	25.0	24	20.0	1	16.7	3	42.9		
	全く関係ない	31	24.6	1	12.5	1	25.0	7	21.2	25	24.8	1	25.0	32	26.7			1	14.3		
	なんともいえない	2	1.6					1	3.0	1	1.0			2	1.7						
	NA	7	5.6	2	25.0					9	8.9			9	7.5						
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0	
6-(3)-A-4 日本の大学スタ ッフとの交流に 関連して	大いに利用	51	40.5	2	25.0	2	50.0	14	42.4	39	38.6	2	50.0	49	40.8	2	33.3	3	42.9	1	20.0
	それほど利用せず	27	21.4	1	12.5	1	25.0	6	18.2	22	21.8	1	25.0	24	20.0	4	66.7			1	20.0
	全く関係ない	28	22.2	2	25.0			9	27.3	21	20.8			26	21.7			3	42.9	1	20.0
	なんともいえない	8	6.3	1	12.5			2	6.1	7	6.9			8	6.7			1	14.3		
	NA	12	9.5	2	25.0	1	25.0	2	6.1	12	11.9	1	25.0	13	10.8					2	40.0
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0	
6-(3)-A-5 日本の企業との 交流に関連して	大いに利用	18	14.3	1	12.5	2	50.0	3	9.1	16	25.8	2	50.0	18	15.0	1	16.7	2	28.6		
	それほど利用せず	24	19.0	2	25.0	1	25.0	9	27.3	17	16.8	1	25.0	24	20.0	2	33.3	1	14.3		
	全く無関係	53	42.1	2	25.0			12	36.4	43	42.6			50	41.7	2	33.3	2	28.6	1	20.0
	なんともいえない	15	11.9	1	12.5			5	15.2	11	10.9			13	10.8	1	16.7	2	28.6		
	NA	16	12.7	2	25.0	1	35.0	4	12.1	14	13.9	1	25.0	15	12.5					4	80.0
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0	



質問(項目)番号 質問内容	国公立				私立				国公立				私立				国公立				私立																																																						
	実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%		実数		%																																																				
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%																																																			
ふだんの生活で わずかにあり 全くない NA 計	61	48.4	4	50.0	3	75.0	18	54.5	47	46.5	3	75.0	58	48.3	3	50.0	5	71.4	2	40.0	23	18.3	2	25.0	1	25.0	22	18.3	1	16.7	2	28.6	1	20.0	9	7.1	1	3.0	8	7.9	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0																					
	38	30.2			2	50.0	10	30.3	28	27.7	2	50.0	32	26.7	4	66.7	1	14.3	3	60.0	46	36.5	4	50.0	12	36.4	38	37.6	1	25.0	45	37.5	1	16.7	3	42.9	2	40.0	36	28.6	2	25.0	10	30.3	28	27.7	1	25.0	35	29.2	1	16.7	3	42.9	6	4.8	2	25.0	1	3.0	7	6.9	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5
7-(1)-B かなり機会あり 勤務先の仕事で わずかにあり 全くない NA 計	41	32.5	2	25.0	2	50.0	13	39.4	30	29.7	2	50.0	39	32.5	3	50.0			3	60.0	62	49.2	6	75.0	18	54.5	50	49.5	2	50.0	59	49.2	3	50.0	7	5.8	7	6.9	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0																							
7-(2)日本語を使用する形は																																																																											
7-(2)-A かなりある 時にはある 全くない NA 計	41	32.5	2	25.0	2	50.0	13	39.4	30	29.7	2	50.0	39	32.5	3	50.0			3	60.0	62	49.2	6	75.0	18	54.5	50	49.5	2	50.0	59	49.2	3	50.0	7	5.8	7	6.9	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0																							
7-(2)-B かなりある 時にはある 全くない NA 計	59	46.8	1	12.5	1	25.0	19	57.6	41	40.6	1	25.0	49	40.8	5	83.3	4	57.1	3	60.0	44	34.0	5	62.5	3	75.0	38	37.6	3	75.0	48	40.0	1	16.7	1	14.3	2	28.6	17	13.5	2	25.0	3	9.1	16	15.8	6	5.9	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0													
7-(2)-C かなりある 時にはある 全くない NA 計	17	13.5			1	25.0	5	15.2	12	11.9			15	12.5			2	28.6			36	28.6	1	12.5	12	36.4	25	24.8	2	50.0	30	25.0			4	57.1	1	14.3	10	7.9	1	3.0	9	8.9	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0																	
7-(2)-D かなりある 時にはある 全くない NA 計	18	14.3			1	25.0	6	18.2	12	11.9	1	25.0	12	10.0	2	33.3	2	28.6			66	52.4	3	37.5	2	50.0	18	54.5	51	50.5	2	50.0	63	52.5	4	65.7	3	42.9	35	27.8	5	62.5	1	25.0	9	27.3	31	30.7	1	25.0	38	31.7	2	28.6	1	20.0																			

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				国公私立別				学籍区分別				奨学金類別											
	国公立		私立		N.A.		学部		大学院		N.A.		文部省		その他		奨学金なし							
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)						
NA 計	7	5.6	8	100.0	4	100.0	7	6.9	7	6.9	4	100.0	101	100.0	120	100.0	6	100.0	7	5.8	5	100.0		
7-(2)-E 日本語で通訳 をする	22	17.5	3	37.5	3	75.0	15	14.9	42	41.6	3	75.0	53	44.2	4	66.7	4	57.1	2	28.6	1	20.0	4	80.0
NA 計	6	4.8	5	62.5	1	25.0	6	18.2	38	37.6	1	25.0	43	35.8	6	5.0	6	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
8. 学位の利用について																								
8-(1) 政府・行政機関 への就職	14	11.1	4	50.0	2	50.0	11	10.9	21	20.8	1	25.0	25	20.8	1	16.7	2	28.6	1	14.3	1	20.0	2	40.0
8-(2) 母国の民間トッ プ企業への就職	7	5.6	2	25.0	1	12.5	7	6.9	8	7.8	1	25.0	8	6.7	1	16.7	2	28.6	1	14.3	1	20.0	2	40.0
8-(3) 母国にある日本 (または合弁) 企業への就職	26	20.6	2	25.0	2	25.0	20	19.8	22	21.8	5	15.2	25	20.8	1	16.7	2	28.6	1	14.3	3	60.0	4	80.0
8-(4) 研究・教育機関	14	11.1	1	12.5	2	50.0	13	12.9	17	14.2	2	50.0	17	14.2	4	66.7	3	42.9	4	66.7	3	60.0	4	80.0
NA 計	54	42.9	2	25.0	1	25.0	39	38.6	51	51.5	1	25.0	45	37.5	4	66.7	3	42.9	6	100.0	7	100.0	5	100.0
8-(3) 母国にある日本 (または合弁) 企業への就職	15	11.9	1	12.5	1	25.0	12	11.9	16	15.8	1	25.0	16	13.3	1	16.7	2	28.6	1	14.3	1	20.0	2	40.0
8-(4) 研究・教育機関	18	14.3	3	37.5	1	25.0	4	12.1	22	21.8	1	25.0	24	20.0	1	16.7	2	28.6	1	14.3	3	60.0	4	80.0
NA 計	26	20.6	1	12.5	1	25.0	11	10.9	17	14.2	1	25.0	14	11.7	4	66.7	3	42.9	6	100.0	7	100.0	5	100.0
8-(3) 母国にある日本 (または合弁) 企業への就職	54	42.9	3	37.5	1	25.0	40	39.6	51	51.5	1	25.0	46	38.3	4	66.7	3	42.9	6	100.0	7	100.0	5	100.0
8-(4) 研究・教育機関	28	22.2	3	37.5	2	50.0	7	21.2	21	20.8	2	50.0	26	21.7	2	33.3	1	14.3	3	42.9	3	60.0	4	80.0
NA 計	29	23.0	3	37.5	1	25.0	9	27.3	23	22.8	1	25.0	30	25.0	2	33.3	1	14.3	3	42.9	3	60.0	4	80.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				国公私立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別					
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
への就職	16	12.7	1	12.5			2	6.1	15	14.9			15	12.5	1	16.7	1	14.3
	9	7.1	1	12.5			1	3.0	9	8.9			10	8.3				
	44	34.9	3	37.5	1	25.0	14	42.4	33	32.7	1	25.0	39	32.5	3	50.0	2	28.6
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0
8-(5) 高い報酬を得る ため	8	6.3			1	25.0	2	6.1	6	5.9	1	25.0	8	6.7			1	20.0
	22	17.5	1	12.5			8	24.2	15	14.9			19	15.8	3	50.0	1	14.3
	37	29.4	3	37.5	1	25.0	7	21.2	33	32.7	1	25.0	38	31.7			3	42.9
計	11	8.7	1	12.5	1	25.0	1	3.0	11	10.9	1	25.0	12	10.0			1	14.3
8-(6) 社会的威信 の証明	48	38.1	3	37.5	1	25.0	15	45.5	36	35.6	1	25.0	43	35.8	3	50.0	2	28.6
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0
	17	13.5			2	50.0	5	15.2	12	11.9	2	50.0	17	14.2	1	16.7	1	20.0
計	24	19.0	2	25.0			4	12.1	22	21.8			24	20.0	1	16.7	1	14.3
8-(7) 専門的知識の 仕事での直接的 活用	27	21.4	2	25.0	1	25.0	6	18.2	23	22.8	1	25.0	26	21.7	1	16.7	3	42.9
	12	9.5	1	12.5			2	6.1	11	10.9			13	10.8				
	46	36.5	3	37.5	1	25.0	16	48.5	33	32.7	1	25.0	40	33.3	3	50.0	3	42.9
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0
8-(8) 母国発展への寄 与	34	27.0			3	75.0	8	24.2	26	25.7	3	75.0	33	27.5	1	16.7	2	28.6
	31	24.6	2	25.0			7	21.2	26	25.7			31	25.8	1	16.7	1	14.3
	12	9.5	2	25.0			1	3.0	13	12.9			12	10.0	1	16.7	1	14.3
計	4	3.2	1	12.5			1	3.0	4	4.0			5	4.2				
8-(8) 母国発展への寄 与	45	35.7	3	37.5	1	25.0	16	48.5	32	31.7	1	25.0	39	32.5	3	50.0	3	42.9
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0
	23	18.3			2	50.0	4	12.1	19	18.8	2	50.0	21	17.5	1	16.7	2	28.6
計	30	23.8	1	12.5	1	25.0	11	33.3	20	19.8	1	25.0	29	24.2	1	16.7	2	28.6
8-(8) 母国発展への寄 与	15	11.9	3	37.5			1	3.0	17	16.8			16	13.3	1	16.7	1	14.3
	9	7.1	1	12.5			1	3.0	9	8.9			10	8.3				
	49	38.9	3	37.5	1	25.0	16	48.5	36	35.6	1	25.0	44	36.7	3	50.0	2	28.6
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						学 籍 区 分 別						奨 学 金 類 別							
		国公立		私 立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
10-(1)日本の大学(院)について																					
10-(1)-1	全くその通り	43	34.1	2	25.0			7	21.2	38	37.6			41	34.2	1	16.7	3	42.9		
	ある程度同意	45	35.7	4	50.0	3	75.0	14	42.4	35	34.7	3	75.0	45	37.5	2	33.3	4	57.1	1	20.0
	同意できない	11	8.7	1	12.5			1	3.0	11	10.9			12	10.0						
	同意できない	3	2.4	1	12.5	1	25.0	1	3.0	3	3.0	1	25.0	4	3.3					1	20.0
	わからない	7	5.6					1	3.0	6	5.9			6	5.0	1	16.7				
	NA	17	13.5					9	27.3	8	7.9			12	10.0	2	33.3			3	60.0
	計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(1)-2	全くその通り	13	10.3			1	25.0	3	9.1	10	9.9	1	25.0	10	8.3	1	16.7	2	28.6	1	20.0
	ある程度同意	42	33.3	2	25.0	2	50.0	12	36.4	32	31.7	2	50.0	41	34.2	1	16.7	3	42.9	1	20.0
	同意できない	31	24.6	3	37.5			6	18.2	28	27.7			33	27.5			1	14.3		
	同意できない	3	2.4	1	12.5	1	25.0	1	3.0	3	3.0	1	25.0	4	3.3					1	20.0
	わからない	21	16.7	2	25.0			3	9.1	20	19.8			20	16.7	2	33.3	1	14.3		
	NA	16	12.7					8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
	計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(1)-3	全くその通り	38	30.2	3	37.5	3	75.0	8	24.2	33	32.7	3	75.0	38	31.7	3	50.0	2	28.6	1	20.0
	ある程度同意	47	37.3	2	25.0			13	39.4	36	35.6			44	36.7	1	16.7	3	42.9	1	20.0
	同意できない	19	15.1	3	37.5			4	12.1	18	17.8			21	17.5			1	14.3		
	同意できない	3	2.4			1	25.0			3	3.0	1	25.0	3	2.5					1	20.0
	わからない	3	2.4							3	3.0			2	1.7					1	14.3
	NA	16	12.7					8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
	計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(1)-4	全くその通り	18	14.3	1	12.5	2	50.0	5	15.2	14	13.9	2	50.0	19	15.8			1	14.3	1	20.0
	ある程度同意	44	34.9	2	25.0	1	25.0	9	27.3	37	36.6	1	25.0	41	34.2	3	50.0	3	42.9		
	同意できない	18	14.3	1	12.5	1	25.0	4	12.1	15	14.9	1	25.0	18	15.0			1	14.3	1	20.0
	同意できない	7	5.6	2	25.0			3	9.1	6	5.9			8	6.7	1	16.7				
	わからない	20	15.9	2	25.0			2	6.1	20	19.8			20	16.7			2	28.6		
	NA	19	15.1					10	30.3	9	8.9			14	11.7	2	33.3			3	60.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別											
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(1)-5 日本の大学生は 留学生の勉学に 十分に協力的で ある	30	23.8	4	50.0	2	50.0	6	18.2	28	27.7	2	50.0	32	26.7	1	16.7	2	28.6	1	20.0
	50	39.7	1	12.5	1	25.0	12	36.4	39	38.6	1	25.0	47	39.2	3	50.0	2	28.6		
	16	12.7	3	37.5			4	12.1	15	14.9			16	13.3			3	42.9		
	6	4.8			1	25.0	1	3.0	5	5.0	1	25.0	6	5.0					1	20.0
	5	4.0					1	3.0	4	4.0			5	4.2						
	19	15.1					9	27.3	10	9.9			14	11.7	2	33.3			3	60.0
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(1)-6 学生に対して最 新の理論や学術 成果を積極的に 提供している	31	24.6	1	12.5	2	50.0	6	18.2	26	25.7	2	50.0	29	24.2	1	16.7	3	42.9	1	20.0
	49	38.9	4	50.0	1	25.0	10	30.3	43	42.6	1	25.0	46	38.3	3	50.0	4	57.1	1	20.0
	12	9.5					2	6.1	10	9.9			12	10.0						
	10	7.9	3	37.5	1	25.0	4	12.1	9	8.9	1	25.0	13	10.8					1	20.0
	8	6.3					3	9.1	5	5.0			8	6.7						
	16	12.7					8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(1)-7 日本の大学は帰 国後の留学生と 積極的に交流し ようとしている	22	17.5					6	18.2	16	15.8			17	14.2	2	33.3	2	28.6	1	20.0
	30	23.8	2	25.0	3	75.0	11	33.3	21	20.8	3	75.0	32	26.7	1	16.7	1	14.3	1	20.0
	40	31.7	5	62.5	1	25.0	5	15.2	40	39.6	1	25.0	42	35.0			3	42.9	1	20.0
	8	6.3					1	3.0	7	6.9			7	5.8	1	16.7				
	10	7.9	1	12.5			2	6.1	9	8.9			10	8.3			1	14.3		
	16	12.7					8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(2)日本留学に関して																				
10-(2)-1 再度の機会があ れば、日本で研 究の仕上げをし たい	88	69.8	5	62.5	4	100.0	21	63.6	72	71.3	4	100.0	84	70.0	4	66.7	6	85.7	3	60.0
	17	13.5	3	37.5			3	9.1	17	16.8			19	15.8			1	14.3		
	1	0.8							1	1.0			1	0.8						
	3	2.4					1	3.0	2	2.0			3	2.5						
	1	0.8							1	1.0			1	0.8						

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						学 籍 区 分 別						奨 学 金 類 別							
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	16	12.7	8	100.0	4	100.0	8	24.2	8	7.9	4	100.0	12	10.0	2	33.3	7	100.0	2	40.0
10-(2)-2	126	100.0	33	100.0	101	100.0	16	48.5	56	55.4	3	75.0	64	53.3	3	50.0	6	85.7	2	40.0
母国の学生達に ある程度同意	30	23.8	2	25.0	1	25.0	7	21.2	25	24.8	1	25.0	30	25.0	1	16.7	1	14.3	1	20.0
日本留学を積極 的にすすめたい	6	4.8	1	12.5			1	3.0	6	5.9			7	5.8						
なんともいえない わからない	6	4.8	1	12.5			1	3.0	5	5.0			6	5.0						
わからない	1	0.8							1	1.0			1	0.8						
NA	16	12.7	8	24.2	8	7.9	8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
計	126	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	4	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(2)-3	83	65.9	5	62.5	2	50.0	20	60.6	68	67.3	2	50.0	79	65.8	4	66.7	5	71.4	2	40.0
留学体験は、長 期的にみて日本 と良好な関係を 維持する契機と なろう	21	16.7	2	25.0	1	25.0	5	15.2	18	17.8	1	25.0	22	18.3			2	28.6		
同意できない	1	0.8							1	1.0			1	0.8						
なんともいえない わからない	2	1.6	1	12.5	1	25.0			3	3.0	1	25.0	3	2.5					1	20.0
わからない	3	2.4							3	3.0			3	2.5						
NA	16	12.7	8	24.2	8	7.9	8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
計	126	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	4	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(2)-4	95	75.4	7	87.5	3	75.0	24	72.7	78	77.2	3	75.0	92	76.7	4	66.7	7	100.0	2	40.0
留学は日本人の 生活態度、考え 方や日本の文化 社会、経済等を 認識する絶好の 機会である	13	10.3	1	12.5	1	25.0	1	3.0	13	12.9	1	25.0	14	11.7			1	20.0		
同意できない	1	0.8							1	1.0			1	0.8						
なんともいえない わからない	1	0.8							1	1.0			1	0.8						
NA	16	12.7	8	24.2	8	7.9	8	24.2	8	7.9			12	10.0	2	33.3			2	40.0
計	126	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	4	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(2)-5	20	15.9	6	18.2	14	13.9	6	18.2	14	13.9	3	75.0	18	15.0	1	16.7			1	20.0
日本は帰国留学 生に対するアプ ターサービス をよくやっている	42	33.3	4	50.0	3	75.0	12	36.4	34	33.7	3	75.0	43	35.8	2	33.3	3	42.9	1	20.0
同意できない	33	26.2	2	25.0	1	25.0	7	21.2	28	27.7	1	25.0	30	25.0	1	16.7	4	57.1	1	20.0
なんともいえない わからない	4	3.2							4	4.0			4	3.3						
わからない	10	7.9	2	25.0					12	11.9			12	10.0						

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別														
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A				
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)			
NA	17	13.5			8	24.2	9	8.9					13	10.8	2	33.3							
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	101	100.0	4	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0		5	100.0		
10-(3)留学生の受入れについて																							
10-(3)-1 留学生受入れに ついて民間のボ ランティア活動 は充実している	25	19.8	1	12.5	1	25.0	6	18.2	20	19.8	1	25.0	24	20.0	1	16.7	1	14.3			1	20.0	
	47	37.3	3	37.5	1	25.0	13	39.4	37	36.6	1	25.0	45	37.5	1	16.7	5	71.4			1	20.0	
	9	7.1	2	25.0	1	25.0	2	6.1	9	8.9	1	25.0	11	9.2									
	6	4.8	1	12.5					7	6.9			6	5.0	1	16.7							
	23	18.3	1	12.5	1	25.0	3	9.1	21	20.8	1	25.0	23	19.2	1	16.7	1	14.3					
NA	16	12.7					9	27.3	7	6.9			11	9.2	2	33.3							
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0			3	60.0	
10-(3)-2 全くその通り ある程度同意 ある程度同意 同意できない なんともいえない 日本人は協力的 である	38	30.2	2	25.0	1	25.0	11	33.3	29	28.7	1	25.0	35	29.2	3	50.0	2	28.6			1	20.0	
	41	32.5	5	62.5	3	75.0	8	24.2	38	37.6	3	75.0	43	35.8	1	16.7	4	57.1			1	20.0	
	17	13.5					3	9.1	14	13.9			16	13.3									
	5	4.0	1	12.5			2	6.1	4	4.0			6	5.0									
	13	10.3					1	3.0	12	11.9			13	10.8									
NA	12	9.5					8	24.2	4	4.0			7	5.8	2	33.3							
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0			3	60.0	
10-(3)-3 留学生に対する 民間の奨学金制 度が充実してい る	12	9.5	1	12.5			4	12.1	9	8.9			12	10.0	1	16.7							
	19	15.1	1	12.5	1	25.0	5	15.2	15	14.9	1	25.0	20	16.7	1	16.7							
	30	23.8	2	25.0			7	21.2	25	24.8			28	23.3	4	57.1							
	6	4.8	1	12.5	1	25.0			7	6.9	1	25.0	6	5.0	1	16.7						1	20.0
	46	36.5	3	37.5	2	50.0	9	27.3	40	39.6	2	50.0	46	38.3	1	16.7	3	42.9			1	20.0	
NA	13	10.3					8	24.2	5	5.0			8	6.7	2	33.3						3	60.0
計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0			5	100.0	
[宿舍条件— 希望順位]	33	26.2					7	21.2	26	25.7			27	22.5	2	33.3	3	42.9			1	20.0	
10-(4)-A-1 大学付属の寮	24	19.0	4	50.0	2	50.0	7	21.2	21	20.8	2	50.0	29	24.2								1	20.0
	23	18.3	2	25.0			5	15.2	20	19.8			21	17.5	1	16.7	3	42.9					
	17	13.5	1	12.5	2	50.0	6	18.2	12	11.9	2	50.0	18	15.0	1	16.7						1	20.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						学 籍 区 分 別						奨 学 金 類 別							
	国公立		私 立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	実数		(%)		実数		(%)		実数		(%)		実数		(%)		実数		(%)	
	29	23.0	1	12.5			8	24.2	22	21.8			25	20.8	2	33.3	1	14.3	2	40.0
10-(4)-A-2 外国人用宿舎	17	13.0	3	37.5	2	50.0	3	9.1	17	16.8	2	50.0	20	16.7	1	16.7			1	20.0
	25	19.8	2	25.0			4	12.1	23	22.8			24	20.0	2	33.3	1	14.3		
	26	20.6	1	12.5	2	50.0	6	18.2	21	20.8	2	50.0	28	23.3					1	20.0
	27	21.4	1	12.5			11	33.3	17	16.8			22	18.3	1	16.7	4	57.1	1	20.0
	31	24.6	1	12.5			9	27.3	23	22.8			26	21.7	2	33.3	2	28.6	2	40.0
10-(4)-A-3 民間アパート	25	19.8	1	12.5	2	50.0	6	18.2	20	19.8	2	50.0	25	20.8	1	16.7	2	28.6		
	25	19.8	1	12.5	1	25.0	4	12.1	22	21.8	1	25.0	24	20.0			1	14.3	2	40.0
	32	25.4	1	12.5			9	27.3	24	23.8			28	23.3	3	50.0	2	28.6		
	13	10.3	4	50.0	1	25.0	5	15.2	12	11.9	1	25.0	17	14.2					1	20.0
	31	24.6	1	12.5			9	27.3	23	22.8			26	21.7	2	33.3	2	28.6	2	40.0
10-(4)-A-4 日本人の家庭	25	19.8	3	37.5	1	25.0	9	27.3	19	18.8			26	21.7			1	14.3	1	20.0
	20	15.9	1	12.5	2	50.0	7	21.2	14	13.9	1	25.0	17	14.2	2	33.3	3	42.9		
	12	9.5	3	37.5	1	25.0	3	9.2	12	11.9	2	50.0	15	12.5					2	40.0
	36	28.6					4	12.1	32	31.7	1	25.0	34	28.3	2	33.3	1	14.3		
	33	26.2	1	12.5			10	30.3	24	23.8			28	23.3	2	33.3	2	28.6	2	40.0
10-(4)-B 外国人留学生だけ 留学生だけか日 本人と一緒に 本人と一緒にか	13	10.3					3	9.1	10	9.9			11	9.2	1	16.7	1	14.3		
	86	68.3	7	87.5	4	100.0	22	66.7	71	70.3	4	100.0	85	70.8	3	50.0	6	85.7	3	60.0
	27	21.4	1	12.5			8	24.2	20	19.8			24	20.0	2	33.3			2	40.0
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
10-(4)-C 個室か共用か 個室か共用か 他人と共用がよい NA 計	98	77.8	7	87.5	4	100.0	23	69.7	82	81.2	4	100.0	94	78.3	4	66.7	7	100.0	4	80.0
	4	3.2					2	6.1	2	2.0			4	3.3						
	24	19.0	1	12.5			8	24.2	17	16.8			22	18.3	2	33.3			1	20.0
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
VI. 日本経済の発展について																				
12-(1)教育制度 (総計)	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
12-(1)-A 義務教育年限が その通りより長い その通りより短い その通り	52	41.3	3	37.5	1	25.0	15	45.5	40	39.6	1	25.0	51	42.5	2	33.3	2	28.6	1	20.0
	33	26.2	4	50.0	3	75.0	6	18.2	31	30.7	3	75.0	34	28.3	2	33.3	3	42.9	1	20.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				国公私立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別							
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
6・3制で十分に長いこと わからない	21	16.7	1	12.5			7	21.2	15	14.9			18	15.0	1	16.7	2	28.6	1	20.0
NA							2	6.1	4	4.0			5	4.2	1	16.7				
12-(1)-B 義務教育での中途退学(drop out)が少ないこと わからない	39	31.0	2	25.0			17	51.5	24	23.8			36	40.0	3	50.0			2	40.0
その通り どちらかと思うば その通りと思う	31	24.6	3	37.5	4100.0		6	18.2	28	27.7	4100.0		31	25.8	1	16.7	5	71.4	1	20.0
NA							1	3.0	10	9.9			11	9.2						
12-(1)-C 義務教育の教育内容が充実していること わからない	42	33.3	4	50.0			16	48.5	30	29.7			39	32.5	3	50.0	3	42.9	2	40.0
その通り どちらかと思うば その通りと思う	37	29.4	2	25.0			9	27.3	30	29.7			36	30.0	2	33.3	1	14.3		
NA							2	6.1	7	6.9			9	7.5						
12-(1)-D 高等学校以上の高等教育への進学率が高いこと わからない	25	19.8					1	3.0	5	5.0			6	5.0						
その通り どちらかと思うば その通りと思う	9	7.1					2	6.1	23	22.8	2	50.0	22	18.3	1	16.7	2	28.6	2	40.0
NA							3	9.1	6	5.9	1	25.0	8	6.7			1	14.3	1	20.0
12-(1)-E 高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと わからない	68	54.0	5	62.5			19	57.6	54	53.5			66	55.0	3	50.0	3	42.9	2	40.0
その通り どちらかと思うば その通りと思う	33	26.2	2	25.0			11	33.3	24	23.8	2	50.0	31	25.8	3	50.0	3	42.9		
NA							1	12.5	9	8.9			9	7.5						
12-(1)-E 高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと わからない	1	0.8					1	25.0	1	1.0	1	25.0	1	0.8					1	20.0
その通り どちらかと思うば その通りと思う	10	7.9					1	3.0	9	8.9			8	6.7	1	14.3	1	14.3	1	20.0
NA							2	6.1	4	4.0			5	4.2					1	20.0
12-(1)-E 高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと わからない	36	28.6	2	25.0			10	30.3	28	27.7			35	29.2	1	16.7	1	14.3	1	20.0
その通り どちらかと思うば その通りと思う	38	30.2	3	37.5	1	25.0	12	36.4	29	28.7	1	25.0	36	30.0	2	33.3	3	42.9	1	20.0
NA							4	12.1	24	23.8			26	21.7	1	16.7	1	14.3		
12-(1)-E 高等学校以上の高等教育への女子の進学率が高いこと わからない	5	4.0	1	12.5			2	6.1	4	4.0			6	5.0	1	16.7	1	14.3	1	20.0
その通り どちらかと思うば その通りと思う	15	11.9					3	9.1	12	11.9			11	9.2	1	16.7	2	28.6	1	20.0
NA							2	6.1	4	4.0	1	25.0	6	5.0					1	20.0
NA							6	4.8					6	5.0					1	20.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						学 籍 区 分 別						奨 学 金 類 別													
	国立		公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A					
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)				
12-(1)-F 高等教育の内容 が充実してい ること	42	33.3	2	25.0	2	50.0	13	39.4	31	30.7	2	50.0	39	32.5	2	33.3	4	57.1	1	20.0	39	32.5	2	33.3	1	14.3
その通り どちらかといえば その通りと思 うとは思わない なんともいえ ない わからない	39	31.0	3	37.5	1	25.0	10	30.3	32	31.7	1	25.0	15	12.5	4	3.3	1	16.7	1	14.3	14	11.7	1	16.7	1	14.3
12-(1)-G 高等教育への進 学率を高めるだ けの経済的余裕 が父兄にあるこ と	45	35.7	3	37.5	3	75.0	15	45.5	33	32.7	3	75.0	47	39.2	1	16.7	1	14.3	2	40.0	35	29.2	1	16.7	1	14.3
その通り どちらかとい えばその通り と思わない なんともいえ ない わからない	33	26.2	4	50.0	1	25.0	6	18.2	31	30.7	1	25.0	11	9.2	1	16.7	2	28.6	1	20.0	11	9.2	1	16.7	2	28.6
12-(1)-H 高等教育進学に ついて奨学金制 度が発達してい ること	7	5.6	1	12.5	1	25.0	1	3.0	6	5.9	2	6.1	19	18.8	2	33.2	3	42.9	1	20.0	6	5.0	1	16.7	3	42.9
その通り どちらかとい えばその通り と思わない なんともいえ ない わからない	21	16.7	2	6.1	1	25.0	2	6.1	19	18.8	2	6.1	15	12.5	2	33.2	3	42.9	1	20.0	15	12.5	2	33.2	3	42.9
12-(1)-I 府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	7	5.6	3	9.1	1	25.0	3	9.1	4	4.0	1	25.0	6	5.0	5	4.2	1	14.3	1	20.0	6	5.0	5	4.2	1	14.3
その通り どちらかとい えばその通り と思わない なんともいえ ない わからない	27	21.4	1	25.0	1	25.0	8	24.2	19	18.8	1	25.0	23	19.2	1	16.7	3	42.9	1	20.0	23	19.2	1	16.7	2	28.6
12-(1)-J 高等教育を積極 的に進めること についての国民	44	34.9	2	25.0	2	50.0	11	33.3	35	34.7	2	50.0	43	35.8	1	16.7	2	28.6	2	40.0	43	35.8	1	16.7	2	28.6
その通り どちらかとい えばその通り と思わない なんともいえ ない わからない	11	8.7	2	25.0	1	25.0	3	9.1	10	9.9	1	25.0	12	10.0	1	14.3	1	14.3	1	20.0	12	10.0	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	6	4.8	1	12.5	1	25.0	1	3.0	6	5.9	1	25.0	7	5.8	1	16.7	1	14.3	1	20.0	7	5.8	1	16.7	1	14.3
その通り どちらかとい えばその通り と思わない なんともいえ ない わからない	32	25.4	3	37.5	1	25.0	9	27.3	26	25.7	1	25.0	30	25.0	3	50.0	1	14.3	1	20.0	30	25.0	3	50.0	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	6	4.8	1	12.5	1	25.0	1	3.0	5	5.0	1	25.0	5	4.2	1	14.3	1	14.3	1	20.0	5	4.2	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	69	54.8	4	50.0	3	75.0	18	54.5	55	54.5	3	75.0	68	56.7	3	50.0	4	57.1	1	20.0	68	56.7	3	50.0	4	57.1
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	25	19.8	3	37.5	1	25.0	6	18.2	22	21.8	3	75.0	23	19.2	3	50.0	2	28.6	2	40.0	23	19.2	3	50.0	2	28.6
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	2	1.6	1	12.5	1	25.0	1	3.0	2	2.0	1	25.0	2	1.7	1	16.7	1	14.3	1	20.0	2	1.7	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	3	2.4	1	12.5	1	25.0	1	3.0	2	2.0	1	25.0	3	2.5	1	16.7	1	14.3	1	20.0	3	2.5	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	19	15.1	1	12.5	1	25.0	5	15.2	14	13.9	1	25.0	17	14.2	1	16.7	3	42.9	1	20.0	17	14.2	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	8	6.3	2	6.1	1	25.0	2	6.1	6	5.9	1	25.0	7	5.8	1	16.7	1	14.3	1	20.0	7	5.8	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	76	60.3	5	62.5	3	75.0	24	72.7	57	56.4	3	75.0	74	61.7	4	66.7	5	71.4	1	20.0	74	61.7	4	66.7	5	71.4
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	21	16.7	2	25.0	1	25.0	5	15.2	18	17.8	3	75.0	20	16.7	2	33.3	1	14.3	1	20.0	20	16.7	2	33.3	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	4	3.2	1	12.5	1	25.0	1	3.0	5	5.0	1	25.0	4	3.3	1	16.7	1	14.3	1	20.0	4	3.3	1	16.7	1	14.3
府や公共団体が 積極的に高等教 育制度を整備し てきたこと	5	4.0	1	12.5	1	25.0	1	3.0	5	5.0	1	25.0	5	4.2	1	16.7	1	14.3	1	20.0	5	4.2	1	16.7	1	14.3

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別				学 校 区 分 別				奨 学 金 類 別											
		国公立		私立		学 部		大 学 院		N.A.		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A.			
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
的関心が高いこと	わからない	14	11.1			1	25.0	3	9.1	11	10.9	1	25.0	12	10.0	1	14.3	2	40.0		
	NA	6	4.8					1	3.0	5	5.0			5	4.2			1	20.0		
12-(1)-K 高等教育を受け ることが、立身 出世の条件とし て考えられてき たこと	との通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	80	63.5	6	75.0	4	100.0	23	69.7	63	62.4	4	100.0	79	65.8	3	50.0	5	71.4	3	60.0
		23	18.3	1	12.5			5	15.2	19	18.8			20	16.7	2	33.3	2	28.6		
		13	10.3	1	12.5			2	6.1	12	11.9			13	10.8	1	16.7				
		1	0.8					1	0.8	1	1.0			1	0.8						
		2	1.6					1	3.0	1	1.0			1	0.8						
		7	5.6					2	6.1	5	5.0			6	5.0						
12-(1)-L 個人的な能力さえ あれば社会的指導 者になれるという 社会の体質が進学意 欲を高めているから	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	47	37.3	3	37.5	3	75.0	12	36.4	38	37.6	3	75.0	43	35.8	4	66.7	4	57.1	2	40.0
		48	38.1	1	12.5	1	25.0	11	33.3	38	37.6	1	25.0	46	38.3	3	42.9	3	42.9	1	20.0
		15	11.9	2	25.0			6	18.2	11	10.9			14	11.7	2	33.3	2	33.3	1	20.0
		2	1.6	1	12.5			1	3.0	2	2.0			3	2.5						
		6	4.8					1	3.0	5	5.0			6	5.0						
		8	6.3	1	12.5	4	100.0	2	6.1	7	6.9			8	6.7					1	20.0
12-(2)-人口	(総計)	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
12-(2)-A 人口の規模が一 億人を超えてお り、大規模生産 ができるように なったこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	33	26.2	4	50.0	3	75.0	11	33.3	26	25.7	3	75.0	33	27.5	2	33.3	1	14.3	1	20.0
		38	30.2	2	25.0	2	50.0	8	24.2	32	31.7	3	75.0	40	33.3	2	28.6	2	28.6	1	20.0
		38	30.2	2	25.0	2	50.0	10	30.3	30	29.7	1	25.0	33	27.5	3	50.0	3	42.9	1	20.0
		7	5.6			1	25.0	3	9.1	4	4.0			7	5.8	1	16.7			1	20.0
		7	5.6					1	3.0	2	2.0			6	5.0	1	16.7				
		3	2.4					1	3.0	2	2.0			1	0.8						
12-(2)-B 人口増加率が低 く、子供の扶養 負担が小さかつ たこと	その通り どちらかといえば その通りと思う そうは思わない なんともいえない わからない	31	24.6	4	50.0	3	75.0	11	33.3	24	23.8	3	75.0	34	28.3	1	16.7	1	24.3	2	40.0
		47	37.3	1	12.5	1	25.0	10	30.3	37	36.6	1	25.0	41	34.2	5	83.3	2	28.6		
		26	20.6	1	12.5			7	21.2	20	19.8			24	20.0	1	14.3	1	14.3	2	40.0
		7	5.6	2	25.0			3	9.1	6	5.9			8	6.7			1	14.3		
		12	9.5					1	3.0	11	10.9			11	9.2			1	14.3		
		3	2.4	1	12.5	4	100.0	1	3.0	3	3.0			2	1.7			1	14.3	1	20.0
12-(2)-C その通り	その通り	65	51.6	5	62.5	4	100.0	22	66.7	48	47.5	4	100.0	66	55.0	3	50.0	3	42.9	2	40.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別				学 籍 区 分 別				奨 学 金 類 別													
	国公立		私立		N.A		学 部		大 学 院		N.A		文 部 省		そ の 他		奨 学 金 な し		N.A			
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)		
最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	35	27.8	2	25.0			6	18.2	31	30.7			31	25.8	3	50.0	3	42.9		2	40.0	
12-(2)-D出生率	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0	5	100.0
12-(2)-D-1 家族計画の考え方が普及しているから	71	56.3	1	12.5	3	75.0	20	60.6	52	51.5	3	75.0	65	54.2	4	66.7	2	28.6	4	80.0		
12-(2)-D-2 結婚年齢が高くなったから	34	27.0	4	50.0	1	25.0	8	24.2	30	29.7	1	25.0	36	30.0			3	42.9				
12-(2)-D-3 優生保護法で産児制限が合法化されているから	5	4.0	2	25.0			1	3.0	6	5.9			6	5.0	1	16.7						
12-(2)-D-4 社会保障制度の整備などにより老後を子供に頼らうと	2	1.6					2	2.0	2	2.0			2	1.7								
	8	6.3	1	12.5			2	6.1	7	6.9			7	5.8	1	16.7	1	14.3	1	14.3		
	6	4.8					2	6.1	4	4.0			4	3.3			1	14.3	1	14.3		
	19	15.1	2	25.0			12	36.4	9	8.9			19	15.8								
	32	25.4	3	37.5	2	50.0	6	18.2	29	28.7	2	50.0	33	27.5	2	33.3	2	28.6				
	43	34.1	2	25.0	1	25.0	6	18.2	39	38.6	1	25.0	39	32.5	2	33.3	4	57.1	1	20.0		
	6	4.8			1	25.0	2	6.1	4	4.0	1	25.0	6	5.0	1	16.7						
	15	11.9	1	12.5			2	6.1	14	13.9			15	12.5	1	16.7						
	11	8.7					5	15.2	6	5.9			8	6.7			1	14.3	2	40.0		
	23	18.3	2	25.0			12	36.4	13	12.9			23	19.2			1	14.3	1	20.0		
	32	25.4	1	12.5	2	50.0	9	27.3	24	23.8	2	50.0	27	22.5	4	66.7	3	42.9	1	20.0		
	26	20.6	1	12.5	1	25.0	4	12.1	23	22.8	1	25.0	26	21.7			2	28.6				
	7	5.6	1	12.5			6	18.2	8	7.9			8	6.7								
	29	23.0	3	37.5	1	25.0	6	18.2	26	25.7	1	25.0	29	24.2	2	33.3						
	9	7.1					2	6.1	7	6.9			7	5.8			1	14.3	1	20.0		
	22	17.5	1	12.5	1	25.0	9	27.3	14	13.9	1	25.0	19	15.8	1	16.7	1	14.3	3	60.0		
	36	28.6	2	25.0	2	50.0	9	27.3	29	28.7	2	50.0	34	28.3	4	66.7	2	28.6				
	21	16.7	3	37.5			6	18.2	18	17.8			21	17.5	1	16.7	2	28.6				
	9	7.1			1	25.0	1	3.0	8	7.9	1	25.0	10	8.3								

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						学籍区分別						奨学金類別								
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A		
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	
いう考えが国民の間 に少なくなったから	わからない	29	23.0	2	25.0			5	15.2	26	25.7			29	24.2			1	14.3	1	20.0	
	NA	9	7.1					3	9.1	6	5.9			7	5.8			1	14.3	1	20.0	
12-(2)-E 1940年代の出生率が 高く、若い労働者が 急増したことが、こ とに1960年代の日本 の経済成長を支えた	その通りと思う	27	21.4	6	75.0	1	25.0	12	36.4	21	20.8	1	25.0	32	26.7						2	40.0
	どちらかといえば 多いと思う	41	32.5	1	12.5	1	25.0	6	18.2	36	35.6	1	25.0	37	30.8	1	16.7	4	57.1	1	20.0	
	そうは思わない	21	16.7	1	12.5	2	50.0	3	9.1	19	18.8	2	50.0	21	17.5	2	33.3	1	14.3			
	なんともいえない	11	8.7					4	12.1	7	6.9			9	7.5	1	16.7				1	20.0
	わからない	19	15.1					6	18.2	13	12.9			16	13.3	2	33.3	1	14.3			
NA	7	5.6					2	6.1	5	5.0			5	4.2			1	14.3	1	20.0		
12-(2)-F 最近における日本の 出生率低下、人口増 加率の低下は、日本 の経済成長を今後低 下させるであろう	その通りと思う	11	8.7					6	18.2	5	5.0			11	9.2							
	どちらかといえば 多いと思う	20	15.9	3	37.5			4	12.1	19	18.8			20	16.7	1	16.7	2	28.6			
	そうは思わない	68	54.0	4	50.0	2	50.0	15	45.5	57	56.4	2	50.0	64	53.3	4	66.7	3	42.9	3	60.0	
	なんともいえない	13	10.3	1	12.5	2	50.0	2	6.1	12	11.9	2	50.0	14	11.7	1	16.7	1	14.3			
	わからない	9	7.1					4	12.1	5	5.0			9	7.5							
NA	5	4.0					2	6.1	3	3.0			2	1.7			1	14.3	2	40.0		
12-(3)日本の経済の発展の																						
12-(3)-A 日本人は本来勤 勉で労働の密度 が高いこと	その通りと思う	90	71.4	7	87.5	4	100.0		63.6	76	75.2	4	100.0	89	74.2	4	66.7	4	57.1	4	80.0	
	どちらかといえば 多いと思う	22	17.5	1	12.5			9	27.3	14	13.9			20	16.7	1	16.7	2	28.6			
	そうは思わない	5	4.0					1	3.0	4	4.0			4	3.3			1	14.3			
	なんともいえない	3	2.4							3	3.0			2	1.7	1	16.7					
	わからない	2	1.6							2	2.0			2	1.7							
NA	4	3.2					2	6.1	2	2.0			3	2.5						1	20.0	
12-(3)-B 日本には身分意 識が少なく上下の 差別なくよく働 くから	その通りと思う	36	28.6	1	12.5	2	50.0	9	27.3	28	27.7	2	50.0	35	29.2	1	16.7	1	14.3	2	40.0	
	どちらかといえば 多いと思う	32	25.4	3	37.5	1	25.0	13	39.4	22	21.8	1	25.0	30	25.0	2	33.3	4	57.1			
	そうは思わない	36	28.6	3	37.5	1	25.0	8	24.2	31	30.7	1	25.0	35	29.2	3	50.0			2	40.0	
	なんともいえない	9	7.1	1	12.5					10	9.9			9	7.5			1	14.3			
	わからない	5	4.0					1	3.0	4	4.0			5	4.2							
NA	8	6.3					2	6.1	6	5.9			6	5.0			1	14.3	1	20.0		
12-(3)-C	その通りと思う	45	35.7	4	50.0	1	25.0	11	33.3	38	37.6	1	25.0	45	37.5	3	50.0	2	28.6			

質問(項目)番号 質問内容	回答内容	国公立別						学籍区分別						奨学金類別							
		国公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
		実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	どちらかといえばその通りと思う	40	31.7	3	37.5	1	25.0	12	36.4	31	30.7	1	25.0	38	31.7	2	33.3	3	42.9	1	20.0
	そうは思わない	20	15.9	1	12.5	1	25.0	6	18.2	15	14.9	1	25.0	19	15.8	1	16.7	1	14.3	1	20.0
	なんともいえない	3	2.4							3	3.0			3	2.5						
	わからない	12	9.5			1	25.0	1	3.0	11	10.9	1	25.0	11	9.2			1	14.3	1	20.0
	NA	6	4.8					3	9.1	3	3.0			4	3.3					2	40.0
12-(3)-D 労働組合が企業制組合であり、ストライキが少ないから	その通りと思う	41	32.5	6	75.0			12	36.4	35	34.7			40	33.3	2	33.3	4	57.1	1	20.0
	どちらかといえばその通りと思う	45	35.7	1	12.5	2	50.0	11	33.3	35	34.7	2	50.0	42	35.0	3	50.0	1	14.3	2	40.0
	そうは思わない	19	15.1	1	12.5			4	12.1	16	15.8			18	15.0	1	16.7			1	20.0
	なんともいえない	7	5.6			1	25.0	1	3.0	6	5.9	1	25.0	7	5.8			1	14.3		
	わからない	7	5.6			1	25.0	1	3.0	6	5.9	1	25.0	7	5.8			1	14.3		
	NA	7	5.6					4		3	3.0			6	5.0					1	20.0
12-(4)経済と人的能力																					
「人的能力の開発は経済発展の重要な原因の一つである」という考え方についてあなたは同意しますか	その通りだ	103	81.7	5	62.5	4	100.0	25	75.8	83	82.2	4	100.0	98	81.7	5	83.3	5	71.4	4	80.0
	必ずしもそうだとは思わない	18	14.3	2	25.0			7	21.2	13	12.9			17	14.2	1	16.7	2	28.6		
	まちがっている	2	1.6							2	2.0			2	1.7						
	なんともいえない																				
	わからない	1	0.8							1	1.0			1	0.8						
	NA	2	1.6	1	12.5			1	3.0	2	2.0			2	1.7					1	20.0
	計	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
13. 家族について																					
13-1 父親の職業	公務員	8	6.3					2	6.1	6	5.9			5	4.2	2	33.3			1	20.0
	教師	2	1.6			2	50.0	1	3.0	1	1.0	2	50.0	3	2.5	1	16.7				
	会社員	12	9.5	2	25.0			3	9.1	11	10.9			14	11.7						
	自由業	1	0.8							1	1.0							1	14.3		
	農業	6	4.8	1	12.5			1	3.0	6	5.9			6	5.0					1	20.0
	商業	4	3.2					2	6.1	2	2.0			4	3.3						
	その他	5	4.0					3	9.1	2	2.0			5	4.2						
	無職・無回答	88	69.8	5	62.5	2	50.0	21	63.6	72	71.3	2	50.0	83	69.2	3	50.0	6	85.7	3	60.0

質問(項目)番号 質問内容	国公立別						学籍区分別						奨学金類別							
	国公立		私立		N.A		学部		大学院		N.A		文部省		その他		奨学金なし		N.A	
	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)	実数	(%)
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0
13-2 男子の数	37	29.4	5	62.5	2	50.0	12	36.4	30	29.7	2	50.0	34	28.3	2	33.3	4	57.1	4	80.0
	31	24.6	2	25.0			8	24.2	25	24.8			29	24.2	1	16.7	3	42.9		
	23	18.3			1	25.0	5	15.2	18	17.8			22	18.3	2	33.3				
	15	11.9	1	12.5			6	18.2	10	9.9			16	13.3						
	7	5.6			1	25.0			7	6.9			7	5.8	1	16.7				
	13	10.3					2	6.1	11	10.9			12	10.0					1	20.0
13-3 女子の数	32	25.4	3	37.5			10	30.3	25	24.8			31	25.8	1	16.7	3	42.9		
	32	25.4			1	25.0	9	27.3	23	22.8			29	24.2	3	50.0	1	14.3		
	15	11.9	2	25.0	1	25.0	2	6.1	15	14.9			16	13.3	1	16.7			1	20.0
	4	3.2					1	3.0	3	3.0			4	3.3						
	4	3.2					1	3.0	3	3.0			4	3.3						
	39	31.0	3	37.5	2	50.0	10	30.3	32	31.7	2	50.0	36	30.0	1	16.7	3	42.9	4	80.0
13-4 家族に海外留学 の体験があるか	37	29.4	5	62.5	3	75.0	10	30.3	32	31.7	3	75.0	42	35.0	1	16.7	1	14.3	1	20.0
	76	60.3	3	37.5	1	25.0	19	57.6	60	59.4	1	25.0	69	57.5	5	83.3	3	42.9	3	60.0
	13	10.3					4	13.1	9	8.9			9	7.5			3	42.9	1	20.0
	126	100.0	8	100.0	4	100.0	33	100.0	101	100.0	4	100.0	120	100.0	6	100.0	7	100.0	5	100.0

## 在日外国人学生に対するアンケート調査

### 調査へのご協力をお願い

(在日留学生用)

この研究は、日本に留学している外国人留学生の皆さんが、学習上、生活上どのような問題をもっておられるか、また、日本の留学生受入制度や日本の経済発展に対してどのような見方をしておられるかを知るために企画されました。

私達の研究は、今後日本が沢山の外国人留学生を受入れるについては、まず、今日、皆さんの当面している問題が何であるかを正確に知り、それを少しずつでも解決していくことが先決だという考えに立っております。このアンケート調査は純粋に客観的な資料を得ることを目的としていますので、どうぞフランクにかつ率直にお答え下さるよう希望します。皆さんのご親切なご協力によって日本の留学生受入れ体制が着実に改善されることになれば、この上ない幸いです。

なお、ご回答いただきました方にはささやかながら謝意を表したいと思っています。

財団法人アジア人口・開発協会

留学生事情研究委員会

委員長	川野重任	東京大学名誉教授
研究委員	鈴木忠和	東海大教授
	山田三郎	東大教授
	山下雄三	筑波大助教授
	武藤和夫	東京農大教授
	原洋之介	東大助教授

### 質問紙の答え方

1. 回答は、もっともふさわしい番号に○印をつけてください。
2. →印は、その質問の続きを表します。
3. ( ) は記入していただく部分です。日本語、英語（あなたの母国語でも可）で記入してください。
4. この調査は無記名で結果はすべて統計的に整理します。個人的なご迷惑をおかけすることは一切ありません。よろしくご協力をお願いします。
5. 回答された質問紙は19 年 月 日までに お返しく下さい。

財団法人アジア人口・開発協会 (A.P.D.A.)

(〒100 東京都千代田区永田町2-10-2 永田町 TBR ビル710号, 電03-581-7770)

参考のために、次の事項を教えてください。国籍が都合が悪ければ地域でも結構です。





(3) 留学先の大学についての評価は、

	その通り	必ずしも そうでは ない	なんとも いえない	わからない
a 日本ではよい大学（院）である	1	2	3	4
b 専門分野により研究者がいる	1	2	3	4
c 教育、研究環境がよい	1	2	3	4

7. 所定期間の日本留学を終えたのちの、あなたの計画について教えてください

(1) 留学後、帰国しますか

- a 直ちに母国に帰国する予定である
- b 日本以外の国にゆく予定である
- c なお日本に留まる予定である
- d いまのところどうするか決めていない

(2) (1)aに○印をつけた方におたずねします。留学後、母国に帰国するとすれば、あなたは何をしますか

- a 前にやっていた仕事に復帰する
- b 新しく職を探す
- c 進学または復学して勉学を続ける
- d 家族のしている仕事に加わる
- e いまのところ、どうするか決めていない

## II. 日本語の学習について

8. 母国にいたときの日本語学習の機会について、あなた自身の経験や身近かな事情について教えてください

	できた	できな かった
(1) 母国にある日本語学校で学習することが	1	2
(2) 母国では日本語の教科書を入手することが	1	2
(3) 母国の TV, RADIO で日本語を学習することが	1	2
(4) 母国の人で日本語を話せる人から教わることが	1	2
(5) 母国にいる日本人から個人的に教わることが	1	2
(6) 母国では日本語のカセット・テープを入手することが	1	2

9. あなたは現在、あなた自身の日本語の力をどのように評価しますか

	十分にで きる	一応はで きる	なんとか できる	全くでき ない
(1) 日本語の授業をきくこと	1	2	3	4
(2) 日本語で授業のときに質問すること	1	2	3	4
(3) 日本語の研究論文を読むこと	1	2	3	4
(4) 日本語で論文・レポートを書くこと	1	2	3	4
(5) 日常生活に差支えない程度の日本語での 会話	1	2	3	4
(6) テレビ、ラジオで日本語の放送を聞くこ と	1	2	3	4
(7) 日本字の新聞を読むこと	1	2	3	4
(8) 友人に日本語の手紙をかくこと	1	2	3	4

### III. 学部での学習について

10～14の質問は、現在「学部」課程に在籍する留学生にだけおたずねするものです。「大学院」課程の留学生はここをとばし、12問に進んでください。研究留学生は16問に進んで下さい。

#### 10. 学部課程のカリキュラムについておたずねします

大学での教育内容は、母国でうけた高校の教育水準からみて難しすぎると考えますか

- (1) いずれの学科目についても、大きな格差があるとは考えない  
 (2) ある学科目については難しすぎると考える

→難しすぎると考える学科目を具体的にいくつでも書いてください

#### 11. 講義、演習、実験について、あなたはどの程度理解できていると考えますか (あてはまる %の個所を○で囲んでください)

(%)

(1) 一般教養課程の講義	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
(2) 専門教養課程の講義	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
(3) " の演習	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
(4) " の実習	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100

### IV. 大学院での学習について

12～15の質問は、現在「大学院」課程に在籍する留学生にだけおたずねするものです。「学部」課程の留学生並びに研究留学生はここをとばし、16問に進んでください

#### 12. 日本の大学院であなたが最終的に取得したい学位は何ですか

- (1) 修士学位→その名称は： ( )  
 (2) 博士学位→その名称は： ( )

#### 13. 日本での博士学位の取得は、外国人留学生にとって難しいといわれていますが、あなたは どう考えますか

	その通り である	そうでは ない	なんとも いえない
(1) 日本語の理解が十分でないため、講義が理解できないから	1	2	3
(2) 日本語の能力が十分でないため、研究資料が理解できないから	1	2	3
(3) 論文執筆に日本語が要求されるから	1	2	3
(4) 英、仏、独語等2ヵ国語の履修が要求され、この面の負担が大きすぎるから	1	2	3
(5) このほか、あなたにとってどういう点で難しいと思いますか。自由に書いてください。			
14. あなたが取得しようとする学位は、母国ではどれ位有利に利用されますか ((1)~(9)各項目の質問にそれぞれ答えてください)			

	大いに有 利である	ある程度は 有利である	無関係で ある	なんとも いえない
(1) 政府・行政機関への就職	1	2	3	4
(2) 母国の民間トップ企業への就職	1	2	3	4
(3) 母国にある日本（または合弁）企業への就職	1	2	3	4
(4) 研究、教育機関への就職	1	2	3	4
(5) 高い報酬を得るため	1	2	3	4
(6) 社会的威信の証明	1	2	3	4
(7) 専門的知識の仕事での直接的活用	1	2	3	4
(8) 母国発展への寄与	1	2	3	4
(9) その他具体的に書いてください				
15. あなたの関係する母国の仕事の領域では、次の諸国の博士学位は、どのように評価されていますか				

	高く評価 される	ある程度 評価され る	ほとんど 評価され ない	なんとも いえない	わからな い
(1) 母国の学位	1	2	3	4	5
(2) アメリカ合衆国の学位	1	2	3	4	5
(3) ヨーロッパ諸国の学位	1	2	3	4	5
(4) 東洋諸国の学位	1	2	3	4	5
(5) 日本の学位	1	2	3	4	5

## V. 日本留学への評価

以下、16~20問については、「学部」「大学院」留学生、研究留学生ともにお答えください

	大いに 満足	どちらかと いえば満足	不満が 多い	なんとも いえない
16. あなたは日本での留学学生生活について、どの程度満足していますか				

(1) 大学のスタッフとの交流	1	2	3	4
(2) 大学の学生たちとの交流	1	2	3	4
(3) 一般社会人との交流	1	2	3	4
(4) 日常の学習, 研究活動	1	2	3	4
(5) 日本国内の視察, 見学旅行	1	2	3	4
(6) 日常の衣食住生活	1	2	3	4
(7) 孤独感からの解放	1	2	3	4
(8) 留学成果の母国での活用の期待感	1	2	3	4
(9) 日本人の母国事情の理解	1	2	3	4
(10) その他自由に書いて下さい				

17. 現在までの日本留学体験から判断して、あなたは次の意見に同意しますか

(1) 日本の大学(院)に関して

	全くその通りである	ある程度同意できる	同意できない	なんともいえない	わからない
a 日本の大学は概ね国際的な学術水準に達している	1	2	3	4	5
b 日本の大学は発展途上国の抱える問題に十分な関心をもっている	1	2	3	4	5
c 日本の大学教授は留学生問題に十分な関心をもっている	1	2	3	4	5
d 日本の大学教授は留学生の成績を厳しく評価している	1	2	3	4	5
e 日本の大学生は留学生の勉学に十分に協力的である	1	2	3	4	5
f 日本の大学は留学生に対して最新の理論や学術成果を積極的に提供している	1	2	3	4	5
g 日本の大学は帰国後の留学生と積極的に交流しようとしている	1	2	3	4	5

(2) 日本留学に関して

	全くその通りである	ある程度同意できる	同意できない	なんともいえない	わからない
a 再度の機会があれば、日本で研究上の仕上げをしたい	1	2	3	4	5
b 母国の学生達に、日本留学を積極的にすすめたい	1	2	3	4	5
c 留学経験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となろう	1	2	3	4	5

- d 留学は日本人の生活態度, 考え方や, 日本の文化, 社会, 経済等を認識する絶好の機会である
- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
|  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--|---|---|---|---|---|
- e 日本は帰国留学生に対するアフターサービスをよくやっている
- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
|  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--|---|---|---|---|---|

(3) 留学生の受入れについて

全くその通りである    ある程度同意できる    同意できない    なんともいえない    わからない

- a 留学生受入れについて民間のボランティア活動は充実している
- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
|  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--|---|---|---|---|---|
- b 宿舎やアルバイト探しについて日本人は協力的である
- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
|  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--|---|---|---|---|---|
- c 留学生に対する民間の奨学金制度が充実している
- |  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
|  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--|---|---|---|---|---|

(4) 宿舎条件について——単身で日本に留学される場合, 次につきご希望をきかせて下さい

a 次の4つのケースのうち, 希望される順位をきかせて下さい

- i 大学付属の寮 (順位) \_\_\_\_\_位
- ii 外国人用宿舎 (例駒場留学生会館) \_\_\_\_\_位
- iii 民間のアパート \_\_\_\_\_位
- iv 日本人の家庭 \_\_\_\_\_位

b 留学生だけの方がよいか, 日本人と一緒にの方がよいか

- i 外国人留学生だけ
- ii 日本人と一緒に

c 個室がよいか, 他人と共用の部屋がよいか

- i 個室がよい
- ii 他人と共用の部屋がよい

18. 日本の外国人留学生の受入条件や受入制度について, あなたが問題とされ, あるいは改善を期待されていることを, 率直にかつ具体的に書いてください。

VI. 日本経済の発展について

19. 日本の経済を発展させた要因について, 次のような考え方がありますが, あなたの意見をきかせてください

- (1) 経済発展の要因としての日本の教育制度について

	その通り である	どちらかとい えばその通 りだと思う	そうは思 わない	なんとも いえない	わから ない
a 義務教育年限が6・3制で十分に長いこと	1	2	3	4	5
b 義務教育での中途退学(drop out)が少ないこと	1	2	3	4	5
c 義務教育の教育内容が充実していること	1	2	3	4	5
d 高等学校以上の高等教育への進学率が高いこと	1	2	3	4	5
e 高等学校以上の高等教育への、女子の進学率が高いこと	1	2	3	4	5
f 高等教育の内容が充実していること	1	2	3	4	5
g 高等教育への進学率を高めるだけの経済的余裕が父兄にあること	1	2	3	4	5
h 高等教育進学について奨学金制度が発達していること	1	2	3	4	5
i 国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	1	2	3	4	5
j 高等教育を積極的に進めることについての国民的関心が高いこと	1	2	3	4	5
k 高等教育を受けることが、立身出世の条件として考えられてきたこと	1	2	3	4	5
l 個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	1	2	3	4	5
m その他意見がありましたら自由に書いて下さい ( )					

(2) 日本の経済発展の要因としての人口増加について

	その通り と思う	どちらかとい えばその通 りだと思う	そうは思 わない	なんとも いえない	わから ない
a 人口の規模が一億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	1	2	3	4	5
b 人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	1	2	3	4	5

c	最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	1	2	3	4	5
d	出生率が低いのは					
	i 家族計画の考え方が普及しているから	1	2	3	4	5
	ii 結婚年齢が高くなったから	1	2	3	4	5
	iii 優生保護法で産児制限が合法化されているから	1	2	3	4	5
	iv 社会保障制度の整備などにより、老後を子供に頼ろうという考えが国民の間に少なくなったから	1	2	3	4	5
e	1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、ことに1960年代の日本の経済成長を支えた	1	2	3	4	5
f	最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長を今後低下させるであろう	1	2	3	4	5
g	その他意見がありましたら自由に書いて下さい					
	(					)

(3) 日本の経済発展の要因としての労働体制について

	その通りである	どちらかといえばその通りである	そうは思わない	なんともいえない	わからない	
a	日本人は本来勤勉で労働の密度が高いこと	1	2	3	4	5
b	日本には身分意識が少く、上下の差別なくよく働くから	1	2	3	4	5
c	週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	1	2	3	4	5
d	労働組合が企業制組合であり、ストライキが少ないから	1	2	3	4	5

- e その他意見がありましたら自由に書いて下さい。
- (4) 経済と人的能力との関係について、次の点をおたずねします。
- a. 「人的能力の開発は、経済発展の重要な原因の1つである」という考え方について、あなたは同意しますか
- i その通りだと思う
  - ii 必ずしもそうとは思わない
  - iii まちがっている
  - iv なんともいえない
  - v わからない
- b. 「人的能力を開発する」ためには、どういうことが必要ですか。自由に考えを書いてください。

## VII. あなたのご家族について

20. さいごに、母国におられるご家族について、次の点を教えてください

あなたと の間柄	現在の 年齢	現在の 職業	最終学歴（含在学中）				海外留学の体験		そのばあいの課程	
			小学	中学	高校	大学	あり	なし	高校	大学
父			1	2	3	4	1	2	1	2
母			1	2	3	4	1	2	1	2
配偶者			1	2	3	4	1	2	1	2
兄 1			1	2	3	4	1	2	1	2
2			1	2	3	4	1	2	1	2
3			1	2	3	4	1	2	1	2
弟 1			1	2	3	4	1	2	1	2
2			1	2	3	4	1	2	1	2
3			1	2	3	4	1	2	1	2
姉 1			1	2	3	4	1	2	1	2
2			1	2	3	4	1	2	1	2
3			1	2	3	4	1	2	1	2
妹 1			1	2	3	4	1	2	1	2
2			1	2	3	4	1	2	1	2
3			1	2	3	4	1	2	1	2

◎めんどろな質問にさいごまで答えていただき、ほんとうに有難うございました。

## 元日本留学外国人学生に対するアンケート調査

### 調査へのご協力をお願い

この研究は、かつて日本で外国人留学生として学ばれた皆さんにとって、日本留学がどのように役立っているか、また、日本の留学生受入れ制度や日本の経済発展に対してどのような見方をしておかれるかを知るために企画されました。

私達の研究は、今後、日本が沢山の外国人留学生を受入れるについては、日本への留学をより効果的なものとするためにはどのような問題点があるかを正確に知り、それを少しずつでも解決していくことが先決だという考え方に立っております。このアンケート調査は純粋に客観的な資料を得ることを目的としていますので、どうぞフランクにかつ率直にお答え下さるよう希望します。皆さんのご親切なご協力によって、日本の留学生受入れ体制が着実に改善されることとなれば、この上ない幸です。

財団法人アジア・人口開発協会

留学生事情研究委員会

委員長	川野重任	東京大学名誉教授
研究委員	鈴木忠和	東海大教授
	山田三郎	東大教授
	山下雄三	筑波大助教授
	武藤和夫	東京農大教授
	原洋之助	東大助教授

### 質問紙の答え方

1. 回答は、もっともふさわしい番号に○印をつけてください。
2. →印は、その質問の続きを表します。
3. ( ) は記入していただく部分です。日本語、英語（あなたの母国語でも可）で記入してください。
4. この調査は無記名で結果はすべて統計的に整理します。個人的なご迷惑をおかけすることは一切ありません。よろしくご協力をお願いします。
5. 回答された質問紙は19年 月 日までに 財団法人アジア人口開発協会（A. P. D. A）（〒100 東京都千代田区永田町2-10-2 永田町 TBR ビル F10号、電03-581-7770）にお返しください。

参考のために、次の事項を教えてください。国籍が都合が悪ければ地域でも結構です。



- f. 奨学金取得 i 無  
 ii 有→その名称  
 ( )

4. 再度留学をされた理由

再度留学をするに当って、強い影響力をもった理由を教えてください（あてはまるものに○印を）

- (1) 日本の学位は、母国では高く評価されない  
 (2) 専門分野での研究水準は、日本よりも他国のほうが高い  
 (3) 日本での留学期間が切れ、再延長が認められなかった  
 (4) 母国で専門研究の成果を活用するには、日本留学はあまりにも条件が違いすぎた  
 (5) 専門研究の領域を拡大、深化させる必要があった  
 (6) 日本の大学は最新の研究成果、技術内容を留学生に開放していなかった  
 (7) 母国の政府、大学あるいは企業から再留学の要請があった  
 (8) その他（理由を具体的に書いてください）
5. 再留学の経験と成果は、あなたがAで指摘された制約的な理由を解消したと思っていますか
- (1) 目的は達成された  
 (2) 一応の成果があった  
 (3) 期待どおりでなかった  
 (4) なんともいえない

II. 日本留学への評価

6. 日本留学（及び再留学）の成果と仕事についておたずねします。

- (1) 現在の仕事について
- a. 就職先
- i 政府行政機関  
 ii 試験研究機関  
 iii 大学  
 iv その他教育機関  
 v 日本系民間企業  
 vi その他の国との合弁企業  
 vii 母国系民間企業  
 viii 自営業  
 ix その他（具体的に）
- b. 就職先の名称 ( )
- c. そこでの地位と仕事の内容 ( )
- d. そこにはいつ就職しましたか ( 年 月に就職)
- e. その仕事で、日本留学の成果を活用することができますか
- i 直接に活用できている  
 ii 間接的に利用できている  
 iii 全く無関係である

iv なんともいえない

(2) 日本留学ないし再留学から母国に帰国されてから、現在の仕事につくまで何度か他の職場を経験されましたか

a. いいえ

b. はい→ i 何回ぐらい職場をかえましたか ( 回位)

ii なぜそのように何度か職場をかえられたのか、例 会社の破産とか、高給など

(3) 現在の仕事(就業先)を遂行するうえで、あなたが日本留学の生活体験や得た専門的知識や研究経歴は以下の各領域でどの程度活用できていると思いますか。

a. 仕事の面では

	現在でも 大いに利用 している	現在それ ほど利用 していない	現在全く関 係がなく利 用していない	なんとも いえない
i 大学での研究成果に関連して	1	2	3	4
ii 取得した技術	1	2	3	4
iii 日本語の能力について	1	2	3	4
iv 日本の大学スタッフとの交流に関連して	1	2	3	4
v 日本の企業との交流に関連して	1	2	3	4
vi 日本の社会人との交流に関連して	1	2	3	4
vii その他具体的に書いてください:				

b. 生活の面では:

	積極的に とり入れ ている	一部であ るがとり 入れている	全く無関 係である	なんとも いえない
i 日本的な考え方や発想のしかた	1	2	3	4
ii 日本的な生活様式	1	2	3	4
iii 日本的な行動様式	1	2	3	4
iv その他具体的に書いてください				

(4) 日本留学の経験を母国の発展に寄与させる、という考え方に立てば、どういうことがらが役立つと思われるか。ご自由にお書きください

7. 帰国後の日本語の使用についておたずねします

(1) 日本語を使う機会がありますか

	かなりの 機会がある	わずかで あるがある	全く機会 はない
a ふだんの生活で	1	2	3
b 勤務先の仕事で	1	2	3

(2) 日本語を使用する形は

	かなり頻 繁にある	時折りは ある	全くない
a 日本語で会話をする	1	2	3

b	日本語の文章を読む	1	2	3
c	日本語の放送を聞く	1	2	3
d	日本語で文章を書く	1	2	3
e	日本語で通訳をする	1	2	3

8. あなたが取得された日本の学位は、母国ではどれくらい有利に利用されましたか

	大いに有利である	ある程度は有利である	無関係である	なんともいえない
(1) 政府・行政機関への就職	1	2	3	4
(2) 母国の民間トップ企業への就職	1	2	3	4
(3) 母国にある日本（または合併）企業への就職	1	2	3	4
(4) 研究、教育機関への就職	1	2	3	4
(5) 高い報酬を得るため	1	2	3	4
(6) 社会的威信の証明	1	2	3	4
(7) 専門的知識の仕事での直接的活用	1	2	3	4
(8) 母国発展への寄与	1	2	3	4
(9) その他具体的に書いてください				

9. 日本の博士学位の取得について、改善すべき点や要望があれば、以下にご自由にお書きください

10. 日本留学体験の評価に基づいて、あなたは次の意見に同意しますか

(1) 日本の大学（院）に関して

	全くその通りである	ある程度同意できる	同意できない	なんともいえない	わからない
a 日本の大学は概ね国際的な学術水準に達している	1	2	3	4	5
b 日本の大学は発展途上国の抱える問題に十分な関心をもっている	1	2	3	4	5
c 日本の大学教授は留学生問題に十分な関心をもっている	1	2	3	4	5
d 日本の大学教授は留学生の成績を厳しく評価している	1	2	3	4	5
e 日本の大学生は留学生の勉学に十分に協力的である	1	2	3	4	5
f 日本の大学は留学生に対して最新の理論や学術成果を積極的に提供している	1	2	3	4	5
g 日本の大学は帰国後の留学生と積極的に交流しようとしている	1	2	3	4	5

(2) 日本留学に関して

	全くその通りである	ある程度同意できる	同意できない	なんともいえない	わからない
--	-----------	-----------	--------	----------	-------

a	再度の機会があれば、日本で研究上の仕上げをしたい	1	2	3	4	5
b	母国の学生達に、日本留学を積極的にすすめたい	1	2	3	4	5
c	留学経験は、長期的にみて日本と良好な関係を維持する契機となろう	1	2	3	4	5
d	留学は日本人の生活態度、考え方や、日本の文化、社会、経済等を認識する絶好の機会である	1	2	3	4	5
e	日本は帰国留学生に対するアフターサービスをよくやっている	1	2	3	4	5

(3) 留学生の受入れについて

	全くその通りである	ある程度同意できる	同意できない	なんともいえない	わからない	
a	留学生受入れについて民間のボランティア活動は充実している	1	2	3	4	5
b	宿舎やアルバイト探しについて日本人は協力的である	1	2	3	4	5
c	留学生に対する民間の奨学金制度が充実している	1	2	3	4	5

(4) 宿舎条件について——単身で日本に留学される場合、次につきご希望をきかせて下さい

a 次の4つのケースのうち、希望される順位をきかせて下さい

- i 大学付属の寮 (順位) \_\_\_\_\_位
- ii 外国人用宿舎 (例 駒場留学生会館) \_\_\_\_\_位
- iii 民間のアパート \_\_\_\_\_位
- iv 日本人の家庭 \_\_\_\_\_位

b 留学生だけの方がよいか、日本人と一緒にの方がよいか

- i 外国人留学生だけ
- ii 日本人と一緒に

c 個室がよいか、他人と共用の部屋がよいか

- i 個室がよい
- ii 他人と共用の部屋がよい

11. 日本の外国人留学生の受入条件や受入制度について、あなたが問題とされ、あるいは改善を期待されていることを、率直にかつ具体的に書いてください。

### III. 日本経済の発展について

12. 日本の経済を発展させた要因について、次のような考え方がありますが、あなたの意見をきかせてください

(1) 経済発展の要因としての日本の教育制度について

	その通り である	どちらかと いえばその 通りだと思う	そうは思 わない	なんとも いえない	わから ない
a 義務教育年限が6・3制で十分に長いこと	1	2	3	4	5
b 義務教育での中途退学(drop out)が少ないこと	1	2	3	4	5
c 義務教育の教育内容が充実していること	1	2	3	4	5
d 高等学校以上の高等教育への進学率が高いこと	1	2	3	4	5
e 高等学校以上の高等教育への、女子の進学率が高いこと	1	2	3	4	5
f 高等教育の内容が充実していること	1	2	3	4	5
g 高等教育への進学率を高めるだけの経済的余裕が父兄にあること	1	2	3	4	5
h 高等教育進学について奨学金制度が発達していること	1	2	3	4	5
i 国や公共団体が積極的に高等教育制度を整備してきたこと	1	2	3	4	5
j 高等教育を積極的に進めることについての国民的関心が高いこと	1	2	3	4	5
k 高等教育を受けることが、立身出世の条件として考えられてきたこと	1	2	3	4	5
l 個人的な能力さえあれば社会的指導者になれるという社会の体質が進学意欲を高めているから	1	2	3	4	5
m その他の意見がありましたら自由に書いて下さい。					

(2) 日本の経済発展の要因としての人口増加について

	その通り と思う	どちらかとい えばその通 りだと思う	そうは思 わない	なんとも いえない	わから ない
a 人口の規模が一億人を超えており、大規模生産ができるようになったこと	1	2	3	4	5

b	人口増加率が低く、子供の扶養負担が小さかったこと	1	2	3	4	5
c	最近の人口増加率が低くなったのは出生率が低くなったから	1	2	3	4	5
d	出生率が低いのは					
	i 家族計画の考え方が普及しているから	1	2	3	4	5
	ii 結婚年齢が高くなったから	1	2	3	4	5
	iii 優生保護法で産児制限が合法化されているから	1	2	3	4	5
	iv 社会保障制度の整備などにより、老後を子供に頼ろうという考えが国民の間に少なくなったから	1	2	3	4	5
e	1940年代の出生率が高く、若い労働者が急増したことが、ことに1960年代の日本の経済成長を支えた	1	2	3	4	5
f	最近における日本の出生率の低下、人口増加率の低下は、日本の経済成長を今後低下させるであろう	1	2	3	4	5
g	その他意見がありましたら自由を書いて下さい					

(3) 日本の経済発展の要因としての労働体制について

	その通りである	どちらかといえばその通りである	そうは思わない	なんともいえない	わからない	
a	日本人は本来勤勉で労働の密度が高いこと	1	2	3	4	5
b	日本には身分意識が少く、上下の差別なくよく働くから	1	2	3	4	5
c	週45時間の長時間労働の体制になっている企業が多いから	1	2	3	4	5
d	労働組合が企業制組合であり、ストライキが少ないから	1	2	3	4	5
e	その他意見がありましたら自由を書いて下さい					

(4) 経済と人的能力との関係について、次の点をおたずねします。

- a. 「人的能力の開発は、経済成長の重要な原因の1つである」という考え方について、あなたは同意

しますか

- i その通りだと思う
- ii 必ずしもそうだとは思わない
- iii まちがっている
- iv なんともいえない
- v わからない

b. 「人的能力を開発する」ためには、どういうことが必要ですか。自由に考えを書いてください。

#### IV. あなたのご家族について

13. さいごに、母国におられるご家族について、次の点を教えてください

あなたと の間柄	現在の 年齢	現在の 職業	最終学歴 (含在学中)				海外留学の体験		そのばあいの課程	
			小学・中学	高校	大学		あり	なし	高校	大学
父			1	2	3	4	1	2	1	2
母			1	2	3	4	1	2	1	2
配偶者			1	2	3	4	1	2	1	2
兄	1		1	2	3	4	1	2	1	2
	2		1	2	3	4	1	2	1	2
	3		1	2	3	4	1	2	1	2
弟	1		1	2	3	4	1	2	1	2
	2		1	2	3	4	1	2	1	2
	3		1	2	3	4	1	2	1	2
姉	1		1	2	3	4	1	2	1	2
	2		1	2	3	4	1	2	1	2
	3		1	2	3	4	1	2	1	2
妹	1		1	2	3	4	1	2	1	2
	2		1	2	3	4	1	2	1	2
	3		1	2	3	4	1	2	1	2

◎めんどろな質問にさいごまで答えていただき、ほんとうに有難うございました。



---

---

## 在日留学生の学習と生活条件に関する研究

---

発行 財団法人 アジア人口・開発協会  
〒100 東京都千代田区永田町2丁目10番2号永田町 TBR ビル710号室  
電話(03)581-7770

---

昭和61年7月30日発行／印刷 (株)盈進社







Title: Study on Learning and Living Condition of Overseas Students in Japan

Contents :

1. Outline
2. Executive Summary
3. Preface: Problem and Method of Survey
4. Chapter 1: Motivation and Process of Studying in Japan —Educational Background of Overseas Students
5. Chapter 2: Japanese Language Ability and Effect of Studying in Japan
6. Chapter 3: Learning Environment and Degree Awarding System for Undergraduate and Graduate Students
7. Chapter 4: Evaluation and Opinions about Studying in Japan
8. Chapter 5: Views of Overseas Students toward Japanese Society and Economy
9. Chapter 6: Suggestion
10. Chapter 7: Appendix — Tables and Results of Questionnaire Survey





